

第9期（令和6年度～令和8年度）

逗子市高齢者保健福祉計画策定に向けた

アンケート調査結果報告書

令和5年3月

| 逗子市

目次

I 調査の概要	
1 調査の目的	1
2 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 調査結果の表示方法	2
II 調査結果からの総括と課題のポイント	
1 要介護認定者の状況について	5
(1) 家族や生活状況について	5
(2) 健康状態について	5
(3) 外出・地域とのつながりについて	6
(4) 認知症施策について	6
(5) 介護保険サービスの利用状況について	7
(6) スマートフォンや携帯電話の所有について	8
(7) 新型コロナウイルス感染症の影響について	8
2 在宅介護の状況について	9
(1) 在宅生活の継続について	9
(2) 主な介護者の就労の継続について	9
3 介護サービス提供事業所	11
(1) 人材確保について	11
(2) サービスの質の確保について	11
(3) 災害時の準備態勢について	12
(4) 医療と介護の連携について	12
4 介護支援専門員	13
III 調査結果	
1 要介護認定者（在宅）	19
(1) あなたとあなたのご家族や生活状況について	20
(2) 健康状態について	40
(3) 外出・社会参加について	56
(4) 介護保険について	63
(5) 高齢者福祉全般について	82
2 要介護認定者（施設入居者）	93
(1) あなたとあなたのご家族や生活状況について	94
(2) 健康状態について	117
(3) 外出・社会参加について	127

3	介護者	
	(1) あなた(介護者)について	135
	(2) あなたが介護をしている方(要介護者)について	149
	(3) 要介護者が利用している在宅サービスについて	161
	(4) 要介護者が施設等に入所・入居しているご家族について	176
	(5) 高齢者福祉全般について	178
4	サービス提供事業所	
	(1) 事業所について	183
	(2) 医療・介護連携について	204
	(3) 市の介護保険事業との連携について	215
5	介護支援専門員	
	(1) あなたご自身のことについて	223
	(2) 勤務形態などについて	227
	(3) ケアプラン作成・給付管理業務などについて	230
	(4) 本市の提供サービスについて	242
	(5) 医療・介護連携について	248
	(6) 各質問について	259
6	在宅介護実態調査	277
	(1) A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	277
	(2) B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目	279
IV	自由意見	
1	要介護認定者(在宅)	283
2	要介護認定者(施設入所者)	285
3	介護者	287
4	サービス提供事業所	289
5	介護支援専門員	291
V	調査票	
1	要介護認定者(在宅)	297
2	要介護認定者(施設入居者)	305
3	介護者	309
4	サービス提供事業所	313
5	介護支援専門員	321
6	在宅介護実態調査	331

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

逗子市高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）を策定するための基礎資料とするため、市内在住の高齢者の生活実態や介護サービスの利用に対する実態調査等を実施するものです。

2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数

	調査名	概要	抽出数	回収数 (回収率)
1	要介護認定者個別調査 (在宅)	令和4年11月1日現在で、要介護認定を受けている在宅等での生活者から介護度別無作為に各100名抽出	500通	272通 (54.4%)
2	要介護認定者個別調査 (施設入所者)	令和4年11月1日現在で、要介護認定を受けている施設等への入所・入居者から介護度別無作為に各20名抽出	100通	56通 (56.0%)
3	介護者個別調査	要介護認定者個別調査票を送付した方の介護者	600通	300通 (50.0%)
4	サービス提供事業所 個別調査	逗子市内の全事業所及び横須賀市、鎌倉市、葉山町、横浜市金沢区内の事業所で令和4年4月以降に本市被保険者に対する給付実績のある事業所	305通	124通 (40.7%)
5	介護支援専門員（ケア マネジャー）個別調査	逗子市、横須賀市、鎌倉市、葉山町及び横浜市金沢区内で本市被保険者に対する居宅介護支援業務に従事している介護支援専門員並びに本市被保険者が入所している施設の介護支援専門員全員	276通	130通 (47.1%)
6	在宅介護実態調査	令和4年12月から令和5年1月の期間、介護認定の区分変更・更新申請を行った在宅で介護を受けている者		77通

3 調査期間

令和4年11月21日～令和4年12月15日

（在宅介護実態調査は令和4年12月から令和5年1月の期間で随時実施）

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式（督促1回）

5 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・ 回答者数が極端に少ない場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ 調査結果からの総括と 課題のポイント

II 調査結果からの総括と課題のポイント

1 要介護認定者の状況について

(1) 家族や生活状況について

- ・家族構成について、「その他の世帯（同居世帯）」が 36.4%と最も高く、次いで「配偶者のみ（あなたと二人世帯）」が 32.4%、「ひとり暮らし」が 17.6%となっています。[要介護（在宅）調査、問3 家族構成].
- ・現在の暮らしの状況を経済的にみて、「支障はない」が 54.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 22.4%となっています。一方、「やや苦しい」と「苦しい」を合わせた『苦しい』は 29.8%となっています。[要介護（在宅）調査、問11 現在の暮らしの状況]

《課題》

○要介護者になると、多様な費用が必要になり経費がかかるため、特に所得の少ない人が安心してサービスを受けることができるよう、助成制度等の周知を図ることが必要です。

(2) 健康状態について

- ・健康状態について、在宅調査では「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」が 64.7%と最も高く、次いで「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が 38.6%、「毎日の生活に張りあいがなくなった」が 35.3%となっています。[要介護（在宅）調査、問15 健康状態について思いあたるもの]
施設調査では、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」が 55.4%と最も高く、次いで「毎日の生活に張りあいがなくなった」が 37.5%、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が 32.1%となっています。[要介護（施設入所者）調査 問23 健康状態について思いあたるもの]
- ・要介護認定者の BMI をみると（BMI：身長と体重から回答者のBMIを計算（ $BMI = \text{体重}Kg / (\text{身長}m) \times (\text{身長}m)$ ）、「普通体重：18.5～25 未満」が 44.9%と最も高く、次いで「低体重(痩せ型)：18.5 未満」が 20.2%、「肥満(1度)：25～30 未満」が 10.3%となっています。[要介護（在宅）調査、問20 身長と体重]
- ・口腔機能について、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している」が 59.2%と最も高く、一方「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が 38.6%、「お茶や汁物等でむせることがある」が 35.3%となっています。[要介護（在宅）調査、問21 口腔機能について、思いあたるもの]
- ・どなたかと食事をとにもする機会について、「毎日ある」が 65.4%と最も高く、次いで「週に何度かある」が 11.8%となっています。ひとり暮らしで「毎日ある」の割合が低くなっています。[要介護（在宅）調査、問23 どなたかと食事をとにもする機会]

《課題》

○要介護認定者の健康状態をみると、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」が約6割と最も高く、身体的な機能低下がみられます。一方、「これまで楽しんでやれ

ていたことが楽しめなくなった」、「毎日の生活に張りあいがなくなった」の回答も多く、要介護状態であっても、生活の質（QOL）の向上に向けた支援の充実が必要です。

- 口腔機能について「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」、「お茶や汁物等でむせることがある」が3割を超えています。歯や口腔の健康の衰えは、オーラルフレイルの状態、十分な栄養が摂れなくなり、低栄養などのリスクが高まるとともに、心身の機能低下につながるフレイルのおそれがあるため、歯科医師や歯科衛生士などによる専門的な口腔ケアと、自分で毎日行うセルフケアなどオーラルフレイル対策の重要性について啓発していくことが必要です。
- BMIの状況をみると、高齢期の低栄養も含め、適正体重の認識および維持への支援が必要です。特に低体重の方の身体状況が比較的厳しい場合が多いため、BMIは低すぎても問題であることの周知が必要です。また、BMIが高い場合の弊害についても引き続き周知を図ることが必要です。
- だれかと食事をともにする機会について、特に一人暮らし高齢者で孤食の傾向が顕著になっています。家族や友人とたのしく食事をすることは「健康的な食事」や「精神面での健康」に大きく影響を与えます。家族や知人などだれかと揃って食卓を囲む機会を増やすため、地域での居場所（サロン）や交流の機会や場の充実が必要です。

（3）外出・地域とのつながりについて

- ・運動や外出について、「外出を控えている」が67.6%と最も高く、次いで「5m以上歩ける」が38.6%、「昨年と比べて外出の回数が減っている」が30.9%となっています。特に、ひとり暮らしで外出を控えている」の割合が高くなっています。[要介護（在宅）調査、問25 運動・外出について、思いあたるもの]
- ・外出を控えている理由について、「歩行が不自由である」が72.8%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が33.2%、「病気」が22.8%となっています。[要介護（在宅）調査、問25-1 運動・外出を控えている理由]
- ・人との交流等について、「隣の家（部屋）の人の名前や顔を知っている」が45.6%と最も高く、次いで「他の人に自分から話しかけることがある」が25.7%、「家族や友人の相談にのっている、または相談している」が15.8%となっています。[要介護（在宅）調査、問28 人との交流等について、思いあたるもの]

《課題》

- 身体的な機能低下や足腰などの痛みにより、外出を控える高齢者も多く、安心して外出ができるよう、高齢者の体の状況に合わせた支援策が必要です。また、要支援、要介護状態となっても地域での活動から分断されず、社会的なつながりが維持できるような地域づくりが重要です。

（4）認知症施策について

- ・要介護者の心身の状況について、「日常生活の一部に手助けが必要」が41.7%と最も高く、次いで「日常生活のすべてについて手助けが必要」が32.7%、「認知症の症状がかなりあり、

一日中目が離せない」が 20.7%となっています。[介護者調査 問 12 要介護者の心身の状況]

- ・認知症の対応についての困りごとについて、「会話が成立しない」が 50.9%と最も高く、次いで「自分の時間が持てない」が 34.0%、「日中の見守りが大変である」が 31.1%となっています。[介護者調査 問 12-1 認知症の対応についての困りごと]
- ・成年後見制度について、「名前を聞いたことがある」が 51.0%と最も高く、次いで「内容まで知っている」が 31.3%、「知らない」が 10.7%となっています。[介護者調査 問 24 成年後見制度の認知度]
- ・成年後見制度の利用が進まない理由について、「制度手続きが複雑である」が 68.5%と最も高く、次いで「制度手続きに時間を要する」が 56.9%、「後見人報酬の支払いが困難」が 40.8%となっています。[介護支援専門員調査 問 51 成年後見制度の利用が進まない理由]
- ・認知症の方への支援で必要なことについて、「認知症の家族を介護している人への支援」が 69.2%と最も高く、次いで「家族・介護者の負担軽減のための支援」が 60.0%、「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が 40.0%となっています。[介護支援専門員調査 問 60 認知症の方への支援で必要なこと]

《課題》

○要介護者の心身の状況により、全面的な介助が必要な方は3割、認知症の症状がある方は2割程度となっています。また、成年後見制度の認知度については、8割以上が認知している状況ですが、内容まで理解している人は3割程度となっており、認知症だけではなく介護が必要となった場合に、適切に成年後見制度が利用できるよう、周知・啓発をしていく必要があります。また、成年後見制度の利用が進まない理由としては、「制度手続きが複雑である」「制度手続きに時間を要する」「後見人報酬の支払いが困難」など制度の利用上の課題があります。認知症の方への支援で必要なことについては「認知症の家族を介護している人への支援」「家族・介護者の負担軽減のための支援」「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が挙がっており、認知症の家族を介護している方への支援策の充実が必要です。

(5) 介護保険サービスの利用状況について

- ・介護保険サービスの利用状況をみると、「利用していない」が 20.6%、「利用している」が 78.3%となっています。[要介護（在宅）調査 問 30 介護保険サービスの利用状況]
- ・介護サービスを利用していない理由について、「家族が介護しているので必要ない」が 35.7%と最も高く、次いで「介護サービスが必要な状態ではない」が 26.8%、「どんなサービスを利用したらよいかわからない」が 14.3%となっています。[要介護（在宅）調査 問 30-1 介護サービスを利用していない理由]
- ・今後、利用を考えている介護保険サービスについて「今はまだわからない」が 50.0%と最も高く、次いで「在宅で利用できるサービス」が 28.6%、「施設等への入所・入居」が 10.7%となっています。[要介護（在宅）調査 問 30-2 今後、利用を考えている介護保険サービス]

《課題》

○介護保険サービスの利用状況は、約8割が利用している結果となっています。また、利用していない人のうち、「家族が介護しているので必要ない」が3割半ば、「介護サービスが必要な状態ではない」が3割となっています。一方、「どんなサービスを利用したらよいかわからない」が1割となっています。介護サービス利用にあたっては、個々の事情を確認していくとともに、サービス利用の周知を進めていくことも必要です。

(6) スマートフォンや携帯電話の所有について

- ・スマートフォンや携帯電話の利用状況について、「スマートフォンも携帯電話も持っていない」が46.0%と最も高く、次いで「スマートフォンを持っている」が23.9%、「携帯電話を持っている」が23.2%となっています。[要介護（在宅）調査、問33 スマートフォンや携帯電話の利用状況]
- ・スマートフォンを持っている方で使用している機能について、「電話」が89.2%と最も高く、次いで「メール」が55.4%、「LINE」が44.6%となっています。[要介護（在宅）調査、問33-1 スマートフォンを持っている方で使用している機能]

《課題》

○高齢者の中にはスマートフォンを利用している方が約2割となっています。利用している方においては、「電話」以外に「メール」「LINE」を利用している方が5割程度となっており、高齢者福祉等に関する情報発信にあたってはスマホを利用した手法をより活用していくことも必要です。

(7) 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症まん延による生活などの変化について、「外出することが減った」が41.2%と最も高く、次いで「他人と関わる機会が減った」が31.3%、「特に意識や行動に変化はない」の割合が28.3%となっています。[要介護（在宅）調査、問34 新型コロナウイルス感染症まん延による生活などの変化]
- ・新型コロナウイルス感染症まん延により、利用していた介護サービスの利用への影響について、「影響はなかった」が42.7%と最も高く、次いで「サービスが全く利用できない期間があった」が12.7%、「サービスの利用を自粛した」が11.3%となっています。[介護者調査 問25 新型コロナウイルス感染症まん延による介護サービスの利用への影響]

《課題》

○新型コロナウイルス感染症まん延により、外出する機会や人とのつながり、交流機会の減少が顕著になっています。また、介護サービスの利用にあたっては影響がなかった方は約4割となっていますが、サービスの利用を自粛したり、サービスを利用できなかった方がそれぞれ1割程となっています。コロナ禍においても、感染防止の対策等を踏まえ、新たな人との交流できる場や機会の充実が求められます。

2 在宅介護の状況について

(1) 在宅生活の継続について

- ・施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 74.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 23.4%となっています。[在宅介護実態調査 問5 施設等への入所・入居の検討状況]
- ・今後、利用を考えている介護保険サービスについて、「在宅で利用できるサービス」が 28.6%、「施設等への入所・入居」が 10.7%となっています。[要介護（在宅）調査、問 30-2 今後、利用を考えている介護保険サービス]
- ・現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が 25.4%と最も高く、次いで「入浴・洗身」の割合が 23.9%、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 22.5%となっています。[在宅介護実態調査 問 4 主な介護者の方が不安に感じる介護]

《課題》

○約7割が施設等への入所・入居は検討していない状況となっています。今後、利用を考えている介護保険サービスとして「在宅で利用できるサービス」が約3割となっており、在宅での介護生活の安定的な継続のための仕組みの充実が必要です。また、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が最も高くなっています。認知症も年齢が高くなるにつれて有病率が高くなる病気であり、認知症への対応を強化していくことが重要です。

(2) 主な介護者の就労の継続について

- ・主な介護者は、要介護者からみて、「娘」が 34.0%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 33.7%、「息子」が 15.3%となっています。[介護者調査 問3 主な介護者]
- ・主な介護者の性別は、「男性」が 30.0%、「女性」の割合が 64.0%となっています。[介護者調査 問4 主な介護者の性別]
- ・主な介護者の年齢は、「80～89 歳」が 22.0%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 20.7%、「60～64 歳」が 12.7%となっています。[介護者調査 問5 主な介護者の年齢]
- ・家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた状況を見ると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 88.7%と最も高くなっています。「在宅介護実態調査 A票 問4 家族や親族の中で、介護を理由に過去 1 年の間に仕事を辞めた状況」
- ・主な介護者の方の現在の勤務形態について、「働いていない」が 45.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 26.8%、「パートタイムで働いている」が 23.9%となっています。[在宅介護実態調査 B票 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態]
- ・主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等について、「特に行っていない」が 36.1%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 22.2%、「介護のために、調整をしながら、働いている」の割合が 19.4%となっています。[在宅介護実態調査 B票]

問2 介護による働き方についての調整等について]

- ・主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が 58.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 33.3%となっています。[在宅介護実態調査 B票 問3 介護による就労の継続について]

《課 題》

- 主な介護者は家族や親族であり、60歳代以上が約7割を占めています。特に80歳代が2割と最も高くなっており、老々介護の問題が、今後さらなる高齢化が進むにつれて増えていくことが予測されます。
- 介護が主な理由となって仕事を辞めた家族・親族の有無について、約9割が「いない」と回答しており、主な介護者の勤務形態としても「働いていない」が約半数を占めています。前述した老々介護の問題から、適切なサービスの利用や、家族介護者への支援が必要です。また、主な介護者の方は、介護をするにあたって、働き方についての調整等について、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が2割となっています。
- 今後、仕事と介護の両立を続けていけるかどうかは、「問題なく、続けていける」人は約3割であり、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した人は約6割となっています。
- 主な介護者が就労を継続していくためには、介護サービスや勤務先企業による支援を充実させていくことが必要です。また、介護離職をできるだけ防ぐためには、事業者の「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や、「労働時間の調整」といった従事者支援策の円滑な活用を支援することが必要です。

3 介護サービス提供事業所

(1) 人材確保について

- ・事業を展開するにあたり苦慮していることとして、「スタッフの人数不足」が 68.5%と最も高く、次いで「スタッフの技術不足」が 37.9%、「利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更」が 25.8%となっています。[サービス提供事業所調査 問 11 業を展開するにあたり苦慮していること]
- ・職員の早期離職の防止や定着促進のため取り組んでいることについて、「職員に労働時間の希望を聞く」が 55.6%と最も高く、次いで「研修等、人材育成を充実させる」が 53.2%、「賃金・労働条件を改善する」が 48.4%となっています。[サービス提供事業所調査 問 8 職員の早期離職の防止や定着促進のため取り組んでいること]
- ・事業所で職員定着のために行っている取り組みについて「資格取得のための金銭的な支援」の 53.2%と最も高く、次いで「給与面での改善」が 43.5%、「勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善」が 42.7%となっています。[サービス提供事業所調査 問 22 職員定着のために行っている取り組み]

《課題》

- 介護サービス事業所の運営にあたり、人材確保が重要課題となっています。介護サービスの質を維持・向上するためにも、介護職のイメージアップや早期離職防止、人材育成等の介護人材の確保に向けた様々な方策を講じていくことが求められています。また、職員の定着のため、介護職員の負担を軽減することも重要であり、介護ロボットやICTの導入、業務仕分け、文書事務の軽減等、業務効率化のための取り組みを推進していく必要があります。

(2) サービスの質の確保について

- ・利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談について、「サービス内容に関するもの」が 69.4%と最も高く、次いで「職員の態度に関するもの」が 26.6%、「利用手続きに関するもの」が 22.6%となっています。[サービス提供事業所調査 問 15 利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談の内容]
- ・苦情や相談の解決のために特別な機関の設置について「設置している」が 66.1%、「設置していない」が 29.0%となっています。[サービス提供事業所調査 問 16 苦情や相談の解決のために特別な機関の設置]
- ・設置している機関は、「苦情相談窓口の設置」が 90.2%と最も高く、次いで「苦情解決責任者の配置」が 52.4%、「共同での第三者委員会の設置」が 11.0%となっています。[サービス提供事業所調査 問 16-1 苦情や相談の解決のため設置している機関]

《課題》

- 介護サービスの質の向上を目的に、利用者等からの苦情対応が重要となります。利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談としてサービス内容や職員の態度、利用手続きに関するものが挙がっています。そのため、利用者意向の調査の手法や、福祉サービス第三者評価の積極的な受審を図るなどサービスの質の確保に向けた取り組みが必要です。

(3) 災害時の準備態勢について

- ・事業所の業務継続計画の策定状況（非常災害対策計画等と一体的に策定している場合も含む）について、「どちらも検討中である」が 53.2%と最も高く、次いで「感染症、自然災害ともにBCPを策定している」が 32.3%となっています。[サービス提供事業所調査 問 20 業務継続計画の策定状況]
- ・BCPを策定する上での課題について、「策定を検討する時間の確保」が 26.4%と最も高く、次いで「知識やノウハウの不足」が 20.8%となっています。[サービス提供事業所調査 問 20-1 BCPを策定する上での課題]

《課題》

- 災害時のみならず感染症の発生等、様々な状況に対し、具体的な対応のイメージを持ち、それらに対する備えを持つことが重要であり、適切なBCP策定のための支援を行うことが必要です。

(4) 医療と介護の連携について

- ・日常の療養支援において、連携を強化したい関係者について、「かかりつけ医（診療所）」が 72.6%と最も高く、次いで「かかりつけ医（病院）」が 59.7%、「訪問看護ステーション」が 48.4%となっています。[サービス提供事業所調査 問 26 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者]
- ・多職種連携について、「①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである。」について、「そう思う」が 57.3%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 20.2%、「非常にそう思う」の割合が 15.3%となっています。
「②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良くと思う。」について、「そう思う」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 33.1%となっています。
「③多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができている。」について、「どちらとも言えない」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 32.3%、「そう思わない」の割合が 18.5%となっています。[サービス提供事業所調査 問 27 多職種連携について]

《課題》

- 介護を必要とする高齢者は、一般的に医療ニーズも高く、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるためには、介護関係者と医療関係者が高齢者の情報を共有するなど連携していくことが必要です。

4 介護支援専門員

- ・ケアマネジャーの業務量は、「多い」が 69.2%と最も高く、次いで「適切」が 21.5%となっています。【介護支援専門員調査 問 63-① ケアマネジャーの業務量】
- ・ケアマネジャーの業務内容は、「難しい」が 52.3%と最も高く、次いで「普通」が 38.5%となっています。【介護支援専門員調査 問 63-②、ケアマネジャーの業務内容】
- ・ケアマネジャーの業務としてのやりがいは、「ある」が 67.7%と最も高く、次いで「考えたことがない」が 13.1%、「ない」が 10.0%となっています。【介護支援専門員調査 問 63-③、ケアマネジャーの業務としてのやりがい】
- ・ケアマネジャーの業務上、困り事や悩み事があるかは、「文書量の多さ」が 53.8%と最も高く、次いで「利用者及び利用者家族との人間関係」が 48.5%、「給与・労働環境」が 42.3%となっています。【介護支援専門員調査 問 64、ケアマネジャーの業務上、困り事や悩み事】
- ・ケアマネジャーの早期離職の防止や定着促進のために必要な取り組みは、「賃金・労働条件を改善する」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「研修等、人材育成を充実させる」の割合が 29.2%、「職員に労働時間の希望を聞く」の割合が 18.5%となっています。【介護支援専門員調査 問 62 ケアマネジャーの早期離職の防止や定着促進のために必要な取り組み】

《課題》

○ケアマネジャーの業務上、困り事や悩み事については文書量の多さが挙げられており、ケアマネジャーの仕事手順の見直し及び文書量の削減が必要とされている。一方、ケアマネジャーの業務としてのやりがいは約7割となっています。ケアマネジャーの早期離職の防止や定着促進のために必要な取り組みは、「賃金・労働条件を改善する」が 80.0%と最も高くなっており、ケアマネジャーがやりがいを持てる職場づくりが必要です。

Ⅲ 調査結果

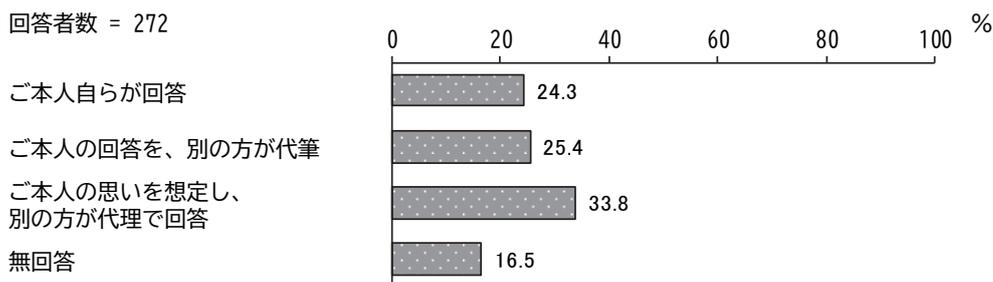
1 要介護認定者（在宅）

Ⅲ 調査結果

1 要介護認定者（在宅）

最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。

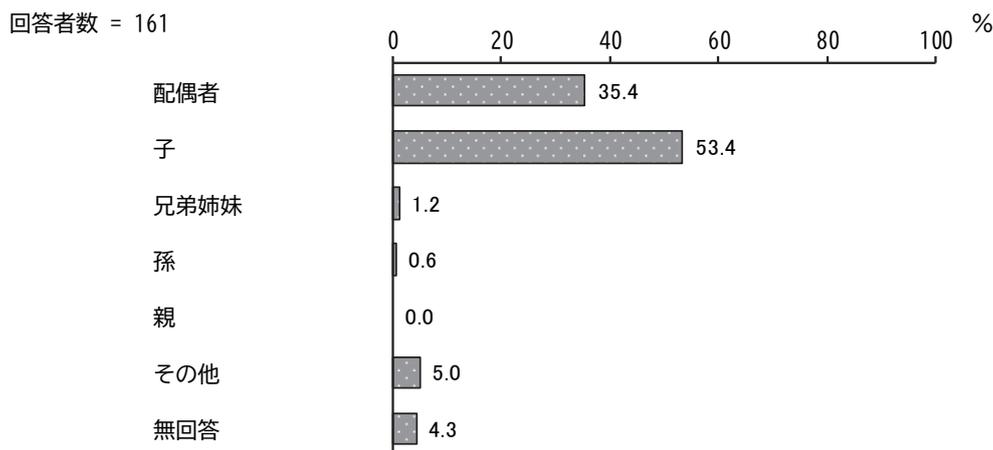
「ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「ご本人の回答を、別の方が代筆」の割合が 25.4%、「ご本人自らが回答」の割合が 24.3%となっています。



【「2. ご本人の回答を、別の方が代筆」、「3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の方のみ】

回答されている方は、ご本人からみてどなたですか。

「子」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 35.4%となっています。

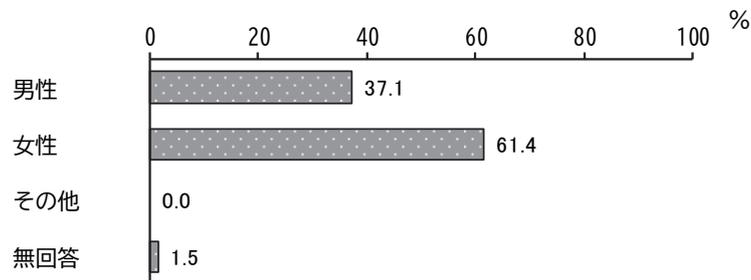


(1) あなたとあなたのご家族や生活状況について

問1. あなたの性別はどれですか。(ひとつだけに○)

「男性」の割合が37.1%、「女性」の割合が61.4%となっています。

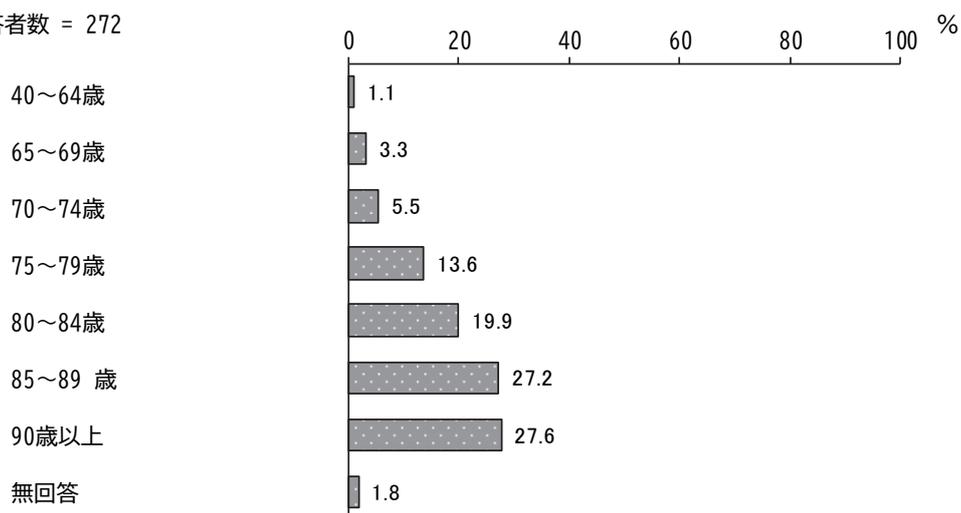
回答者数 = 272



問2. あなたの年齢はおいくつですか。(ひとつだけに○)

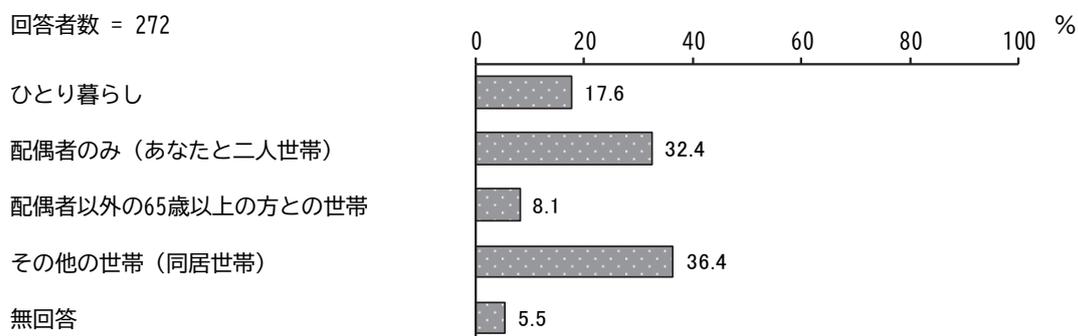
「90歳以上」の割合が27.6%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が27.2%、「80～84歳」の割合が19.9%となっています。

回答者数 = 272



問3. あなたの家族構成について教えてください。(ひとつだけに○)

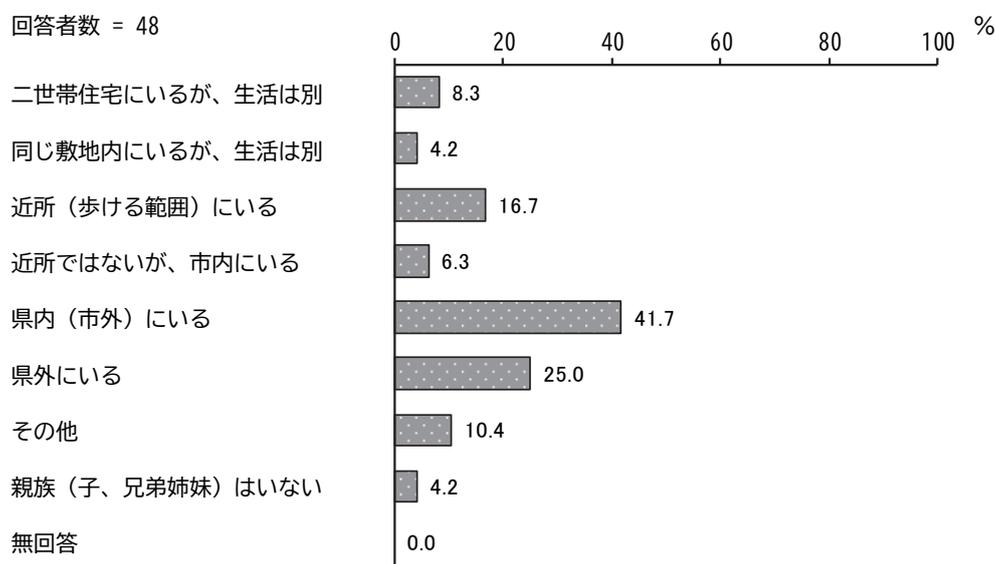
「その他の世帯（同居世帯）」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「配偶者のみ（あなたと二人世帯）」の割合が 32.4%、「ひとり暮らし」の割合が 17.6%となっています。



【問3で「1. ひとり暮らし」と答えた方のみ】

問3-1. 親族（子、兄弟姉妹）は、どちらにお住まいですか。（あてはまるものすべてに○）

「県内（市外）にいる」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「県外にいる」の割合が 25.0%、「近所（歩ける範囲）にいる」の割合が 16.7%となっています。



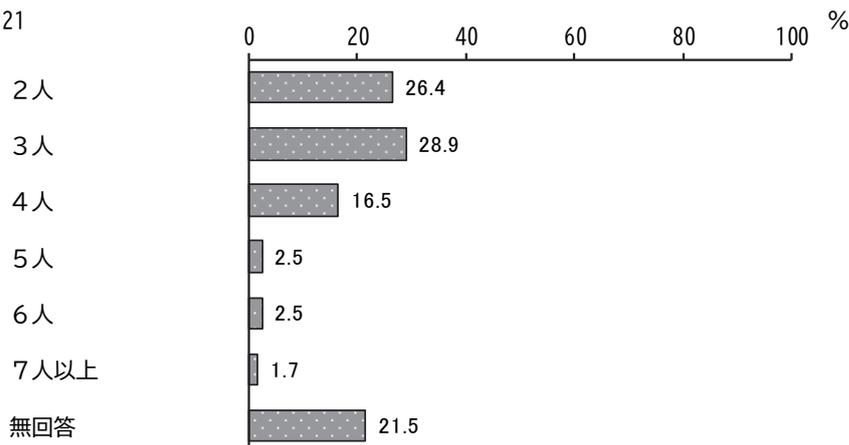
【問3で「3. 配偶者以外の65歳以上の方との世帯」及び「4. その他の世帯（同居世帯）」と答えた方のみ】

問3-2. ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、それは、あなたからみてどんな方ですか。（あてはまるものすべてに○）

<一緒に暮らしている人数>

「3人」の割合が28.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が26.4%、「4人」の割合が16.5%となっています。

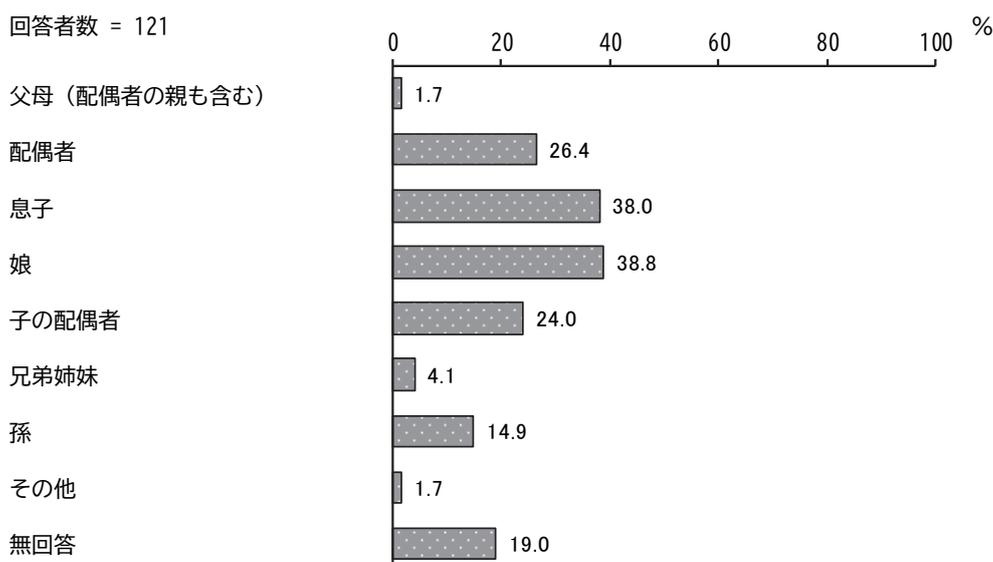
回答者数 = 121



<一緒に暮らしている方>

「娘」の割合が38.8%と最も高く、次いで「息子」の割合が38.0%、「配偶者」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 121

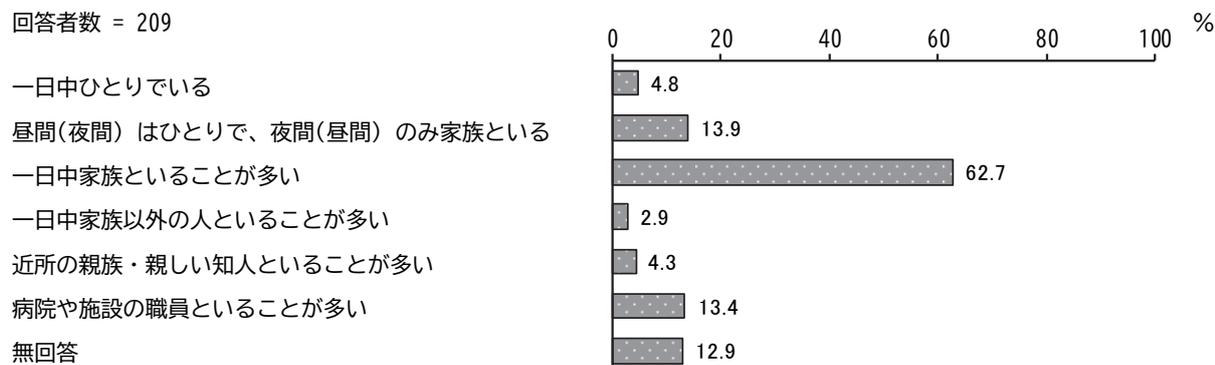


【問3で「2. 配偶者のみ(あなたと二人世帯)」「3. 配偶者以外の65歳以上の方との世帯」「4. その他の世帯(同居世帯)」と答えた方のみ】

問3-3. 普段、誰と一緒に過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「一日中家族といることが多い」の割合が62.7%と最も高く、次いで「昼間(夜間)はひとりで、夜間(昼間)のみ家族といる」の割合が13.9%、「病院や施設の職員といることが多い」の割合が13.4%となっています。

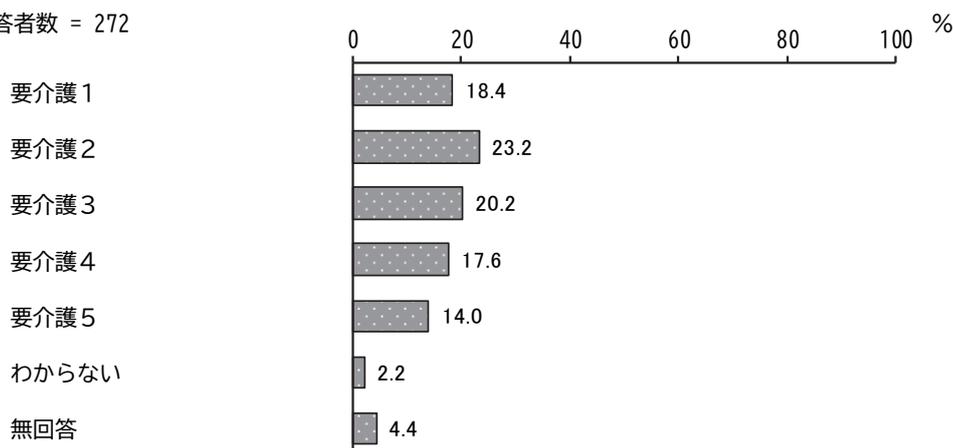
回答者数 = 209



問4. 要介護度は次のどれに該当しますか。(ひとつだけに○)

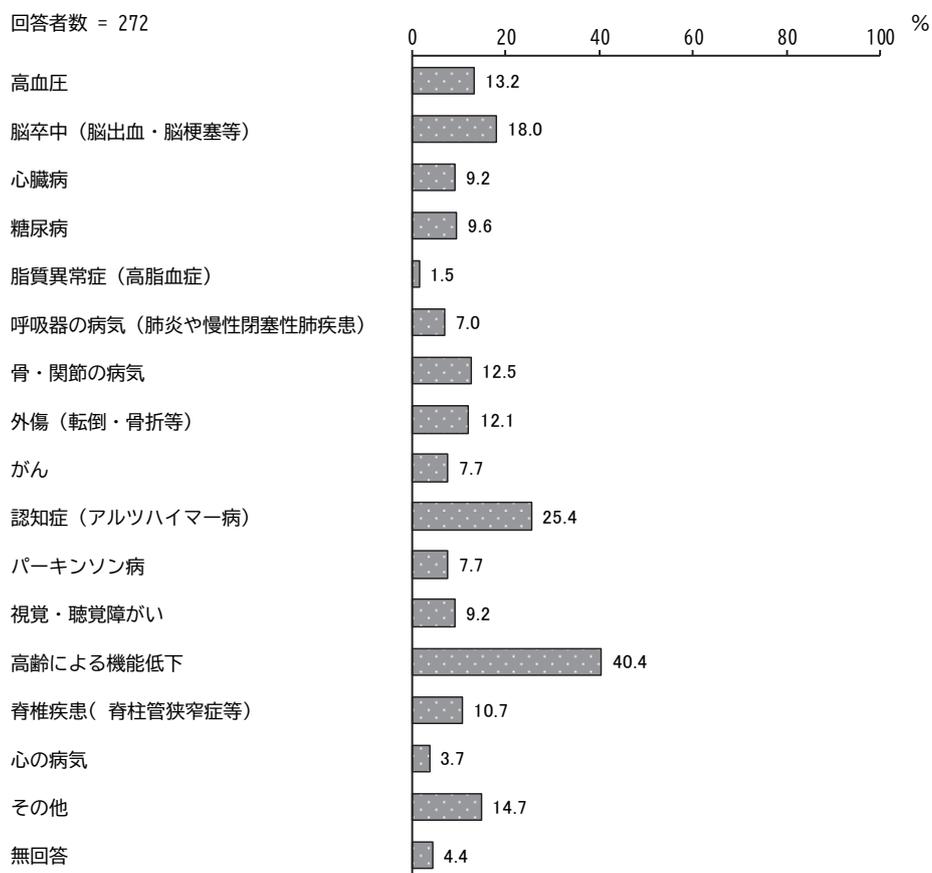
「要介護2」の割合が23.2%と最も高く、次いで「要介護3」の割合が20.2%、「要介護1」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 272



問5. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢による機能低下」の割合が40.4%と最も高く、次いで「認知症（アルツハイマー病）」の割合が25.4%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が18.0%となっています。



【要介護度別】

要介護4で「高齢による機能低下」の割合が、要介護5で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」
「認知症（アルツハイマー病）」の割合が高くなっています。

単位：％

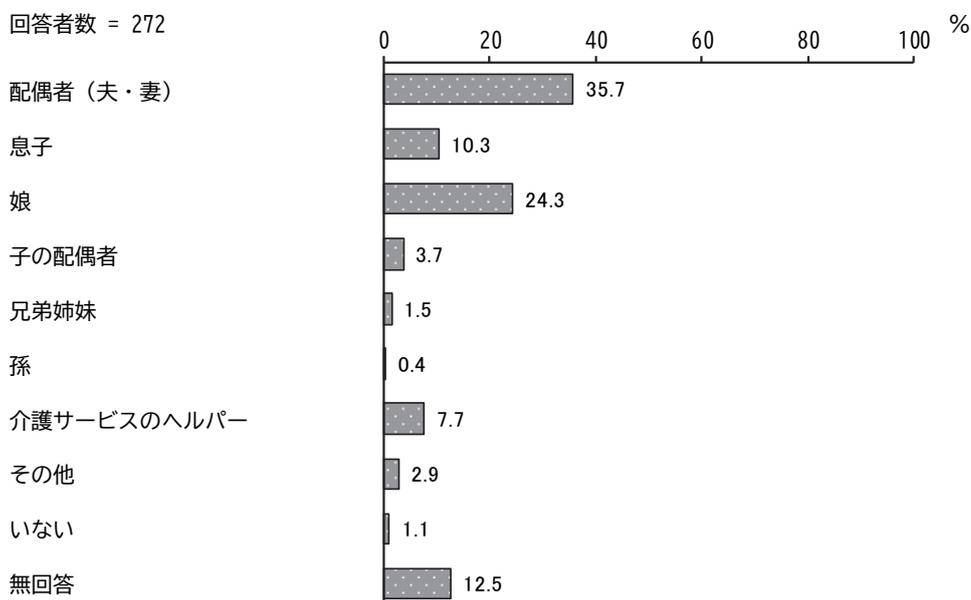
区分	回答者数 (件)	高血圧	脳卒中（脳出 血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	脂質異常症（高 脂血症）	呼吸器の病気 （肺炎や慢性閉 塞性肺疾患）	骨・関節の病気	外傷（転倒・骨 折等）
全 体	272	13.2	18.0	9.2	9.6	1.5	7.0	12.5	12.1
要介護1	50	18.0	18.0	—	12.0	—	6.0	14.0	10.0
要介護2	63	17.5	15.9	9.5	6.3	—	7.9	12.7	11.1
要介護3	55	5.5	16.4	16.4	5.5	1.8	3.6	14.5	10.9
要介護4	48	16.7	18.8	10.4	18.8	6.3	12.5	16.7	14.6
要介護5	38	10.5	26.3	7.9	10.5	—	5.3	2.6	15.8
わからない	6	16.7	16.7	16.7	—	—	—	16.7	—

区分	がん	認知症（アル ツハイマー 病）	パーキンソン 病	視覚・聴覚障 がい	高齢による機 能低下	脊椎疾患（脊 柱管狭窄症等）	心の病気	その他	無回答
全 体	7.7	25.4	7.7	9.2	40.4	10.7	3.7	14.7	4.4
要介護1	6.0	26.0	2.0	14.0	44.0	14.0	4.0	16.0	4.0
要介護2	12.7	22.2	6.3	9.5	38.1	11.1	1.6	22.2	—
要介護3	3.6	27.3	10.9	9.1	34.5	10.9	5.5	14.5	—
要介護4	8.3	31.3	12.5	2.1	50.0	4.2	6.3	12.5	—
要介護5	7.9	31.6	10.5	10.5	42.1	7.9	2.6	10.5	—
わからない	16.7	—	—	33.3	50.0	50.0	—	—	50.0

問6. あなたを介護している人は誰ですか。（ひとつだけに○）

「配偶者（夫・妻）」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「娘」の割合が 24.3%、「息子」の
割合が 10.3%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

配偶者のみ（あなたと二世帯）で「配偶者（夫・妻）」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「娘」の割合が、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「息子」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	妻 配偶者 (夫・	息子	娘	子の 配偶者	兄弟 姉妹	孫	ヘル パー 介護サ ービス の	その他	いな い	無回 答
全 体	272	35.7	10.3	24.3	3.7	1.5	0.4	7.7	2.9	1.1	12.5
ひとり暮らし	48	—	6.3	31.3	2.1	2.1	2.1	29.2	2.1	4.2	20.8
配偶者のみ（あなたと二世帯）	88	76.1	2.3	5.7	2.3	—	—	2.3	2.3	—	9.1
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	18.2	22.7	36.4	4.5	4.5	—	—	—	—	13.6
その他の世帯（同居世帯）	99	20.2	17.2	38.4	5.1	2.0	—	4.0	4.0	—	9.1

【要介護度別】

要介護1で「娘」の割合が、要介護2で「娘」の割合が、要介護5で「配偶者（夫・妻）」の割合が高くなっています。

単位：％

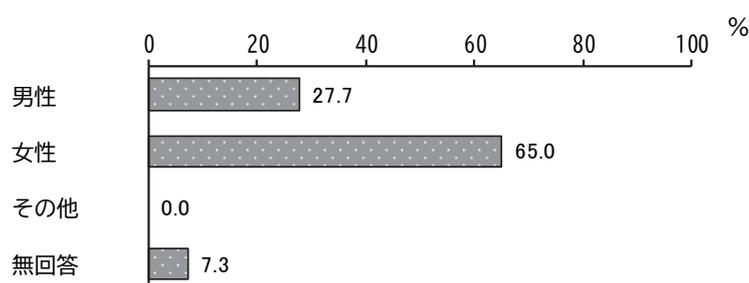
区分	回答者数 (件)	妻 配偶者 (夫・	息子	娘	子の 配偶者	兄弟 姉妹	孫	ヘル パー 介護サ ービス の	その他	いな い	無回 答
全 体	272	35.7	10.3	24.3	3.7	1.5	0.4	7.7	2.9	1.1	12.5
要介護1	50	38.0	8.0	32.0	4.0	—	—	4.0	—	—	14.0
要介護2	63	28.6	11.1	31.7	1.6	1.6	—	11.1	3.2	1.6	9.5
要介護3	55	34.5	16.4	20.0	3.6	—	1.8	7.3	—	1.8	14.5
要介護4	48	41.7	6.3	14.6	2.1	2.1	—	12.5	6.3	—	14.6
要介護5	38	42.1	2.6	23.7	7.9	5.3	—	5.3	7.9	—	5.3
わからない	6	16.7	16.7	50.0	—	—	—	—	—	—	16.7

【問6で「1. 配偶者（夫・妻）」～「6. 孫」と答えた方のみ】

問6-1 主な介護者の性別はどれですか。（ひとつだけに○）

「男性」の割合が 27.7%、「女性」の割合が 65.0%となっています。

回答者数 = 206

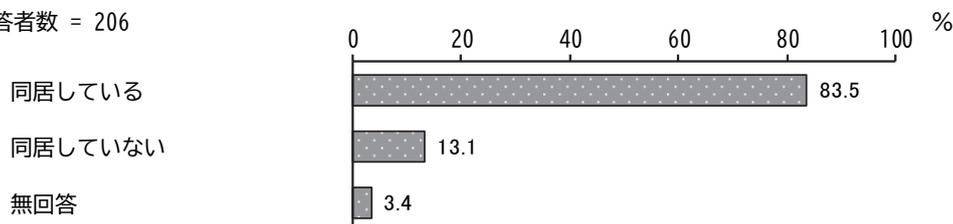


【問6で「1. 配偶者（夫・妻）」～「6. 孫」と答えた方のみ】

問6-2. 主な介護者とは、同居していますか。（ひとつだけに○）

「同居している」の割合が83.5%、「同居していない」の割合が13.1%となっています。

回答者数 = 206

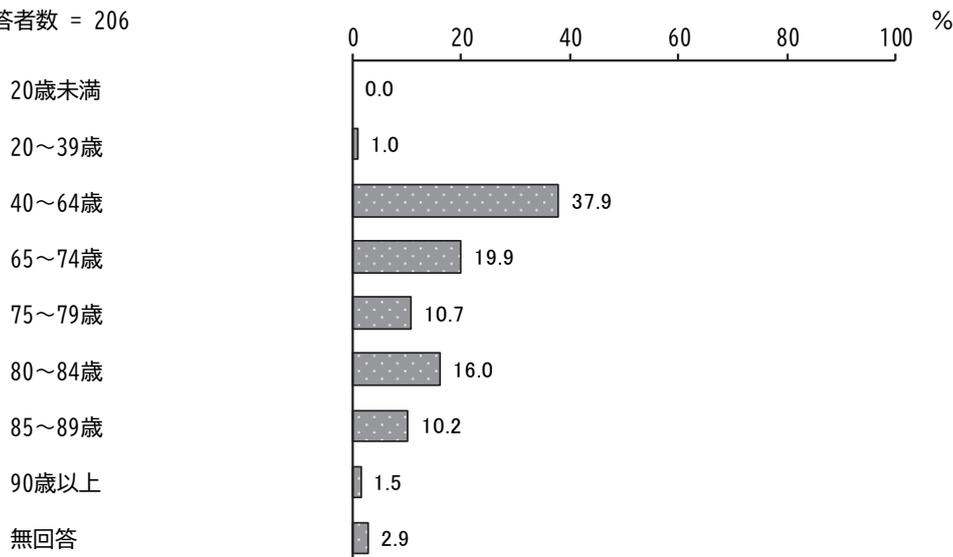


【問6で「1. 配偶者（夫・妻）」～「6. 孫」と答えた方のみ】

問6-3. あなたを主に介護・介助する方の年齢は、次のどれですか。（ひとつだけに○）

「40～64歳」の割合が37.9%と最も高く、次いで「65～74歳」の割合が19.9%、「80～84歳」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 206



【家族構成別】

配偶者以外の65歳以上の方との世帯で「65～74歳」の割合が、ひとり暮らしで「40～64歳」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「40～64歳」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20歳未満	20～39歳	40～64歳	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体	206	—	1.0	37.9	19.9	10.7	16.0	10.2	1.5	2.9
ひとり暮らし	21	—	4.8	66.7	19.0	—	4.8	—	—	4.8
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	76	—	—	13.2	17.1	15.8	31.6	19.7	2.6	—
配偶者以外の65歳以上の方との世帯	19	—	—	—	73.7	5.3	10.5	10.5	—	—
その他の世帯（同居世帯）	82	—	1.2	64.6	11.0	8.5	7.3	1.2	1.2	4.9

【要介護度別】

要介護4で「75～79歳」の割合が、要介護1で「40～64歳」の割合が、要介護5で「80～84歳」の割合が高くなっています。

単位：％

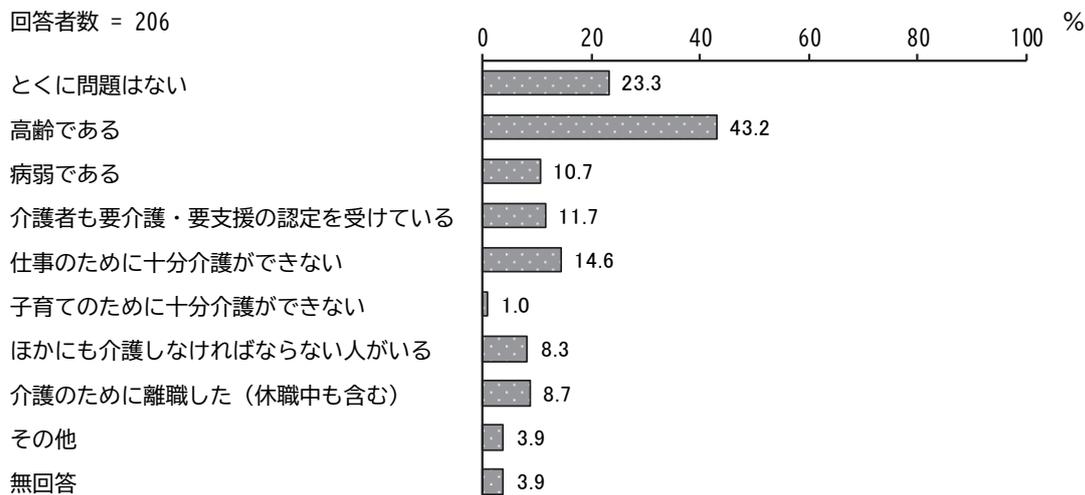
区分	回答者数 (件)	20歳未満	20～39歳	40～64歳	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体	206	—	1.0	37.9	19.9	10.7	16.0	10.2	1.5	2.9
要介護1	41	—	—	48.8	19.5	7.3	14.6	9.8	—	—
要介護2	47	—	—	42.6	17.0	6.4	12.8	12.8	2.1	6.4
要介護3	42	—	4.8	33.3	23.8	9.5	16.7	9.5	—	2.4
要介護4	32	—	—	28.1	18.8	25.0	18.8	3.1	3.1	3.1
要介護5	31	—	—	32.3	19.4	6.5	25.8	16.1	—	—
わからない	5	—	—	60.0	20.0	20.0	—	—	—	—

【問6で「1. 配偶者（夫・妻）」～「6. 孫」と答えた方のみ】

問6-4. 主な介護者の実状についてお知らせください。（あてはまるものすべてに○）

「高齢である」の割合が43.2%と最も高く、次いで「とくに問題はない」の割合が23.3%、「仕事のために十分介護ができない」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 206



【家族構成別】

配偶者のみ（あなたと二世帯）で「高齢である」の割合が、ひとり暮らしで「とくに問題はない」の割合が、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「とくに問題はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とくに問題はない	高齢である	病弱である	介護者も要介護・要支援の認定を受けている	仕事のために十分介護ができない	子育てのために十分介護ができない	ほかにも介護しなければならない人がいる	介護のために離職した (休職中も含む)	その他	無回答
全体	206	23.3	43.2	10.7	11.7	14.6	1.0	8.3	8.7	3.9	3.9
ひとり暮らし	21	42.9	4.8	4.8	—	23.8	4.8	19.0	4.8	9.5	9.5
配偶者のみ (あなたと二世帯)	76	13.2	71.1	18.4	23.7	7.9	—	5.3	3.9	2.6	1.3
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	19	42.1	42.1	5.3	10.5	—	—	10.5	5.3	5.3	—
その他の世帯 (同居世帯)	82	22.0	25.6	4.9	3.7	23.2	1.2	8.5	15.9	3.7	6.1

【要介護度別】

要介護5で「高齢である」の割合が、要介護1で「とくに問題はない」の割合が、要介護4で「病弱である」の割合が高くなっています。

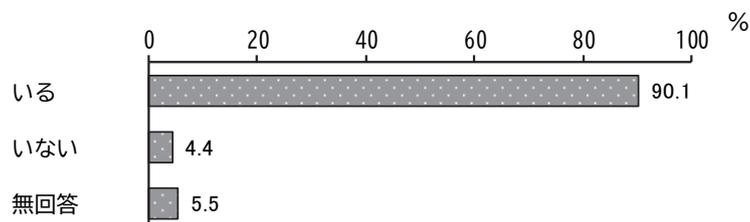
単位：％

区分	回答者数 (件)	とくに問題はない	高齢である	病弱である	介護者も要介護・要支援の認定を受けている	仕事のために十分介護ができない	子育てのために十分介護ができない	ほかにも介護しなければならない人がいる	介護のために離職した (休職中も含む)	その他	無回答
全体	206	23.3	43.2	10.7	11.7	14.6	1.0	8.3	8.7	3.9	3.9
要介護1	41	31.7	34.1	—	7.3	12.2	2.4	4.9	14.6	2.4	2.4
要介護2	47	21.3	40.4	10.6	12.8	17.0	—	6.4	10.6	2.1	6.4
要介護3	42	14.3	45.2	14.3	14.3	19.0	2.4	14.3	9.5	2.4	2.4
要介護4	32	21.9	46.9	18.8	12.5	9.4	—	9.4	6.3	6.3	6.3
要介護5	31	16.1	61.3	12.9	9.7	16.1	—	6.5	3.2	6.5	3.2
わからない	5	60.0	—	—	20.0	20.0	—	—	—	20.0	—

問7. 悩みや心配事の相談できる人はいますか。(ひとつだけに○)

「いる」の割合が 90.1%、「いない」の割合が 4.4%となっています。

回答者数 = 272

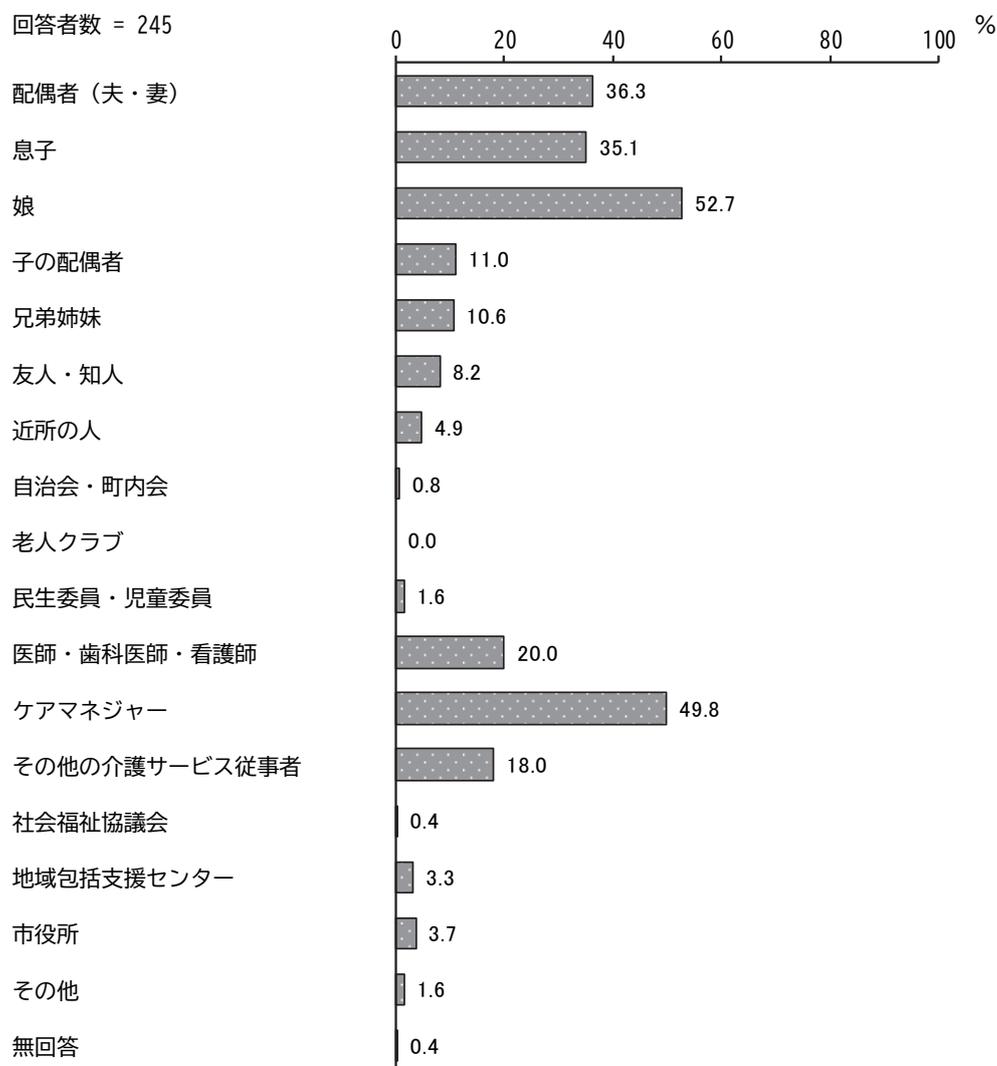


【問7で「1. いる」と答えた方のみ】

問7-1. 相談できる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「娘」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」の割合が 49.8%、「配偶者(夫・妻)」の割合が 36.3%となっています。

回答者数 = 245



【家族構成別】

配偶者のみ（あなたと二世帯）で「配偶者（夫・妻）」の割合が、ひとり暮らしで「ケアマネジャー」「娘」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近所の人	自治会・町内会	老人クラブ	民生委員・児童委員	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	その他の介護サービス従事者	社会福祉協議会	地域包括支援センター	市役所	その他	無回答
全体	245	36.3	35.1	52.7	11.0	10.6	8.2	4.9	0.8	－	1.6	20.0	49.8	18.0	0.4	3.3	3.7	1.6	0.4
ひとり暮らし	42	2.4	28.6	64.3	7.1	11.9	7.1	9.5	－	－	4.8	19.0	69.0	23.8	－	2.4	2.4	2.4	－
配偶者のみ（あなたと二世帯）	84	70.2	31.0	50.0	9.5	11.9	8.3	4.8	1.2	－	－	25.0	47.6	9.5	1.2	3.6	4.8	－	－
配偶者以外の65歳以上の方との世帯	21	14.3	33.3	42.9	9.5	9.5	－	4.8	4.8	－	9.5	28.6	42.9	23.8	－	－	9.5	－	－
その他の世帯（同居世帯）	87	25.3	41.4	54.0	14.9	10.3	10.3	2.3	－	－	－	13.8	47.1	20.7	－	3.4	1.1	2.3	－

【要介護度別】

要介護1で「娘」の割合が、要介護3で「息子」の割合が、要介護5で「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。

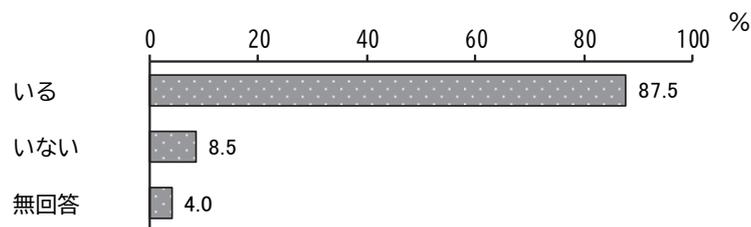
単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近所の人	自治会・町内会	老人クラブ	民生委員・児童委員	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	その他の介護サービス従事者	社会福祉協議会	地域包括支援センター	市役所	その他	無回答
全体	245	36.3	35.1	52.7	11.0	10.6	8.2	4.9	0.8	－	1.6	20.0	49.8	18.0	0.4	3.3	3.7	1.6	0.4
要介護1	45	33.3	31.1	68.9	8.9	11.1	11.1	2.2	－	－	－	11.1	40.0	8.9	－	2.2	－	－	－
要介護2	59	23.7	28.8	54.2	6.8	11.9	5.1	3.4	－	－	1.7	13.6	52.5	23.7	－	1.7	1.7	1.7	1.7
要介護3	50	42.0	48.0	54.0	12.0	10.0	12.0	10.0	4.0	－	2.0	30.0	56.0	16.0	2.0	－	8.0	2.0	－
要介護4	42	45.2	33.3	42.9	14.3	9.5	7.1	4.8	－	－	2.4	21.4	52.4	21.4	－	4.8	2.4	4.8	－
要介護5	34	41.2	32.4	41.2	17.6	14.7	8.8	5.9	－	－	－	32.4	58.8	20.6	－	8.8	5.9	－	－
わからない	6	50.0	16.7	83.3	－	－	－	－	－	－	－	－	16.7	－	－	－	－	－	－

問8. 何かあった時に家事を手伝ってくれる人がいますか。(ひとつだけに○)

「いる」の割合が87.5%、「いない」の割合が8.5%となっています。

回答者数 = 272

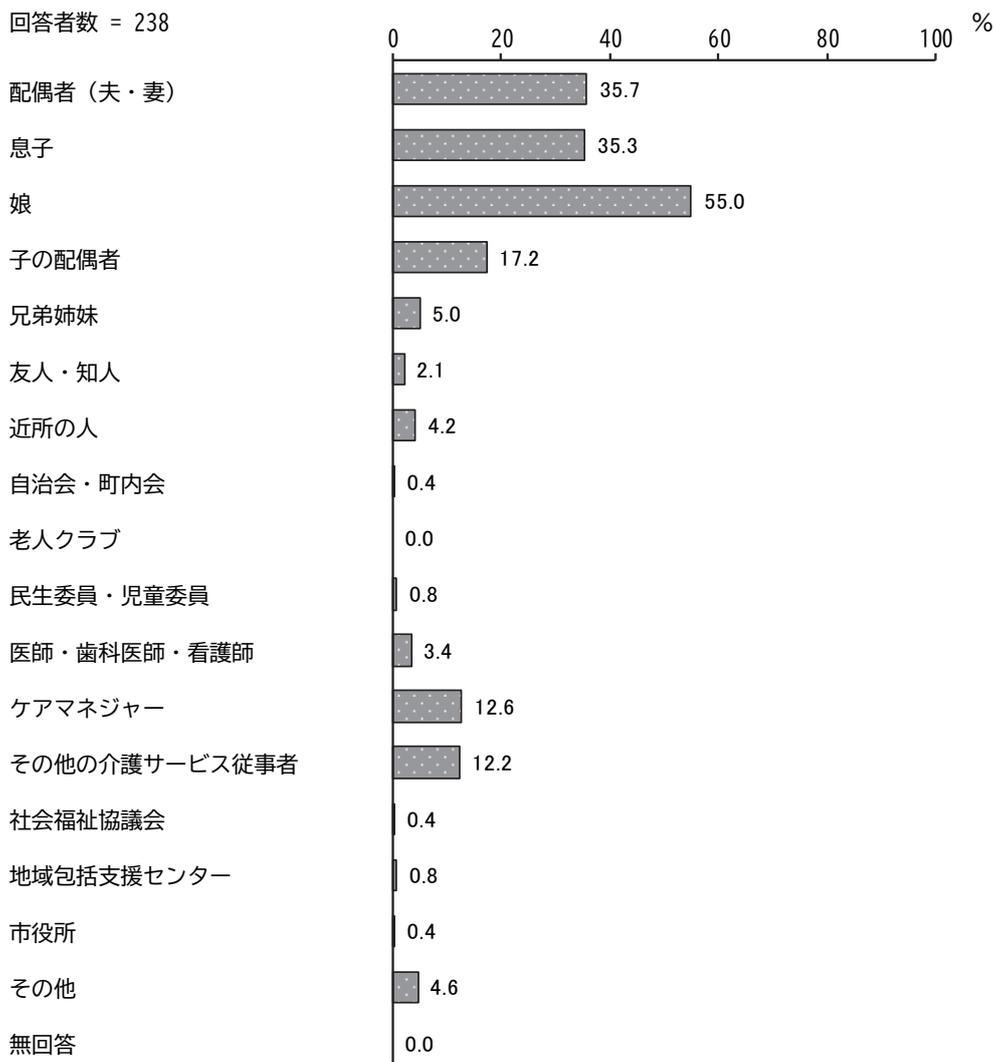


【問8で「1. いる」と答えた方のみ】

問8-1. 手伝ってくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「娘」の割合が55.0%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」の割合が35.7%、「息子」の割合が35.3%となっています。

回答者数 = 238



【家族構成別】

配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「配偶者（夫・妻）」の割合が、ひとり暮らしで「その他の介護サービス従事者」「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近所の人	自治会・町内会	老人クラブ	民生委員・児童委員	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	その他の介護サービス従事者	社会福祉協議会	地域包括支援センター	市役所	その他	無回答
全 体	238	35.7	35.3	55.0	17.2	5.0	2.1	4.2	0.4	-	0.8	3.4	12.6	12.2	0.4	0.8	0.4	4.6	-
ひとり暮らし	39	2.6	23.1	56.4	10.3	5.1	5.1	7.7	2.6	-	5.1	7.7	23.1	35.9	2.6	-	-	10.3	-
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	75	70.7	33.3	52.0	18.7	6.7	2.7	8.0	-	-	-	1.3	13.3	10.7	-	2.7	-	2.7	-
配偶者以外の65歳以上の方との世帯	21	23.8	33.3	61.9	9.5	9.5	-	-	-	-	-	9.5	14.3	4.8	-	-	-	-	-
その他の世帯（同居世帯）	93	25.8	44.1	55.9	21.5	3.2	1.1	1.1	-	-	-	1.1	5.4	2.2	-	-	1.1	3.2	-

【要介護度別】

要介護4で「配偶者（夫・妻）」の割合が、要介護3で「息子」の割合が、要介護1で「娘」の割合が高くなっています。

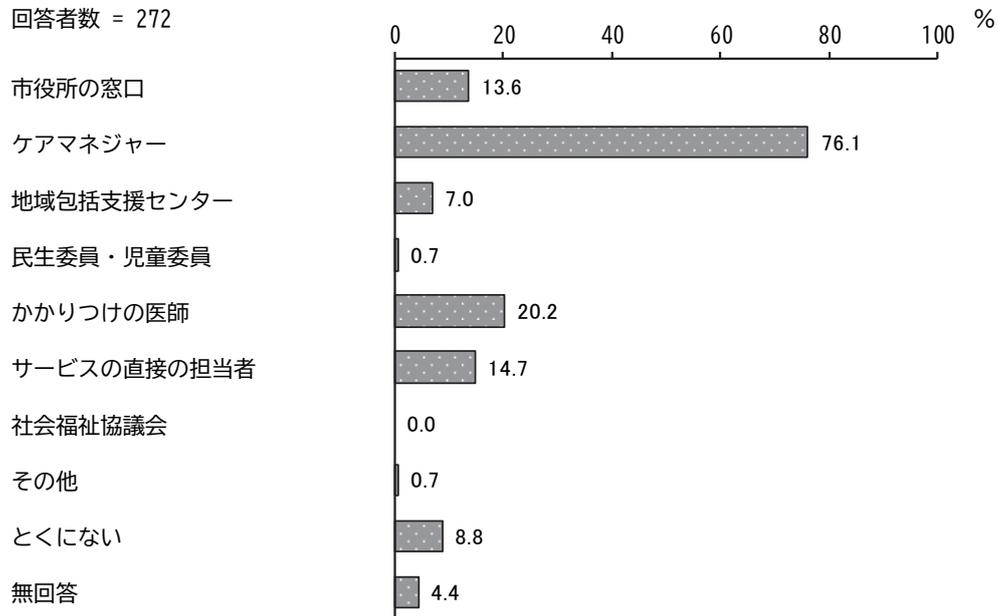
単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近所の人	自治会・町内会	老人クラブ	民生委員・児童委員	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	その他の介護サービス従事者	社会福祉協議会	地域包括支援センター	市役所	その他	無回答
全 体	238	35.7	35.3	55.0	17.2	5.0	2.1	4.2	0.4	-	0.8	3.4	12.6	12.2	0.4	0.8	0.4	4.6	-
要介護1	48	35.4	29.2	64.6	14.6	4.2	4.2	6.3	2.1	-	2.1	6.3	12.5	4.2	2.1	2.1	-	2.1	-
要介護2	54	16.7	27.8	61.1	18.5	7.4	-	3.7	-	-	-	3.7	18.5	20.4	-	-	1.9	3.7	-
要介護3	46	43.5	45.7	52.2	19.6	-	4.3	8.7	-	-	2.2	-	15.2	13.0	-	2.2	-	4.3	-
要介護4	42	47.6	42.9	42.9	16.7	2.4	2.4	-	-	-	-	2.4	11.9	16.7	-	-	-	4.8	-
要介護5	33	42.4	30.3	48.5	21.2	15.2	-	3.0	-	-	-	6.1	3.0	6.1	-	-	-	9.1	-
わからない	5	40.0	40.0	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問9. 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー」の割合が76.1%と最も高く、次いで「かかりつけの医師」の割合が20.2%、「サービスの直接の担当者」の割合が14.7%となっています。

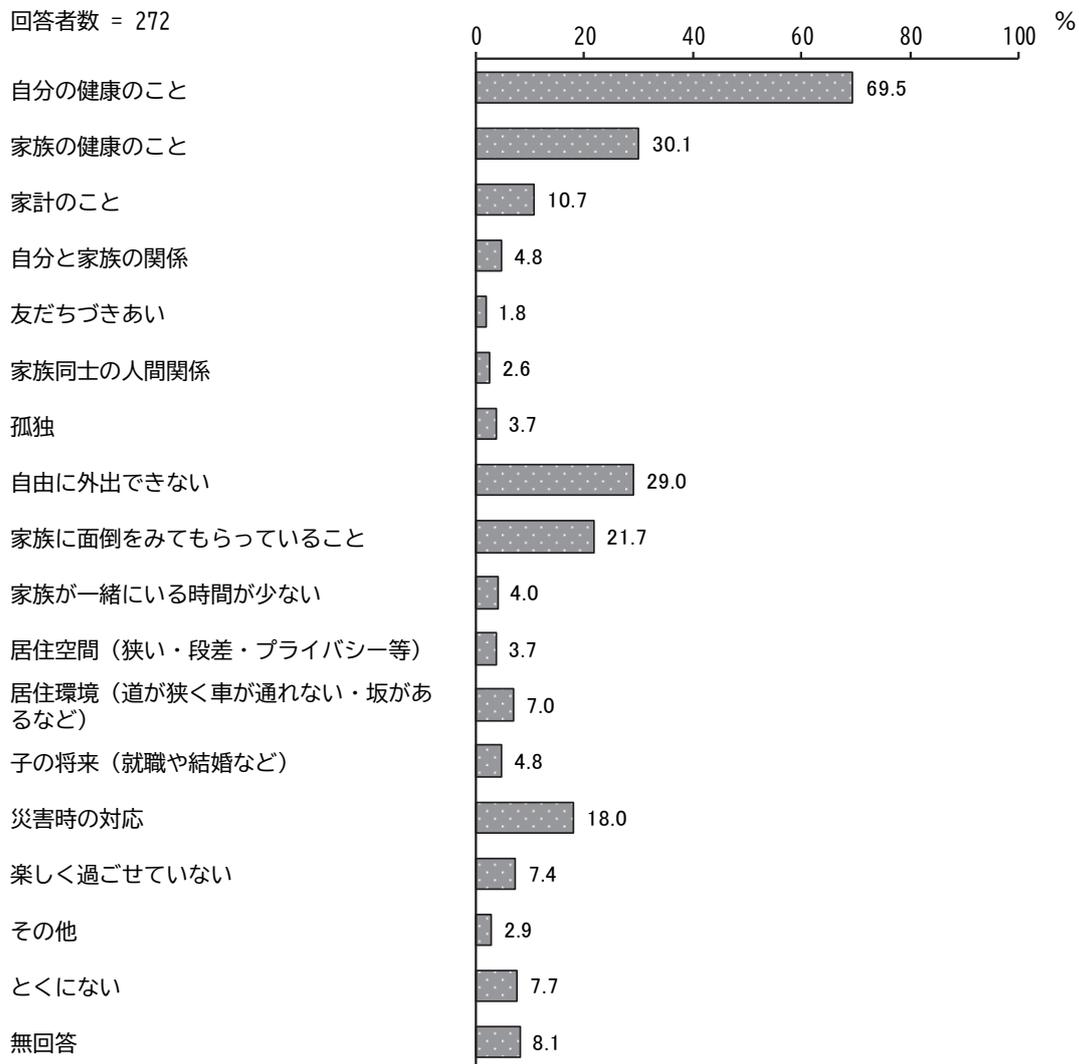
回答者数 = 272



問 10. 現在心配なこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の健康のこと」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「家族の健康のこと」の割合が 30.1%、「自由に外出できない」の割合が 29.0%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

配偶者のみ（あなたと二世帯）で「家族の健康のこと」の割合が、ひとり暮らしで「災害時の対応」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「家族に面倒をみてもらっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	家計のこと	自分と家族の関係	友だちつきあい	家族同士の人間関係	孤独	自由に外出できない	と家族に面倒をみてもらっていること
全 体	272	69.5	30.1	10.7	4.8	1.8	2.6	3.7	29.0	21.7
ひとり暮らし	48	68.8	12.5	6.3	2.1	4.2	2.1	14.6	29.2	14.6
配偶者のみ（あなたと二世帯）	88	72.7	43.2	17.0	8.0	1.1	1.1	2.3	29.5	21.6
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	63.6	36.4	9.1	4.5	—	—	—	27.3	13.6
その他の世帯（同居世帯）	99	70.7	27.3	6.1	2.0	2.0	4.0	—	31.3	28.3

区分	家族が一緒にいる時間が少ない	居住空間（狭い・段差・プライバシー等）	居住環境（道が狭く車が通れない・坂があるなど）	子の将来（就職や結婚など）	災害時の対応	楽しく過ごせていない	その他	とくにない	無回答
全 体	4.0	3.7	7.0	4.8	18.0	7.4	2.9	7.7	8.1
ひとり暮らし	6.3	2.1	10.4	2.1	25.0	12.5	2.1	4.2	14.6
配偶者のみ（あなたと二世帯）	1.1	3.4	5.7	2.3	23.9	8.0	3.4	5.7	3.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	9.1	—	13.6	—	9.1	4.5	9.1	18.2	9.1
その他の世帯（同居世帯）	4.0	6.1	6.1	9.1	13.1	4.0	2.0	6.1	9.1

【要介護度別】

要介護3で「家族に面倒をみてもらっていること」「家族の健康のこと」の割合が、要介護5で「自分の健康のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

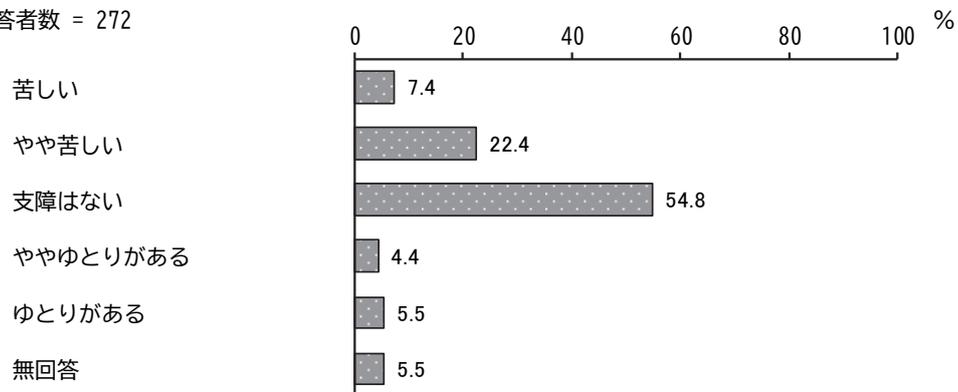
区分	回答者数(件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	家計のこと	自分と家族の関係	友だちづきあい	家族同士の人間関係	孤独	自由に外出できない	家族に面倒をみてもらっていること
全体	272	69.5	30.1	10.7	4.8	1.8	2.6	3.7	29.0	21.7
要介護1	50	70.0	26.0	6.0	2.0	2.0	—	6.0	22.0	12.0
要介護2	63	68.3	30.2	9.5	6.3	1.6	6.3	4.8	31.7	15.9
要介護3	55	72.7	38.2	14.5	5.5	1.8	3.6	3.6	32.7	32.7
要介護4	48	62.5	31.3	14.6	6.3	2.1	—	2.1	29.2	27.1
要介護5	38	78.9	28.9	13.2	2.6	2.6	2.6	—	34.2	26.3
わからない	6	66.7	33.3	—	—	—	—	16.7	16.7	—

区分	家族が一緒にいる時間が少ない	居住空間(狭い・段差・プライバシー等)	居住環境(道が狭く車が通れない・坂があるなど)	子の将来(就職や結婚など)	災害時の対応	楽しく過ごせていない	その他	とくにな	無回答
全体	4.0	3.7	7.0	4.8	18.0	7.4	2.9	7.7	8.1
要介護1	2.0	4.0	6.0	6.0	14.0	8.0	4.0	8.0	4.0
要介護2	1.6	3.2	9.5	1.6	20.6	11.1	—	6.3	9.5
要介護3	3.6	5.5	7.3	9.1	16.4	7.3	7.3	5.5	5.5
要介護4	8.3	4.2	4.2	2.1	18.8	2.1	4.2	8.3	14.6
要介護5	5.3	2.6	7.9	5.3	21.1	5.3	—	7.9	5.3
わからない	—	—	—	16.7	33.3	16.7	—	16.7	—

問 11. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(ひとつだけに○)

「支障はない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 22.4%となっています。

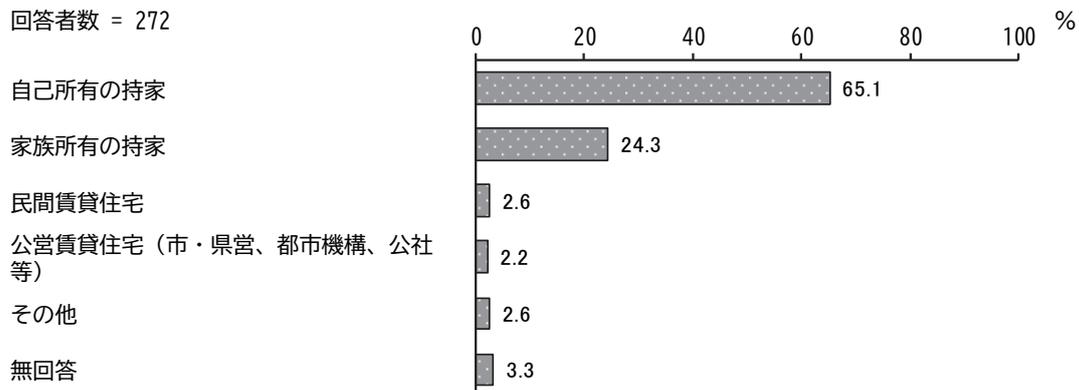
回答者数 = 272



問 12. お住まいはどれにあてはまりますか。(ひとつだけに○)

「自己所有の持家」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「家族所有の持家」の割合が 24.3%となっています。

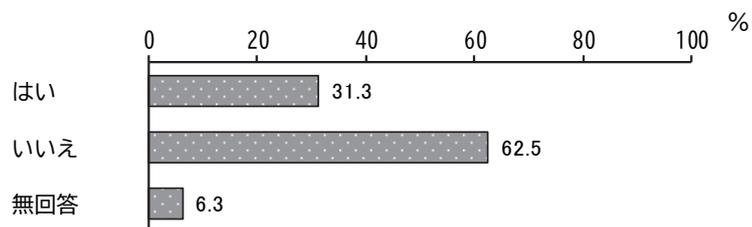
回答者数 = 272



問 13. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(ひとつだけに○)

「はい」の割合が31.3%、「いいえ」の割合が62.5%となっています。

回答者数 = 272

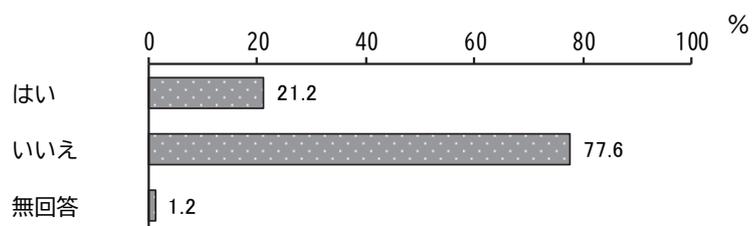


【問 13 で「1. はい」と答えた方のみ】

問 13-1. お住まいにエレベーター・昇降機は設置されていますか。
(ひとつだけに○)

「はい」の割合が21.2%、「いいえ」の割合が77.6%となっています。

回答者数 = 85

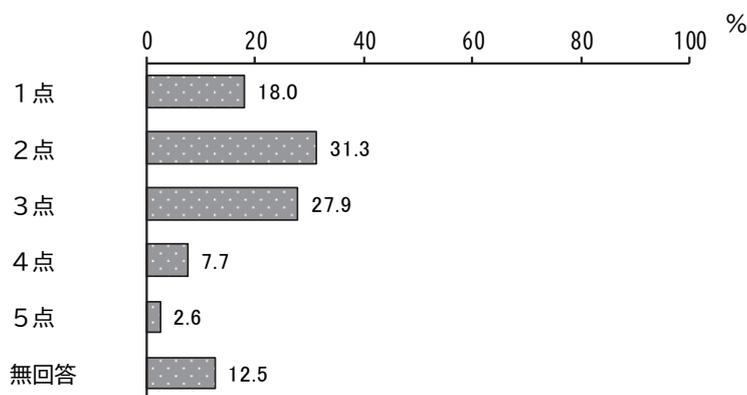


(2) 健康状態について

問 14. あなたは、現在ご自分がどの程度健康であると思いますか。（「健康でない」を1点、「非常に健康」を5点として、点数を囲んでください）

「2点」の割合が31.3%と最も高く、次いで「3点」の割合が27.9%、「1点」の割合が18.0%となっています。

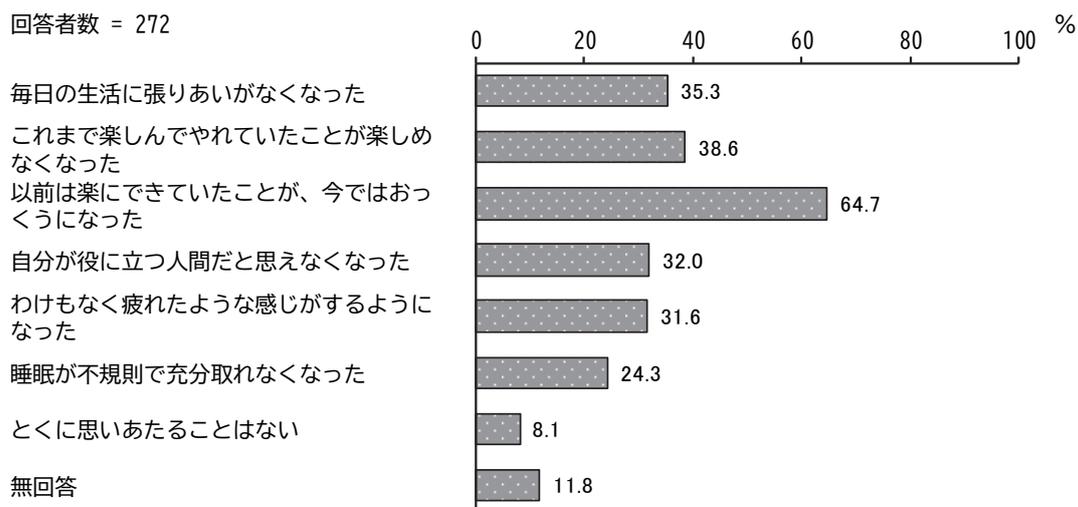
回答者数 = 272



問 15. 健康状態について思いあたるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」の割合が64.7%と最も高く、次いで「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」の割合が38.6%、「毎日の生活に張りあいなくなった」の割合が35.3%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

ひとり暮らしで「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」「睡眠が不規則で充分取れなくなった」の割合が、配偶者以外の65歳以上の方との世帯で「睡眠が不規則で充分取れなくなった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日の生活に張りあいがなくなった	これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった	自分が役に立つ人間だと思えなくなった	わけもなく疲れたような感じがするようになった	睡眠が不規則で充分取れなくなった	とくに思いあたることはない	無回答
全体	272	35.3	38.6	64.7	32.0	31.6	24.3	8.1	11.8
ひとり暮らし	48	37.5	37.5	81.3	35.4	37.5	35.4	4.2	10.4
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	88	39.8	45.5	60.2	31.8	28.4	22.7	8.0	12.5
配偶者以外の65歳以上の方との世帯	22	27.3	36.4	59.1	18.2	31.8	31.8	4.5	18.2
その他の世帯(同居世帯)	99	33.3	33.3	61.6	32.3	30.3	19.2	10.1	10.1

【要介護度別】

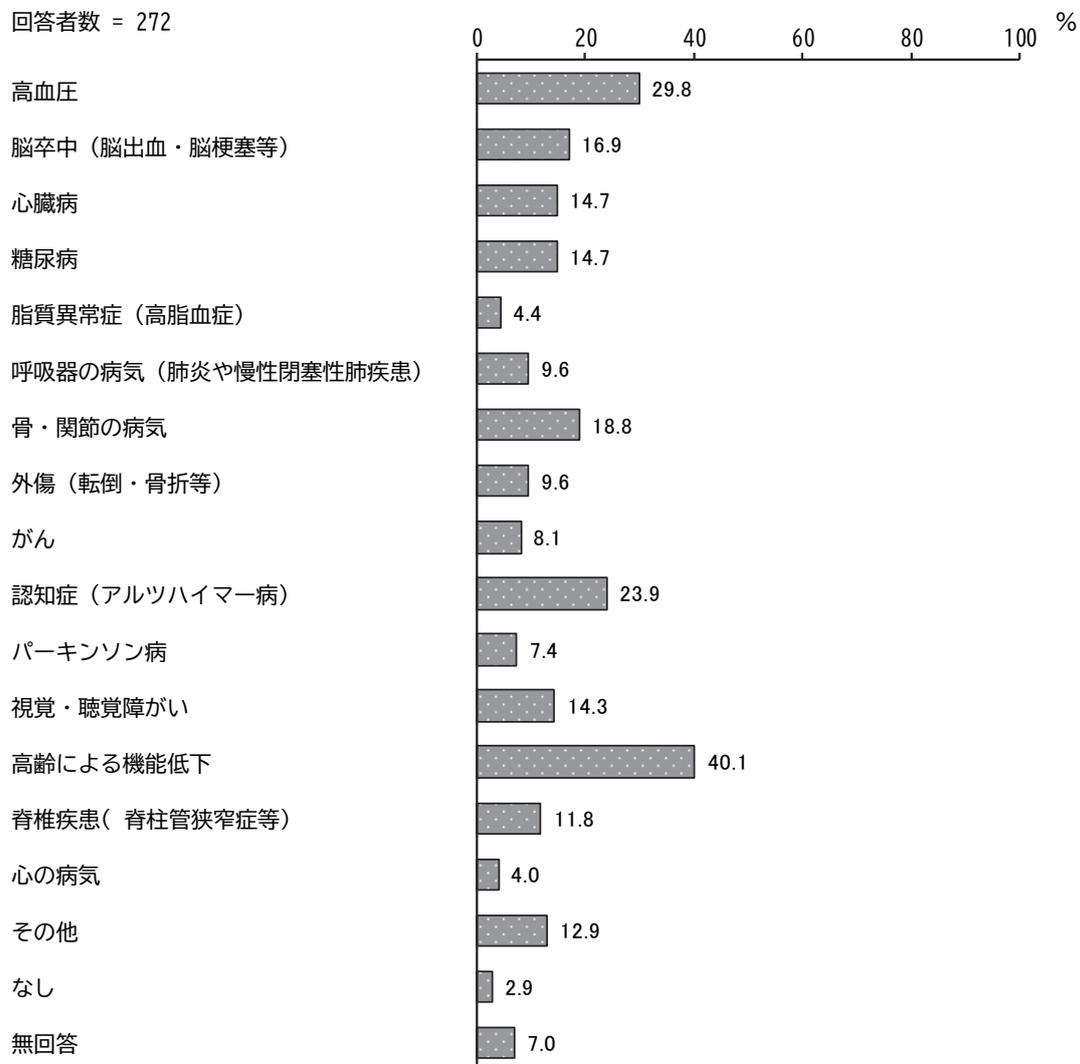
要介護2で「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」の割合が、要介護1で「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日の生活に張りあいがなくなった	これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった	自分が役に立つ人間だと思えなくなった	わけもなく疲れたような感じがするようになった	睡眠が不規則で充分取れなくなった	とくに思いあたることはない	無回答
全体	272	35.3	38.6	64.7	32.0	31.6	24.3	8.1	11.8
要介護1	50	38.0	38.0	74.0	34.0	28.0	28.0	6.0	6.0
要介護2	63	31.7	49.2	74.6	39.7	39.7	22.2	1.6	7.9
要介護3	55	43.6	45.5	72.7	34.5	34.5	29.1	7.3	10.9
要介護4	48	37.5	33.3	56.3	27.1	33.3	18.8	8.3	20.8
要介護5	38	28.9	28.9	34.2	18.4	13.2	23.7	15.8	18.4
わからない	6	16.7	16.7	66.7	33.3	50.0	33.3	33.3	—

問 16. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「高齢による機能低下」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「高血圧」の割合が 29.8%、「認知症（アルツハイマー病）」の割合が 23.9%となっています。



【家族構成別】

ひとり暮らしで「骨・関節の病気」の割合が、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「高齢による機能低下」「認知症（アルツハイマー病）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	脂質異常症 (高脂血症)	呼吸器の病気 (肺炎や慢性閉 塞性肺疾患)	骨・関節の病気	外傷 (転倒・骨折等)	がん
全 体	272	29.8	16.9	14.7	14.7	4.4	9.6	18.8	9.6	8.1
ひとり暮らし	48	29.2	2.1	14.6	16.7	8.3	6.3	35.4	18.8	4.2
配偶者のみ (あなたと 二人世帯)	88	25.0	21.6	12.5	14.8	4.5	12.5	17.0	5.7	4.5
配偶者以外の 65 歳以 上の方との世帯	22	36.4	9.1	18.2	4.5	4.5	18.2	18.2	4.5	—
その他の世帯 (同居世 帯)	99	33.3	23.2	15.2	14.1	3.0	7.1	13.1	7.1	13.1

区分	認知症 (アルツハイマー病)	パーキンソン病	視覚・聴覚障がい	高齢による機能低下	脊椎疾患 (脊柱管狭窄症等)	心の病気	その他	なし	無回答
全 体	23.9	7.4	14.3	40.1	11.8	4.0	12.9	2.9	7.0
ひとり暮らし	25.0	2.1	12.5	47.9	16.7	4.2	18.8	2.1	8.3
配偶者のみ (あなたと 二人世帯)	22.7	6.8	19.3	34.1	13.6	2.3	10.2	1.1	10.2
配偶者以外の 65 歳以 上の方との世帯	31.8	4.5	9.1	50.0	4.5	—	13.6	—	13.6
その他の世帯 (同居世 帯)	22.2	11.1	13.1	38.4	10.1	7.1	14.1	5.1	2.0

【要介護度別】

要介護2で「高血圧」の割合が、要介護3で「心臓病」の割合が、要介護1で「脊椎疾患(脊柱管狭窄症等)」の割合が高くなっています。

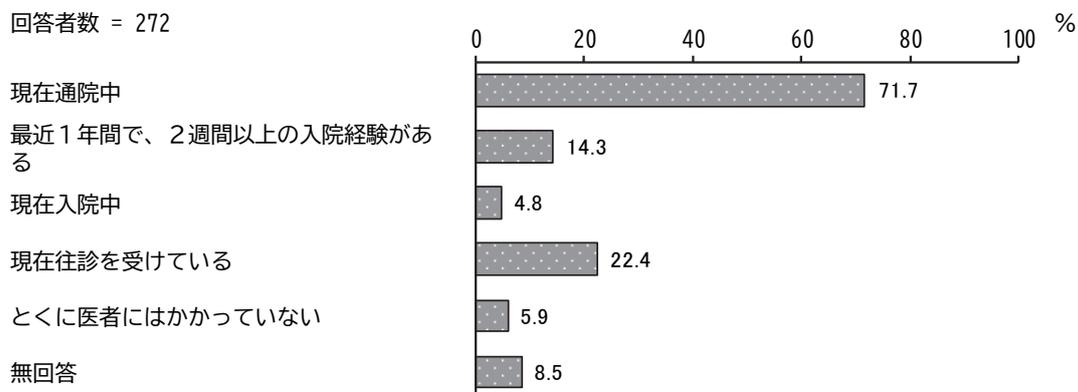
単位：%

区分	回答者数(件)	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	脂質異常症(高脂血症)	呼吸器の病気(肺炎や慢性閉塞性肺疾患)	骨・関節の病気	外傷(転倒・骨折等)	がん
全体	272	29.8	16.9	14.7	14.7	4.4	9.6	18.8	9.6	8.1
要介護1	50	28.0	14.0	4.0	16.0	6.0	8.0	16.0	6.0	10.0
要介護2	63	42.9	17.5	15.9	19.0	4.8	11.1	23.8	9.5	11.1
要介護3	55	23.6	16.4	25.5	10.9	5.5	9.1	21.8	16.4	3.6
要介護4	48	29.2	20.8	18.8	16.7	6.3	12.5	14.6	8.3	6.3
要介護5	38	15.8	18.4	10.5	10.5	—	2.6	10.5	5.3	10.5
わからない	6	33.3	16.7	—	—	—	16.7	50.0	16.7	16.7

区分	認知症(アルツハイマー病)	パーキンソン病	視覚・聴覚障がい	高齢による機能低下	脊椎疾患(脊柱管狭窄症等)	心の病気	その他	なし	無回答
全体	23.9	7.4	14.3	40.1	11.8	4.0	12.9	2.9	7.0
要介護1	30.0	2.0	20.0	44.0	18.0	4.0	10.0	6.0	6.0
要介護2	19.0	4.8	17.5	31.7	14.3	3.2	11.1	1.6	7.9
要介護3	25.5	9.1	14.5	38.2	14.5	5.5	18.2	1.8	3.6
要介護4	29.2	12.5	8.3	43.8	2.1	6.3	12.5	2.1	6.3
要介護5	23.7	10.5	10.5	36.8	2.6	2.6	15.8	2.6	10.5
わからない	—	—	16.7	66.7	50.0	—	16.7	—	—

問 17. 入院・通院状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

「現在通院中」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「現在往診を受けている」の割合が 22.4%、「最近 1 年間で、2 週間以上の入院経験がある」の割合が 14.3%となっています。



【家族構成別】

その他の世帯（同居世帯）で「現在往診を受けている」の割合が、ひとり暮らしで「現在通院中」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在通院中	最近1年間で、2週間以上の入院経験がある	現在入院中	現在往診を受けている	とくに医者にはかかっていない	無回答
全 体	272	71.7	14.3	4.8	22.4	5.9	8.5
ひとり暮らし	48	79.2	12.5	2.1	16.7	4.2	8.3
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	71.6	14.8	5.7	18.2	4.5	12.5
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	45.5	9.1	—	22.7	18.2	18.2
その他の世帯（同居世帯）	99	72.7	16.2	7.1	31.3	4.0	2.0

【要介護度別】

要介護5で「現在往診を受けている」の割合が、要介護1で「現在通院中」の割合が、要介護4で「現在往診を受けている」の割合が高くなっています。

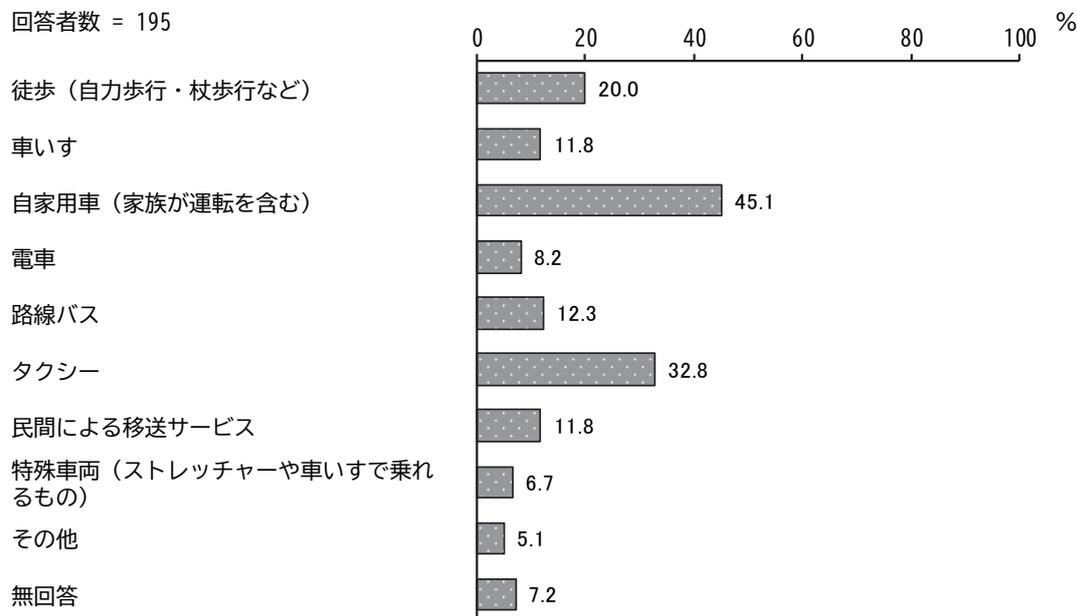
単位：%

区分	回答者数 (件)	現在通院中	最近1年間で、2週間以上の入院経験がある	現在入院中	現在往診を受けている	とくに医者にはかかっていない	無回答
全 体	272	71.7	14.3	4.8	22.4	5.9	8.5
要介護1	50	84.0	8.0	—	18.0	10.0	4.0
要介護2	63	82.5	11.1	3.2	11.1	7.9	6.3
要介護3	55	78.2	23.6	1.8	23.6	5.5	5.5
要介護4	48	68.8	10.4	8.3	33.3	2.1	6.3
要介護5	38	34.2	13.2	15.8	36.8	—	21.1
わからない	6	50.0	33.3	—	16.7	16.7	16.7

【問 17 で「1. 現在通院中」と答えた方のみ】

問 17-1. どのような方法で通院していますか。(あてはまるものすべてに○)

「自家用車（家族が運転を含む）」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が 32.8%、「徒歩（自力歩行・杖歩行など）」の割合が 20.0%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「車いす」「自家用車（家族が運転を含む）」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「自家用車（家族が運転を含む）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	徒歩 (自力歩行・杖歩行など)	車いす	自家用車 (家族が運転を含む)	電車	路線バス	タクシー	民間による移送サービス	特殊車両 (ストレッチャーや車いすで乗れるもの)	その他	無回答
全 体	195	20.0	11.8	45.1	8.2	12.3	32.8	11.8	6.7	5.1	7.2
ひとり暮らし	38	18.4	5.3	31.6	5.3	10.5	39.5	15.8	5.3	7.9	13.2
配偶者のみ (あなたと二人世帯)	63	25.4	4.8	38.1	9.5	14.3	34.9	9.5	7.9	6.3	4.8
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	10	10.0	50.0	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	—	10.0
その他の世帯 (同居世帯)	72	16.7	16.7	56.9	5.6	9.7	31.9	12.5	5.6	2.8	5.6

【要介護度別】

要介護5で「自家用車（家族が運転を含む）」「車いす」の割合が、要介護3で「車いす」の割合が高くなっています。

単位：％

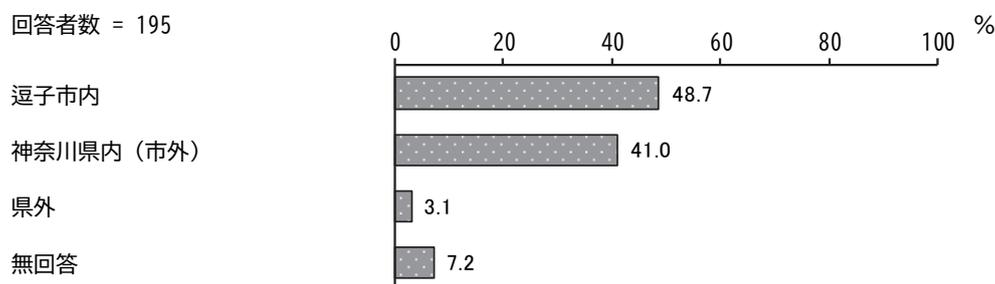
区分	回答者数(件)	徒歩(自力歩行・杖歩行など)	車いす	自家用車(家族が運転を含む)	電車	路線バス	タクシー	民間による移送サービス	特殊車両(ストレッチャーや車いすで乗れるもの)	その他	無回答
全体	195	20.0	11.8	45.1	8.2	12.3	32.8	11.8	6.7	5.1	7.2
要介護1	42	26.2	4.8	40.5	9.5	19.0	38.1	2.4	—	2.4	9.5
要介護2	52	23.1	5.8	46.2	5.8	13.5	34.6	17.3	1.9	7.7	5.8
要介護3	43	27.9	23.3	55.8	9.3	7.0	32.6	11.6	—	2.3	4.7
要介護4	33	3.0	12.1	36.4	6.1	9.1	27.3	15.2	24.2	12.1	6.1
要介護5	13	—	23.1	61.5	7.7	7.7	23.1	15.4	23.1	—	7.7
わからない	3	100.0	—	—	33.3	66.7	66.7	—	—	—	—

【問17で「1. 現在通院中」と答えた方のみ】

問17-2. 通院しているところはどこですか。(ひとつだけに○)

「逗子市内」の割合が48.7%と最も高く、次いで「神奈川県内(市外)」の割合が41.0%となっています。

回答者数 = 195

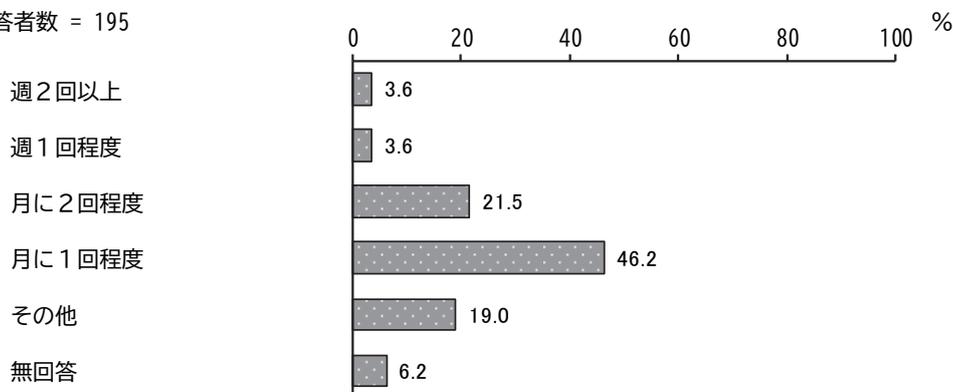


【問 17 で「1. 現在通院中」と答えた方のみ】

問 17-3. 通院の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

「月に1回程度」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「月に2回程度」の割合が 21.5%となっています。

回答者数 = 195

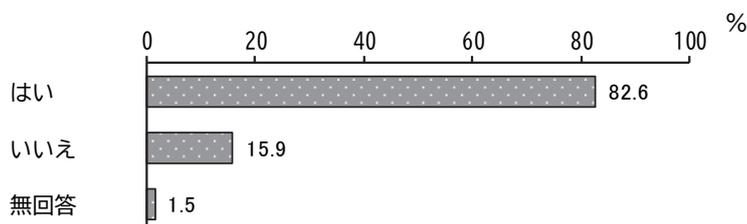


【問 17 で「1. 現在通院中」と答えた方のみ】

問 17-4. 通院に介助が必要ですか。(ひとつだけに○)

「はい」の割合が 82.6%、「いいえ」の割合が 15.9%となっています。

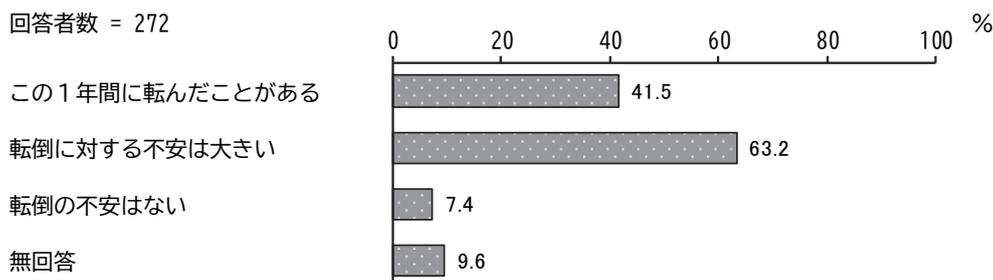
回答者数 = 195



問 18. 転倒について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものに○)

「転倒に対する不安は大きい」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「この1年間に転んだことがある」の割合が 41.5%となっています。

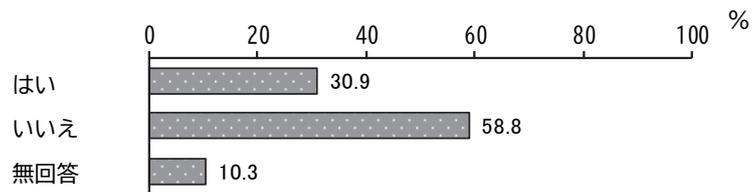
回答者数 = 272



問 19. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(どちらかに○)

「はい」の割合が30.9%、「いいえ」の割合が58.8%となっています。

回答者数 = 272

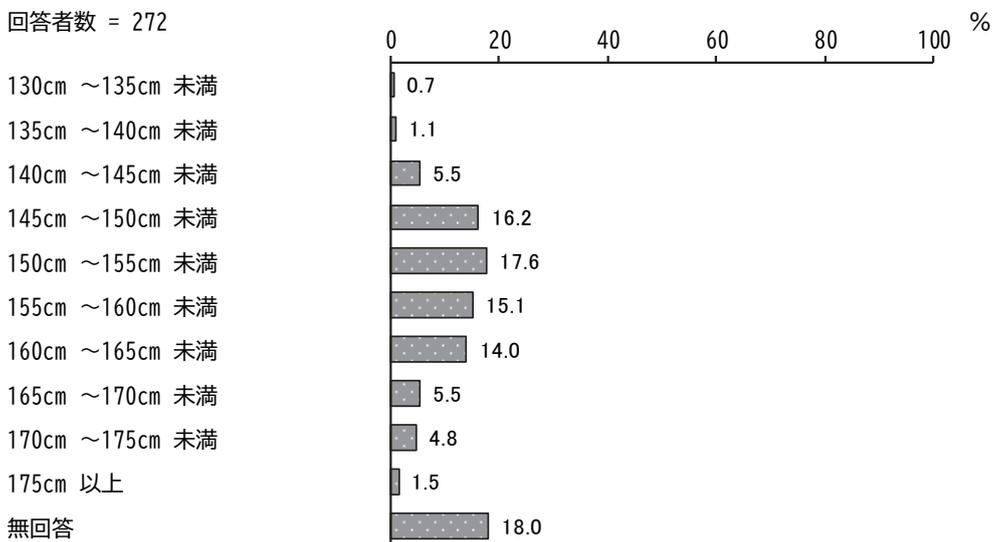


問 20. あなたの身長と体重を教えてください。(整数でお答えください。)

身長

「150cm～155cm未満」の割合が17.6%と最も高く、次いで「145cm～150cm未満」の割合が16.2%、「155cm～160cm未満」の割合が15.1%となっています。

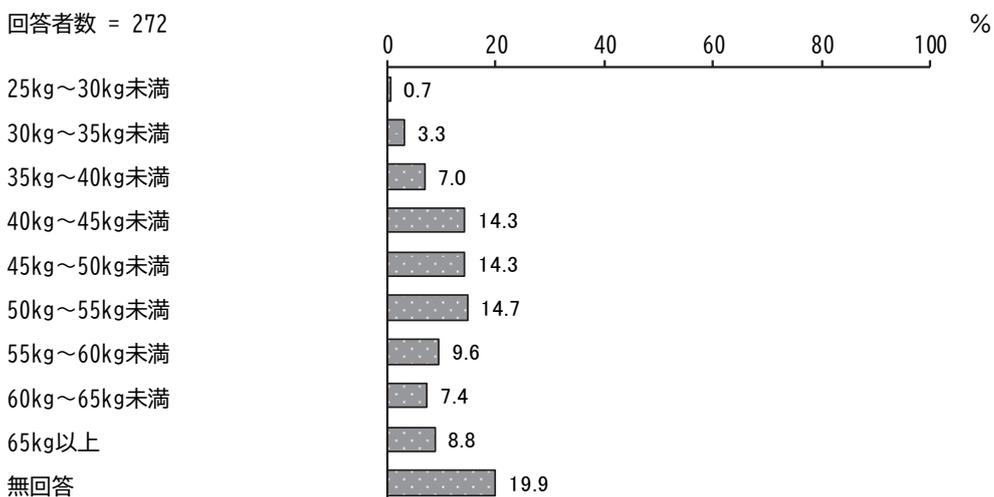
回答者数 = 272



体重

「50kg～55kg未満」の割合が14.7%と最も高く、次いで「40kg～45kg未満」、「45kg～50kg未満」の割合が14.3%となっています。

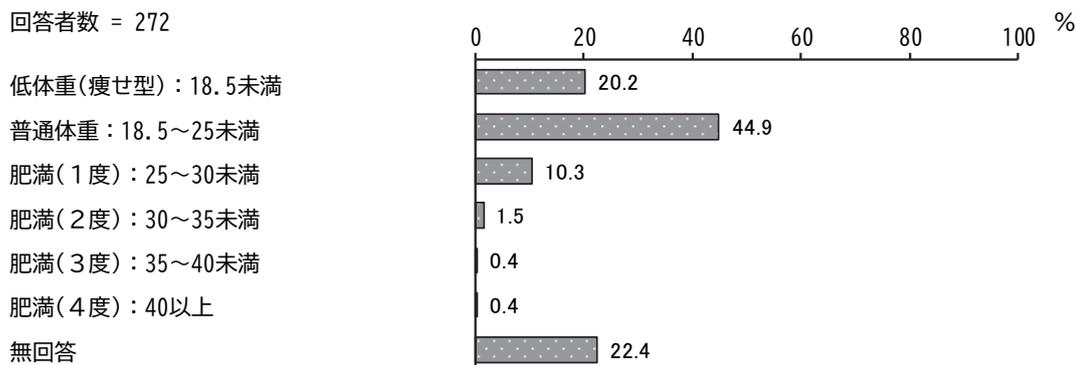
回答者数 = 272



BMI：身長と体重から回答者のBMIを計算（BMI＝体重Kg÷（身長m）×（身長m））

「普通体重：18.5～25未満」の割合が44.9%と最も高く、次いで「低体重(痩せ型)：18.5未満」の割合が20.2%、「肥満(1度)：25～30未満」の割合が10.3%となっています。

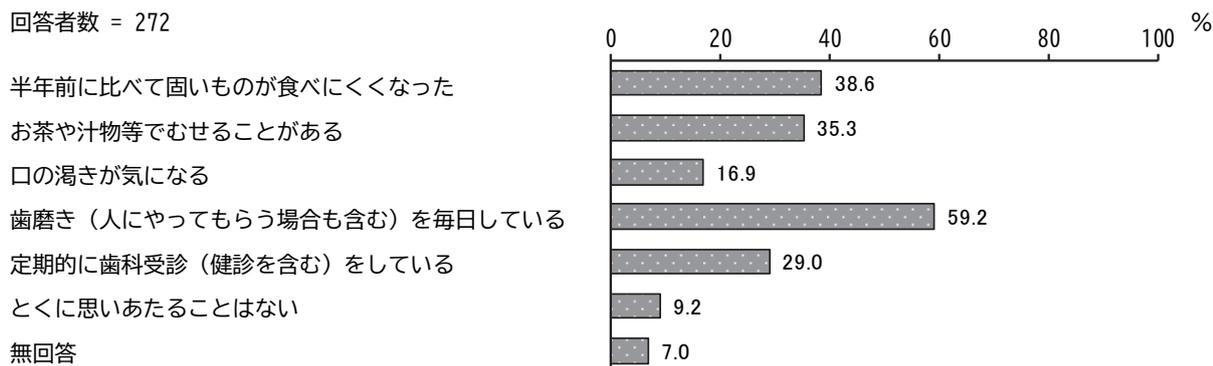
回答者数 = 272



問 21. 口腔機能について、思いあたるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している」の割合が59.2%と最も高く、次いで「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」の割合が38.6%、「お茶や汁物等でむせることがある」の割合が35.3%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

配偶者以外の65歳以上の方との世帯で「お茶や汁物等でむせることがある」の割合が、その他の世帯(同居世帯)で「定期的に歯科受診(健診を含む)をしている」「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	お茶や汁物等でむせることがある	口の渇きが気になる	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している	定期的に歯科受診(健診を含む)をしている	とくに思いあたることはない	無回答
全体	272	38.6	35.3	16.9	59.2	29.0	9.2	7.0
ひとり暮らし	48	35.4	39.6	16.7	62.5	27.1	8.3	2.1
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	88	40.9	33.0	15.9	55.7	25.0	12.5	8.0
配偶者以外の65歳以上の方との世帯	22	36.4	45.5	13.6	54.5	22.7	13.6	—
その他の世帯(同居世帯)	99	41.4	34.3	17.2	65.7	36.4	5.1	6.1

【要介護度別】

要介護4で「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」の割合が、要介護3で「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」「定期的に歯科受診（健診を含む）をしている」の割合が高くなっています。

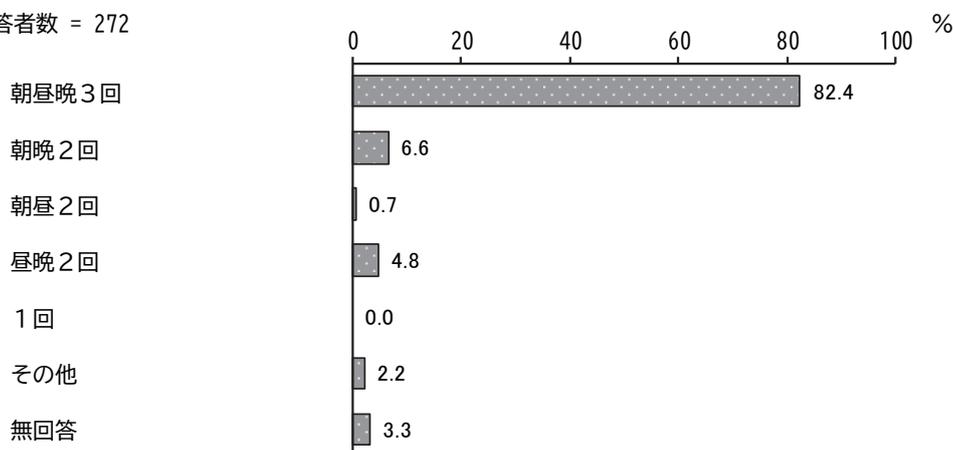
単位：%

区分	回答者数(件)	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	お茶や汁物等でむせることがある	口の渇きが気になる	歯磨き(人によっても違う場合も含む)を毎日している	定期的に歯科受診(健診を含む)をしている	とくに思いあたることはない	無回答
全体	272	38.6	35.3	16.9	59.2	29.0	9.2	7.0
要介護1	50	32.0	34.0	18.0	64.0	26.0	14.0	2.0
要介護2	63	33.3	34.9	17.5	58.7	31.7	12.7	4.8
要介護3	55	47.3	40.0	18.2	60.0	34.5	5.5	3.6
要介護4	48	50.0	37.5	16.7	56.3	29.2	6.3	8.3
要介護5	38	39.5	36.8	13.2	60.5	23.7	5.3	10.5
わからない	6	33.3	50.0	33.3	50.0	33.3	33.3	-

問 22. 1日の食事の回数は何回ですか。(ひとつだけに○)

「朝昼晩3回」の割合が82.4%と最も高くなっています。

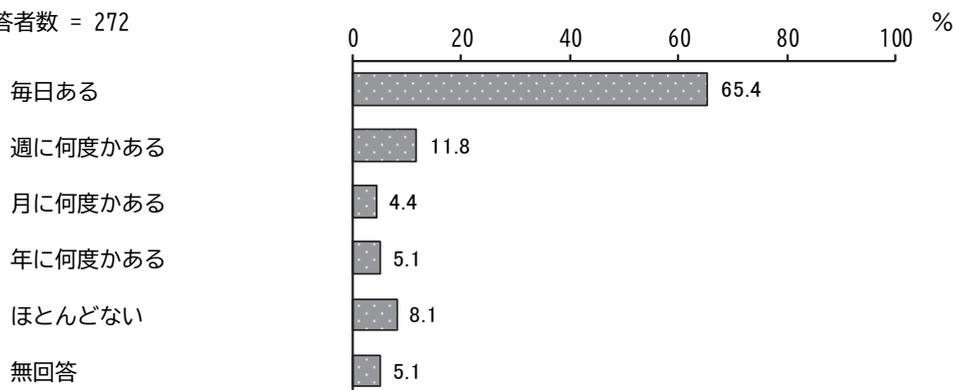
回答者数 = 272



問 23. どなたかと食事をとる機会がありますか。(ひとつだけに○)

「毎日ある」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 11.8%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

ひとり暮らしで「週に何度かある」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「毎日ある」の割合が、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「毎日ある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	272	65.4	11.8	4.4	5.1	8.1	5.1
ひとり暮らし	48	22.9	35.4	10.4	12.5	16.7	2.1
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	78.4	4.5	3.4	4.5	5.7	3.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	77.3	9.1	4.5	4.5	4.5	—
その他の世帯（同居世帯）	99	73.7	8.1	2.0	2.0	8.1	6.1

【要介護度別】

要介護 3 で「毎日ある」の割合が、要介護 4 で「毎日ある」の割合が、要介護 2 で「週に何度かある」の割合が高くなっています。

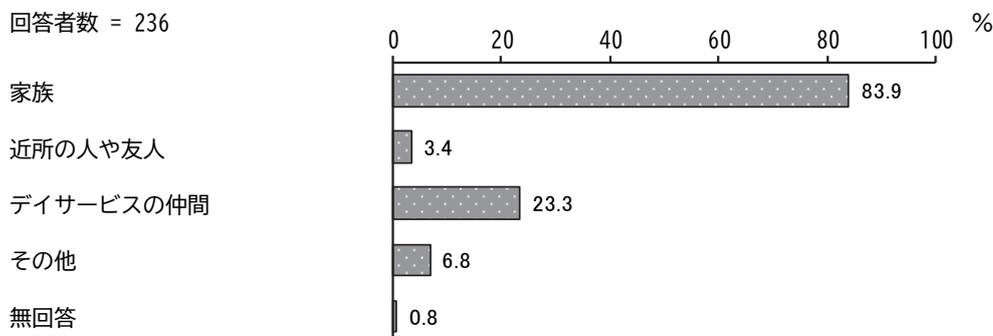
単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	272	65.4	11.8	4.4	5.1	8.1	5.1
要介護 1	50	60.0	14.0	8.0	6.0	6.0	6.0
要介護 2	63	58.7	19.0	4.8	7.9	6.3	3.2
要介護 3	55	74.5	7.3	3.6	9.1	3.6	1.8
要介護 4	48	72.9	12.5	—	2.1	6.3	6.3
要介護 5	38	65.8	5.3	—	—	23.7	5.3
わからない	6	66.7	16.7	16.7	—	—	—

【問 23 で「1. 毎日ある」「2. 週に何度かある」「3. 月に何度かある」「4. 年に何度かある」と答えた方のみ】

問 23-1. 食事をともしる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族」の割合が 83.9%と最も高く、次いで「デイサービスの仲間」の割合が 23.3%となっています。



【家族構成別】

ひとり暮らしで「デイサービスの仲間」の割合が、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「家族」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「家族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族	近所の人や友人	デイサービスの仲間	その他	無回答
全体	236	83.9	3.4	23.3	6.8	0.8
ひとり暮らし	39	48.7	10.3	35.9	12.8	2.6
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	80	92.5	3.8	11.3	7.5	—
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	21	95.2	—	19.0	—	—
その他の世帯（同居世帯）	85	88.2	—	30.6	5.9	—

【要介護度別】

要介護 4 で「デイサービスの仲間」の割合が高くなっています。

単位：%

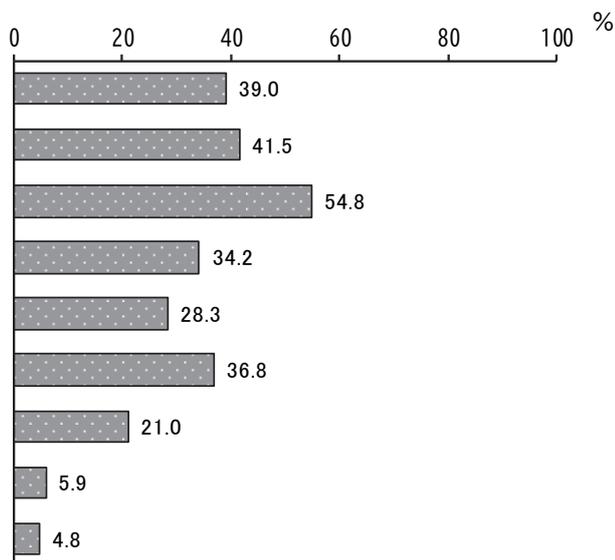
区分	回答者数 (件)	家族	近所の人や友人	デイサービスの仲間	その他	無回答
全体	236	83.9	3.4	23.3	6.8	0.8
要介護 1	44	88.6	9.1	13.6	2.3	—
要介護 2	57	82.5	3.5	28.1	5.3	—
要介護 3	52	84.6	1.9	23.1	5.8	—
要介護 4	42	81.0	2.4	33.3	7.1	2.4
要介護 5	27	77.8	—	18.5	18.5	3.7
わからない	6	100.0	—	16.7	—	—

問 24. もの忘れについて、思いあたるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

「今日が何月何日かわからない時がある」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない」の割合が 41.5%、「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる」の割合が 39.0%となっています。

回答者数 = 272

- 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない
- 今日が何月何日かわからない時がある
- 5分前のことが思い出せない
- その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できない
- 人に自分の考えをうまく伝えることができない
- とくに思いあたることはない
- その他
- 無回答



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「今日が何月何日かわからない時がある」「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる」の割合が、ひとり暮らしで「とくに思いあたることはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる	自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない	今日が何月何日かわからない時がある	5分前のことが思い出せない	その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できない	人に自分の考えをうまく伝えることができない	とくに思いあたることはない	その他	無回答
全体	272	39.0	41.5	54.8	34.2	28.3	36.8	21.0	5.9	4.8
ひとり暮らし	48	39.6	27.1	47.9	33.3	22.9	37.5	27.1	10.4	6.3
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	35.2	44.3	54.5	31.8	25.0	37.5	19.3	5.7	3.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	50.0	45.5	77.3	31.8	22.7	31.8	13.6	4.5	—
その他の世帯（同居世帯）	99	39.4	46.5	53.5	36.4	34.3	38.4	20.2	4.0	4.0

【要介護度別】

要介護4で「その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できない」「人に自分の考えをうまく伝えることができない」「自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない」の割合が高くなっています。

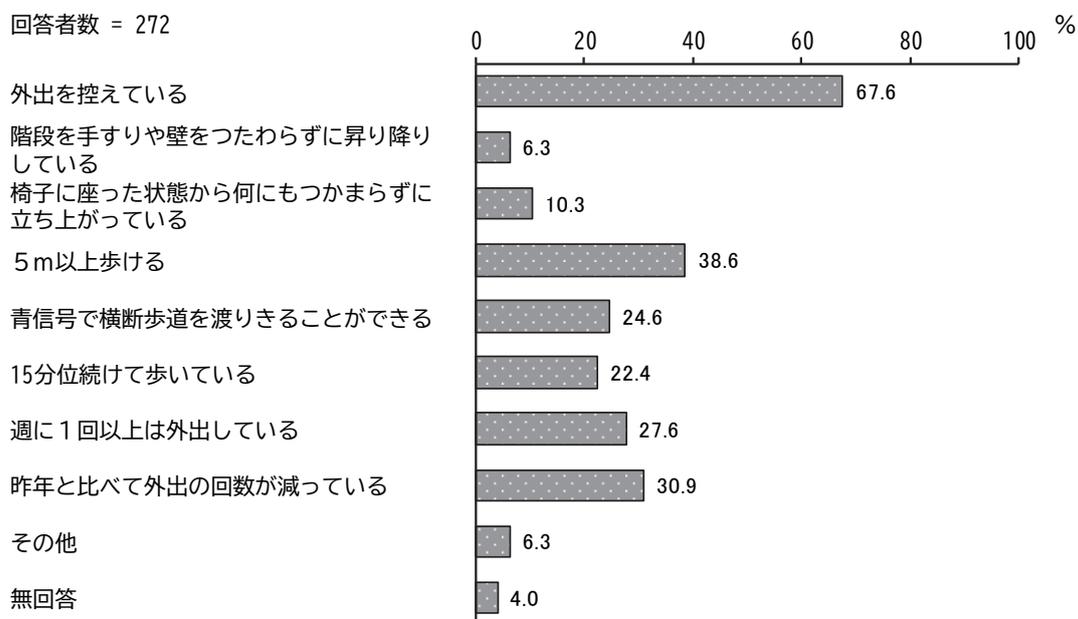
単位：%

区分	回答者数（件）	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる	できない	自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない	今日が何月何日かわからない時がある	5分前のことが思い出せない	その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できない	人に自分の考えをうまく伝えることができない	とくに思いあたることはない	その他	無回答
全 体	272	39.0	41.5	54.8	34.2	28.3	36.8	21.0	5.9	4.8	
要介護1	50	38.0	24.0	52.0	34.0	14.0	28.0	22.0	2.0	2.0	
要介護2	63	38.1	36.5	54.0	33.3	20.6	33.3	22.2	4.8	1.6	
要介護3	55	47.3	49.1	52.7	34.5	32.7	38.2	25.5	12.7	1.8	
要介護4	48	45.8	60.4	70.8	47.9	47.9	56.3	8.3	2.1	6.3	
要介護5	38	31.6	50.0	52.6	28.9	36.8	34.2	21.1	10.5	5.3	
わからない	6	33.3	33.3	66.7	16.7	16.7	33.3	—	—	16.7	

(3) 外出・社会参加について

問 25. 運動・外出について、思いあたるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

「外出を控えている」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「5m以上歩ける」の割合が 38.6%、「昨年と比べて外出の回数が減っている」の割合が 30.9%となっています。



【家族構成別】

ひとり暮らしで「週に1回以上は外出している」「5m以上歩ける」「外出を控えている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	外出を控えている	階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしている	椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっている	5m以上歩ける	青信号で横断歩道を渡りきることができる	15分位続けて歩いている	週に1回以上は外出している	昨年と比べて外出の回数が減っている	その他	無回答
全 体	272	67.6	6.3	10.3	38.6	24.6	22.4	27.6	30.9	6.3	4.0
ひとり暮らし	48	75.0	2.1	6.3	47.9	27.1	22.9	37.5	31.3	—	—
配偶者のみ (あなたと二人世帯)	88	69.3	8.0	15.9	42.0	31.8	28.4	33.0	28.4	13.6	2.3
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	68.2	18.2	13.6	22.7	13.6	18.2	18.2	18.2	—	4.5
その他の世帯 (同居世帯)	99	65.7	5.1	5.1	36.4	18.2	17.2	20.2	35.4	4.0	5.1

【要介護度別】

要介護1で「5m以上歩ける」「15分位続けて歩いている」「青信号で横断歩道を渡りきることができる」の割合が高くなっています。

単位：％

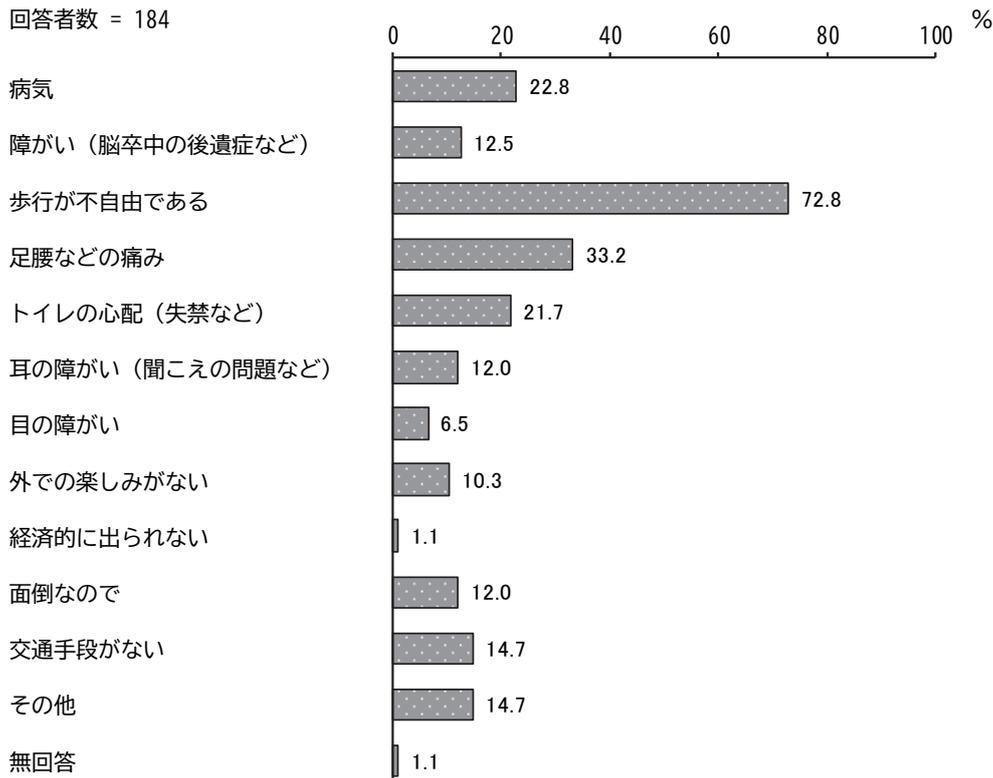
区分	回答者数(件)	外出を控えている	階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしている	椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっている	5m以上歩ける	青信号で横断歩道を渡りきることができる	15分位続けて歩いている	週に1回以上は外出している	昨年と比べて外出の回数が減っている	その他	無回答
全体	272	67.6	6.3	10.3	38.6	24.6	22.4	27.6	30.9	6.3	4.0
要介護1	50	56.0	8.0	26.0	64.0	44.0	42.0	38.0	40.0	2.0	2.0
要介護2	63	65.1	6.3	7.9	47.6	25.4	31.7	31.7	33.3	6.3	1.6
要介護3	55	72.7	3.6	9.1	45.5	25.5	23.6	40.0	36.4	1.8	—
要介護4	48	75.0	4.2	2.1	22.9	12.5	8.3	10.4	25.0	10.4	8.3
要介護5	38	71.1	7.9	2.6	5.3	5.3	—	7.9	7.9	15.8	5.3
わからない	6	66.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	—	16.7

【問25で「1. 外出を控えている」と答えた方のみ】

問25-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「歩行が不自由である」の割合が72.8%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が33.2%、「病気」の割合が22.8%となっています。

回答者数 = 184



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「面倒なので」「トイレの心配（失禁など）」の割合が、ひとり暮らしで「歩行が不自由である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	障がい (脳卒中の 後遺症など)	歩行が不自由であ る	足腰などの痛み	禁など トイレの心配(失 禁など)	耳の障がい(聞こ えの問題など)	目の障がい	い 外での楽しみがな い	い 経済的に出られな い	面倒なので	交通手段がない	その他	無回答
全 体	184	22.8	12.5	72.8	33.2	21.7	12.0	6.5	10.3	1.1	12.0	14.7	14.7	1.1
ひとり暮らし	36	11.1	—	86.1	36.1	13.9	16.7	2.8	19.4	—	11.1	16.7	13.9	—
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	61	26.2	19.7	59.0	34.4	27.9	8.2	9.8	9.8	1.6	13.1	18.0	16.4	1.6
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	15	20.0	6.7	66.7	20.0	33.3	20.0	—	20.0	6.7	26.7	20.0	—	6.7
その他の世帯(同居世帯)	65	26.2	13.8	80.0	29.2	15.4	10.8	4.6	3.1	—	7.7	10.8	16.9	—

【要介護度別】

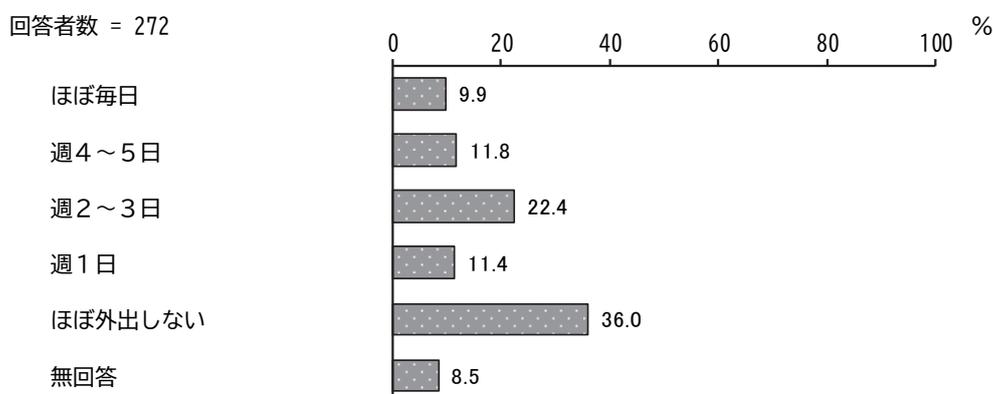
要介護 4 で「歩行が不自由である」の割合が、要介護 5 で「病気」「障がい(脳卒中の後遺症など)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	障がい (脳卒中の 後遺症など)	歩行が不自由であ る	足腰などの痛み	禁など トイレの心配(失 禁など)	耳の障がい(聞こ えの問題など)	目の障がい	い 外での楽しみがな い	い 経済的に出られな い	面倒なので	交通手段がない	その他	無回答
全 体	184	22.8	12.5	72.8	33.2	21.7	12.0	6.5	10.3	1.1	12.0	14.7	14.7	1.1
要介護 1	28	14.3	10.7	60.7	35.7	28.6	10.7	10.7	14.3	—	14.3	7.1	14.3	3.6
要介護 2	41	22.0	7.3	68.3	39.0	12.2	12.2	4.9	7.3	—	14.6	19.5	17.1	2.4
要介護 3	40	20.0	15.0	80.0	30.0	20.0	12.5	7.5	15.0	2.5	15.0	20.0	12.5	—
要介護 4	36	27.8	13.9	83.3	25.0	25.0	16.7	—	8.3	2.8	8.3	13.9	19.4	—
要介護 5	27	33.3	22.2	70.4	25.9	25.9	3.7	11.1	3.7	—	—	3.7	11.1	—
わからない	4	—	—	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	—	—	50.0	25.0	—	—

問 26. 外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

「ほぼ外出しない」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「週2～3日」の割合が 22.4%、「週4～5日」の割合が 11.8%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「週4～5日」の割合が、ひとり暮らしで「週1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1日	ほぼ外出しない	無回答
全 体	272	9.9	11.8	22.4	11.4	36.0	8.5
ひとり暮らし	48	6.3	14.6	20.8	16.7	35.4	6.3
配偶者のみ (あなたと二人世帯)	88	17.0	6.8	21.6	13.6	36.4	4.5
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	—	22.7	18.2	9.1	36.4	13.6
その他の世帯 (同居世帯)	99	6.1	14.1	23.2	8.1	39.4	9.1

【要介護度別】

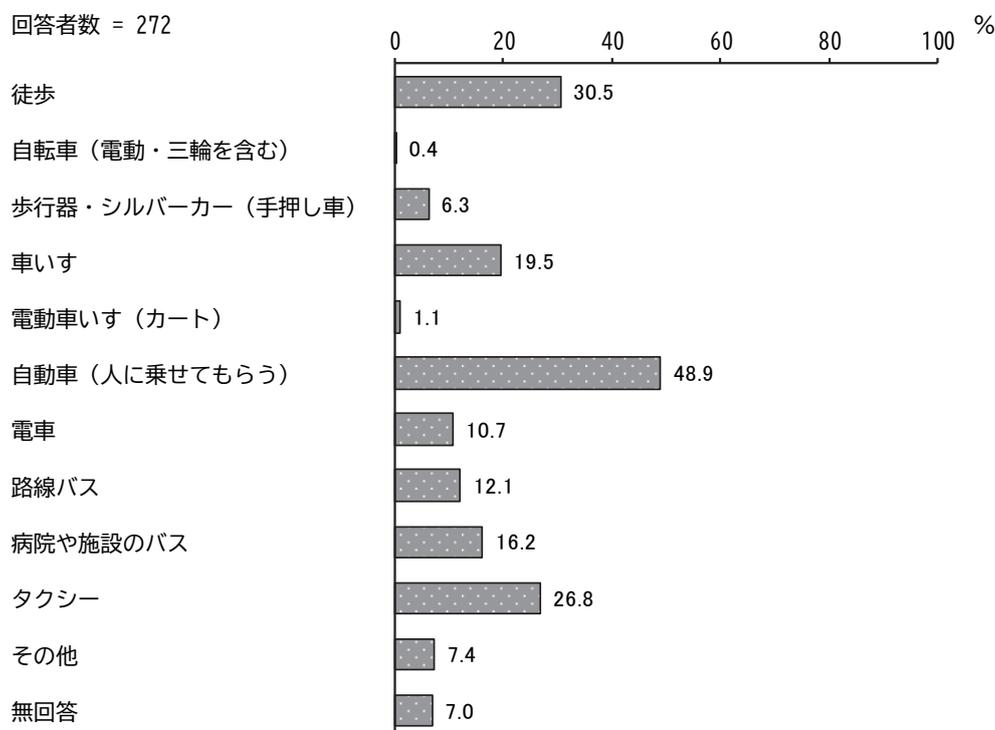
要介護5で「ほぼ外出しない」の割合が、要介護4で「ほぼ外出しない」の割合が、要介護2で「週2～3日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1日	ほぼ外出しない	無回答
全 体	272	9.9	11.8	22.4	11.4	36.0	8.5
要介護1	50	18.0	12.0	22.0	18.0	24.0	6.0
要介護2	63	6.3	19.0	30.2	7.9	28.6	7.9
要介護3	55	9.1	16.4	23.6	10.9	38.2	1.8
要介護4	48	8.3	6.3	16.7	10.4	45.8	12.5
要介護5	38	5.3	5.3	15.8	7.9	52.6	13.2
わからない	6	33.3	—	16.7	16.7	33.3	—

問 27. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 30.5%、「タクシー」の割合が 26.8%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「車いす」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「徒歩」の割合が、ひとり暮らしで「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車（電動・三輪を含む）	歩行器・シルバーカー（手押し車）	車いす	電動車いす（カート）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	タクシー	その他	無回答
全体	272	30.5	0.4	6.3	19.5	1.1	48.9	10.7	12.1	16.2	26.8	7.4	7.0
ひとり暮らし	48	33.3	—	12.5	20.8	4.2	37.5	8.3	10.4	14.6	35.4	12.5	6.3
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	40.9	1.1	2.3	13.6	1.1	47.7	12.5	14.8	9.1	26.1	9.1	1.1
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	22.7	—	4.5	31.8	—	45.5	13.6	9.1	22.7	13.6	—	18.2
その他の世帯（同居世帯）	99	20.2	—	8.1	22.2	—	56.6	8.1	10.1	23.2	27.3	3.0	8.1

【要介護度別】

要介護1で「徒歩」の割合が、要介護5で「車いす」の割合が、要介護3で「車いす」の割合が高くなっています。

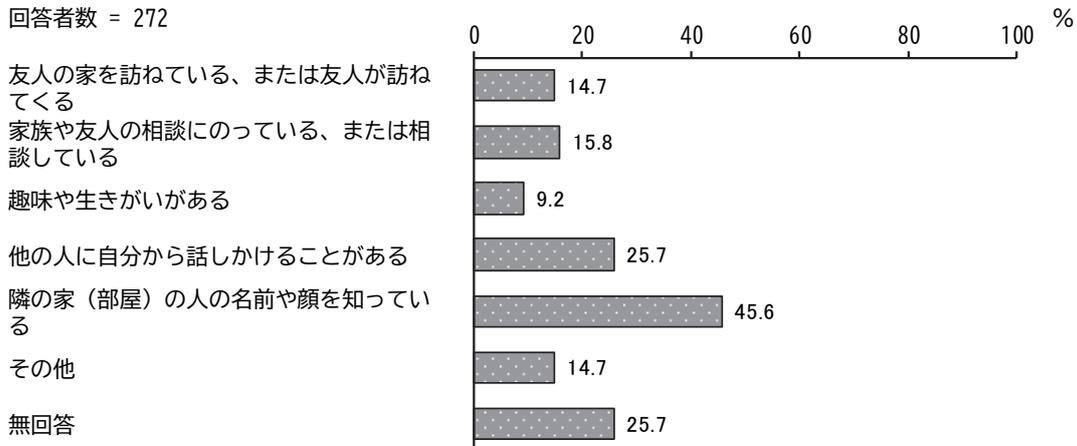
単位：％

区分	回答者数(件)	徒歩	自転車(電動・三輪を含む)	歩行器・シルバーカー(手押し車)	車いす	電動車いす(カー)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	タクシー	その他	無回答
全体	272	30.5	0.4	6.3	19.5	1.1	48.9	10.7	12.1	16.2	26.8	7.4	7.0
要介護1	50	50.0	—	8.0	—	—	52.0	20.0	20.0	16.0	32.0	2.0	8.0
要介護2	63	39.7	—	12.7	6.3	1.6	50.8	9.5	15.9	17.5	30.2	6.3	4.8
要介護3	55	32.7	—	5.5	32.7	1.8	54.5	12.7	12.7	14.5	30.9	5.5	—
要介護4	48	10.4	—	2.1	29.2	—	41.7	4.2	4.2	20.8	20.8	12.5	10.4
要介護5	38	5.3	—	—	36.8	—	47.4	—	—	13.2	7.9	13.2	13.2
わからない	6	83.3	16.7	16.7	16.7	—	33.3	33.3	50.0	—	50.0	—	—

問 28. 人との交流等について、思いあたるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

「隣の家(部屋)の人の名前や顔を知っている」の割合が45.6%と最も高く、次いで「他の人に自分から話しかけることがある」の割合が25.7%、「家族や友人の相談にのっている、または相談している」の割合が15.8%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

ひとり暮らしで「隣の家（部屋）の人の名前や顔を知っている」「他の人に自分から話しかけることがある」「家族や友人の相談にのっている、または相談している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	友人の家を訪ねている、または友人が訪ねてくる	家族や友人の相談にのっている、または相談している	趣味や生きがいがある	他の人に自分から話しかけることがある	隣の家（部屋）の人の名前や顔を知っている	その他	無回答
全 体	272	14.7	15.8	9.2	25.7	45.6	14.7	25.7
ひとり暮らし	48	16.7	25.0	14.6	35.4	58.3	16.7	14.6
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	20.5	18.2	8.0	20.5	47.7	11.4	27.3
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	13.6	4.5	—	18.2	45.5	22.7	27.3
その他の世帯（同居世帯）	99	9.1	13.1	9.1	27.3	38.4	17.2	27.3

【要介護度別】

要介護1で「他の人に自分から話しかけることがある」「家族や友人の相談にのっている、または相談している」の割合が、要介護2で「隣の家（部屋）の人の名前や顔を知っている」の割合が高くなっています。

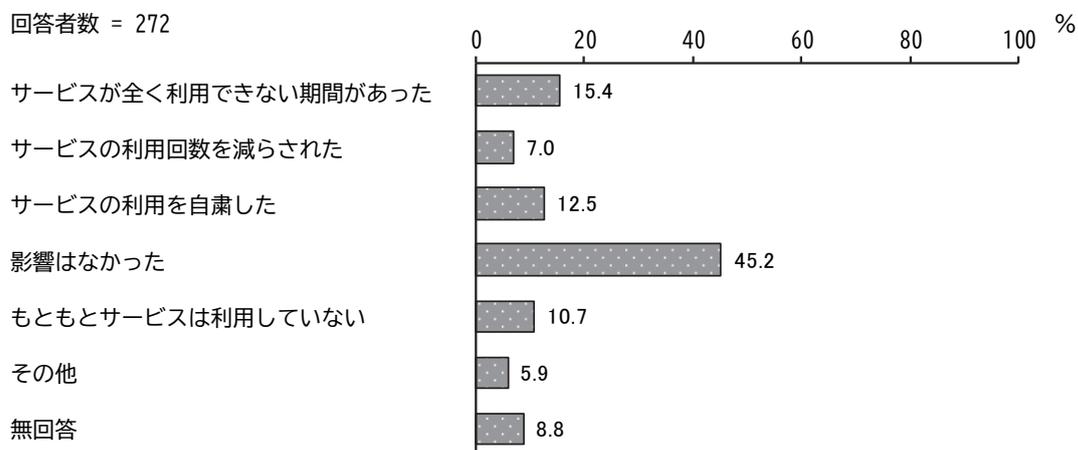
単位：％

区分	回答者数（件）	友人の家を訪ねている、または友人が訪ねてくる	家族や友人の相談にのっている、または相談している	趣味や生きがいがある	他の人に自分から話しかけることがある	隣の家（部屋）の人の名前や顔を知っている	その他	無回答
全 体	272	14.7	15.8	9.2	25.7	45.6	14.7	25.7
要介護1	50	20.0	24.0	8.0	40.0	52.0	8.0	26.0
要介護2	63	11.1	19.0	7.9	27.0	54.0	14.3	20.6
要介護3	55	20.0	20.0	9.1	23.6	52.7	16.4	23.6
要介護4	48	10.4	8.3	10.4	22.9	35.4	22.9	22.9
要介護5	38	10.5	2.6	13.2	18.4	10.5	18.4	42.1
わからない	6	33.3	16.7	16.7	16.7	100.0	—	—

(4) 介護保険について

問 29. 新型コロナウイルス感染症まん延により、利用していた介護サービスの利用にどのような影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

「影響はなかった」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「サービスが全く利用できない期間があった」の割合が 15.4%、「サービスの利用を自粛した」の割合が 12.5%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「影響はなかった」「もともとサービスは利用していない」の割合が、ひとり暮らしで「サービスが全く利用できない期間があった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	サービスが全く利用できない期間があった	サービスの利用回数を減らされた	サービスの利用を自粛した	影響はなかった	もともとサービスは利用していない	その他	無回答
全体	272	15.4	7.0	12.5	45.2	10.7	5.9	8.8
ひとり暮らし	48	27.1	6.3	12.5	43.8	6.3	—	8.3
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	88	8.0	8.0	11.4	46.6	12.5	5.7	11.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	—	4.5	—	63.6	18.2	13.6	—
その他の世帯(同居世帯)	99	18.2	7.1	16.2	43.4	9.1	7.1	7.1

【要介護度別】

要介護1で「もともとサービスは利用していない」の割合が、要介護3で「影響はなかった」の割合が、要介護5で「サービスが全く利用できない期間があった」の割合が高くなっています。

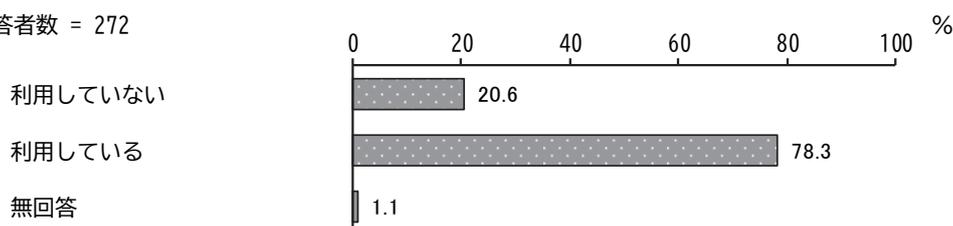
単位：%

区分	回答者数(件)	サービスが全く利用できない期間があった	サービスの利用回数を減らされた	サービスの利用を自粛した	影響はなかった	もともとサービスは利用していない	その他	無回答
全体	272	15.4	7.0	12.5	45.2	10.7	5.9	8.8
要介護1	50	12.0	6.0	14.0	44.0	26.0	—	4.0
要介護2	63	17.5	7.9	17.5	44.4	6.3	6.3	7.9
要介護3	55	12.7	5.5	7.3	60.0	3.6	—	10.9
要介護4	48	16.7	8.3	8.3	45.8	6.3	16.7	4.2
要介護5	38	23.7	7.9	13.2	39.5	7.9	7.9	5.3
わからない	6	—	—	16.7	16.7	50.0	16.7	—

問 30. あなたは、現在、介護保険のサービスを利用していますか。(ひとつだけに○)

「利用していない」の割合が20.6%、「利用している」の割合が78.3%となっています。

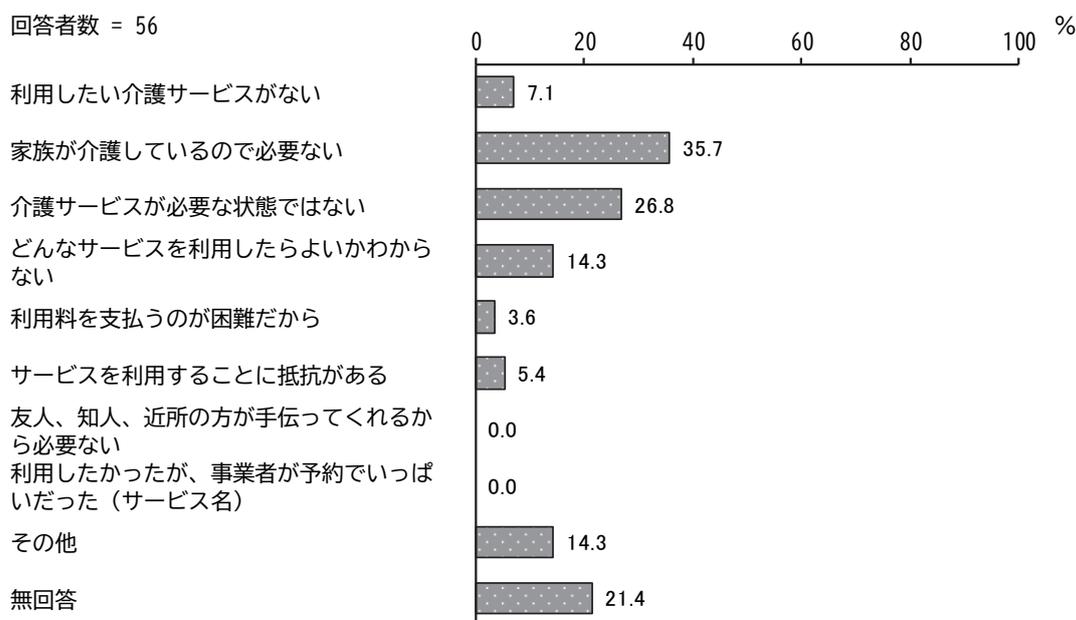
回答者数 = 272



【問 30 で「1. 利用していない」と答えた方のみ】

問 30-1. 介護サービスを利用していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「家族が介護しているので必要ない」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「介護サービスが必要な状態ではない」の割合が 26.8%、「どんなサービスを利用したらよいかわからない」の割合が 14.3%となっています。



【家族構成別】

配偶者のみ(あなたと二人世帯)で「家族が介護しているので必要ない」「介護サービスが必要な状態ではない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用したい介護サービスがない	家族が介護しているので必要ない	介護サービスが必要な状態ではない	どんなサービスを利用したらよいかわからない	利用料を支払うのが困難だから	サービスを利用することに抵抗がある	友人、知人、近所の方が手伝ってくれるから必要ない	利用したかったが、事業者が予約でいっぱいだった(サービス名)	その他	無回答
全体	56	7.1	35.7	26.8	14.3	3.6	5.4	-	-	14.3	21.4
ひとり暮らし	8	12.5	12.5	25.0	12.5	-	-	-	-	12.5	50.0
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	22	4.5	54.5	36.4	9.1	4.5	9.1	-	-	9.1	9.1
配偶者以外の65歳以上の方との世帯	8	12.5	50.0	37.5	25.0	-	-	-	-	-	25.0
その他の世帯(同居世帯)	14	7.1	21.4	14.3	14.3	-	-	-	-	28.6	21.4

【要介護度別】

要介護1で「家族が介護しているので必要ない」「介護サービスが必要な状態ではない」の割合が高くなっています。

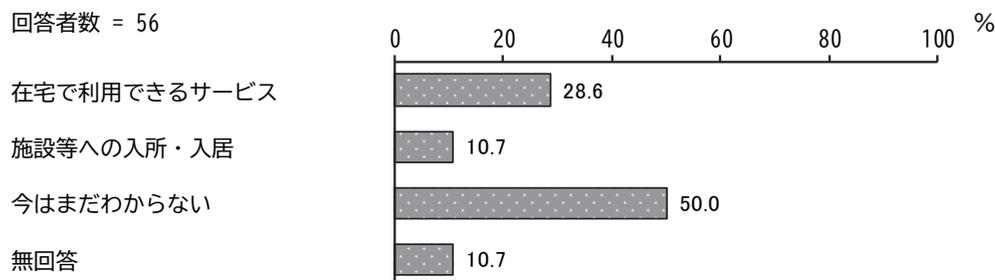
単位：%

区分	回答者数(件)	利用したい介護サービスがない	家族が介護しているので必要ない	介護サービスが必要な状態ではない	どんなサービスを利用したらよいかわからない	利用料を支払うのが困難だから	サービスを利用することに抵抗がある	友人、知人、近所の方が手伝ってくれるから必要ない	利用しなかったが、事業者が予約でいっぱいだった(サービス名)	その他	無回答
全 体	56	7.1	35.7	26.8	14.3	3.6	5.4	—	—	14.3	21.4
要介護1	16	18.8	56.3	43.8	6.3	—	6.3	—	—	6.3	6.3
要介護2	10	—	20.0	20.0	10.0	—	10.0	—	—	—	50.0
要介護3	5	—	40.0	—	—	20.0	20.0	—	—	20.0	20.0
要介護4	6	—	50.0	—	—	—	—	—	—	33.3	16.7
要介護5	5	—	—	20.0	—	—	—	—	—	60.0	20.0
わからない	5	20.0	60.0	60.0	60.0	—	—	—	—	—	—

【問 30 で「1. 利用していない」と答えた方のみ】

問 30-2. 今後、利用を考えている介護保険サービスはありますか。
(ひとつだけに○)

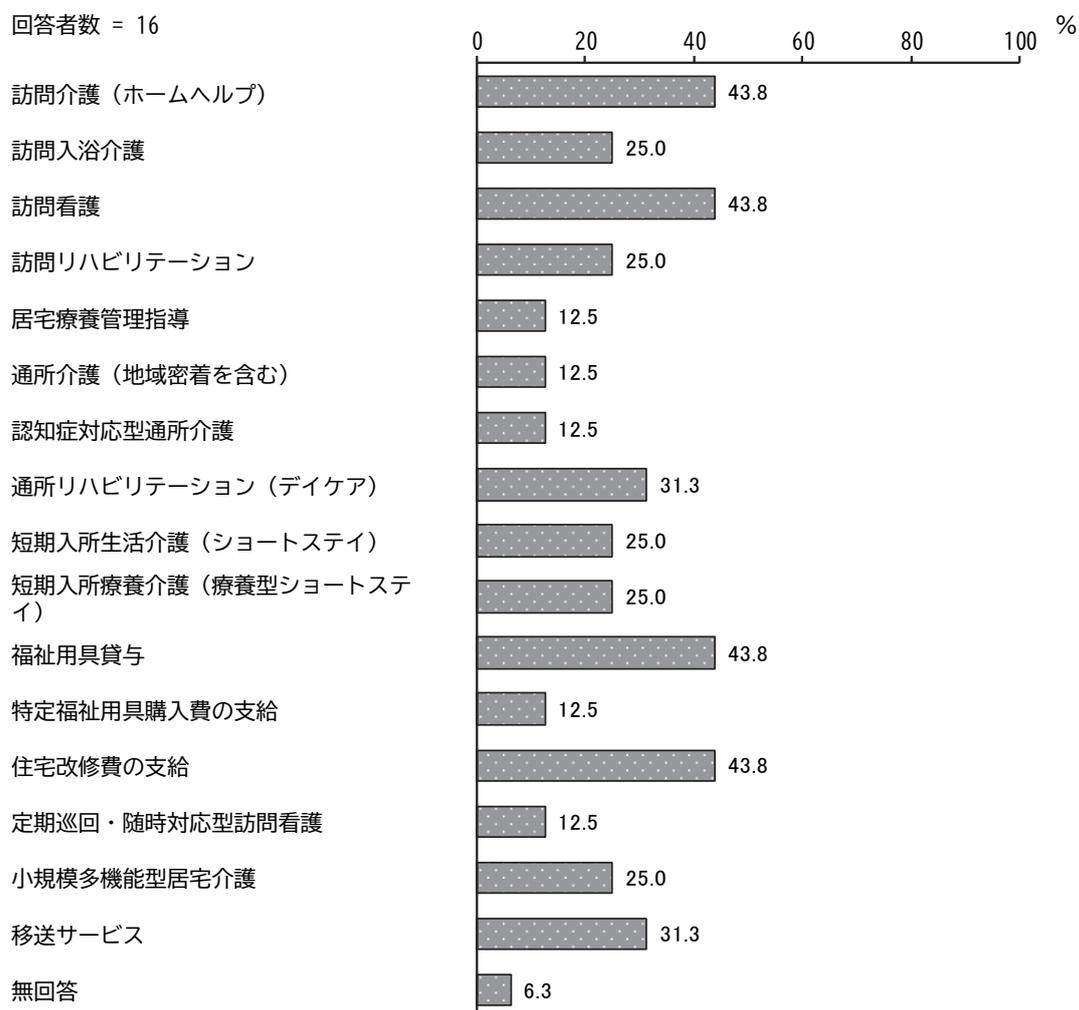
「今はまだわからない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「在宅で利用できるサービス」の割合が 28.6%、「施設等への入所・入居」の割合が 10.7%となっています。



【問 30-2 で「1. 在宅で利用できるサービス」と答えた方のみ】

問 30-2-1. 在宅で利用できるサービスの中で考えているものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

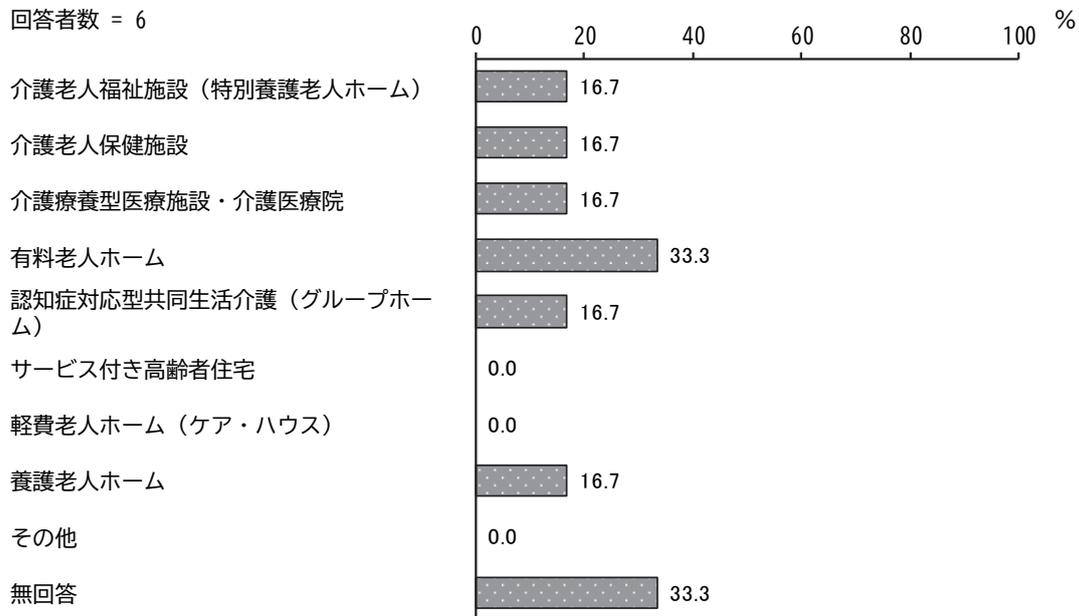
「訪問介護（ホームヘルプ）」、「訪問看護」、「福祉用具貸与」、「住宅改修費の支給」の割合が 43.8%と最も高くなっています。



【問 30-2 で「2. 施設等への入所・入居」と答えの方のみ】

問 30-2-2. 入所・入居を考えている施設等はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

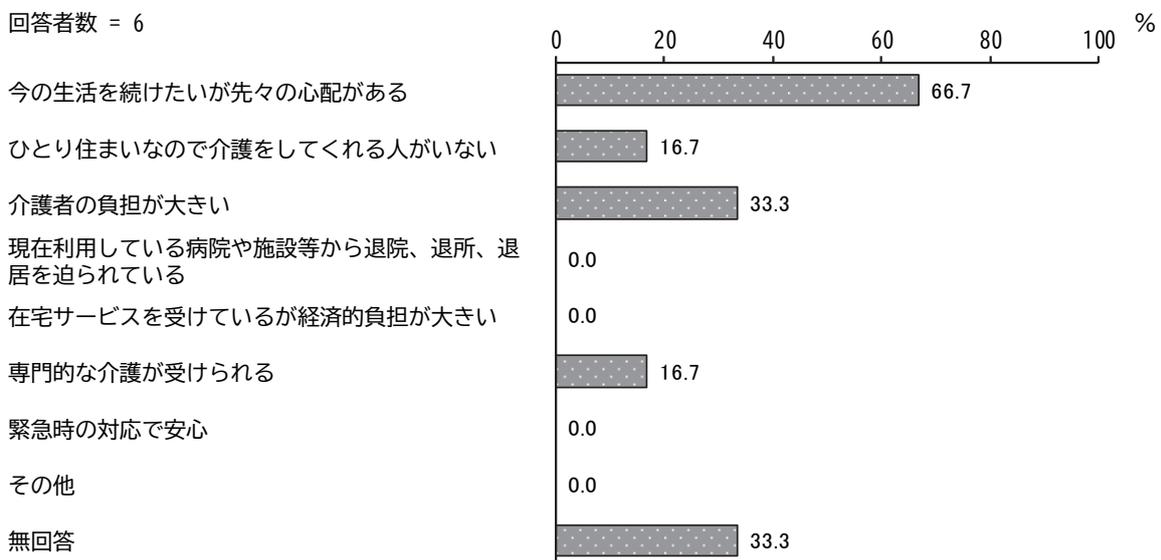
「有料老人ホーム」が 2 件となっています。「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「介護老人保健施設」、「介護療養型医療施設・介護医療院」が 1 件となっています。



【問 30-2 で「2. 施設等への入所・入居」と答えの方のみ】

問 30-2-3. 入所・入居を希望する理由はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

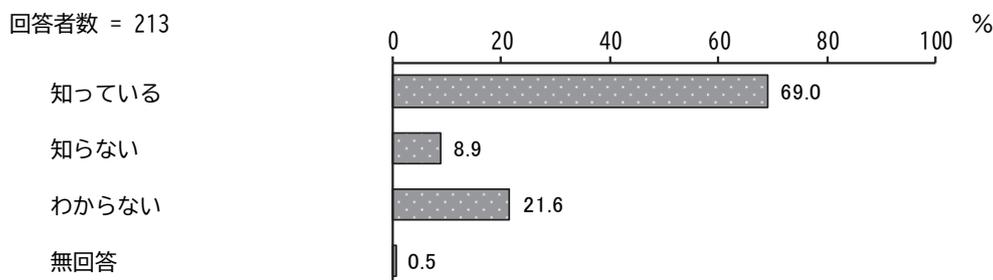
「今の生活を続けたいが先々の心配がある」が 4 件となっています。「介護者の負担が大きい」が 2 件、「ひとり住まいなので介護をしてくれる人がいない」、「専門的な介護が受けられる」が 1 件となっています。



【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

問 30-3. あなたは、ご自身の介護サービス計画（以下「ケアプラン」といいます。）の内容をご存じですか。（ひとつだけに○）

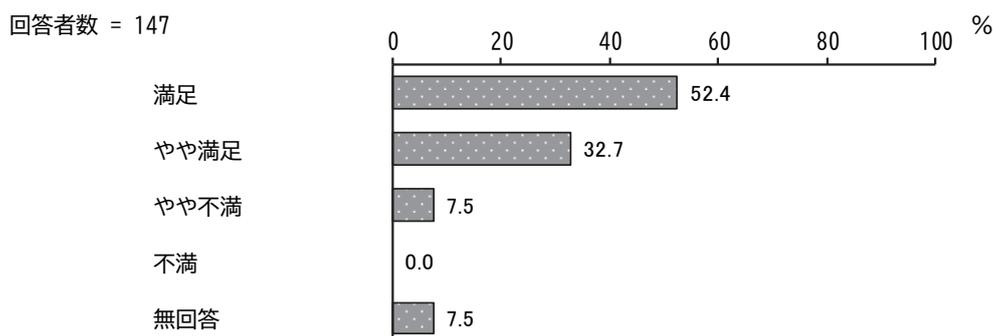
「知っている」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.6%となっています。



【問 30-3 で「1. 知っている」と答えた方のみ】

問 30-3-1. 現在のご自身のケアプランについて、不満な点はありますか。（ひとつだけに○）

「満足」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 32.7%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「満足」「やや満足」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「満足」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全 体	147	52.4	32.7	7.5	—	7.5
ひとり暮らし	27	48.1	33.3	7.4	—	11.1
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	48	47.9	37.5	8.3	—	6.3
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	10	60.0	40.0	—	—	—
その他の世帯（同居世帯）	54	57.4	29.6	9.3	—	3.7

【要介護度別】

要介護5で「やや満足」「満足」の割合が高くなっています。

単位：%

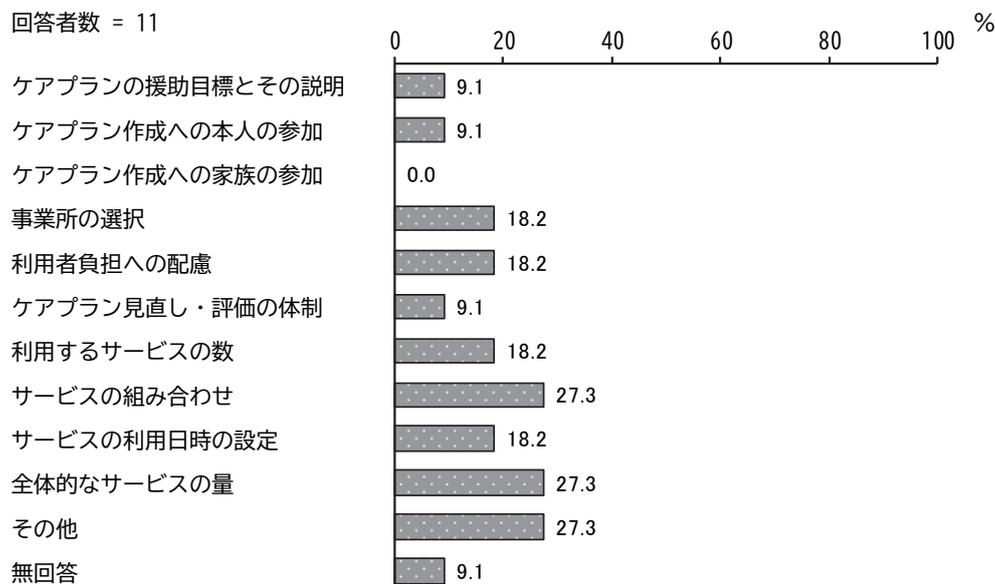
区分	(件) 回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体	147	52.4	32.7	7.5	—	7.5
要介護1	27	51.9	37.0	3.7	—	7.4
要介護2	40	55.0	30.0	7.5	—	7.5
要介護3	32	56.3	25.0	12.5	—	6.3
要介護4	27	40.7	37.0	11.1	—	11.1
要介護5	19	57.9	42.1	—	—	—
わからない	—	—	—	—	—	—

【問30-3-1で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ】

問30-3-1-1. 不満な内容について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「サービスの組み合わせ」、「全体的なサービスの量」の割合が27.3%と最も高く、次いで「事業所の選択」、「利用者負担への配慮」の割合が18.2%となっています。

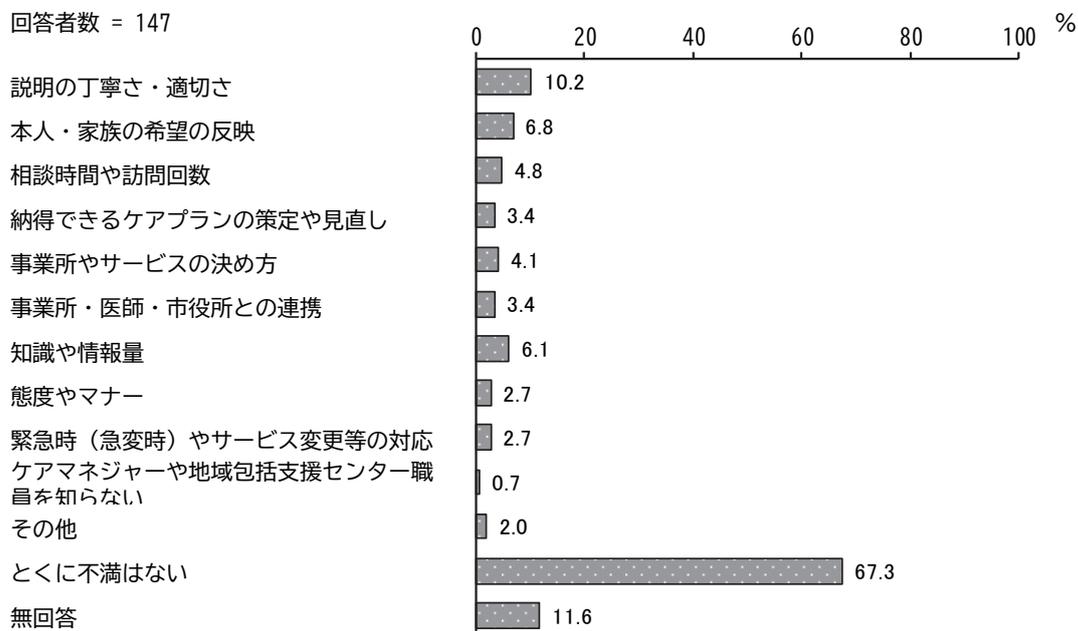
回答者数 = 11



【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

問 30-4. 現在のケアプランを作成しているケアマネジャーについて、不満な点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「とくに不満はない」の割合が 67.3%と最も高くなっています。

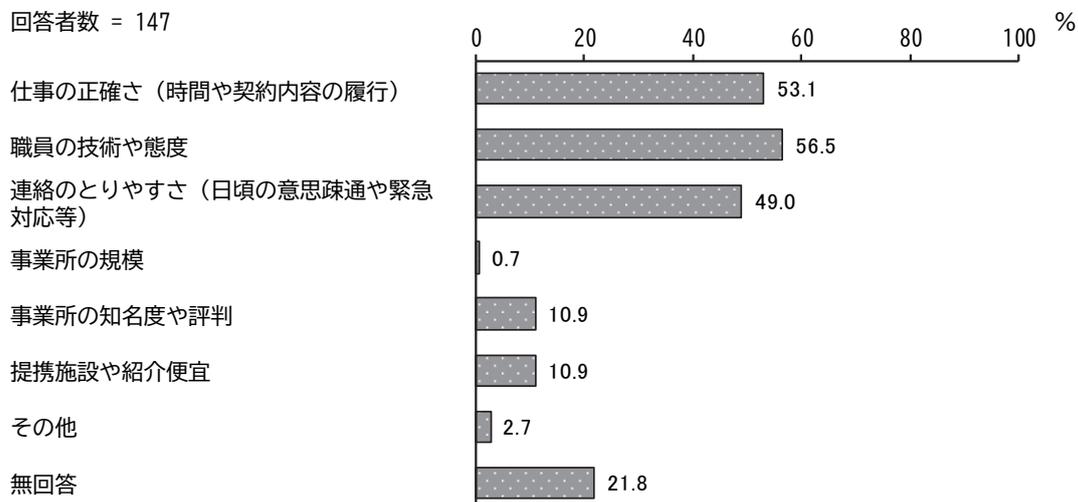


【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

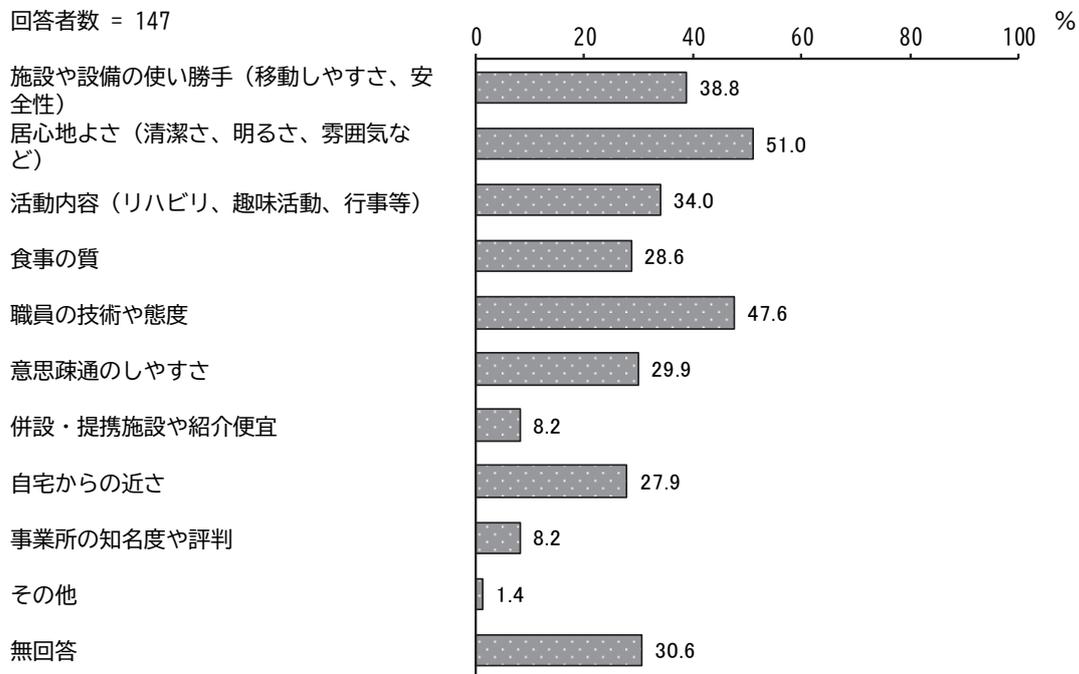
問 30-5. サービス事業所を選ぶ際に重視したいことはどのようなことですか。
(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

- ① 家庭を訪問するサービス（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、定期巡回・随時対応型訪問看護）

「職員の技術や態度」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「仕事の正確さ（時間や契約内容の履行）」の割合が 53.1%、「連絡のとりやすさ（日頃の意思疎通や緊急対応等）」の割合が 49.0%となっています。

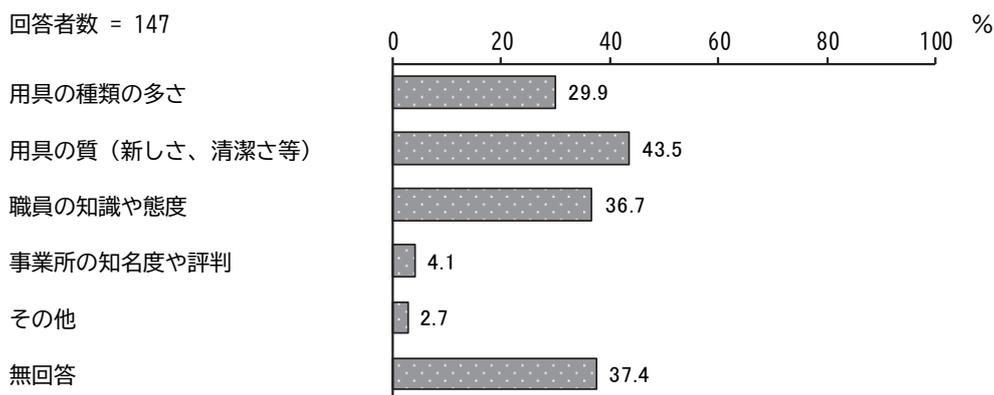


- ② 施設へ通所・短期入所するサービス（通所介護（地域密着を含む）、認知症対応型通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、小規模多機能居宅介護）
- 「居心地よさ（清潔さ、明るさ、雰囲気など）」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「職員の技術や態度」の割合が 47.6%、「施設や設備の使い勝手（移動しやすさ、安全性）」の割合が 38.8%となっています。



③ 福祉用具貸与

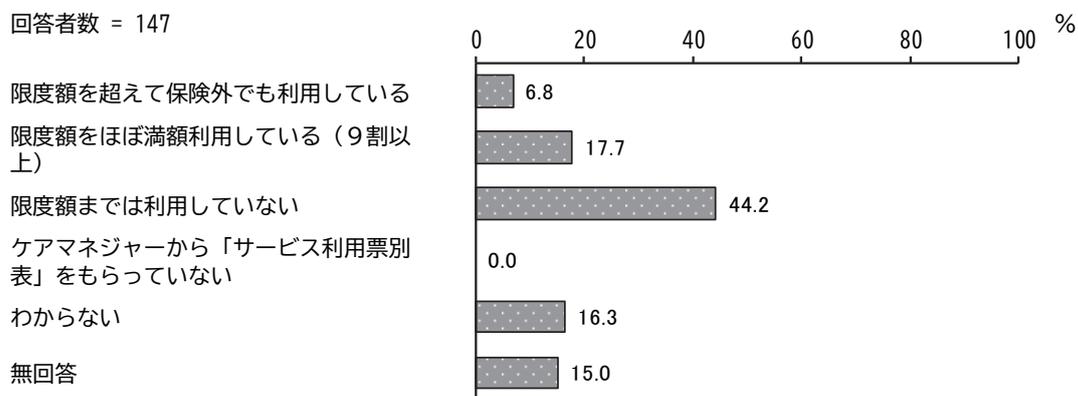
「用具の質（新しさ、清潔さ等）」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「職員の知識や態度」の割合が 36.7%、「用具の種類の多さ」の割合が 29.9%となっています。



【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

問 30－6. 認定され利用限度額（以下、限度額）について、どの程度までサービスを利用していますか。（ひとつだけに○）

「限度額までは利用していない」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「限度額をほぼ満額利用している（9割以上）」の割合が 17.7%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「限度額までは利用していない」の割合が、ひとり暮らしで「わからない」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「限度額をほぼ満額利用している（9割以上）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	限度額を超えて保険外でも利用している	限度額をほぼ満額利用している（9割以上）」	限度額までは利用していない	ケアマネジャーから「サービス利用票別表」をもらっていない	わからない	無回答
全 体	147	6.8	17.7	44.2	—	16.3	15.0
ひとり暮らし	27	7.4	18.5	22.2	—	29.6	22.2
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	48	2.1	12.5	47.9	—	16.7	20.8
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	10	—	20.0	80.0	—	—	—
その他の世帯（同居世帯）	54	9.3	24.1	48.1	—	13.0	5.6

【要介護度別】

要介護1で「わからない」の割合が、要介護4で「限度額までは利用していない」の割合が、要介護2で「限度額をほぼ満額利用している（9割以上）」の割合が高くなっています。

単位：％

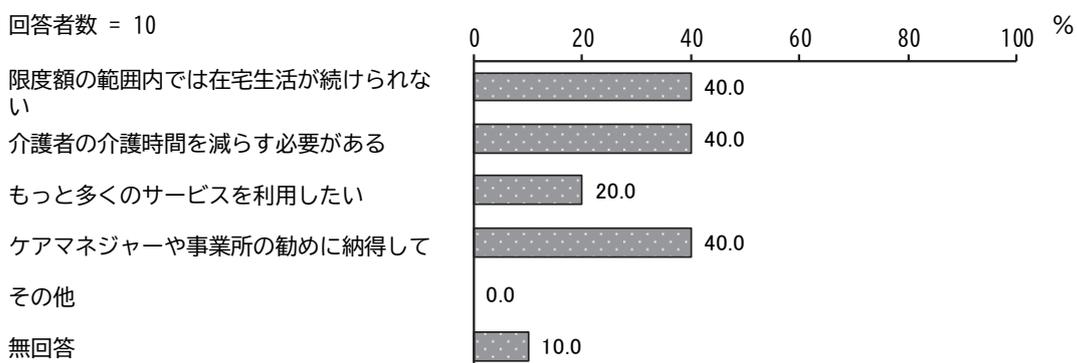
区分	回答者数 (件)	限度額を超えて保険外 でも利用している	限度額をほぼ満額利用 している(9割以上)	限度額までは利用して いない	ケアマネジャーから 「サービス利用票別 表」をもらっていない	わからない	無回答
全 体	147	6.8	17.7	44.2	—	16.3	15.0
要介護1	27	—	7.4	44.4	—	29.6	18.5
要介護2	40	2.5	27.5	32.5	—	20.0	17.5
要介護3	32	6.3	21.9	50.0	—	6.3	15.6
要介護4	27	11.1	3.7	55.6	—	18.5	11.1
要介護5	19	21.1	26.3	42.1	—	5.3	5.3
わからない	—	—	—	—	—	—	—

【問 30－6 で「1. 限度額を超えて保険外でも利用している」と答えた方のみ】

問 30－6－1. 限度額を超えて利用している理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「限度額の範囲内では在宅生活が続けられない」、「介護者の介護時間を減らす必要がある」、「ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して」の割合が40.0%と最も高くなっています。

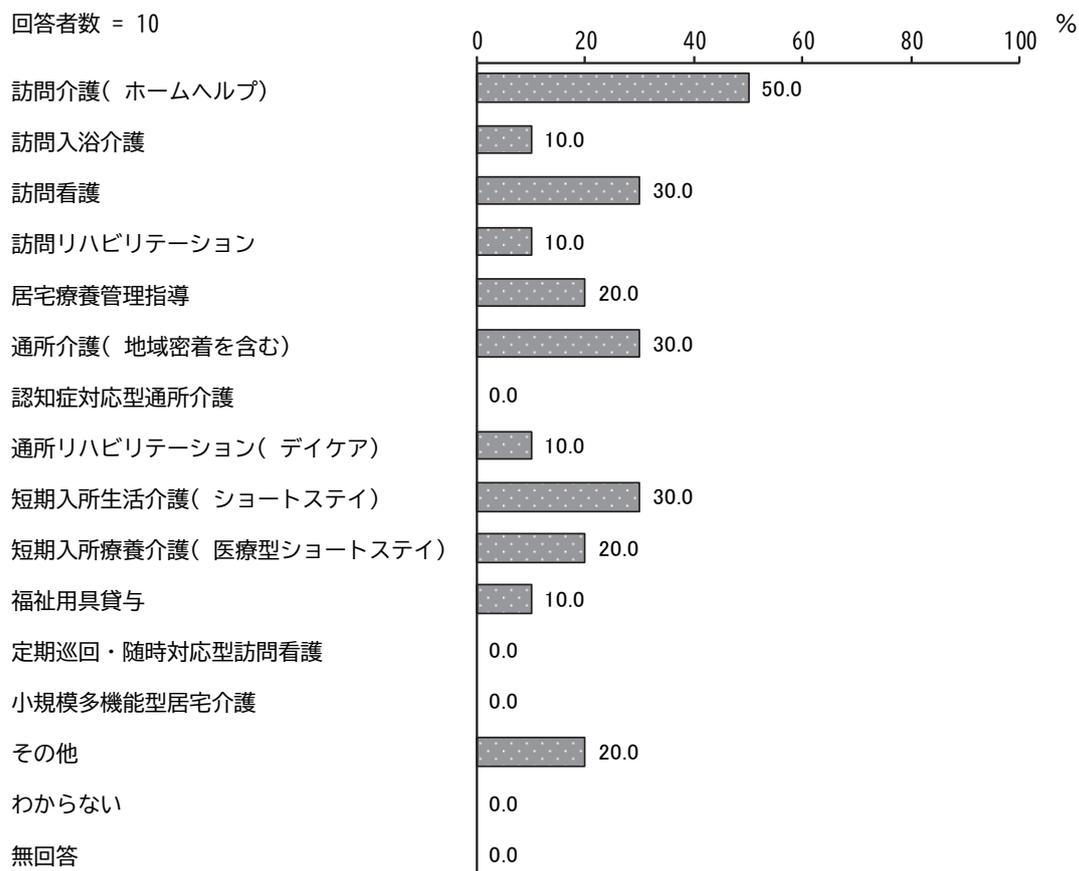
回答者数 = 10



【問 30-6 で「1. 限度額を超えて保険外でも利用している」と答えた方のみ】

問 30-6-2. 主に利用しているサービスは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

「訪問介護(ホームヘルプ)」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「訪問看護」、「通所介護(地域密着を含む)」、「短期入所生活介護(ショートステイ)」の割合が 30.0%となっています。

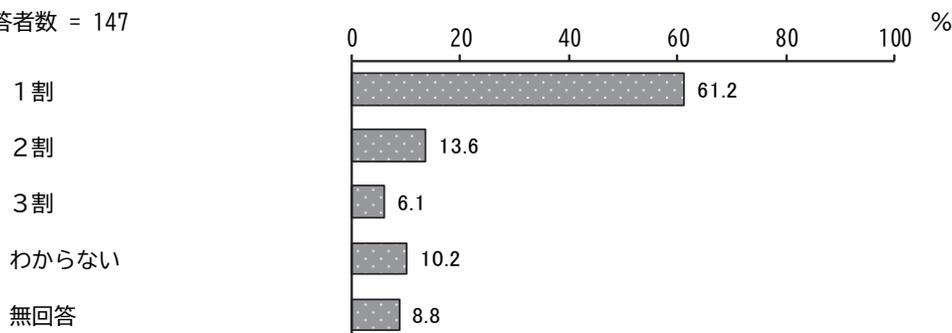


【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

問 30-7. あなたが介護保険サービスを利用する場合の負担割合は何割ですか。

「1割」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「2割」の割合が 13.6%、「わからない」の割合が 10.2%となっています。

回答者数 = 147



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「1割」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「2割」の割合が、ひとり暮らしで「1割」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1割	2割	3割	わからない	無回答
全体	147	61.2	13.6	6.1	10.2	8.8
ひとり暮らし	27	70.4	3.7	—	7.4	18.5
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	48	43.8	25.0	6.3	14.6	10.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	10	100.0	—	—	—	—
その他の世帯（同居世帯）	54	64.8	9.3	9.3	11.1	5.6

【要介護度別】

要介護5で「1割」の割合が、要介護2で「2割」の割合が高くなっています。

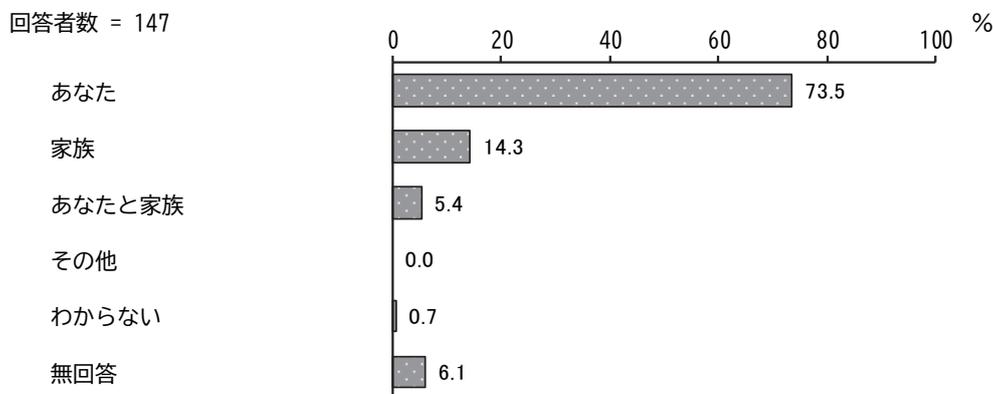
単位：%

区分	回答者数 (件)	1割	2割	3割	わからない	無回答
全体	147	61.2	13.6	6.1	10.2	8.8
要介護1	27	51.9	14.8	7.4	11.1	14.8
要介護2	40	52.5	20.0	2.5	12.5	12.5
要介護3	32	62.5	12.5	12.5	9.4	3.1
要介護4	27	59.3	14.8	7.4	14.8	3.7
要介護5	19	89.5	—	—	—	10.5
わからない	—	—	—	—	—	—

【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

問 30－8. 介護保険サービスの利用料はどなたがご負担していますか。
(ひとつだけに○)

「あなた」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「家族」の割合が 14.3%となっています。



【家族構成別】

配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「家族」の割合が、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「あなた」「家族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	(件) 回答者数	あなた	家族	あなたと家族	その他	わからない	無回答
全 体	147	73.5	14.3	5.4	—	0.7	6.1
ひとり暮らし	27	77.8	7.4	3.7	—	—	11.1
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	48	68.8	20.8	4.2	—	—	6.3
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	10	80.0	20.0	—	—	—	—
その他の世帯（同居世帯）	54	75.9	11.1	5.6	—	1.9	5.6

【要介護度別】

要介護 3 で「家族」の割合が、要介護 5 で「あなた」の割合が高くなっています。

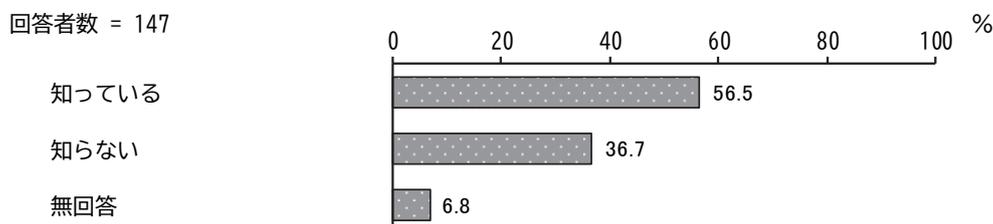
単位：%

区分	(件) 回答者数	あなた	家族	あなたと家族	その他	わからない	無回答
全 体	147	73.5	14.3	5.4	—	0.7	6.1
要介護 1	27	74.1	11.1	—	—	3.7	11.1
要介護 2	40	77.5	10.0	5.0	—	—	7.5
要介護 3	32	62.5	28.1	6.3	—	—	3.1
要介護 4	27	74.1	11.1	11.1	—	—	3.7
要介護 5	19	78.9	10.5	5.3	—	—	5.3
わからない	—	—	—	—	—	—	—

【問 30 で「2. 利用している」と答えた方のみ】

問 30－9. 介護保険サービス利用料の1か月あたりの支払額がいくらか知っていますか。(ひとつだけに○)

「知っている」の割合が 56.5%、「知らない」の割合が 36.7%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「知っている」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「知らない」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	147	56.5	36.7	6.8
ひとり暮らし	27	51.9	33.3	14.8
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	48	62.5	33.3	4.2
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	10	80.0	20.0	—
その他の世帯（同居世帯）	54	48.1	46.3	5.6

【要介護度別】

要介護 4 で「知らない」の割合が、要介護 5 で「知っている」の割合が、要介護 2 で「知っている」の割合が高くなっています。

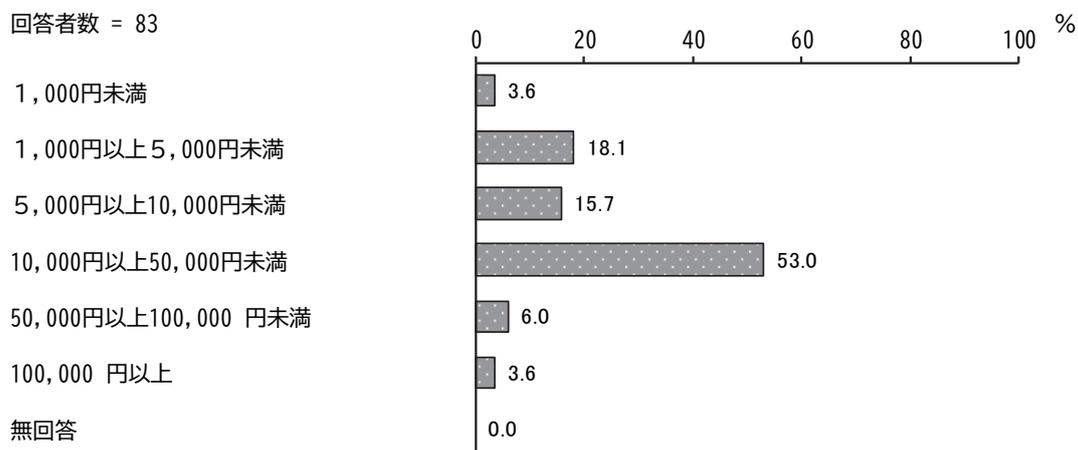
単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	147	56.5	36.7	6.8
要介護 1	27	51.9	37.0	11.1
要介護 2	40	62.5	30.0	7.5
要介護 3	32	50.0	40.6	9.4
要介護 4	27	48.1	51.9	—
要介護 5	19	68.4	26.3	5.3
わからない	—	—	—	—

【問 30－9 で「1. 知っている」と答えた方のみ】

問 30－9－1. 介護保険サービス利用料の1か月あたりの概ねの支払額をお知らせください。(ひとつだけに○)

「10,000 円以上 50,000 円未満」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「1,000 円以上5,000 円未満」の割合が 18.1%、「5,000 円以上 10,000 円未満」の割合が 15.7%となっています。



【家族構成別】

ひとり暮らしで「10,000 円以上 50,000 円未満」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「5,000 円以上 10,000 円未満」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「1,000 円以上 5,000 円未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1,000 円 未満	1,000 円 以上 5,000 円 未満	5,000 円 以上 10,000 円未満	10,000 円以上 50,000 円未満	50,000 円以上 100,000 円未満	100,000 円以上	無回答
全 体	83	3.6	18.1	15.7	53.0	6.0	3.6	—
ひとり暮らし	14	7.1	14.3	7.1	71.4	—	—	—
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	30	—	13.3	26.7	56.7	3.3	—	—
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	8	12.5	25.0	12.5	50.0	—	—	—
その他の世帯（同居世帯）	26	3.8	23.1	7.7	42.3	15.4	7.7	—

【要介護度別】

要介護1で「5,000円以上10,000円未満」「1,000円以上5,000円未満」の割合が、要介護5で「10,000円以上50,000円未満」の割合が高くなっています。

単位：%

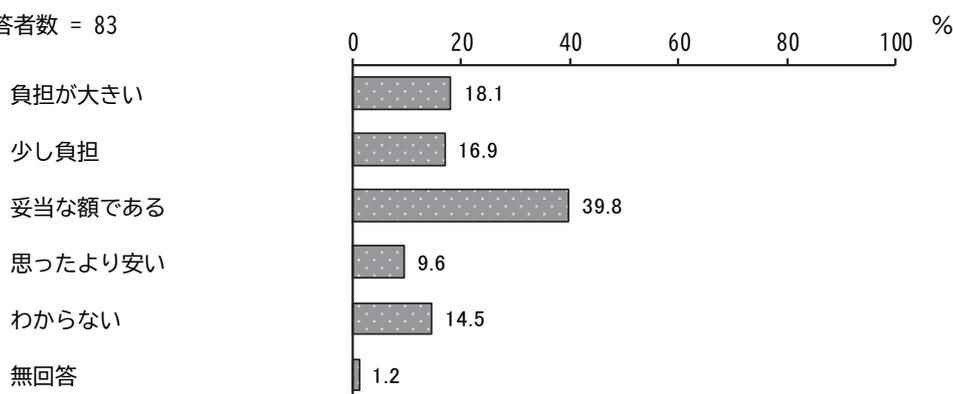
区分	回答者数 (件)	1,000円 未満	1,000円 以上 5,000円 未満	5,000円 以上 10,000 円未満	10,000 円以上 50,000 円未満	50,000 円以上 100,000 円未満	100,000 円以上	無回答
全 体	83	3.6	18.1	15.7	53.0	6.0	3.6	—
要介護1	14	7.1	35.7	35.7	21.4	—	—	—
要介護2	25	4.0	24.0	16.0	52.0	—	4.0	—
要介護3	16	6.3	12.5	18.8	56.3	6.3	—	—
要介護4	13	—	7.7	7.7	61.5	23.1	—	—
要介護5	13	—	7.7	—	69.2	7.7	15.4	—
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—

【問30-9で「1. 知っている」と答えた方のみ】

問30-9-2. 介護保険サービス利用料の支払額について、どのように感じていますか。(ひとつだけに○)

「妥当な額である」の割合が39.8%と最も高く、次いで「負担が大きい」の割合が18.1%、「少し負担」の割合が16.9%となっています。

回答者数 = 83



【家族構成別】

ひとり暮らしで「妥当な額である」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「負担が大きい」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	負担が大きい	少し負担	妥当な額である	思ったより安い	わからない	無回答
全 体	83	18.1	16.9	39.8	9.6	14.5	1.2
ひとり暮らし	14	－	21.4	50.0	14.3	7.1	7.1
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	30	26.7	10.0	40.0	6.7	16.7	－
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	8	－	25.0	37.5	12.5	25.0	－
その他の世帯（同居世帯）	26	26.9	15.4	34.6	11.5	11.5	－

【要介護度別】

要介護4で「負担が大きい」の割合が、要介護1で「妥当な額である」の割合が、要介護5で「妥当な額である」の割合が高くなっています。

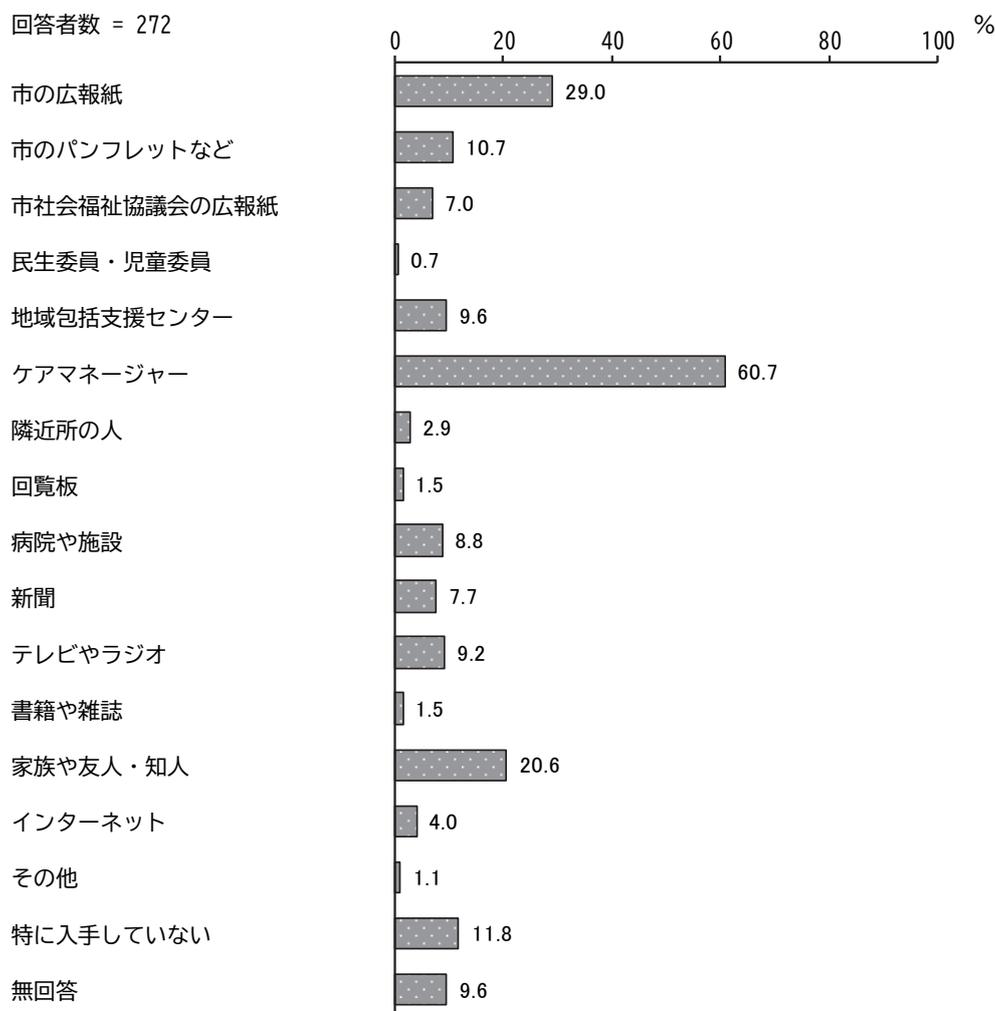
単位：％

区分	回答者数 (件)	負担が大きい	少し負担	妥当な額である	思ったより安い	わからない	無回答
全 体	83	18.1	16.9	39.8	9.6	14.5	1.2
要介護1	14	7.1	－	57.1	7.1	21.4	7.1
要介護2	25	12.0	16.0	40.0	20.0	12.0	－
要介護3	16	25.0	18.8	25.0	12.5	18.8	－
要介護4	13	38.5	30.8	23.1	－	7.7	－
要介護5	13	15.4	15.4	53.8	－	15.4	－
わからない	－	－	－	－	－	－	－

(5) 高齢者福祉全般について

問31 介護等の高齢者福祉に関する情報を、何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「市の広報紙」の割合が 29.0%、「家族や友人・知人」の割合が 20.6%となっています。



【家族構成別】

ひとり暮らしで「ケアマネジャー」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「家族や友人・知人」「市のパンフレットなど」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市の広報紙	市のパンフレットなど	市社会福祉協議会の広 報紙	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	ケアマネジャー	隣近所の人	回覧板
全 体	272	29.0	10.7	7.0	0.7	9.6	60.7	2.9	1.5
ひとり暮らし	48	22.9	6.3	8.3	4.2	12.5	72.9	4.2	2.1
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	34.1	15.9	10.2	－	9.1	52.3	4.5	3.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	31.8	9.1	4.5	－	4.5	50.0	4.5	－
その他の世帯（同居世帯）	99	26.3	8.1	4.0	－	9.1	62.6	1.0	－

区分	病院や施設	新聞	テレビやラジオ	書籍や雑誌	家族や友人・知人	インターネット	その他	特に入手していない	無回答
全 体	8.8	7.7	9.2	1.5	20.6	4.0	1.1	11.8	9.6
ひとり暮らし	4.2	6.3	2.1	－	14.6	4.2	2.1	14.6	6.3
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	10.2	11.4	13.6	3.4	26.1	3.4	1.1	13.6	8.0
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	13.6	－	－	－	18.2	9.1	－	9.1	13.6
その他の世帯（同居世帯）	8.1	6.1	11.1	－	21.2	3.0	1.0	11.1	9.1

【要介護度別】

要介護3で「ケアマネジャー」の割合が、要介護5で「市の広報紙」の割合が、要介護4で「市のパンフレットなど」の割合が高くなっています。

単位：％

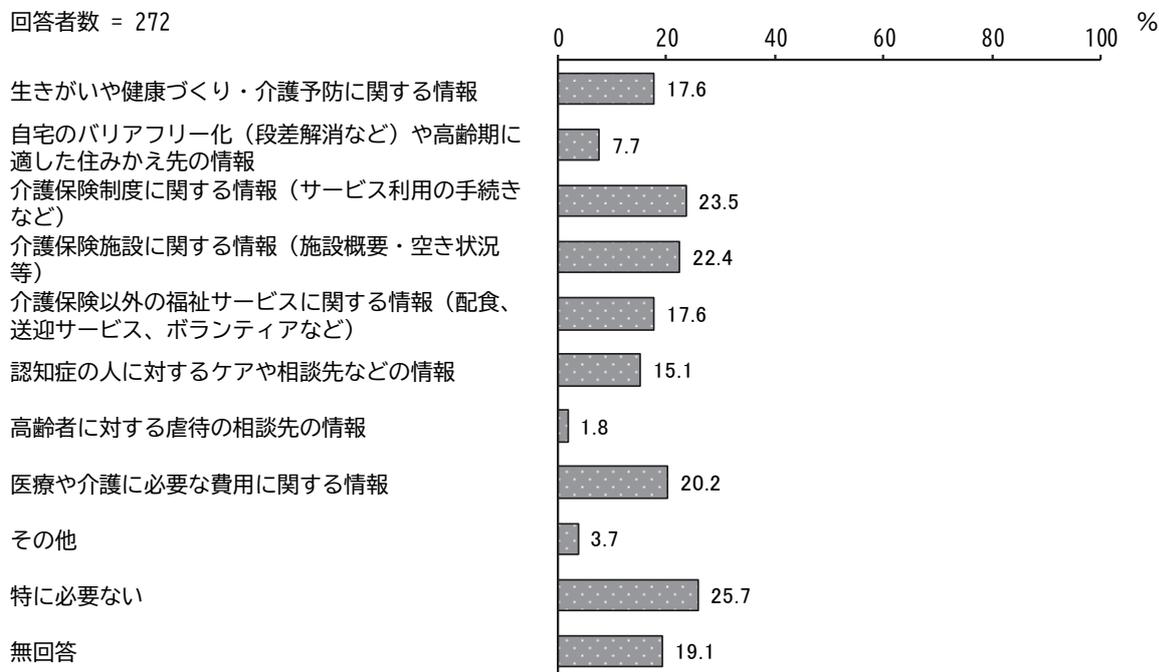
区分	回答者数(件)	市の広報紙	市のパンフレットなど	市社会福祉協議会の広報紙	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	ケアマネジャー	隣近所の人	回覧板
全体	272	29.0	10.7	7.0	0.7	9.6	60.7	2.9	1.5
要介護1	50	34.0	12.0	12.0	2.0	10.0	60.0	8.0	2.0
要介護2	63	23.8	7.9	4.8	1.6	9.5	65.1	—	1.6
要介護3	55	29.1	7.3	5.5	—	3.6	70.9	5.5	1.8
要介護4	48	22.9	16.7	6.3	—	8.3	62.5	2.1	2.1
要介護5	38	36.8	10.5	5.3	—	15.8	57.9	—	—
わからない	6	16.7	—	—	—	—	—	—	—

区分	病院や施設	新聞	テレビやラジオ	書籍や雑誌	家族や友人・知人	インターネット	その他	特に入手していない	無回答
全体	8.8	7.7	9.2	1.5	20.6	4.0	1.1	11.8	9.6
要介護1	6.0	14.0	14.0	—	12.0	6.0	—	8.0	10.0
要介護2	6.3	3.2	9.5	3.2	25.4	—	—	12.7	6.3
要介護3	10.9	9.1	10.9	—	23.6	1.8	1.8	12.7	7.3
要介護4	16.7	6.3	4.2	2.1	18.8	6.3	2.1	10.4	6.3
要介護5	2.6	7.9	7.9	—	23.7	7.9	2.6	15.8	5.3
わからない	—	—	—	—	16.7	—	—	33.3	33.3

問 32 あなたは、介護や保健、医療等に関する事で、どのような情報がほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に必要ない」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」の割合が 23.5%、「介護保険施設に関する情報（施設概要・空き状況等）」の割合が 22.4%となっています。

回答者数 = 272



【家族構成別】

ひとり暮らしで「特に必要ない」の割合が、その他の世帯（同居世帯）で「介護保険施設に関する情報（施設概要・空き状況等）」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報	自宅のバリアフリー化（段差解消など）や高齢期に適した住みかえ先の情報	介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）	介護保険施設に関する情報（施設概要・空き状況等）	介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）	認知症の人に対するケアや相談先などの情報	高齢者に対する虐待の相談先の情報	医療や介護に必要な費用に関する情報	その他	特に必要ない	無回答
全 体	272	17.6	7.7	23.5	22.4	17.6	15.1	1.8	20.2	3.7	25.7	19.1
ひとり暮らし	48	10.4	4.2	20.8	18.8	18.8	18.8	2.1	14.6	—	33.3	20.8
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	22.7	11.4	26.1	22.7	18.2	15.9	3.4	20.5	4.5	20.5	19.3
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	18.2	9.1	4.5	4.5	13.6	18.2	4.5	22.7	13.6	18.2	18.2
その他の世帯（同居世帯）	99	18.2	6.1	27.3	28.3	16.2	12.1	—	23.2	3.0	29.3	17.2

【要介護度別】

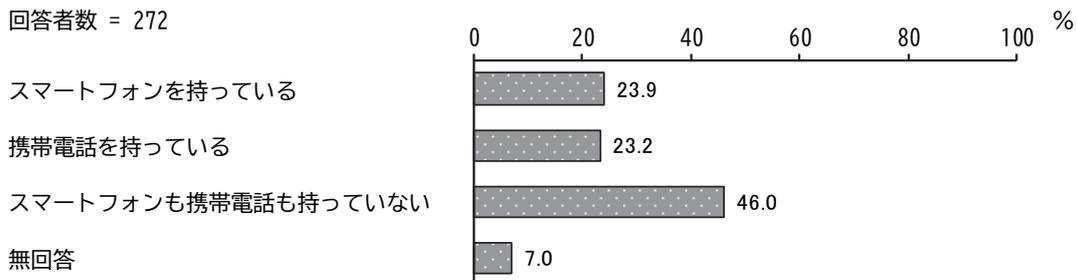
要介護4で「介護保険施設に関する情報（施設概要・空き状況等）」「医療や介護に必要な費用に関する情報」の割合が、要介護1で「生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報	高齢者に適した住みかえ先の情報	自宅のバリアフリー化（段差解消など）や	介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）	介護保険施設に関する情報（施設概要・空き状況等）	介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）	認知症の人に対するケアや相談先などの情報	高齢者に対する虐待の相談先の情報	医療や介護に必要な費用に関する情報	その他	特に必要ない	無回答
全体	272	17.6	7.7	23.5	22.4	17.6	15.1	1.8	20.2	3.7	25.7	19.1	
要介護1	50	26.0	8.0	30.0	24.0	16.0	22.0	2.0	18.0	4.0	16.0	20.0	
要介護2	63	9.5	6.3	17.5	19.0	23.8	14.3	1.6	15.9	1.6	33.3	17.5	
要介護3	55	21.8	10.9	20.0	21.8	14.5	12.7	1.8	25.5	3.6	32.7	20.0	
要介護4	48	25.0	4.2	27.1	33.3	16.7	14.6	4.2	29.2	4.2	27.1	10.4	
要介護5	38	5.3	10.5	26.3	21.1	15.8	15.8	—	15.8	5.3	23.7	13.2	
わからない	6	33.3	—	33.3	—	16.7	—	—	33.3	16.7	16.7	33.3	

問33 スマートフォン・携帯電話を持っていますか。（1つに○）

「スマートフォンも携帯電話も持っていない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「スマートフォンを持っている」の割合が23.9%、「携帯電話を持っている」の割合が23.2%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「スマートフォンも携帯電話も持っていない」の割合が、ひとり暮らしで「携帯電話を持っている」の割合が、配偶者のみ（あなたと二人世帯）で「スマートフォンを持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	スマートフォンを 持っている	携帯電話を持っ ている	スマートフォンも 携帯電話も持っ ていない	無回答
全 体	272	23.9	23.2	46.0	7.0
ひとり暮らし	48	16.7	35.4	41.7	6.3
配偶者のみ（あなたと二人世帯）	88	33.0	20.5	43.2	3.4
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	13.6	13.6	59.1	13.6
その他の世帯（同居世帯）	99	21.2	21.2	50.5	7.1

【要介護度別】

要介護1で「スマートフォンを持っている」の割合が、要介護4で「スマートフォンも携帯電話も持っていない」の割合が、要介護5で「スマートフォンも携帯電話も持っていない」の割合が高くなっています。

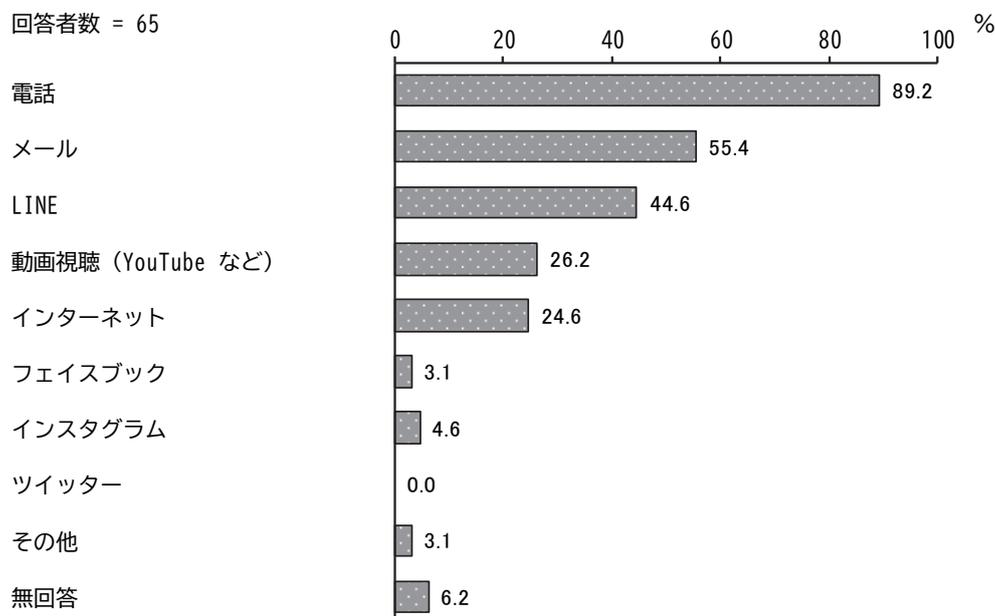
単位：％

区分	回答者数 (件)	スマートフォンを 持っている	携帯電話を持っ ている	スマートフォンも 携帯電話も持っ ていない	無回答
全 体	272	23.9	23.2	46.0	7.0
要介護1	50	44.0	24.0	24.0	8.0
要介護2	63	23.8	22.2	52.4	1.6
要介護3	55	27.3	25.5	43.6	3.6
要介護4	48	18.8	16.7	58.3	6.3
要介護5	38	10.5	26.3	57.9	5.3
わからない	6	－	－	66.7	33.3

【問 33 で「1. スマートフォンを持っている」と答えた方のみ】

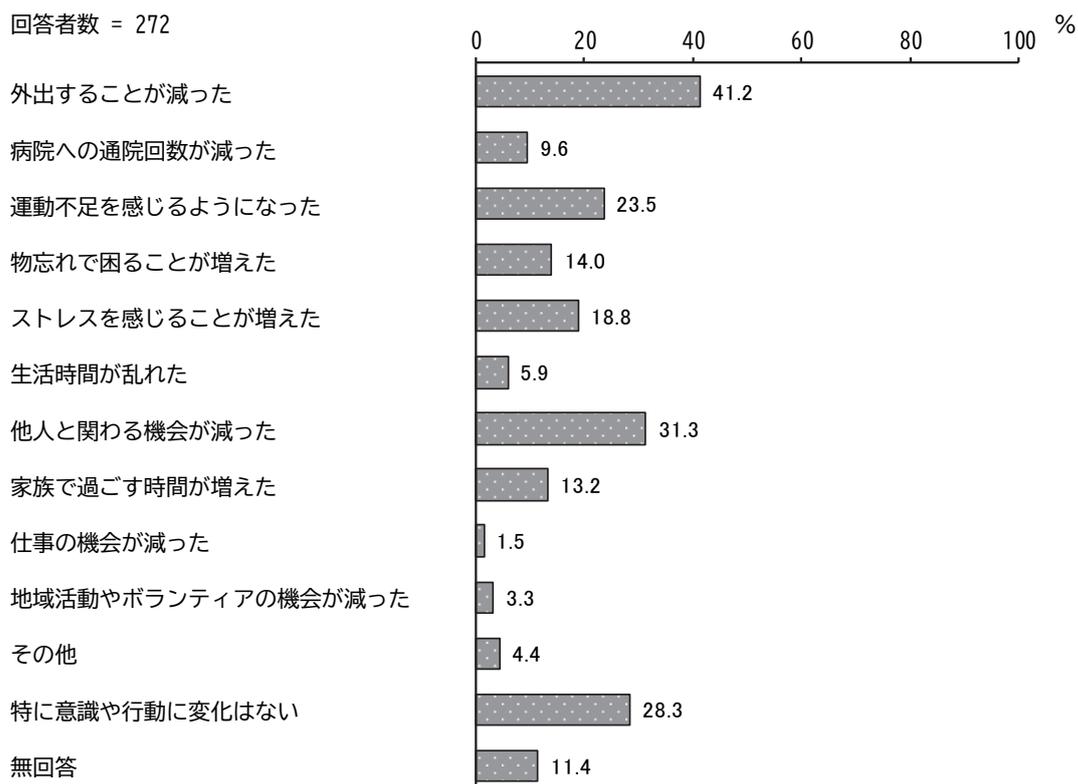
問 33-1 下記の機能で利用できるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

「電話」の割合が 89.2%と最も高く、次いで「メール」の割合が 55.4%、「LINE」の割合が 44.6%となっています。



問 34 新型コロナウイルス感染症まん延によるあなたの生活などの変化についてお答えください。(○はいくつでも)

「外出することが減った」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「他人と関わる機会が減った」の割合が 31.3%、「特に意識や行動に変化はない」の割合が 28.3%となっています。



【家族構成別】

配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯で「特に意識や行動に変化はない」の割合が、ひとり暮らしで「他人と関わる機会が減った」「物忘れで困ることが増えた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外出することが減った	病院への通院回数が減った	運動不足を感じるようになった	物忘れで困ることが増えた	ストレスを感じるが増えた	生活時間が乱れた
全 体	272	41.2	9.6	23.5	14.0	18.8	5.9
ひとり暮らし	48	43.8	10.4	25.0	22.9	18.8	4.2
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	88	48.9	8.0	30.7	14.8	27.3	8.0
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	22	27.3	22.7	27.3	18.2	13.6	4.5
その他の世帯(同居世帯)	99	37.4	7.1	14.1	7.1	13.1	5.1

区分	他人と関わる機会が減った	家族で過ごす時間が増えた	仕事の機会が減った	地域活動やボランティアの機会が減った	その他	特に意識や行動に変化はない	無回答
全 体	31.3	13.2	1.5	3.3	4.4	28.3	11.4
ひとり暮らし	41.7	6.3	4.2	4.2	2.1	20.8	10.4
配偶者のみ(あなたと二人世帯)	35.2	12.5	2.3	6.8	5.7	27.3	6.8
配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯	18.2	13.6	—	—	—	50.0	9.1
その他の世帯(同居世帯)	25.3	17.2	—	1.0	5.1	29.3	15.2

【要介護度別】

要介護1で「外出することが減った」の割合が、要介護2で「運動不足を感じるようになった」「ストレスを感じるが増えた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	外出することが減った	病院への通院回数が減った	運動不足を感じるようになった	物忘れで困ることが増えた	ストレスを感じるが増えた	生活時間が乱れた
全 体	272	41.2	9.6	23.5	14.0	18.8	5.9
要介護1	50	52.0	4.0	30.0	18.0	20.0	4.0
要介護2	63	49.2	11.1	33.3	20.6	27.0	6.3
要介護3	55	36.4	14.5	16.4	10.9	16.4	7.3
要介護4	48	33.3	10.4	16.7	10.4	10.4	6.3
要介護5	38	23.7	5.3	10.5	5.3	18.4	5.3
わからない	6	66.7	16.7	66.7	33.3	33.3	—

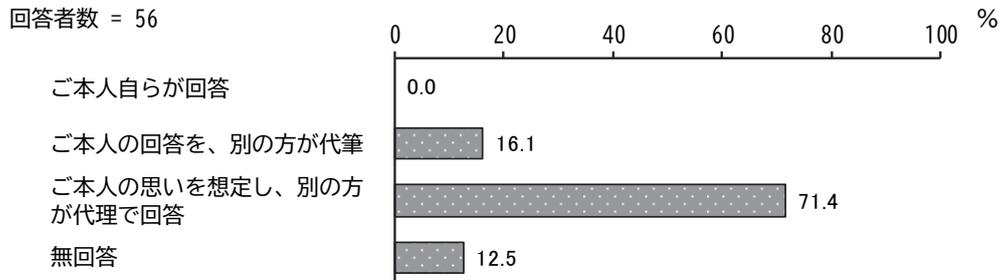
区分	他人と関わる機会が減った	家族で過ごす時間が増えた	仕事の機会が減った	地域活動やボランティアの機会が減った	その他	特に意識や行動に変化はない	無回答
全 体	31.3	13.2	1.5	3.3	4.4	28.3	11.4
要介護1	38.0	16.0	2.0	14.0	4.0	20.0	6.0
要介護2	33.3	11.1	—	—	3.2	28.6	1.6
要介護3	29.1	14.5	1.8	—	3.6	30.9	14.5
要介護4	20.8	14.6	2.1	2.1	8.3	35.4	18.8
要介護5	34.2	5.3	—	—	5.3	34.2	10.5
わからない	50.0	33.3	16.7	16.7	—	16.7	16.7

2 要介護認定者（施設入居者）

2 要介護認定者（施設入居者）

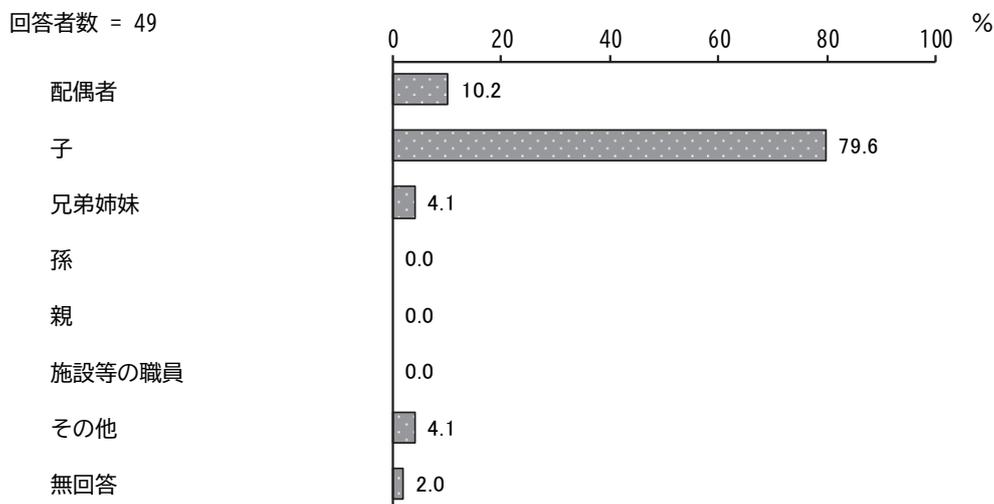
最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。

「ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「ご本人の回答を、別の方が代筆」の割合が 16.1%となっています。



【「2. ご本人の回答を、別の方が代筆」、「3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の方のみ】
回答されている方は、ご本人からみてどなたですか。

「子」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 10.2%となっています。

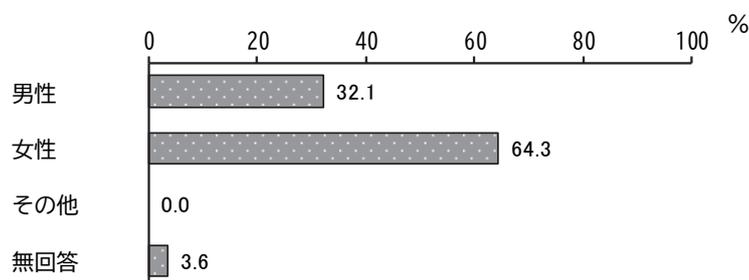


(1) あなたとあなたのご家族や生活状況について

問1. あなたの性別はどちらですか。(ひとつだけに○)

「男性」の割合が32.1%、「女性」の割合が64.3%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

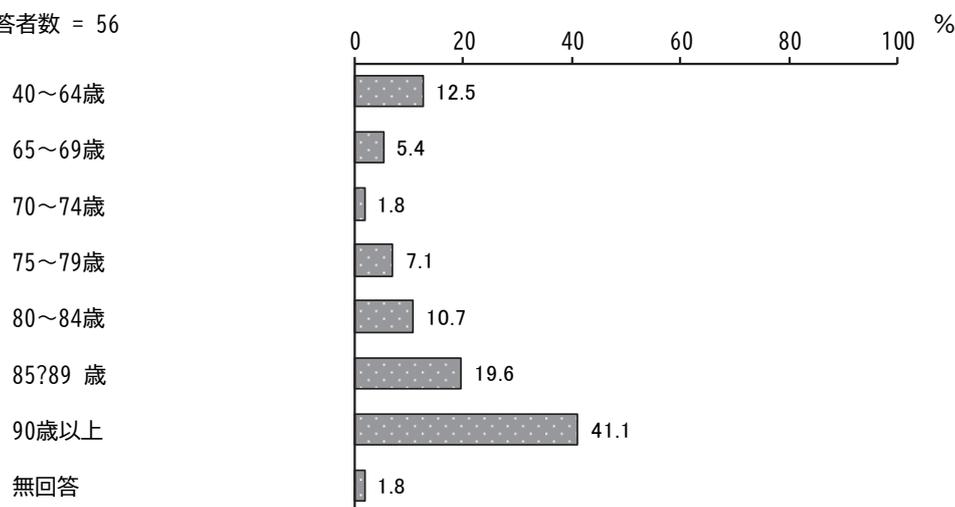
単位：%

区分	(件) 回答者数	男性	女性	その他	無回答
全体	56	32.1	64.3	—	3.6
要介護1	9	44.4	44.4	—	11.1
要介護2	14	35.7	64.3	—	—
要介護3	10	20.0	80.0	—	—
要介護4	8	37.5	62.5	—	—
要介護5	12	25.0	75.0	—	—
わからない	2	50.0	50.0	—	—

問2. あなたの年齢はおいくつですか。(ひとつだけに○)

「90歳以上」の割合が41.1%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が19.6%、「40～64歳」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

要介護3で「90歳以上」の割合が、要介護2で「85～89歳」の割合が、要介護5で「40～64歳」の割合が高くなっています。

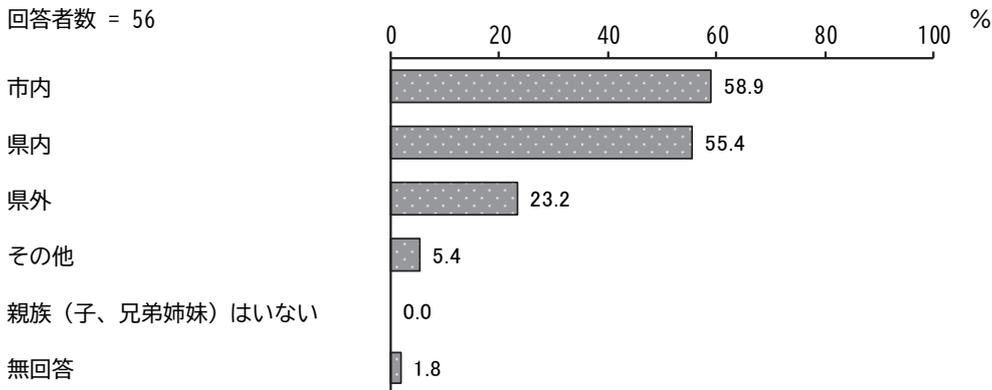
単位：％

区分	(件) 回答者数	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体	56	12.5	5.4	1.8	7.1	10.7	19.6	41.1	1.8
要介護1	9	11.1	11.1	—	22.2	—	11.1	44.4	—
要介護2	14	—	7.1	—	7.1	7.1	50.0	28.6	—
要介護3	10	—	—	—	—	—	20.0	80.0	—
要介護4	8	25.0	—	—	12.5	37.5	—	25.0	—
要介護5	12	33.3	8.3	8.3	—	16.7	—	33.3	—
わからない	2	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—

問3. 親族（子、兄弟姉妹）は、どちらにお住まいですか。（あてはまるものすべてに○）

「市内」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「県内」の割合が 55.4%、「県外」の割合が 23.2%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

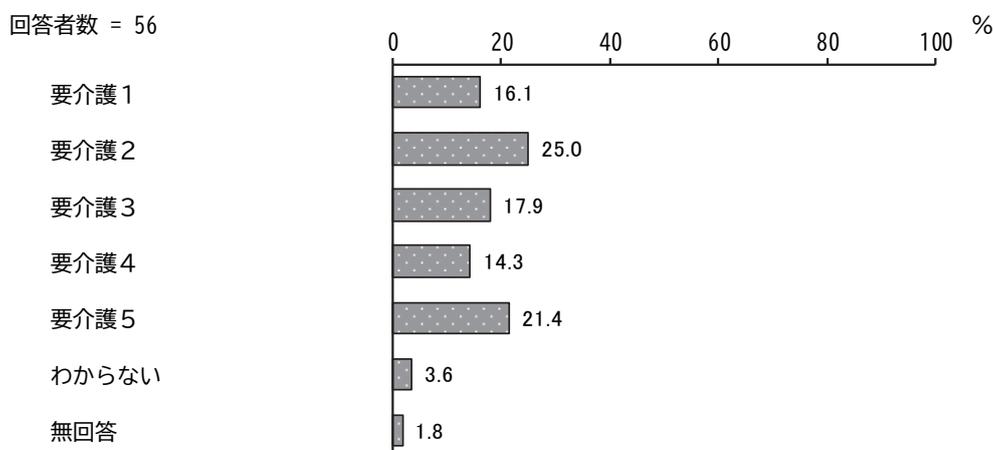
要介護3で「市内」「県外」の割合が、要介護5で「県外」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	(件) 回答者数	市内	県内	県外	その他	親族（子、兄弟姉妹）はいない	無回答
全体	56	58.9	55.4	23.2	5.4	—	1.8
要介護1	9	55.6	77.8	22.2	—	—	—
要介護2	14	64.3	50.0	21.4	—	—	—
要介護3	10	80.0	50.0	30.0	—	—	—
要介護4	8	50.0	37.5	12.5	12.5	—	—
要介護5	12	58.3	58.3	33.3	16.7	—	—
わからない	2	—	100.0	—	—	—	—

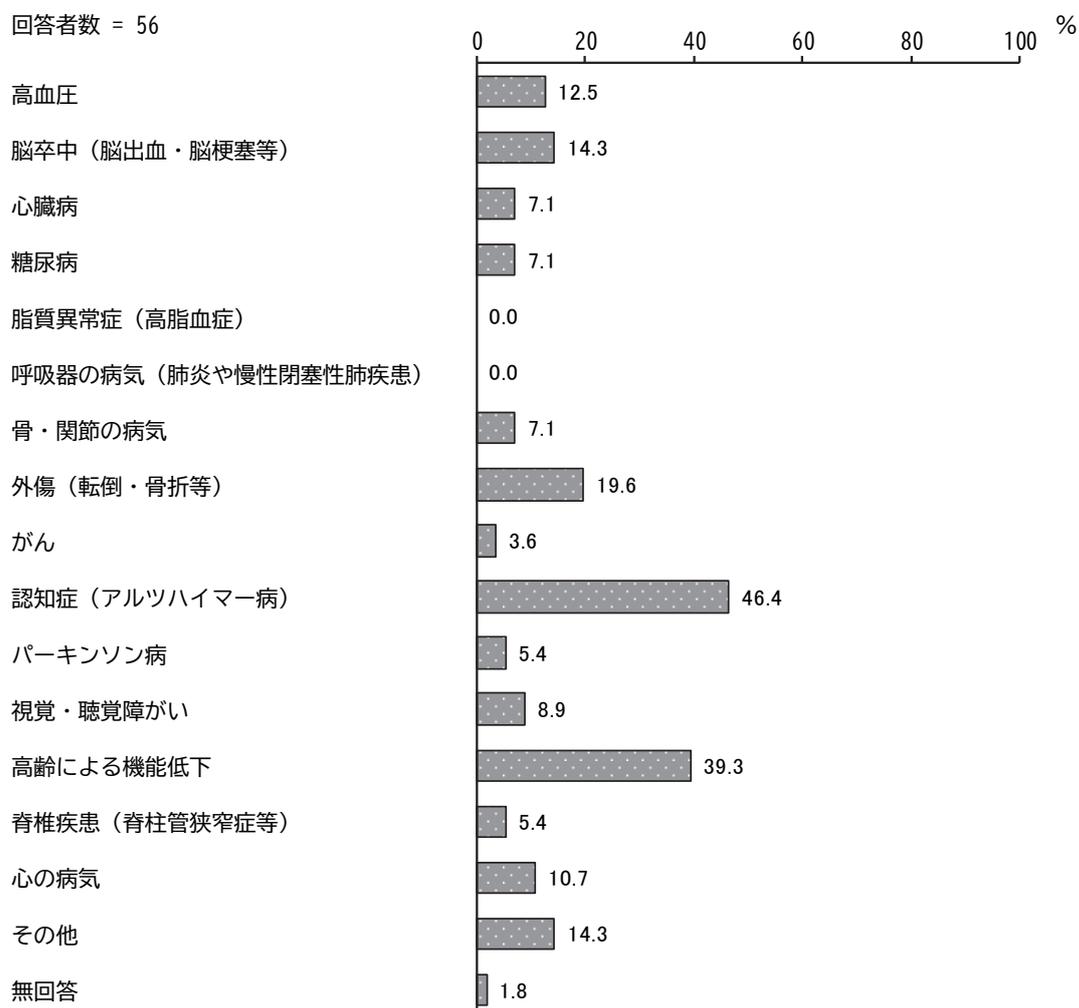
問4. あなたの要介護の状態について教えてください。(ひとつだけに○)

「要介護2」の割合が25.0%と最も高く、次いで「要介護5」の割合が21.4%、「要介護3」の割合が17.9%となっています。



問5. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「認知症（アルツハイマー病）」の割合が46.4%と最も高く、次いで「高齢による機能低下」の割合が39.3%、「外傷（転倒・骨折等）」の割合が19.6%となっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、要介護5で「外傷（転倒・骨折等）」の割合が、要介護3で「高齢による機能低下」の割合が、要介護2で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が高くなっています。

単位：％

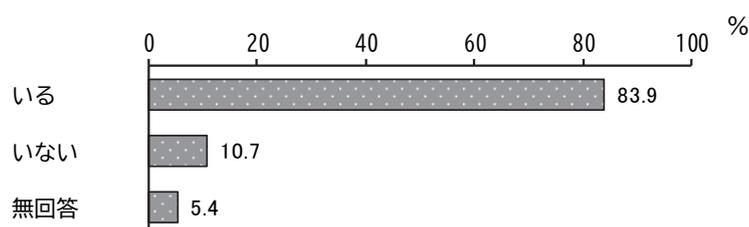
区分	回答者数（件）	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	脂質異常症（高脂血症）	呼吸器の病気（肺炎や慢性閉塞性肺疾患）	骨・関節の病気	外傷（転倒・骨折等）
全体	56	12.5	14.3	7.1	7.1	—	—	7.1	19.6
要介護1	9	11.1	—	—	—	—	—	11.1	33.3
要介護2	14	21.4	28.6	14.3	21.4	—	—	—	7.1
要介護3	10	10.0	—	20.0	10.0	—	—	20.0	10.0
要介護4	8	12.5	37.5	—	—	—	—	—	12.5
要介護5	12	8.3	8.3	—	—	—	—	—	41.7
わからない	2	—	—	—	—	—	—	50.0	—

区分	がん	認知症（アルツハイマー病）	パーキンソン病	視覚・聴覚障がい	高齢による機能低下	脊椎疾患（脊柱管狭窄症等）	心の病気	その他	無回答
全体	3.6	46.4	5.4	8.9	39.3	5.4	10.7	14.3	1.8
要介護1	11.1	55.6	—	22.2	55.6	—	33.3	11.1	—
要介護2	7.1	50.0	7.1	—	35.7	—	7.1	14.3	—
要介護3	—	60.0	—	20.0	60.0	10.0	10.0	10.0	—
要介護4	—	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	—	12.5	—
要介護5	—	41.7	8.3	—	16.7	—	8.3	25.0	—
わからない	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—

問6. 悩みや心配事の相談できる人はいますか。（ひとつだけに○）

「いる」の割合が83.9%、「いない」の割合が10.7%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

要介護2で「いない」の割合が、要介護3で「いる」の割合が高くなっています。

単位：％

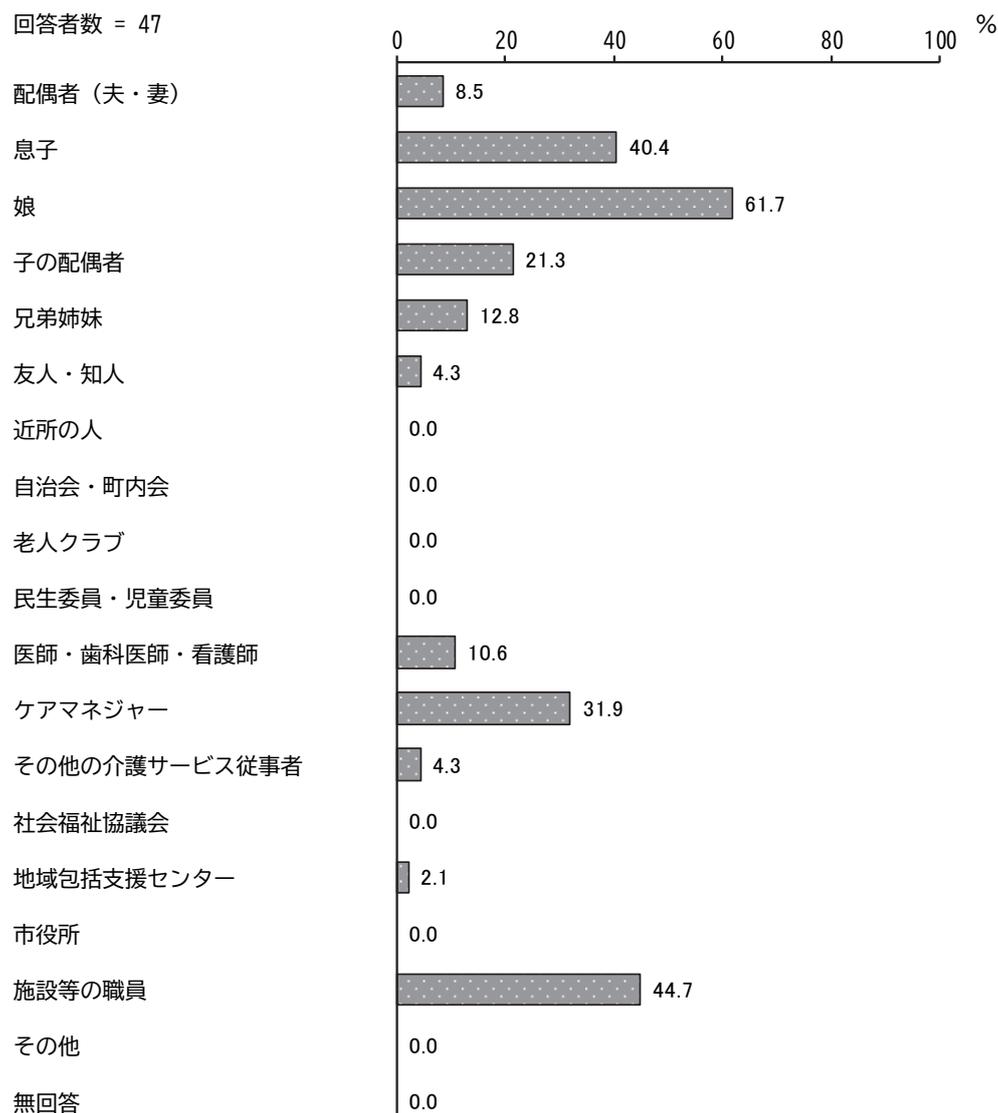
区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全体	56	83.9	10.7	5.4
要介護1	9	100.0	—	—
要介護2	14	78.6	21.4	—
要介護3	10	90.0	—	10.0
要介護4	8	75.0	25.0	—
要介護5	12	83.3	8.3	8.3
わからない	2	100.0	—	—

【6. で「1. いる」と答えた方のみ】

問6-1. 相談できる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「娘」の割合が61.7%と最も高く、次いで「施設等の職員」の割合が44.7%、「息子」の割合が40.4%となっています。

回答者数 = 47



【要介護度別】

要介護5で「娘」の割合が、要介護2で「ケアマネジャー」「施設等の職員」の割合が高くなっています。

単位：%

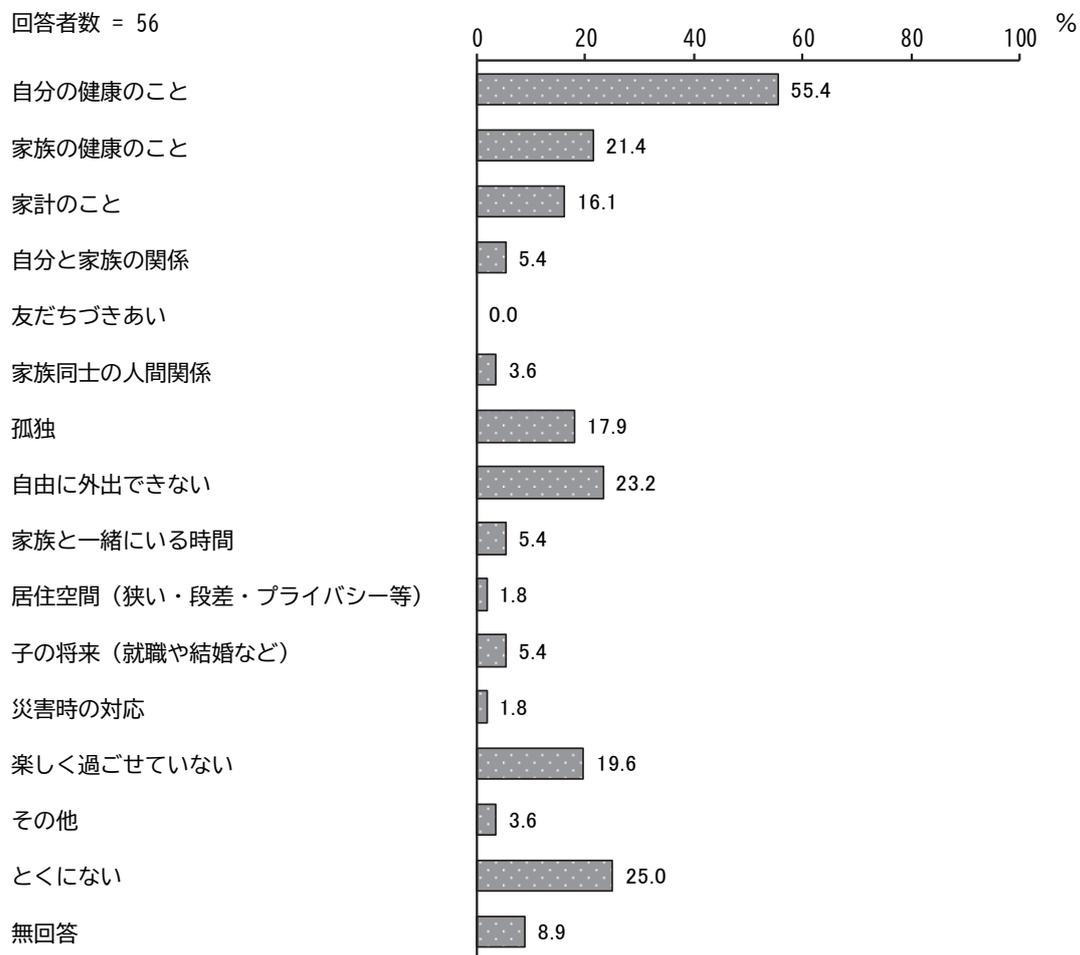
区分	回答者数(件)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近所の人	自治会・町内会	老人クラブ
全 体	47	8.5	40.4	61.7	21.3	12.8	4.3	-	-	-
要介護1	9	-	66.7	55.6	33.3	11.1	11.1	-	-	-
要介護2	11	-	18.2	54.5	-	18.2	-	-	-	-
要介護3	9	-	33.3	55.6	33.3	-	-	-	-	-
要介護4	6	33.3	66.7	66.7	16.7	16.7	-	-	-	-
要介護5	10	20.0	40.0	80.0	30.0	10.0	10.0	-	-	-
わからない	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-

区分	民生委員・児童委員	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	その他の介護サービス従事者	社会福祉協議会	地域包括支援センター	市役所	施設等の職員	その他	無回答
全 体	-	10.6	31.9	4.3	-	2.1	-	44.7	-	-
要介護1	-	11.1	33.3	-	-	11.1	-	44.4	-	-
要介護2	-	9.1	45.5	9.1	-	-	-	54.5	-	-
要介護3	-	11.1	11.1	-	-	-	-	33.3	-	-
要介護4	-	33.3	50.0	16.7	-	-	-	50.0	-	-
要介護5	-	-	20.0	-	-	-	-	40.0	-	-
わからない	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-

問7. 現在心配なこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の健康のこと」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「とくにない」の割合が 25.0%、「自由に外出できない」の割合が 23.2%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

要介護3で「とくにない」の割合が、要介護2で「家族の健康のこと」「孤独」の割合が高くなっています。

単位：％

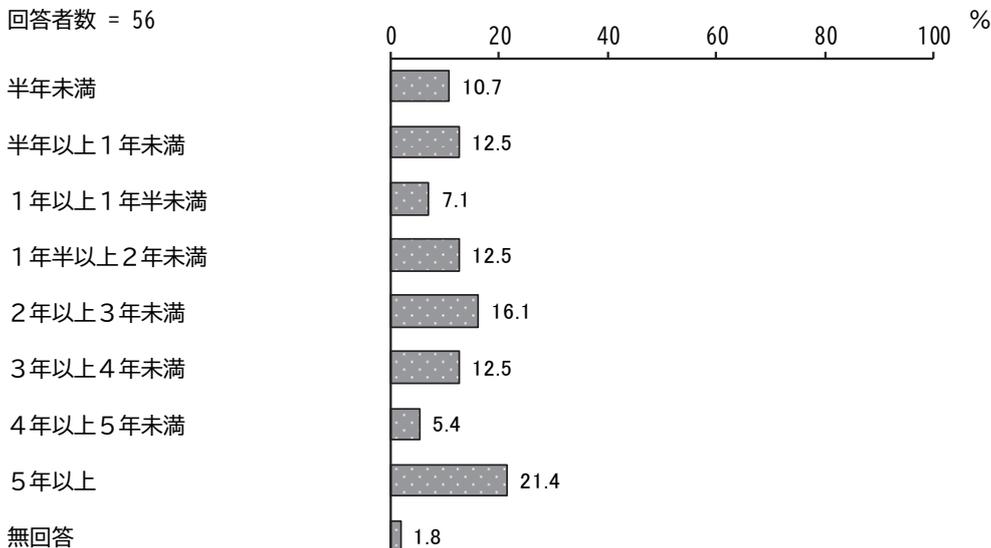
区分	回答者数(件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	家計のこと	自分と家族の関係	友だちづきあい	家族同士の人間関係	孤独	自由に外出できない
全体	56	55.4	21.4	16.1	5.4	—	3.6	17.9	23.2
要介護1	9	77.8	33.3	22.2	22.2	—	—	—	22.2
要介護2	14	64.3	35.7	21.4	7.1	—	7.1	28.6	28.6
要介護3	10	10.0	—	10.0	—	—	10.0	10.0	10.0
要介護4	8	75.0	37.5	12.5	—	—	—	12.5	12.5
要介護5	12	58.3	8.3	16.7	—	—	—	25.0	25.0
わからない	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0	100.0

区分	家族と一緒にいる時間	居住空間(狭い・段差・プライバシー等)	子の将来(就職や結婚など)	災害時の対応	楽しく過ごせていない	その他	とくにない	無回答
全体	5.4	1.8	5.4	1.8	19.6	3.6	25.0	8.9
要介護1	—	—	11.1	—	—	—	22.2	—
要介護2	7.1	7.1	7.1	—	21.4	7.1	28.6	7.1
要介護3	—	—	—	—	30.0	—	50.0	10.0
要介護4	—	—	—	—	12.5	—	12.5	12.5
要介護5	16.7	—	8.3	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3
わからない	—	—	—	—	50.0	—	—	—

問8. 現在の施設等には、どれくらい入所・入居されていますか。(ひとつだけに○)

「5年以上」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「2年以上3年未満」の割合が 16.1%、「半年以上1年未満」、「1年半以上2年未満」、「3年以上4年未満」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

要介護5で「3年以上4年未満」「2年以上3年未満」の割合が、要介護3で「5年以上」の割合が、要介護2で「半年以上1年未満」の割合が高くなっています。

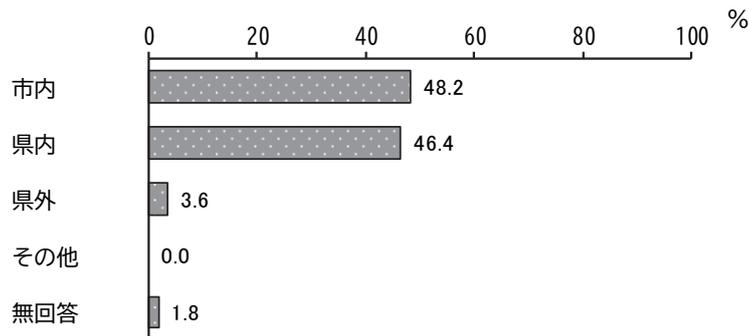
単位：％

区分	回答者数 (件)	半年未満	半年以上 1年未満	1年以上 1年半未満	1年半以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	無回答
全体	56	10.7	12.5	7.1	12.5	16.1	12.5	5.4	21.4	1.8
要介護1	9	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	—	—	33.3	—
要介護2	14	14.3	21.4	7.1	7.1	21.4	7.1	7.1	14.3	—
要介護3	10	10.0	—	—	20.0	10.0	—	20.0	40.0	—
要介護4	8	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	—	12.5	—
要介護5	12	—	8.3	8.3	16.7	25.0	33.3	—	8.3	—
わからない	2	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—

問9. 施設等の所在地はどちらですか。(ひとつだけに○)

「市内」の割合が48.2%と最も高く、次いで「県内」の割合が46.4%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

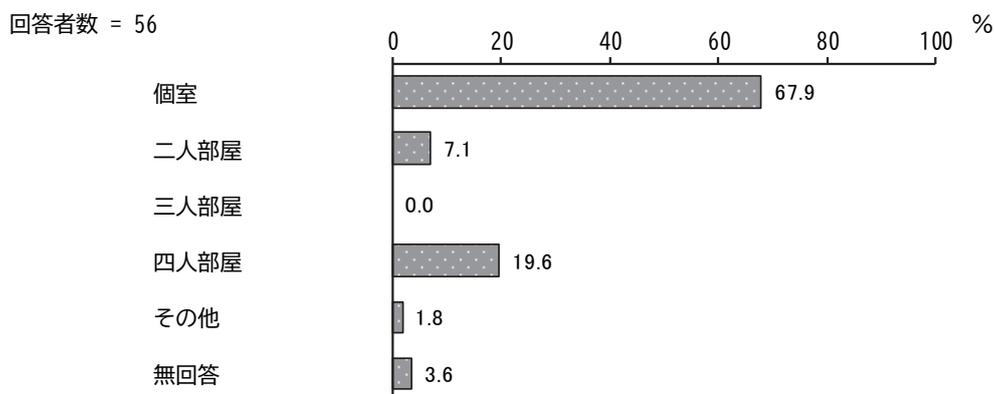
要介護5で「市内」の割合が、要介護2で「県内」の割合が、要介護3で「市内」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市内	県内	県外	その他	無回答
全体	56	48.2	46.4	3.6	—	1.8
要介護1	9	44.4	55.6	—	—	—
要介護2	14	28.6	64.3	7.1	—	—
要介護3	10	60.0	40.0	—	—	—
要介護4	8	37.5	50.0	12.5	—	—
要介護5	12	83.3	16.7	—	—	—
わからない	2	—	100.0	—	—	—

問 10. どのようなお部屋にお住まいですか。(ひとつだけに○)

「個室」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「四人部屋」の割合が 19.6%となっています。



【要介護度別】

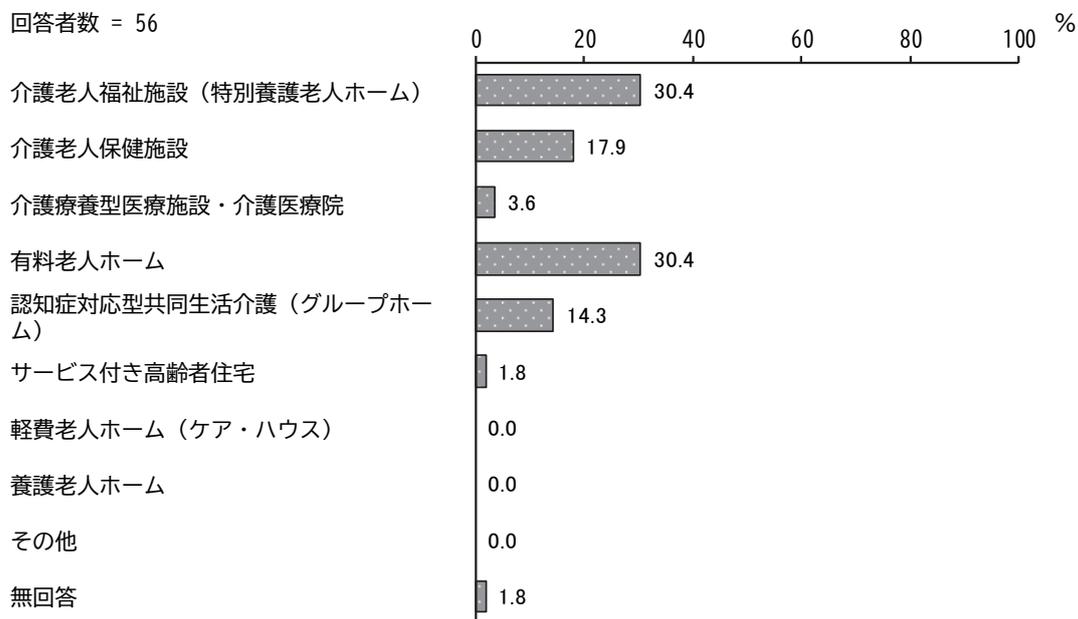
要介護2で「四人部屋」の割合が高くなっています。また、他に比べ、要介護5で「個室」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	個室	二人部屋	三人部屋	四人部屋	その他	無回答
全 体	56	67.9	7.1	—	19.6	1.8	3.6
要介護1	9	77.8	—	—	22.2	—	—
要介護2	14	71.4	—	—	28.6	—	—
要介護3	10	70.0	10.0	—	20.0	—	—
要介護4	8	75.0	—	—	12.5	12.5	—
要介護5	12	50.0	25.0	—	16.7	—	8.3
わからない	2	100.0	—	—	—	—	—

問 11. 現在、生活されている施設等はどのような施設ですか。(ひとつだけに○)

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「有料老人ホーム」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」の割合が 17.9%となっています。



【要介護度別】

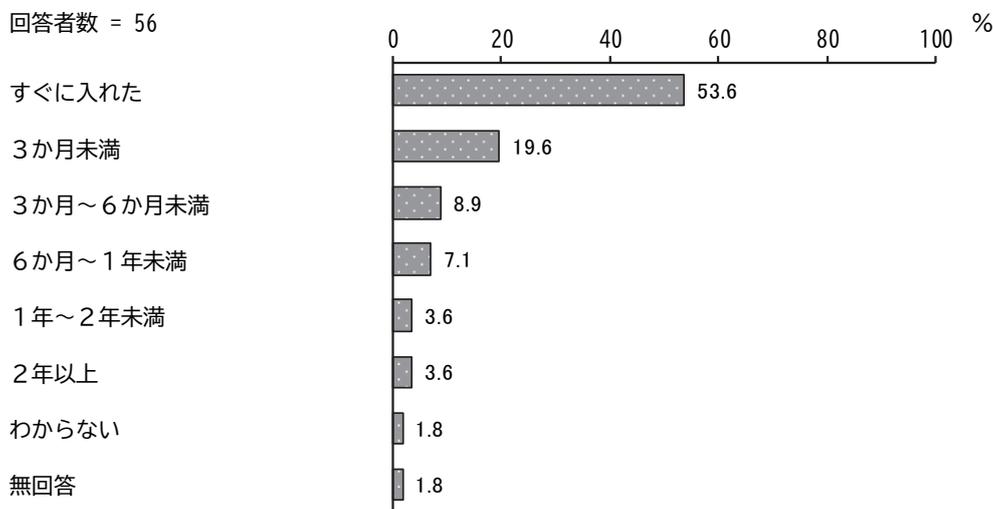
要介護5で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が、要介護2で「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合が、要介護3で「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院	有料老人ホーム	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	サービス付き高齢者住宅	軽費老人ホーム (ケア・ハウス)	養護老人ホーム	その他	無回答
全体	56	30.4	17.9	3.6	30.4	14.3	1.8	-	-	-	1.8
要介護1	9	-	22.2	-	44.4	22.2	11.1	-	-	-	-
要介護2	14	21.4	21.4	-	35.7	21.4	-	-	-	-	-
要介護3	10	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	-	-	-	-	-
要介護4	8	62.5	12.5	-	25.0	-	-	-	-	-	-
要介護5	12	58.3	8.3	8.3	16.7	8.3	-	-	-	-	-
わからない	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-

問 12. 入所・入居するまでの待機期間は、どのくらいありましたか（ひとつだけに○）

「すぐに入れた」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「3か月未満」の割合が 19.6%となっています。



【要介護度別】

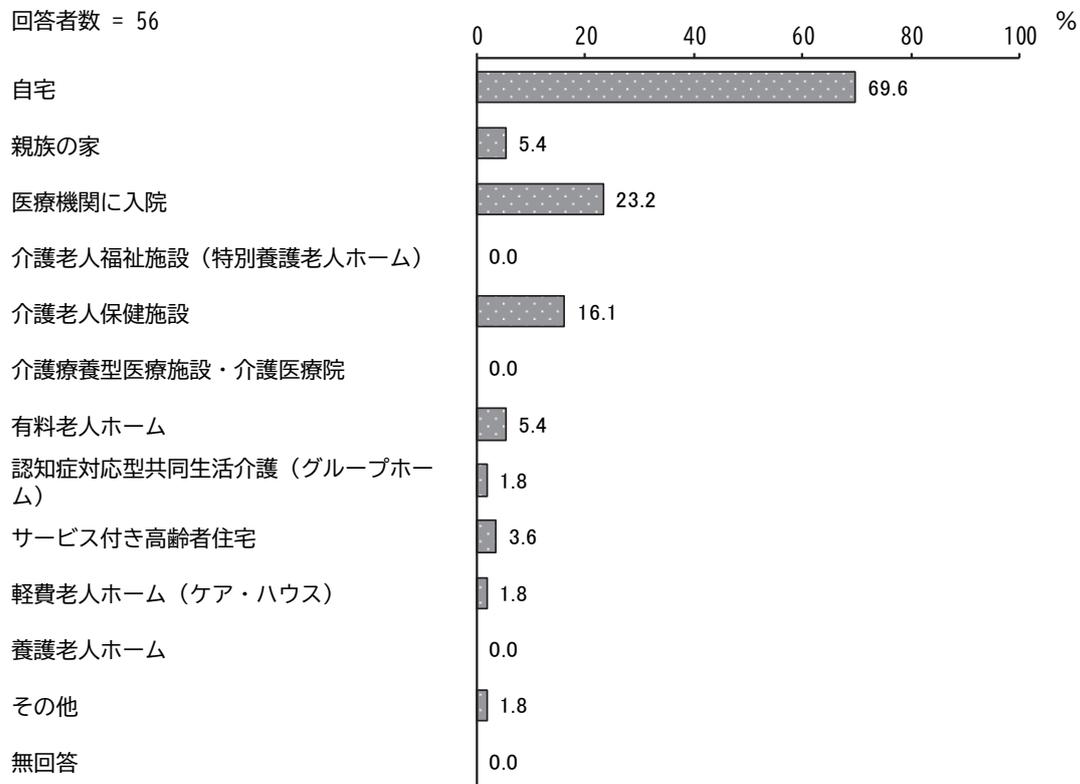
要介護5で「3か月未満」の割合が、要介護3で「すぐに入れた」の割合が高くなっています。また、要介護5で「すぐに入れた」の割合が、要介護2で「3か月未満」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	すぐに入れた	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年以上	わからない	無回答
全体	56	53.6	19.6	8.9	7.1	3.6	3.6	1.8	1.8
要介護1	9	77.8	11.1	—	—	—	—	—	11.1
要介護2	14	50.0	14.3	21.4	7.1	7.1	—	—	—
要介護3	10	70.0	—	—	20.0	10.0	—	—	—
要介護4	8	25.0	37.5	12.5	12.5	—	12.5	—	—
要介護5	12	41.7	41.7	—	—	—	8.3	8.3	—
わからない	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—

問 13. 現在の施設等への入所・入居以前は、主にどこで過ごされましたか（あてはまるものすべてに○）

「自宅」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「医療機関に入院」の割合が 23.2%、「介護老人保健施設」の割合が 16.1%となっています。



【要介護度別】

要介護5で「医療機関に入院」の割合が、要介護2で「介護老人保健施設」の割合が、要介護3で「自宅」の割合が高くなっています。

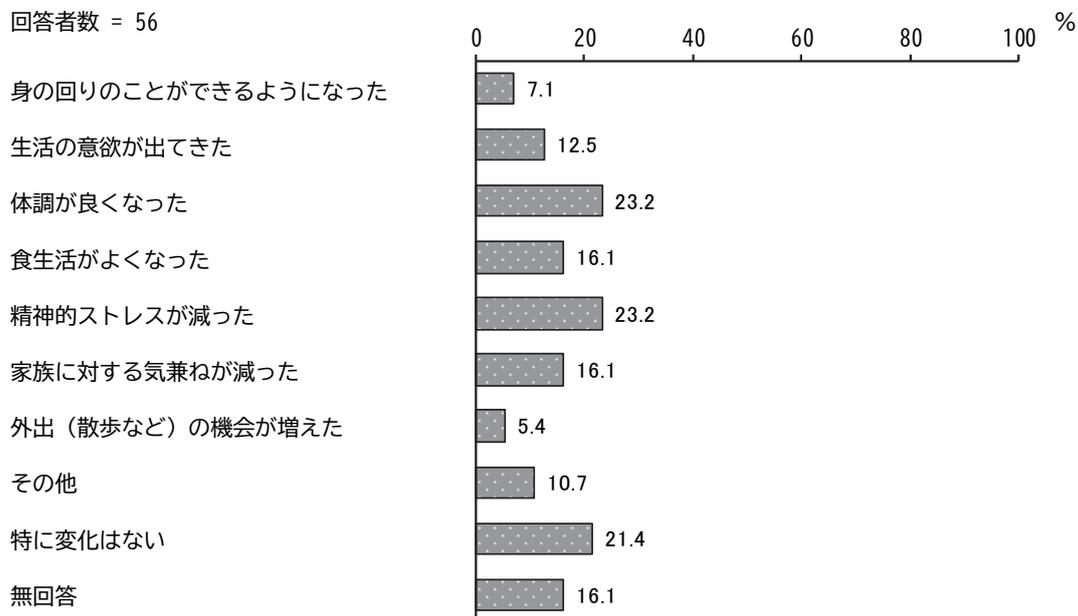
単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	親族の家	医療機関に入院	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設・ 介護医療院
全 体	56	69.6	5.4	23.2	—	16.1	—
要介護1	9	55.6	11.1	44.4	—	11.1	—
要介護2	14	71.4	—	7.1	—	28.6	—
要介護3	10	80.0	—	20.0	—	—	—
要介護4	8	50.0	25.0	12.5	—	25.0	—
要介護5	12	75.0	—	41.7	—	16.7	—
わからない	2	100.0	—	—	—	—	—

区分	有料老人ホーム	認知症対応型共同生活 介護（グループホーム）	サービス付き高齢者住 宅	軽費老人ホーム（ケ ア・ハウス）	養護老人ホーム	その他	無回答
全 体	5.4	1.8	3.6	1.8	—	1.8	—
要介護1	—	—	11.1	—	—	11.1	—
要介護2	7.1	—	—	—	—	—	—
要介護3	10.0	—	10.0	10.0	—	—	—
要介護4	—	—	—	—	—	—	—
要介護5	—	8.3	—	—	—	—	—
わからない	—	—	—	—	—	—	—

問 14. 施設等に入所・入居したことで、それまでの生活と比べて、良くなったと感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「体調が良くなった」、「精神的ストレスが減った」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「特に変化はない」の割合が 21.4%となっています。



【要介護度別】

要介護3で「特に変化はない」「体調が良くなった」「精神的ストレスが減った」の割合が、要介護2で「生活の意欲が出てきた」の割合が高くなっています。

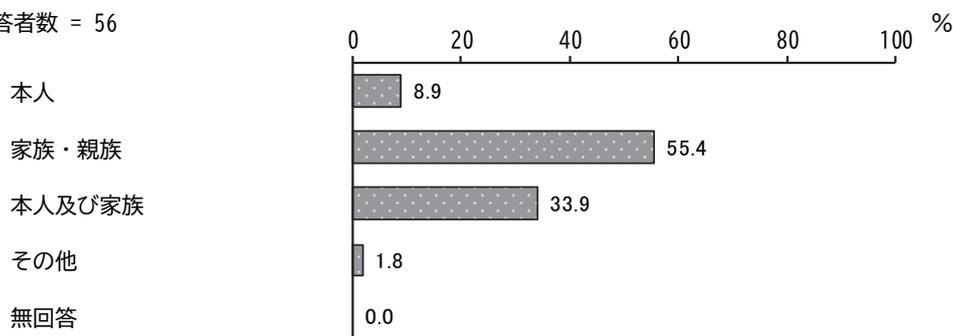
単位：%

区分	回答者数（件）	身の回りのことができるようになった	生活の意欲が出てきた	体調が良くなった	食生活がよくなった	精神的ストレスが減った	家族に対する気兼ねが減った	外出（散歩など）の機会が増えた	その他	特に変化はない	無回答
全 体	56	7.1	12.5	23.2	16.1	23.2	16.1	5.4	10.7	21.4	16.1
要介護1	9	11.1	22.2	55.6	33.3	33.3	22.2	11.1	—	22.2	—
要介護2	14	7.1	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	14.3	14.3	14.3	7.1
要介護3	10	—	—	30.0	10.0	30.0	—	—	—	40.0	10.0
要介護4	8	—	12.5	12.5	25.0	25.0	37.5	—	12.5	12.5	25.0
要介護5	12	8.3	8.3	16.7	8.3	25.0	16.7	—	25.0	16.7	33.3
わからない	2	50.0	—	—	—	50.0	50.0	—	—	50.0	—

問 15. 施設等での生活はどなたが決めましたか。(ひとつだけに○)

「家族・親族」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「本人及び家族」の割合が 33.9%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

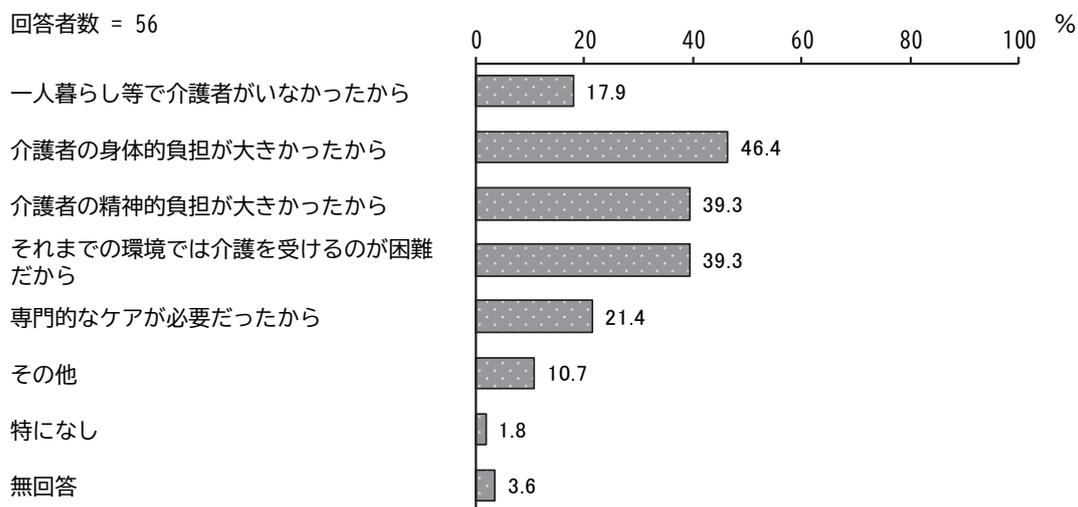
要介護5で「家族・親族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	本人	家族・親族	本人及び家族	その他	無回答
全 体	56	8.9	55.4	33.9	1.8	—
要介護1	9	11.1	33.3	55.6	—	—
要介護2	14	14.3	57.1	28.6	—	—
要介護3	10	10.0	60.0	30.0	—	—
要介護4	8	—	62.5	37.5	—	—
要介護5	12	8.3	66.7	25.0	—	—
わからない	2	—	50.0	50.0	—	—

問 16. 施設等の生活を選んだ理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「介護者の身体的負担が大きかったから」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「介護者の精神的負担が大きかったから」、「それまでの環境では介護を受けるのが困難だから」の割合が 39.3%となっています。



【要介護度別】

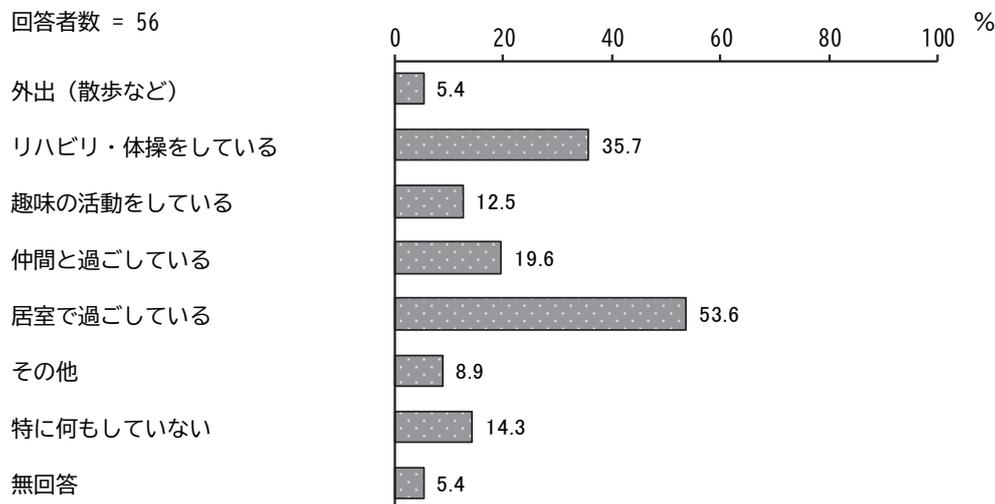
要介護2で「介護者の精神的負担が大きかったから」の割合が、要介護3で「一人暮らし等で介護者がいなかったから」の割合が、要介護5で「介護者の身体的負担が大きかったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一人暮らし等で介護者がいなかったから	介護者の身体的負担が大きかったから	介護者の精神的負担が大きかったから	それまでの環境では介護を受けるのが困難だから	専門的なケアが必要だったから	その他	特になし	無回答
全体	56	17.9	46.4	39.3	39.3	21.4	10.7	1.8	3.6
要介護1	9	11.1	22.2	22.2	33.3	33.3	33.3	—	—
要介護2	14	21.4	42.9	57.1	50.0	21.4	7.1	—	—
要介護3	10	30.0	40.0	30.0	20.0	—	20.0	10.0	10.0
要介護4	8	12.5	62.5	50.0	50.0	25.0	—	—	—
要介護5	12	—	58.3	41.7	41.7	25.0	—	—	8.3
わからない	2	50.0	100.0	—	—	—	—	—	—

問 17. あなたは施設等で主にどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「居室で過ごしている」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「リハビリ・体操をしている」の割合が 35.7%、「仲間と過ごしている」の割合が 19.6%となっています。



【要介護度別】

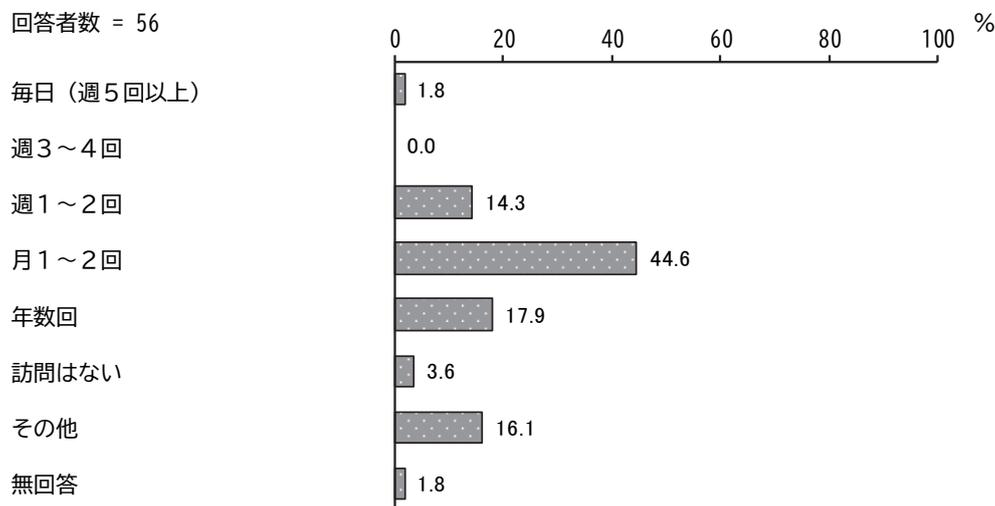
要介護5で「特に何もしていない」の割合が、要介護2で「趣味の活動をしている」の割合が、要介護3で「特に何もしていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外出(散歩など)	リハビリ・体操をしている	趣味の活動をしている	仲間と過ごしている	居室で過ごしている	その他	特に何もしていない	無回答
全 体	56	5.4	35.7	12.5	19.6	53.6	8.9	14.3	5.4
要介護1	9	11.1	77.8	11.1	33.3	55.6	11.1	11.1	—
要介護2	14	14.3	35.7	21.4	21.4	57.1	14.3	7.1	—
要介護3	10	—	40.0	—	10.0	50.0	—	20.0	—
要介護4	8	—	37.5	25.0	25.0	50.0	12.5	12.5	12.5
要介護5	12	—	8.3	8.3	16.7	50.0	8.3	25.0	8.3
わからない	2	—	—	—	—	100.0	—	—	—

問 18. あなたの家族・親族・知人は、どの程度の頻度で訪問されますか。(スマートフォン等によるビデオ通話等も含む) (ひとつだけに○)

「月1～2回」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「年数回」の割合が 17.9%、「週1～2回」の割合が 14.3%となっています。



【要介護度別】

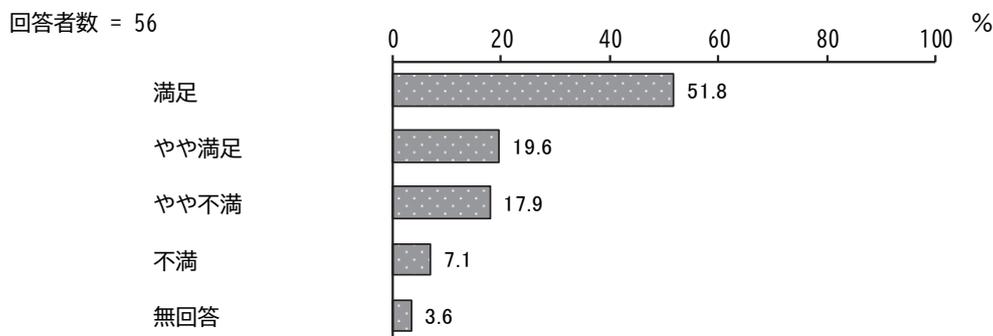
要介護3で「年数回」「週1～2回」「月1～2回」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日 (週5回以上)	週3～4回	週1～2回	月1～2回	年数回	訪問はない	その他	無回答
全 体	56	1.8	—	14.3	44.6	17.9	3.6	16.1	1.8
要介護1	9	11.1	—	11.1	55.6	22.2	—	—	—
要介護2	14	—	—	7.1	42.9	14.3	7.1	28.6	—
要介護3	10	—	—	20.0	50.0	30.0	—	—	—
要介護4	8	—	—	25.0	50.0	12.5	—	12.5	—
要介護5	12	—	—	8.3	41.7	8.3	8.3	25.0	8.3
わからない	2	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—

問 19. 現在入所・入居している施設等について、不満な点はありますか。(ひとつだけに○)

「満足」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 19.6%、「やや不満」の割合が 17.9%となっています。



【要介護度別】

要介護3で「やや満足」の割合が、要介護5で「やや満足」の割合が、要介護2で「満足」の割合が高くなっています。

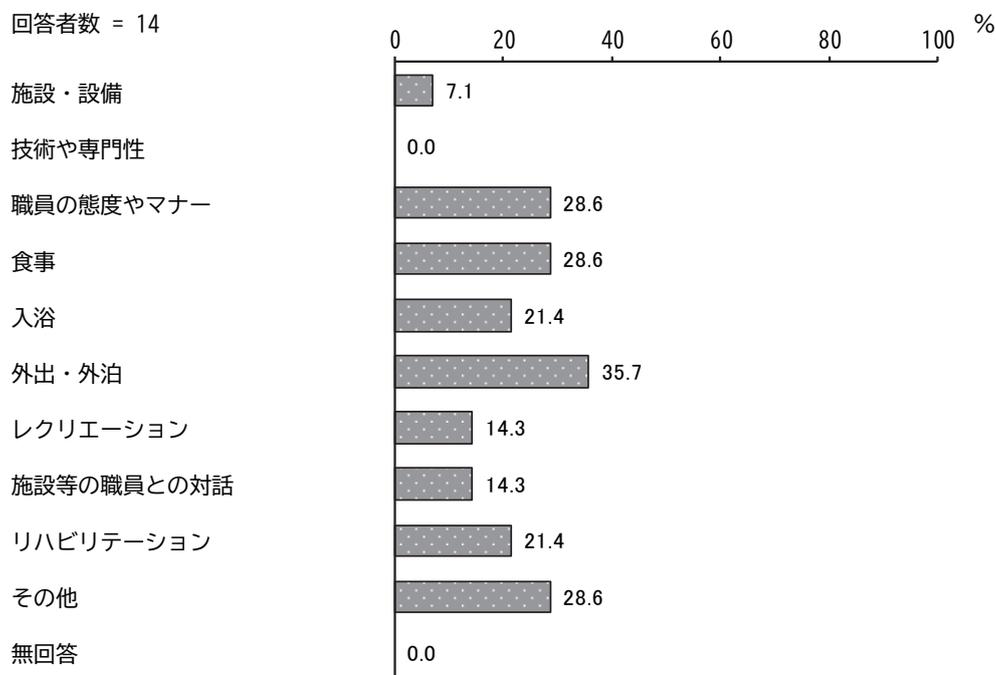
単位：%

区分	回答者数(件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全 体	56	51.8	19.6	17.9	7.1	3.6
要介護1	9	55.6	11.1	22.2	—	11.1
要介護2	14	57.1	21.4	14.3	7.1	—
要介護3	10	50.0	30.0	10.0	10.0	—
要介護4	8	50.0	12.5	37.5	—	—
要介護5	12	41.7	25.0	16.7	8.3	8.3
わからない	2	50.0	—	—	50.0	—

【問 19 で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ】

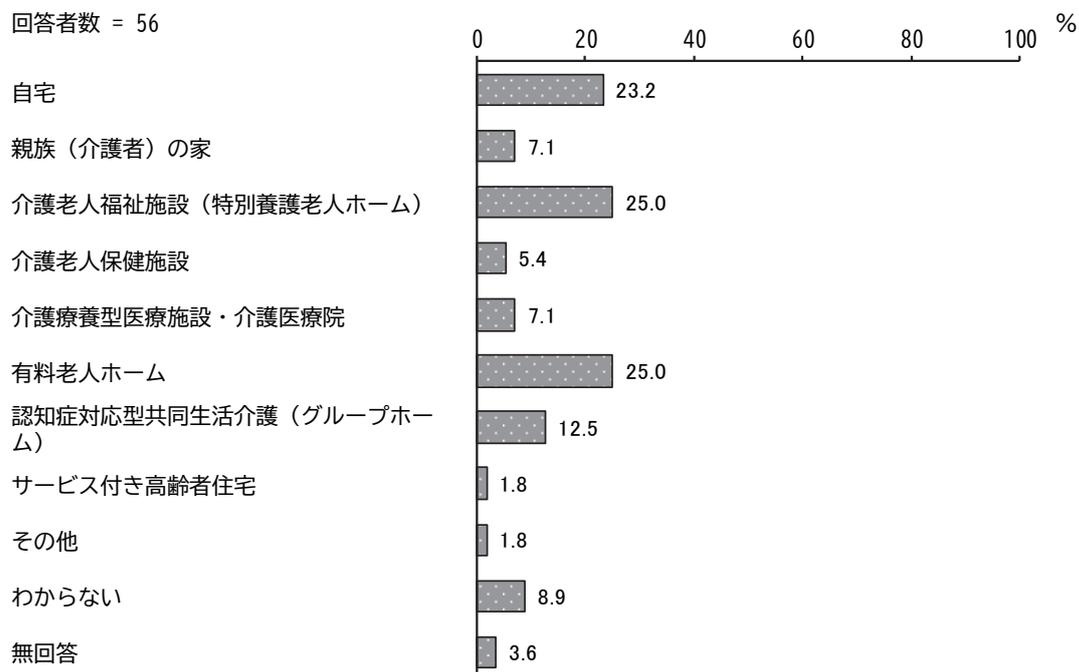
問 19-1. 不満な点はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「外出・外泊」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「職員の態度やマナー」、「食事」の割合が 28.6%となっています。



問 20. あなたは、今後、どこで暮らしていきたいですか。(あてはまるもの2つまでに○)

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「有料老人ホーム」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 23.2%となっています。



【要介護度別】

要介護5で「自宅」の割合が、要介護2で「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合が、要介護3で「自宅」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	親族（介護者） の家	介護老人福祉施設 （特別養護老人ホ ム）	介護老人保健施設	介護療養型医療施 設・介護医療院
全 体	56	23.2	7.1	25.0	5.4	7.1
要介護1	9	22.2	11.1	22.2	11.1	—
要介護2	14	21.4	—	28.6	7.1	—
要介護3	10	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0
要介護4	8	12.5	12.5	50.0	—	12.5
要介護5	12	33.3	—	25.0	—	16.7
わからない	2	—	—	—	—	—

区分	有料老人ホーム	認知症対応型共同 生活介護（グルー プホーム）	サー ビス 付き 高齢 者 住 宅	そ 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	25.0	12.5	1.8	1.8	8.9	3.6
要介護1	44.4	22.2	11.1	—	—	—
要介護2	28.6	21.4	—	—	—	—
要介護3	10.0	—	—	—	30.0	—
要介護4	25.0	—	—	12.5	—	—
要介護5	16.7	8.3	—	—	16.7	8.3
わからない	50.0	50.0	—	—	—	—

問 21. あなたは、ご自身のケアプランをご存知ですか。（ひとつだけに○）

「わからない」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「知っている」の割合が 32.1%、「知らない」の割合が 26.8%となっています。

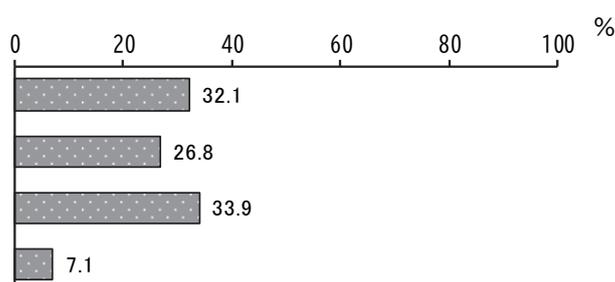
回答者数 = 56

知っている

知らない

わからない

無回答



【要介護度別】

要介護3で「知らない」の割合が、要介護5で「知らない」の割合が、要介護2で「知っている」「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

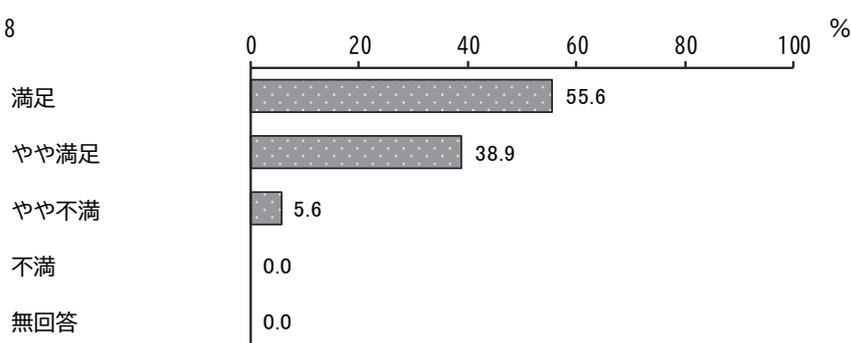
区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	わからない	無回答
全 体	56	32.1	26.8	33.9	7.1
要介護1	9	66.7	22.2	11.1	—
要介護2	14	42.9	7.1	42.9	7.1
要介護3	10	10.0	50.0	40.0	—
要介護4	8	25.0	12.5	50.0	12.5
要介護5	12	25.0	50.0	16.7	8.3
わからない	2	—	—	100.0	—

問 21 で「1. 知っている」と答えた方

問 21- 1. 現在のご自身のケアプランについてどう思いますか。(ひとつだけに○)

「満足」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 38.9%となっています。

回答者数 = 18

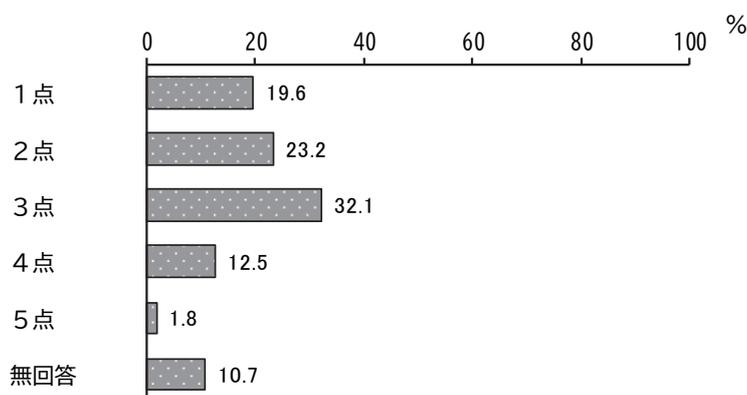


(2) 健康状態について

問 22 あなたは、現在ご自分がどの程度健康であると思いますか。
 (「健康でない」を1点、「非常に健康」を5点として、点数を囲んでください)

「3点」の割合が32.1%と最も高く、次いで「2点」の割合が23.2%、「1点」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

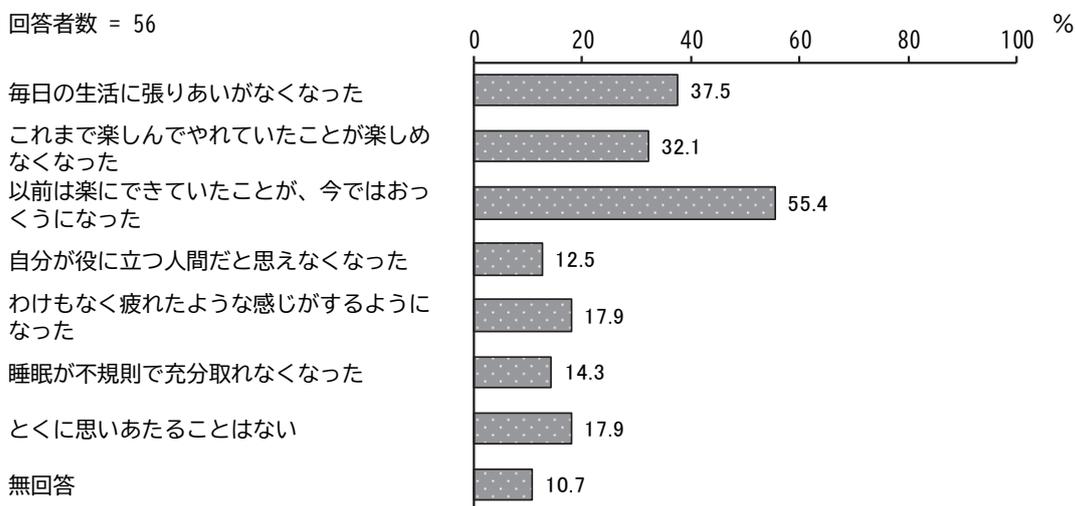
要介護5で「1点」の割合が、要介護2で「3点」の割合が、要介護3で「3点」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1点	2点	3点	4点	5点	無回答
全 体	56	19.6	23.2	32.1	12.5	1.8	10.7
要介護1	9	11.1	22.2	11.1	55.6	—	—
要介護2	14	—	21.4	50.0	7.1	7.1	14.3
要介護3	10	20.0	30.0	40.0	—	—	10.0
要介護4	8	12.5	25.0	50.0	—	—	12.5
要介護5	12	50.0	16.7	16.7	8.3	—	8.3
わからない	2	50.0	50.0	—	—	—	—

問 23. 健康状態について思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「毎日の生活に張りあいがなくなった」の割合が 37.5%、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」の割合が 32.1%となっています。



【要介護度別】

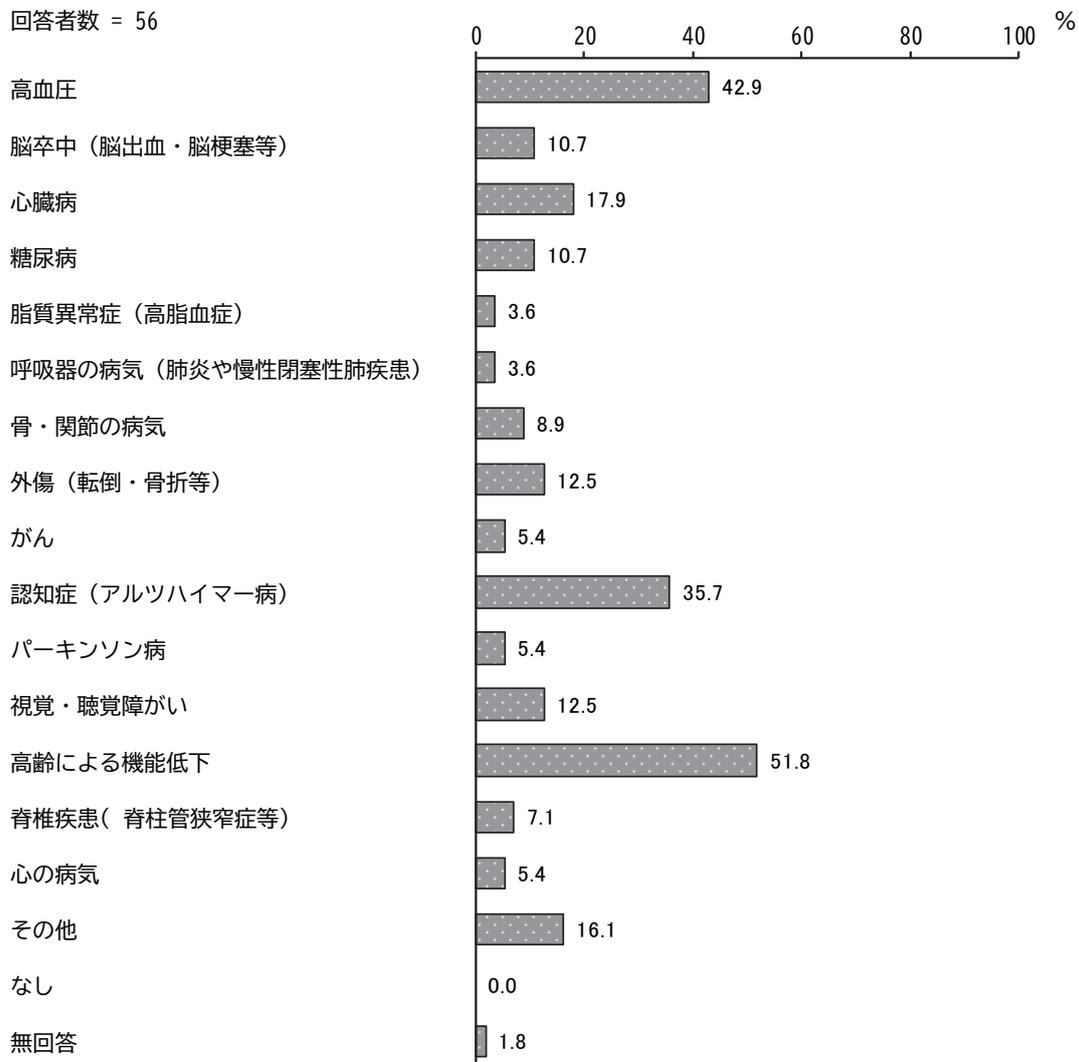
要介護5で「毎日の生活に張りあいがなくなった」の割合が、要介護2で「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」「睡眠が不規則で充分取れなくなった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日の生活に張りあい がなくなった	これまで楽しんでや れていたことが楽し めなくなった	以前は楽にできてい たことが、今ではお っくうになった	自分が役に立つ人間 だと思えなくなった	わけもなく疲れたよ うな感じがするよう になった	睡眠が不規則で充分 取れなくなった	とくに思いあたるこ とはない	無回答
全 体	56	37.5	32.1	55.4	12.5	17.9	14.3	17.9	10.7
要介護1	9	33.3	11.1	55.6	11.1	—	—	33.3	—
要介護2	14	21.4	28.6	71.4	14.3	14.3	28.6	21.4	—
要介護3	10	30.0	30.0	60.0	20.0	20.0	—	20.0	20.0
要介護4	8	37.5	50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	—	25.0
要介護5	12	58.3	41.7	41.7	8.3	25.0	16.7	16.7	8.3
わからない	2	100.0	50.0	100.0	—	50.0	—	—	—

問 24. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢による機能低下」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「高血圧」の割合が 42.9%、「認知症（アルツハイマー病）」の割合が 35.7%となっています。



【要介護度別】

要介護5で「外傷（転倒・骨折等）」の割合が、要介護2で「心臓病」の割合が、要介護3で「糖尿病」の割合が高くなっています。

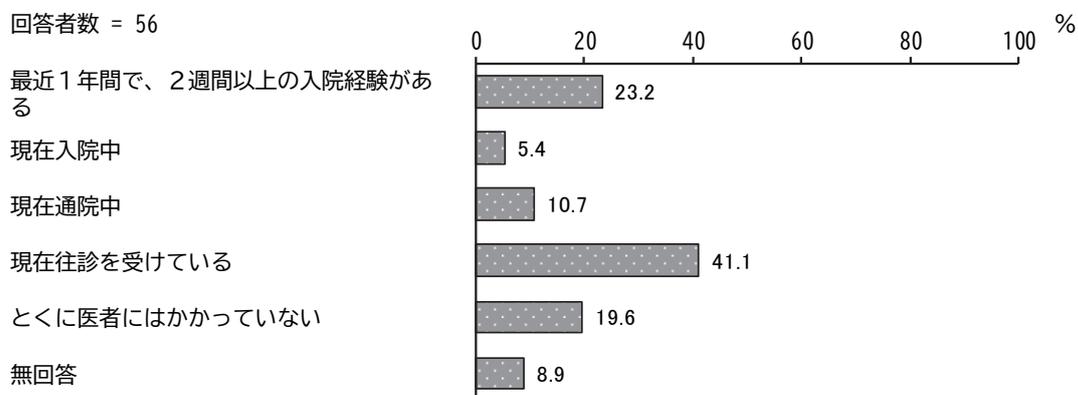
単位：%

区分	回答者数 (件)	高血圧	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	脂質異常症 (高脂血症)	呼吸器の病 気(肺炎や 慢性閉塞性 肺疾患)	骨・関節の 病気	外傷 (転倒・骨 折等)	がん
全 体	56	42.9	10.7	17.9	10.7	3.6	3.6	8.9	12.5	5.4
要介護1	9	55.6	—	11.1	—	11.1	—	11.1	11.1	22.2
要介護2	14	50.0	14.3	28.6	14.3	7.1	7.1	—	—	7.1
要介護3	10	40.0	—	20.0	20.0	—	—	10.0	20.0	—
要介護4	8	25.0	37.5	12.5	12.5	—	—	12.5	—	—
要介護5	12	41.7	8.3	16.7	8.3	—	8.3	8.3	33.3	—
わからない	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—

区分	認知症(アルツ ハイマー病)	パーキンソン 病	視覚・聴覚障 がい	高齢による機 能低下	脊椎疾患(脊 柱管狭窄症等)	心の病気	その他	なし	無回答
全 体	35.7	5.4	12.5	51.8	7.1	5.4	16.1	—	1.8
要介護1	55.6	—	22.2	77.8	—	11.1	11.1	—	—
要介護2	21.4	7.1	—	42.9	7.1	—	14.3	—	—
要介護3	40.0	—	20.0	40.0	10.0	10.0	10.0	—	—
要介護4	25.0	12.5	25.0	50.0	12.5	—	12.5	—	—
要介護5	33.3	8.3	—	50.0	—	8.3	25.0	—	8.3
わからない	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—

問 25. 入院・通院状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

「現在往診を受けている」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「最近1年間で、2週間以上の入院経験がある」の割合が 23.2%、「とくに医者にはかかっていない」の割合が 19.6%となっています。



【要介護度別】

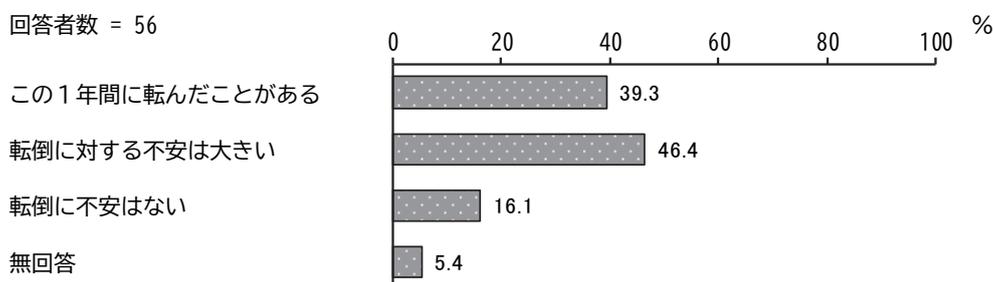
要介護5で「現在往診を受けている」「現在通院中」の割合が、要介護2で「とくに医者にはかかっていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	最近1年間で、2週間以上の入院経験がある	現在入院中	現在通院中	現在往診を受けている	とくに医者にはかかっていない	無回答
全体	56	23.2	5.4	10.7	41.1	19.6	8.9
要介護1	9	22.2	—	22.2	44.4	11.1	11.1
要介護2	14	35.7	7.1	7.1	28.6	35.7	—
要介護3	10	10.0	20.0	—	30.0	20.0	20.0
要介護4	8	37.5	—	—	25.0	25.0	12.5
要介護5	12	16.7	—	25.0	58.3	8.3	8.3
わからない	2	—	—	—	100.0	—	—

問 26. 転倒について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものに○)

「転倒に対する不安は大きい」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「この1年間に転んだことがある」の割合が 39.3%、「転倒に不安はない」の割合が 16.1%となっています。



【要介護度別】

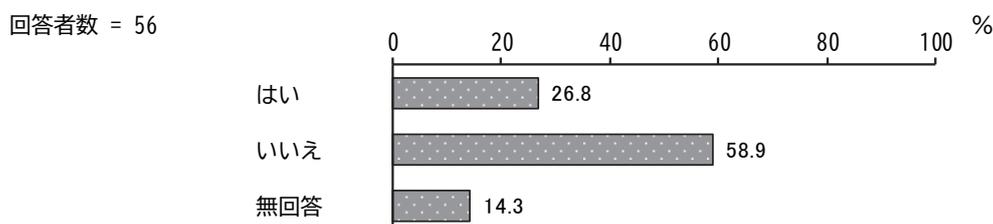
要介護2で「この1年間に転んだことがある」の割合が、要介護5で「転倒に不安はない」の割合が、要介護3で「この1年間に転んだことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	この1年間に転んだことがある	転倒に対する不安は大きい	転倒に不安はない	無回答
全体	56	39.3	46.4	16.1	5.4
要介護1	9	11.1	77.8	11.1	—
要介護2	14	57.1	42.9	14.3	—
要介護3	10	50.0	30.0	10.0	10.0
要介護4	8	50.0	50.0	12.5	—
要介護5	12	16.7	33.3	33.3	16.7
わからない	2	50.0	50.0	—	—

問 27. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(ひとつだけに○)

「はい」の割合が 26.8%、「いいえ」の割合が 58.9%となっています。



【要介護度別】

要介護2で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

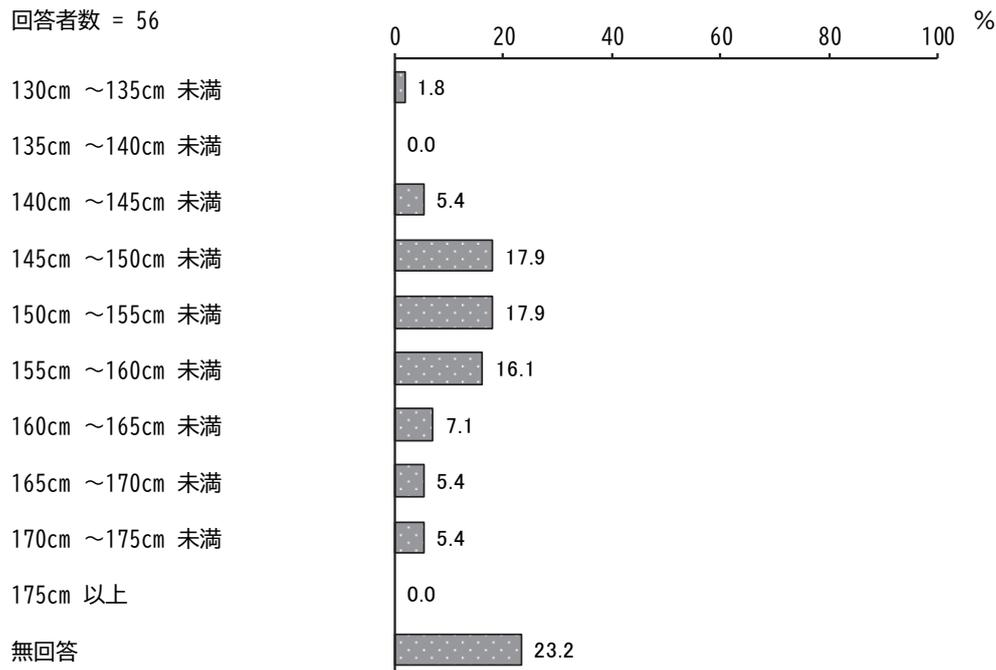
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	56	26.8	58.9	14.3
要介護1	9	33.3	66.7	—
要介護2	14	14.3	85.7	—
要介護3	10	30.0	60.0	10.0
要介護4	8	25.0	37.5	37.5
要介護5	12	25.0	41.7	33.3
わからない	2	50.0	50.0	—

問 28. あなたの身長と体重を教えてください。(整数でお答えください。)

【身長】

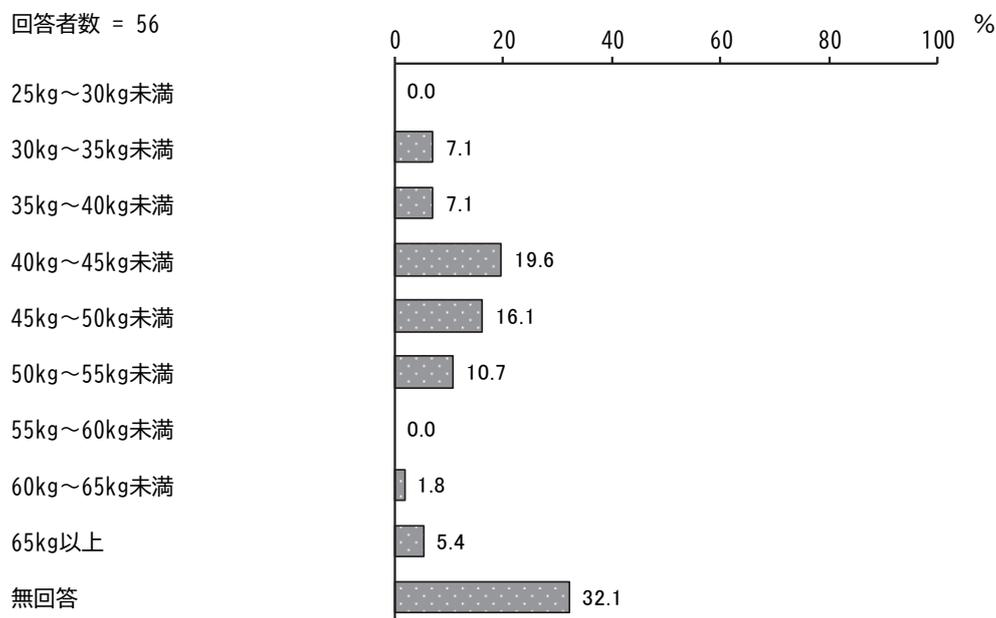
「145cm～150cm 未満」、「150cm～155cm 未満」の割合が17.9%と最も高く、次いで「155cm～160cm 未満」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 56



【体重】

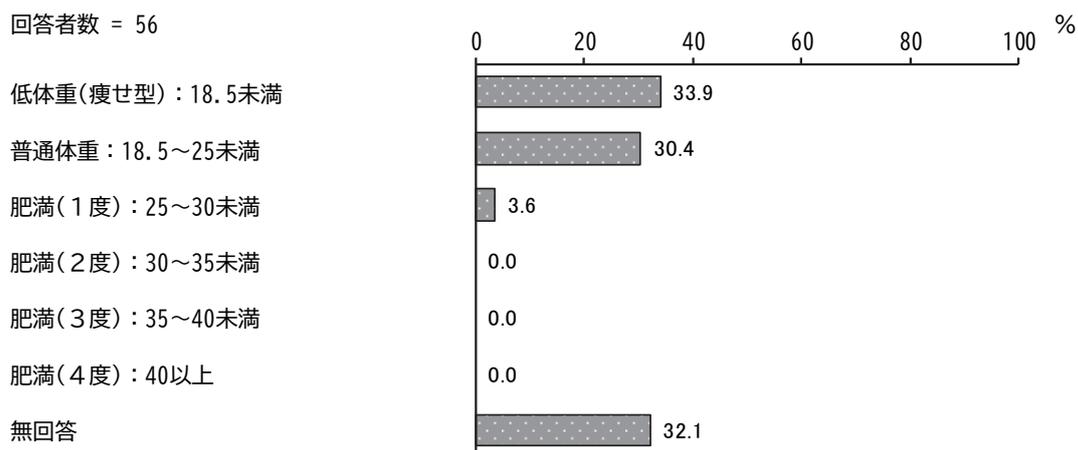
「40kg～45kg 未満」の割合が 19.6%と最も高く、次いで「45kg～50kg 未満」の割合が 16.1%、「50kg～55kg 未満」の割合が 10.7%となっています。



【BMI】

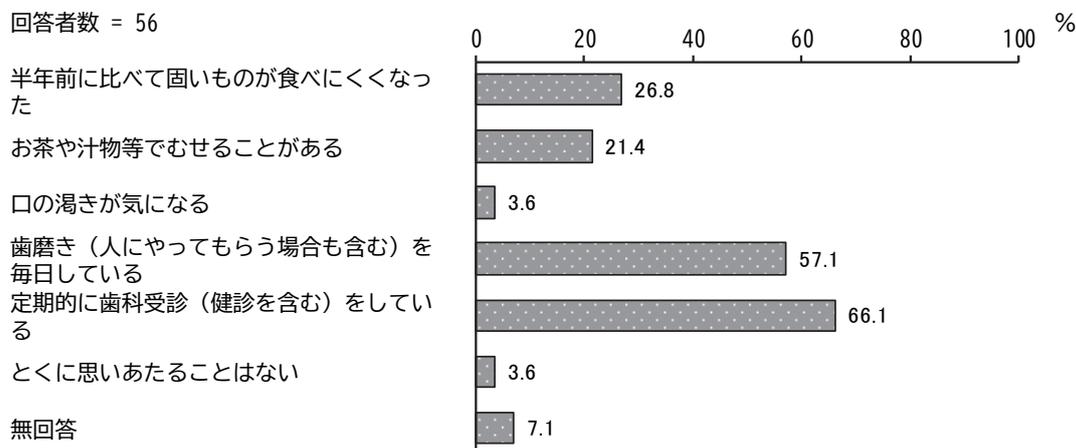
BMI：身長と体重から回答者のBMIを計算（ $BMI = \text{体重}Kg \div (\text{身長}m) \times (\text{身長}m)$ ）

「低体重(痩せ型)：18.5 未満」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「普通体重：18.5～25 未満」の割合が 30.4%となっています。



問 29. 口腔機能についておたずねします。思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「定期的に歯科受診（健診を含む）をしている」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している」の割合が 57.1%、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」の割合が 26.8%となっています。



【要介護度別】

要介護5で「お茶や汁物等でむせることがある」「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している」の割合が、要介護2で「定期的に歯科受診（健診を含む）をしている」の割合が高くなっています。

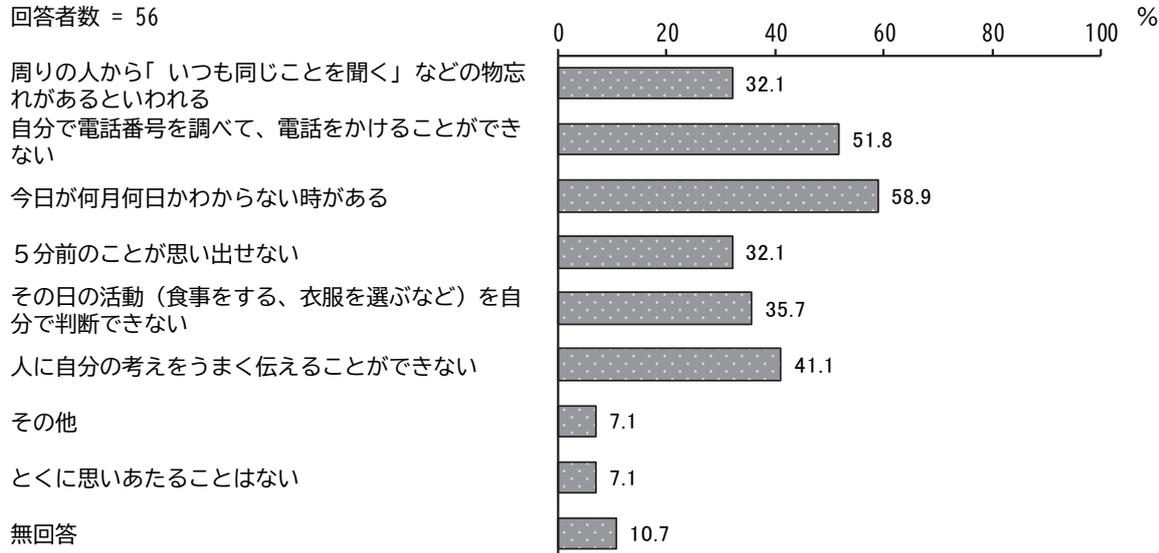
単位：%

区分	回答者数 (件)	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	お茶や汁物等でむせることがある	口の渇きが気になる	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している	定期的に歯科受診（健診を含む）をしている	とくに思いあたることはない	無回答
全 体	56	26.8	21.4	3.6	57.1	66.1	3.6	7.1
要介護1	9	33.3	—	—	66.7	77.8	—	—
要介護2	14	35.7	21.4	—	57.1	78.6	—	7.1
要介護3	10	10.0	20.0	—	60.0	50.0	10.0	—
要介護4	8	25.0	25.0	12.5	37.5	50.0	—	12.5
要介護5	12	33.3	41.7	—	66.7	66.7	8.3	8.3
わからない	2	—	—	50.0	50.0	100.0	—	—

問 30. もの忘れについておたずねします。思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「今日が何月何日かわからない時がある」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない」の割合が 51.8%、「人に自分の考えをうまく伝えることができない」の割合が 41.1%となっています。

回答者数 = 56



【要介護度別】

要介護5で「人に自分の考えをうまく伝えることができない」「その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できない」の割合が、要介護2で「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる」の割合が高くなっています。

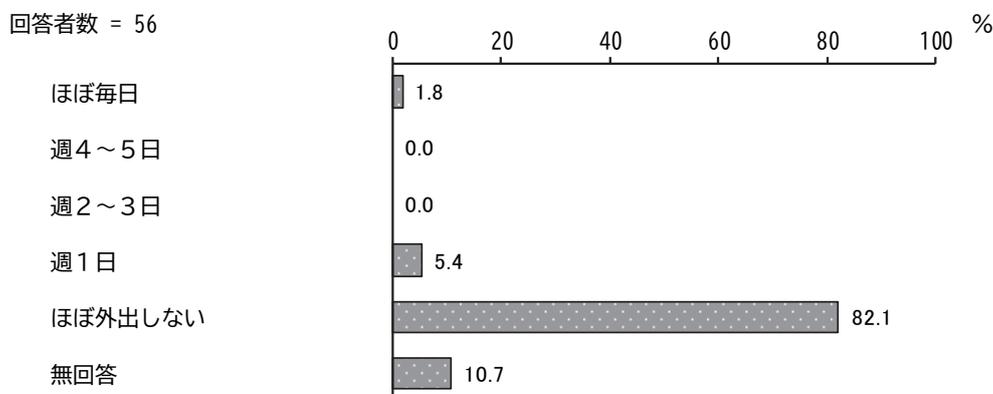
単位：%

区分	回答者数(件)	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる	自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない	今日が何月何日かわからない時がある	5分前のことが思い出せない	その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できない	人に自分の考えをうまく伝えることができない	その他	とくに思いあたることはない	無回答
全体	56	32.1	51.8	58.9	32.1	35.7	41.1	7.1	7.1	10.7
要介護1	9	33.3	55.6	33.3	22.2	33.3	33.3	—	11.1	—
要介護2	14	57.1	50.0	64.3	35.7	21.4	14.3	—	7.1	7.1
要介護3	10	30.0	60.0	70.0	30.0	20.0	30.0	30.0	—	10.0
要介護4	8	25.0	75.0	87.5	62.5	50.0	75.0	12.5	—	12.5
要介護5	12	16.7	41.7	41.7	25.0	58.3	66.7	—	16.7	16.7
わからない	2	—	—	100.0	—	50.0	50.0	—	—	—

(3) 外出・社会参加について

問 31. 外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

「ほぼ外出しない」の割合が82.1%と最も高くなっています。



【要介護度別】

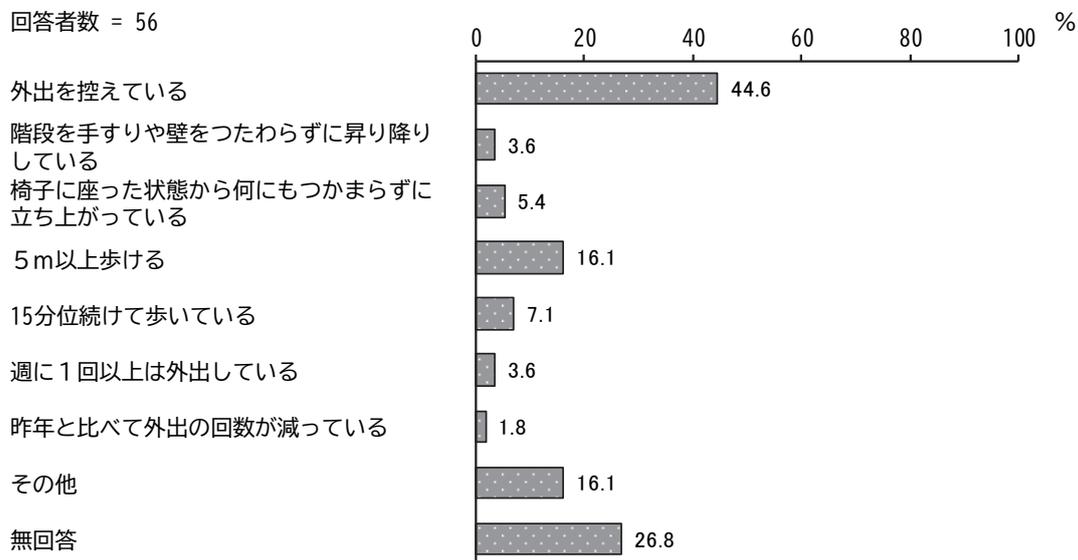
要介護5で「ほぼ外出しない」の割合が、要介護3で「ほぼ外出しない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1日	ほぼ外出しない	無回答
全体	56	1.8	—	—	5.4	82.1	10.7
要介護1	9	11.1	—	—	—	88.9	—
要介護2	14	—	—	—	14.3	78.6	7.1
要介護3	10	—	—	—	—	90.0	10.0
要介護4	8	—	—	—	12.5	62.5	25.0
要介護5	12	—	—	—	—	91.7	8.3
わからない	2	—	—	—	—	100.0	—

問 32. 運動・外出について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「外出を控えている」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「5m以上歩ける」の割合が 16.1%となっています。



【要介護度別】

要介護5で「外出を控えている」の割合が、要介護2で「5m以上歩ける」の割合が高くなっています。

単位：%

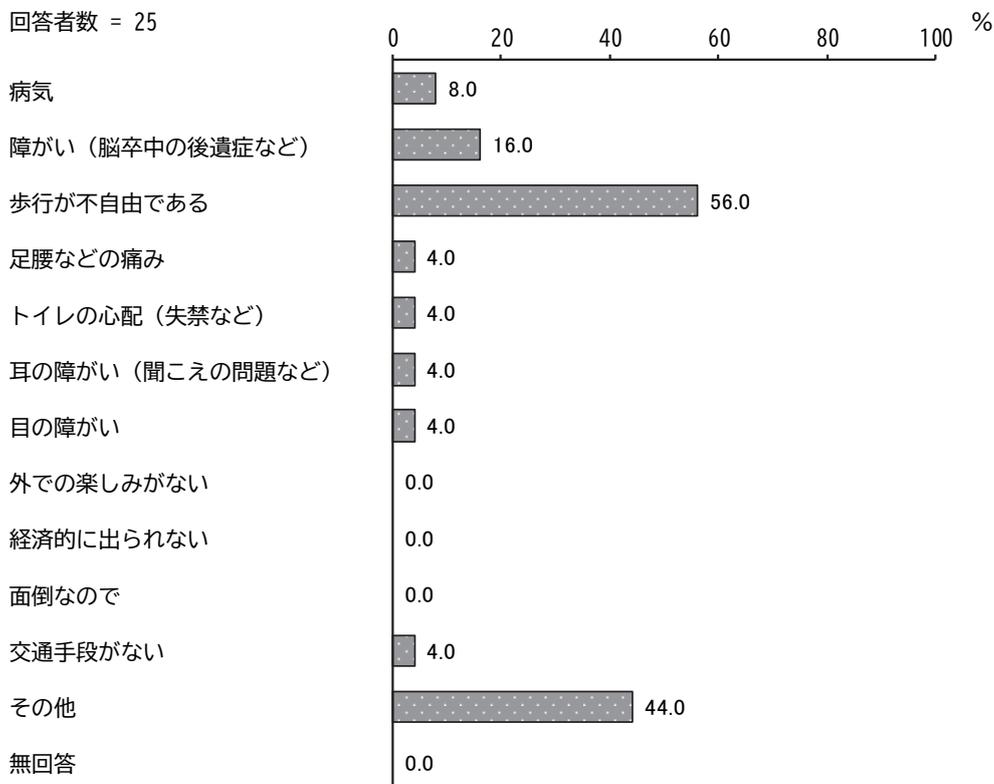
区分	回答者数(件)	外出を控えている	階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしている	椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっている	5m以上歩ける	15分位続けて歩いている	週に1回以上は外出している	昨年と比べて外出の回数が減っている	その他	無回答
全 体	56	44.6	3.6	5.4	16.1	7.1	3.6	1.8	16.1	26.8
要介護1	9	55.6	22.2	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	—
要介護2	14	28.6	—	—	21.4	14.3	7.1	—	21.4	35.7
要介護3	10	40.0	—	—	10.0	10.0	—	—	10.0	40.0
要介護4	8	75.0	—	—	—	—	—	—	12.5	12.5
要介護5	12	50.0	—	—	—	—	—	—	25.0	25.0
わからない	2	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0

【問 32 で「外出を控えている」と答えた方のみ】

問 32-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

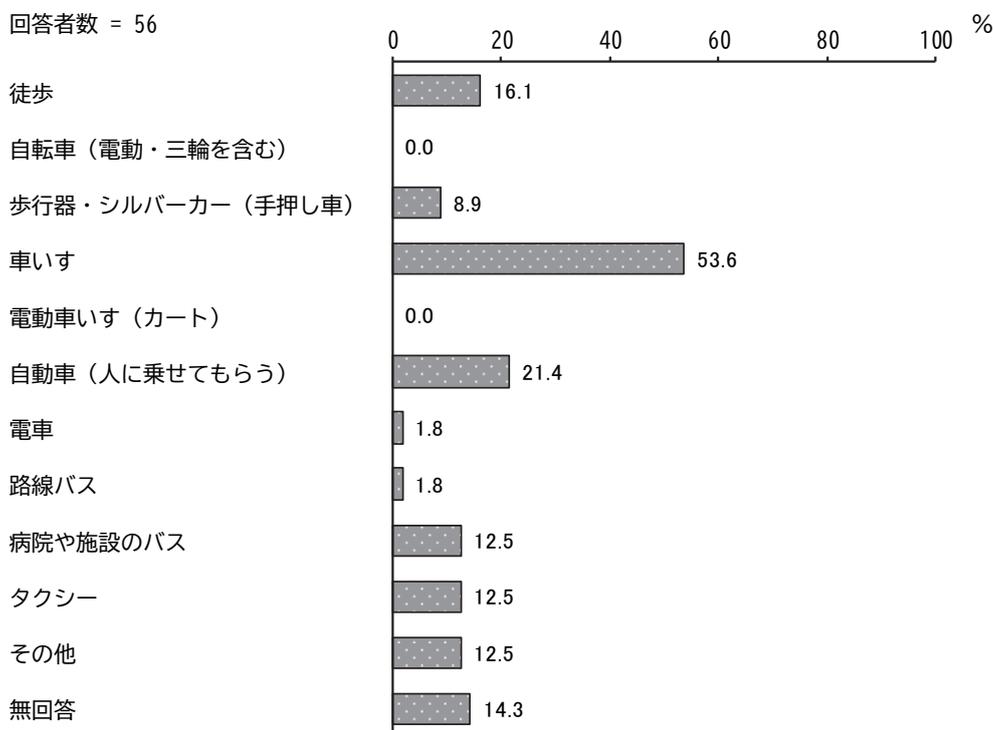
「歩行が不自由である」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「障がい（脳卒中の後遺症など）」の割合が 16.0%となっています。

回答者数 = 25



問 33. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「車いす」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 21.4%、「徒歩」の割合が 16.1%となっています。



【要介護度別】

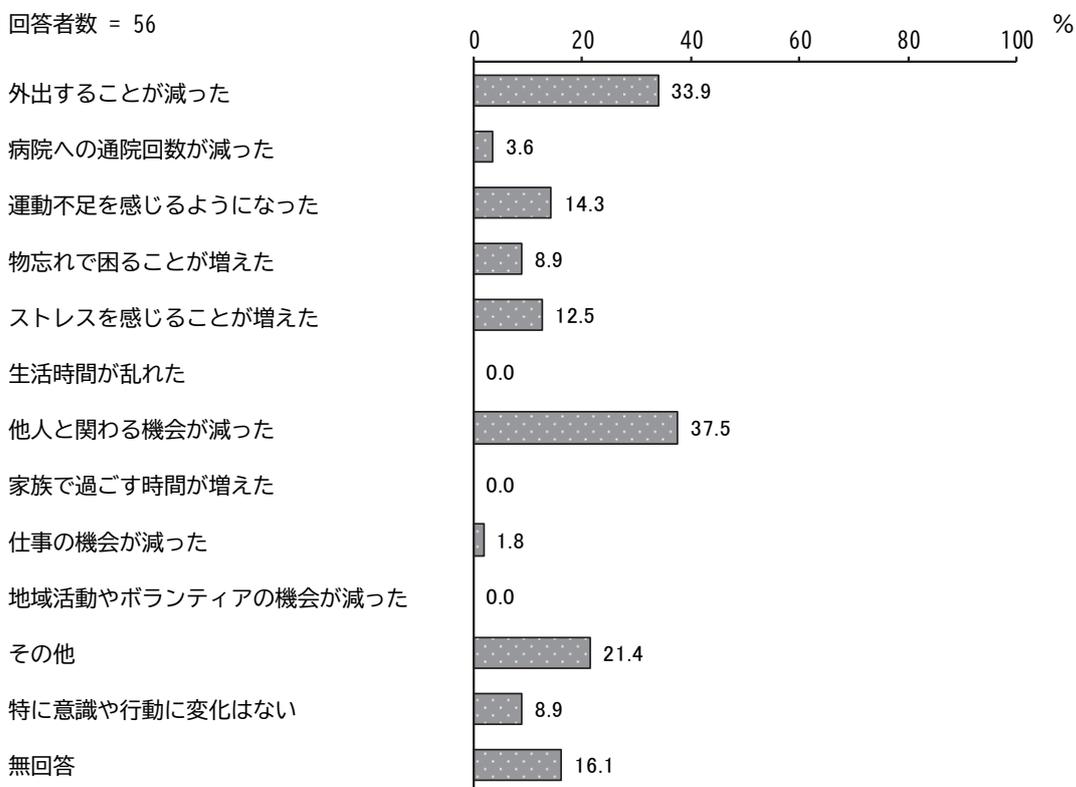
要介護5で「車いす」の割合が、要介護2で「病院や施設のバス」の割合が、要介護3で「病院や施設のバス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車（電動・三輪を含む）	歩行器・シルバーカー（手押し車）	車いす	電動車いす（カート）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	タクシー	その他	無回答
全体	56	16.1	—	8.9	53.6	—	21.4	1.8	1.8	12.5	12.5	12.5	14.3
要介護1	9	66.7	—	11.1	22.2	—	22.2	—	—	—	11.1	—	11.1
要介護2	14	14.3	—	14.3	35.7	—	21.4	—	—	28.6	14.3	—	21.4
要介護3	10	10.0	—	10.0	50.0	—	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0
要介護4	8	—	—	—	100.0	—	25.0	—	—	—	—	12.5	—
要介護5	12	—	—	—	75.0	—	16.7	—	—	8.3	16.7	41.7	8.3
わからない	2	—	—	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	50.0	—	—

問 34 新型コロナウイルス感染症まん延によるあなたの生活などの変化についてお答えください。(〇はいくつでも)

「他人と関わる機会が減った」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「外出することが減った」の割合が 33.9%、「運動不足を感じるようになった」の割合が 14.3%となっています。



【要介護度別】

要介護2で「外出することが減った」の割合が、要介護5で「他人と関わる機会が減った」の割合が、要介護3で「ストレスを感じるが増えた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	外出することが減った	病院への通院回数が減った	運動不足を感じるようになった	物忘れで困ることが増えた	ストレスを感じるが増えた	生活時間が乱れた	他人と関わる機会が減った	家族で過ごす時間が増えた	仕事の機会が減った	地域活動やボランティアの機会が減った	その他	特に意識や行動に変化はない	無回答
全 体	56	33.9	3.6	14.3	8.9	12.5	—	37.5	—	1.8	—	21.4	8.9	16.1
要介護1	9	55.6	11.1	22.2	11.1	—	—	55.6	—	—	—	11.1	—	11.1
要介護2	14	50.0	—	21.4	—	14.3	—	21.4	—	—	—	7.1	21.4	7.1
要介護3	10	30.0	—	10.0	20.0	20.0	—	10.0	—	—	—	30.0	—	40.0
要介護4	8	37.5	—	12.5	12.5	12.5	—	50.0	—	—	—	37.5	12.5	12.5
要介護5	12	8.3	8.3	—	—	8.3	—	50.0	—	8.3	—	33.3	8.3	8.3
わからない	2	—	—	50.0	50.0	50.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—

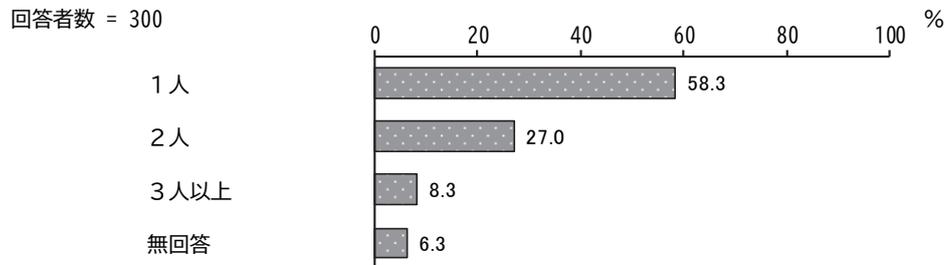
3 介護者

3 介護者

(1) あなた(介護者)について

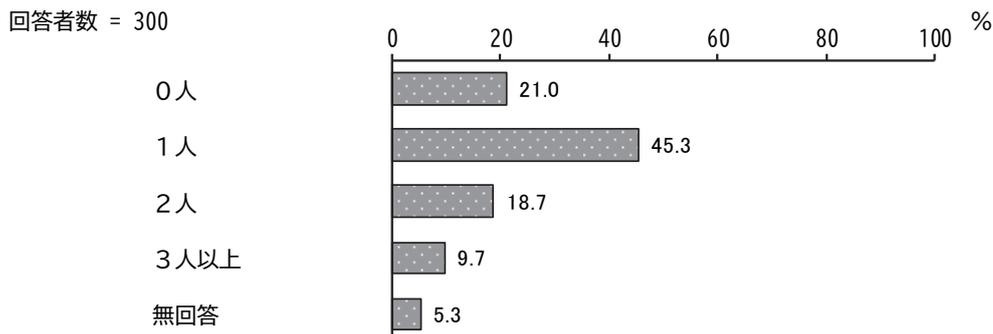
問1. 介護者は、あなたを含めて何人いますか。ホームヘルパー等サービス提供事業所は除いた数でお答えください。(ひとつだけに○)

「1人」の割合が58.3と最も高く、次いで「2人」の割合が27.0%となっています。



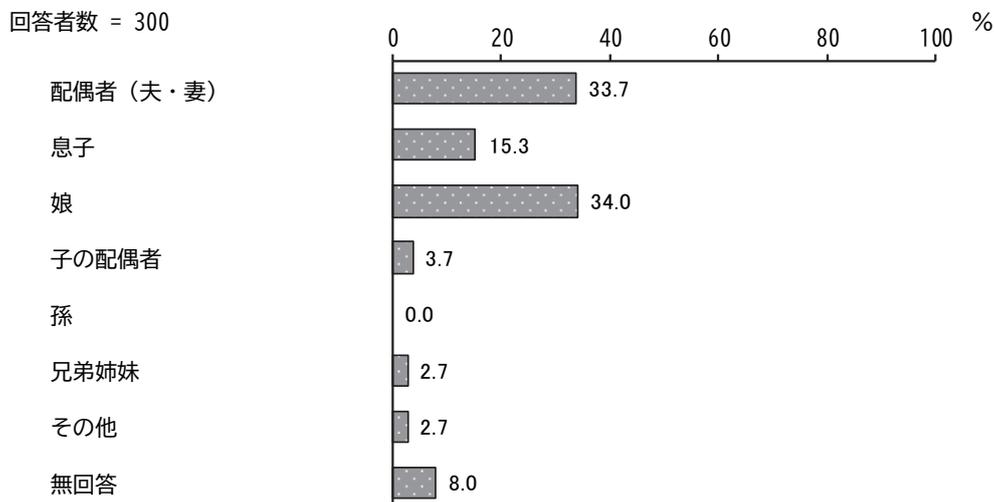
問2. そのうち、要介護者と同居している人は何人ですか。要介護者が入所・入院している場合は、その前の状況でお答えください。(ひとつだけに○)

「1人」の割合が45.3%と最も高く、次いで「0人」の割合が21.0%、「2人」の割合が18.7%となっています。



問3. 主な介護者は、要介護者から見て、どなたですか。(ひとつだけに○)

「娘」の割合が34.0%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」の割合が33.7%、「息子」の割合が15.3%となっています。



【介護者別】

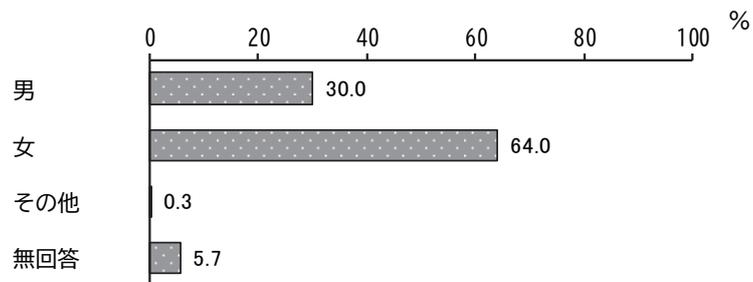
子の配偶者で「2人」の割合が、配偶者（夫・妻）で「1人」の割合が、息子で「1人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	300	21.0	45.3	18.7	9.7	5.3
配偶者（夫・妻）	101	6.9	67.3	14.9	10.9	—
息子	46	21.7	56.5	15.2	4.3	2.2
娘	102	31.4	35.3	19.6	11.8	2.0
子の配偶者	11	27.3	18.2	45.5	9.1	—
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	50.0	12.5	25.0	—	12.5
その他	8	75.0	12.5	—	12.5	—

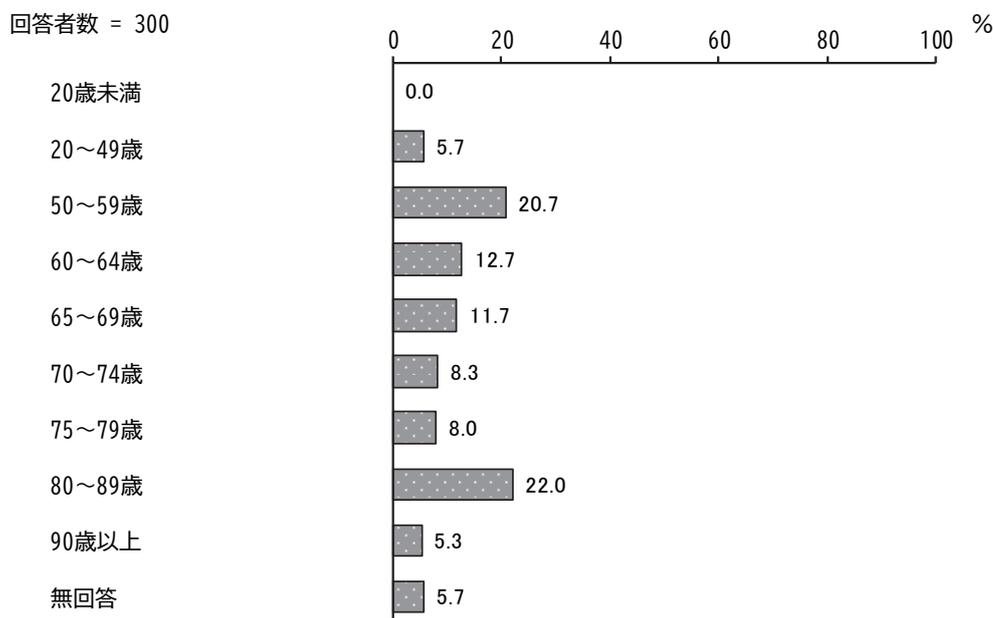
問4. 主な介護者の性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

回答者数 = 300



問5. 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

「80～89歳」の割合が22.0%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が20.7%、「60～64歳」の割合が12.7%となっています。



【介護者別】

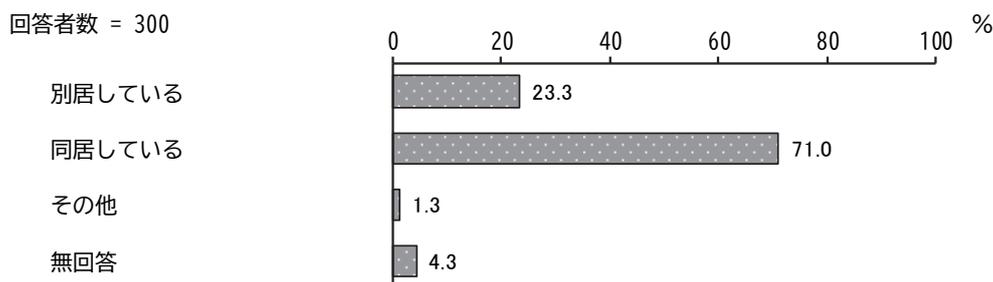
配偶者（夫・妻）で「80～89歳」の割合が、子の配偶者で「50～59歳」の割合が、娘で「50～59歳」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20歳未満	20～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～89歳	90歳以上	無回答
全体	300	—	5.7	20.7	12.7	11.7	8.3	8.0	22.0	5.3	5.7
配偶者（夫・妻）	101	—	—	—	5.9	2.0	10.9	21.8	50.5	5.9	3.0
息子	46	—	8.7	30.4	19.6	19.6	6.5	—	4.3	6.5	4.3
娘	102	—	8.8	39.2	19.6	20.6	3.9	1.0	2.9	3.9	—
子の配偶者	11	—	—	45.5	27.3	—	27.3	—	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	—	—	—	—	12.5	25.0	—	62.5	—	—
その他	8	—	37.5	12.5	—	25.0	12.5	—	12.5	—	—

問6. 主な介護者は要介護者と同居していますか。(ひとつだけに○)

「別居している」の割合が23.3%、「同居している」の割合が71.0%となっています。



【介護者別】

配偶者（夫・妻）で「同居している」の割合が、娘で「別居している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	別居している	同居している	その他	無回答
全体	300	23.3	71.0	1.3	4.3
配偶者（夫・妻）	101	3.0	96.0	1.0	—
息子	46	26.1	69.6	—	4.3
娘	102	39.2	57.8	2.0	1.0
子の配偶者	11	27.3	72.7	—	—
孫	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	50.0	50.0	—	—
その他	8	62.5	25.0	12.5	—

【介護者の年齢別】

65～69歳で「別居している」の割合が、75～79歳で「同居している」の割合が、90歳以上で「同居している」の割合が高くなっています。

単位：%

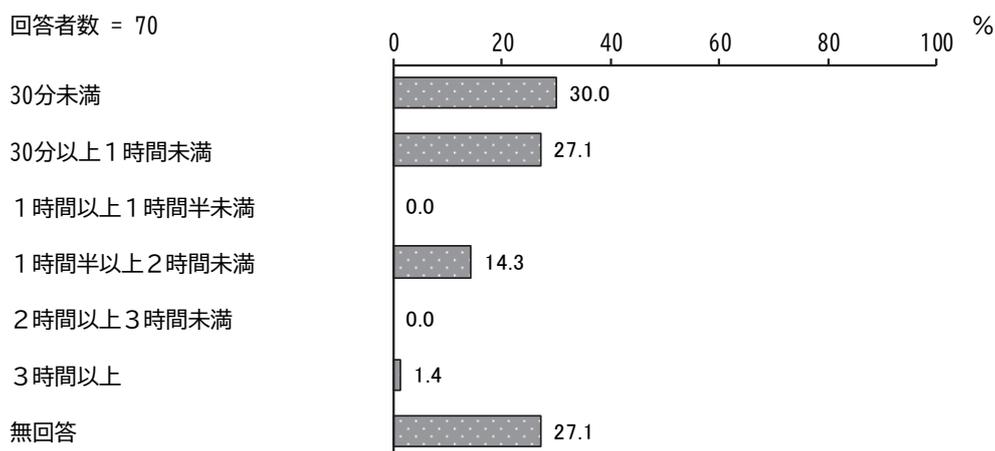
区分	回答者数 (件)	別居している	同居している	その他	無回答
全体	300	23.3	71.0	1.3	4.3
20歳未満	—	—	—	—	—
20～49歳	17	17.6	76.5	5.9	—
50～59歳	62	30.6	66.1	1.6	1.6
60～64歳	38	31.6	68.4	—	—
65～69歳	35	45.7	54.3	—	—
70～74歳	25	20.0	80.0	—	—
75～79歳	24	—	91.7	8.3	—
80～89歳	66	15.2	83.3	—	1.5
90歳以上	16	6.3	87.5	—	6.3

【問6で「1. 別居している」と答えた方のみ】

問6-1. 主な介護者が要介護者のところに着くまでに何分かかりますか。また、主な介護者のお住まいはどちらですか。要介護者が施設等に入所・入院している場合は、入院前の状況でお答えください。(枠内に数字を入れ、ひとつだけに○)

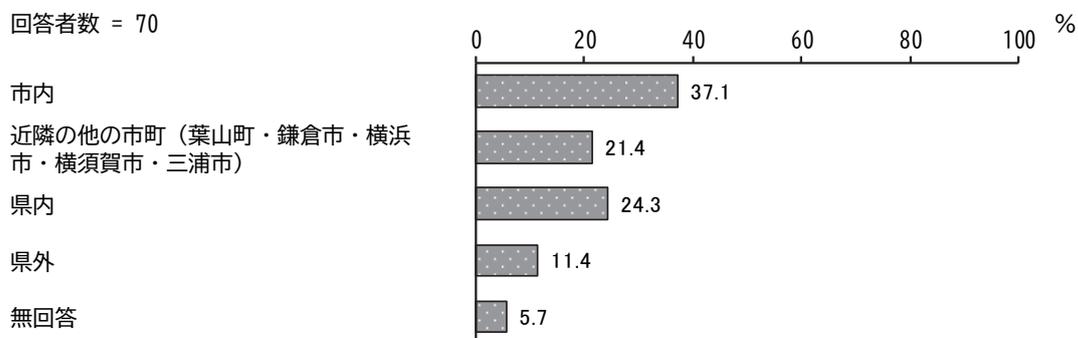
要介護者のところにつくまでの時間

「30分未満」の割合が30.0%と最も高く、次いで「30分以上1時間未満」の割合が27.1%、「1時間半以上2時間未満」の割合が14.3%となっています。



主な介護者の住まい

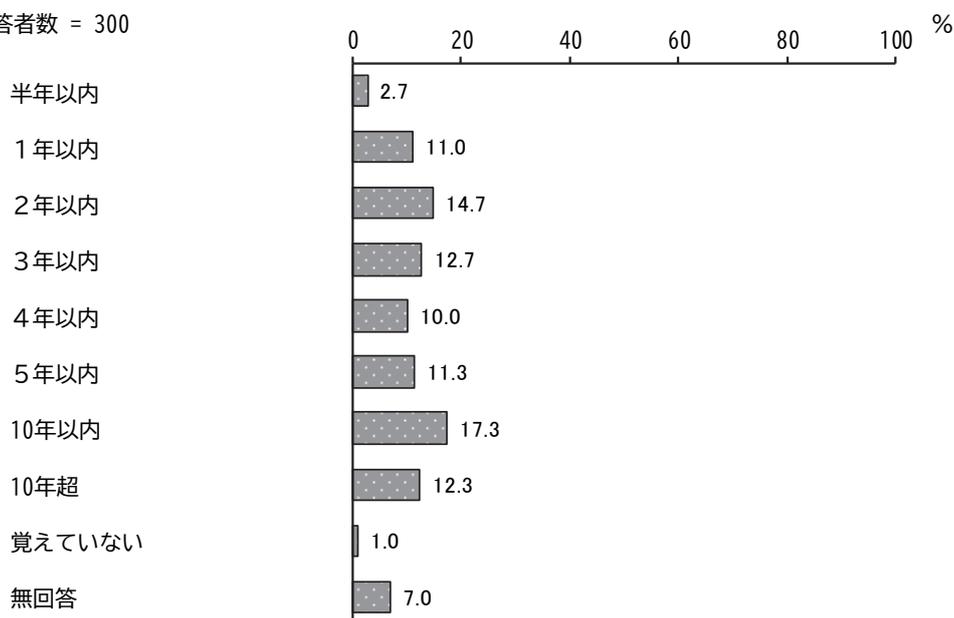
「市内」の割合が37.1%と最も高く、次いで「県内」の割合が24.3%、「近隣の他の市町(葉山町・鎌倉市・横浜市・横須賀市・三浦市)」の割合が21.4%となっています。



問7. あなたが介護を始めてどのくらいになりますか。(ひとつだけに○)

「10年以内」の割合が17.3%と最も高く、次いで「2年以内」の割合が14.7%、「3年以内」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 300



【介護者別】

子の配偶者で「2年以内」「10年以内」「5年以内」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	半年以内	1年以内	2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	10年以内	10年超	覚えていない	無回答
全体	300	2.7	11.0	14.7	12.7	10.0	11.3	17.3	12.3	1.0	7.0
配偶者(夫・妻)	101	5.0	13.9	18.8	13.9	11.9	6.9	12.9	11.9	—	5.0
息子	46	2.2	13.0	13.0	10.9	8.7	17.4	21.7	6.5	2.2	4.3
娘	102	—	10.8	13.7	15.7	7.8	10.8	19.6	18.6	1.0	2.0
子の配偶者	11	9.1	—	36.4	9.1	—	18.2	27.3	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	12.5	12.5	—	—	—	12.5	37.5	25.0	—	—
その他	8	—	12.5	—	25.0	25.0	12.5	25.0	—	—	—

【介護者の年齢別】

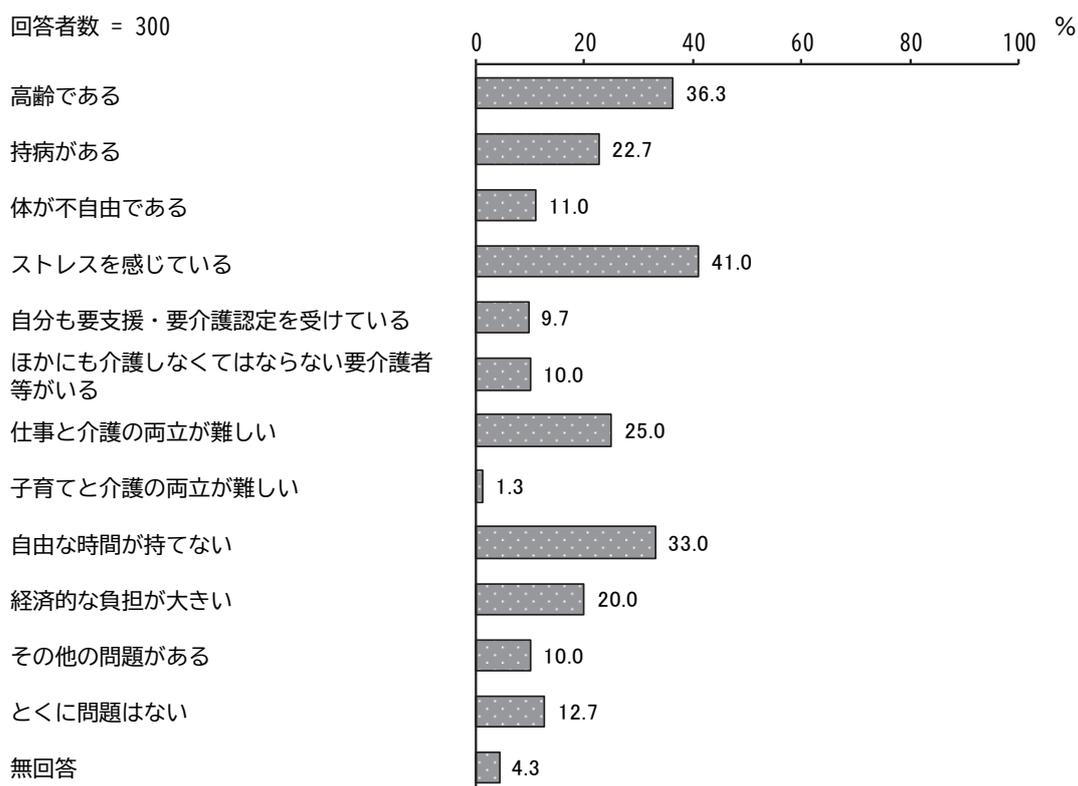
75～79歳で「3年以内」の割合が、90歳以上で「4年以内」の割合が、70～74歳で「10年以内」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	半年以内	1年以内	2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	10年以内	10年超	覚えていない	無回答
全 体	300	2.7	11.0	14.7	12.7	10.0	11.3	17.3	12.3	1.0	7.0
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	—	23.5	11.8	5.9	23.5	5.9	17.6	5.9	—	5.9
50～59歳	62	1.6	14.5	16.1	16.1	8.1	21.0	12.9	9.7	—	—
60～64歳	38	5.3	—	15.8	13.2	5.3	5.3	28.9	21.1	2.6	2.6
65～69歳	35	—	8.6	11.4	22.9	8.6	8.6	22.9	8.6	2.9	5.7
70～74歳	25	12.0	8.0	—	4.0	8.0	12.0	32.0	16.0	—	8.0
75～79歳	24	—	4.2	16.7	29.2	16.7	—	12.5	20.8	—	—
80～89歳	66	3.0	16.7	19.7	9.1	9.1	10.6	13.6	12.1	1.5	4.5
90歳以上	16	—	12.5	18.8	—	25.0	18.8	6.3	6.3	—	12.5

問8. あなたが今困っていることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「ストレスを感じている」の割合が41.0%と最も高く、次いで「高齢である」の割合が36.3%、「自由な時間が持てない」の割合が33.0%となっています。



【介護者別】

配偶者（夫・妻）で「高齢である」の割合が、息子で「仕事と介護の両立が難しい」の割合が、娘で「仕事と介護の両立が難しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高齢である	持病がある	体が不自由である	ストレスを感じている	自分も要支援・要介護認定を受けている	ほかにも介護しなくてはならない要介護者等がいる
全 体	300	36.3	22.7	11.0	41.0	9.7	10.0
配偶者（夫・妻）	101	76.2	34.7	21.8	53.5	21.8	8.9
息子	46	17.4	21.7	4.3	45.7	4.3	8.7
娘	102	8.8	16.7	3.9	34.3	1.0	10.8
子の配偶者	11	18.2	—	—	45.5	—	18.2
孫	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	50.0	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5
その他	8	12.5	12.5	—	37.5	—	—

区分	仕事と介護の両立が難しい	子育てと介護の両立が難しい	自由な時間が持てない	経済的な負担が大きい	その他の問題がある	とくに問題はない	無回答
全 体	25.0	1.3	33.0	20.0	10.0	12.7	4.3
配偶者（夫・妻）	7.9	—	38.6	22.8	5.0	6.9	1.0
息子	41.3	—	34.8	28.3	10.9	19.6	—
娘	40.2	2.0	34.3	19.6	14.7	15.7	—
子の配偶者	27.3	—	18.2	—	—	18.2	—
孫	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	—	—	37.5	25.0	—	12.5	—
その他	25.0	12.5	25.0	—	—	37.5	12.5

【介護者の年齢別】

75～79歳で「高齢である」の割合が、80～89歳で「高齢である」の割合が、90歳以上で「高齢である」の割合が高くなっています。

単位：％

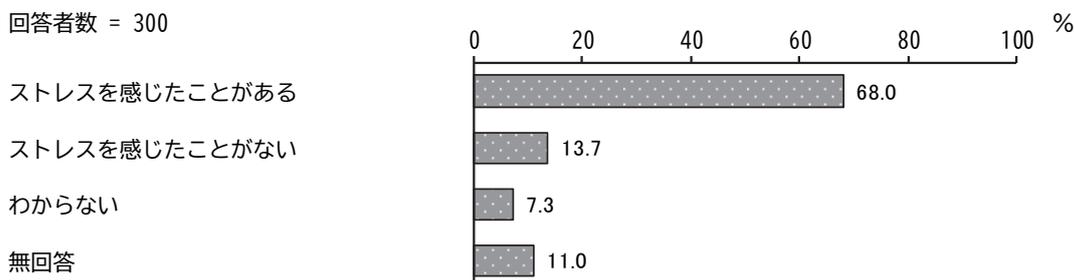
区分	回答者数(件)	高齢である	持病がある	体が不自由である	ストレスを感じている	自分も要支援・要介護認定を受けている	ほかにも介護しなくてはならない要介護者等がいる
全体	300	36.3	22.7	11.0	41.0	9.7	10.0
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	5.9	—	—	17.6	5.9	—
50～59歳	62	4.8	24.2	8.1	41.9	3.2	11.3
60～64歳	38	15.8	21.1	—	42.1	2.6	10.5
65～69歳	35	8.6	8.6	—	31.4	—	11.4
70～74歳	25	60.0	16.0	12.0	44.0	8.0	16.0
75～79歳	24	75.0	33.3	4.2	58.3	—	4.2
80～89歳	66	74.2	33.3	25.8	53.0	27.3	10.6
90歳以上	16	68.8	31.3	25.0	31.3	18.8	12.5

区分	仕事と介護の両立が難しい	子育てと介護の両立が難しい	自由な時間が持てない	経済的な負担が大きい	その他の問題がある	とくに問題はない	無回答
全体	25.0	1.3	33.0	20.0	10.0	12.7	4.3
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	52.9	17.6	17.6	17.6	23.5	11.8	5.9
50～59歳	50.0	1.6	35.5	25.8	9.7	12.9	—
60～64歳	39.5	—	42.1	18.4	18.4	10.5	—
65～69歳	11.4	—	31.4	17.1	5.7	37.1	—
70～74歳	8.0	—	40.0	16.0	8.0	16.0	4.0
75～79歳	8.3	—	41.7	29.2	12.5	4.2	—
80～89歳	10.6	—	36.4	21.2	7.6	9.1	1.5
90歳以上	18.8	—	18.8	18.8	6.3	—	—

問9. あなたは、介護にストレスを感じたことはありますか。(あてはまるものに○)

「ストレスを感じたことがある」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「ストレスを感じたことがない」の割合が 13.7%となっています。

回答者数 = 300



【介護者別】

子の配偶者で「ストレスを感じたことがない」の割合が、息子で「ストレスを感じたことがない」の割合が、娘で「ストレスを感じたことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ストレスを感じたことがある	ストレスを感じたことがない	わからない	無回答
全体	300	68.0	13.7	7.3	11.0
配偶者(夫・妻)	101	68.3	7.9	7.9	15.8
息子	46	65.2	23.9	8.7	2.2
娘	102	77.5	12.7	6.9	2.9
子の配偶者	11	54.5	27.3	—	18.2
孫	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	62.5	37.5	—	—
その他	8	50.0	25.0	25.0	—

【介護者の年齢別】

50～59歳で「ストレスを感じたことがある」の割合が、65～69歳で「ストレスを感じたことがない」の割合が、75～79歳で「ストレスを感じたことがある」の割合が高くなっています。

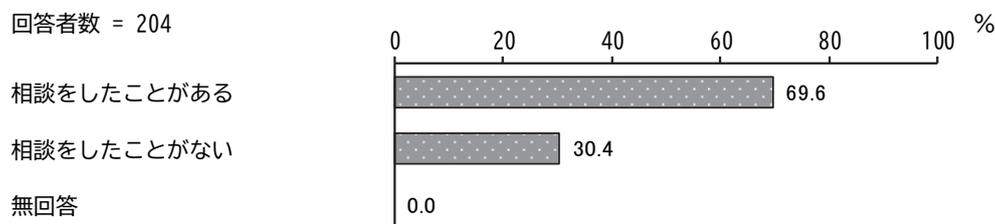
単位：%

区分	回答者数 (件)	ストレスを感じたことがある	ストレスを感じたことがない	わからない	無回答
全体	300	68.0	13.7	7.3	11.0
20歳未満	—	—	—	—	—
20～49歳	17	64.7	17.6	17.6	—
50～59歳	62	87.1	3.2	4.8	4.8
60～64歳	38	63.2	21.1	13.2	2.6
65～69歳	35	57.1	28.6	11.4	2.9
70～74歳	25	68.0	12.0	4.0	16.0
75～79歳	24	79.2	8.3	4.2	8.3
80～89歳	66	65.2	15.2	4.5	15.2
90歳以上	16	62.5	18.8	12.5	6.3

【問9で「1. ストレスを感じたことがある」と答えた方のみ】

問9-1. あなたは、介護にストレスを感じ、誰か（どこか）に相談したことはありますか。

「相談をしたことがある」の割合が 69.6%、「相談をしたことがない」の割合が 30.4%となっています。



【介護者別】

息子で「相談をしたことがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	相談をしたことがある	相談をしたことがない	無回答
全 体	204	69.6	30.4	—
配偶者（夫・妻）	69	71.0	29.0	—
息子	30	50.0	50.0	—
娘	79	73.4	26.6	—
子の配偶者	6	100.0	—	—
孫	—	—	—	—
兄弟姉妹	5	60.0	40.0	—
その他	4	75.0	25.0	—

【介護者の年齢別】

20～49歳で「相談をしたことがある」の割合が、60～64歳で「相談をしたことがない」の割合が、65～69歳で「相談をしたことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

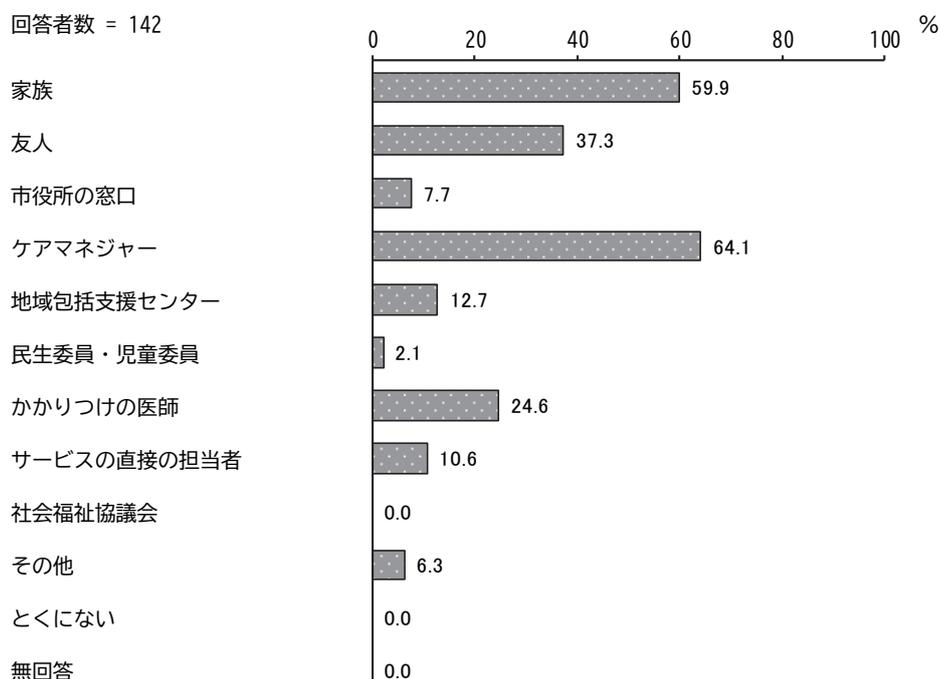
区分	回答者数(件)	相談をしたことがある	相談をしたことがない	無回答
全体	204	69.6	30.4	—
20歳未満	—	—	—	—
20～49歳	11	90.9	9.1	—
50～59歳	54	68.5	31.5	—
60～64歳	24	58.3	41.7	—
65～69歳	20	80.0	20.0	—
70～74歳	17	70.6	29.4	—
75～79歳	19	73.7	26.3	—
80～89歳	43	65.1	34.9	—
90歳以上	10	70.0	30.0	—

【問9-1で「1. 相談をしたことがある」と答えた方のみ】

問9-1-1. 誰（どこ）へ相談したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「ケアマネジャー」の割合が64.1%と最も高く、次いで「家族」の割合が59.9%、「友人」の割合が37.3%となっています。

回答者数 = 142



【介護者別】

息子で「ケアマネジャー」「かかりつけの医師」の割合が、配偶者（夫・妻）で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族	友人	市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	サービスの直接の担当者	社会福祉協議会	その他	とくにない	無回答
全体	142	59.9	37.3	7.7	64.1	12.7	2.1	24.6	10.6	—	6.3	—	—
配偶者（夫・妻）	49	57.1	40.8	10.2	61.2	18.4	—	26.5	12.2	—	6.1	—	—
息子	15	46.7	20.0	13.3	86.7	13.3	6.7	33.3	13.3	—	20.0	—	—
娘	58	62.1	41.4	3.4	56.9	5.2	1.7	15.5	6.9	—	5.2	—	—
子の配偶者	6	83.3	33.3	—	83.3	—	—	16.7	16.7	—	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	3	33.3	33.3	—	66.7	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	—
その他	3	66.7	66.7	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—

【介護者の年齢別】

20～49歳で「サービスの直接の担当者」「ケアマネジャー」の割合が、75～79歳で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。

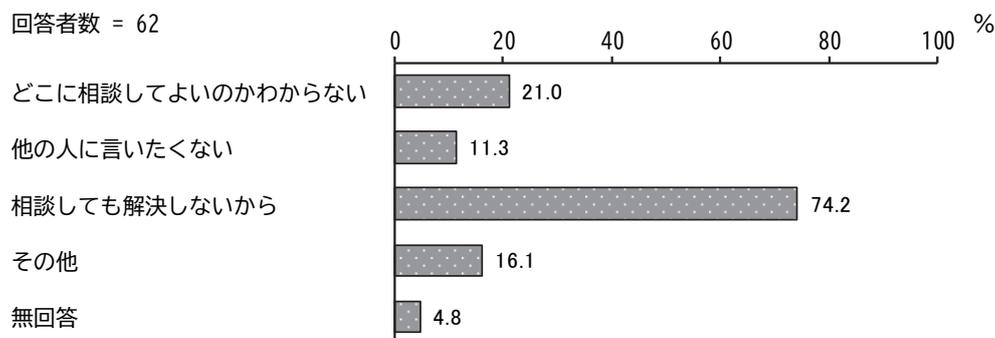
単位：％

区分	回答者数(件)	家族	友人	市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	サービスの直接の担当者	社会福祉協議会	その他	とくにない	無回答
全体	142	59.9	37.3	7.7	64.1	12.7	2.1	24.6	10.6	—	6.3	—	—
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	10	50.0	40.0	—	80.0	20.0	—	10.0	30.0	—	—	—	—
50～59歳	37	62.2	43.2	2.7	62.2	2.7	2.7	24.3	8.1	—	5.4	—	—
60～64歳	14	64.3	50.0	7.1	50.0	7.1	7.1	28.6	7.1	—	7.1	—	—
65～69歳	16	50.0	31.3	—	68.8	18.8	—	12.5	12.5	—	12.5	—	—
70～74歳	12	75.0	8.3	8.3	66.7	16.7	—	8.3	—	—	8.3	—	—
75～79歳	14	50.0	42.9	28.6	64.3	28.6	—	35.7	—	—	—	—	—
80～89歳	28	64.3	32.1	10.7	64.3	14.3	3.6	39.3	21.4	—	7.1	—	—
90歳以上	7	42.9	42.9	14.3	57.1	—	—	28.6	—	—	14.3	—	—

【問9-1で「2. 相談をしたことがない」と答えた方のみ】

問9-1-2. 相談したことがない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

「相談しても解決しないから」の割合が74.2%と最も高く、次いで「どこに相談してよいのかわからない」の割合が21.0%、「他の人に言いたくない」の割合が11.3%となっています。



【介護者別】

息子で「相談しても解決しないから」の割合が、配偶者（夫・妻）で「どこに相談してよいのかわからない」「他の人に言いたくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	どこに相談してよいのかわからない	他の人に言いたくない	相談しても解決しないから	その他	無回答
全体	62	21.0	11.3	74.2	16.1	4.8
配偶者(夫・妻)	20	35.0	20.0	70.0	10.0	5.0
息子	15	13.3	6.7	93.3	13.3	—
娘	21	19.0	4.8	76.2	23.8	—
子の配偶者	—	—	—	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	2	—	50.0	—	50.0	—
その他	1	—	—	—	—	100.0

【介護者の年齢別】

80～89歳で「他の人に言いたくない」の割合が、50～59歳で「相談しても解決しないから」の割合が、60～64歳で「相談しても解決しないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どこに相談してよ いのかからない	他の人に言いたく ない	相談しても解決し ないから	その他	無回答
全 体	62	21.0	11.3	74.2	16.1	4.8
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20～49歳	1	—	—	100.0	—	—
50～59歳	17	17.6	5.9	88.2	11.8	—
60～64歳	10	20.0	—	80.0	30.0	—
65～69歳	4	—	—	100.0	—	—
70～74歳	5	20.0	20.0	60.0	20.0	—
75～79歳	5	40.0	—	80.0	—	—
80～89歳	15	20.0	26.7	46.7	26.7	13.3
90歳以上	3	66.7	—	100.0	—	—

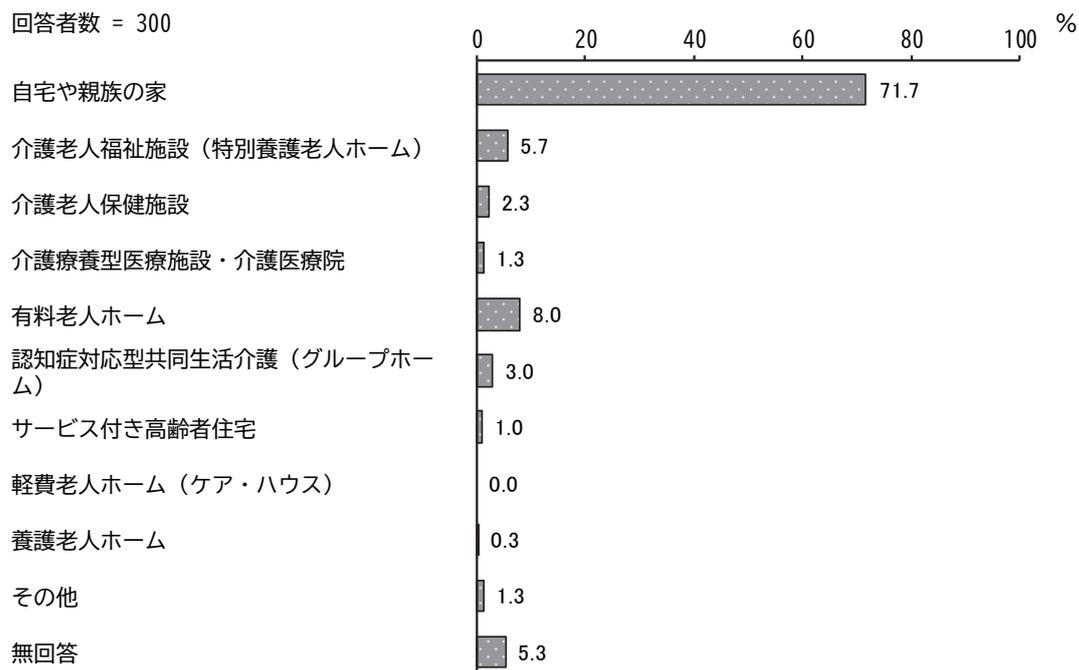
(2) あなたが介護をしている方(要介護者)について

問 10. 現在、要介護者はどこで生活していますか。(ひとつだけに○)

※短期入所や短期間の入院をしているときは、入所や入院前の状況でお答えください。

「自宅や親族の家」の割合が71.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 300



【介護者別】

配偶者（夫・妻）で「自宅や親族の家」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅や親族の家	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院	有料老人ホーム
全体	300	71.7	5.7	2.3	1.3	8.0
配偶者（夫・妻）	101	83.2	2.0	—	3.0	3.0
息子	46	63.0	8.7	6.5	2.2	10.9
娘	102	72.5	7.8	3.9	—	8.8
子の配偶者	11	72.7	9.1	—	—	18.2
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	50.0	—	—	—	25.0
その他	8	62.5	—	—	—	12.5

区分	認知症対応型共同生活 介護（グループホーム）	宅サービス付き高齢者住	軽費老人ホーム（ケア・ハウス）	養護老人ホーム	その他	無回答
全体	3.0	1.0	—	0.3	1.3	5.3
配偶者（夫・妻）	1.0	—	—	—	2.0	5.9
息子	4.3	2.2	—	—	—	2.2
娘	5.9	1.0	—	—	—	—
子の配偶者	—	—	—	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	—	12.5	—	12.5	—	—
その他	—	—	—	—	25.0	—

【介護者の年齢別】

80～89歳で「自宅や親族の家」の割合が、60～64歳で「自宅や親族の家」の割合が、90歳以上で「自宅や親族の家」の割合が高くなっています。

単位：％

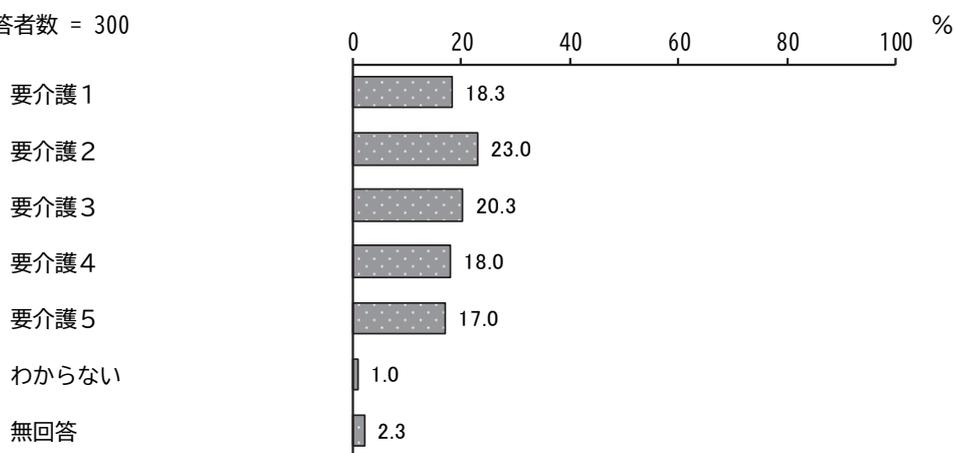
区分	回答者数 (件)	自宅 や親族の家	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホ ム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施 設・介護医療院	有料老人ホーム
全 体	300	71.7	5.7	2.3	1.3	8.0
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	58.8	11.8	5.9	—	5.9
50～59歳	62	77.4	9.7	4.8	—	4.8
60～64歳	38	81.6	5.3	—	—	7.9
65～69歳	35	62.9	5.7	2.9	—	14.3
70～74歳	25	68.0	4.0	—	8.0	16.0
75～79歳	24	70.8	4.2	—	4.2	4.2
80～89歳	66	83.3	1.5	—	—	6.1
90歳以上	16	81.3	—	6.3	6.3	6.3

区分	認知症対応型共同生活 介護（グループホ ム）	サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 住 宅	軽費老人ホーム（ケ ア・ハウス）	養 護 老 人 ホ ー ム	そ の 他	無 回 答
全 体	3.0	1.0	—	0.3	1.3	5.3
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20～49歳	11.8	—	—	—	5.9	—
50～59歳	1.6	1.6	—	—	—	—
60～64歳	5.3	—	—	—	—	—
65～69歳	5.7	2.9	—	2.9	—	2.9
70～74歳	—	—	—	—	4.0	—
75～79歳	—	—	—	—	4.2	12.5
80～89歳	3.0	1.5	—	—	1.5	3.0
90歳以上	—	—	—	—	—	—

問 11. 要介護者の要介護度は現在どれにあてはまりますか。(ひとつだけに○)

「要介護2」の割合が23.0%と最も高く、次いで「要介護3」の割合が20.3%、「要介護1」の割合が18.3%となっています。

回答者数 = 300



【介護者別】

子の配偶者で「要介護1」「要介護3」の割合が、娘で「要介護2」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全 体	300	18.3	23.0	20.3	18.0	17.0	1.0	2.3
配偶者(夫・妻)	101	20.8	15.8	17.8	23.8	16.8	1.0	4.0
息子	46	17.4	26.1	28.3	17.4	10.9	—	—
娘	102	18.6	33.3	20.6	10.8	16.7	—	—
子の配偶者	11	36.4	9.1	36.4	—	9.1	9.1	—
孫	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	12.5	37.5	—	12.5	37.5	—	—
その他	8	—	—	12.5	50.0	37.5	—	—

【介護者の年齢別】

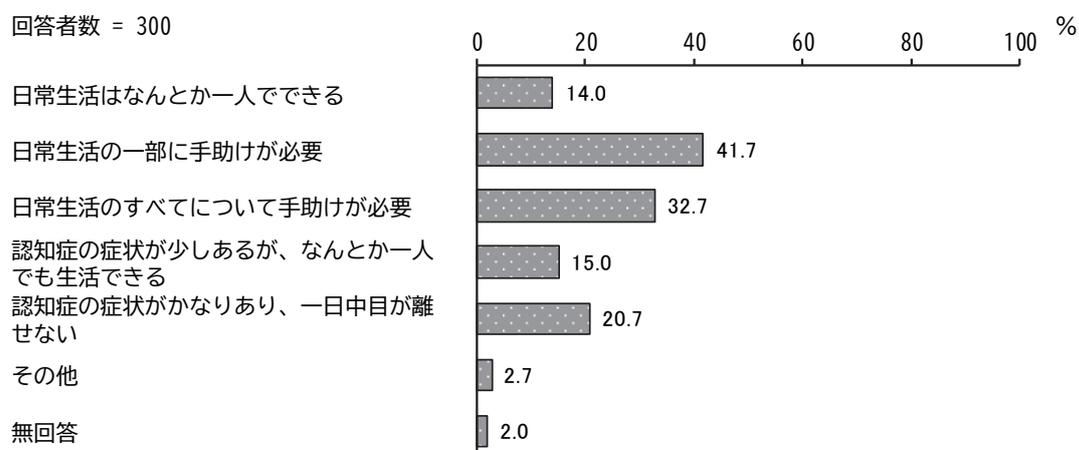
20～49歳で「要介護3」の割合が、70～74歳で「要介護3」の割合が、75～79歳で「要介護4」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全 体	300	18.3	23.0	20.3	18.0	17.0	1.0	2.3
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	11.8	17.6	35.3	23.5	11.8	—	—
50～59歳	62	22.6	30.6	17.7	9.7	19.4	—	—
60～64歳	38	21.1	23.7	15.8	21.1	13.2	5.3	—
65～69歳	35	17.1	25.7	20.0	17.1	20.0	—	—
70～74歳	25	12.0	24.0	32.0	8.0	16.0	—	8.0
75～79歳	24	12.5	16.7	16.7	29.2	16.7	—	8.3
80～89歳	66	18.2	19.7	22.7	21.2	18.2	—	—
90歳以上	16	25.0	31.3	18.8	18.8	—	6.3	—

問 12. 要介護者の心身の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

「日常生活の一部に手助けが必要」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「日常生活のすべてについて手助けが必要」の割合が 32.7%、「認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない」の割合が 20.7%となっています。



【介護者別】

子の配偶者で「日常生活はなんとか一人できる」「認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる」の割合が、娘で「日常生活の一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日常生活はなんとか一人でできる	日常生活の一部に手助けが必要	日常生活のすべてについて手助けが必要	認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる	認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない	その他	無回答
全体	300	14.0	41.7	32.7	15.0	20.7	2.7	2.0
配偶者(夫・妻)	101	20.8	38.6	32.7	11.9	17.8	2.0	4.0
息子	46	8.7	45.7	32.6	21.7	23.9	2.2	—
娘	102	6.9	52.9	30.4	14.7	17.6	3.9	—
子の配偶者	11	36.4	27.3	18.2	27.3	9.1	—	—
孫	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	12.5	25.0	62.5	12.5	12.5	—	—
その他	8	—	12.5	62.5	—	25.0	12.5	—

【介護者の年齢別】

90歳以上で「日常生活の一部に手助けが必要」の割合が、20～49歳で「日常生活の一部に手助けが必要」の割合が、70～74歳で「日常生活のすべてについて手助けが必要」の割合が高くなっています。

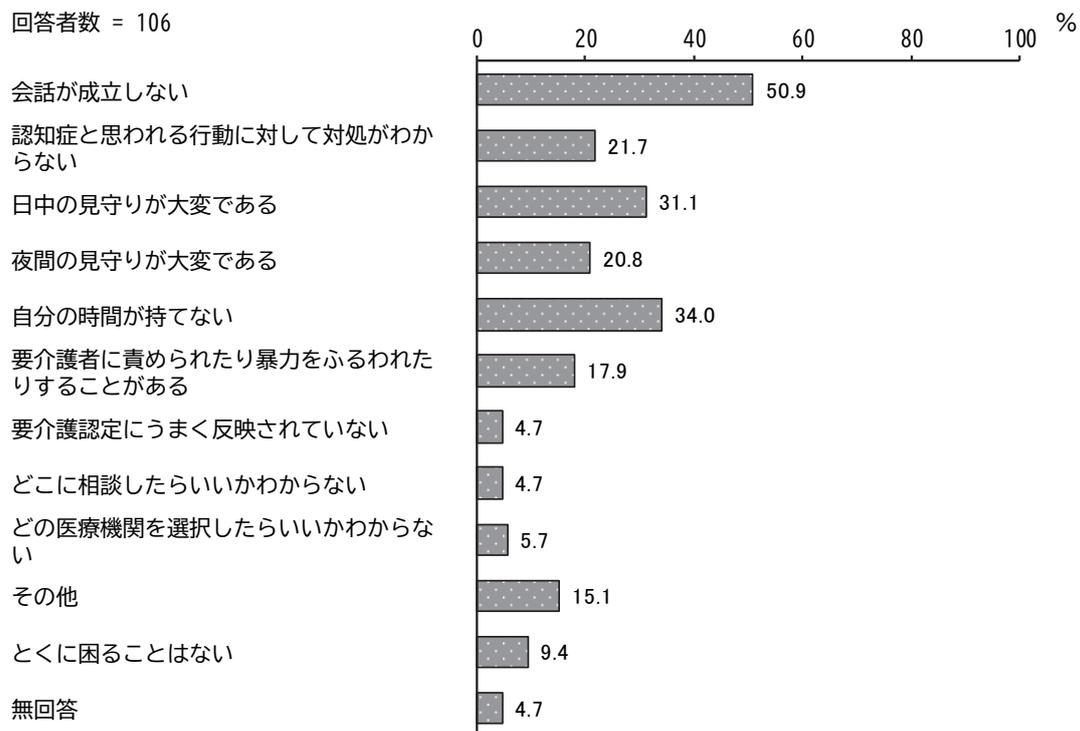
単位：％

区分	回答者数(件)	日常生活はなんとか一人でできる	日常生活の一部に手助けが必要	日常生活のすべてについて手助けが必要	認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる	認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない	その他	無回答
全体	300	14.0	41.7	32.7	15.0	20.7	2.7	2.0
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	5.9	58.8	23.5	—	29.4	—	—
50～59歳	62	11.3	48.4	30.6	19.4	19.4	4.8	—
60～64歳	38	13.2	47.4	31.6	13.2	15.8	—	—
65～69歳	35	8.6	34.3	37.1	17.1	28.6	5.7	—
70～74歳	25	12.0	24.0	44.0	12.0	20.0	—	4.0
75～79歳	24	16.7	29.2	33.3	16.7	20.8	8.3	4.2
80～89歳	66	22.7	43.9	33.3	13.6	16.7	1.5	—
90歳以上	16	6.3	62.5	25.0	12.5	18.8	—	6.3

【問 12 で「4. 認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる」「5. 認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない」と答えた方のみ】

問 12-1. 認知症の対応について、どのようなことでお困りですか。(あてはまるものすべてに○)

「会話が成立しない」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「自分の時間が持てない」の割合が 34.0%、「日中の見守りが大変である」の割合が 31.1%となっています。



【介護者別】

息子で「夜間の見守りが大変である」の割合が、配偶者（夫・妻）で「日中の見守りが大変である」の割合が、娘で「自分の時間が持てない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	会話が成立しない	認知症と思われる行動に対して対処がわからない	日中の見守りが大変である	夜間の見守りが大変である	自分の時間が持てない	要介護者に責められたり暴力をふるわれたりすることがある
全体	106	50.9	21.7	31.1	20.8	34.0	17.9
配偶者（夫・妻）	30	53.3	26.7	43.3	10.0	36.7	20.0
息子	21	52.4	28.6	19.0	33.3	23.8	19.0
娘	33	51.5	12.1	33.3	18.2	42.4	9.1
子の配偶者	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	—
孫	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	2	—	—	—	—	—	—
その他	2	50.0	—	—	—	—	—

区分	要介護認定にうまく反映されていない	どこに相談したらいいかわからない	どの医療機関を選んだらいいかわからない	その他	とくに困ることはない	無回答
全体	4.7	4.7	5.7	15.1	9.4	4.7
配偶者（夫・妻）	6.7	6.7	3.3	10.0	6.7	6.7
息子	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	—
娘	3.0	3.0	6.1	18.2	12.1	—
子の配偶者	—	—	25.0	25.0	—	—
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	—	—	—	100.0	—	—
その他	—	—	—	—	—	50.0

【介護者の年齢別】

60～64歳で「夜間の見守りが大変である」「要介護者に責められたり暴力をふるわれたりすることがある」の割合が、50～59歳で「自分の時間が持てない」の割合が高くなっています。

単位：%

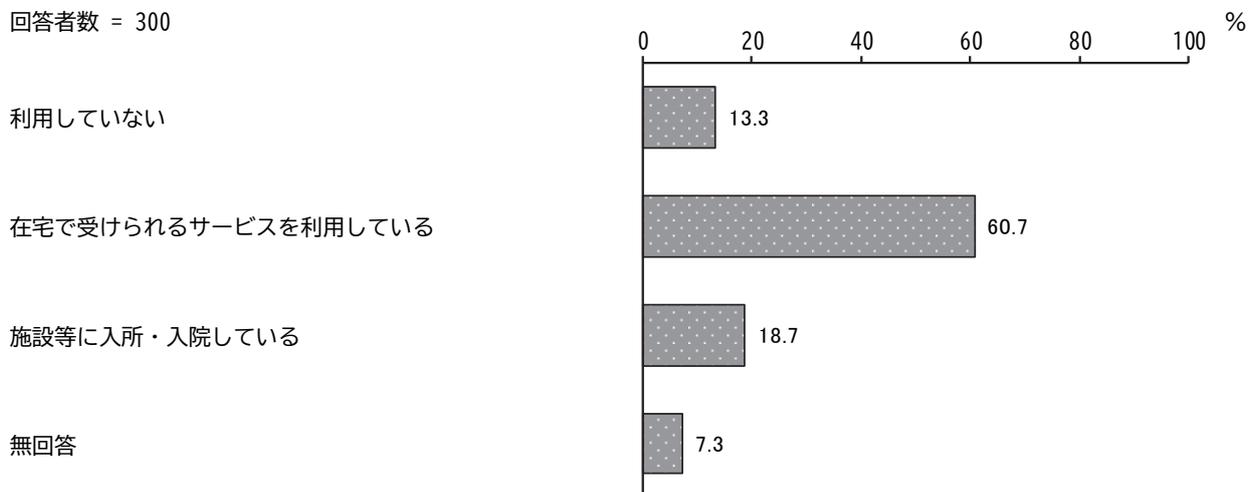
区分	回答者数(件)	会話が成立しない	認知症と思われる行動に対して対処がわからない	日中の見守りが大変である	夜間の見守りが大変である	自分の時間が持てない	要介護者に責められたり暴力をふるわれたりすることがある
全体	106	50.9	21.7	31.1	20.8	34.0	17.9
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	5	80.0	—	40.0	40.0	20.0	20.0
50～59歳	24	58.3	29.2	37.5	20.8	41.7	20.8
60～64歳	11	45.5	18.2	27.3	36.4	36.4	27.3
65～69歳	16	31.3	12.5	12.5	18.8	18.8	6.3
70～74歳	8	75.0	25.0	50.0	12.5	62.5	—
75～79歳	9	33.3	22.2	44.4	33.3	55.6	33.3
80～89歳	20	40.0	25.0	35.0	5.0	30.0	15.0
90歳以上	5	80.0	40.0	—	20.0	—	40.0

区分	要介護認定にうまく反映されていない	どこに相談したらいいかわからない	どの医療機関を選んだらいいかわからない	その他	とくに困ることはない	無回答
全体	4.7	4.7	5.7	15.1	9.4	4.7
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20～49歳	—	—	—	20.0	—	—
50～59歳	4.2	8.3	12.5	8.3	4.2	—
60～64歳	—	—	—	27.3	—	9.1
65～69歳	6.3	—	—	18.8	18.8	6.3
70～74歳	—	12.5	25.0	12.5	—	—
75～79歳	11.1	—	—	—	11.1	—
80～89歳	5.0	5.0	—	30.0	15.0	5.0
90歳以上	20.0	20.0	20.0	—	—	20.0

問 13. 要介護者は、介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけに○)

「在宅で受けられるサービスを利用している」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「施設等に入所・入院している」の割合が 18.7%、「利用していない」の割合が 13.3%となっています。

回答者数 = 300



【介護者別】

子の配偶者で「在宅で受けられるサービスを利用している」の割合が、息子で「施設等に入所・入院している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用していない	在宅で受けられるサービスを利用している	施設等に入所・入院している	無回答
全 体	300	13.3	60.7	18.7	7.3
配偶者 (夫・妻)	101	15.8	62.4	7.9	13.9
息子	46	10.9	54.3	30.4	4.3
娘	102	11.8	64.7	22.5	1.0
子の配偶者	11	9.1	72.7	18.2	—
孫	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	12.5	37.5	25.0	25.0
その他	8	12.5	62.5	25.0	—

【介護者の年齢別】

90歳以上で「利用していない」の割合が、60～64歳で「在宅で受けられるサービスを利用している」の割合が、65～69歳で「施設等に入所・入院している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用していない	在宅で受けられるサービスを利用している	施設等に入所・入院している	無回答
全体	300	13.3	60.7	18.7	7.3
20歳未満	—	—	—	—	—
20～49歳	17	5.9	52.9	29.4	11.8
50～59歳	62	11.3	67.7	19.4	1.6
60～64歳	38	7.9	76.3	15.8	—
65～69歳	35	11.4	54.3	31.4	2.9
70～74歳	25	16.0	52.0	24.0	8.0
75～79歳	24	16.7	45.8	12.5	25.0
80～89歳	66	12.1	71.2	9.1	7.6
90歳以上	16	37.5	43.8	12.5	6.3

【問13で「1. 利用していない」と答えた方のみ】

問13-1. 主な理由は何ですか。(ひとつだけに○)

「現状では、サービスを必要とするほどの状態ではない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が20.0%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 40

現状では、サービスを必要とするほどの状態ではない

本人にサービス利用の希望がない

家族が介護をするため必要ない

以前、利用していたサービスに不満があった

利用料を支払うのが難しい

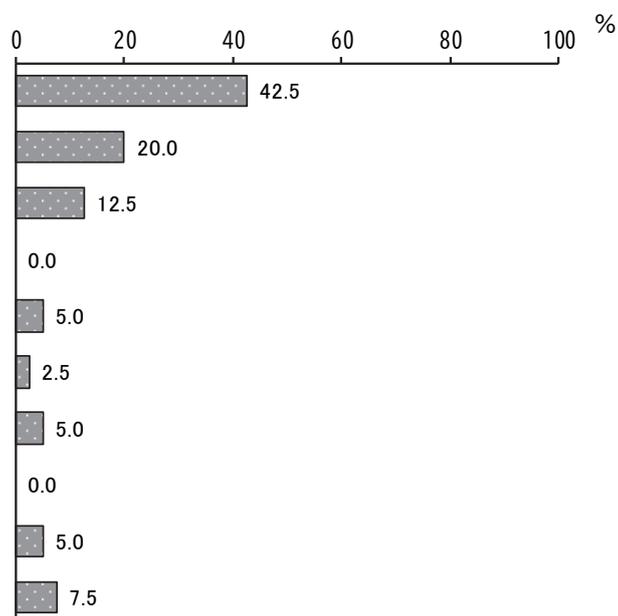
利用したいサービスが利用できない、身近にない

住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため

サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない

その他

無回答



【介護者別】

配偶者（夫・妻）で「現状では、サービスを必要とするほどの状態ではない」の割合が、娘で「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	現状では、サービスを必要とするほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい
全体	40	42.5	20.0	12.5	—	5.0
配偶者（夫・妻）	16	68.8	18.8	—	—	—
息子	5	40.0	—	20.0	—	20.0
娘	12	8.3	33.3	25.0	—	8.3
子の配偶者	1	—	100.0	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	1	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	—	—

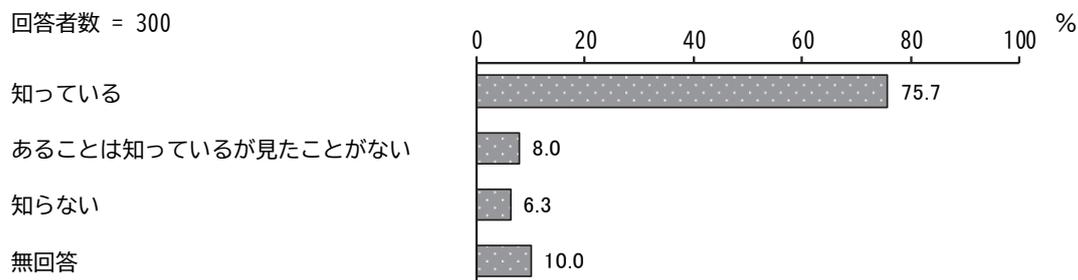
区分	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体	2.5	5.0	—	5.0	7.5
配偶者（夫・妻）	6.3	—	—	6.3	—
息子	—	—	—	—	20.0
娘	—	8.3	—	—	16.7
子の配偶者	—	—	—	—	—
孫	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	—	100.0	—	—	—
その他	—	—	—	100.0	—

(3) 要介護者が利用している在宅サービスについて

問 14. あなたは、要介護者のケアプランをご存じですか。(ひとつだけに○)

「知っている」の割合が 75.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 300



【介護者別】

娘で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	知っている	あることは知っているが見たことがない	知らない	無回答
全 体	300	75.7	8.0	6.3	10.0
配偶者(夫・妻)	101	72.3	5.0	9.9	12.9
息子	46	73.9	8.7	6.5	10.9
娘	102	84.3	6.9	2.9	5.9
子の配偶者	11	72.7	9.1	9.1	9.1
孫	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	75.0	12.5	—	12.5
その他	8	75.0	12.5	—	12.5

【介護者の年齢別】

60～64歳で「知っている」の割合が、65～69歳で「知っている」の割合が、20～49歳で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

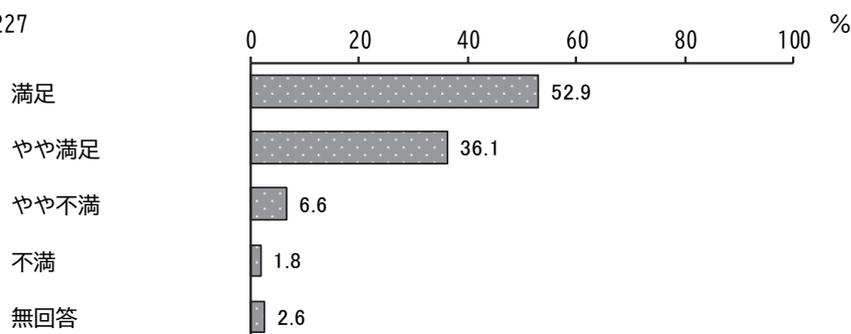
区分	回答者数(件)	知っている	あることは知っているが見たことがない	知らない	無回答
全 体	300	75.7	8.0	6.3	10.0
20歳未満	—	—	—	—	—
20～49歳	17	82.4	11.8	—	5.9
50～59歳	62	75.8	8.1	4.8	11.3
60～64歳	38	86.8	5.3	5.3	2.6
65～69歳	35	82.9	8.6	2.9	5.7
70～74歳	25	72.0	12.0	4.0	12.0
75～79歳	24	66.7	8.3	12.5	12.5
80～89歳	66	78.8	4.5	6.1	10.6
90歳以上	16	50.0	18.8	12.5	18.8

【問 14 で「1. 知っている」と答えた方のみ】

問 14-1 要介護者のケアプランについて、不満な点はありますか。(ひとつだけに○)

「満足」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 36.1%となっています。

回答者数 = 227



【介護者別】

息子で「満足」の割合が、配偶者（夫・妻）で「やや満足」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体	227	52.9	36.1	6.6	1.8	2.6
配偶者（夫・妻）	73	41.1	43.8	11.0	1.4	2.7
息子	34	61.8	20.6	8.8	2.9	5.9
娘	86	57.0	34.9	3.5	2.3	2.3
子の配偶者	8	62.5	37.5	—	—	—
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	6	50.0	33.3	16.7	—	—
その他	6	66.7	33.3	—	—	—

【介護者の年齢別】

20～49歳で「満足」の割合が、70～74歳で「やや満足」の割合が、65～69歳で「やや満足」の割合が高くなっています。

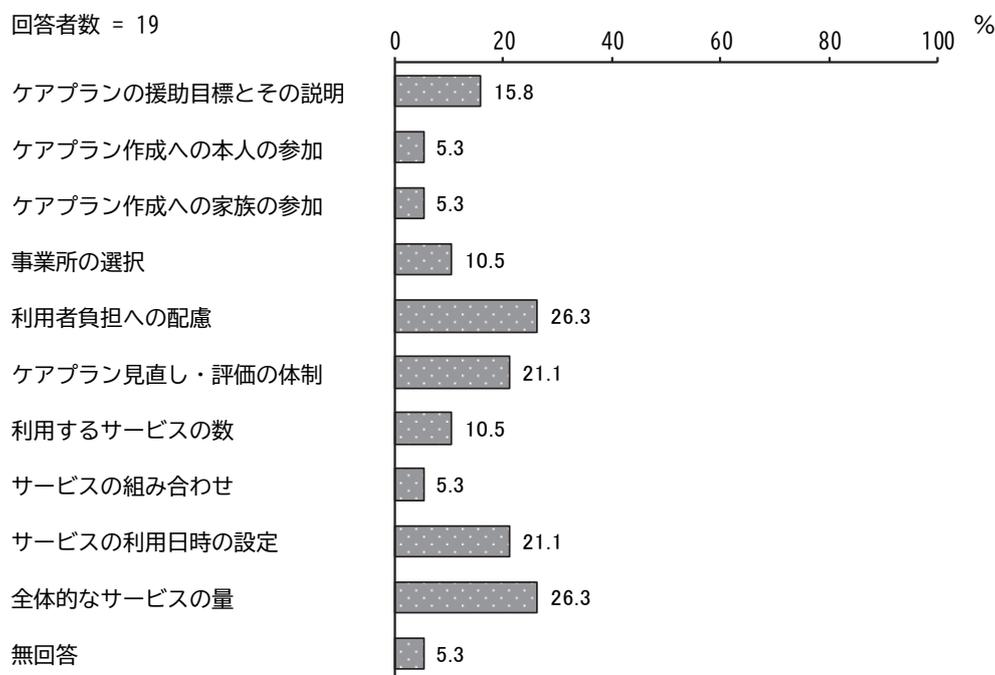
単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体	227	52.9	36.1	6.6	1.8	2.6
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20～49歳	14	78.6	21.4	—	—	—
50～59歳	47	57.4	29.8	8.5	2.1	2.1
60～64歳	33	54.5	33.3	3.0	6.1	3.0
65～69歳	29	48.3	44.8	3.4	—	3.4
70～74歳	18	50.0	50.0	—	—	—
75～79歳	16	31.3	43.8	12.5	6.3	6.3
80～89歳	52	44.2	40.4	13.5	—	1.9
90歳以上	8	75.0	25.0	—	—	—

【問 14-1 で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ】

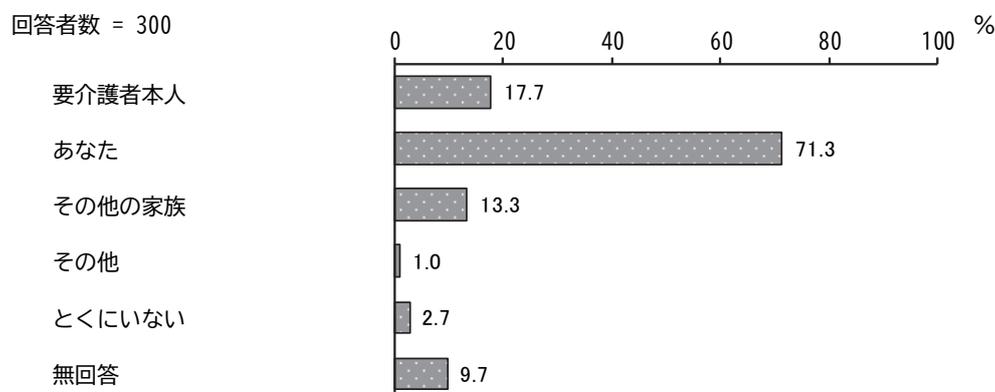
問 14-1-1. 不満な内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「利用者負担への配慮」、「全体的なサービスの量」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「ケアプラン見直し・評価の体制」、「サービスの利用日時の設定」の割合が 21.1%となっています。



問 15. 要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「あなた」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「要介護者本人」の割合が 17.7%、「その他の家族」の割合が 13.3%となっています。



【介護者別】

娘で「あなた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	要介護者本人	あなた	その他の家族	その他	とくにいない	無回答
全 体	300	17.7	71.3	13.3	1.0	2.7	9.7
配偶者（夫・妻）	101	14.9	65.3	16.8	1.0	4.0	11.9
息子	46	15.2	69.6	17.4	—	4.3	10.9
娘	102	19.6	83.3	7.8	1.0	1.0	5.9
子の配偶者	11	—	63.6	9.1	9.1	9.1	9.1
孫	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	37.5	75.0	—	—	—	—
その他	8	37.5	50.0	—	—	—	12.5

【介護者の年齢別】

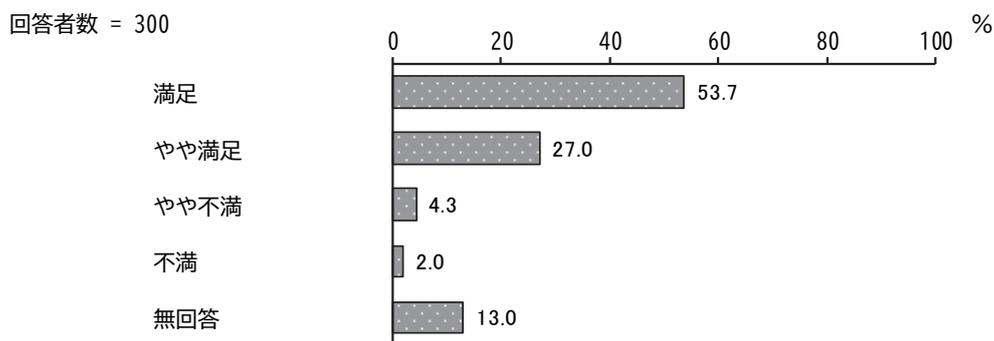
20～49歳で「あなた」の割合が、90歳以上で「その他の家族」の割合が、60～64歳で「あなた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	要介護者本人	あなた	その他の家族	その他	とくにいない	無回答
全 体	300	17.7	71.3	13.3	1.0	2.7	9.7
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	23.5	88.2	—	—	5.9	—
50～59歳	62	21.0	74.2	16.1	—	1.6	9.7
60～64歳	38	13.2	81.6	5.3	5.3	2.6	5.3
65～69歳	35	14.3	74.3	5.7	—	—	11.4
70～74歳	25	16.0	68.0	8.0	—	4.0	12.0
75～79歳	24	12.5	62.5	20.8	—	12.5	8.3
80～89歳	66	22.7	68.2	16.7	1.5	—	7.6
90歳以上	16	12.5	62.5	25.0	—	6.3	12.5

問 16. 担当のケアマネジャーについて不満な点はありますか。(ひとつだけに○)

「満足」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 27.0%となっています。



【介護者別】

子の配偶者で「満足」の割合が、娘で「やや満足」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全 体	300	53.7	27.0	4.3	2.0	13.0
配偶者 (夫・妻)	101	53.5	25.7	5.0	—	15.8
息子	46	47.8	23.9	8.7	6.5	13.0
娘	102	51.0	34.3	3.9	2.0	8.8
子の配偶者	11	63.6	9.1	—	—	27.3
孫	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	62.5	37.5	—	—	—
その他	8	87.5	—	—	—	12.5

【介護者の年齢別】

75～79歳で「やや満足」の割合が、90歳以上で「満足」の割合が、80～89歳で「満足」の割合が高くなっています。

単位：％

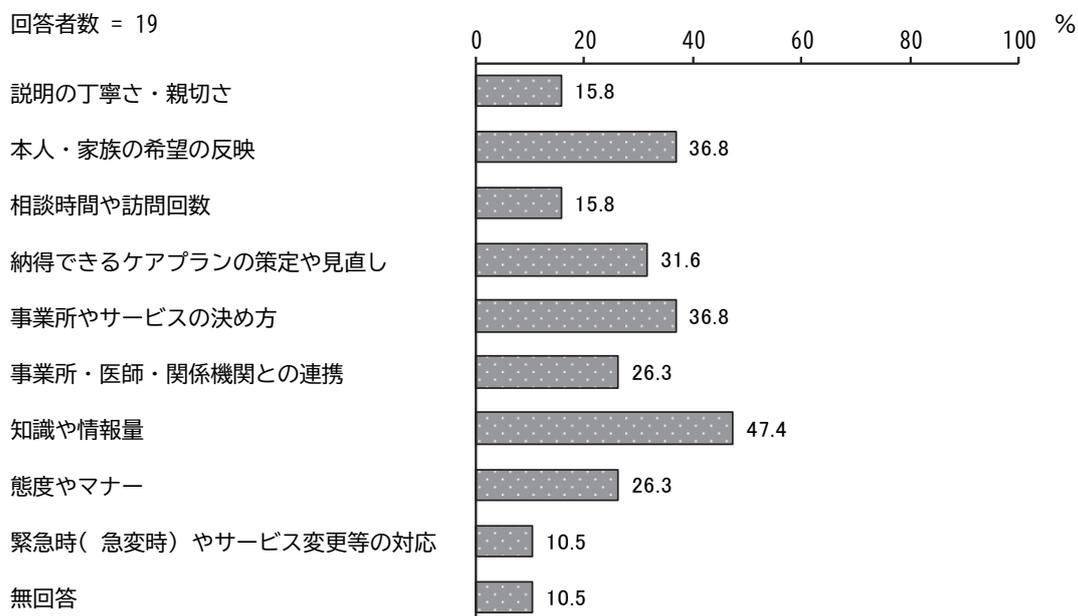
区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全 体	300	53.7	27.0	4.3	2.0	13.0
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	64.7	23.5	5.9	—	5.9
50～59歳	62	46.8	32.3	4.8	3.2	12.9
60～64歳	38	52.6	26.3	2.6	5.3	13.2
65～69歳	35	48.6	31.4	5.7	2.9	11.4
70～74歳	25	52.0	32.0	—	—	16.0
75～79歳	24	25.0	45.8	4.2	4.2	20.8
80～89歳	66	65.2	21.2	6.1	—	7.6
90歳以上	16	68.8	12.5	6.3	—	12.5

【問16で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ】

問16-1. 不満な内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

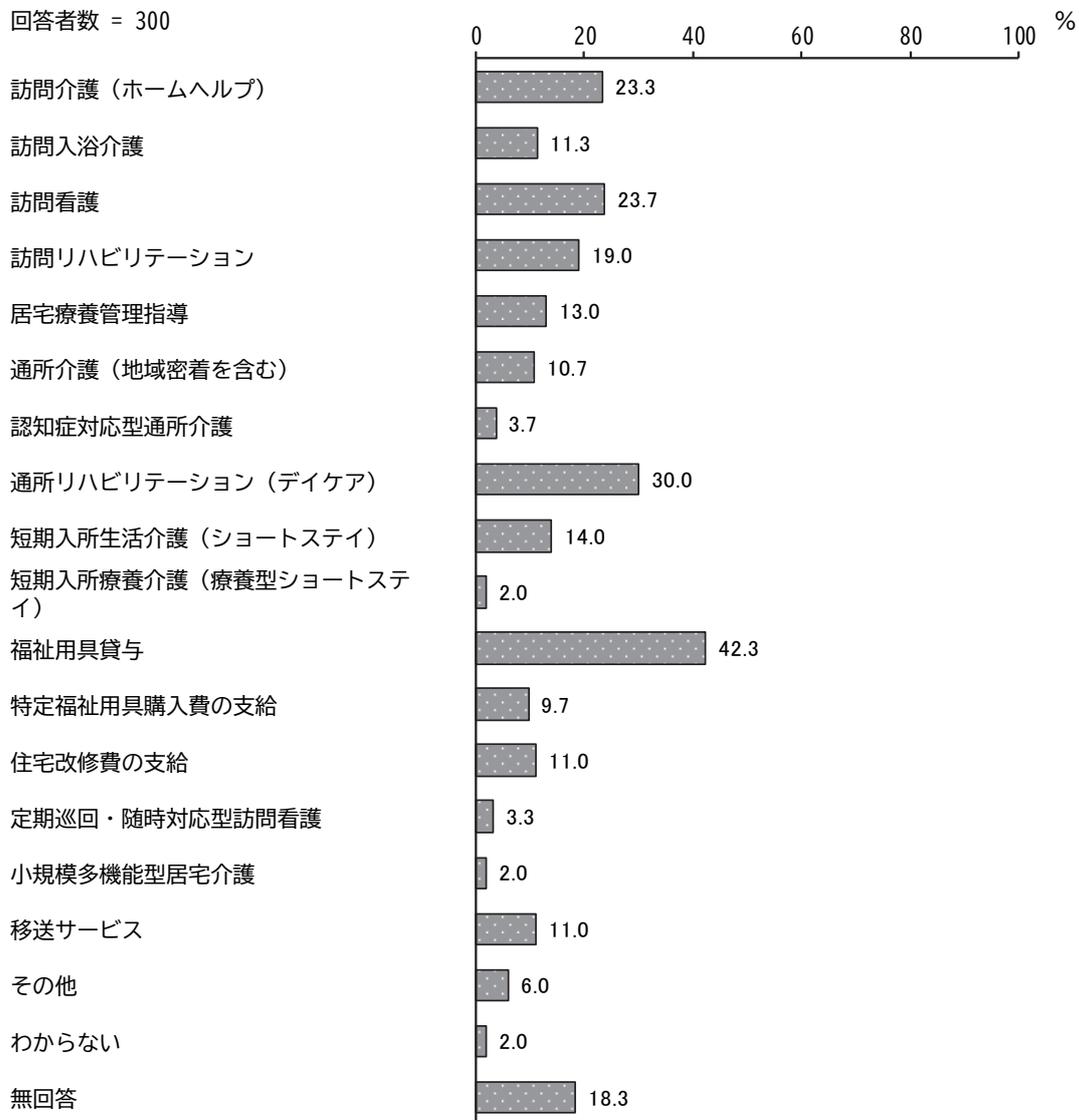
「知識や情報量」の割合が47.4%と最も高く、次いで「本人・家族の希望の反映」、「事業所やサービスの決め方」の割合が36.8%となっています。

回答者数 = 19



問 17. 現在、利用しているサービスにはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉用具貸与」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合が 30.0%、「訪問看護」の割合が 23.7%となっています。



【介護者別】

子の配偶者で「居宅療養管理指導」の割合が、息子で「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合が、娘で「福祉用具貸与」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	訪問介護(ホームヘルプ)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護(地域密着を含む)	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護(ショートステイ)
全体	300	23.3	11.3	23.7	19.0	13.0	10.7	3.7	30.0	14.0
配偶者(夫・妻)	101	17.8	16.8	31.7	20.8	10.9	5.0	5.9	32.7	12.9
息子	46	21.7	8.7	23.9	13.0	8.7	6.5	—	39.1	10.9
娘	102	25.5	8.8	20.6	24.5	13.7	16.7	2.0	26.5	15.7
子の配偶者	11	18.2	9.1	9.1	—	27.3	9.1	9.1	—	9.1
孫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	—	—	37.5	25.0
その他	8	50.0	—	12.5	—	25.0	12.5	—	37.5	—

区分	短期入所療養介護(療養型ショートステイ)	福祉用具貸与	特定福祉用具購入費の支給	住宅改修費の支給	訪問看護 定期巡回・随時対応型	小規模多機能型居宅介護	移送サービス	その他	わからない	無回答
全体	2.0	42.3	9.7	11.0	3.3	2.0	11.0	6.0	2.0	18.3
配偶者(夫・妻)	3.0	41.6	10.9	13.9	2.0	—	6.9	6.9	1.0	18.8
息子	2.2	37.0	13.0	10.9	4.3	4.3	10.9	8.7	2.2	17.4
娘	1.0	51.0	10.8	8.8	2.9	1.0	15.7	3.9	2.9	14.7
子の配偶者	—	36.4	9.1	18.2	—	9.1	9.1	9.1	—	27.3
孫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	—	25.0	—	—	—	—	12.5	—	12.5	12.5
その他	—	37.5	—	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	—	25.0

【介護者の年齢別】

75～79 歳で「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合が、60～64 歳で「通所介護（地域密着を含む）」の割合が、90 歳以上で「住宅改修費の支給」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（地域密着を含む）	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護（ショートステイ）
全 体	300	23.3	11.3	23.7	19.0	13.0	10.7	3.7	30.0	14.0
20 歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49 歳	17	23.5	5.9	23.5	17.6	5.9	5.9	—	29.4	5.9
50～59 歳	62	27.4	9.7	19.4	22.6	6.5	14.5	3.2	35.5	17.7
60～64 歳	38	26.3	7.9	26.3	21.1	21.1	26.3	5.3	23.7	13.2
65～69 歳	35	22.9	14.3	22.9	22.9	20.0	2.9	5.7	22.9	14.3
70～74 歳	25	20.0	4.0	16.0	12.0	8.0	8.0	12.0	24.0	16.0
75～79 歳	24	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	—	50.0	4.2
80～89 歳	66	25.8	19.7	31.8	19.7	18.2	6.1	1.5	30.3	16.7
90 歳以上	16	18.8	—	25.0	18.8	12.5	6.3	—	37.5	6.3

区分	短期入所療養介護（療養型ショートステイ）	福祉用具貸与	特定福祉用具購入費の支給	住宅改修費の支給	定期巡回・随時対応型訪問看護	小規模多機能型居宅介護	移送サービス	その他	わからない	無回答
全 体	2.0	42.3	9.7	11.0	3.3	2.0	11.0	6.0	2.0	18.3
20 歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49 歳	5.9	47.1	5.9	—	11.8	—	5.9	11.8	5.9	11.8
50～59 歳	1.6	46.8	17.7	14.5	—	4.8	12.9	6.5	1.6	17.7
60～64 歳	—	55.3	10.5	5.3	5.3	2.6	13.2	2.6	2.6	10.5
65～69 歳	—	31.4	2.9	11.4	—	—	14.3	11.4	2.9	14.3
70～74 歳	—	36.0	4.0	8.0	4.0	—	8.0	4.0	4.0	20.0
75～79 歳	8.3	37.5	8.3	8.3	4.2	—	8.3	12.5	—	12.5
80～89 歳	3.0	47.0	9.1	13.6	6.1	3.0	9.1	3.0	1.5	18.2
90 歳以上	—	37.5	18.8	25.0	—	—	12.5	6.3	—	25.0

問 17-1. 問 17 のサービスについて、① もっと利用したい、または、② 利用しにくいとお感じのサービスがありましたら、その内容についてご自由にお書きください。
(原文のまま掲載しています)

① もっと利用したいと思うサービス

【訪問介護】

- ・現状、我が家の体制では介護している人の外出に時間的制約が多く、中々ままならない状況です。家政婦、ヘルパー（保険、自費）をおねがいしたくても人手不足、人材不足、情報不足で困っています。
- ・そうじ・買い物、近くにスーパーがないので週1回では心もとない買い物で時間がなくなってそうじをしてもらえない
- ・介護者の負担が多く疲れが出てきているもう少し利用したいが単位ギリギリで無理。
- ・訪問看護してくれる医療機関が分からない
- ・とても心身共によいのでずっと利用させていただきたいです

【訪問入浴介護】

- ・1人で入浴出来なくなってきた

【訪問リハビリテーション】

- ・日中もソファで横になっている時間がほとんどで1日一回は買物につれ出し、少しでも歩くようにしているのでさらに動くようにするにはどうしたらよいか分からない。
- ・特養に入所している人も、リハビリを受けられるようになれば良いと思う。入所している人のニーズは色々なので、帰る家がない場合は事情により特養に入所せざるを得ないケースがある。必ずしも入所者が寝たきりとは限らない。特養では歩行器を使用する入所者を見守る余裕なく車イス生活が余儀なくされ身体機能が弱ってしまう。
- ・通所リハビリテーション（デイケア）だと母（要介護者）はほぼ丸1日潰れてしまう為。
- ・自宅にてリハビリができるのは良い。毎日、来てもらいたいが、そこはお金との関係もあるので。

【居宅療養管理指導】

- ・歯の定期検査、歯周病をみてほしい。マッサージを週2で受けさせたい。（血行が悪い為）つめ切りのサービスがあったらいいです。

【認知症対応型通所介護】

- ・週3回を4回にしたい。

【デイケア】

- ・食事をもっとほしいので、たくさんの方と一緒に食事してほしい
- ・要介護者が楽しむことができるから
- ・親が、死んでいるため
- ・要介護者は他人と交流してほしい
- ・利用時間を調整できるのであればもっと利用したい。特に夕～夜間帯。自宅介護となった場合は利用したい。

- ・理学療法士による運動（マシンを使った機能訓練など）
- ・リハビリ（歩行練習等）を中心にしたい。

【短期入所生活介護（ショートステイ）】

- ・介護のいき抜きに使用したい。
- ・利用中のレクリエーション（本人が楽しく過ごす時間）
- ・何かあった時にと思うが認知があり違う事をするのを拒絶するのでおかしくなってしまうといけないので無理には利用していない
- ・時々、泊まりで利用してほしいが、本人があまり行きたくないのでは信用出来ないでいる。

【療養型ショートステイ】

- ・ストレス解消の為

【定期巡回・随時対応型訪問看護】

- ・深夜、夜間の排せつ介助等。体調の悪い時に利用出来れば幸いです。

【小規模多機能型居宅介護】

- ・良いサービスで、介護者が仕事（フルタイム）していても仕事を続けながら介護ができる。知らない方が多いのもっとアピールしたらどうか。
- ・現在リハビリで病院に入院中ですが、今後可能な限り自宅介護を続けたいと思います。経済的負担も考えて、どこまで続けられるのか詳細をもっと知りたいです。
- ・要介護者は入浴が難しくなったが、訪問入浴はいやがるので小規模多機能型居宅介護なら受け入れやすいのでは、と思う為

【移送サービス】

- ・免許を持っていないのでタクシーの利用が多くなる（通院）仕事で付き添いが出来ない時に簡単に利用出来たらと思う。
- ・仕事で付き添いが困難な時に利用してみたい
- ・自分がつきそえない時安心だから（数が少なすぎる）月4回 外に出るところがリスクが減るから
- ・金額、時間（利用）をふやしてほしい金額も少し低額がそうしたらもっと利用したい。
- ・受診時に自費で福祉タクシーを利用している。

【その他】

- ・ウォーターベッド（ストレス解消の為）

② 利用しにくいとお感じのサービス

【訪問介護】

- ・情報不足（信頼できるもの）
- ・鍵の共有、家の中で見られる等
- ・同居ではないが同じ建物の棟にいるため、訪問介護が自費負担となってしまうため、利用しに

くい。仕事で帰宅が遅い時や外出時に長時間一人にしておくのは体調面や転倒などがあり、心配が多い。

【居宅療養管理指導】

- ・医師の専門分野が分かりにくい。どの医師に頼んだら良いかが分からない。逗子市は訪問する医師が少ない。

【デイケア】

- ・施設に空きがなく、待ちの状態となる
- ・大変良くしていただいているが、終る時間が3時半と早いこと、又、半日の日があたり時間が短い又、ショートとデイサービスを併用出来ると有難い。ショートではほぼ1日、何もしていないようなので。
- ・要介護者の健康状態により、デイケア、ショートステイのあらかじめ決められた日程の方が重視されてします。帰宅後に病気や怪我が判明している。それで介護者の負担が極端に増加している。
- ・長時間の車椅子を心配です。ヨダレも多く、出来れば入浴のみお願いしたい。

【ショートステイ】

- ・お盆お正月などは1度も利用できない（10年間ずっと）コロナで休む事がある
- ・予約がとれない。（長期）。
- ・家族が旅行したい時、すぐにあずかってくれる施設が見つからない。
- ・事前に申し込みが必要、且つ、1ヶ月前に申し込まなければ利用できない施設が多く、急な用ができた場合等の際はNGの為。

【短期入所生活介護】

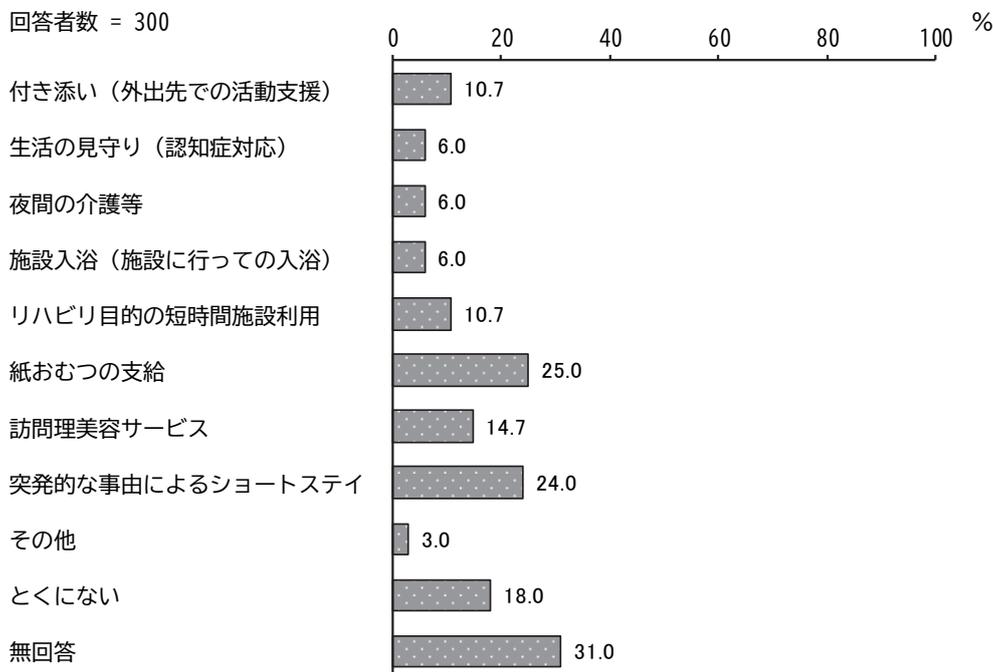
- ・今年実家の件で遠出を考える事が発生、ケアマネジャーに想談すると、1ヶ所は介護員不足で今は受けつけていない。又、他に当るにも、書類提出に時間がかかったり、医院の説明書などいちいちめんどう。書類を作るに、大変との返事又、1泊当りの費用の件など、くわしく知らされなかった。結果出掛けることができず。

【移送サービス】

- ・付き添い人が必要だから（タクシーも資格者が来てくれるからヘルパーさんなしでも利用できるようにしてほしい）
- ・問19、記入具体的な希望→要介護者は、歩行は少しなら可能な状態の為、病院前駐車でしたらひとりでタクシー利用可能です。付添いは必要なので時間に合せ介護者が用事を済ませて向かう。このようなケースが通ると助かります。
- ・特殊な手杖を受けた病院への通院をしているが、市外にあるため、自宅から移送サービスを利用しても、片道だけで6,000円前後は、自己負担となる。結局、通院費が高額負担となるので現在は、移送サービスは、市内の歯科、眼科、皮膚科の通院時にのみ利用している。市外の病院へ通院する際に、せめて、最寄りの駅までの移送サービスの利用が可能となって欲しいと思います。
- ・介護タクシーの予約が取りにくい（すぐに予約がうまってしまう。特に土曜日）

問17-2. 問17以外で、希望するサービスをお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

「紙おむつの支給」の割合が25.0%と最も高く、次いで「突発的な事由によるショートステイ」の割合が24.0%となっています。



【介護者別】

娘で「付き添い (外出先での活動支援)」「突発的な事由によるショートステイ」の割合が、子の配偶者で「リハビリ目的の短時間施設利用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	付き添い (外出先での活動支援)	生活の見守り (認知症対応)	夜間の介護等	施設入浴 (施設に行つての入浴)	リハビリ目的の短時間施設利用	紙おむつの支給	訪問理美容サービス	突発的な事由によるショートステイ	その他	とくにない	無回答
全体	300	10.7	6.0	6.0	6.0	10.7	25.0	14.7	24.0	3.0	18.0	31.0
配偶者 (夫・妻)	101	4.0	3.0	2.0	7.9	12.9	29.7	13.9	20.8	2.0	16.8	33.7
息子	46	8.7	10.9	8.7	4.3	8.7	23.9	13.0	19.6	4.3	19.6	32.6
娘	102	21.6	6.9	7.8	4.9	12.7	25.5	17.6	33.3	4.9	18.6	22.5
子の配偶者	11	9.1	9.1	—	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	—	—	45.5
孫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	—	—	12.5	—	—	12.5	25.0	25.0	—	12.5	25.0
その他	8	12.5	12.5	12.5	12.5	—	12.5	12.5	25.0	—	25.0	25.0

【介護者の年齢別】

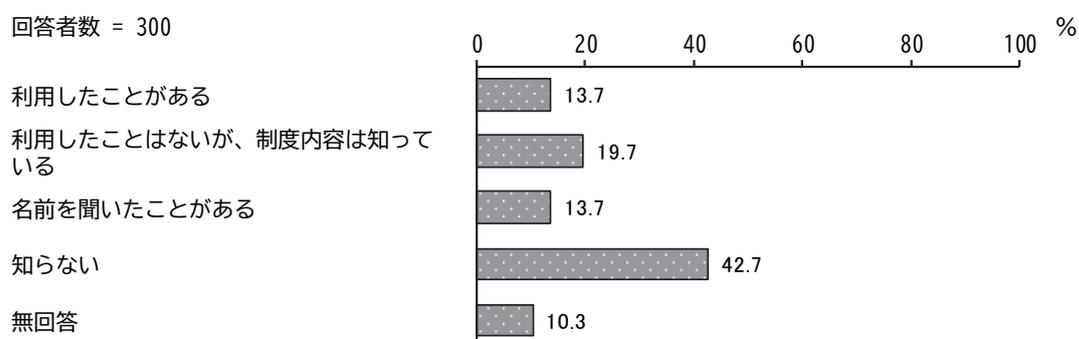
60～64歳で「付き添い（外出先での活動支援）」「突発的な事由によるショートステイ」の割合が、50～59歳で「付き添い（外出先での活動支援）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	付き添い(外出先での活動支援)	生活の見守り(認知症対応)	夜間の介護等	施設入浴(施設に行つての入浴)	リハビリ目的の短時間施設利用	紙おむつの支給	訪問理美容サービス	突発的な事由によるショートステイ	その他	とくにない	無回答
全体	300	10.7	6.0	6.0	6.0	10.7	25.0	14.7	24.0	3.0	18.0	31.0
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	17.6	5.9	11.8	11.8	11.8	23.5	5.9	29.4	—	23.5	17.6
50～59歳	62	21.0	6.5	6.5	3.2	12.9	29.0	16.1	29.0	6.5	16.1	22.6
60～64歳	38	21.1	5.3	10.5	5.3	13.2	23.7	21.1	31.6	5.3	18.4	18.4
65～69歳	35	5.7	8.6	5.7	—	11.4	17.1	17.1	20.0	—	20.0	37.1
70～74歳	25	4.0	4.0	—	8.0	8.0	16.0	16.0	24.0	4.0	8.0	44.0
75～79歳	24	4.2	4.2	4.2	20.8	8.3	25.0	16.7	29.2	—	20.8	25.0
80～89歳	66	3.0	7.6	6.1	6.1	10.6	31.8	13.6	21.2	3.0	19.7	31.8
90歳以上	16	12.5	6.3	—	6.3	12.5	25.0	6.3	12.5	—	18.8	43.8

問 18. 逗子市の独自事業である「移送サービス」についてご存知ですか。(ひとつだけに○)

「知らない」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「利用したことはないが、制度内容は知っている」の割合が 19.7%、「利用したことがある」、「名前を聞いたことがある」の割合が 13.7%となっています。



問 19. その他、外出を支援するために市に望むことは何ですか。ご自由にお書きください。(原文のまま掲載しています)

【付き添いについて】

- ・ 仕事があり、幼い子供がいるため、平日の通院のつきそいができない。通院のつきそい、(病院内も)、してもらえるサービスが欲しい。
- ・ 医者に通院する際、ヘルパー等に連れて行ってもらいたいが、医者の意見をどこまで把握してもらえるかが分からない。(不安)。
- ・ 移送の他、付き添って下さる方を望みます。
- ・ 病院への送迎のつきそいや、外出時につきそってくださる方がいるとありがたいです

【経済的負担・料金について】

- ・ 介護タクシーの台数増をお願いしたい低額利用が出来るようにしてほしい
- ・ 所得制度で利用出来なくなっているが、逗子市内(タクシーのワンメーター内にある医者に行くだけ)で使える様になればよいと思う。
- ・ タクシーの割引券が欲しい。
- ・ 外出するには、1人ではムリなので、必ず2人となります。交通費も2倍となります。老々介護に、経済的な支援があれば助かります。

【その他】

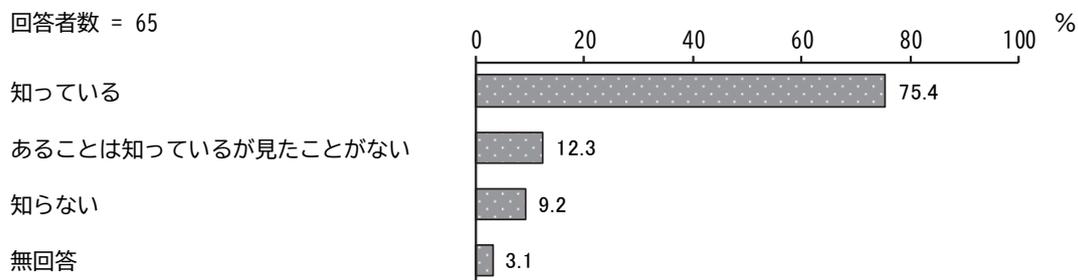
- ・ 歩道を平らにしてほしい。歩道がせまい(ガードレールもあり)歩行器が通れない(県道にそつた歩道は段差が多く歩きぬくい)
- ・ 車椅子利用になっているが、外へ連れ出した時、道路、路面の傷みに充分注意が必要な所がある。補修が進むと助かります。
- ・ 母(要介護者)は4ヶ月前に右股関節を骨折して、今は関節の可動域を広げる必要が有る為、訪問リハビリテーションを(引き続き)充実させることを望みます。
- ・ 店舗等のバリアフリー化、益々推進して欲しい。

(4) 要介護者が施設等に入所・入居しているご家族について

問 20. 要介護者のケアプランをご存じですか。(ひとつだけに○)

「知っている」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「あることは知っているが見たことがない」の割合が 12.3%となっています。

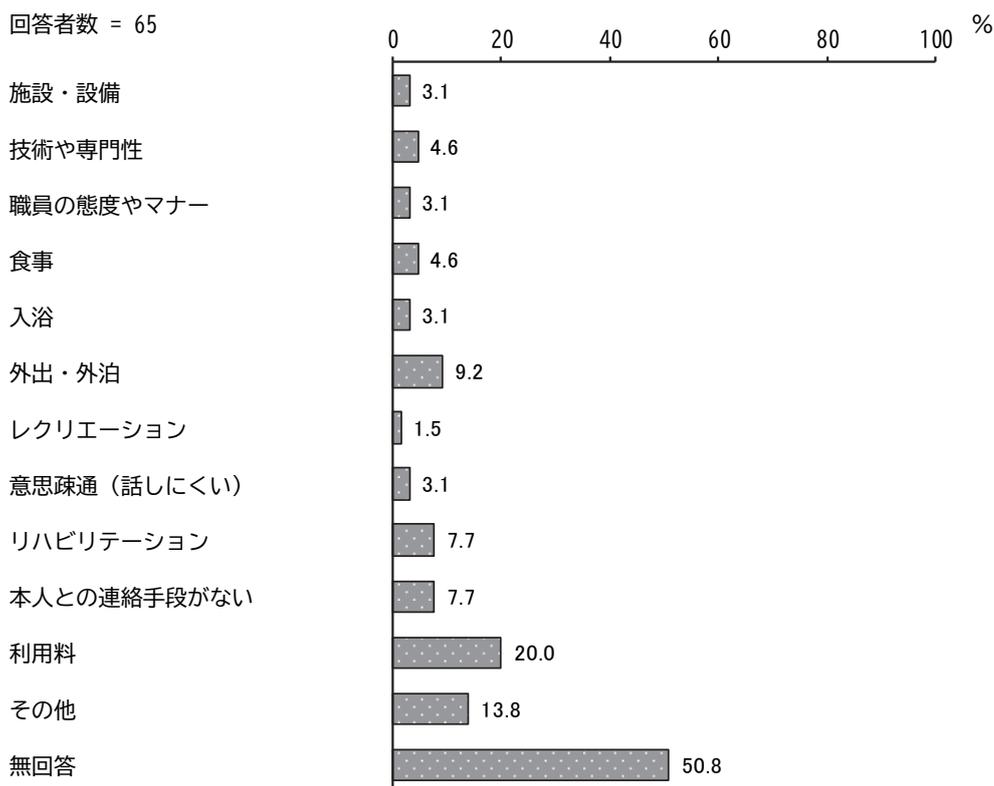
回答者数 = 65



問 21. 現在、要介護者が入所・入院している施設等について、不満な点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

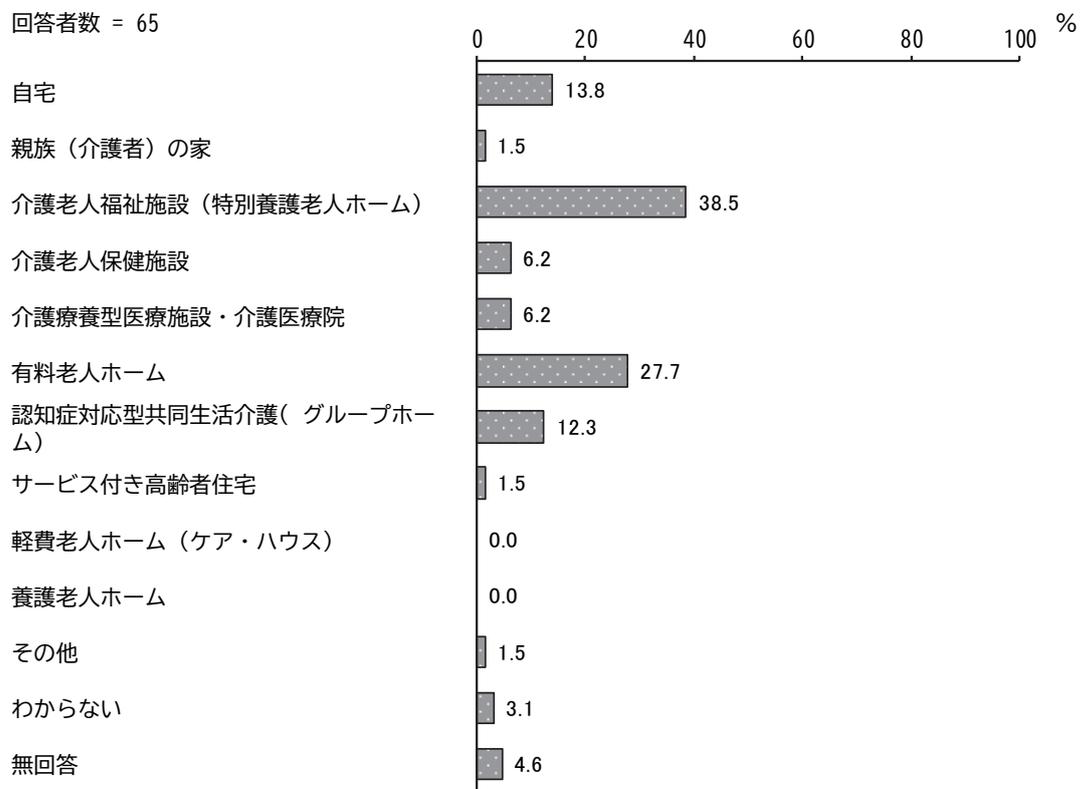
「利用料」の割合が 20.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 65



問 22. 要介護者はどこで暮らして欲しいですか。(2つまでに○)

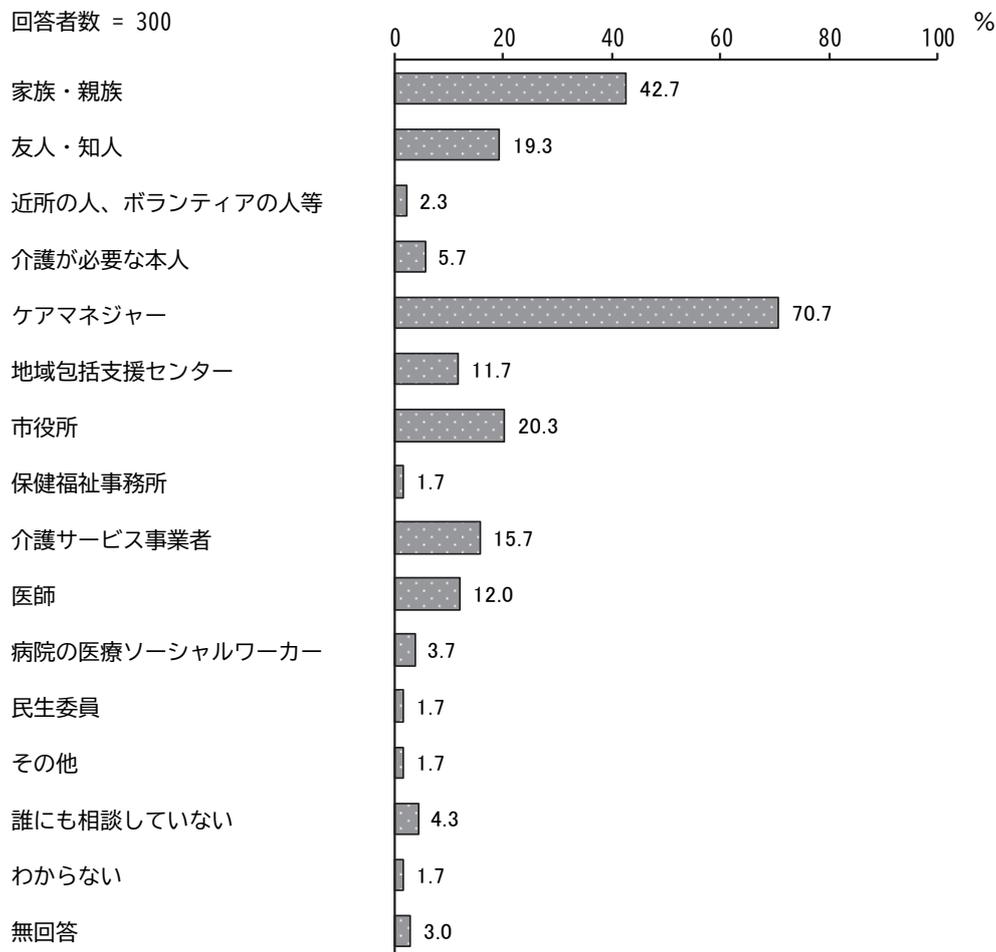
「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「有料老人ホーム」の割合が 27.7%、「自宅」の割合が 13.8%となっています。



(5) 高齢者福祉全般について

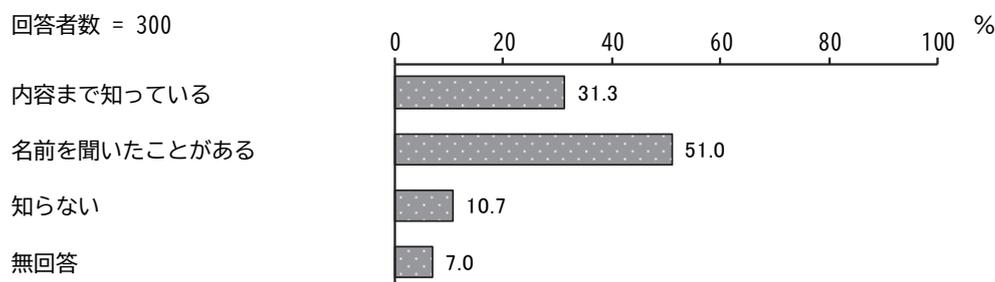
問 23. 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が 42.7%、「市役所」の割合が 20.3%となっています。



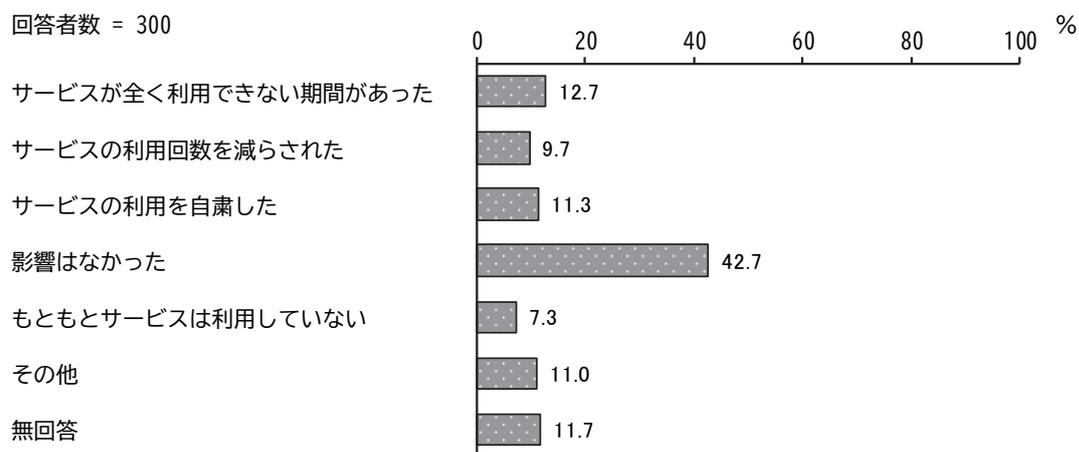
問 24. 成年後見制度についてご存知ですか。(ひとつだけに○)

「名前を聞いたことがある」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「内容まで知っている」の割合が 31.3%、「知らない」の割合が 10.7%となっています。



問 25. 新型コロナウイルス感染症まん延により、利用していた介護サービスの利用にどのような影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

「影響はなかった」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「サービスが全く利用できない期間があった」の割合が 12.7%、「サービスの利用を自粛した」の割合が 11.3%となっています。



【介護者別】

息子で「サービスが全く利用できない期間があった」の割合が、配偶者（夫・妻）で「影響はなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	サービスが全く利用できない期間があった	サービスの利用回数を減らされた	サービスの利用を自粛した	影響はなかった	もともとサービスは利用していない	その他	無回答
全体	300	12.7	9.7	11.3	42.7	7.3	11.0	11.7
配偶者（夫・妻）	101	8.9	7.9	12.9	48.5	9.9	8.9	8.9
息子	46	19.6	23.9	8.7	28.3	6.5	10.9	13.0
娘	102	14.7	4.9	14.7	45.1	4.9	13.7	8.8
子の配偶者	11	—	—	9.1	45.5	18.2	18.2	9.1
孫	—	—	—	—	—	—	—	—
兄弟姉妹	8	25.0	12.5	—	25.0	12.5	25.0	—
その他	8	—	25.0	—	50.0	—	—	25.0

【介護者の年齢別】

20～49歳で「影響はなかった」の割合が、75～79歳で「サービスの利用を自粛した」の割合が、70～74歳で「サービスが全く利用できない期間があった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	サービスが全く利用できない期間があった	サービスの利用回数を減らされた	サービスの利用を自粛した	影響はなかった	もともとサービスは利用していない	その他	無回答
全体	300	12.7	9.7	11.3	42.7	7.3	11.0	11.7
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20～49歳	17	—	5.9	—	82.4	5.9	5.9	—
50～59歳	62	16.1	9.7	12.9	40.3	6.5	8.1	14.5
60～64歳	38	23.7	15.8	15.8	28.9	7.9	21.1	—
65～69歳	35	8.6	8.6	11.4	37.1	5.7	17.1	11.4
70～74歳	25	24.0	4.0	8.0	28.0	12.0	12.0	16.0
75～79歳	24	12.5	20.8	25.0	37.5	8.3	4.2	8.3
80～89歳	66	7.6	10.6	10.6	51.5	6.1	7.6	12.1
90歳以上	16	6.3	—	6.3	50.0	12.5	12.5	12.5

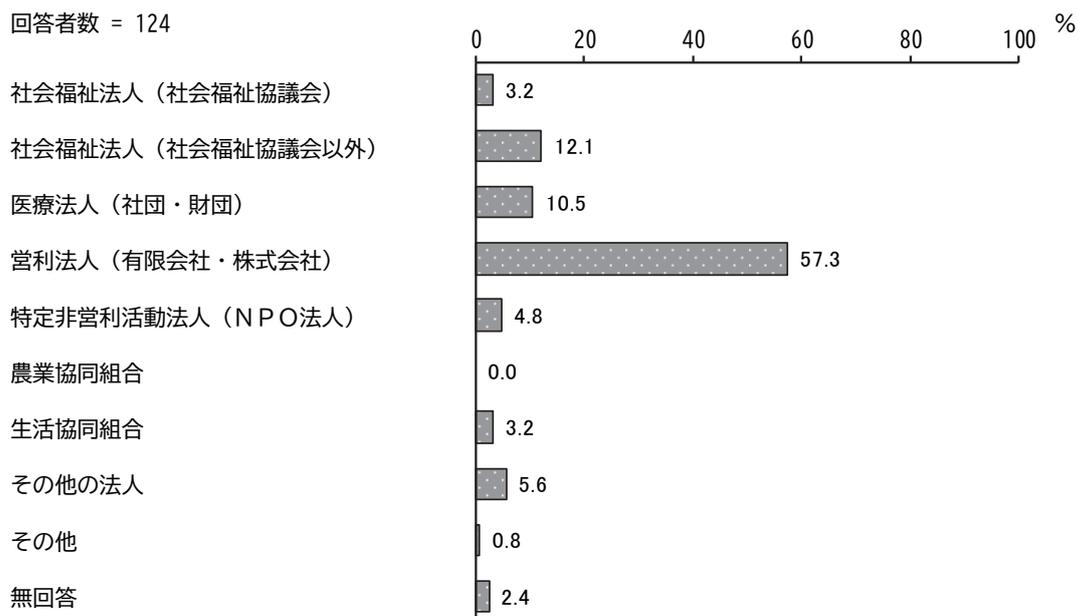
4 サービス提供事業所

4 サービス提供事業所

(1) 事業所について

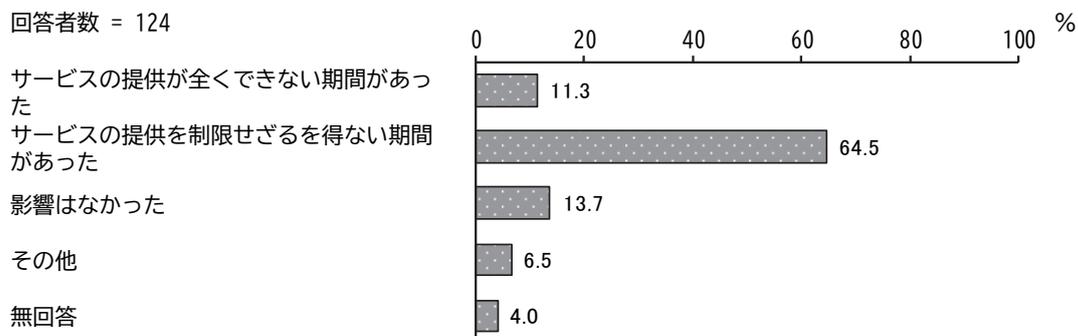
問1. 法人の種類（ひとつだけに○）

「営利法人（有限会社・株式会社）」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」の割合が 12.1%、「医療法人（社団・財団）」の割合が 10.5%となっています。



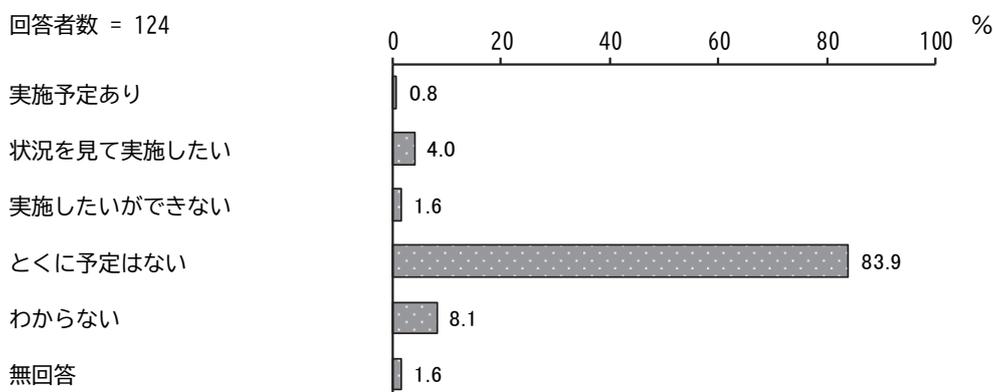
問2 新型コロナウイルス感染症まん延により、提供するサービスにどのような影響がありましたか。（ひとつだけに○）

「サービスの提供を制限せざるを得ない期間があった」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「影響はなかった」の割合が 13.7%、「サービスの提供が全くできない期間があった」の割合が 11.3%となっています。



問3 現行サービス以外に、新たに逗子市内で介護保険サービスを提供する予定はありますか。(ひとつだけに○)

「とくに予定はない」の割合が83.9%と最も高くなっています。



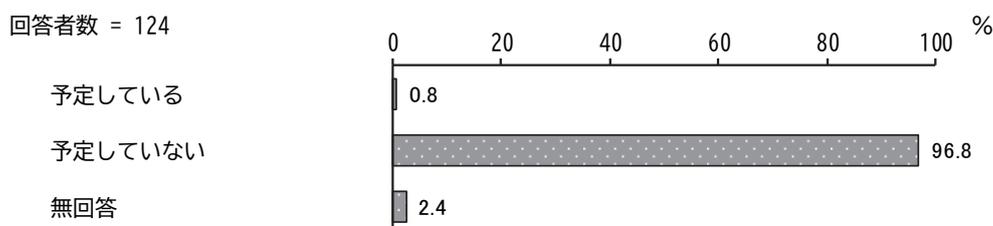
【問3で「1. 実施予定あり」～「3. 実施したいができない」と答えた方のみ】

問3-1. どのような介護保険サービスをいつ頃提供する予定ですか。【事業種別は巻末の事業コードを参照して、番号でご記入ください】

「訪問看護」、「特定施設入所者生活介護」が1件となっています。

問4. サービス事業の今後の展開についておたずねします。介護保険サービス事業の廃止又は休止を予定していますか。

「予定している」の割合が0.8%、「予定していない」の割合が96.8%となっています。



【問4で「1. 予定している」と答えた方のみ】

問4-1. 廃止又は休止を予定している介護保険サービス事業種別と時期についてお伺いします。

「第1号訪問事業」が1件となっています。

【問4で「1. 予定している」と答えた方のみ】

問4-2 廃止又は休止予定の理由をお聞かせください。(一番影響が大きい理由ひとつだけに○)

「人材の不足」が1件となっています。

問5 令和4年11月現在、貴事業所が提供しているサービスについて、現在の人員配置をお答えください。(該当がない場合は0人のご記入ください。)

現在の提供サービスにおける人員配置について聞いたところ、在職比率が高い項目については、「管理者」(93.5%)、「看護職員」(52.4%)、「調理職員」(50.8%)となっています。

雇用形態別でみると、常勤の割合が高い項目については「管理者」(99.2%)、「サービス提供責任者」(86.4%)、「生活相談員」(78.4%)、非常勤の割合が高い項目については、「調理職員」(78.9%)、「医師」(73.7%)、「訪問介護員(ホームヘルパー)」(60.4%)となっています。

年齢別でみると、比率が高い年代については、「看護職員」、「機能訓練指導員」では40歳代、「ケアマネジャー又は計画作成担当者」、「医師」では60歳代となっています。

職種	在職率	雇用形態内訳 (人数を記入)		年齢内訳 (人数を記入)					
		常勤	非常勤	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
1. 管理者	93.5%	99.2%	0.8%	2.4%	12.1%	29.0%	24.2%	17.7%	4.0%
2. サービス提供責任者	22.6%	86.4%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	25.8%	22.7%	9.1%
3. ケアマネジャー又は計画作成担当者	42.7%	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	18.1%	46.7%	15.2%	8.6%
4. 訪問介護員 (ホームヘルパー)	36.3%	39.6%	60.4%	5.9%	8.3%	20.9%	27.8%	20.8%	14.0%
5. 看護職員	52.4%	44.2%	55.8%	2.2%	12.4%	37.1%	23.6%	9.7%	6.4%
6. 機能訓練指導員	38.7%	43.9%	56.1%	6.8%	16.0%	32.9%	17.7%	8.4%	3.4%
7. 生活相談員	41.9%	78.4%	21.6%	2.7%	17.1%	23.4%	22.5%	10.8%	1.8%
8. 調理職員	50.8%	21.1%	78.9%	7.8%	6.7%	20.0%	20.0%	18.9%	14.4%
9. 医師	8.9%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	21.1%	31.6%	15.8%	10.5%
10. その他	43.5%	43.7%	56.3%	10.5%	12.9%	22.3%	23.6%	14.4%	7.6%

※在職比率=当該役職がひとり以上の事業所/全124事業所

※内訳別の比率は、当該役職がひとり以上の事業所全体が対象

問6 常勤職員について、令和4年11月現在、現事業における勤続期間ごとの人数をお答えください。(該当がない場合は0人のご記入ください。)

現事業における常勤職員の勤続期間ごとの人数について聞いたところ、「5年以上」(39.0%)が最も高かった。以下、「1年以上3年未満」(23.2%)、「3年以上5年未満」(17.1%)、「6か月以上1年未満」(12.7%)となっています。

勤続期間 (人数を記入)	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
	8.0%	12.7	23.2	17.1	39.0

問7. 貴事業所で1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）に採用した人数及び離職した人数をお答えください。（該当がない場合は0人のご記入ください。）

採用した1人以上の対象者がいると回答した事業所については、68.5%となっています。性別で見ると、常勤（58.2%）と非常勤（78.3%）ともに女性の比率が高くなっています。退職した人数について聞いたところ、1人以上の対象者がいると回答した事業所については、54.0%となっています。性別で見ると、常勤（60.2%）と非常勤（77.9%）ともに女性の比率が高くなっています。

	実績者あり 比率	常勤		非常勤	
		男性	女性	男性	女性
採用した人数	68.5%	41.8%	58.2%	21.7%	78.3%
離職した人数	54.0%	39.8%	60.2%	22.1%	77.9%

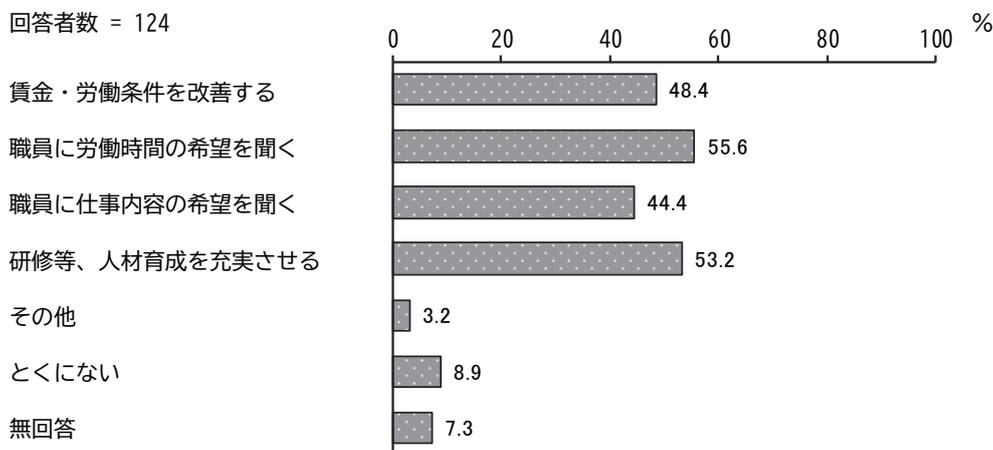
※実績者あり比率＝過去1年間の採用者・退職者がひとり以上の事業所／全124事業所

※内訳別の比率は、当該実績者がひとり以上の事業所全体が対象

問8. 貴事業所では職員の早期離職の防止や定着促進のため事業所としてどのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「職員に労働時間の希望を聞く」の割合が55.6%と最も高く、次いで「研修等、人材育成を充実させる」の割合が53.2%、「賃金・労働条件を改善する」の割合が48.4%となっています。

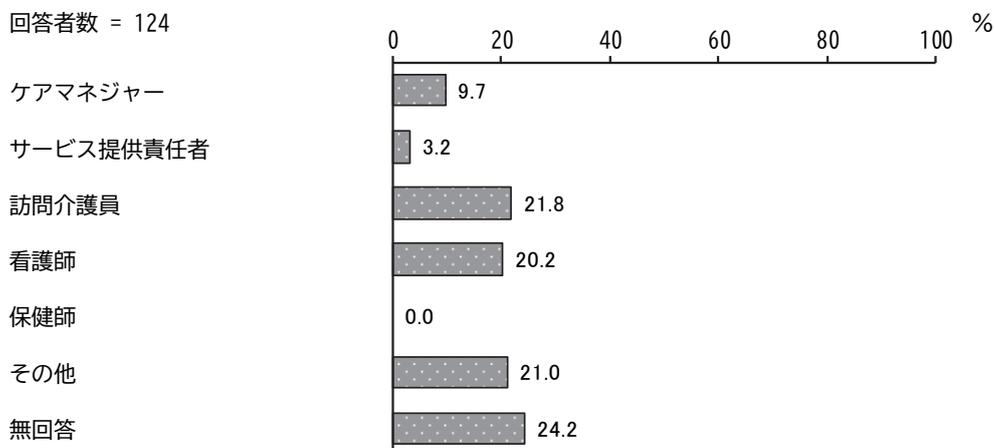
回答者数 = 124



問9. 貴事業において、特に確保の困難な職種は何ですか。(ひとつだけに○)

「訪問介護員」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「看護師」の割合が 20.2%となっています。

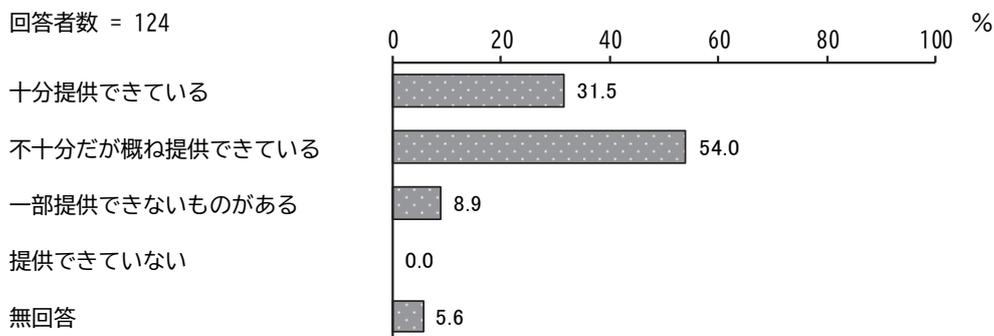
回答者数 = 124



問10. 全体的にサービスは利用者の希望どおりに提供されていると思いますか。(ひとつだけに○)

「不十分だが概ね提供できている」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「十分提供できている」の割合が 31.5%となっています。

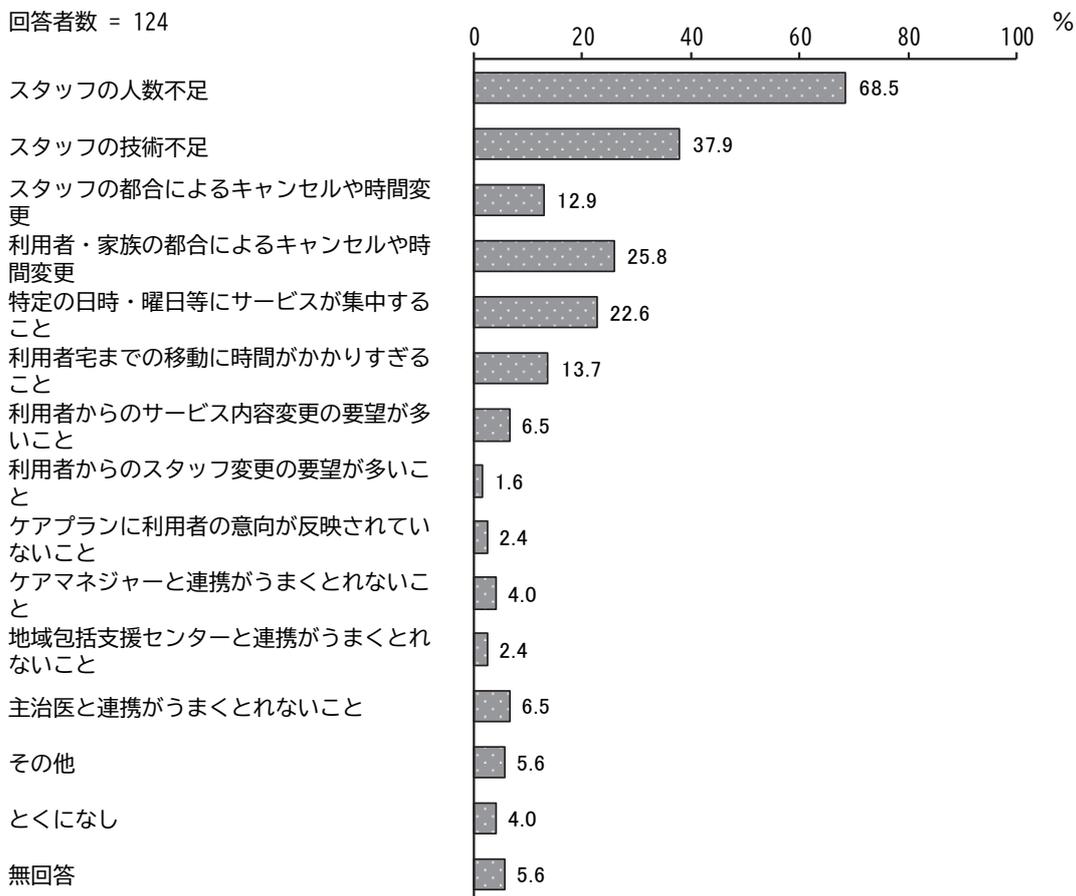
回答者数 = 124



問 11. 事業を展開するにあたり、どのようなことに苦慮していますか。(あてはまるものすべてに○)

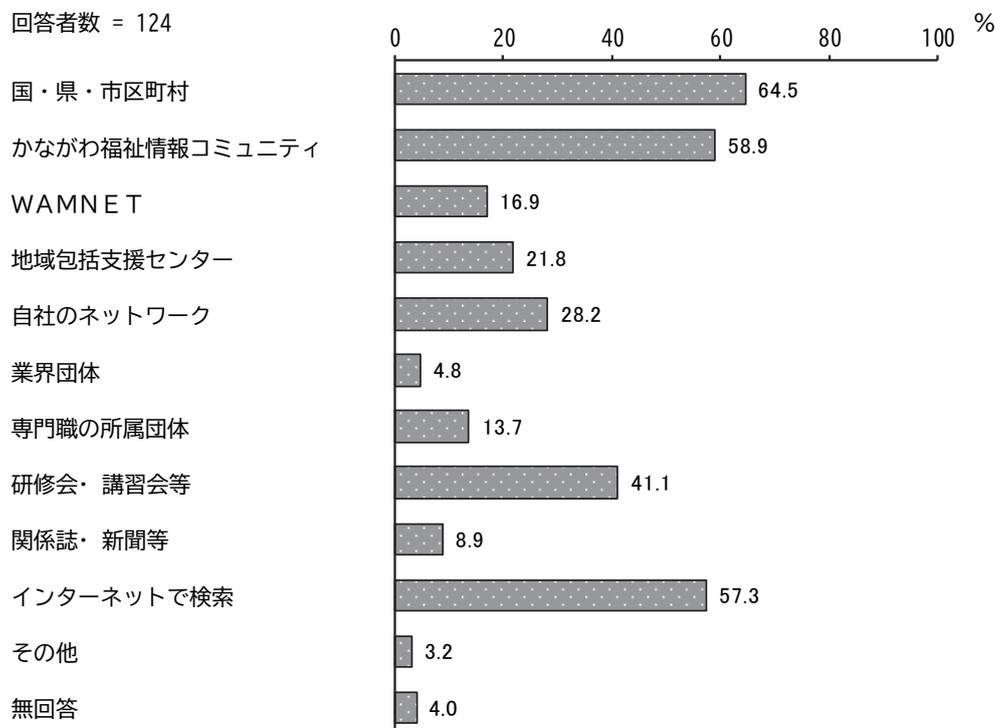
「スタッフの人数不足」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「スタッフの技術不足」の割合が 37.9%、「利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更」の割合が 25.8%となっています。

回答者数 = 124



問 12. 介護保険制度や業務に必要な情報を得るのに有効と思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「国・県・市区町村」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「かながわ福祉情報コミュニティ」の割合が 58.9%、「インターネットで検索」の割合が 57.3%となっています。

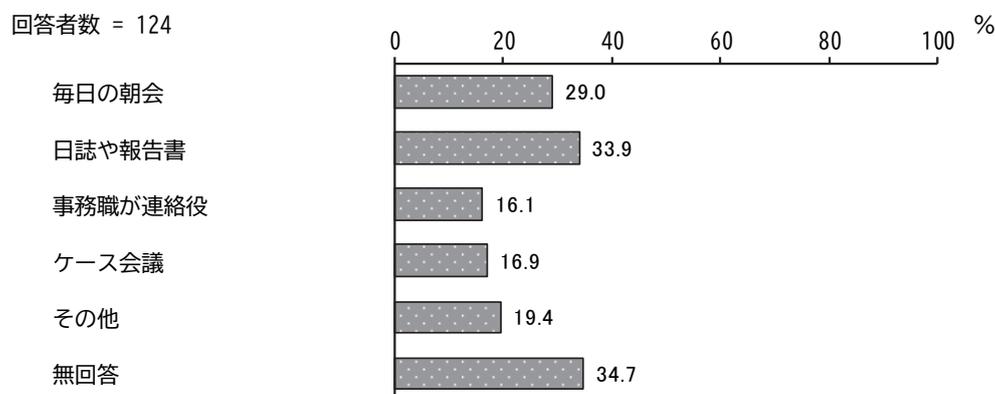


問 13. サービス提供にあたり、関係者間の連携・連絡はとれていますか。

1. ケアマネジャーと事務職

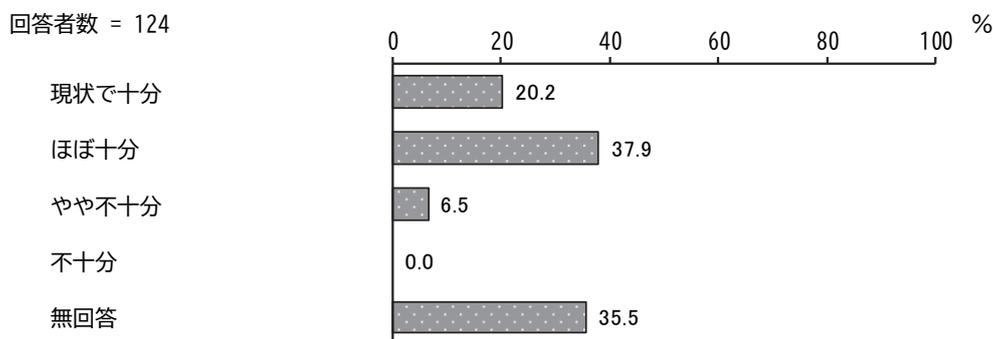
①連携・連絡の方法

「日誌や報告書」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「毎日の朝会」の割合が 29.0%、「ケース会議」の割合が 16.9%となっています。



②現状の評価

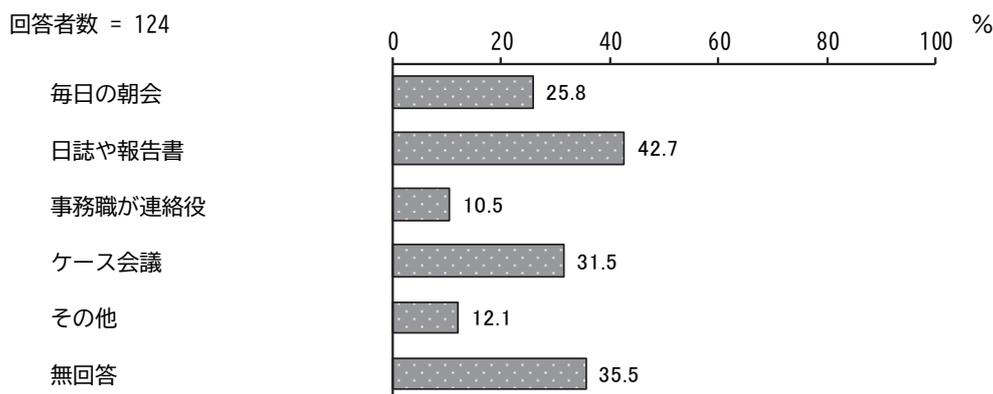
「ほぼ十分」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「現状で十分」の割合が 20.2%となっています。



2. ケアマネジャーとサービス従事者

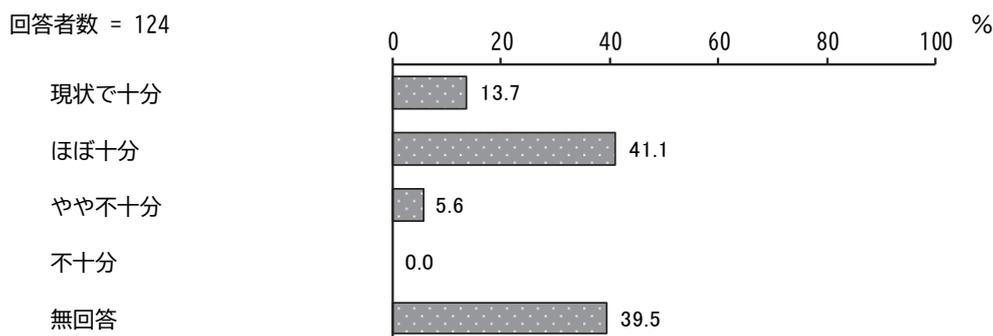
①連携・連絡の方法

「日誌や報告書」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「ケース会議」の割合が 31.5%、「毎日の朝会」の割合が 25.8%となっています。



②現状の評価

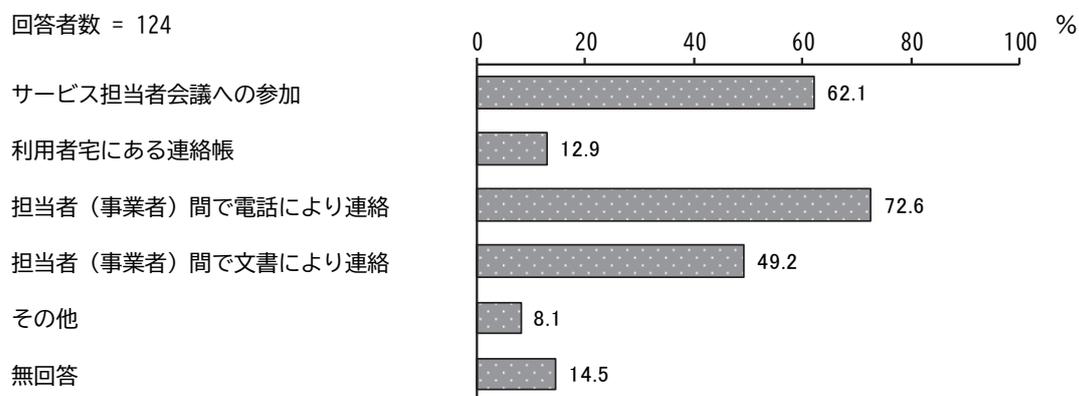
「ほぼ十分」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「現状で十分」の割合が 13.7%となっています。



3. 他事業所のケアマネジャーとの連携

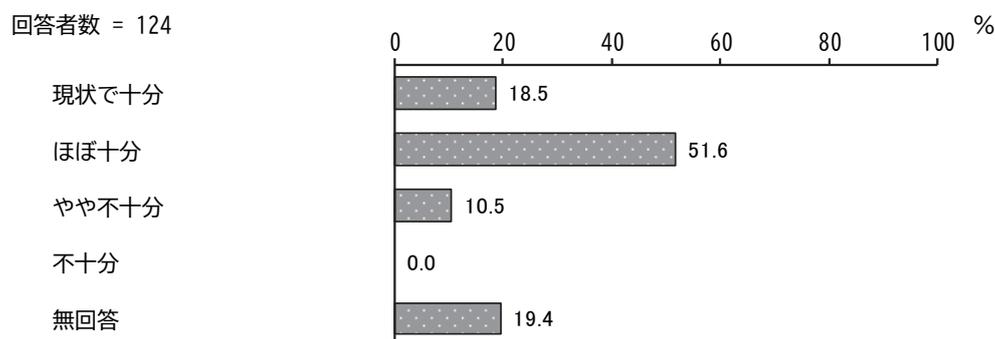
①連携・連絡の方法

「担当者（事業者）間で電話により連絡」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「サービス担当者会議への参加」の割合が 62.1%、「担当者（事業者）間で文書により連絡」の割合が 49.2%となっています。



②現状の評価

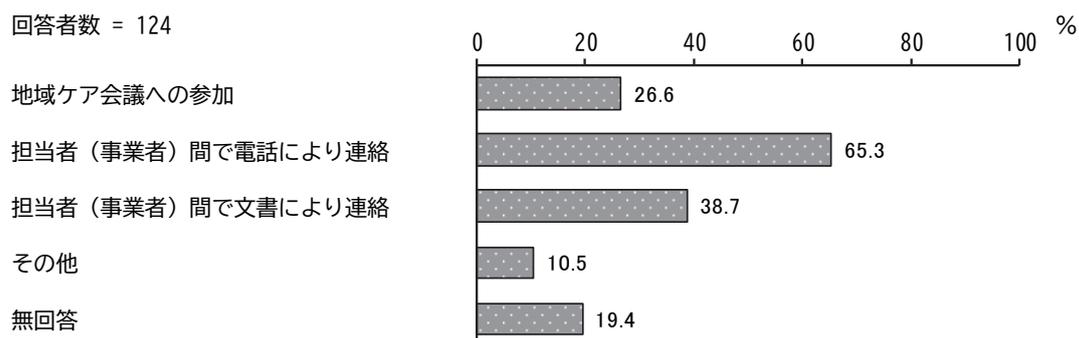
「ほぼ十分」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「現状で十分」の割合が 18.5%、「やや不十分」の割合が 10.5%となっています。



4. 地域包括支援センターとの連携

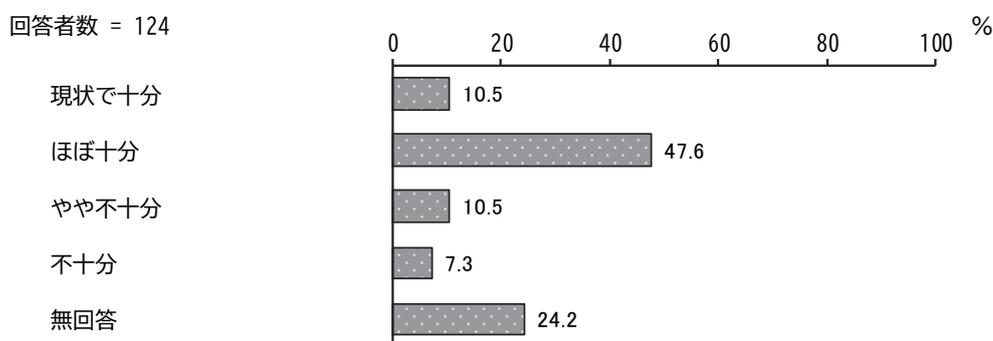
①連携・連絡の方法

「担当者（事業者）間で電話により連絡」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「担当者（事業者）間で文書により連絡」の割合が 38.7%、「地域ケア会議への参加」の割合が 26.6%となっています。



②現状の評価

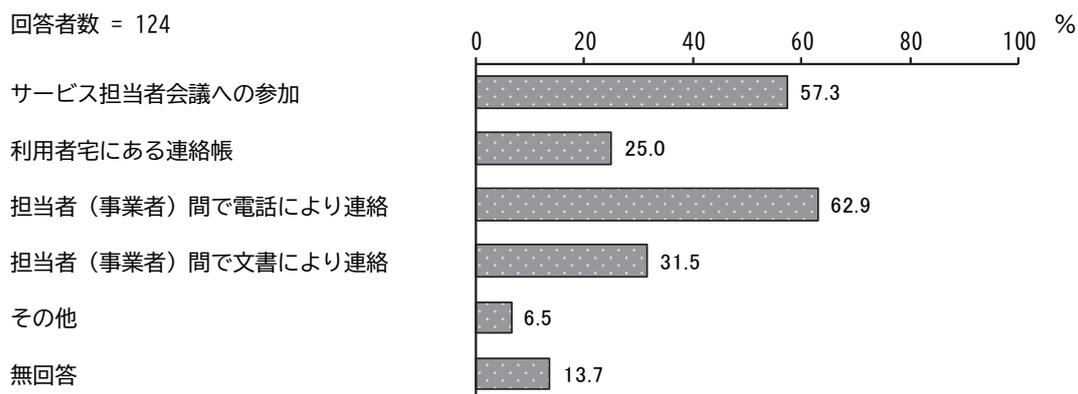
「ほぼ十分」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「現状で十分」、「やや不十分」の割合が 10.5%となっています。



5. 他事業所のサービス従事者との連絡

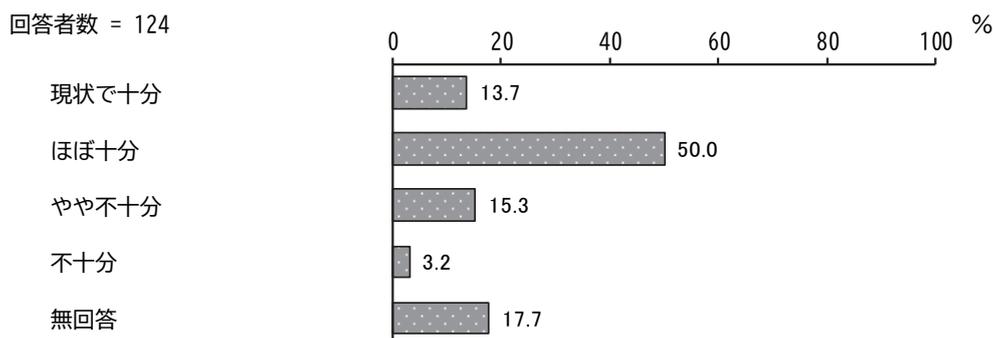
①連携・連絡の方法

「担当者（事業者）間で電話により連絡」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「サービス担当者会議への参加」の割合が 57.3%、「担当者（事業者）間で文書により連絡」の割合が 31.5%となっています。



②現状の評価

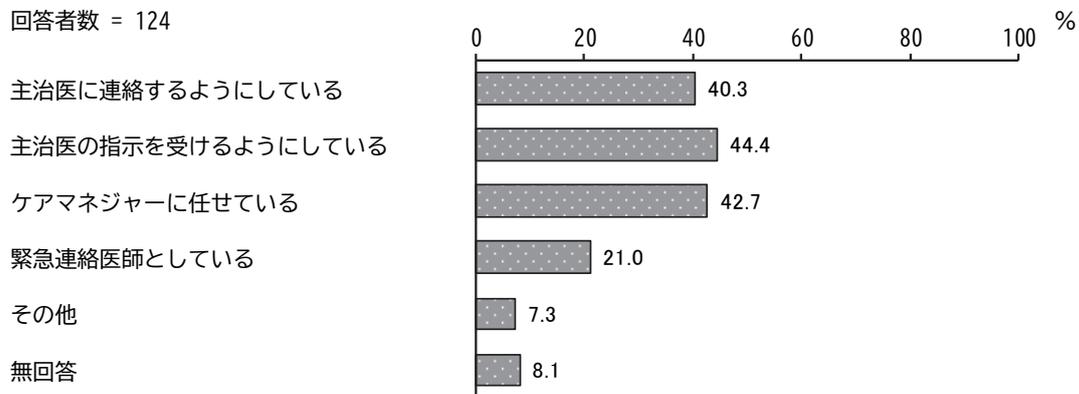
「ほぼ十分」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「やや不十分」の割合が 15.3%、「現状で十分」の割合が 13.7%となっています。



6. 利用者の主治医との連携

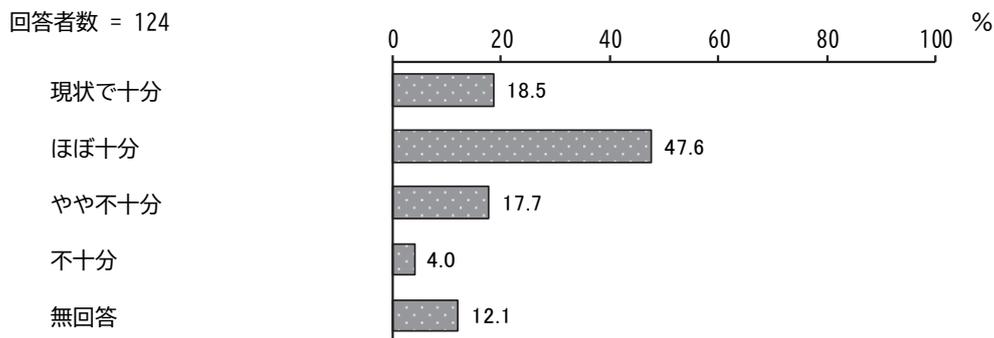
①連携・連絡の方法

「主治医の指示を受けるようにしている」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「ケアマネジャーに任せている」の割合が 42.7%、「主治医に連絡するようになっている」の割合が 40.3%となっています。



②現状の評価

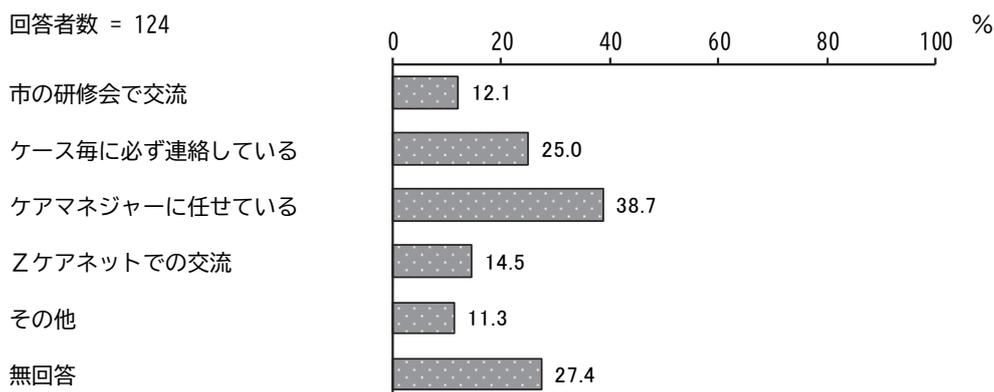
「ほぼ十分」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「現状で十分」の割合が 18.5%、「やや不十分」の割合が 17.7%となっています。



7. 逗子市でのサービス提供における事業所間の連携

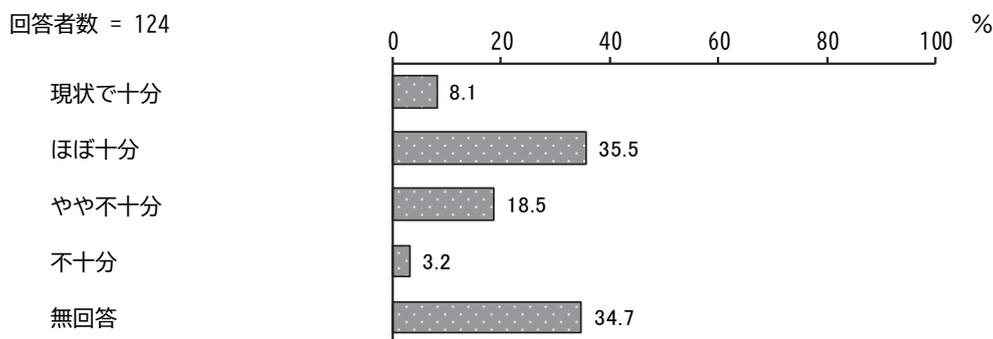
①連携・連絡の方法

「ケアマネジャーに任せている」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「ケース毎に必ず連絡している」の割合が 25.0%、「Zケアネットでの交流」の割合が 14.5%となっています。



②現状の評価

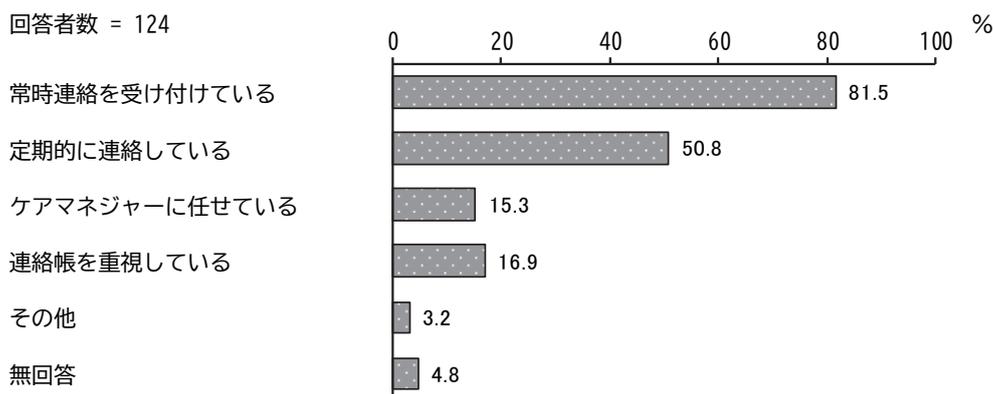
「ほぼ十分」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「やや不十分」の割合が 18.5%となっています。



8. 利用者や家族との連絡

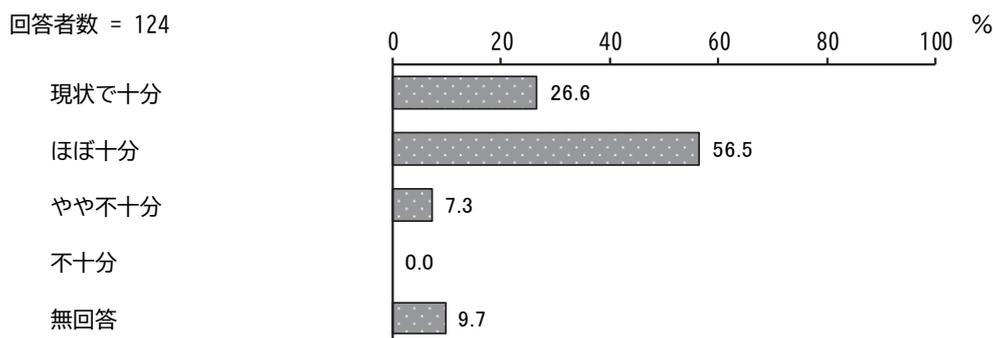
①連携・連絡の方法

「常時連絡を受け付けている」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「定期的に連絡している」の割合が 50.8%、「連絡帳を重視している」の割合が 16.9%となっています。



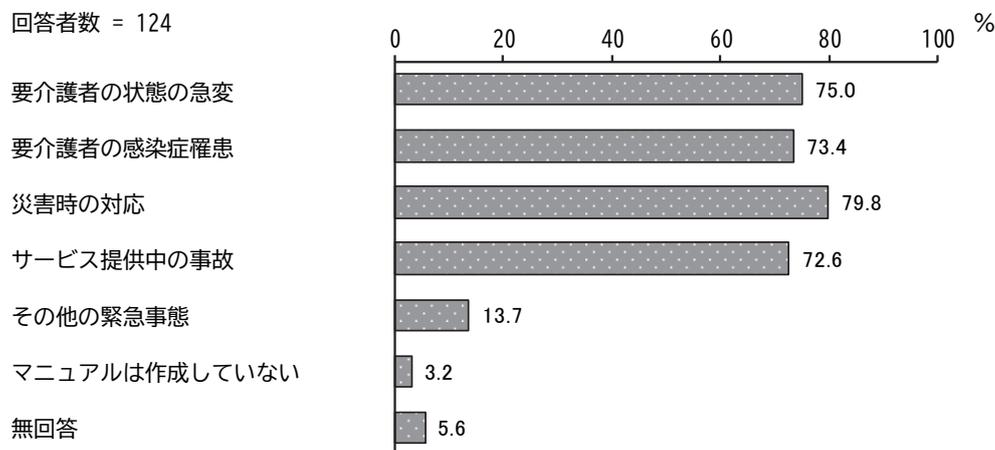
②現状の評価

「ほぼ十分」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「現状で十分」の割合が 26.6%となっています。



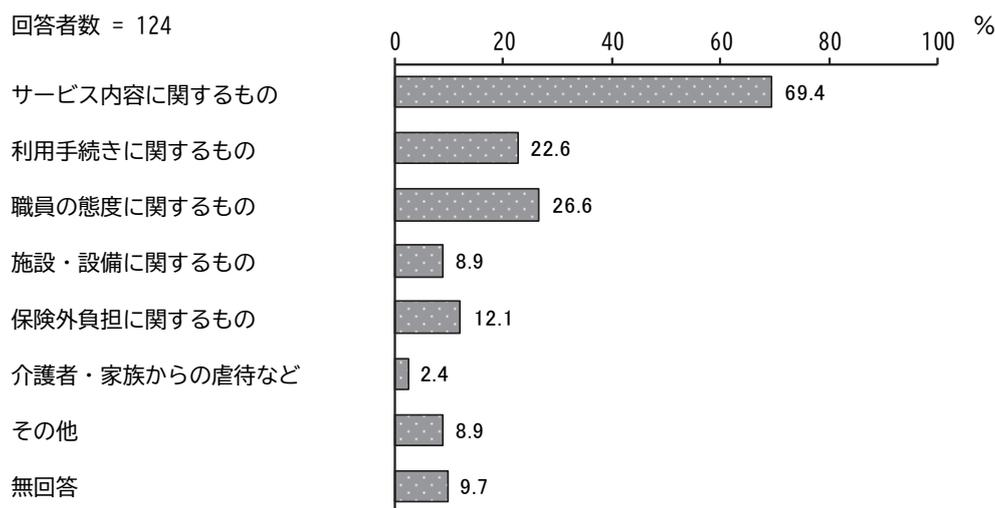
問 14. 要介護者が次のような緊急事態に直面したときのマニュアルを作っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「災害時の対応」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「要介護者の状態の急変」の割合が 75.0%、「要介護者の感染症罹患」の割合が 73.4%となっています。



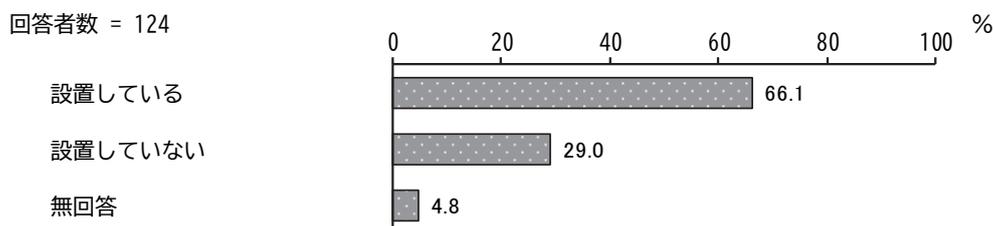
問 15. 利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談はどのようなものが多いですか。(あてはまるもの3つまでに○)

「サービス内容に関するもの」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「職員の態度に関するもの」の割合が 26.6%、「利用手続きに関するもの」の割合が 22.6%となっています。



問 16. 苦情や相談の解決のために特別な機関を設置していますか。(ひとつだけに○)

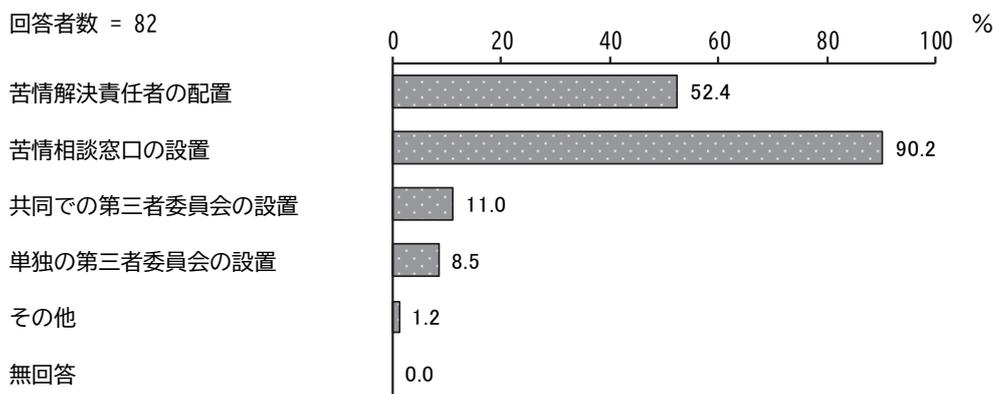
「設置している」の割合が 66.1%、「設置していない」の割合が 29.0%となっています。



【問 16 で「1. 設置している」と答えた方のみ】

問 16-1. どのような機関を設置していますか。(あてはまるものすべてに○)

「苦情相談窓口の設置」の割合が 90.2%と最も高く、次いで「苦情解決責任者の配置」の割合が 52.4%、「共同での第三者委員会の設置」の割合が 11.0%となっています。



【問 16 で「2. 設置していない」と答えた方のみ】

問 16-2. 苦情・相談にはどのように対処していますか。ご自由にお書きください。

【上司・管理者、その他の責任者による対応 (21 件)】

- ・管理者が基本的に対応。(14 件)
- ・サービス提供責任者が対応している。(3 件)
- ・社内で解決するようにしている
- ・苦情・相談窓口担当者が対応
- ・管理者・サ責・介護員等全員で苦情・相談を受け会議を行ない対処しています。
- ・大きな苦情は今迄無いが、担当者の交換が必要では？と思われる時は、先に提言してみる。

【事業所内の相談窓口・機関を活用 (8 件)】

- ・苦情処理担当者、窓口など社内の専門部署や機関が対応。(6 件)
- ・事業所で対応している
- ・苦情(相談)を受け付けた場合は、事業所の窓口担当者が直接詳しい事情を聞き、原因を分析する。迅速な対応をし、苦情(相談)対応記録を残し、再発を防ぐ。

【外部の関係機関を活用（1件）】

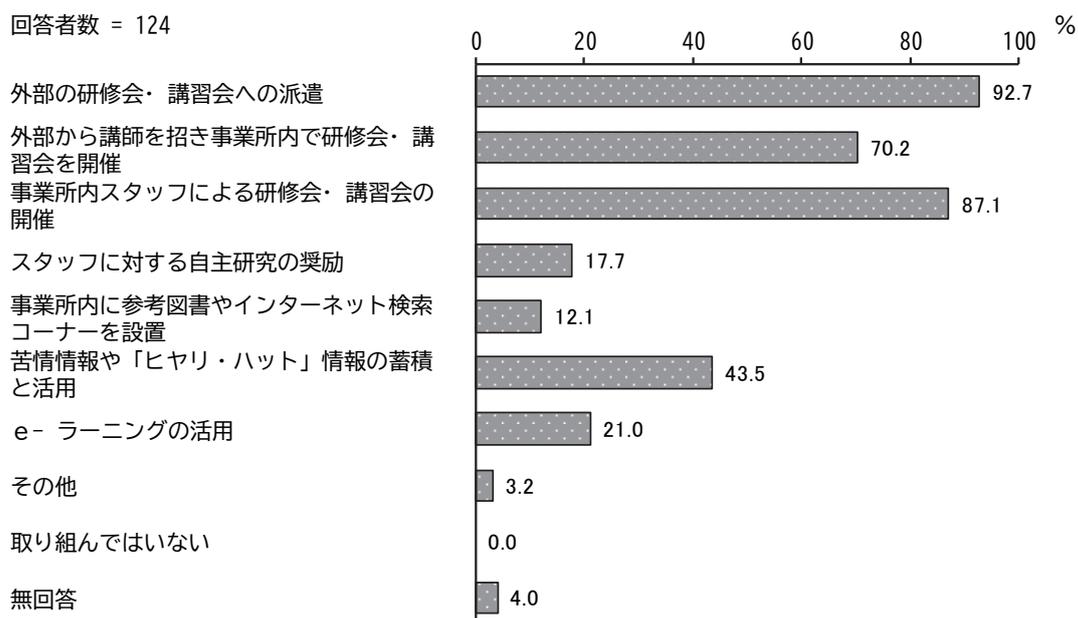
- ・市町村や包括支援センターに相談している

【その他（4件）】

- ・苦情は今のところありませんが相談を受けた場合は時間の調整を行ない訪問させていただいて直接お話を伺う様にしています。相談の内容を1度事業所に持ち帰り必要とされる問題に対し解決につながる様内容をまとめ再度訪問させていただきお話しをしています
- ・管理者が対応状況においてご自宅に伺うこともありケアマネジャーとの連携報告
- ・苦情の内容に応じて対応。前例は無いが必要であれば法人本部へ報告、相談し解決に向けていく。
- ・昨年10月に開業したばかりのため、苦情、相談件数が少なく、職員の態度に関するものだったので、直接職員と面談しました。

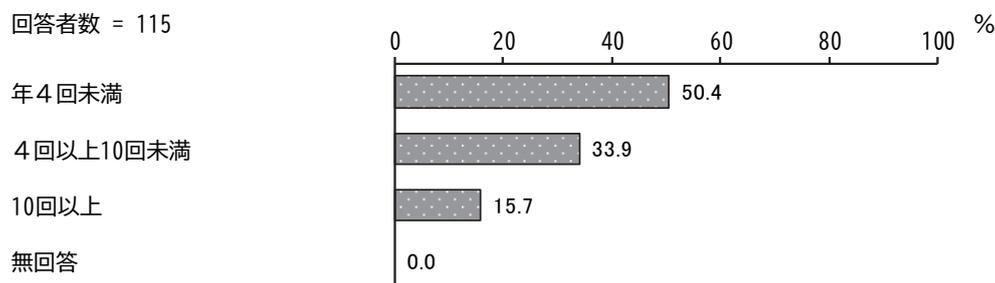
問 17. 教育・研修について、どのような取り組みをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「外部の研修会・講習会への派遣」の割合が 92.7%と最も高く、次いで「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」の割合が 87.1%、「外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」の割合が 70.2%となっています。



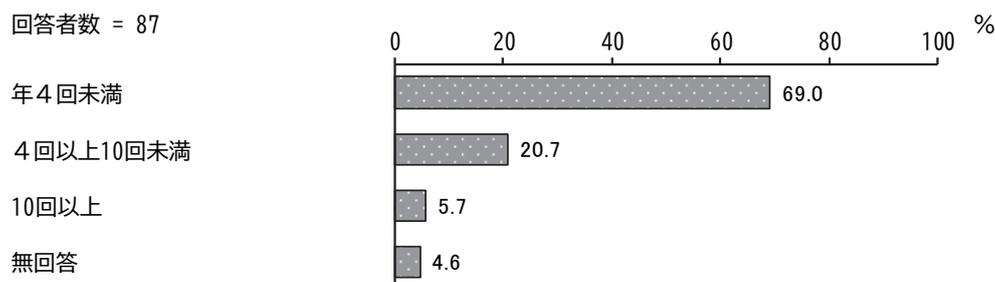
1. 外部の研修会・講習会への派遣（派遣回数）

「年4回未満」の割合が50.4%と最も高く、次いで「4回以上10回未満」の割合が33.9%、「10回以上」の割合が15.7%となっています。



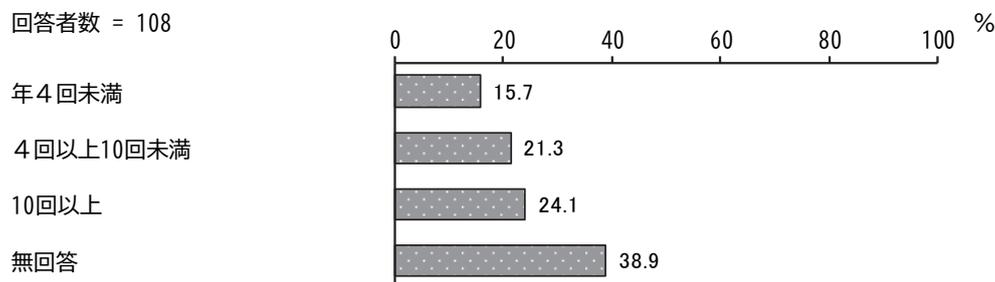
2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催（開催回数）

「年4回未満」の割合が69.0%と最も高く、次いで「4回以上10回未満」の割合が20.7%となっています。



3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催（開催回数）

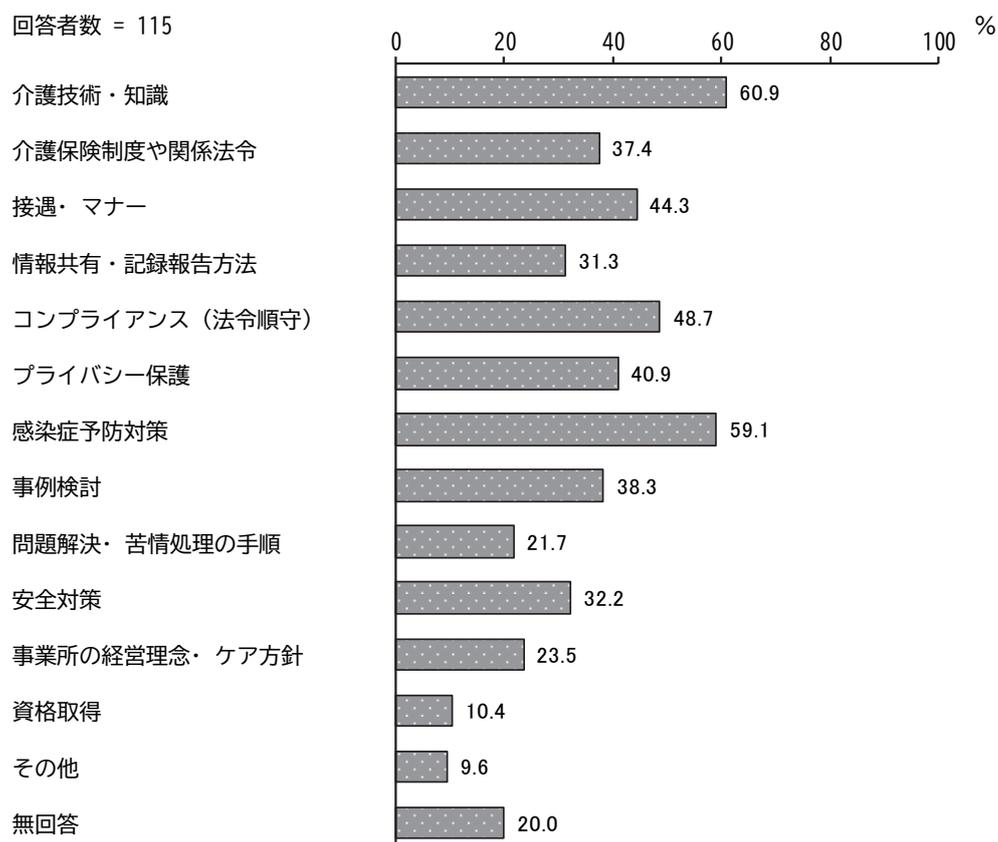
「10回以上」の割合が24.1%と最も高く、次いで「4回以上10回未満」の割合が21.3%、「年4回未満」の割合が15.7%となっています。



【問 17 で「1. 外部の研修会・講習会への派遣」「2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」「3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」と答えた方のみ】

問 17-1. 研修会・講習会のテーマは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

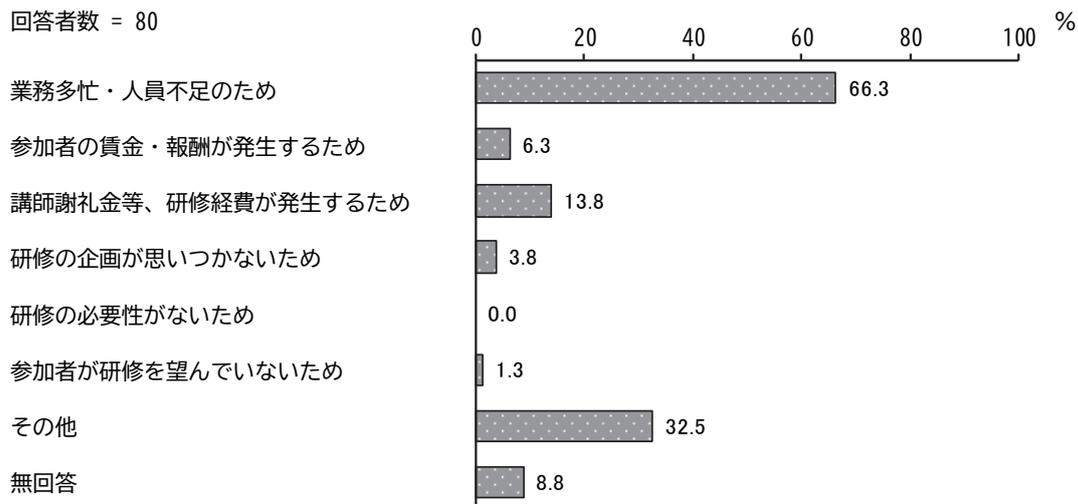
「介護技術・知識」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「感染症予防対策」の割合が 59.1%、「コンプライアンス（法令順守）」の割合が 48.7%となっています。



問 17 で「1. 外部の研修会・講習会への派遣」「2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」「3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」で（開催回数等を）「ア. 年4回未満」とお答えの方、または「9. 取り組んではない」とお答えの方のみ

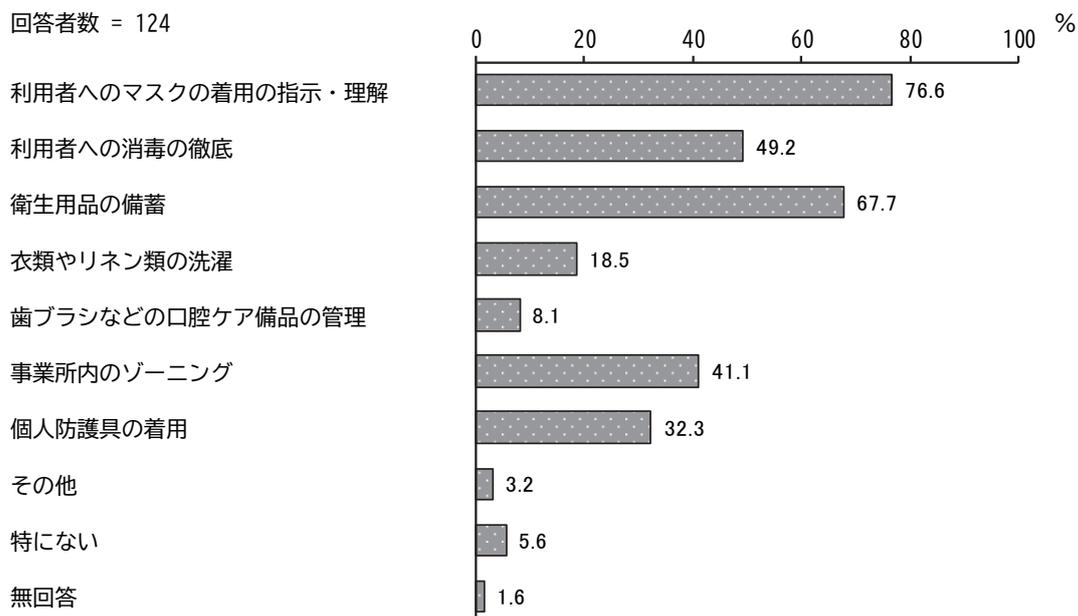
問 17-2. 研修会等が頻繁に参加・開催できない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「業務多忙・人員不足のため」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「講師謝礼金等、研修経費が発生するため」の割合が 13.8%となっています。



問 18. 新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を実施する上で、衛生面で苦慮したことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

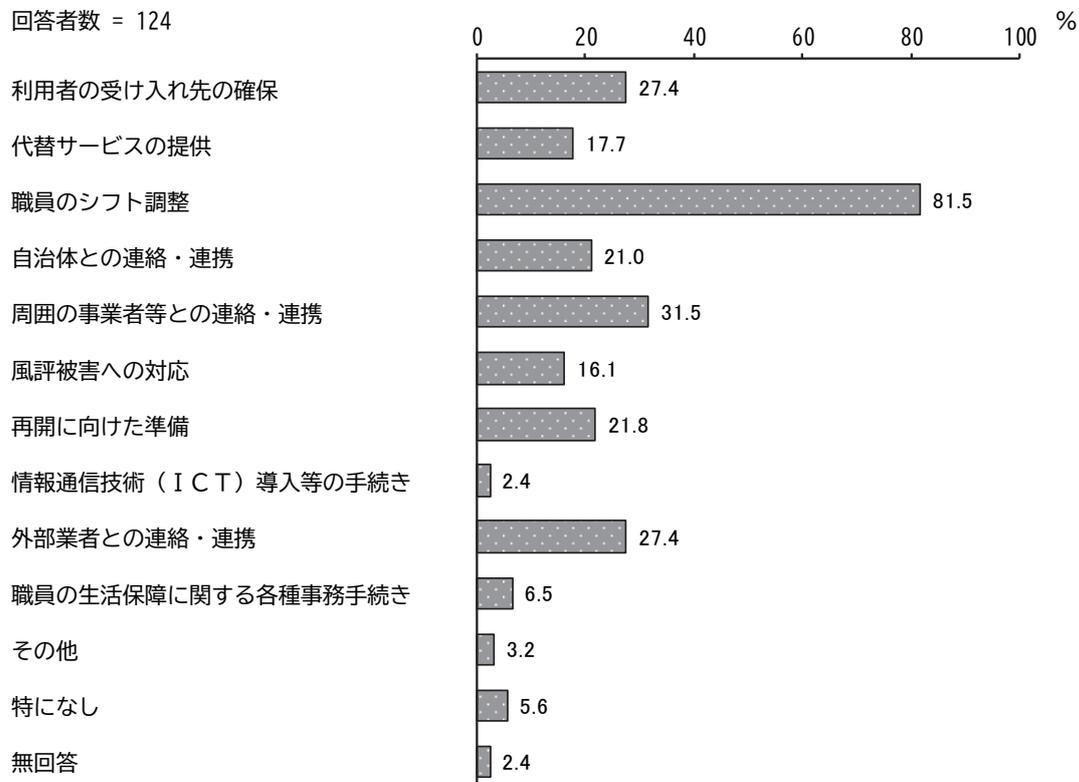
「利用者へのマスクの着用の指示・理解」の割合が 76.6%と最も高く、次いで「衛生用品の備蓄」の割合が 67.7%、「利用者への消毒の徹底」の割合が 49.2%となっています。



問 19. 新型コロナウイルス感染症まん延による経営への影響の対応として、特に苦慮されたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「職員のシフト調整」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「周囲の事業者等との連絡・連携」の割合が 31.5%、「利用者の受け入れ先の確保」、「外部業者との連絡・連携」の割合が 27.4%となっています。

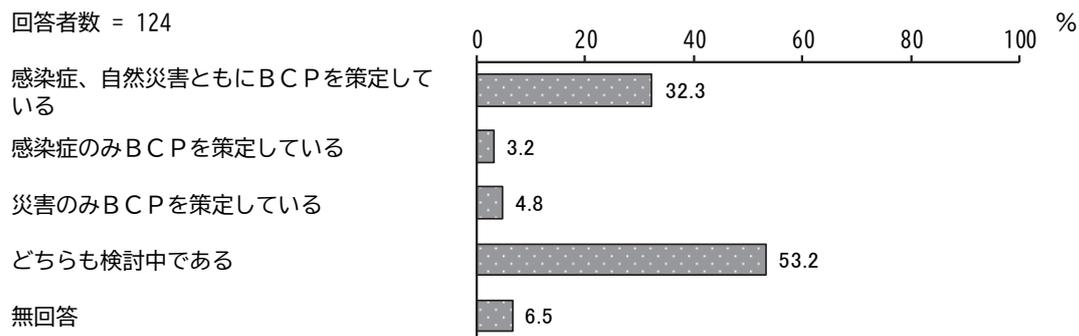
回答者数 = 124



問 20. 令和3年度介護報酬改定により、感染症や災害が発生した場合の業務継続計画（BCP）等の策定、研修、訓練の実施等が義務づけられました（3年間の経過措置あり）、令和4年11月現在の貴事業所の業務継続計画の策定状況についてお答えください。(非常災害対策計画等と一体的に策定している場合も含む) (ひとつだけに○)

「どちらも検討中である」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「感染症、自然災害ともにBCPを策定している」の割合が 32.3%となっています。

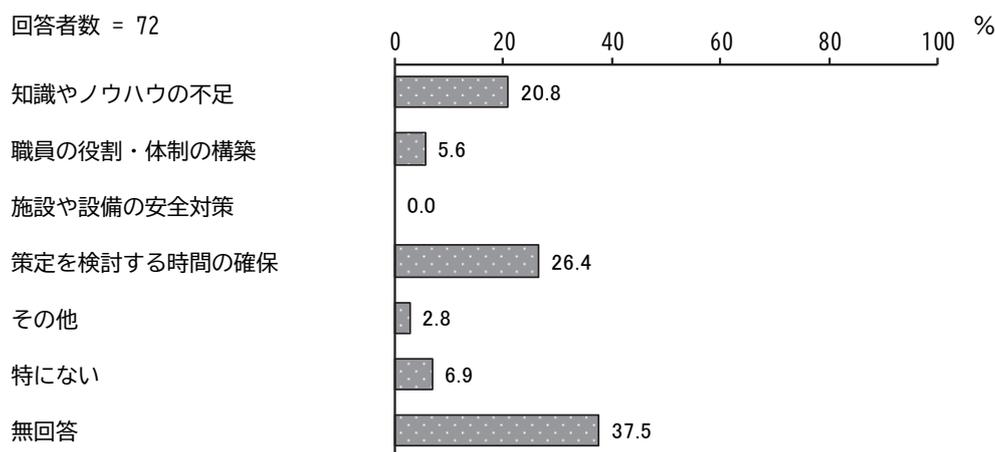
回答者数 = 124



【問 20 で「3. 災害のみ B C P を策定している」「4. どちらも検討中である」と答えた方のみ】

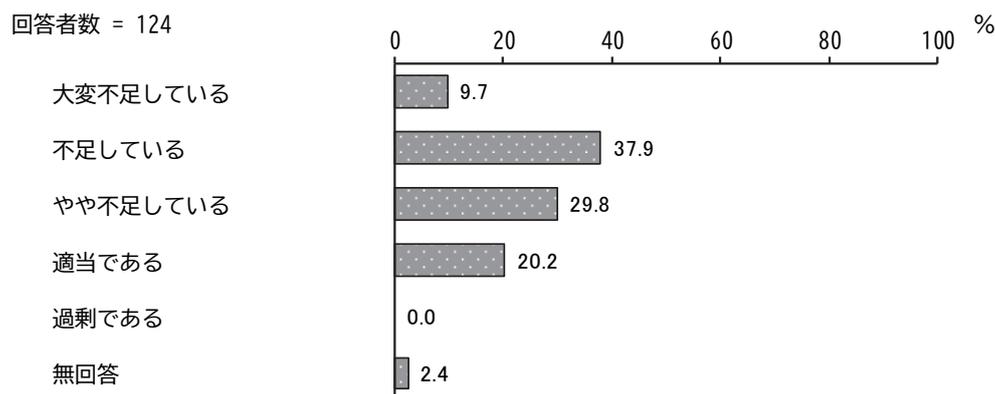
問 20-1. B C P を策定する上で、どのような課題がありますか、もしくはありましたか。(○は主なものひとつだけに○)

「策定を検討する時間の確保」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「知識やノウハウの不足」の割合が 20.8%となっています。



問 21. 貴事業所における現在の職員の過不足についてお答えください。(ひとつだけに○)

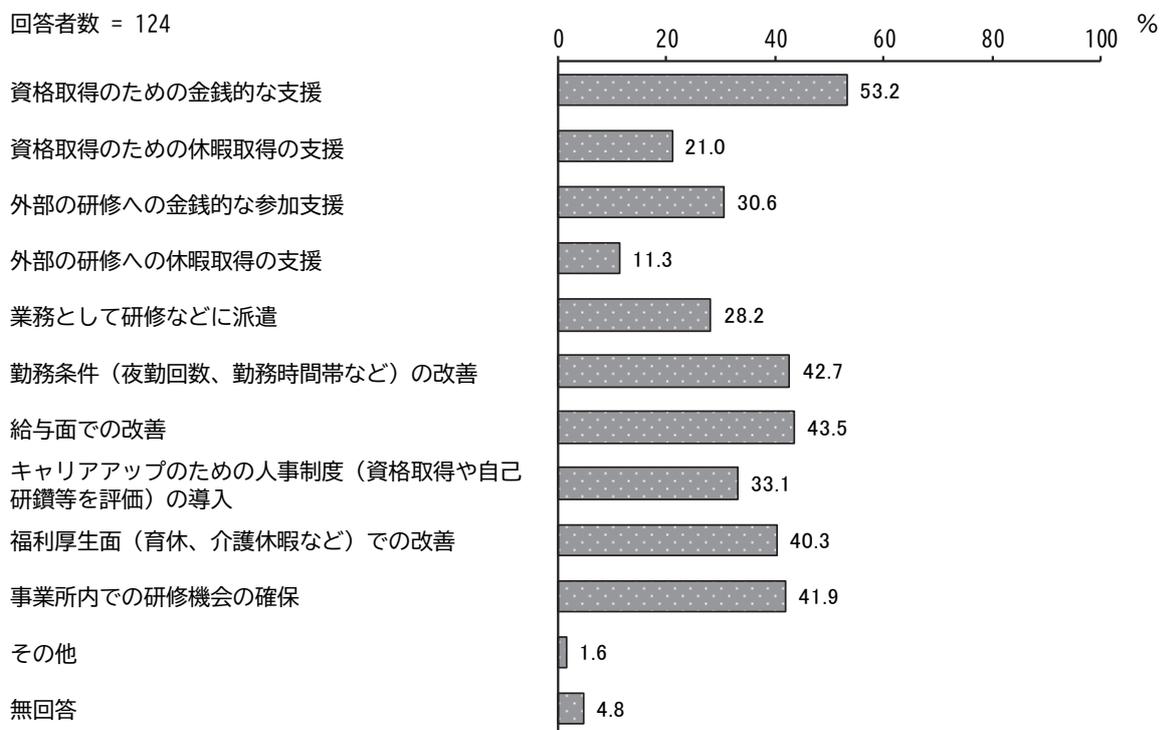
「不足している」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が 29.8%、「適当である」の割合が 20.2%となっています。



問 22. 貴事業所で職員定着のために行っている取り組みはどのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「資格取得のための金銭的な支援」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「給与面での改善」の割合が 43.5%、「勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善」の割合が 42.7%となっています。

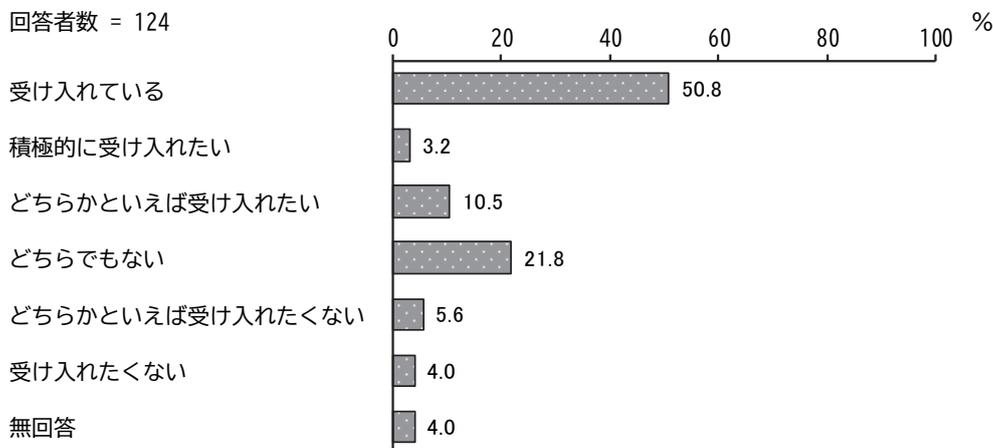
回答者数 = 124



問 23. 高齢労働者の受け入れについて、貴事業所としてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

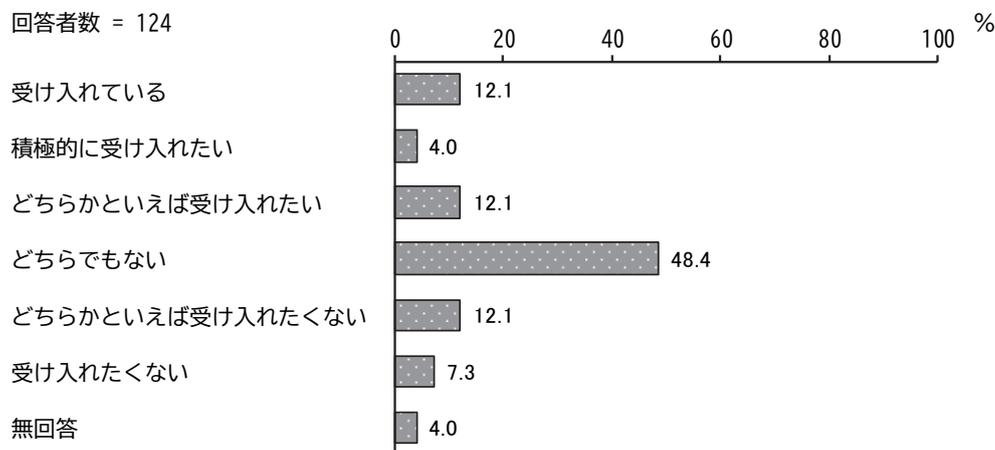
「受け入れている」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 21.8%、「どちらかといえば受け入れたい」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 124



問 24. 外国人労働者の受け入れについて、貴事業所としてどのように考えていますか。
(ひとつだけに○)

「どちらでもない」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「受け入れている」、「どちらかといえ
ば受け入れたい」、「どちらかといえれば受け入れたくない」の割合が 12.1%となっています。

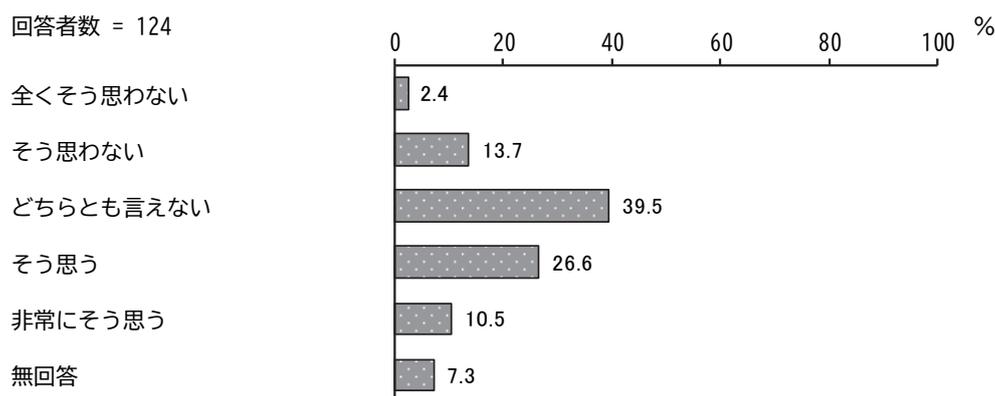


(2) 医療・介護連携について

問 25. 退院支援・調整について、どのように感じていますか。(①~⑥の項目ごとにひとつだけに○)

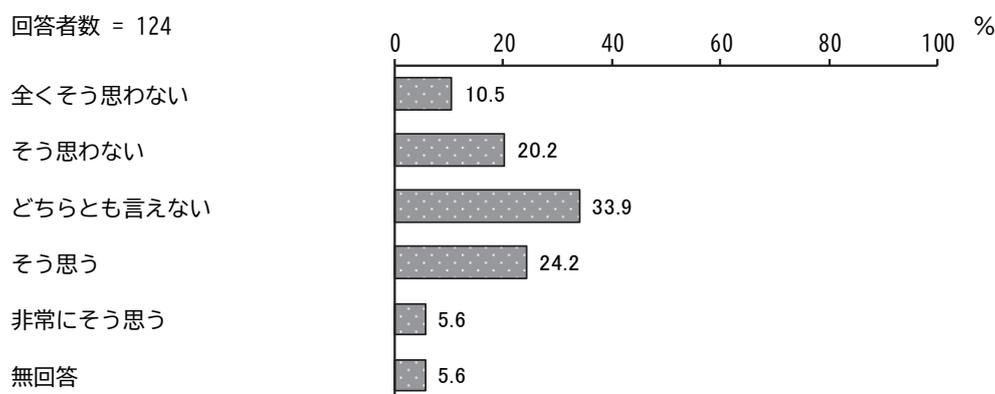
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。

「どちらとも言えない」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 26.6%、「
そう思わない」の割合が 13.7%となっています。



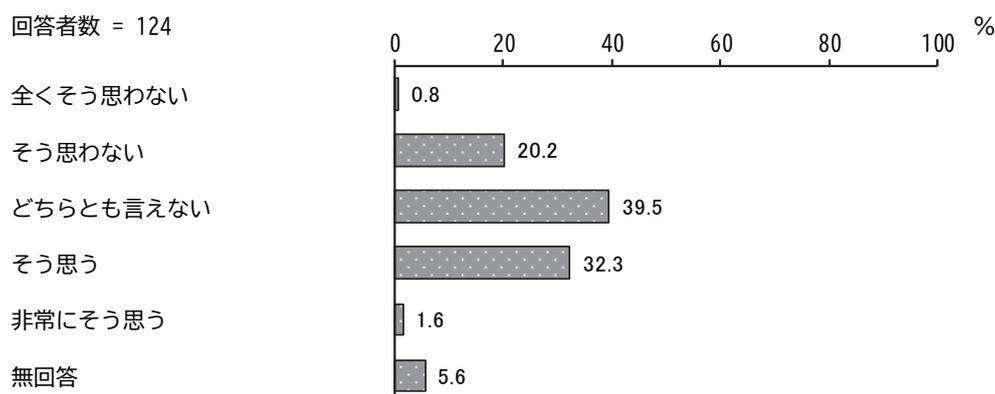
②病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。

「どちらとも言えない」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 24.2%、「そう思わない」の割合が 20.2%となっています。



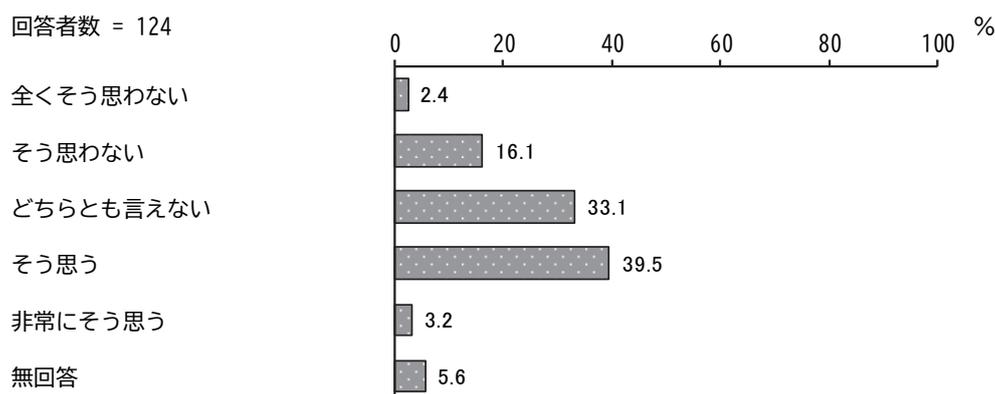
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。

「どちらとも言えない」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 32.3%、「そう思わない」の割合が 20.2%となっています。



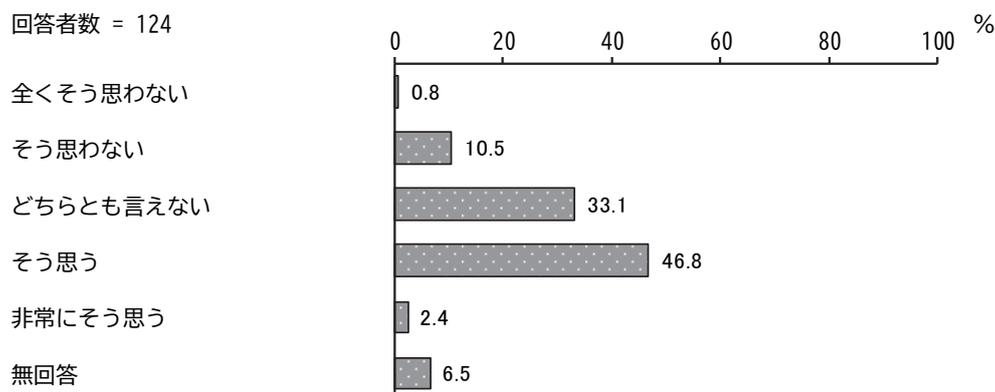
④退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている。

「そう思う」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 33.1%、「そう思わない」の割合が 16.1%となっています。



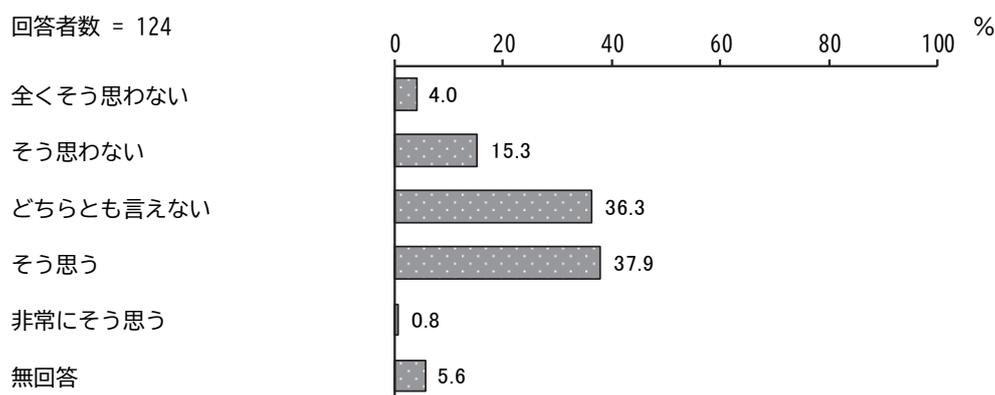
⑤入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。

「そう思う」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 33.1%、「そう思わない」の割合が 10.5%となっています。



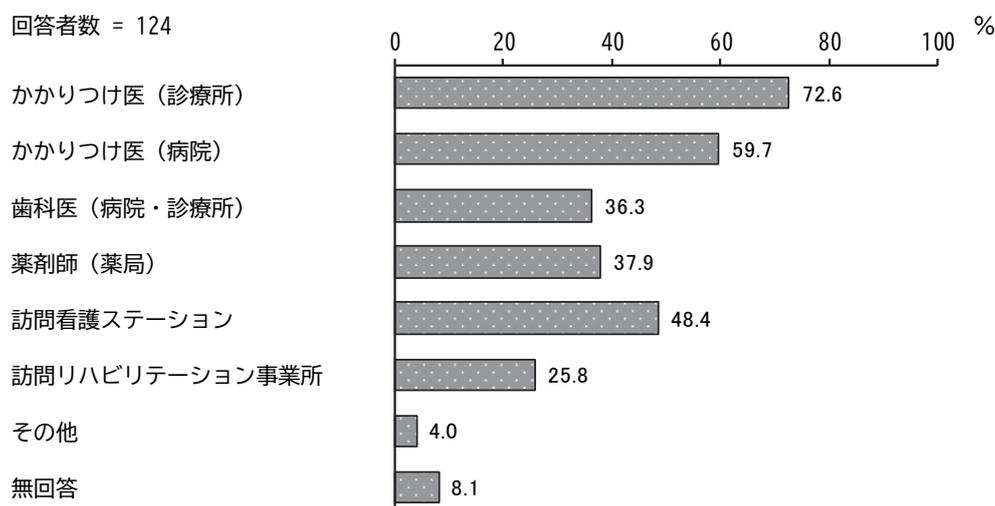
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。

「そう思う」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 36.3%、「そう思わない」の割合が 15.3%となっています。



問 26. 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

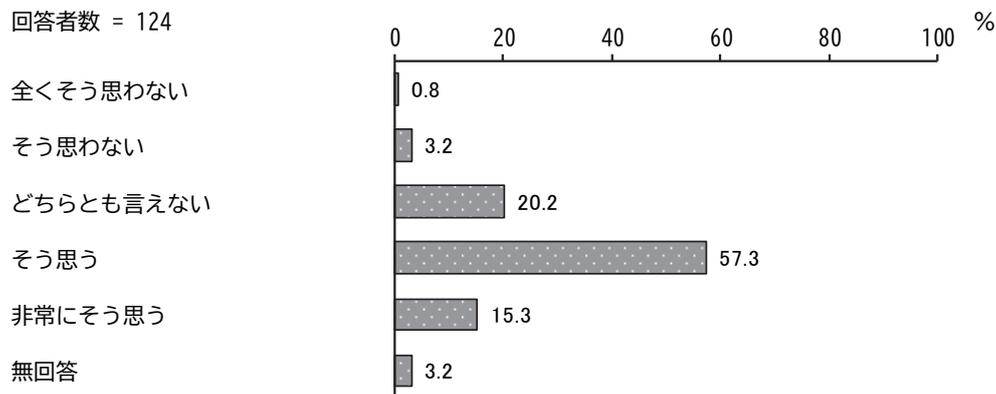
「かかりつけ医（診療所）」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「かかりつけ医（病院）」の割合が 59.7%、「訪問看護ステーション」の割合が 48.4%となっています。



問 27. 多職種連携について、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとひとつだけに○)

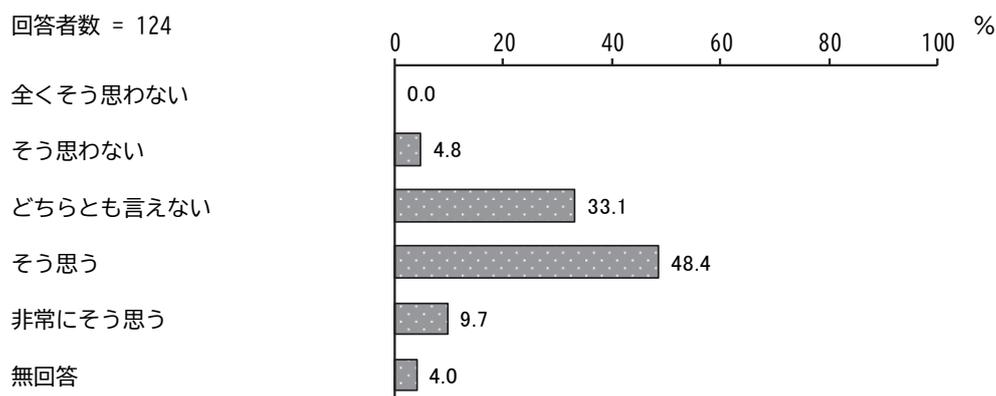
①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである。

「そう思う」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 20.2%、「非常にそう思う」の割合が 15.3%となっています。



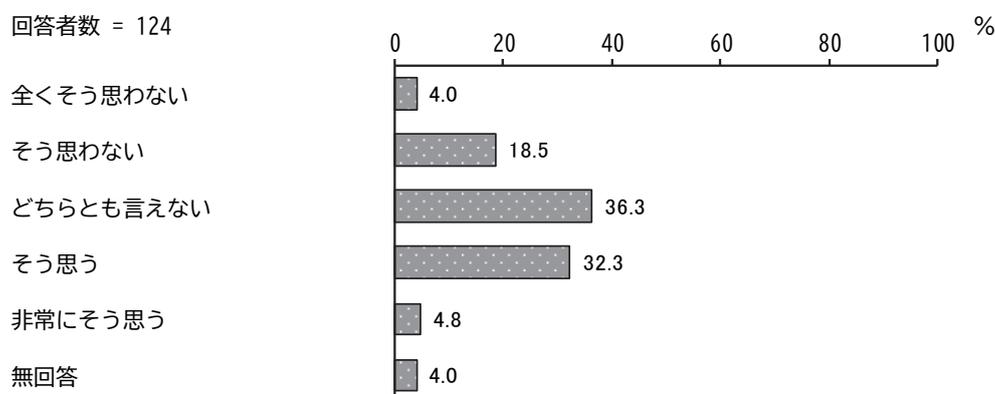
②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う。

「そう思う」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 33.1%となっています。



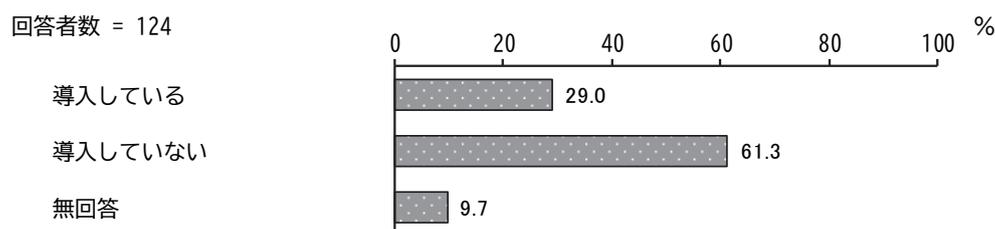
③多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができています。

「どちらとも言えない」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 32.3%、「そう思わない」の割合が 18.5%となっています。



問 28. 問 27 の①について、すでにそういったシステムや仕組みを導入していますか。

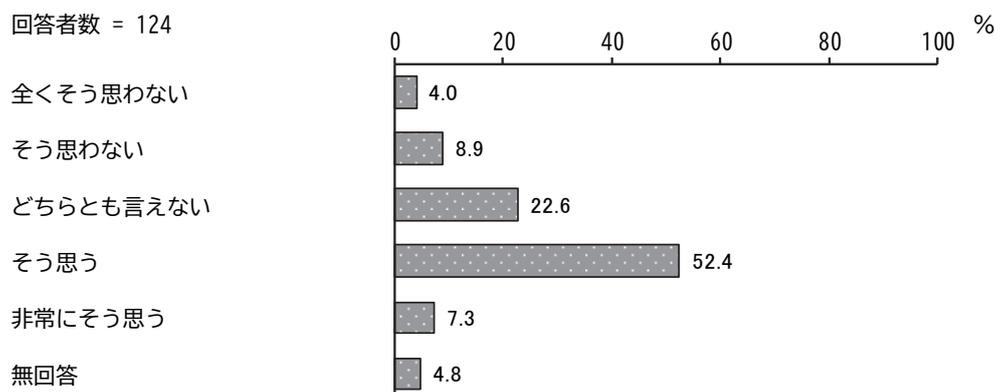
「導入している」の割合が 29.0%、「導入していない」の割合が 61.3%となっています。



問 29. 急変時の対応について、どのように感じていますか。(①～②の項目ごとひとつだけに○)

①急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができています。

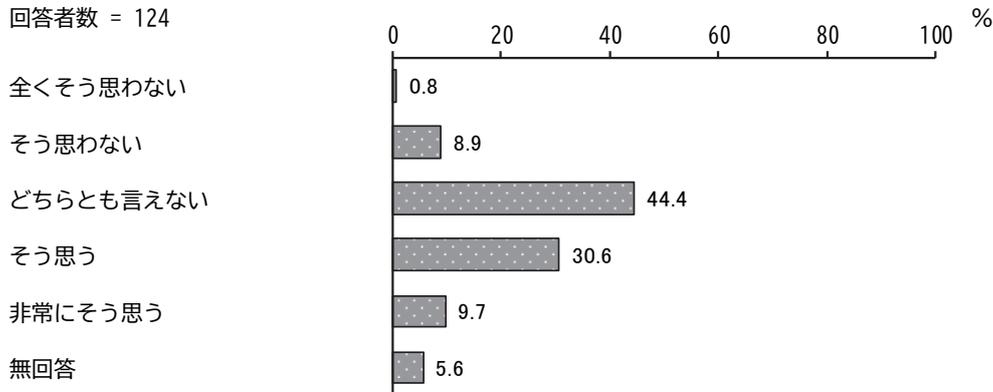
「そう思う」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 22.6%となっています。



②休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある。

「どちらとも言えない」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 30.6%となっています。

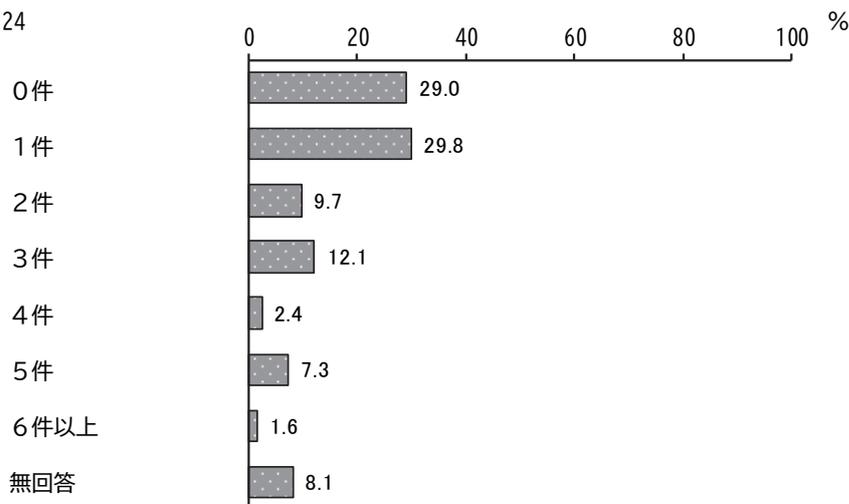
回答者数 = 124



問 30. 貴事業所において、利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースは月にどれくらいありますか。(ひとつだけに○)

「1件」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「0件」の割合が 29.0%、「3件」の割合が 12.1%となっています。

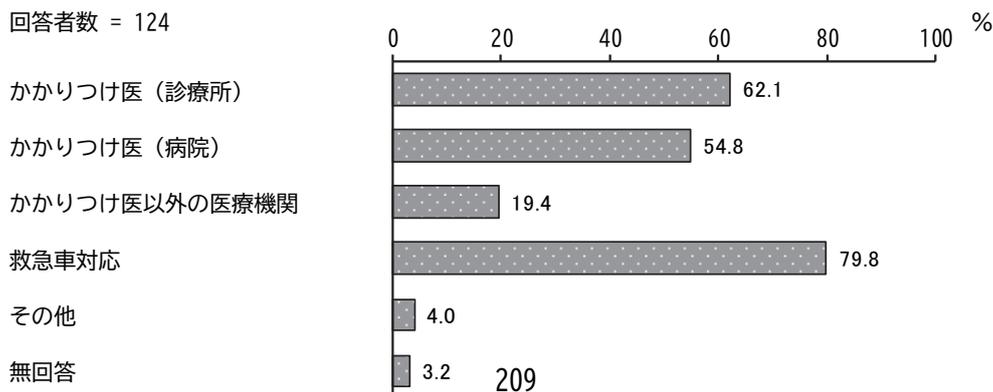
回答者数 = 124



問 31. 日中に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

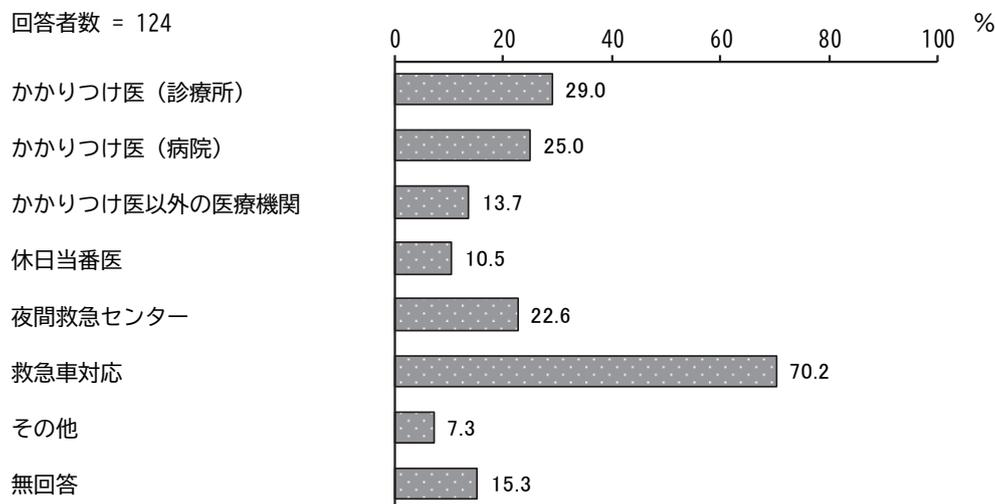
「救急車対応」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「かかりつけ医（診療所）」の割合が 62.1%、「かかりつけ医（病院）」の割合が 54.8%となっています。

回答者数 = 124



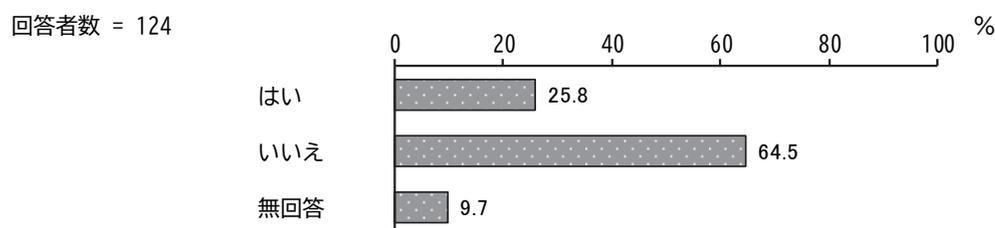
問 32. 夜間休日に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

「救急車対応」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「かかりつけ医（診療所）」の割合が 29.0%、「かかりつけ医（病院）」の割合が 25.0%となっています。



問 33. 容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがありますか。

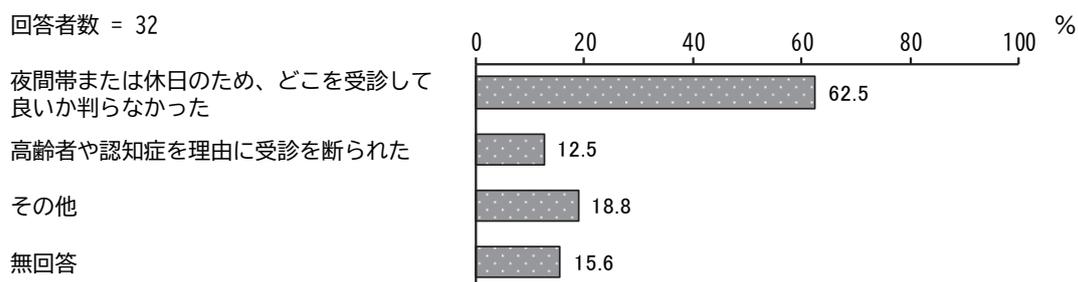
「はい」の割合が 25.8%、「いいえ」の割合が 64.5%となっています。



【問 33 で「1. はい」と答えた方のみ】

問 33-1. 具体的にどのようなことで苦慮されましたか。(あてはまるものすべてに○)

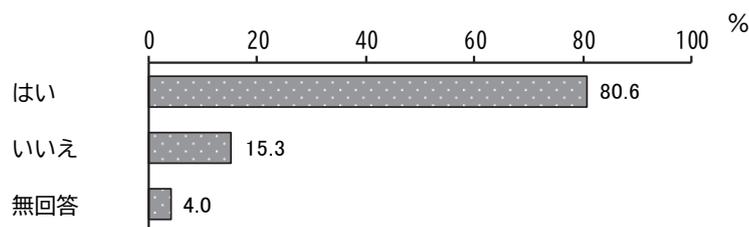
「夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかった」の割合が 62.5%、「高齢者や認知症を理由に受診を断られた」の割合が 12.5%となっています。



問 34. 貴事業所では容態急変時のマニュアルが定められていますか。

「はい」の割合が 80.6%、「いいえ」の割合が 15.3%となっています。

回答者数 = 124



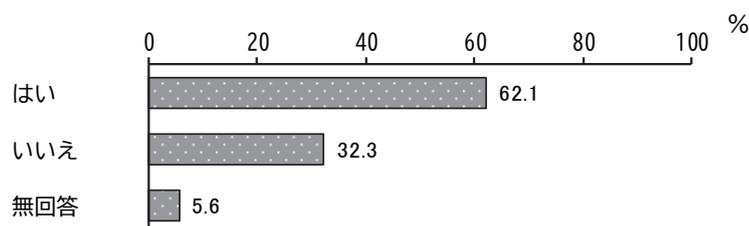
問 35. 利用者の容態急変時における課題や要望がありましたらお書きください。(原文のまま掲載しています。)

- ・近くに入院できる医療機関が少ないため救急搬送しても帰宅されることが多い。しかもしかるべく処置をされ帰宅なら良いがただ検査をして問題ないと言われ薬の処方もなく帰宅されると困ってしまう。かかりつけ医がすぐに対応してくれるところだと良いがそうでないと…。
- ・発熱高齢者、認知症の方という条件で受入れ拒否される事があったのでコロナ対応で苦慮されるから敬遠してしまうと思うが柔軟に受入れて頂きたい。
- ・身寄りのない方が緊急入院等になる際手続き対応者がいない時に困る。
- ・ワーカーからサ・責、または事務所そしてケアマネへと連絡が行きますが。
- ・家族やかかりつけ医と連絡が取れない事がある。
- ・独居の方などの救急車対応時、家族との連絡がとれない時に困る。
- ・契約の時から、救急搬送の事や、希望の病院を確認しているので、今まで混乱はありませんが、搬送例が少ないので、毎回慌てぎみになります。日頃の訓練が必要だと思います。
- ・救急車を呼んだ際に家族が来てくれなかったり、救急隊員に病院への同行を求められる場合がある。救急車を呼んだ時点で介護サービスは終了であることを理解してほしい。
- ・救急車を呼んでも搬送していただける医療機関が近くにない。
- ・逗子市福祉部国保健康課発行の救急医療情報シートの活用により救急搬送がスムーズだった為サービス利用前に各担当ケアマネが全利用者に提出を求めサービス事業所に利用前に配布して頂くと助かる。
- ・訪問診療を利用していますが24H対応とはいえ結局は来訪なく救急搬送となりますその際少ない人数で行っている夜勤者が搬送についていく事はなくホーム内のケアが不足する。
- ・マニュアルは、作成中です。資料などの少なさに苦慮しています。
- ・付きそいが必要になり、夜から朝まで対応する事がある。
- ・湘南鎌倉総合病院に搬送されるが(されることが多いが)、誤診や、入院が必要な状況でも入院できず、帰され悪化するようなケースが複数あり、救急を断わらないのはありがたいが、適切な対応がとれておらず困ることがある。
- ・普段医師にかかってない在宅利用者、しかも独居でみよりがない時は困りました。市役所に家族を探してもらったりして対応したこともあります。要望は特にはないです。
- ・DNARの可否をすべての利用者に義務付けること。
- ・まずスタッフの全員が対応できないとならない。急を要する時に迅速に対応できるスタッフが行っており、経験の少ないスタッフは見て覚えなくてはならないのが現状。
- ・居宅介護支援事業者であるが、大体はご家族の対応となっている。独居の高齢者は特定事業所でマネジメントがより安心かと考えます。

問 36. 在宅での看取りに関わった経験がありますか。

「はい」の割合が 62.1%、「いいえ」の割合が 32.3%となっています。

回答者数 = 124

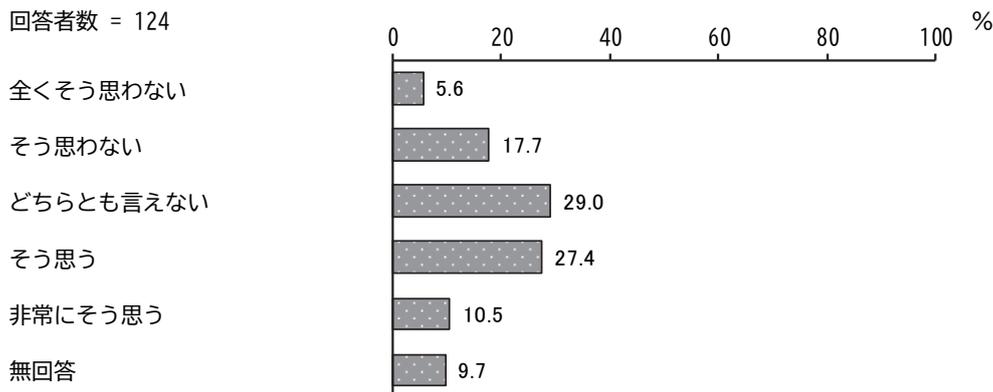


問 37. 在宅での看取りについて、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとに1つだけ選択)

①在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい。※看取りに関わった経験の有無に拘らずお答えください。

「どちらとも言えない」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 27.4%、「そう思わない」の割合が 17.7%となっています。

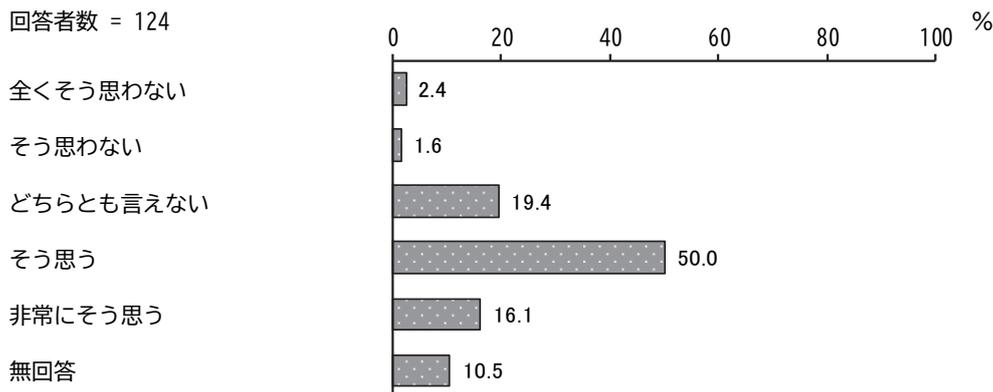
回答者数 = 124



②今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている。

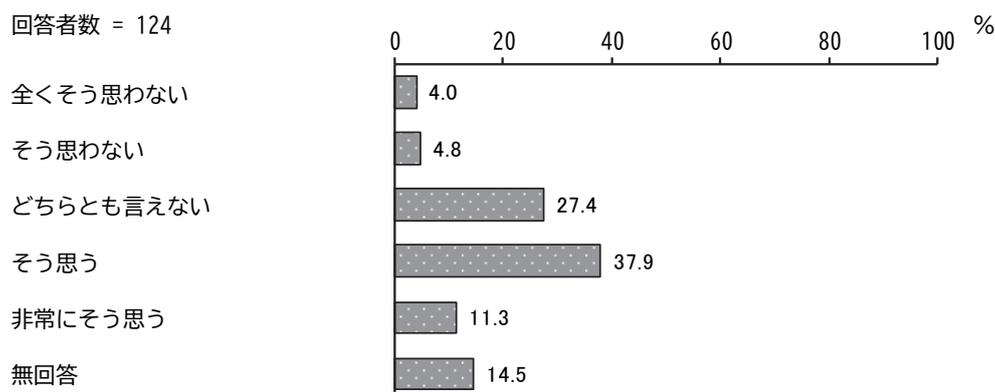
「そう思う」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 19.4%、「非常にそう思う」の割合が 16.1%となっています。

回答者数 = 124



③在宅で看取りをするために連携できる医師がいる。

「そう思う」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 27.4%、「非常にそう思う」の割合が 11.3%となっています。



問 38. 設問 25~37 までに、課題と思うことと、その具体的な対応策をお書きください。
(原文のまま掲載しています。)

【医療との連携 (10 件)】

- ・急変や看取りとなると、これまで介護保険での利用から医療保険へと切り変わることが多い。そうすると介護保険利用のケアマネ、通所、訪問介護などと急に連携がとれなくなったり。連携することを後まわしにしたりすることが多いと思う。そこが当事業所の課題だと思われる。
- ・在宅看取りの負担はあるがやらないという選択肢ない夜間などの対応は、本当に大変。
- ・グループホームでも医療行為が必要な方が多く、またそのような方の申し込み、居宅ケアマネからの問い合わせも見られている。みるいろは医療法人で、あるていど（ストマ、やバルーンなど）は受け入れているが、24hは看護師がいないとむずかしい。オンコールや医療機関の協力でどうにかなっているところ…スタッフの精神的負担の問題もある…。
- ・医師の介護サービスへの理解が近い介護職員の医療システム、病気への理解が低い。
- ・退院時の受け入れ体制、夜間の急変時などの対応など整っていないまま退院されてくる事がありました。退院の予定が立ったならば、担当者会議を早急に行って連携を取りたいです。一方ではしっかりメールを通して誰もが利用者様の状態をタイムリーに確認できるので業務に追われて把握ができなくなる事がなく今後も利用していきたいと思えます。
- ・夜間、休日に対応できる訪問医が不足している。
- ・医療機関・サービス提供事業所だけではなく家族の協力と理解も必要と感じる。在宅での看取りは選択肢として確立される事を望むが、実際にいつ亡くなるかわからない方と一緒に過ごす中で「死」と向き合う準備が必要なのだと思う。本当に亡くなる時に呼吸が荒くなったりと変化があれば怖くなり救急車を呼ぶ方も多いと聞く具体的な対応策かはわからないが、元気な時から「自分がどの様に死を迎えたいか」などタブー視する事なく、話し残すなどして家族や周りの方が受け止められるその様な活動があると良いのではないかと感じている。
- ・定期的に医師や医療サービスと顔の見える関係の構築が重要。引き継ぎ医療介護、多職種会議に参加する等も良い対応策。看取りケースを多く担当することで必然的に支援スキルアップ、医療との信頼関係構築が図れる。
- ・医療機関により温度差を感じてしまう。
- ・当施設では、担当医により、看取対応を行うことが出来ており、大きな問題はないと思えます。

【救急対応（3件）】

- ・夜間救急センターはありますが、当番制で、科がちがうと、あまり役にたたない、どうしても市外にお願いすることになる。訪問看護ステーションの方々は、とても親身に動いて下さると思います。
- ・夜間急変時の対応に苦慮することが多い。救急搬送時のマニュアルを準備すると同時に、ご家族やケアマネにもご理解をいただく。
- ・夜間、施設では急変時救急搬送の対応となるが、付きそいが宿直職員の為、家族との合流の所で全て上手に行く時ばかりではない事。処理だけ済み→（日中の観察、受診対応を迅速にし、夜間の搬送をへらして行っている）、帰りの介護タクシーがつかまらなかったりする。

【ひとり暮らしの方への対応（2件）】

- ・独居の方の看取りは訪問看護の24時間対応で助けられたケースがほとんどです。在宅での看取りはやはりご家族のお力もどうしても必要になってくると思います。ヘルパーの対応も点数内で最低限のサービスしか提供できず、ご本人の痛みや苦しみにゆっくり向き合う時間を取るのには難しいと考えます。
- ・独居高齢者様には、24H対応の担当部所を新たに設置出来ないか。一搬事業者は就労時間外での対応はむずかしく、相談したい行政も時間内での対応となっていて、過去に本当に困った事例があった。

【看取り（6件）】

- ・家族の覚悟と協力が必要となる。予め容態が急変することを伝えておく家族としては安心材料となる。看護ステーション毎になるのかマニュアルや手引きを用意して家族に渡している事業所もあった。
- ・みどり施設が併設されているため。
- ・看取りは皆様同じではないので個々のケースに合わせたサービス提供がスムーズに行えるよう人員、人材の確保。
- ・今後在宅での看取りが増えて来ると思われるが、それに伴い家族の負担が増える。具体的な対応策としてサービスの種類、量を増やすことも考えられるが、人の出入りが増えることによる家族の別の負担が増えて来るので一概には云えない。家族の意向を聞きとりそれに沿う支援を行う。
- ・看取り希望に対応する場合は、事業所に何かしらの支援があっただけいいと思います。
- ・在宅での看取りといってもご家族様の意向が一定していない。行動と気持ちのズレなど毎日かぎられた時間の中で傾聴し、ご家族様にもよりそえる時間が必要なケースもあるのではないかと感じました。

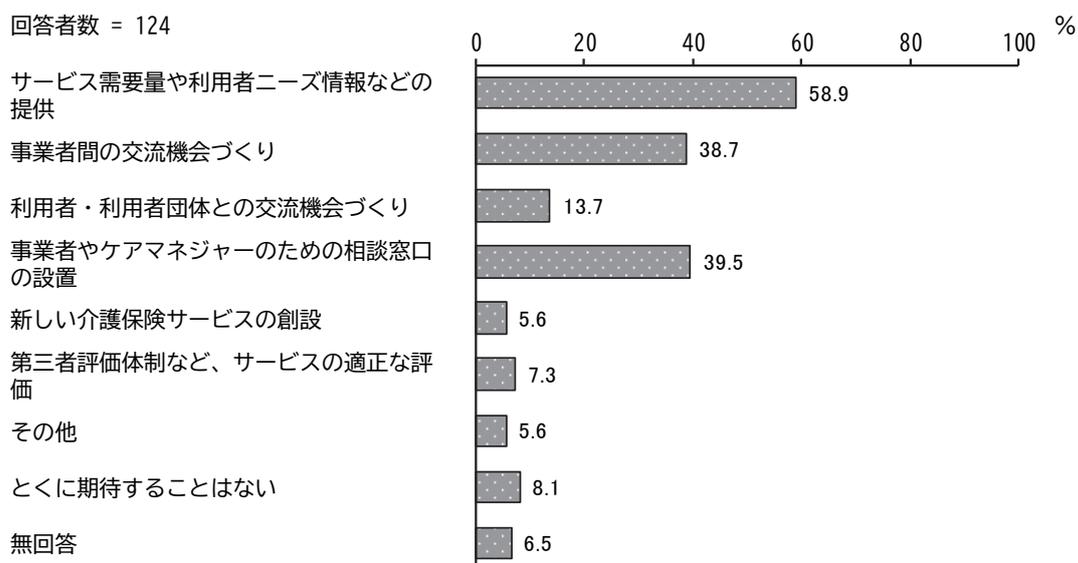
【その他（5件）】

- ・慢性人不足の解消：十分なスタッフの確保があれば対応可能だと思うかな・家族指導：看取りの経過の十分な説明と家族の理解があればたとえ24h対応のSTでなくても、又、すぐに従事者コールなくても家族で静かにその時を過ごすことができると思うから。
- ・最近、デジタル化、ICTの利用などが、声高に言われていますが、アナログの連携も、ときには必要と考えます。
- ・軽度の要介護の場合、今後のリスクへの意識が低いことがあるため、緊急時にバタバタすることがある。ケアのチームとして方向性（命の選択、ACP）をもっと話し合う必要があると感じる。
- ・民間事業者は、日祝祭日可動しているが、公（市役所etc）は、休みの為、やりとりに時間が、かかってしまう。
- ・特別に自費で対応したケースが1件。今後職員体制がととのえば対応が可能と考える。

(3) 市の介護保険事業との連携について

問 39. 返子市で質の良いサービスを提供していくにあたり、市に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

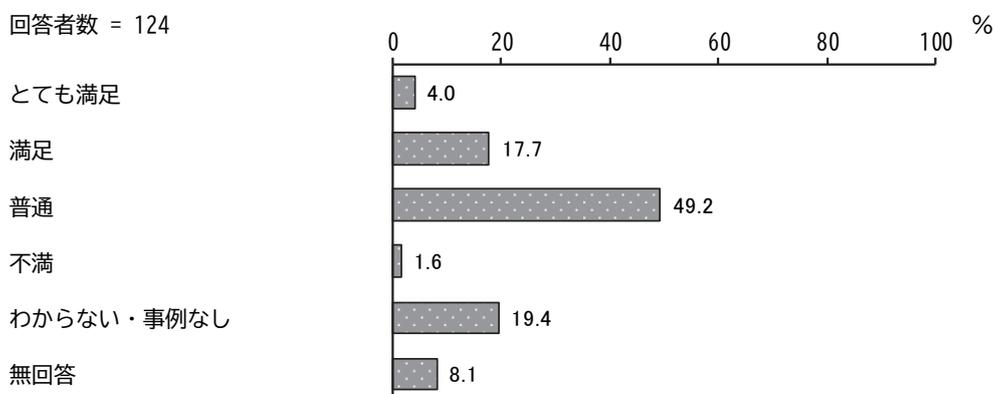
「サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置」の割合が 39.5%、「事業者間の交流機会づくり」の割合が 38.7%となっています。



問 40. 地域包括支援センターへの相談等における対応について、満足度をお答えください。(①~④の項目ごとにひとつだけに○)

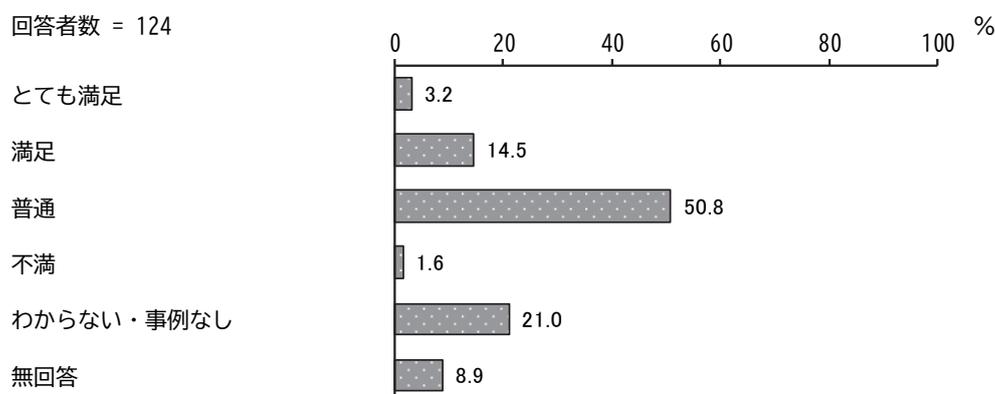
①事業所からの相談や問い合わせに対する迅速な対応について

「普通」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「わからない・事例なし」の割合が 19.4%、「満足」の割合が 17.7%となっています。



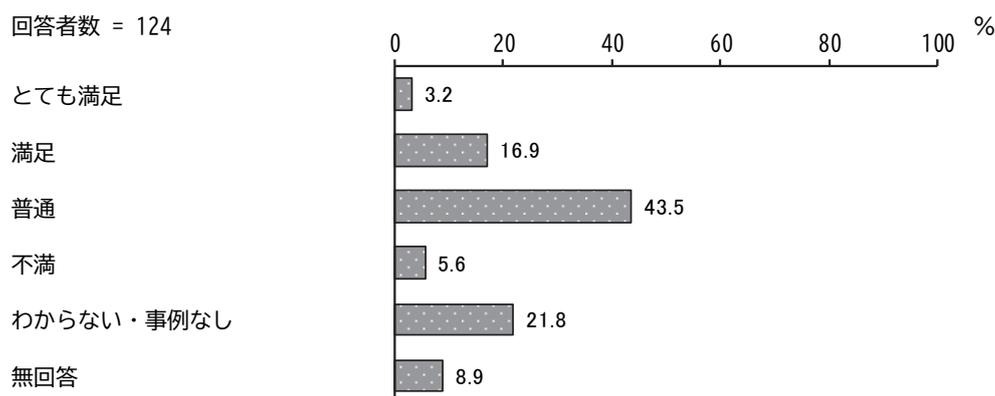
②事業所から相談したケースの経過や結果等の状況報告について

「普通」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「わからない・事例なし」の割合が 21.0%、「満足」の割合が 14.5%となっています。



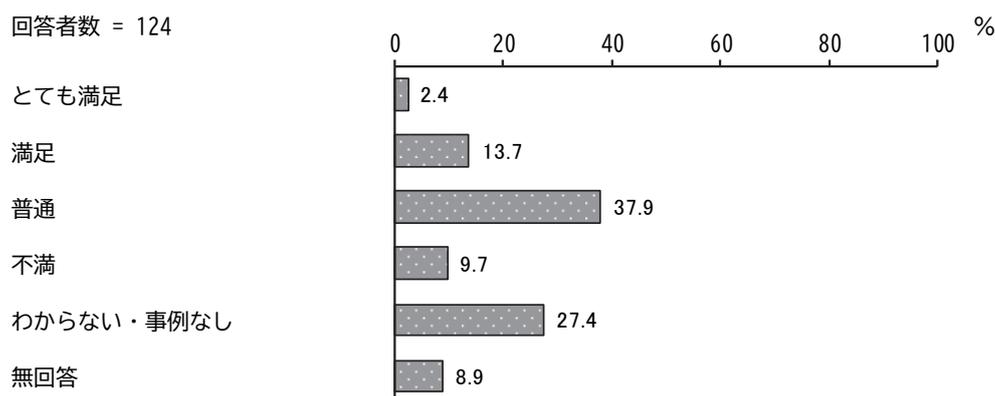
③事業所からの問い合わせや相談に対する、専門的な見地からの助言・支援について

「普通」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「わからない・事例なし」の割合が 21.8%、「満足」の割合が 16.9%となっています。



④支援困難ケース（高齢者虐待、権利擁護等に関する専門的な助言等について）

「普通」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「わからない・事例なし」の割合が 27.4%、「満足」の割合が 13.7%となっています。

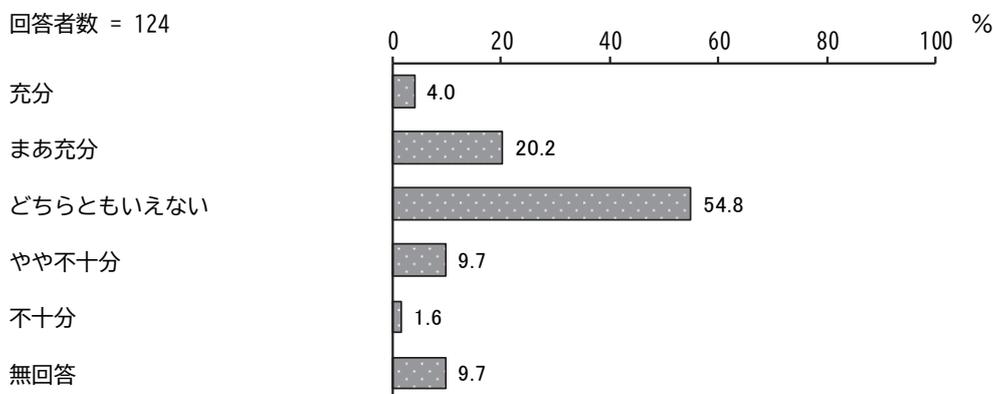


問 41. 地域包括支援センターの果たしている役割について、各取り組みの充実の度合いについて、あなたの考えをお答えください。(①～④の項目ごとにひとつだけに○)

①地域の資源、市の制度や施策等に関する情報提供について

「どちらともいえない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 20.2%となっています。

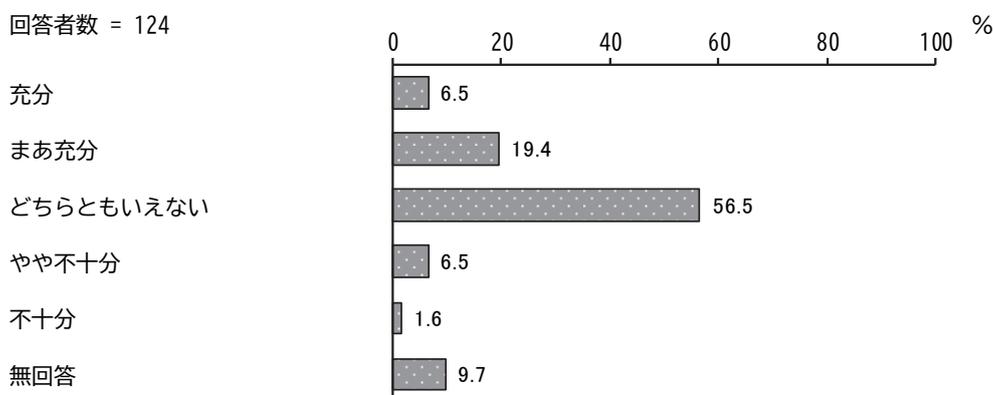
回答者数 = 124



②地域における会合や行事へ参加し、関係者との連携体制構築の働きかけをしているかについて

「どちらともいえない」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 19.4%となっています。

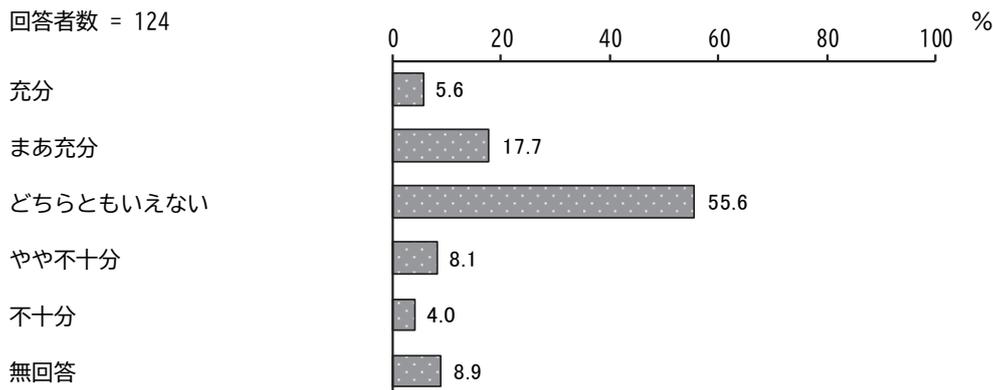
回答者数 = 124



③講習会やセミナー等、事業所職員に関する資質向上・人材育成への取り組みについて

「どちらともいえない」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 17.7%となっています。

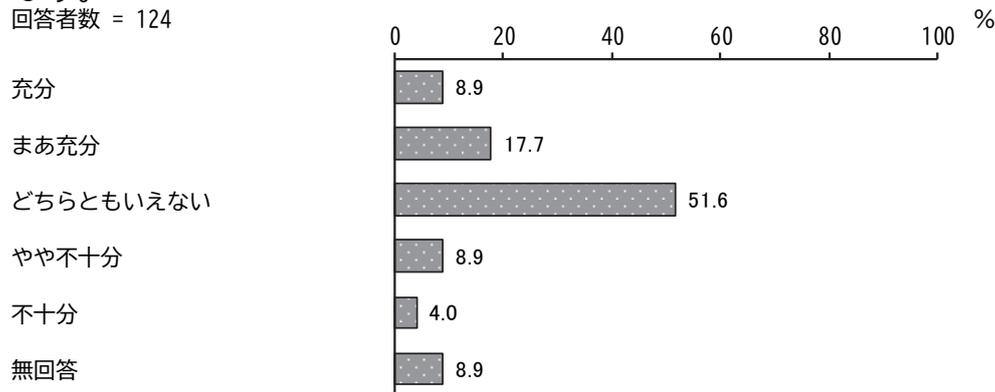
回答者数 = 124



④悩みや相談等がしやすい体制について

「どちらともいえない」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 17.7%となっています。

回答者数 = 124



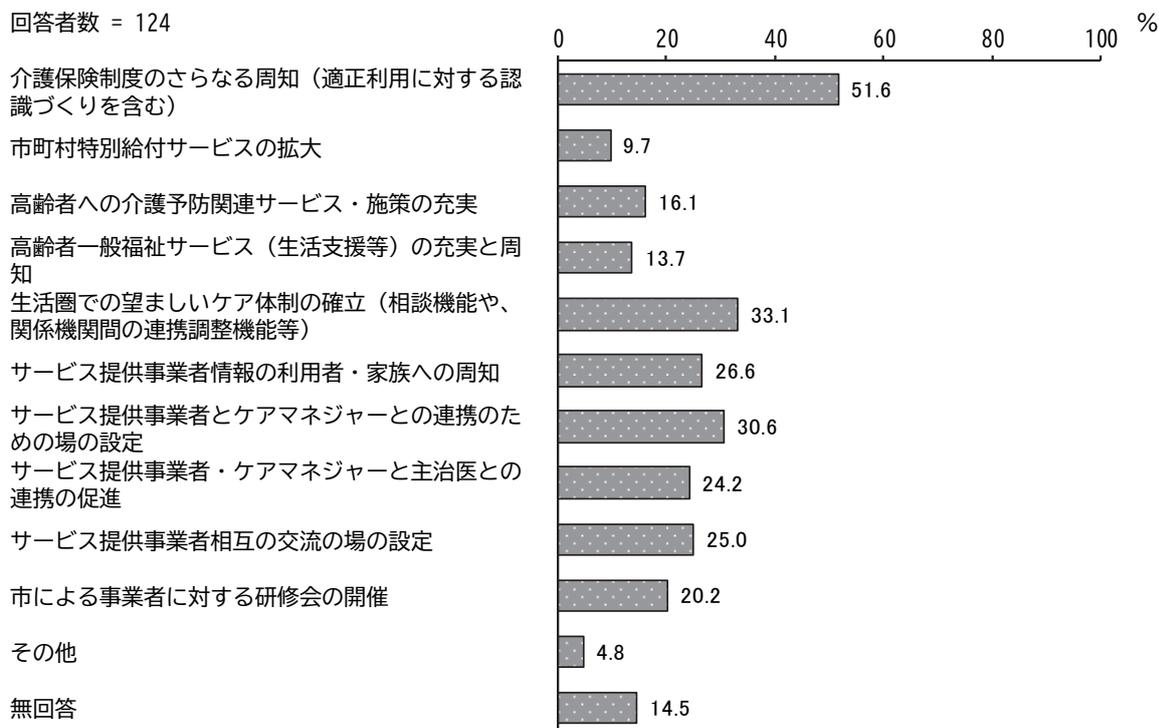
問 42. その他、地域包括支援センターに対するご意見ご要望等、自由に記入してください。(原文のまま掲載しています。)

- ・ 困難ケースの支援はきちんと対応してほしい。
- ・ 新規依頼時、情報が取れていないケースが多々ある。受ける方としては、担当ケアマネを決める為にも情報がないと受けられない。何年も前から変わらない。
- ・ 問 40 では事例なしとしましたが、つい最近、事例が発生したため、ケアマネジャーさんを通して、相談もさせていただきたいと思います。
- ・ 講習会等、こちらでも協力することができるものがあれば協力したいです。
- ・ 地域包括支援センターを軸に地域との交流会や、事業所紹介等の交流機会を作っていただきたい。管理者交流会とか…。勉強会の案内はあるのだが市で一本開催とか我々新参者は入りにくい環境がある。元々基盤のある所はうらやましい。
- ・ 包括センターによって対応にばらつきがあることが困ります。包括でケアマネジメントしてほしいのに、担当してもらえず横須賀や鎌倉の居宅支援事業所が担当となりサービス事業所探しに難儀している方が何人もいます。逗子のケアマネの対応に不満がありケアマネを変更してほしいと相談した方が、「今いっぱいだから」とことわられたとのこと。もっと包括センターでマネジメント対応できる体制をととのえてほしいと考えます。
- ・ 個別アプローチの実績はありませんでした。
- ・ コロナや自然災などの有事に利用者や事業所を守り誘導してほしい。自ら外に出てアクションを起こしてほしい（自分達が手本となって感染防止のために外へ出ないのはいかがなものか）
- ・ 地域包括支援センターにより新規紹介に至る過程や方法に差異がある。
- ・ 毎日、助けられています。ありがとうございます。
- ・ 可もなく不可もなく。
- ・ 特別ございません。今後とも宜しくお願い致します。
- ・ 施設なので特に関わる事がへった為、意見ないが、施設でできる行事の提案や、働きかけをして頂けると助かる。ショートステイもあるので。
- ・ ほぼ関わりがない事が現状です。運営推進会議に出席して頂いたり、居宅支援事業所主催のコミュニティーに同席する程度です。
- ・ 訪問介護から直接ご相談する機会はなかなかないのですが、利用者様にはケアマネと合わせて相談窓口としてお伝えしています。

問 43. 介護保険制度を円滑に運営していくためには、市としてどのような取り組みが必要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護保険制度のさらなる周知（適正利用に対する認識づくりを含む）」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「生活圏での望ましいケア体制の確立（相談機能や、関係機関間の連携調整機能等）」の割合が 33.1%、「サービス提供事業者とケアマネジャーとの連携のための場の設定」の割合が 30.6%となっています。

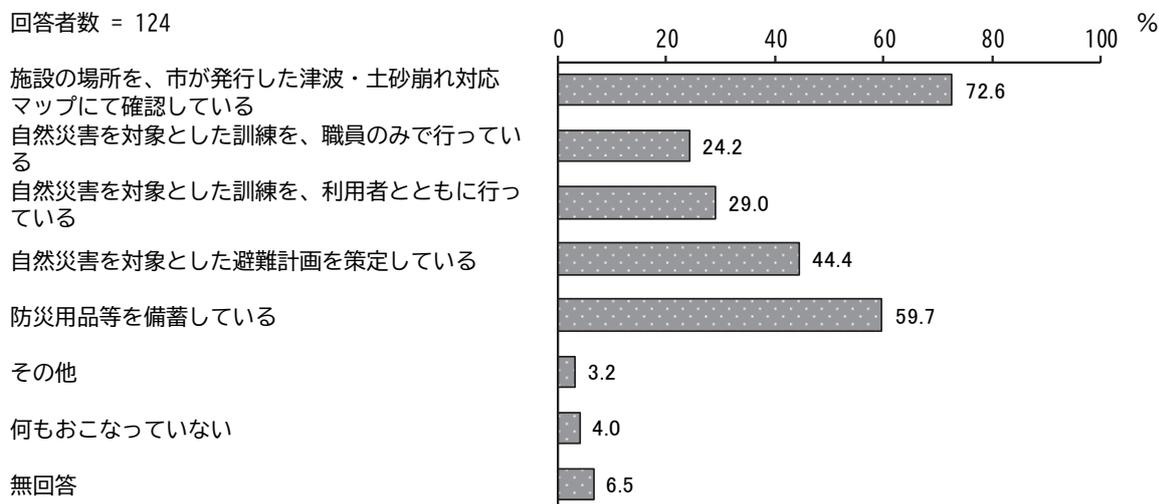
回答者数 = 124



問 44. 自然災害（火災対応は除く）に対して、貴事業所ではどのような対策を取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「施設の場所を、市が発行した津波・土砂崩れ対応マップにて確認している」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「防災用品等を備蓄している」の割合が 59.7%、「自然災害を対象とした避難計画を策定している」の割合が 44.4%となっています。

回答者数 = 124



問 45. その他、地域包括支援センターに対するご意見ご要望等、自由に記入してください。(原文のまま掲載しています。)

- ・地域包括支援センターとは、相談、連絡できる体制を整えていく必要があります。
- ・生活安全・包括通信を拡大コピーしてデイルームに貼っています。注意喚起になっています。
- ・地域包括の職員の負担が大きいように感じる個別の困難事例に取り組む時間をもって必要ではないか。
- ・事業所として、地域活動などで協力できることがあればいつでも相談して下さい。
- ・相談の案件を振るばかりでなく、(生保案件、障害案件、困難事例も、)事例検討会を主体的に開催し他事業所との交流できる関係作りを行ってほしい。地域での資源をもっと活用できるような紹介もしてほしい。
- ・地域包括ケアシステムは大切だと思いますが、まずはケアマネジメント業務を包括センターが委託せずに対応できる体制をととのえてほしいと思います。要支援の方を居宅で担当すると、要介護の方が担当してもらえる件数が減ります。逗子市外の居宅では連携がとりにくいところがあると感じています。包括の役割を増やしすぎるのではなく、基本の四本柱を充分に対応できるよう逗子市として、仕組みを見直して預けないでしょうか。包括職員の方々が忙しすぎてかわいそうです。
- ・有料老人ホームですがより情報共有、情報交換ができればと思います。
- ・相談にのっていただき感謝しています。
- ・業務量が多いので体に気をつけてください。
- ・365日24時間の対応、本当に頭が下がります。いつも有難うございます。他市の事業所である、連携する機会は少ないですが、心強く感じます。
- ・介護予防は包括の方をお願いしたい。介護だけで手一杯になっていることが多い。
- ・日曜祭日に相談出来る方法。

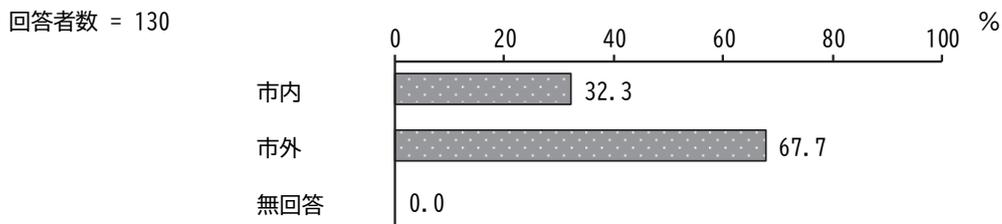
5 介護支援専門員

5 介護支援専門員

(1) あなたご自身のことについて

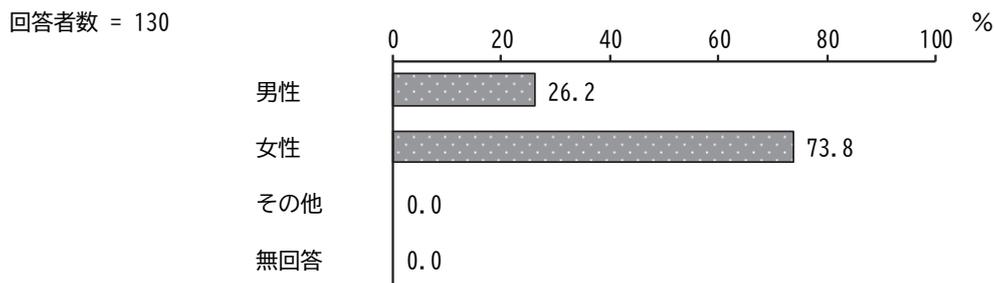
問1. あなたの所属する事業所の所在地は返子市内、市外のどちらですか。(ひとつだけに○)

「市外」の割合が67.7%、「市内」の割合が32.3%となっています。



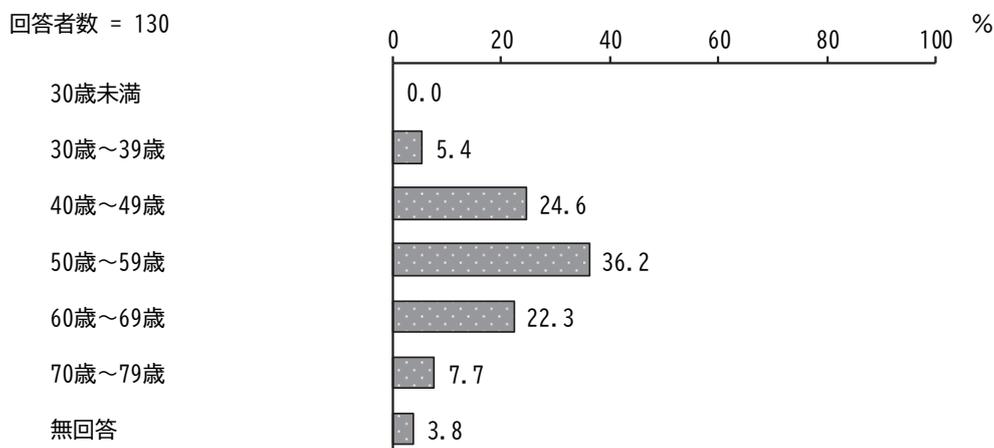
問2. あなたの性別はどちらですか。(ひとつだけに○)

「男性」の割合が26.2%、「女性」の割合が73.8%となっています。



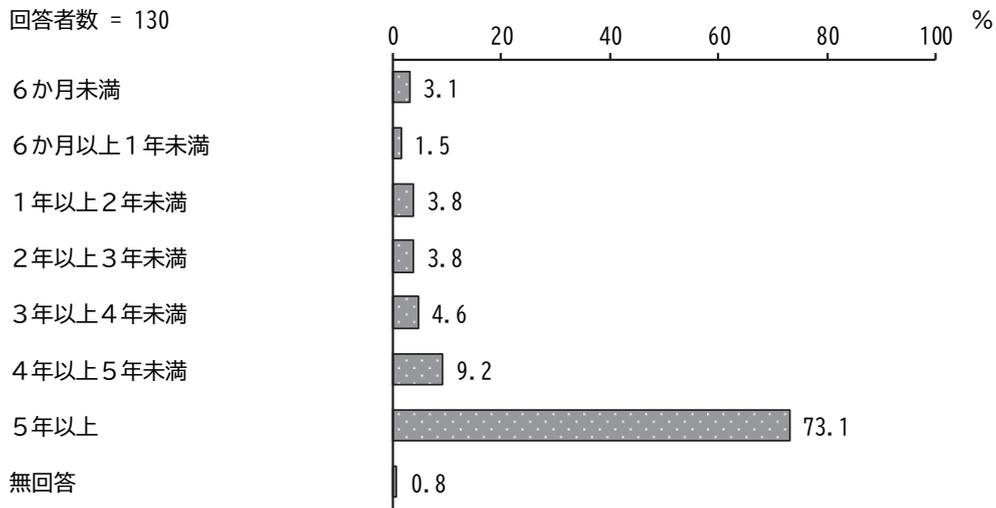
問3. あなたの年齢をおたずねします。

「50歳～59歳」の割合が36.2%と最も高く、次いで「40歳～49歳」の割合が24.6%、「60歳～69歳」の割合が22.3%となっています。



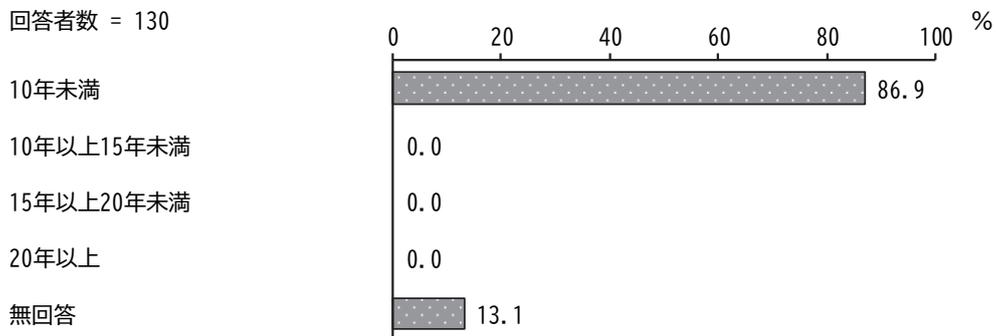
問4. ケアマネジャーの仕事をはじめて何年(他社含む)になりますか。(ひとつだけに○)

「5年以上」の割合が73.1%と最も高くなっています。



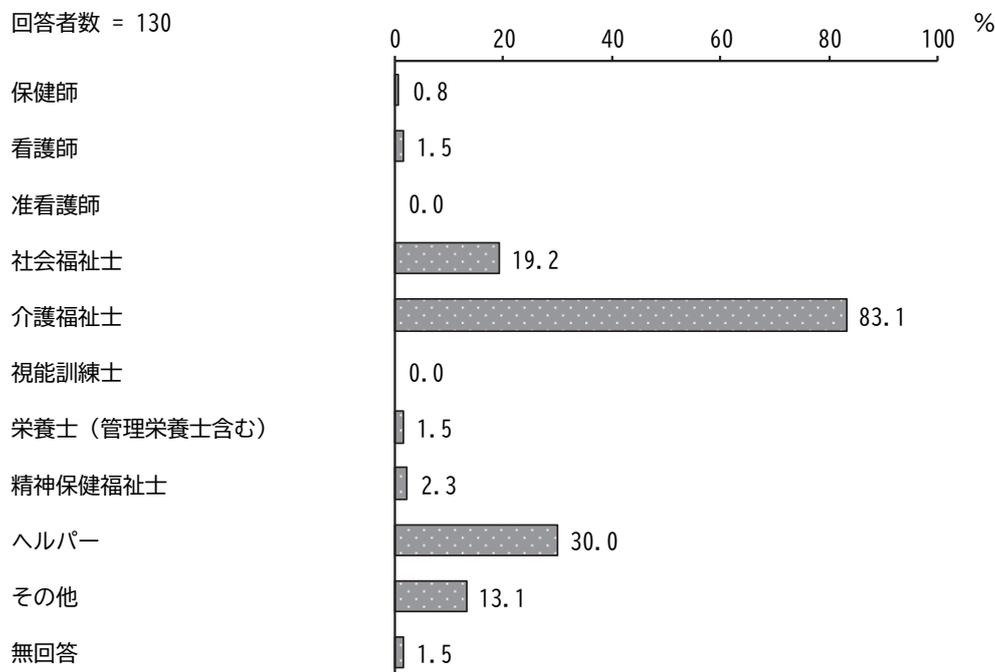
5年以上と回答した人の具体的な年数

「10年未満」の割合が86.9%と最も高くなっています。



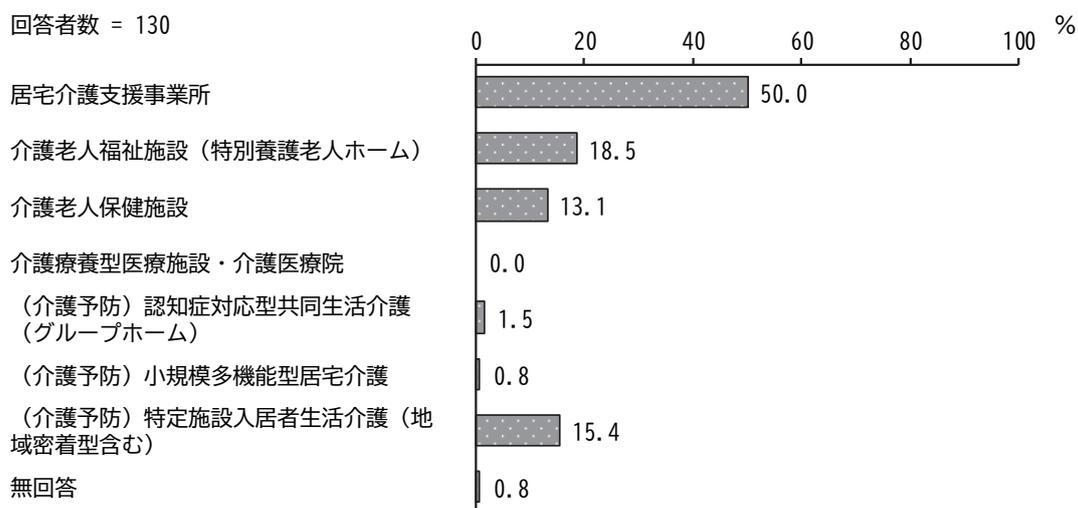
問5. ケアマネジャー以外の資格についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

「介護福祉士」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「ヘルパー」の割合が 30.0%、「社会福祉士」の割合が 19.2%となっています。



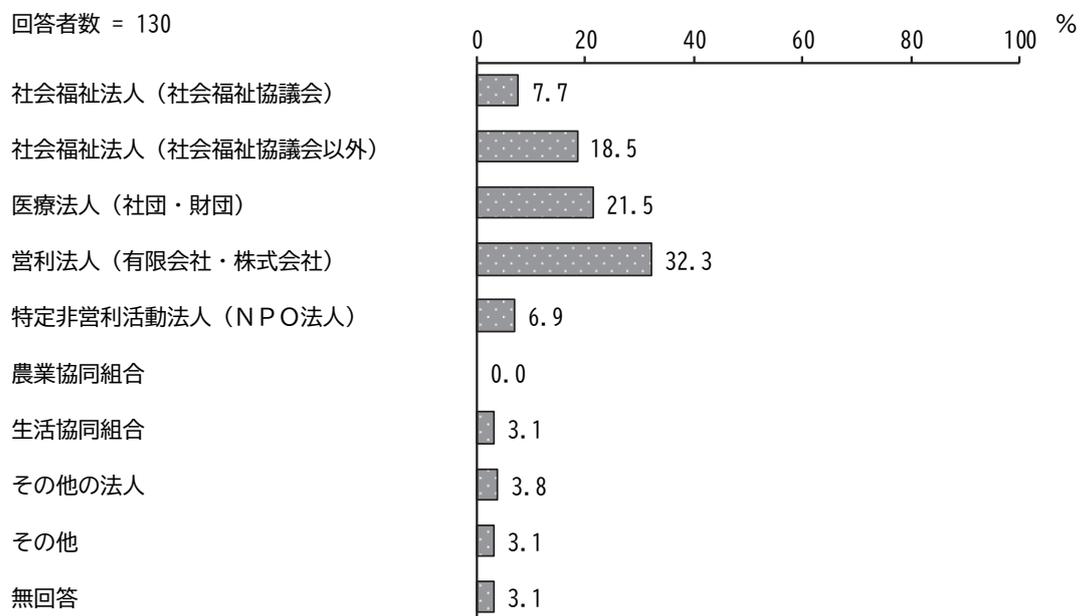
問6. 所属の施設や機関の種別をおたずねします。(最も関わりの深いものひとつだけに○)

「居宅介護支援事業所」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)」の割合が 18.5%、「(介護予防) 特定施設入居者生活介護 (地域密着型含む)」の割合が 15.4%となっています。



問7. 所属の施設・機関の事業所形態についておたずねします。(ひとつだけに○)

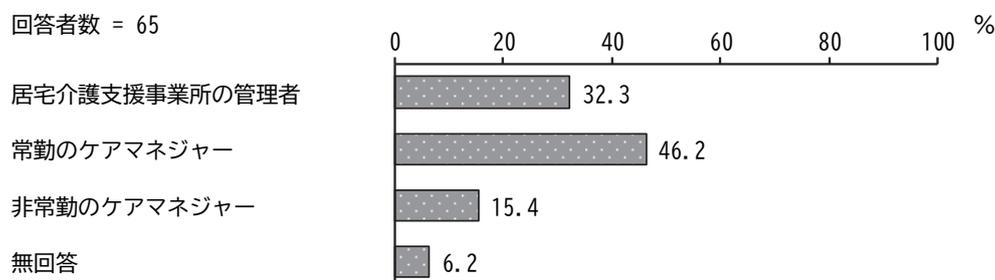
「営利法人（有限会社・株式会社）」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「医療法人（社団・財団）」の割合が 21.5%、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」の割合が 18.5%となっています。



(2) 勤務形態などについて

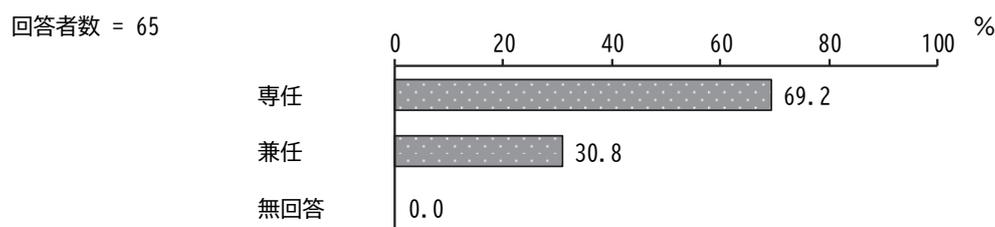
問8. あなたの勤務形態についてお答えください。(あてはまるものに○)

「常勤のケアマネジャー」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「居宅介護支援事業所の管理者」の割合が 32.3%、「非常勤のケアマネジャー」の割合が 15.4%となっています。



問9. ケアマネジャーの仕事は専任ですか。それとも兼任ですか。(ひとつだけに○)

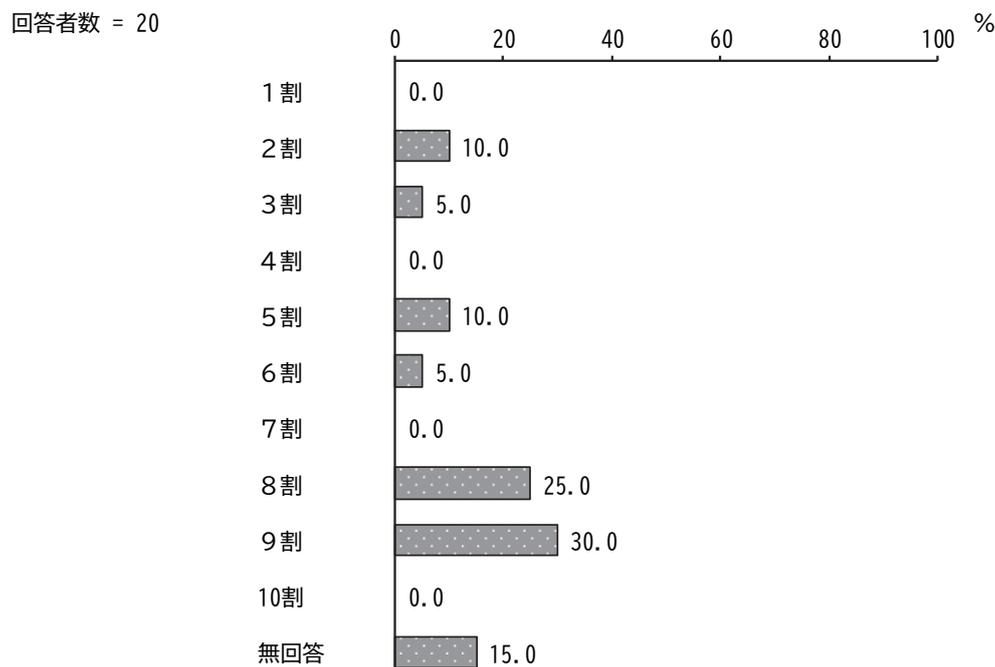
「専任」の割合が 69.2%、「兼任」の割合が 30.8%となっています。



【問9で「2. 兼任」とお答えの方のみ】

問9-1. 勤務時間に占めるケアマネジャー業務の割合をお知らせください。

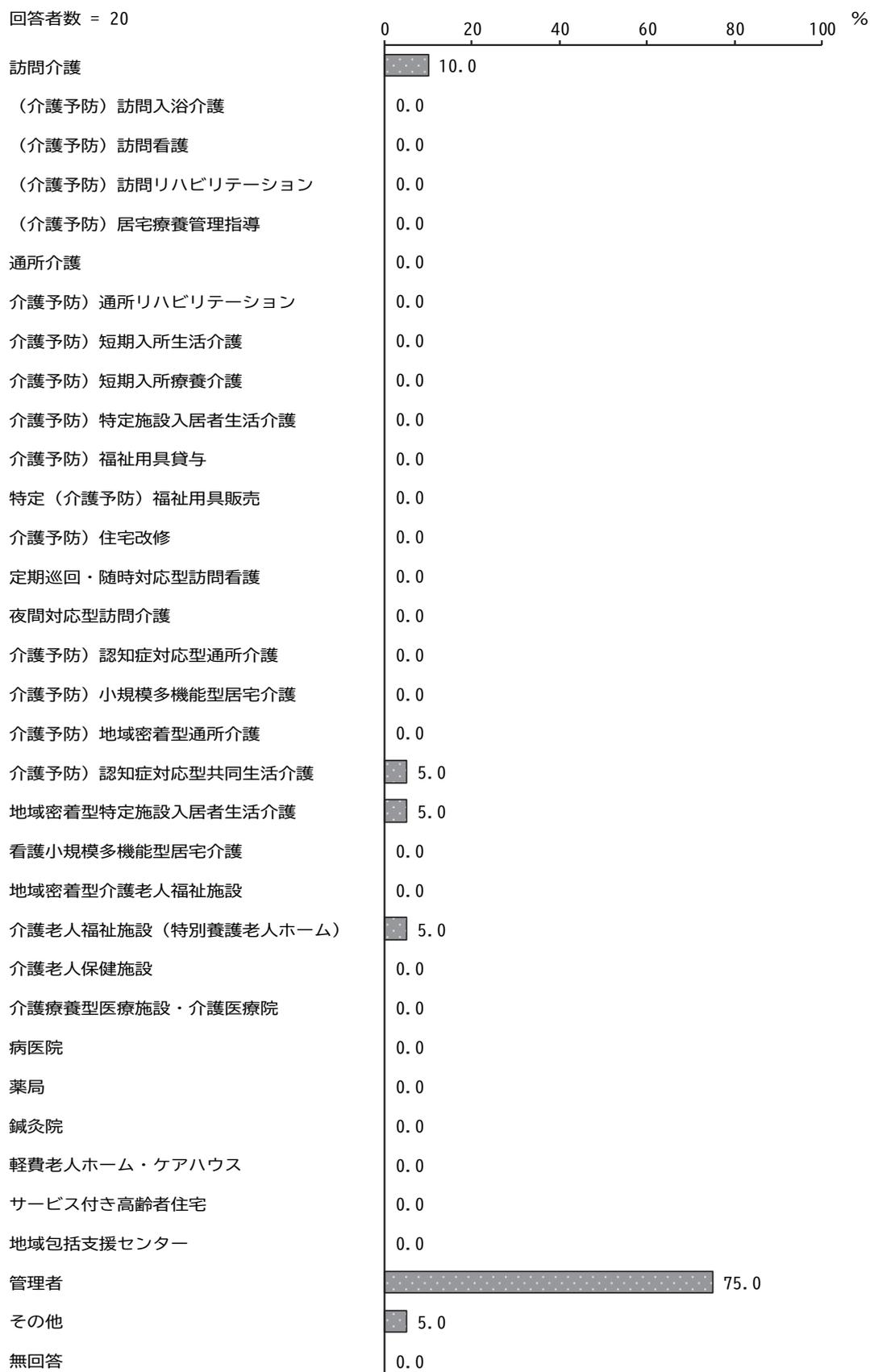
「9割」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「8割」の割合が 25.0%、「2割」、「5割」の割合が 10.0%となっています。



【問9で「2. 兼任」とお答えの方のみ】

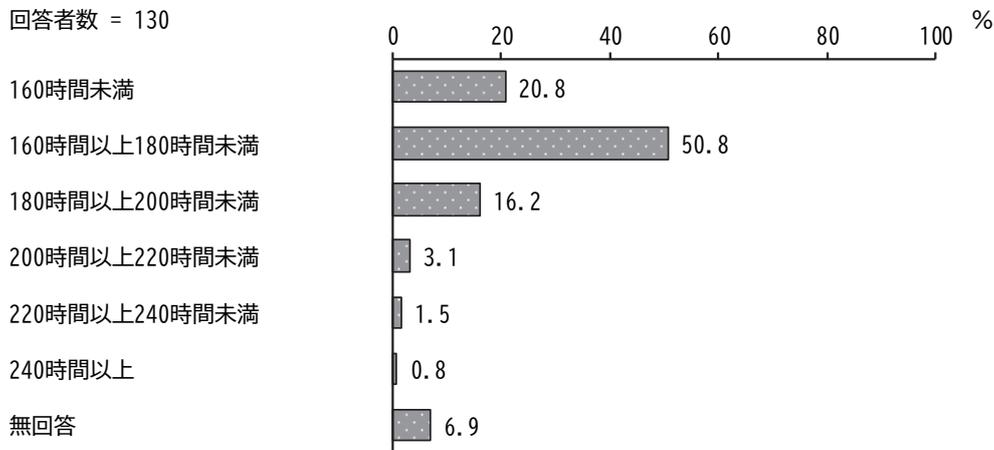
問9-2. 兼務している業務の種類をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

「管理者」の割合が75.0%と最も高く、次いで「訪問介護」の割合が10.0%となっています。



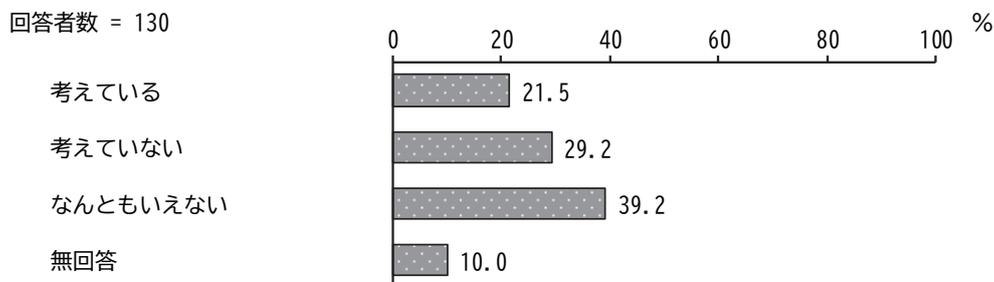
問 10. 令和4年10月の1ヶ月の実労働時間をお教えてください。(ひとつだけに○)

「160時間以上180時間未満」の割合が50.8%と最も高く、次いで「160時間未満」の割合が20.8%、「180時間以上200時間未満」の割合が16.2%となっています。



問 11. あなたはキャリアアップを考えていますか。(ひとつだけに○)

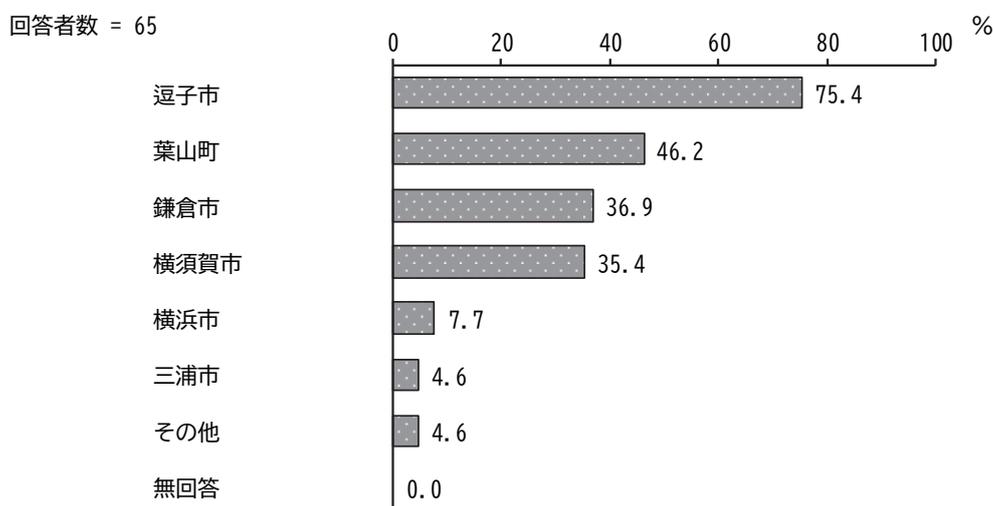
「なんともいえない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「考えていない」の割合が29.2%、「考えている」の割合が21.5%となっています。



(3) ケアプラン作成・給付管理業務などについて

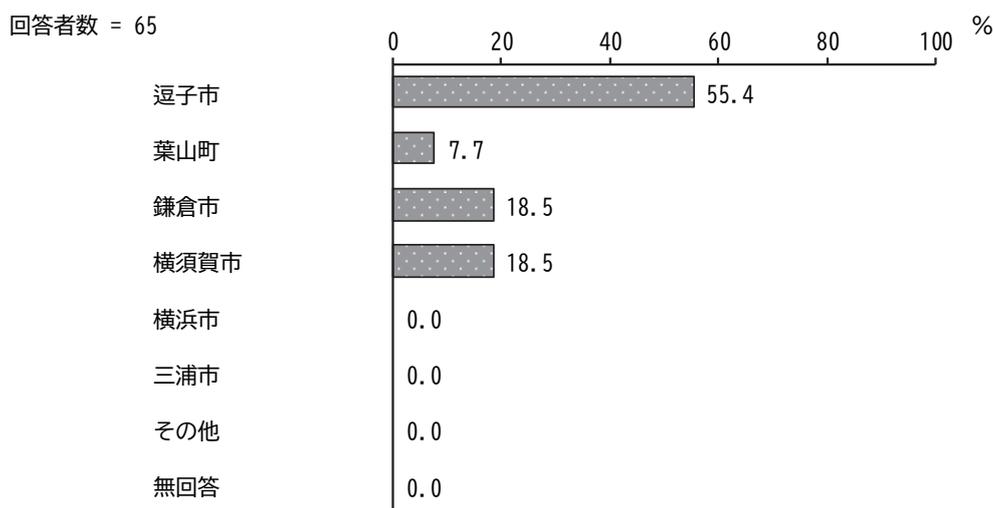
問 12. 依頼主の居住地（市町村名）をお知らせください。（あてはまるものすべてに○）

「逗子市」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「葉山町」の割合が 46.2%、「鎌倉市」の割合が 36.9%となっています。



問 13. 依頼主の最も多い居住地をお知らせください。（ひとつだけに○）

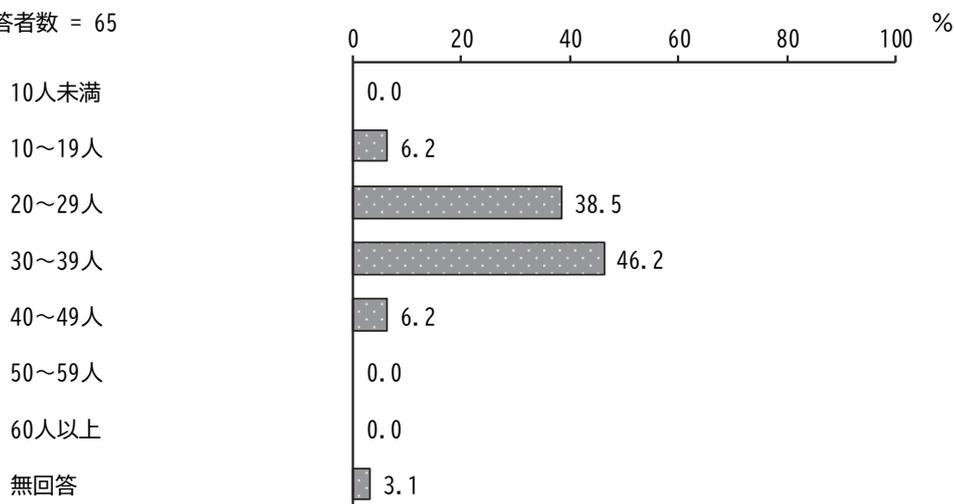
「逗子市」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「鎌倉市」、「横須賀市」の割合が 18.5%となっています。



問 14. 在宅での利用者の状況を考えたとき、ケアマネジャー（常勤で専任）1人あたり1か月間で何人の利用者を担当するのが適切であると考えますか。（ひとつだけに○）

「30～39人」の割合が46.2%と最も高く、次いで「20～29人」の割合が38.5%となっています。

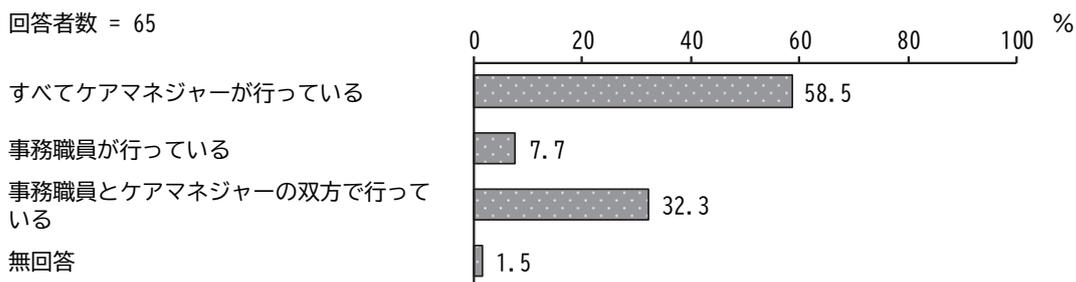
回答者数 = 65



問 15. 給付管理業務は、どのような方法で実施していますか。（ひとつだけに○）

「すべてケアマネジャーが行っている」の割合が58.5%と最も高く、次いで「事務職員とケアマネジャーの双方で行っている」の割合が32.3%となっています。

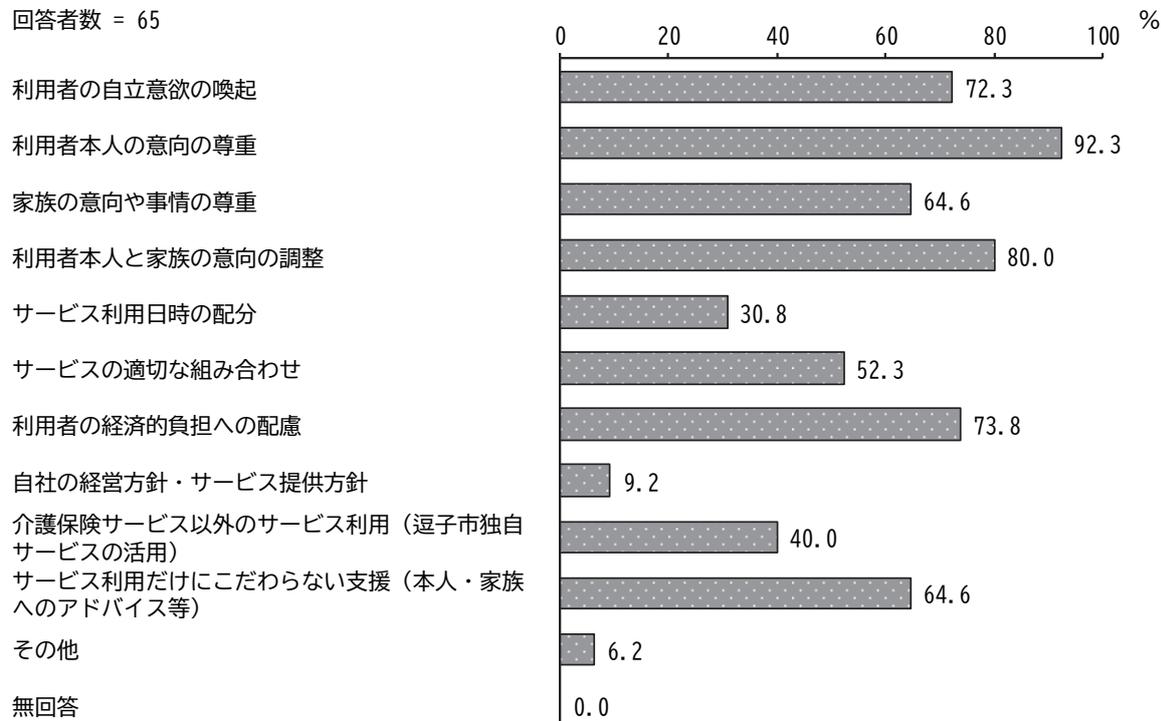
回答者数 = 65



問 16. ケアプラン作成に際し、あなたが重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「利用者本人の意向の尊重」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「利用者本人と家族の意向の調整」の割合が 80.0%、「利用者の経済的負担への配慮」の割合が 73.8%となっています。

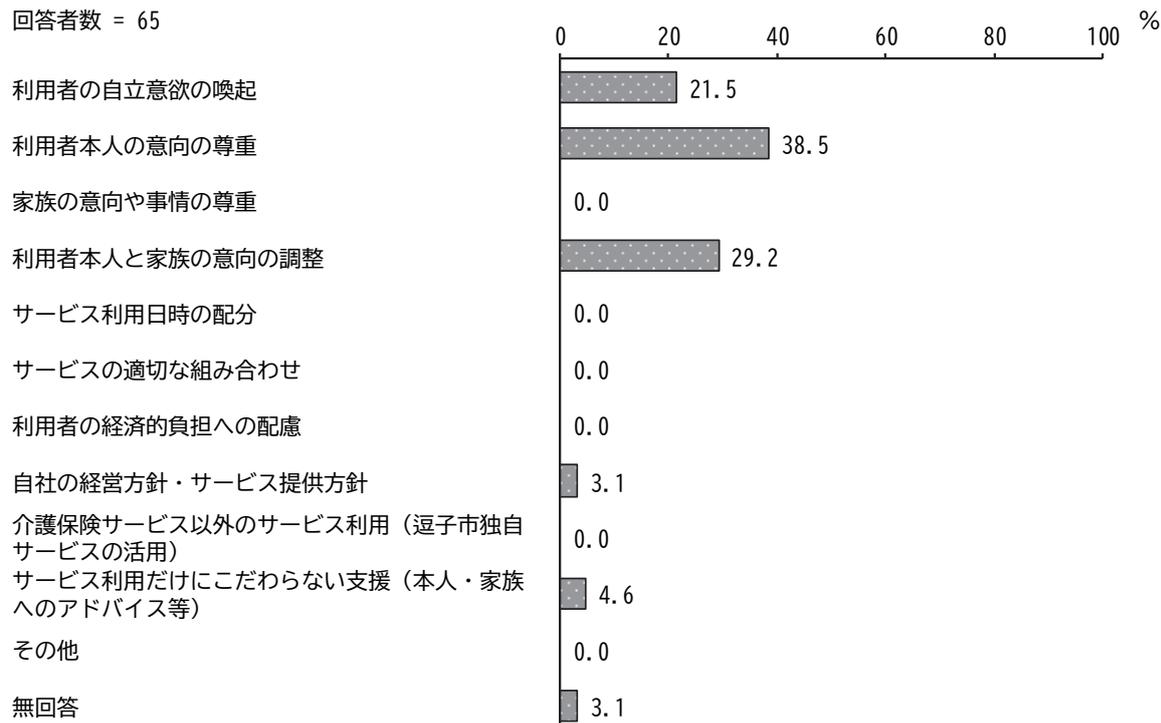
回答者数 = 65



問 17. 問 16 の中でも、最も重視していることは何ですか。(番号でひとつだけ回答してください)

「利用者本人の意向の尊重」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「利用者本人と家族の意向の調整」の割合が 29.2%、「利用者の自立意欲の喚起」の割合が 21.5%となっています。

回答者数 = 65



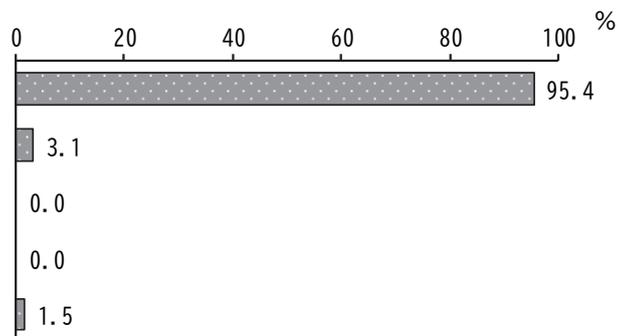
問 18. あなたは、ケアプランをどのように作成するようにしていますか。(それぞれについてひとつだけに○)

①ケアプラン作成への利用者・家族の意向

「必ず利用者本人と家族双方の意向を聞くようにしている」の割合が 95.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 65

必ず利用者本人と家族双方の意向を聞くようにしている
 利用者本人または家族いずれかの意向を聞くようにしている
 家族がいても利用者本人の意向だけを聞くようにしている
 その他
 無回答

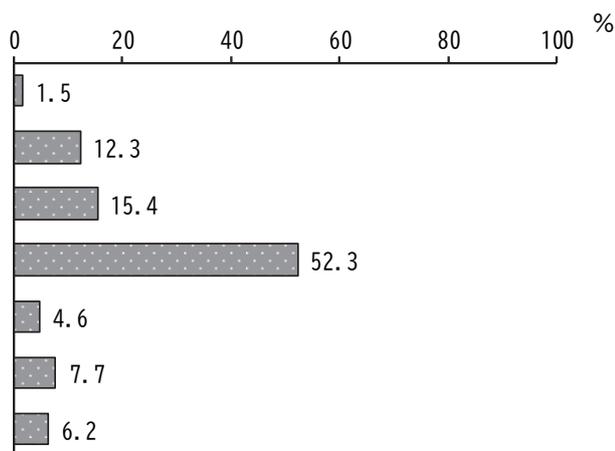


②主治医との連携

「必要に応じて主治医に電話・ファックス等で連絡を取るようになっている」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「必要に応じて主治医に文書で連絡を取るようになっている」の割合が 15.4%、「主治医に必ず電話・ファックス等で連絡を取るようになっている」の割合が 12.3%となっています。

回答者数 = 65

主治医に必ず文書で連絡を取るようになっている
 主治医に必ず電話・ファックス等で連絡を取るようになっている
 必要に応じて主治医に文書で連絡を取るようになっている
 必要に応じて主治医に電話・ファックス等で連絡を取るようになっている
 主治医への連絡はとくに取っていない
 その他
 無回答

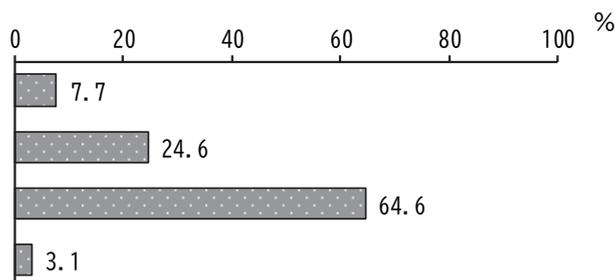


問 19. ケアプラン作成時に、所属事務所による経営的観点からの条件提示や指示が行われていますか。(ひとつだけに○)

「行われない」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「行われる場合もある」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 65

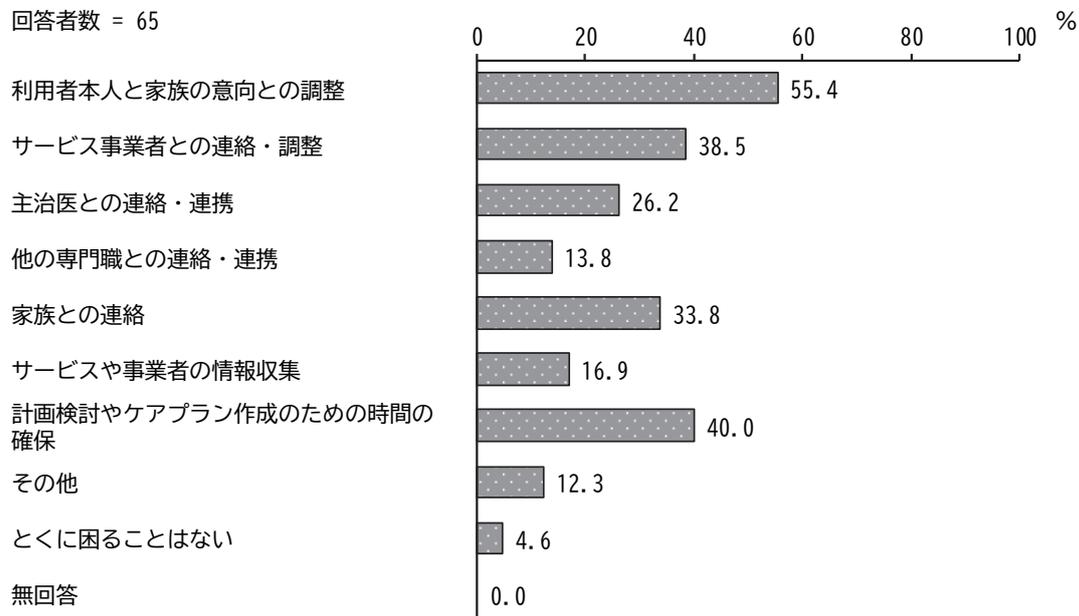
ほとんどの場合に行われる
 行われる場合もある
 行われない
 無回答



問 20. ケアプラン作成にあたり、困ることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「利用者本人と家族の意向との調整」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「計画検討やケアプラン作成のための時間の確保」の割合が 40.0%、「サービス事業者との連絡・調整」の割合が 38.5%となっています。

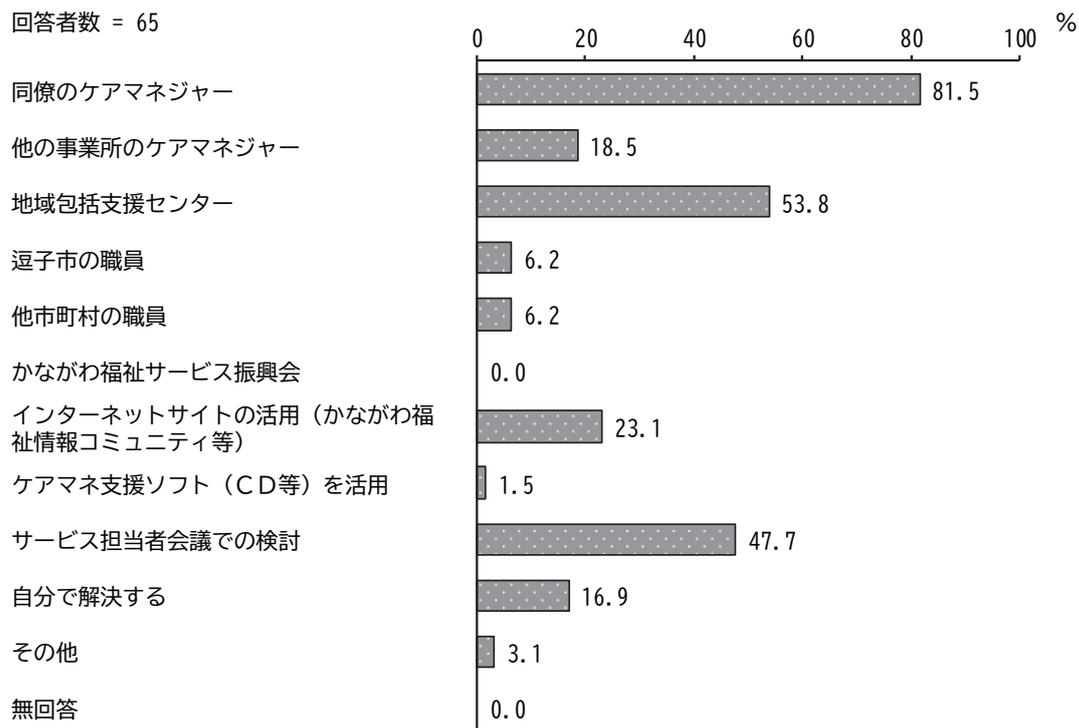
回答者数 = 65



問 21. ケアプラン作成で困ったとき、誰（どこ）に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「同僚のケアマネジャー」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 53.8%、「サービス担当者会議での検討」の割合が 47.7%となっています。

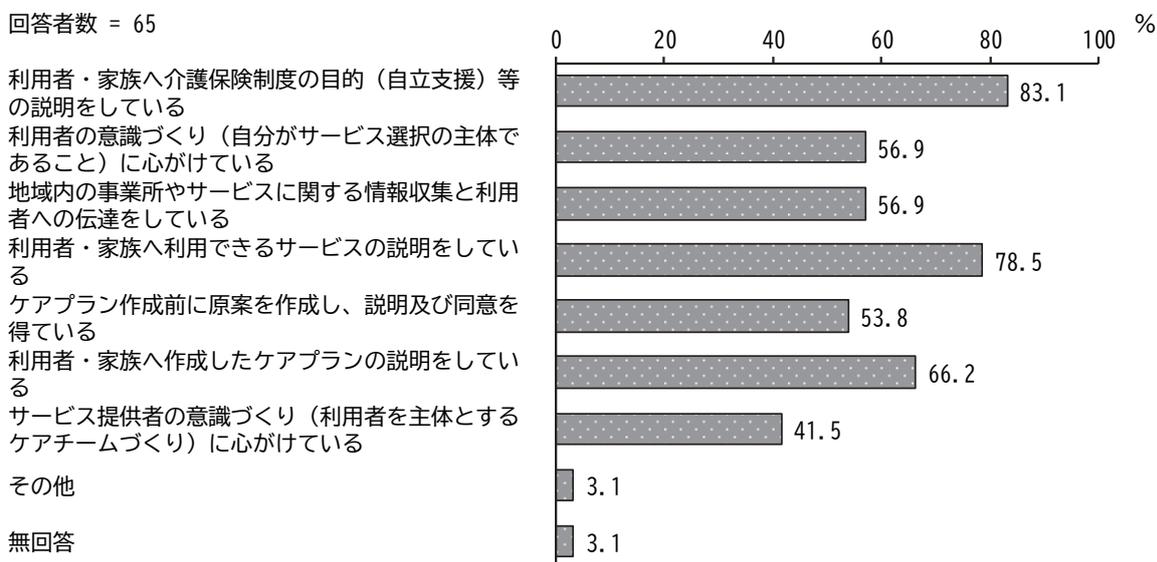
回答者数 = 65



問 22. 利用者が主体的にサービスを選択・利用できるよう、あなたが心がけていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「利用者・家族へ介護保険制度の目的（自立支援）等の説明をしている」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「利用者・家族へ利用できるサービスの説明をしている」の割合が 78.5%、「利用者・家族へ作成したケアプランの説明をしている」の割合が 66.2%となっています。

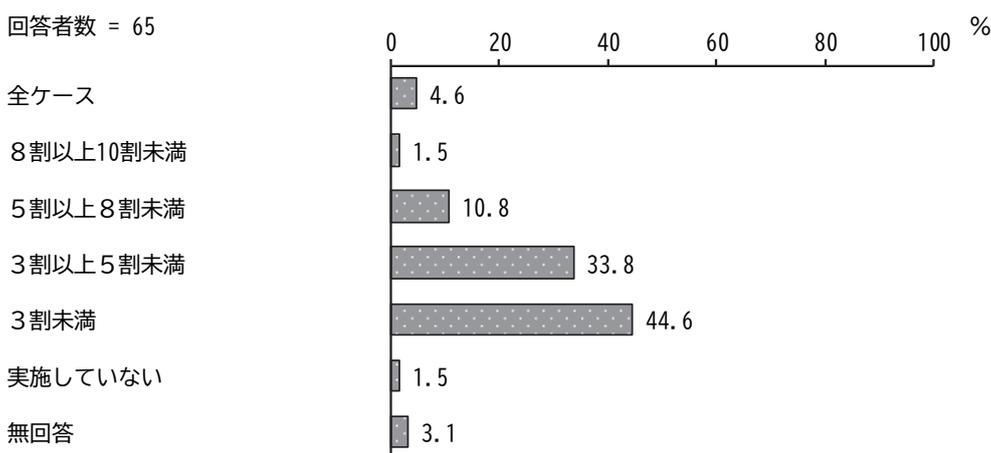
回答者数 = 65



問 23. サービス担当者会議で利用者の主治医と連携しているケースはどのくらいありますか。(ひとつだけに○)

「3割未満」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「3割以上5割未満」の割合が 33.8%、「5割以上8割未満」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 65



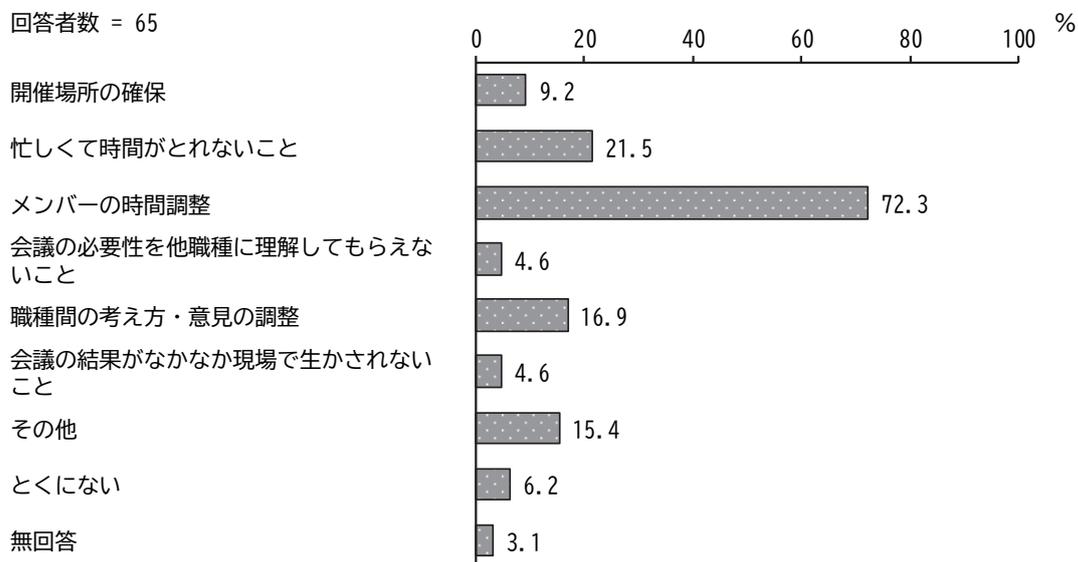
【問 23 で「6. 実施していない」と答えた方のみ】

問 23-1. 実施していない理由は何ですか。(ひとつだけに○)

有効回答がありません。

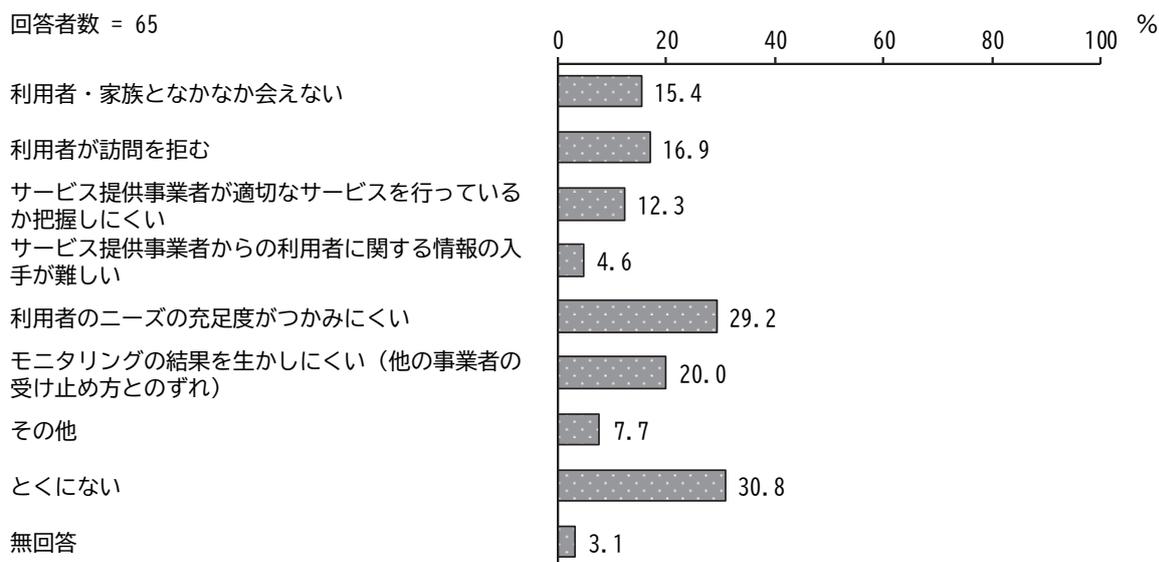
問 24. サービス担当者会議でとくに問題となる点についておたずねします。(あてはまるもの3つまでに○)

「メンバーの時間調整」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「忙しくて時間がとれないこと」の割合が 21.5%、「職種間の考え方・意見の調整」の割合が 16.9%となっています。



問 25. モニタリング（サービスの継続的把握・評価）の実施について、問題となる点についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

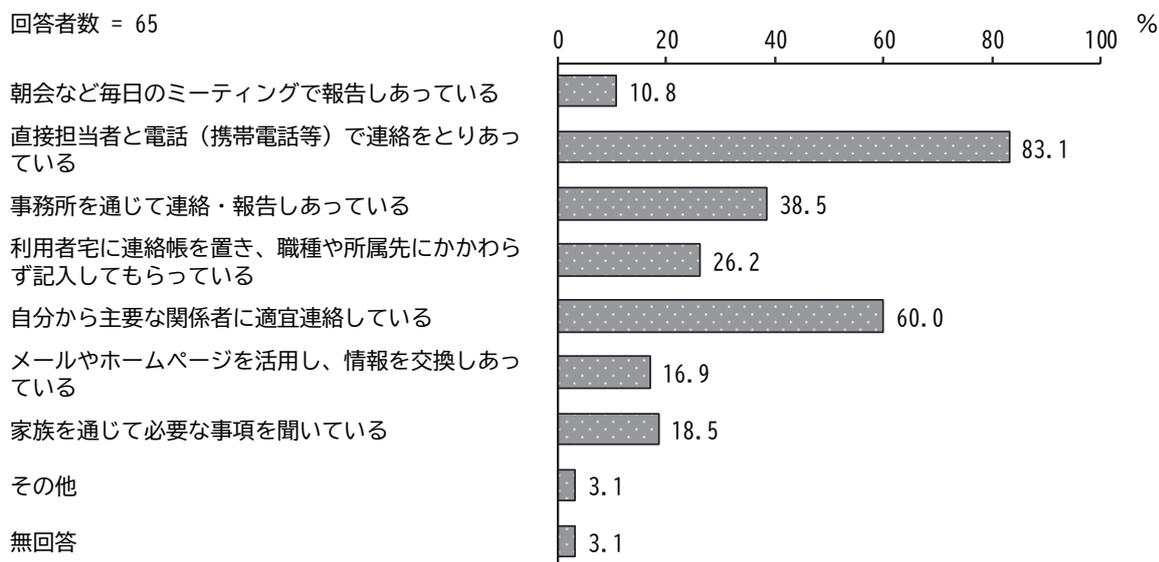
「とくにない」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「利用者のニーズの充足度がつかみにくい」の割合が 29.2%、「モニタリングの結果を生かすにくい（他の事業者の受け止め方とのずれ）」の割合が 20.0%となっています。



問 26. サービス担当者（事業者）間の連絡は、主にどのように行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「直接担当者と電話（携帯電話等）で連絡をとりあっている」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「自分から主要な関係者に適宜連絡している」の割合が 60.0%、「事務所を通じて連絡・報告しあっている」の割合が 38.5%となっています。

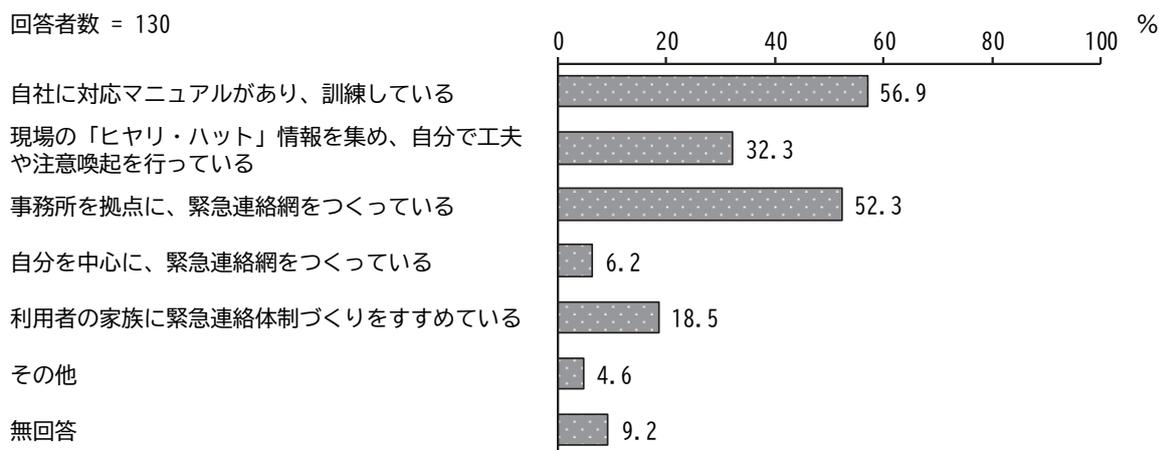
回答者数 = 65



問 27. 利用者の体調変化、災害対応、業務上のアクシデントなど緊急時への対策についておたずねします。（あてはまるものすべてに○）

「自社に対応マニュアルがあり、訓練している」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「事務所を拠点に、緊急連絡網をつくっている」の割合が 52.3%、「現場の「ヒヤリ・ハット」情報を集め、自分で工夫や注意喚起を行っている」の割合が 32.3%となっています。

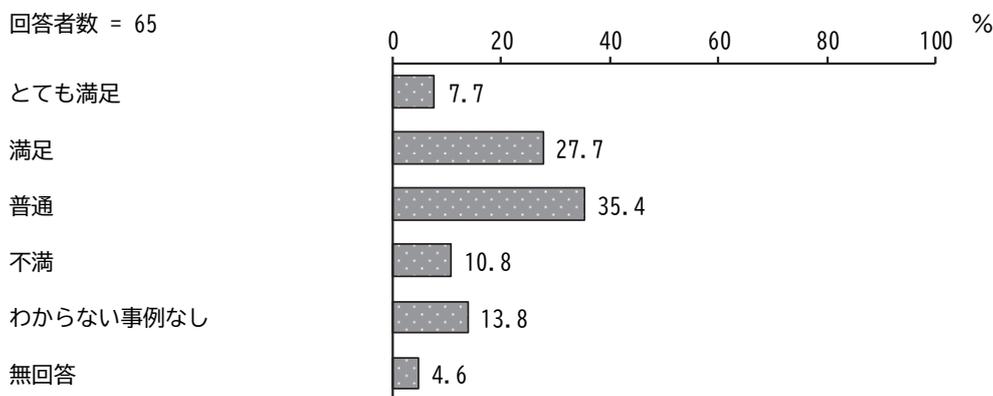
回答者数 = 130



問 28. 地域包括支援センターへの相談等における対応について、満足度をお答えください。(①～④の項目ごとに1つだけに○)

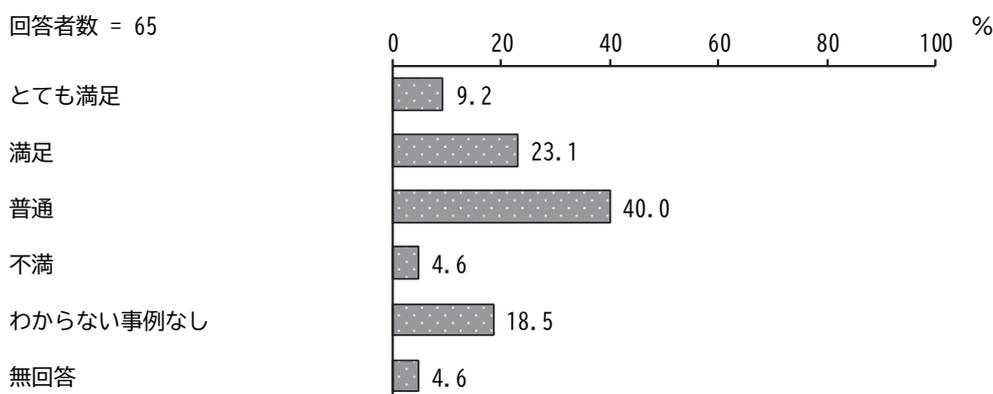
①あなたからの相談や問い合わせに対する迅速な対応について

「普通」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「満足」の割合が 27.7%、「わからない事例なし」の割合が 13.8%となっています。



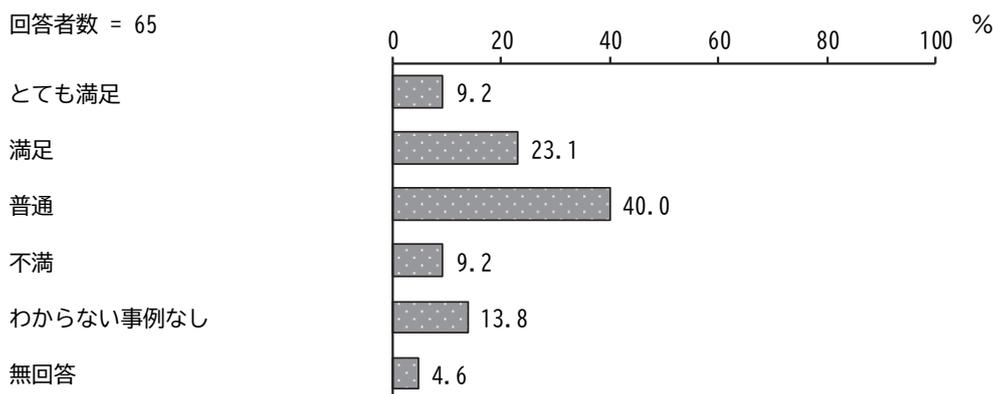
②あなたから相談したケースの経過や結果等の状況報告について

「普通」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「満足」の割合が 23.1%、「わからない事例なし」の割合が 18.5%となっています。



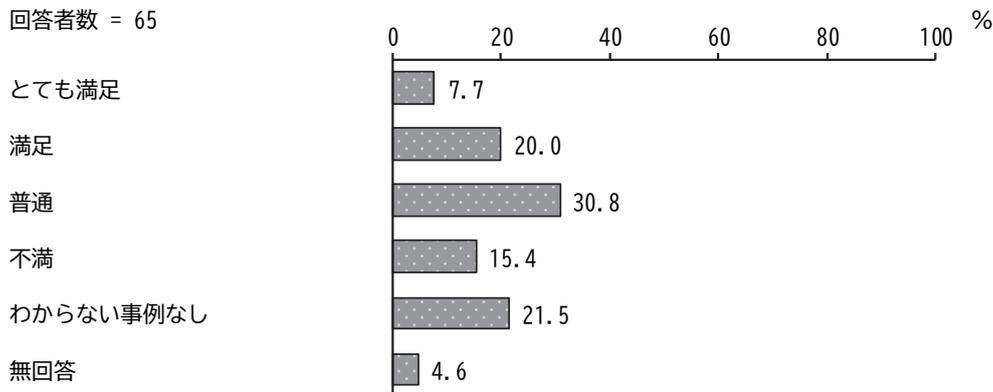
③あなたからの問い合わせや相談に対する、専門的な見地からの助言・支援について

「普通」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「満足」の割合が 23.1%、「わからない事例なし」の割合が 13.8%となっています。



④支援困難ケース（高齢者虐待、権利擁護等に関する専門的な助言等について）

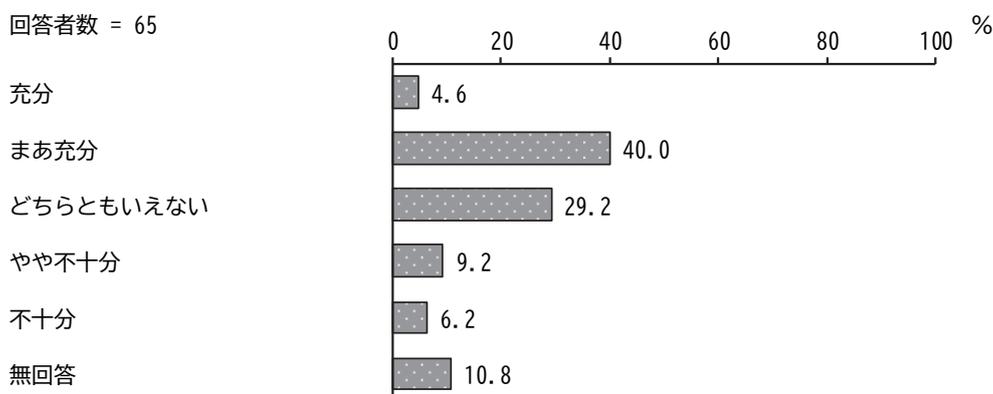
「普通」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「わからない事例なし」の割合が 21.5%、「満足」の割合が 20.0%となっています。



問 29. 地域包括支援センターの果たしている役割について、各取り組みの充実の度合いについて、あなたの考えをお答えください。(①～⑤の項目ごとに1つだけに○)

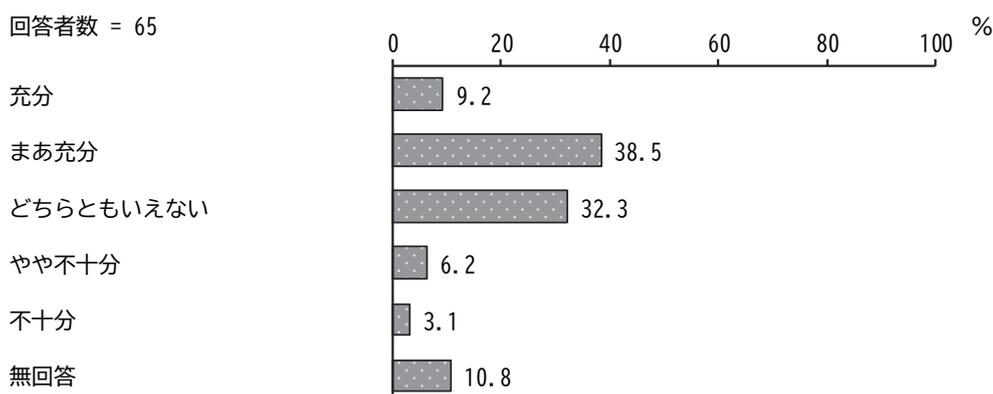
①地域の資源、市の制度や施策等に関する情報提供について

「まあ充分」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 29.2%となっています。



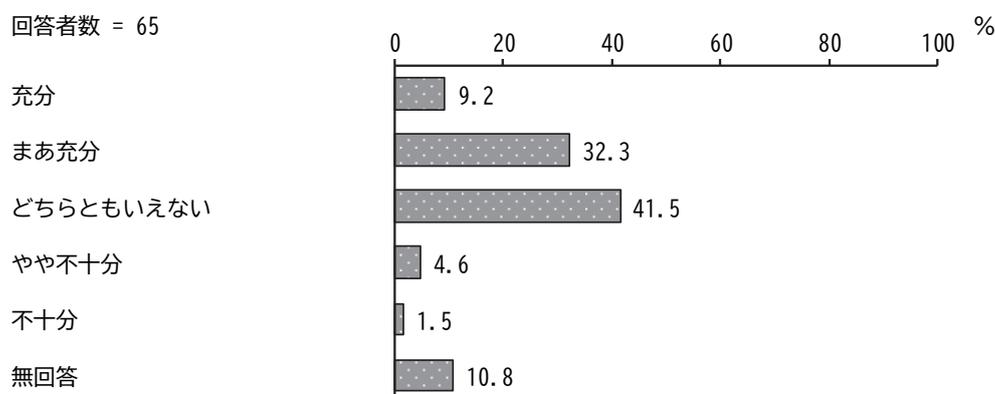
②地域における会合や行事へ参加し、関係者との連携体制構築の働きかけをしているかについて

「まあ充分」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 32.3%となっています。



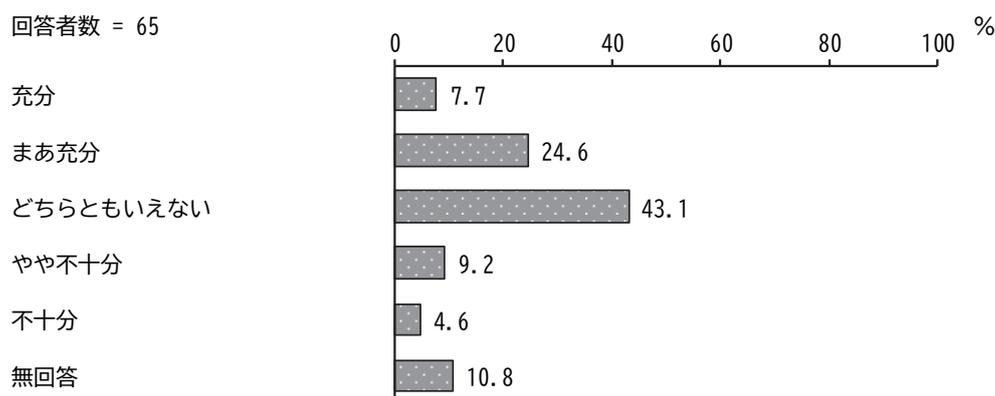
③講習会やセミナー等、事業所職員に関する資質向上・人材育成への取り組みについて

「どちらともいえない」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 32.3%となっています。



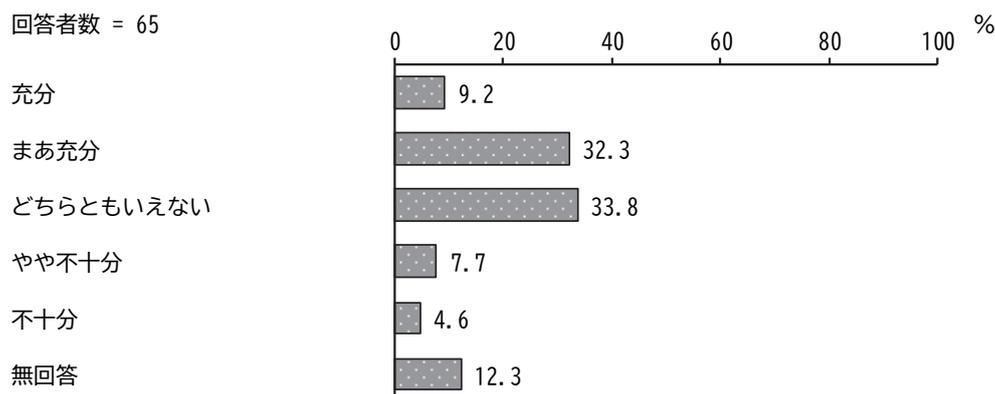
④地域包括ケア体制の核としての、姿勢・役割について

「どちらともいえない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 24.6%となっています。



⑤悩みや相談等がしやすい体制について

「どちらともいえない」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「まあ充分」の割合が 32.3%となっています。



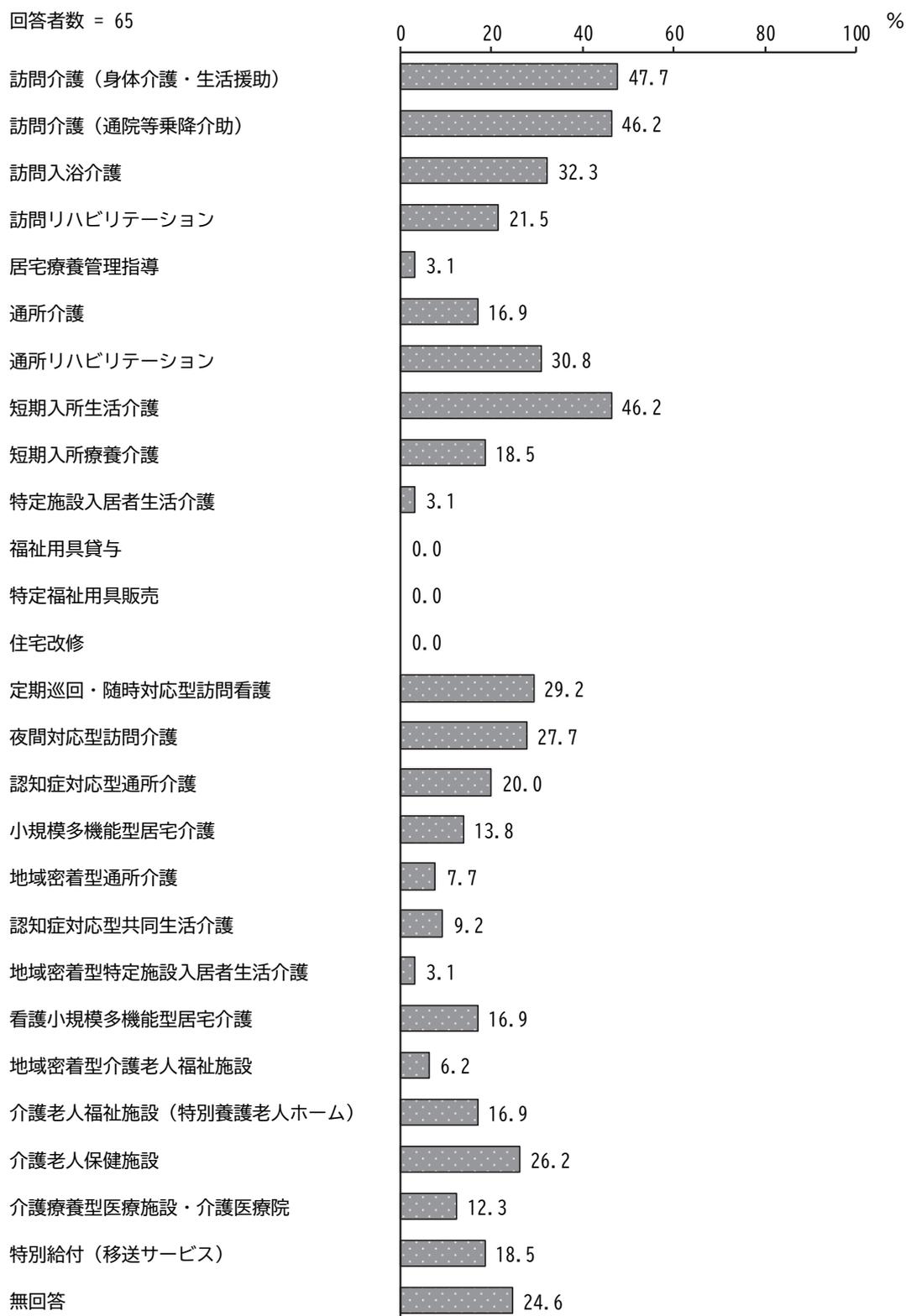
問 30. 逗子市における地域包括支援センターとの連絡体制について、今後の望ましいあり方など、あなたの現在の実感やお考えをご記入ください。
(原文のまま掲載しています。)

- ・地域包括支援センターの開所時間について、原則、365日24時間相談が出来る体制であって欲しい。緊急対応すべき。神奈川県問題といわれるが様々な専門職、人員が確保されているのだから、力を発揮して、サロンの立ちあげをして運営は各グループにまかせてよいと思うが包括の役割は下支えでよいと思う。地域での困難ケースへの積極的な介入と事業所への助言、共働を期待しています。
- ・現在はコロナ対策で実施頻度は少なくなっているが、研修会等々交流機会をつくり、顔の見える関係づくりが大切と感じている。
- ・困難事例はないが、急な施設入居（ショートステイ）の相談に応じてもらった。
- ・包括の事業なので、365日体制が適切かと思われます。
- ・対等な立場での話が出来れば相談しやすい。
- ・困難事例は一緒に関わってほしい。担当の方によって対応が違うことがある。
- ・地域包括支援センターそのものが忙しいので、もう少し余裕のある業務体制を構築して欲しい。
- ・各地域包括支援センターへ業務を押し付けるのであれば、人件費を厚くしなければ専門職も疲弊し離職します。地域包括支援センターの役割を重要視するのであれば、相応のステータスを保険者は持たせる事が重要と考えます。
- ・地域ケア会議の活用、相談しやすい関係づくり。こういったアンケートも、考える時間がもてて良いと思います。
- ・逗子市に勤務していた時は、良く相談していました。研修等もあり良かったと思います。横須賀市は地域によって全く対応が違う。
- ・ホームページ等も今のままで分かりやすいです。

(4) 本市の提供サービスについて

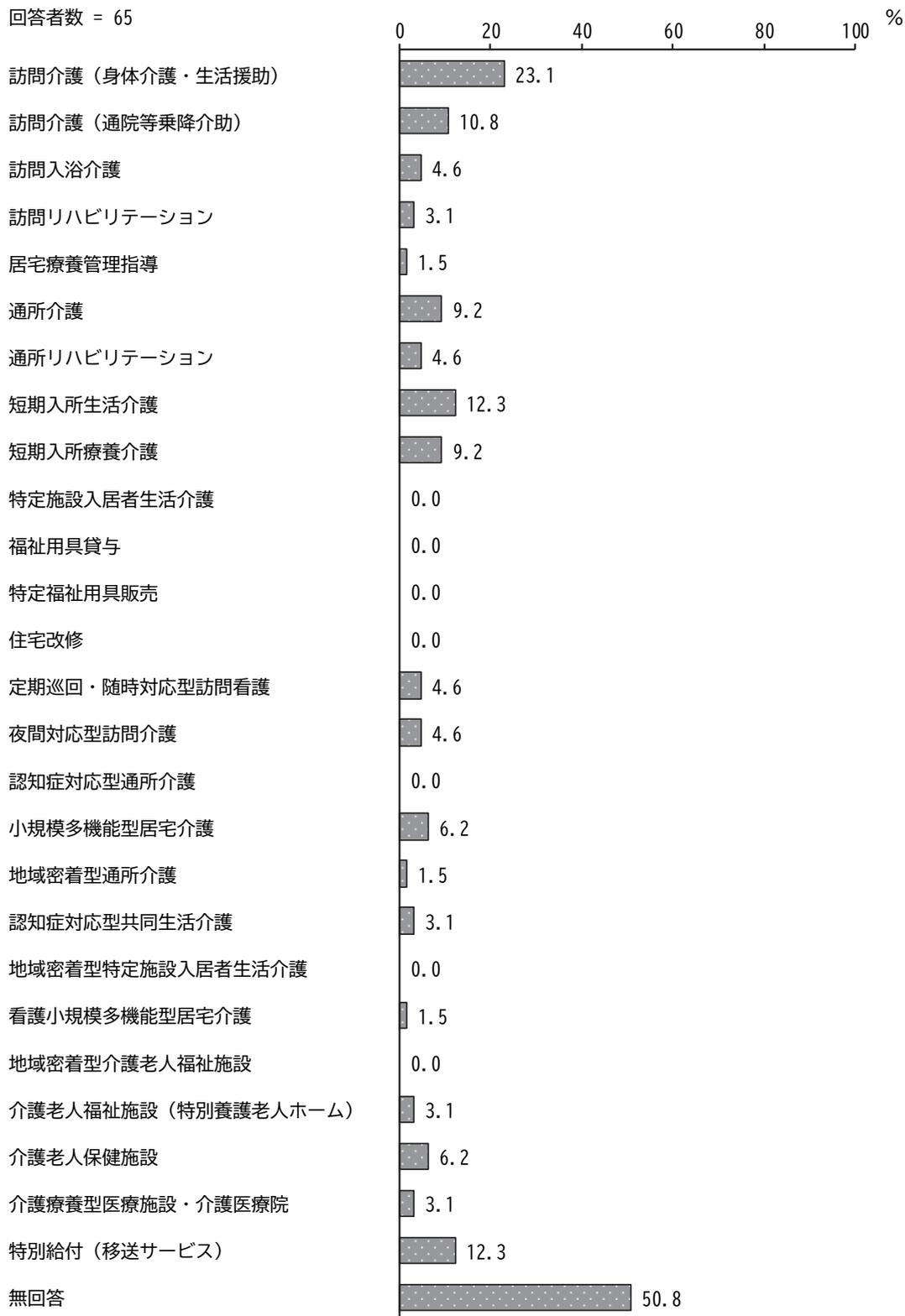
問 31. 逗子市における介護保険サービスの量は、あなたからみて適切ですか。不足していると思われるサービスをお示しください。(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護（身体介護・生活援助）」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「訪問介護（通院等乗降介助）」、「短期入所生活介護」の割合が 46.2%となっています。



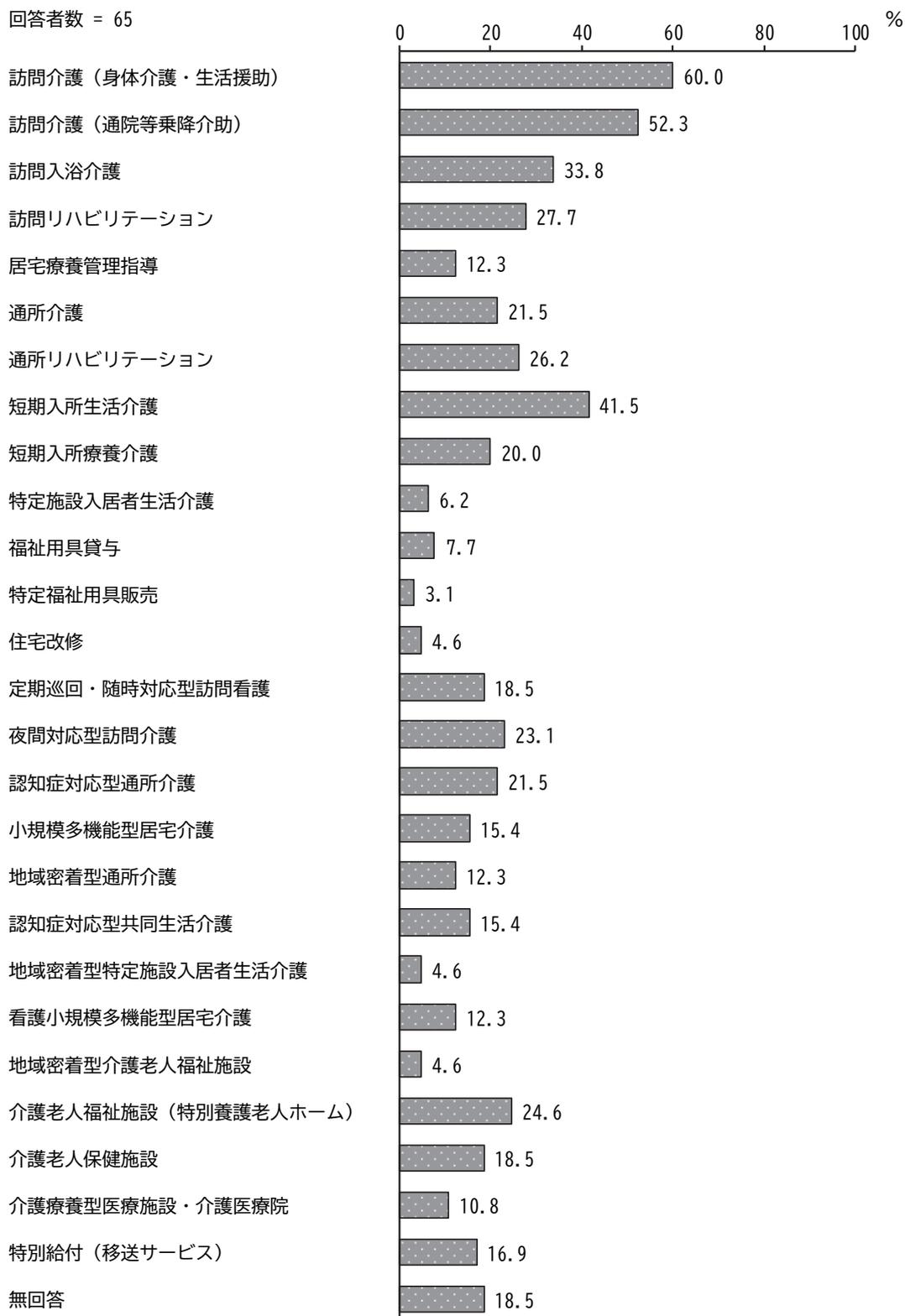
問 32. 逗子市における介護保険サービスの質は、あなたからみて適切ですか。質の改善が必要であると思われるサービスをお示しください。(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護（身体介護・生活援助）」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「短期入所生活介護」、「特別給付（移送サービス）」の割合が 12.3%となっています。



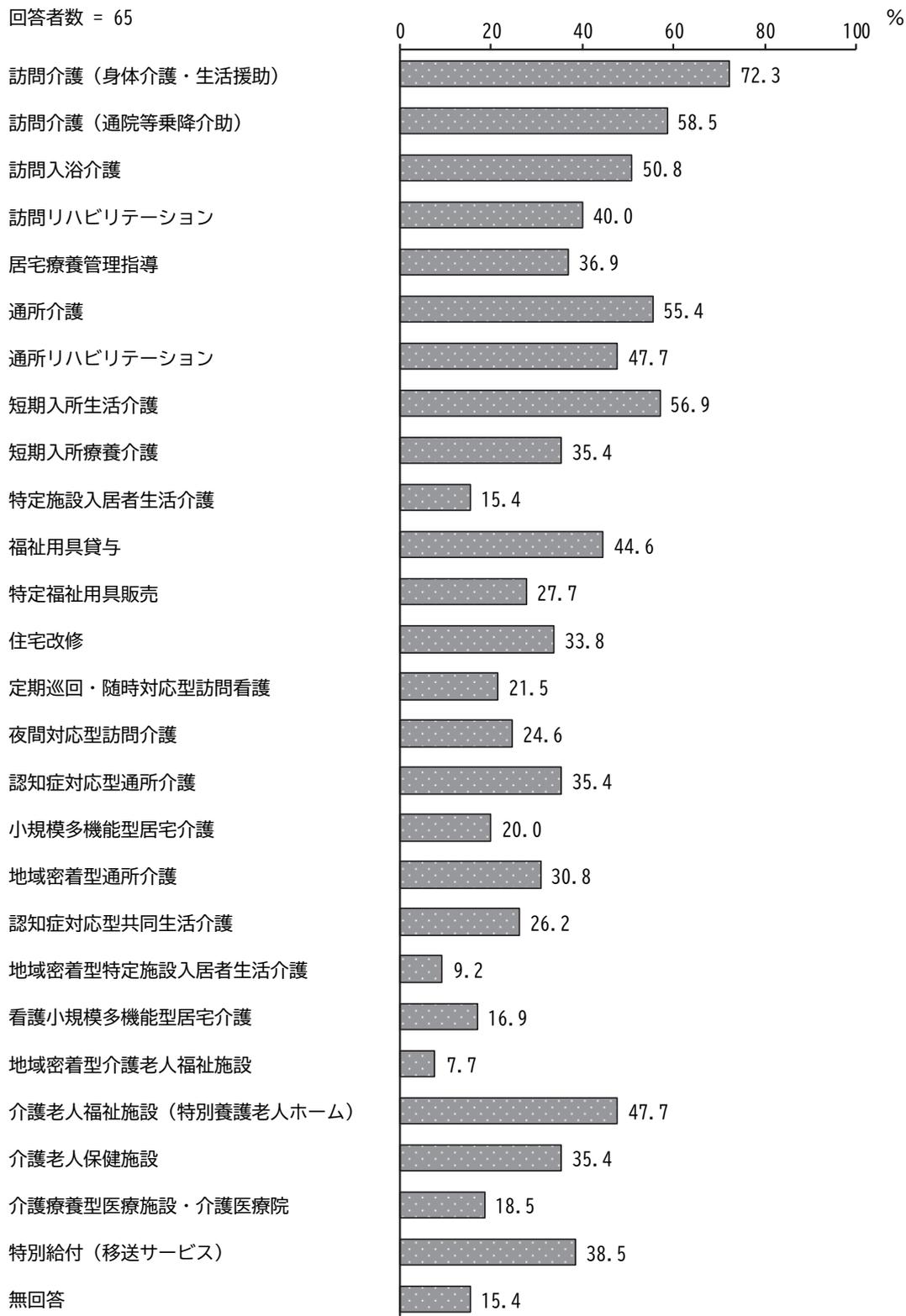
問 33. 逗子市における介護保険サービスで今後の需要の増加が見込まれるものをお示しください。(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護（身体介護・生活援助）」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「訪問介護（通院等乗降介助）」の割合が 52.3%、「短期入所生活介護」の割合が 41.5%となっています。



問 34. 逗子市の福祉サービスで今後も必要であるとお考えのサービスをお示ください。(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護（身体介護・生活援助）」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「訪問介護（通院等乗降介助）」の割合が 58.5%、「短期入所生活介護」の割合が 56.9%となっています。



問 35. 逗子市におけるサービス利用について、お気づきの点・とくに問題とを感じる点などありましたら、ご自由にお書きください。(原文のまま掲載しています。)

【事務手続きや認定審査等について】

- ・介護保険の認定更新の際、他保険者の違い逗子市の方から自動延長の提案があると思っています。
- ・困難ケースについて包括、市からの支援が不足と感ずること多々あり、積極的な情報共有、役割分担があるとよいと思う。
- ・区分変更申請など丁寧に対心していただいている。
- ・施設のケアマネとして働いていて1つ困っている事があります。逗子市に限らず、介護保険更新、区分変更時の認定調査でご本人様面談、引き続き施設職員より生活状況を正確に報告させて頂くのですが、状態に合った結果がとて多く疑問に思う点です。調査員の方は、短い時間で要介護状態を決める情報を持ち帰られるので見合う（納得の行く）結果を出して頂きたいと思います。
- ・色々な手続きについて、なるべく簡素化してスピーディーにお願いしたい
- ・逗子市が保険者の方の介護申請を行ったが、とても迅速な対応だと感じた。他の行政より、申請時の前情報を伝える箇所が少ないと感じました。
- ・介護保険申請（更新）書のフォーマット（押印）、認定調査の特記事項のフォーマット（手書き）不備を感じる。
- ・更新申請特にお世話になっています。とても良く対応していただいています。
- ・施設入所者の介護保険限度額認定証の発行に困難がある人がいる（認知症本人が、通帳のコピーを家族にさせない人がいる）なんとかならないかを感じる。
- ・認定調査日及び保険証の交付も早く満足しています。特定施設のケアマネですが、本人又は家族の依頼により申請代行していますが、以前、施設ケアマネの代行は受けていないと言われました。他の自治体（近隣）では問題ないのですが、少し疑問に思います。

【介護サービスについて】

- ・短期入所生活介護（ショートステイ）が少なすぎる。横須賀、横浜にお願いしないと利用出来ない。
- ・夜間、早朝、土・日のサービス（訪問介護）がない。
- ・問 31 であげたように市内のサービス事業所が不足している。居宅支援事業所もそうだが、担当を他市の事業所に依頼する事が多くなっている。
- ・夜間の訪問介護を対応している事業所が少数。
- ・市内の住民が安心して利用できる特養や老健があるべきだと思います。市内でも歴史ある施設が滞滞していたり、市民の信頼が得られていない事は市の貴重な資源の損失ではないでしょうか。
- ・リハビリがきちんと行ってもらえる老健がない。老健が、ほぼ特養化している。加算はとっていても、適切なリハビリが受けられず、内容が伴っていない。
- ・施設入所でもオムツのサービスが利用できるのは助かります。

【その他】

- ・逗子市役所の職員さんについてはもっと気概を持って自分ごととして捉えて積極的及び能動的に動いてほしい。たまたま赴任した部署ではなくもっと強い福祉的精神で仕事をして欲しい。
- ・住民主体による訪問型サービス介護予防、機能向上トレーニングの利用は依頼を行ったことがな

いが、今後は、利用を考えたい。

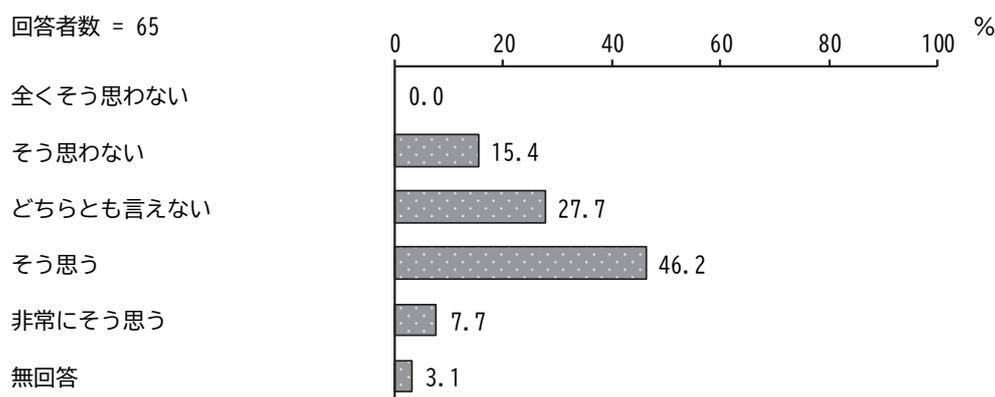
- ・移送サービスが充分でないため、月当たりのタクシー代がものすごく増えてしまっている人が増加している
- ・各サービス提供事業所とも人員不足のため、介護支援専門員からの依頼に断らざるを得ない状況が散見されます。物価上昇は以前より続いており、反面介護保険の各職種の賃金は上がり、実質賃金は下がるばかりでは、離職率を下げる事は困難となりサービス提供事業所の量や質も低下するばかりと考えます。
- ・ご家族様より、入所施設についてアナウンスがされていない旨を聞きます。また、緊急対応に対する悩み看取る場所についての不安等も在宅ケアマネから聞きます。当方では看取りや緊急の受け入れ行っていますが現状を知らないケアマネや家族が多く、どの様に広めれば良いか思案しています。
- ・老老介護や独居の人が増えている。急な体調の変化、介護者の病気など、急な変更が必要になった時、柔軟に対応できるようにしてほしい。

(5) 医療・介護連携について

問 36. 退院支援・調整について、どのように感じていますか。(①～⑥の項目ごとに1つだけ選択)

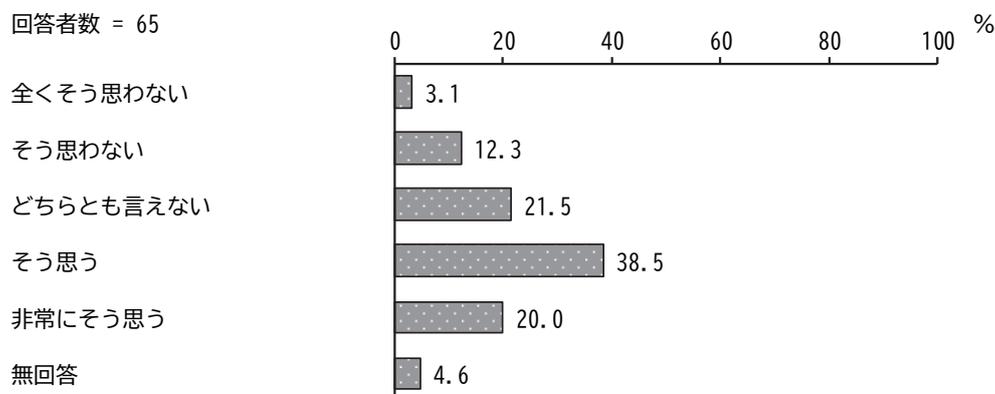
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。

「そう思う」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 27.7%、「そう思わない」の割合が 15.4%となっています。



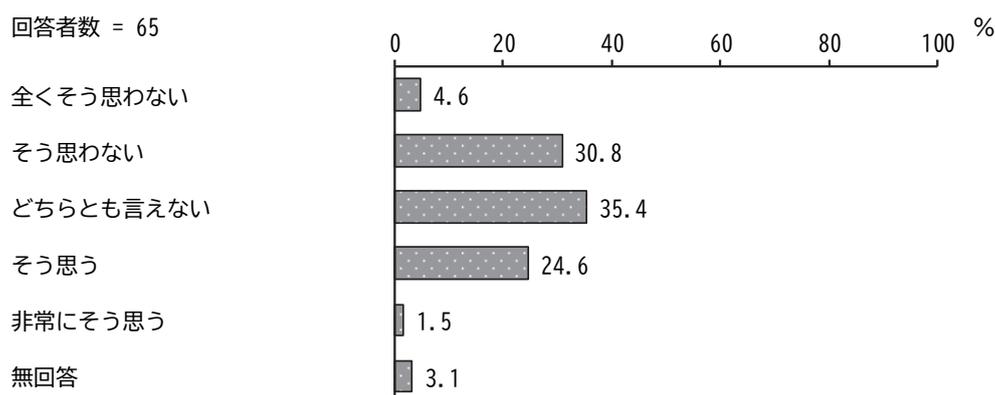
②病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。

「そう思う」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 21.5%、「非常にそう思う」の割合が 20.0%となっています。



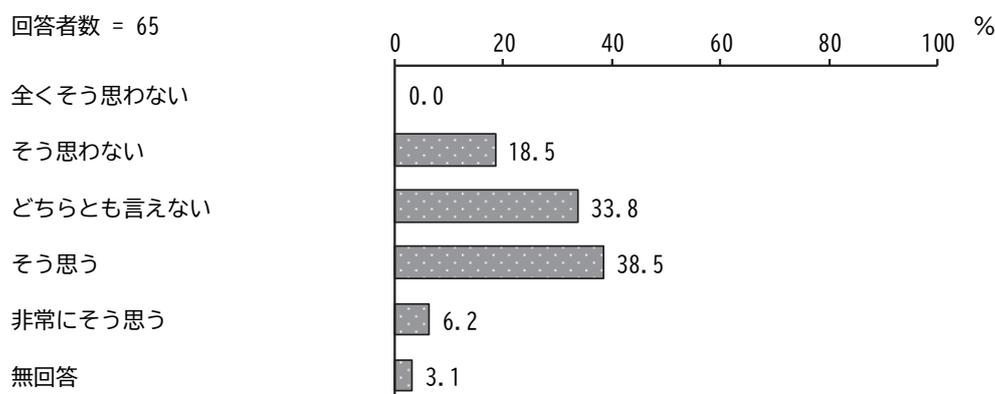
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。

「どちらとも言えない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が 30.8%、「そう思う」の割合が 24.6%となっています。



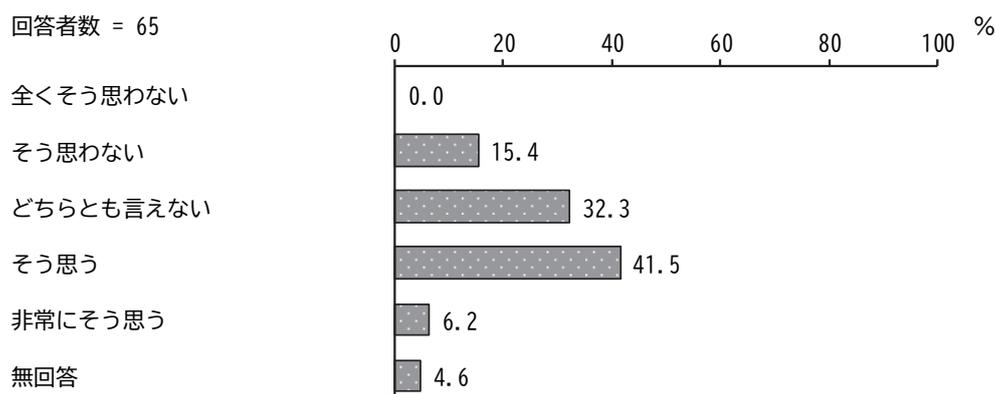
④退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている。

「そう思う」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 33.8%、「そう思わない」の割合が 18.5%となっています。



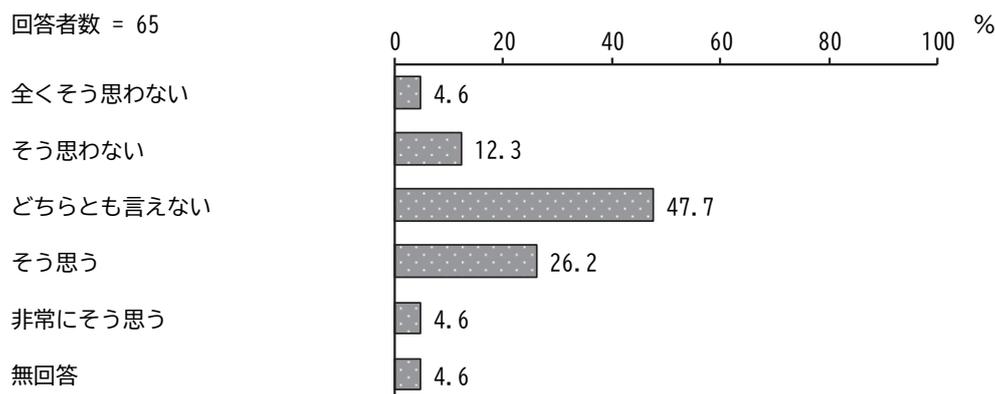
⑤入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。

「そう思う」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 32.3%、「そう思わない」の割合が 15.4%となっています。



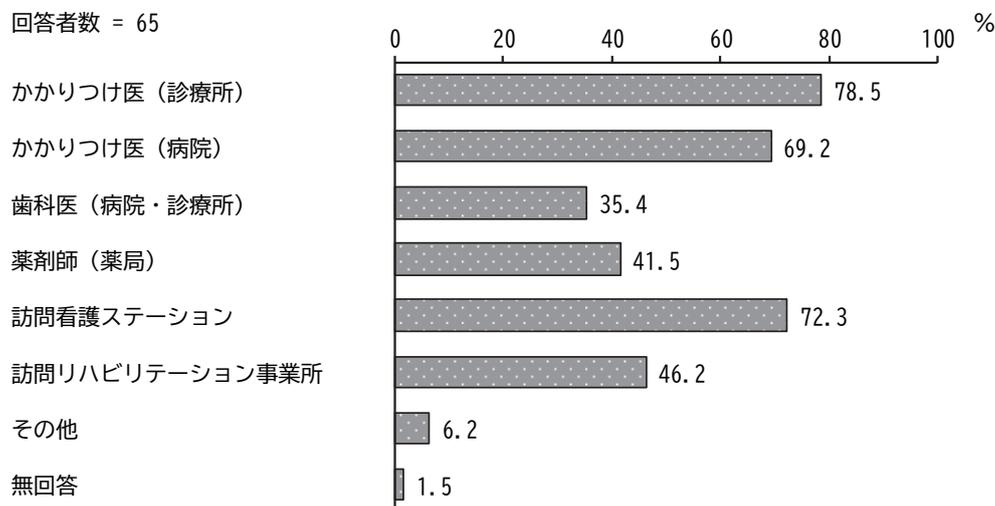
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。

「どちらとも言えない」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 26.2%、「そう思わない」の割合が 12.3%となっています。



問 37. 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

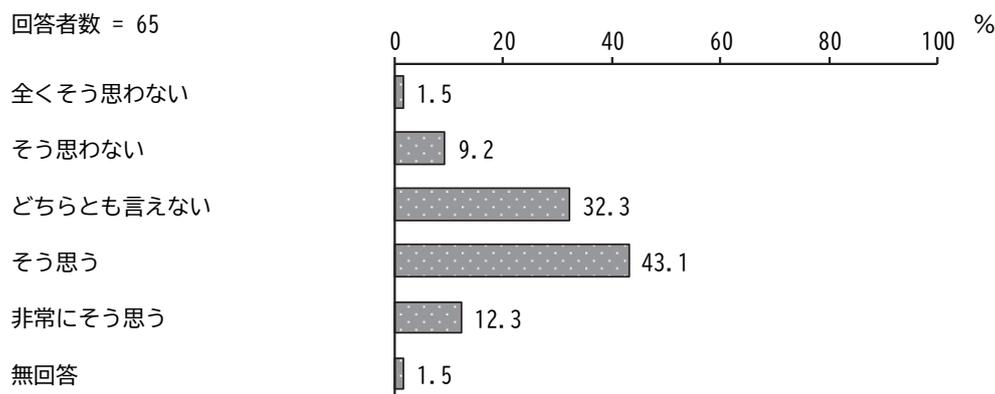
「かかりつけ医（診療所）」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「訪問看護ステーション」の割合が 72.3%、「かかりつけ医（病院）」の割合が 69.2%となっています。



問 38. 多職種連携について、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとに1つだけ選択)

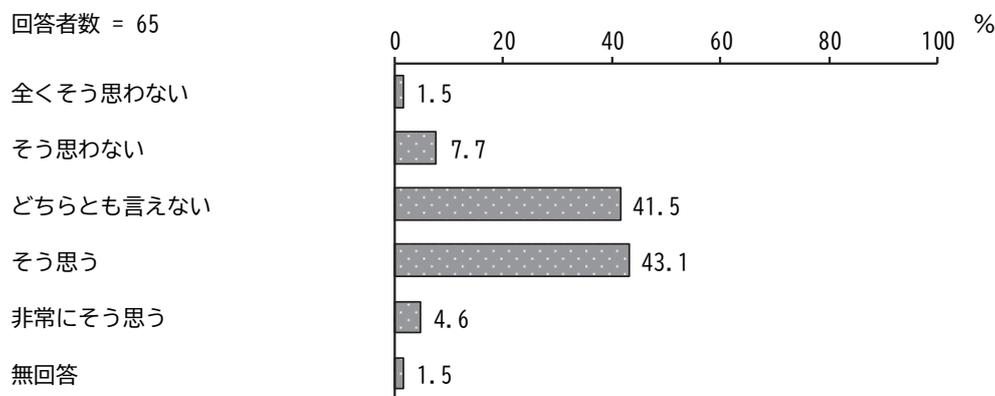
①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである。

「そう思う」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 32.3%、「非常にそう思う」の割合が 12.3%となっています。



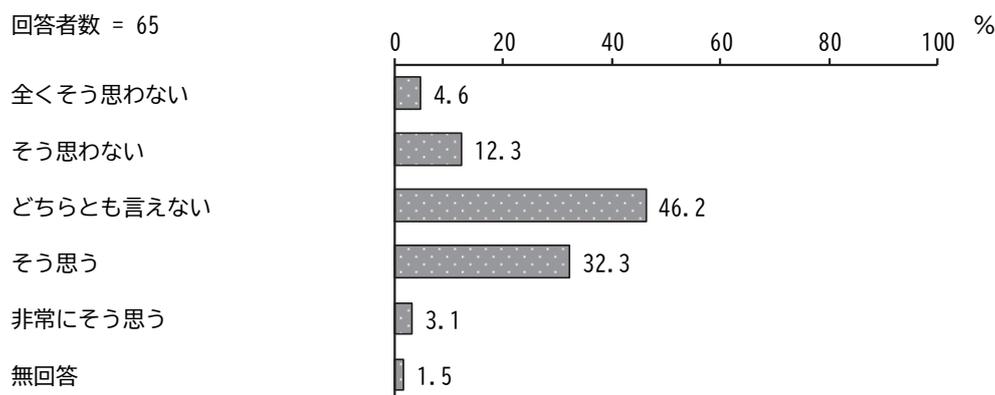
②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う。

「そう思う」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 41.5%となっています。



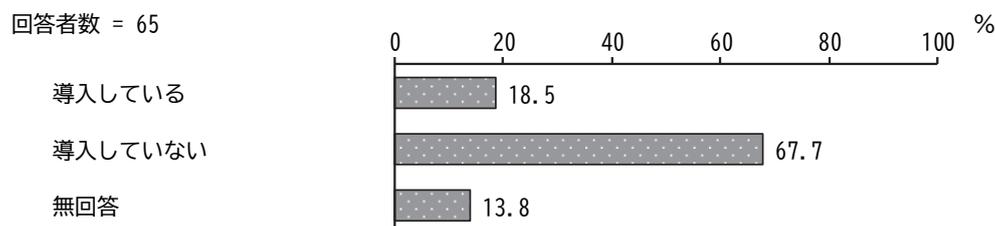
③多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができています。

「どちらとも言えない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 32.3%、「そう思わない」の割合が 12.3%となっています。



問 39. 問 38 の①について、すでにそういったシステムや仕組みを導入していますか。
(どちらかに○)

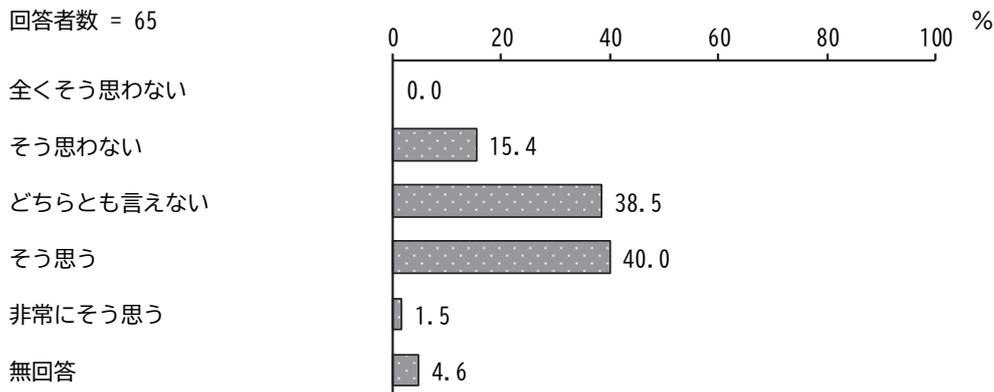
「導入している」の割合が 18.5%、「導入していない」の割合が 67.7%となっています。



問 40. 急変時の対応について、どのように感じていますか。(①～②の項目ごとに1つだけ選択)

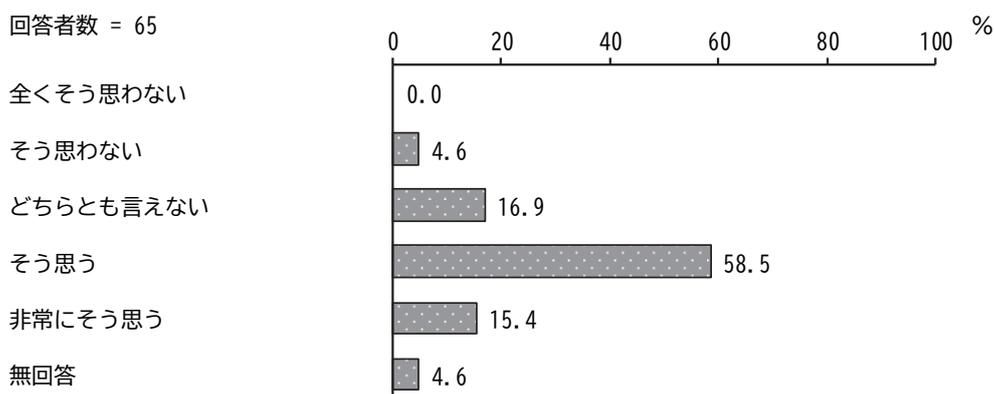
①急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができています。

「そう思う」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 38.5%、「そう思わない」の割合が 15.4%となっています。



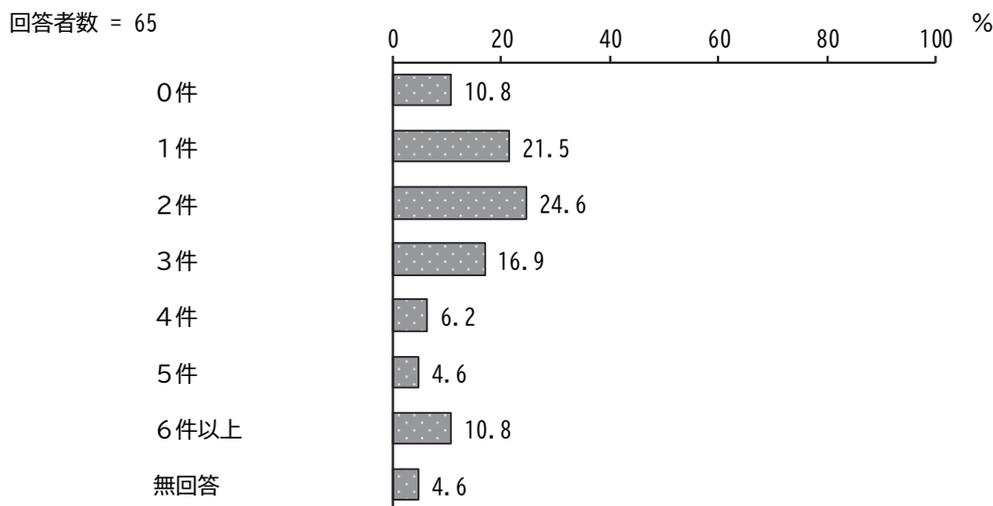
②休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある。

「そう思う」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 16.9%、「非常にそう思う」の割合が 15.4%となっています。



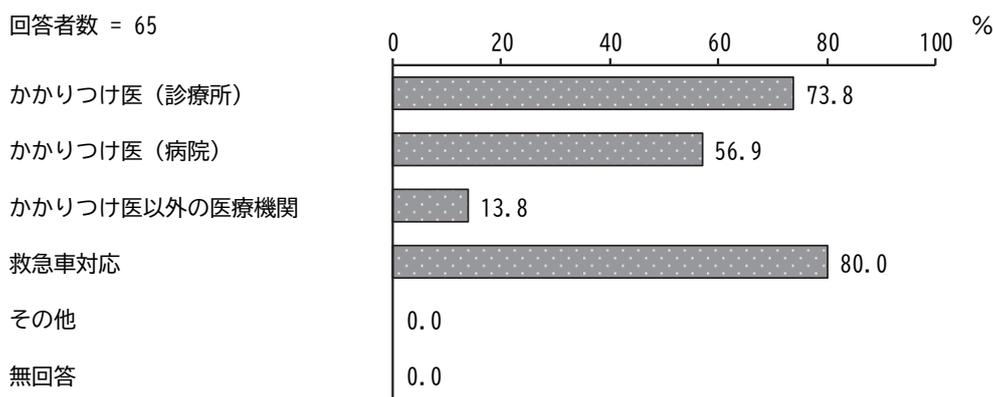
問 41. 貴事業所において、利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースは月にどれくらいありますか。(ひとつだけに○)

「2件」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「1件」の割合が 21.5%、「3件」の割合が 16.9%となっています。



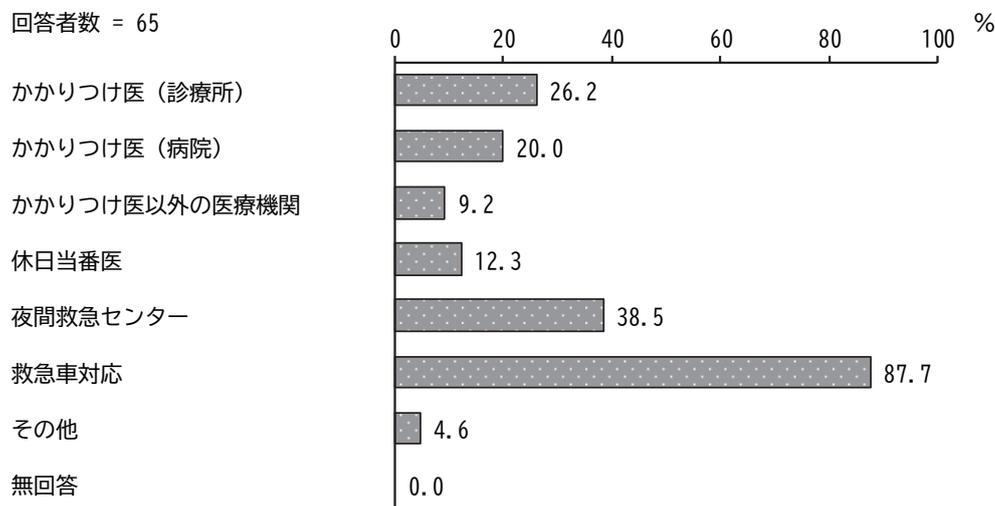
問 42. 日中に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

「救急車対応」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「かかりつけ医（診療所）」の割合が 73.8%、「かかりつけ医（病院）」の割合が 56.9%となっています。



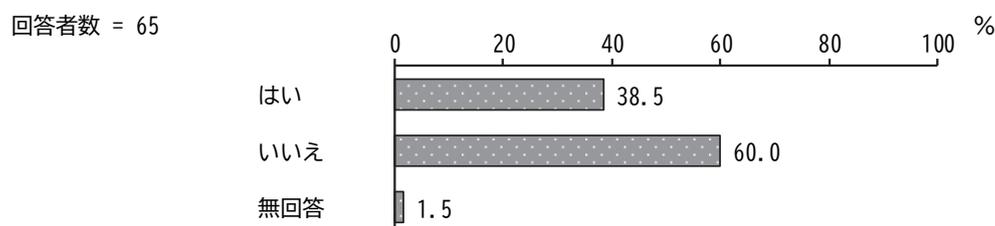
問 43. 夜間休日に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

「救急車対応」の割合が 87.7%と最も高く、次いで「夜間救急センター」の割合が 38.5%、「かかりつけ医（診療所）」の割合が 26.2%となっています。



問 44. 容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがありますか。(どちらかに○)

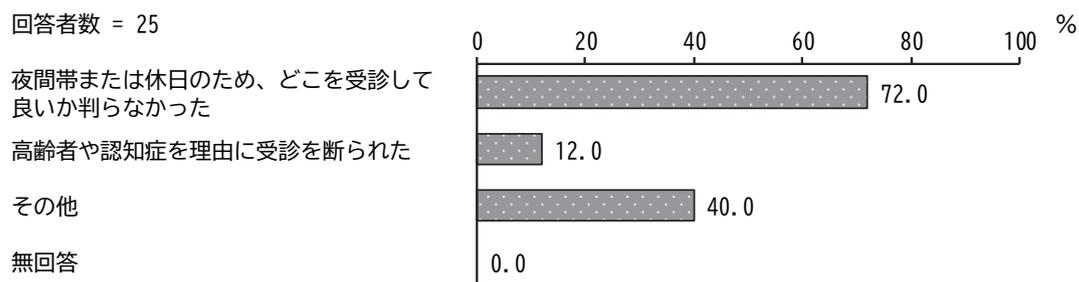
「はい」の割合が 38.5%、「いいえ」の割合が 60.0%となっています。



【問 44 で「1. はい」と答えた方のみ】

問 44-1. 具体的にどのようなことで苦慮されましたか。(あてはまるものすべてに○)

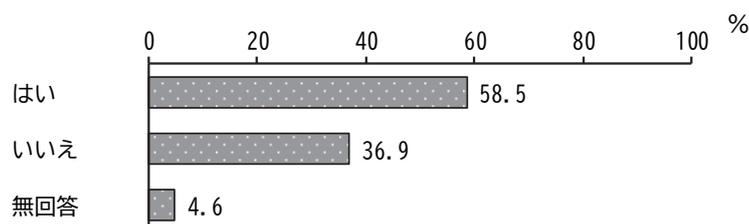
「夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかった」の割合が 72.0%、「高齢者や認知症を理由に受診を断られた」の割合が 12.0%となっています。



問 45. 貴事業所では容態急変時のマニュアルが定められていますか。(どちらかに○)

「はい」の割合が 58.5%、「いいえ」の割合が 36.9%となっています。

回答者数 = 65



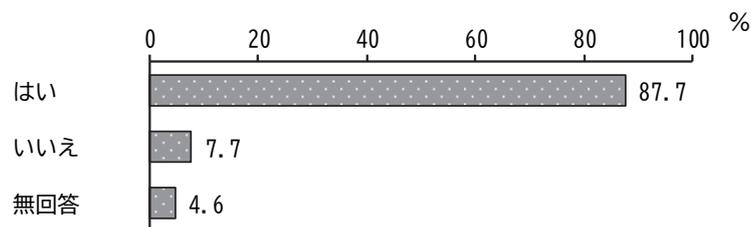
問 46. 利用者の容態急変時における課題や要望がありましたらお書きください。
(原文のまま掲載しています。)【抜粋】

- ・ 1 独居高令者の急変時の対応→急変時の連絡方法 2 高齢夫婦だけの家庭内での急変時の対応が困難
→緊急時という判断が困難なため時間が経ってからの対応となって重篤になったこと有り。→緊急連絡通報のあり方が課題
- ・ 生活保護や身寄りのない方の対応がケアマネ対応になることが多い。
- ・ 地域に、「病状急変時はここ！！」という受診システムまたは時間かまわず相談できる窓口があるとよい。高齢者はスマホなどを使えない想定で。
- ・ 相談できる医療関係機関があったらいい。かかりつけ医や訪看につながっていない様な人は包括の保健師へ相談したりしている。
- ・ 身寄りのない高齢者はケアマネジャーが緊急窓口にならざるを得ないケースがある
- ・ ケアマネが家族との連絡調整を行う役わりなので、だいたいボタンタッチだが来るのに時間がかかるため、短くて2時間、長くて4～5時間時間を取られる(その結果、やろうと思っていた業務が出来ず、仕事に負荷がかかるこれまでもそうしてきたため、その事に対する理解はないに等しい
- ・ 独居や身寄りのない人の対応
- ・ スタッフ自身があわててしまい、利用者第一で行動できない事がありえる。(必要物品の準備、付き添い者の選択など)
- ・ 家族のいる利用者様は家族対応となる事が多いが独居の人の救急搬送時の付き添いをどうするか、考えます。
- ・ 一人暮らしで子供・夫が居ない方が多くなっている。すぐに掛けつけてくれる子供や親族が居ない時の対応をどうするか? 成年後見などなかなか利用していただけないケースが多い。
- ・ 担当者会議の予定が入っているのに、救急車に同乗して欲しいと言われた

問 47. 在宅での看取りに関わった経験がありますか。(どちらかに○)

「はい」の割合が87.7%、「いいえ」の割合が7.7%となっています。

回答者数 = 65

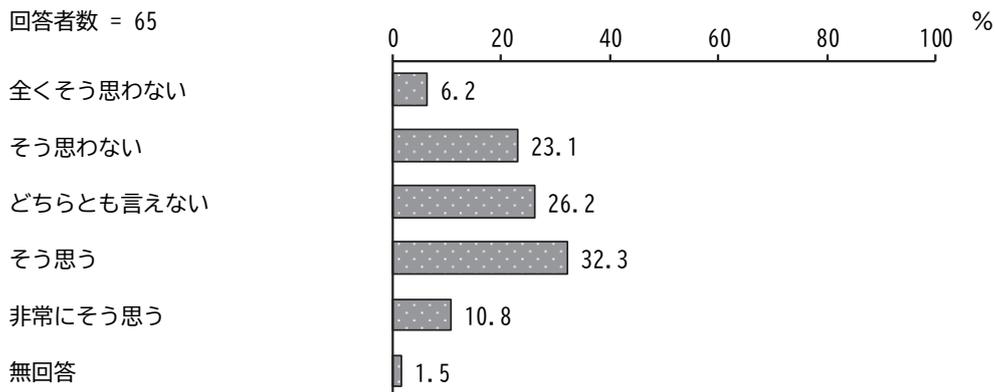


問 48. 在宅での看取りについて、どのように感じていますか。(①~③の項目ごとに1つだけ選択)

①在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい。

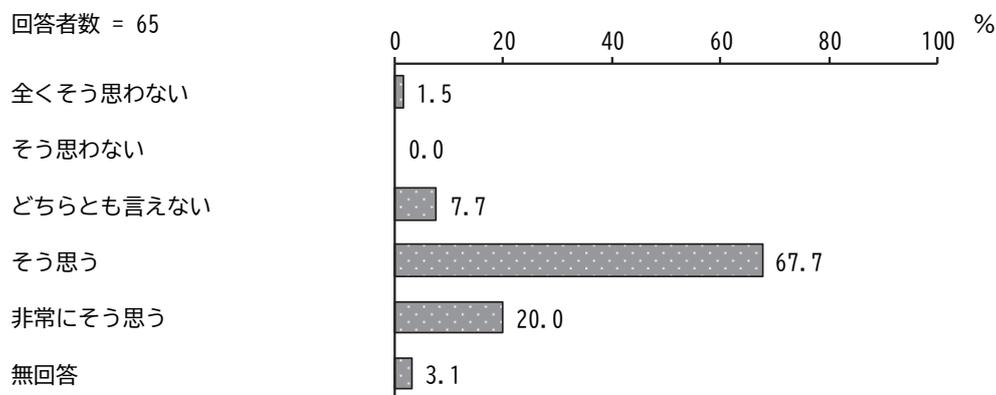
「そう思う」の割合が32.3%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が26.2%、「そう思わない」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 65



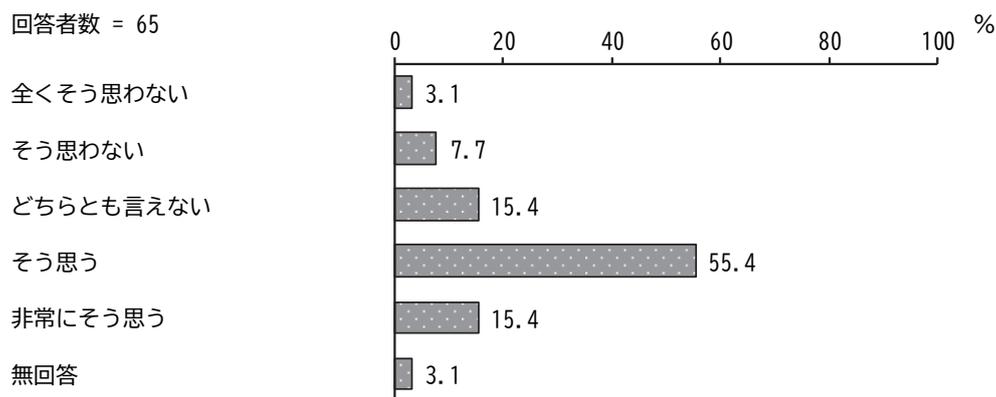
②今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている。

「そう思う」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「非常にそう思う」の割合が 20.0%となっています。



③在宅で看取りをするために連携できる医師がいる。

「そう思う」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」、「非常にそう思う」の割合が 15.4%となっています。



問 49. 設問 36～48 までに関し、課題と思うことと、その具体的な対応策をお書きください。(原文のまま掲載しています。)【抜粋】

- ・在宅マンパワー不足のケースが多い・核家族化で家族の看取りへの認識が不足している
- ・一人暮らし、老々世帯が多く、家族の介護力が厳しい中、当市のように社会資源が非常に少ない地では、看取は増々困難になっている。
- ・医師の意向がつかよく、必要なサービスを利用できない又は選べないことがある
- ・看取りで、信頼してお願いできる診療所が1か所しか思いつかないが不十分だと思う。
- ・急性期病院等から看取りで退院する時等、家族が状況を十分理解できておらず、必要な対応（処置等）を指導されていない場合がある。→急性期病院の立場は理解しているが、急いで退院させるのではなく。
- ・今後、身寄りのない高齢者が増加するのは間違いないため緊急時や延命の判断、死後の対応などどうするかは課題が多い。もっとカジュアルに任意後見などが申請できる任組みを逗子市独自で構築してほしい。弁護士や行政書士などと連携してスキームを開発している会社もあるので逗子市も参考に。
- ・看取りに関しては、本人、家族の意向の確認と家族の支援が必要である
- ・医師不足・介護職員不足。
- ・在宅で看取り対応する為に連携できる医師は十分とは思えません。
- ・これから増々多死の時代となっていくので、その対応と対策が高齢者に関わる全ての人に求められる。その対応として、ある程度の年齢に達したら生死観の教育と死に至る過程とその対応をしっかり学ぶことが必要だと思います。
- ・24H対応して下さるDrが少ないです。(逗子市内) 緊急時対応のネットワークの構築
- ・医介連携は長く必要性をいわれながらもまだまだ安定した連携がなされているとは言えないと感じる。顔にみえる連携のやりやすさ、経続性には所属機関に差異があるそこから改善が必要と思う。仲間作りやその取り組みの評価を市民にアピールするとか。
- ・訪問診療医の医療方針な出来ることを把握して主治医としていくこと
- ・訪問診療と訪問看護の連携がとれていないと感じる。→の看護STが指示してくれる事が多い。
- ・在宅での看取りに必要なのは家族の覚悟だと思う。施設（特定施設は在宅扱いなので）では、責任の所在の明確化が課題になると思う。
- ・急救車を呼んでも受け入れられないケースがあり1時間～1時間30分病院探しに時間がかかったのでスムーズに受け入れてほしい。
- ・退院時に本人、家族に十分な病状説明や今後の予測についてされていたのかも知れないが、伝わっていないことがあります。もう少し密な退院前カンファレンス（訪問医も含め）ができるとうれしいです。
- ・自宅での看取りは先ず家族の意向が多きいので、意識の変化が必要
- ・病院からの指示で看取りの利用者の急変時、プラン変更となる場合が多く担当者会議の日程調整、プラン作成を紙に残す。アセスメントレプラン作成し時間が間に合わない時が多く負担は多きい

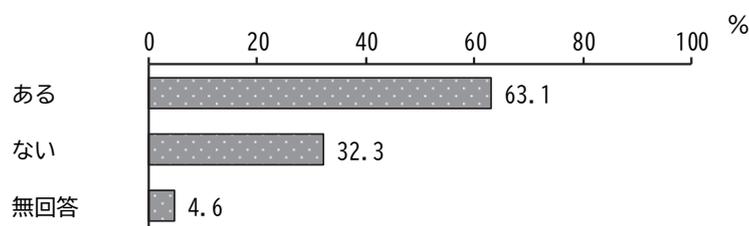
(6) 各質問について

問 50. 成年後見制度についておたずねします。(それぞれ、ひとつだけに○)

①利用者やその家族から相談はありますか

「ある」の割合が 63.1%、「ない」の割合が 32.3%となっています。

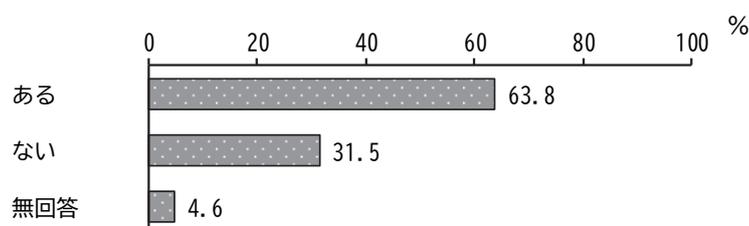
回答者数 = 130



②利用をすすめたことがありますか

「ある」の割合が 63.8%、「ない」の割合が 31.5%となっています。

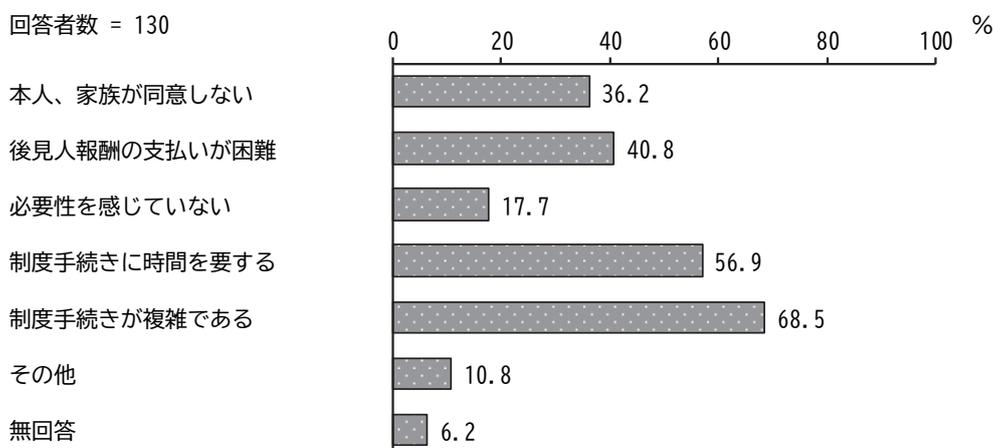
回答者数 = 130



問 51. 成年後見制度の利用が進まない理由は何だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

「制度手続きが複雑である」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「制度手続きに時間を要する」の割合が 56.9%、「後見人報酬の支払いが困難」の割合が 40.8%となっています。

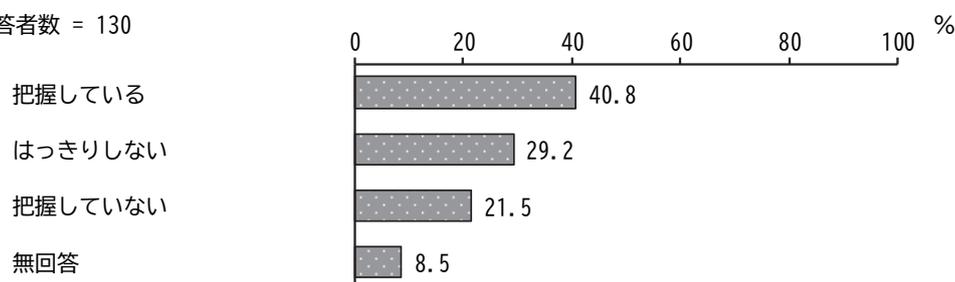
回答者数 = 130



問 52. 高齢者虐待の情報を把握していますか。(ひとつだけに○)

「把握している」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「はっきりしない」の割合が 29.2%、「把握していない」の割合が 21.5%となっています。

回答者数 = 130

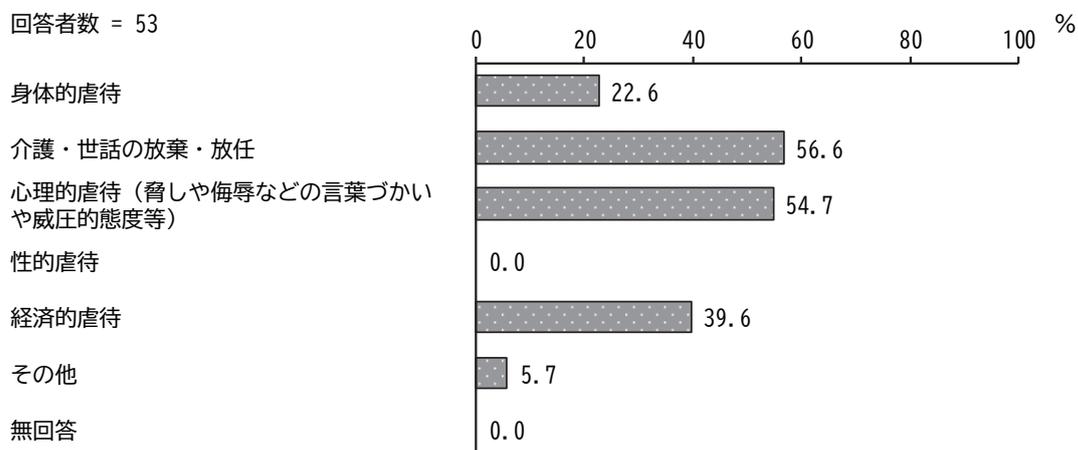


【問 52 で「1. 把握している」と答えた方のみ】

問 52-1. あなたの担当している案件ではどのようなケースが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護・世話の放棄・放任」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「心理的虐待（脅しや侮辱などの言葉づかいや威圧的態度等）」の割合が 54.7%、「経済的虐待」の割合が 39.6%となっています。

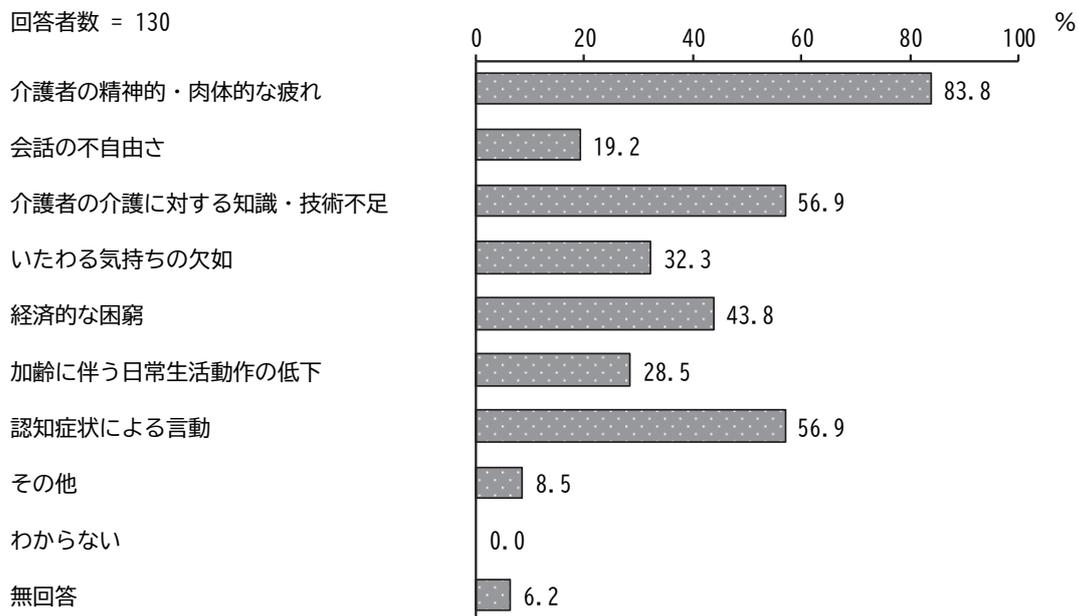
回答者数 = 53



問 53. 虐待に至る要因は何にあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護者の精神的・肉体的な疲れ」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「介護者の介護に対する知識・技術不足」、「認知症状による言動」の割合が 56.9%となっています。

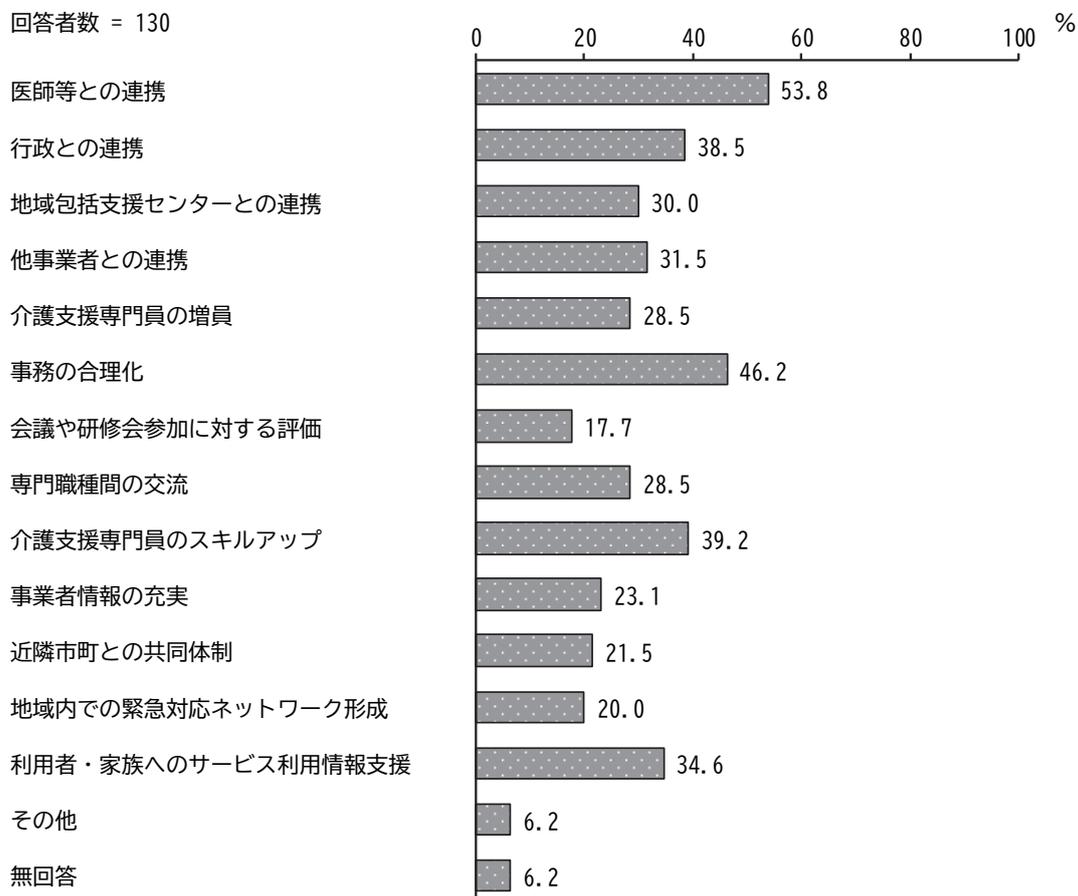
回答者数 = 130



問 54. 利用者への望ましいケアマネジメントのために、今必要と思われる事項についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

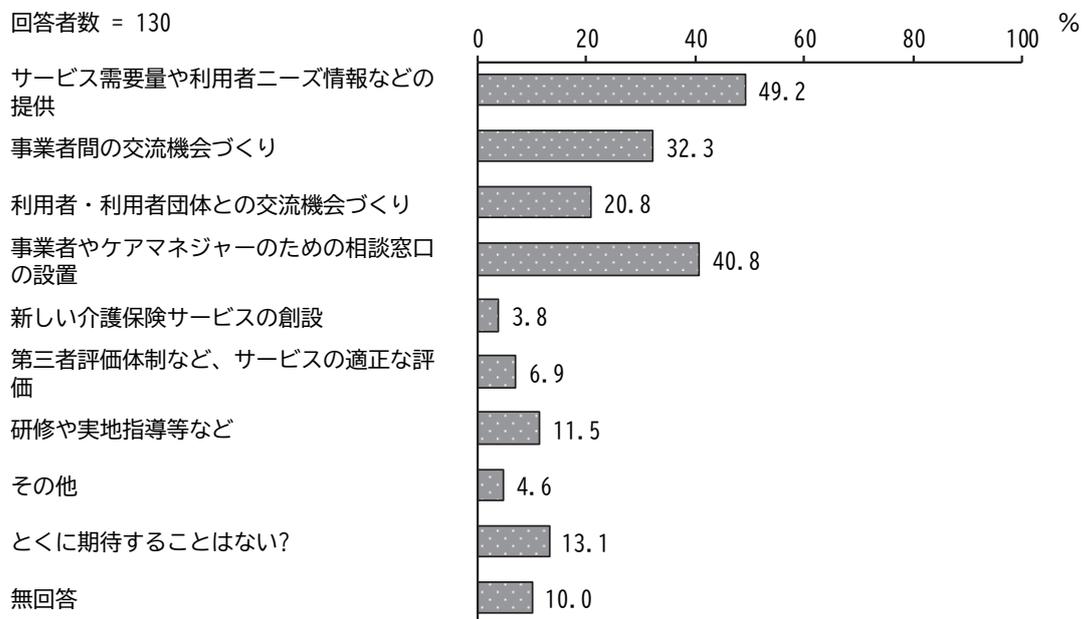
「医師等との連携」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「事務の合理化」の割合が 46.2%、「介護支援専門員のスキルアップ」の割合が 39.2%となっています。

回答者数 = 130



問 55. 逗子市で質の良いサービスを提供していくにあたり、市に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

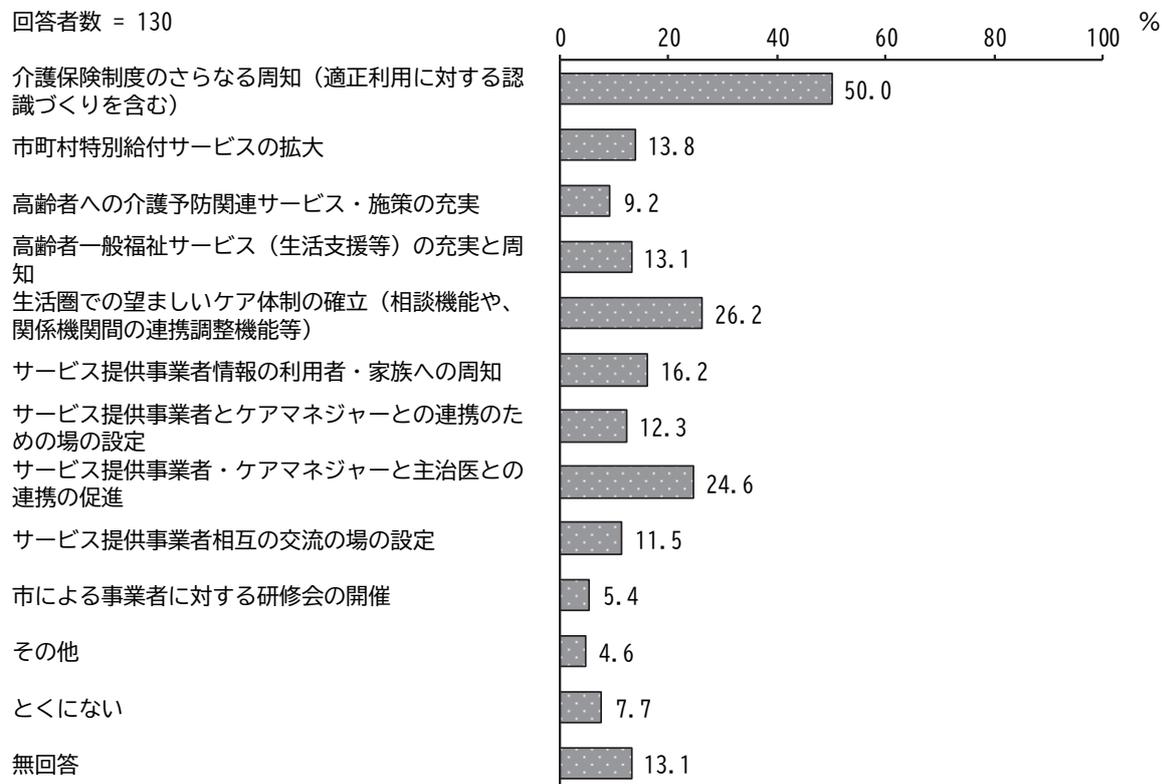
「サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置」の割合が 40.8%、「事業者間の交流機会づくり」の割合が 32.3%となっています。



問 56. 介護保険制度を円滑に運営していくためには、市としてどのような取り組みが必要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

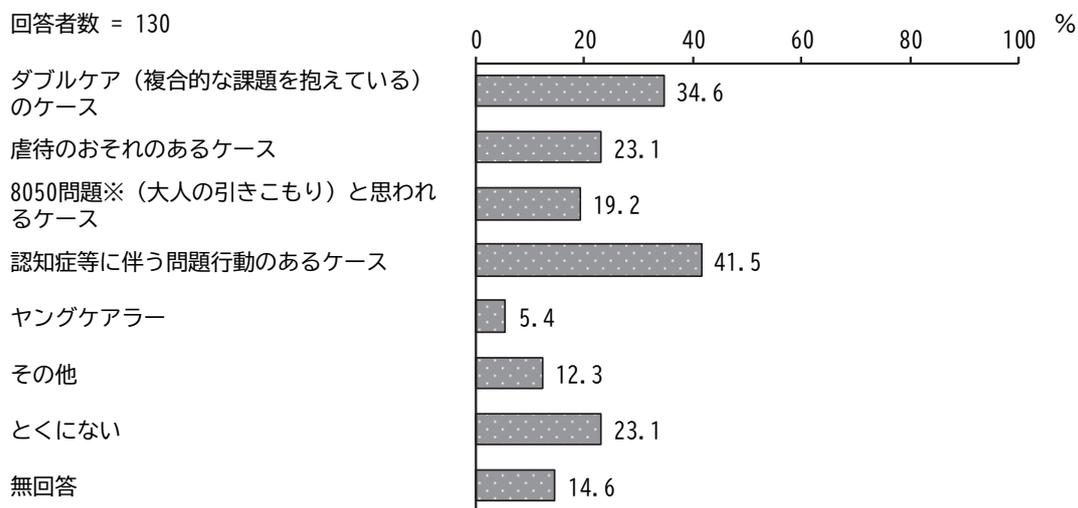
「介護保険制度のさらなる周知（適正利用に対する認識づくりを含む）」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「生活圏での望ましいケア体制の確立（相談機能や、関係機関間の連携調整機能等）」の割合が 26.2%、「サービス提供事業者・ケアマネジャーと主治医との連携の促進」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 130



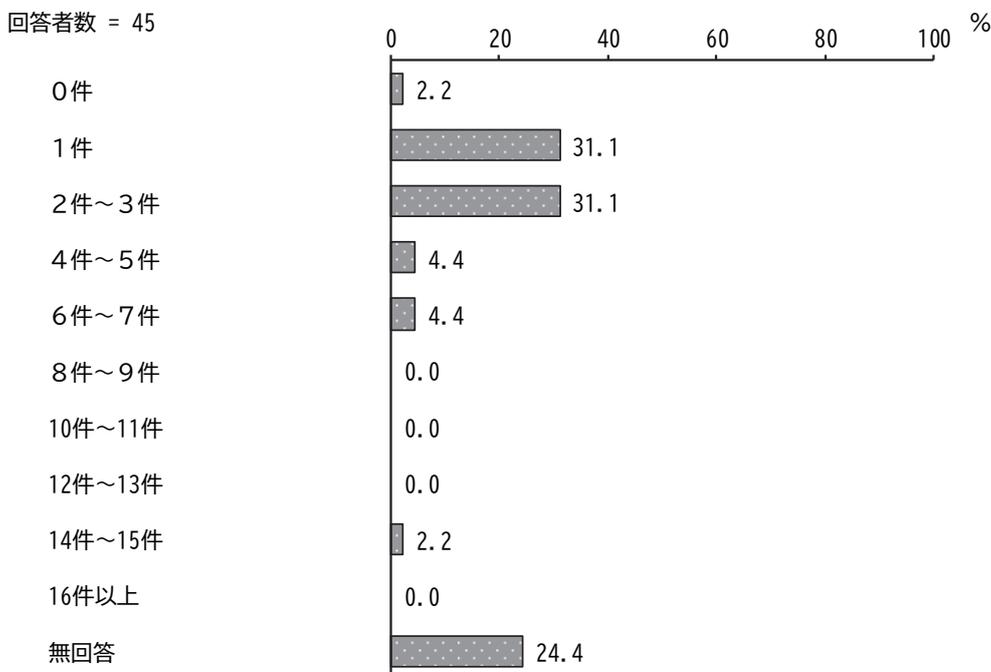
問 57. あなたが担当しているケースの中で、下記のような対応が困難なケースはありますか。(あてはまるものすべてに○、わかる場合はケースの件数も記入)

「認知症等に伴う問題行動のあるケース」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「ダブルケア（複合的な課題を抱えている）のケース」の割合が 34.6%、「虐待のおそれのあるケース」、「とくにない」の割合が 23.1%となっています。



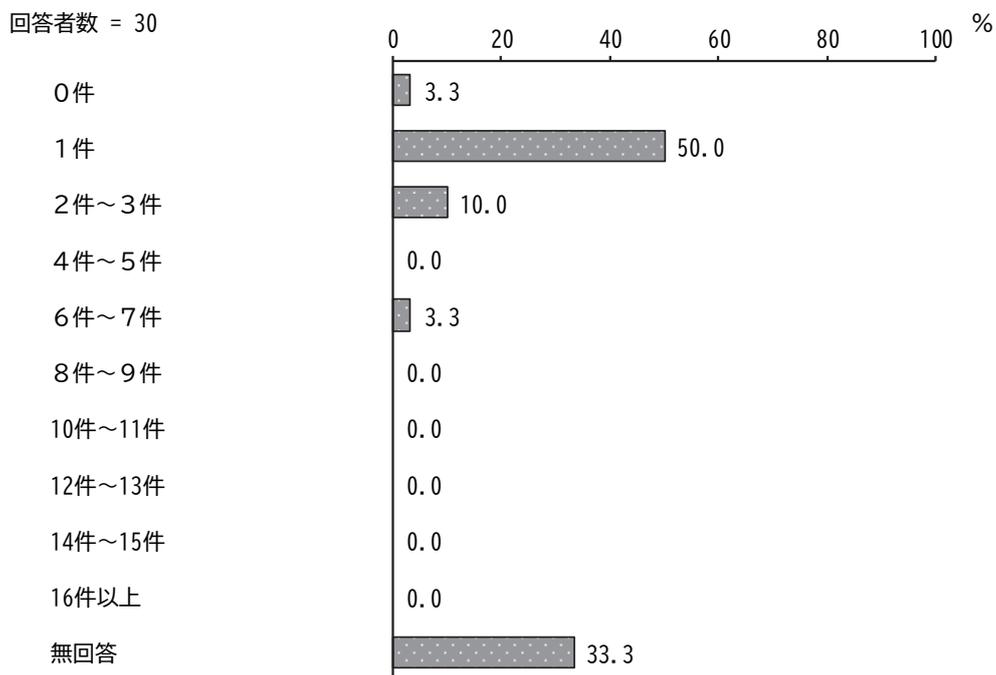
1. ダブルケア（複合的な課題を抱えている）のケース

「1件」、「2件～3件」の割合が 31.1%と最も高くなっています。



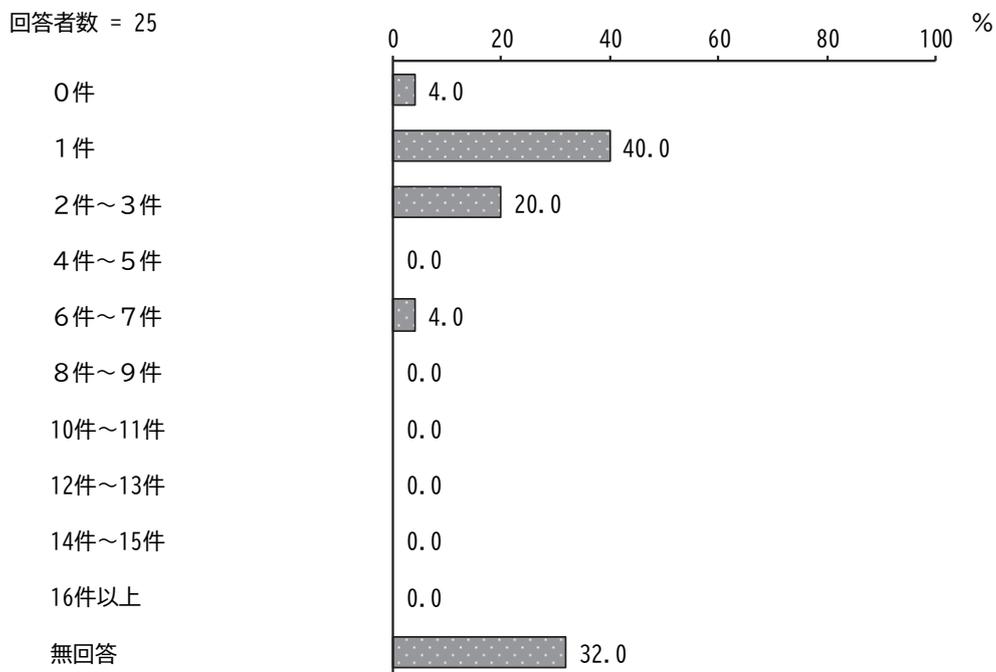
2. 虐待のおそれのあるケース

「1件」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2件～3件」の割合が10.0%となっています。



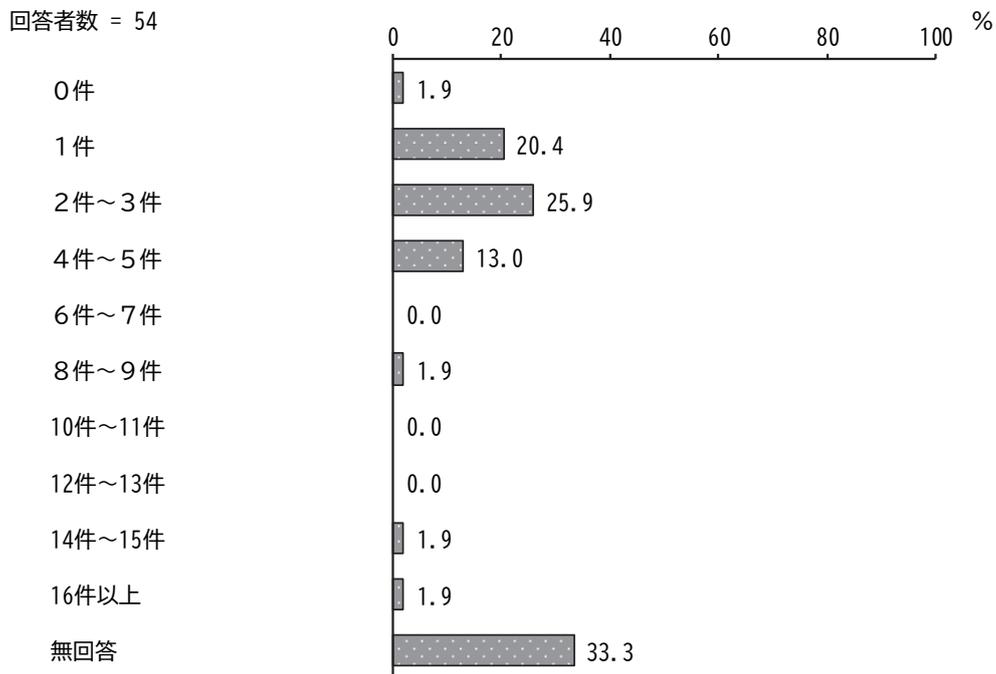
3. 8050 問題（大人の引きこもり）と思われるケース

「1件」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2件～3件」の割合が20.0%となっています。

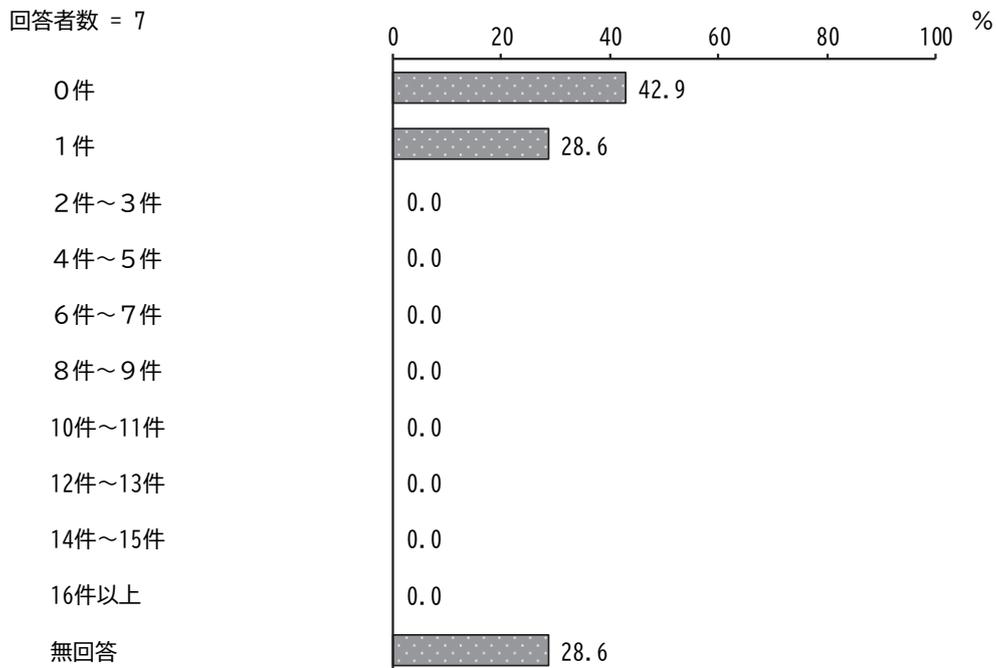


4. 認知症等に伴う問題行動のあるケース

「2件～3件」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「1件」の割合が 20.4%、「4件～5件」の割合が 13.0%となっています。

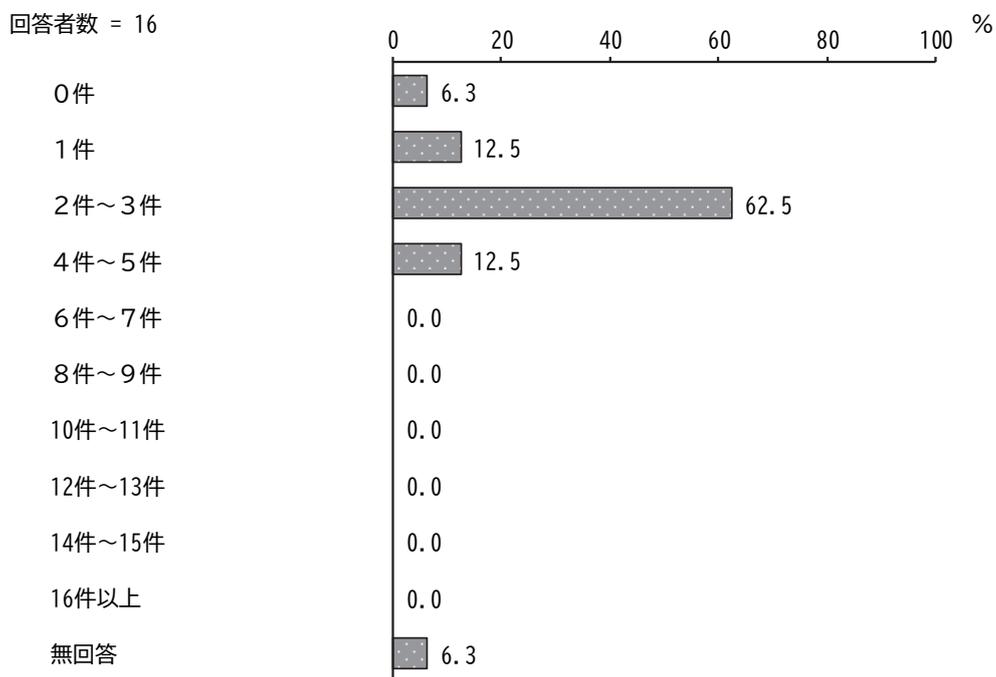


5. ヤングケアラー



6. その他

「2件～3件」の割合が62.5%と最も高く、次いで「1件」、「4件～5件」の割合が12.5%となっています。



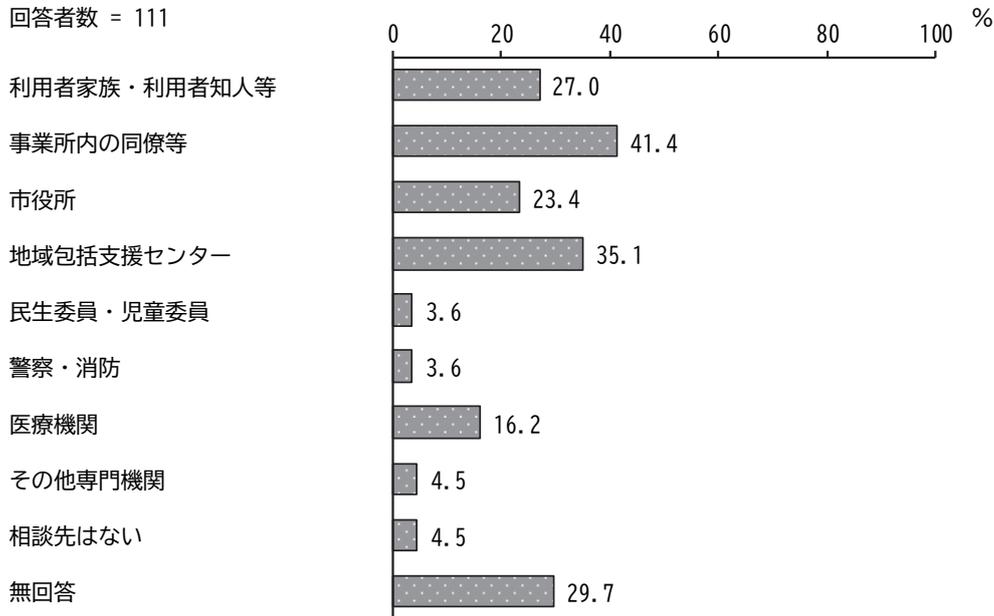
7. とくにない

有効回答がありませんでした。

【問 57 でいずれかのケースに回答した方のみ】

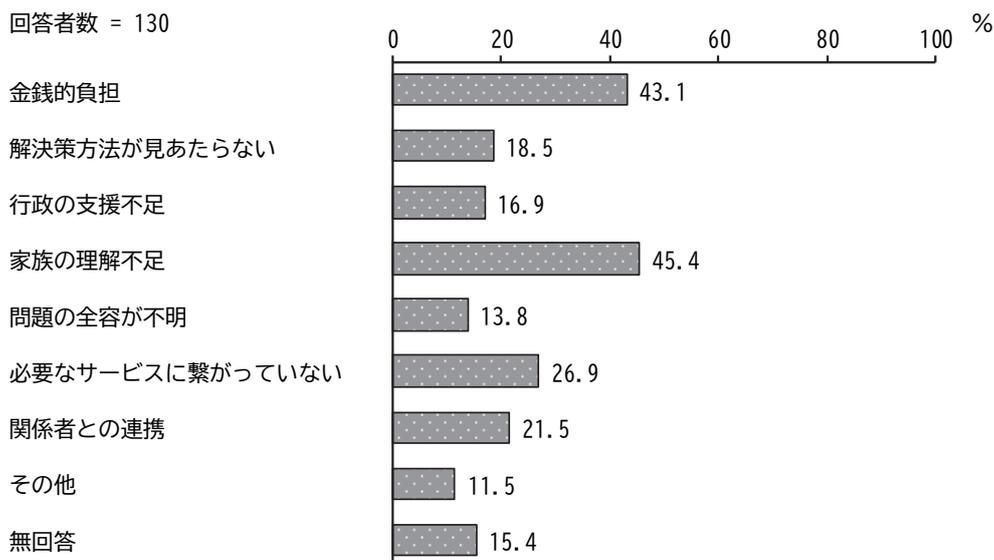
問 57- 1. 問題の解決に向けた相談先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「事業所内の同僚等」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 35.1%、「利用者家族・利用者知人等」の割合が 27.0%となっています。



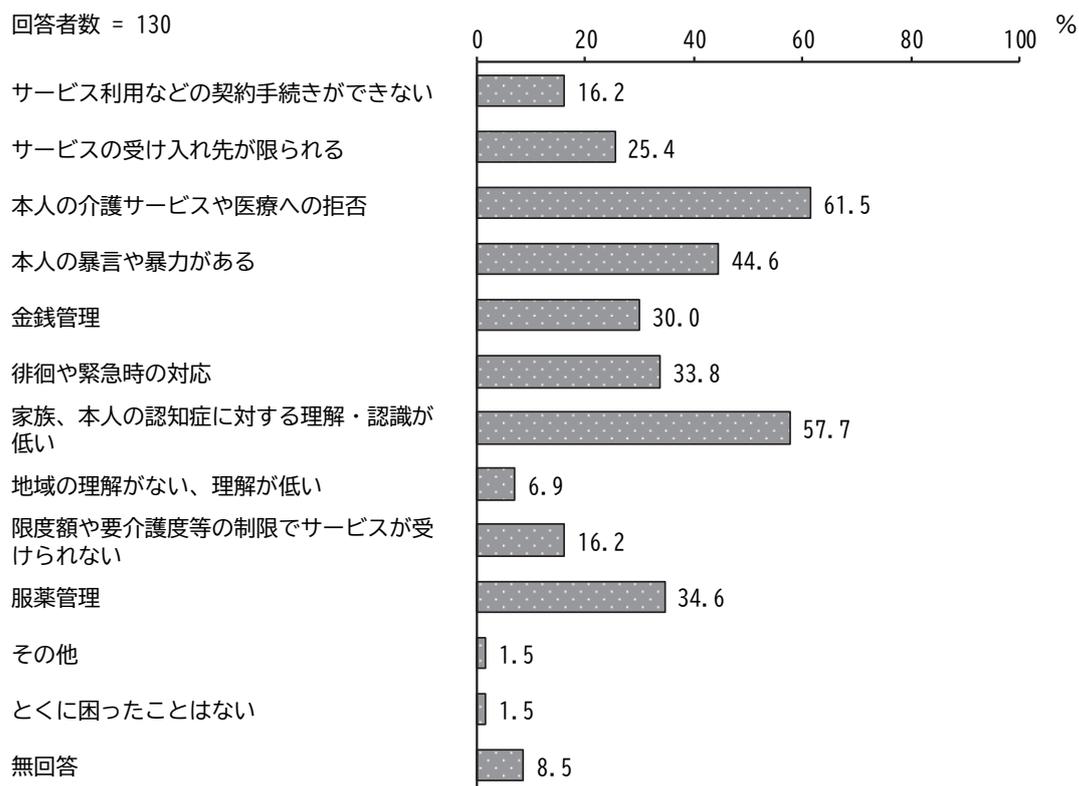
問 58. 問題解決のための課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族の理解不足」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「金銭的負担」の割合が 43.1%、「必要なサービスに繋がっていない」の割合が 26.9%となっています。



問 59. 担当している利用者のうち、認知症の中で医師から認知症と診断されている方、または、医師から認知症と診断されていないが、認知症の疑いがある方の対応についてお伺いします。認知高齢者への支援が困難である理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

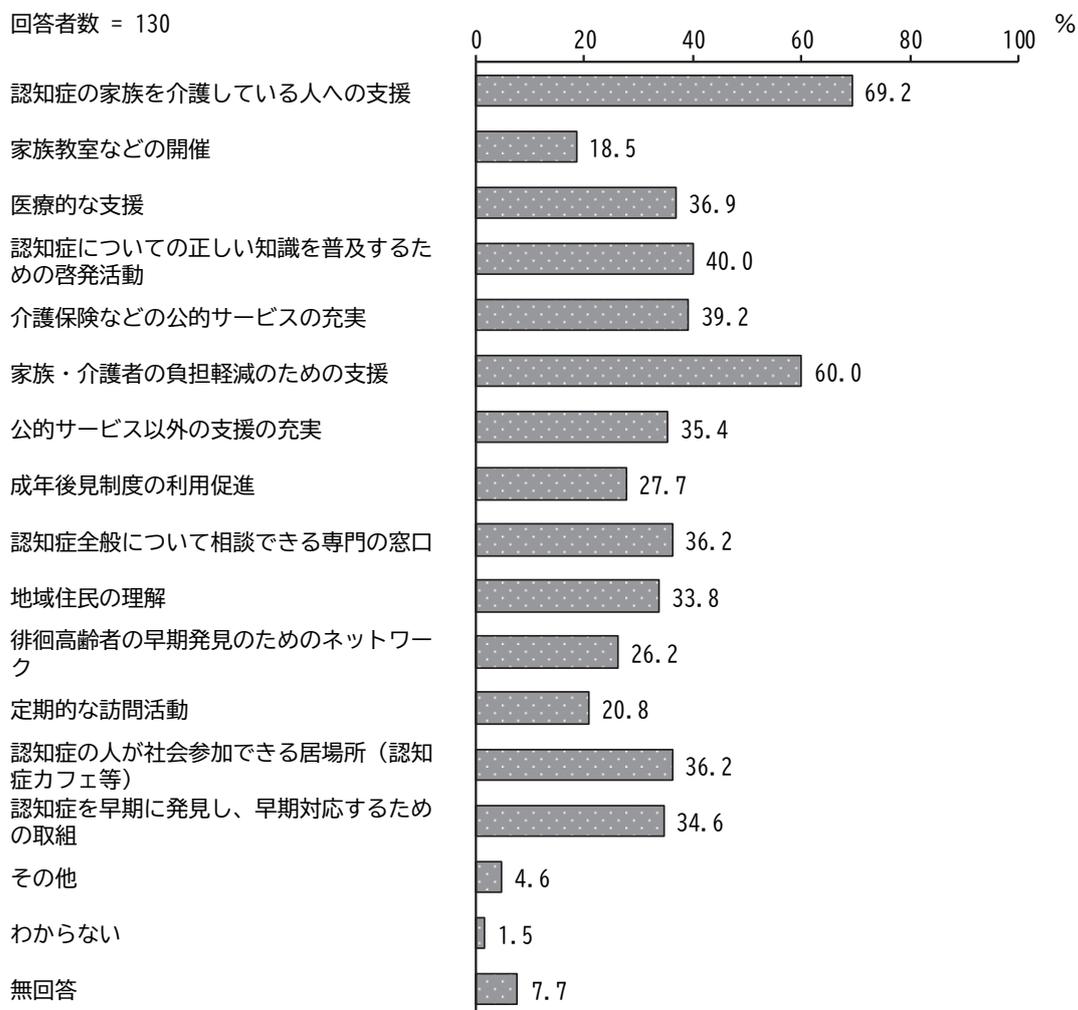
「本人の介護サービスや医療への拒否」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「家族、本人の認知症に対する理解・認識が低い」の割合が 57.7%、「本人の暴言や暴力がある」の割合が 44.6%となっています。



問 60. 認知症の方への支援で必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

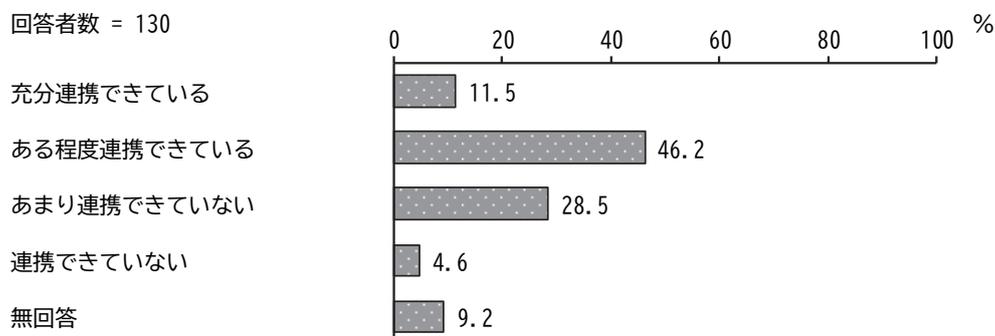
「認知症の家族を介護している人への支援」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「家族・介護者の負担軽減のための支援」の割合が 60.0%、「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」の割合が 40.0%となっています。

回答者数 = 130



問 61. 認知症の方を支援するにあたり、かかりつけ医との連携はできていますか。(ひとつだけに○)

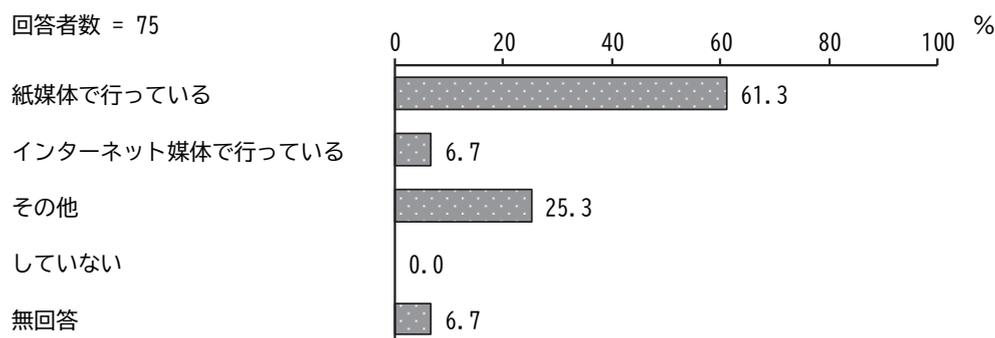
「ある程度連携できている」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「あまり連携できていない」の割合が 28.5%、「充分連携できている」の割合が 11.5%となっています。



【問 61 で「1. 充分連携できている」「2. ある程度連携できている」と答えた方のみ】

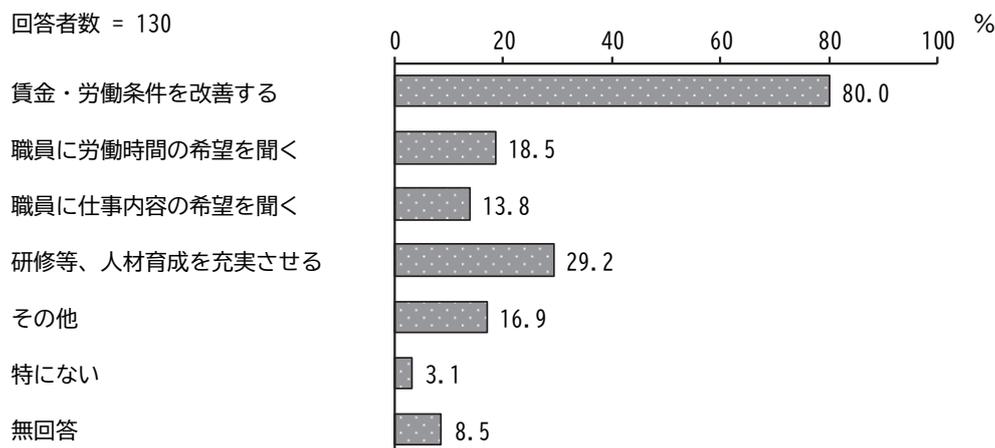
問 61-1. 医療機関やかかりつけ医との利用者の情報共有をしていますか。(ひとつだけに○)

「紙媒体で行っている」の割合が 61.3%と最も高くなっています。



問 62. あなたはケアマネジャーの早期離職の防止や定着促進のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「賃金・労働条件を改善する」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「研修等、人材育成を充実させる」の割合が 29.2%、「職員に労働時間の希望を聞く」の割合が 18.5%となっています。

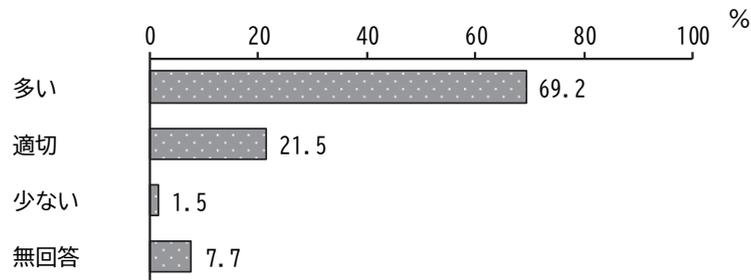


問 63. あなたはケアマネジャーの業務について、どのようにお考えですか。(①～③の項目ごとに1つだけに○)

①業務量

「多い」の割合が69.2%と最も高く、次いで「適切」の割合が21.5%となっています。

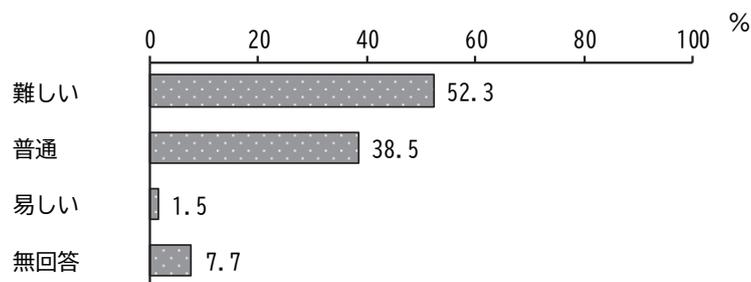
回答者数 = 130



②業務内容

「難しい」の割合が52.3%と最も高く、次いで「普通」の割合が38.5%となっています。

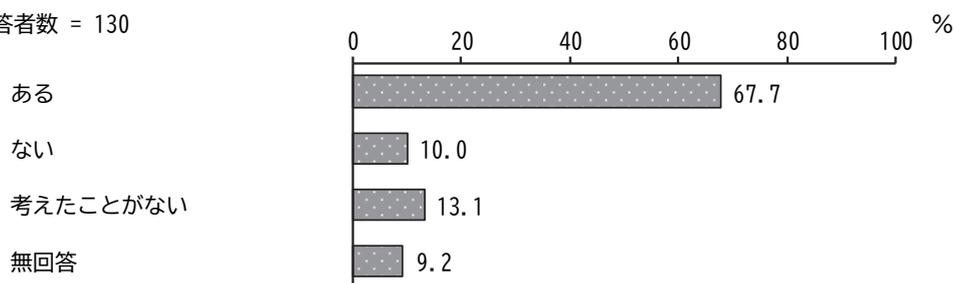
回答者数 = 130



③業務としてのやりがい

「ある」の割合が67.7%と最も高く、次いで「考えたことがない」の割合が13.1%、「ない」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 130

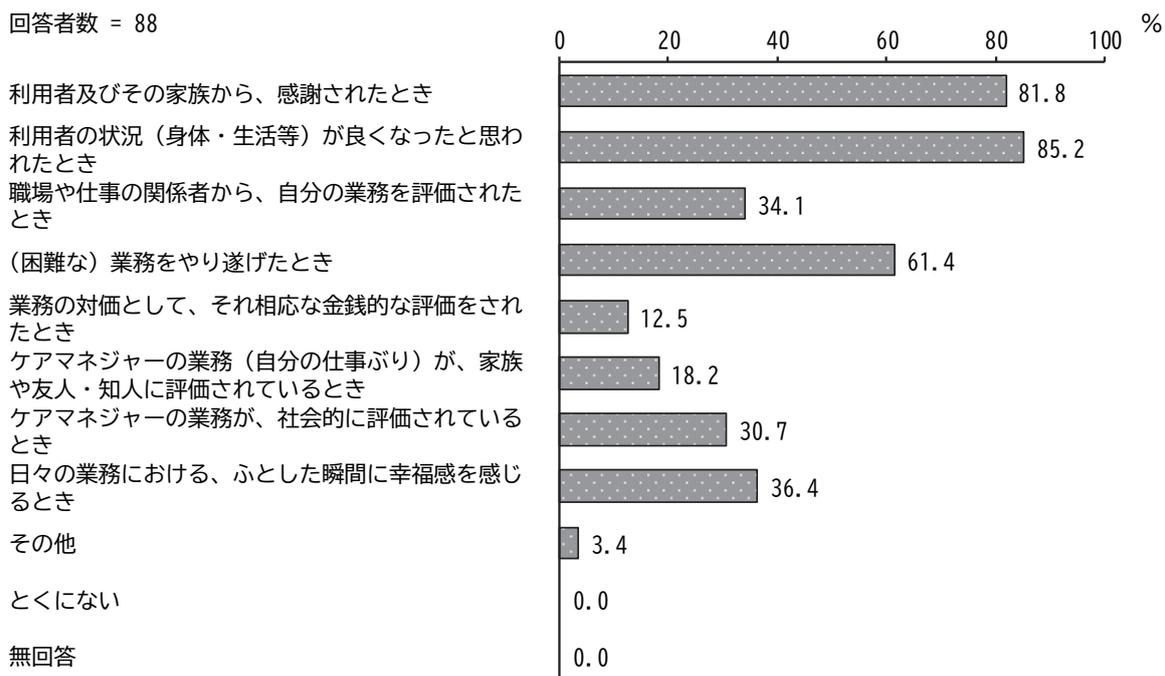


【問 61 で「1. 充分連携できている」「2. ある程度連携できている」と答えた方のみ】

問 63- 1. やりがいを感じる時はどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

「利用者の状況（身体・生活等）が良くなったと思われたとき」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「利用者及びその家族から、感謝されたとき」の割合が 81.8%、（困難な）業務をやり遂げたとき」の割合が 61.4%となっています。

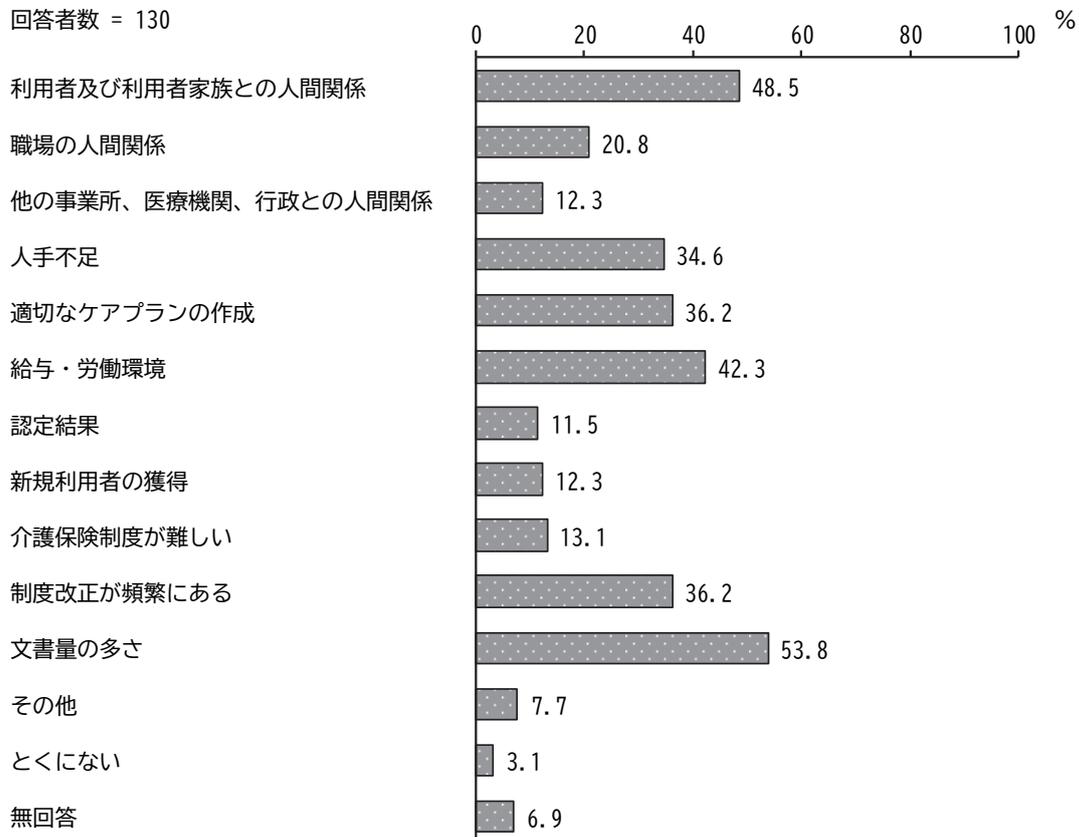
回答者数 = 88



問 64. あなたはケアマネジャーの業務上、困り事や悩み事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「文書量の多さ」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「利用者及び利用者家族との人間関係」の割合が 48.5%、「給与・労働環境」の割合が 42.3%となっています。

回答者数 = 130



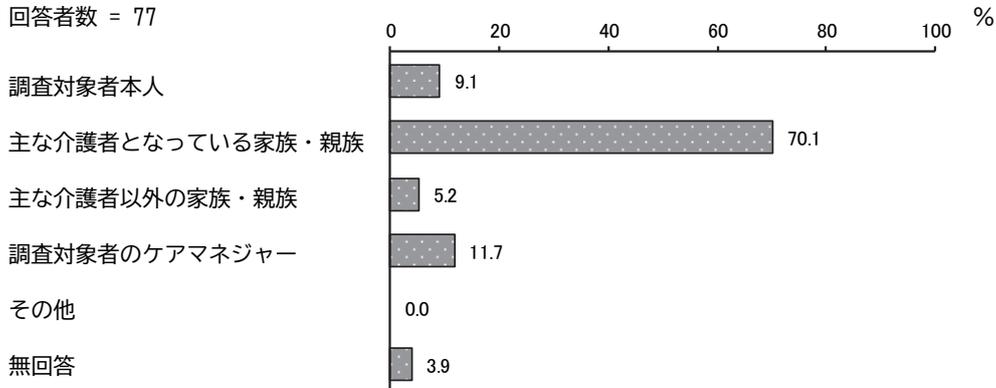
6 在宅介護実態調査

6 在宅介護実態調査

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数選択可）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が70.1%と最も高くなっています。

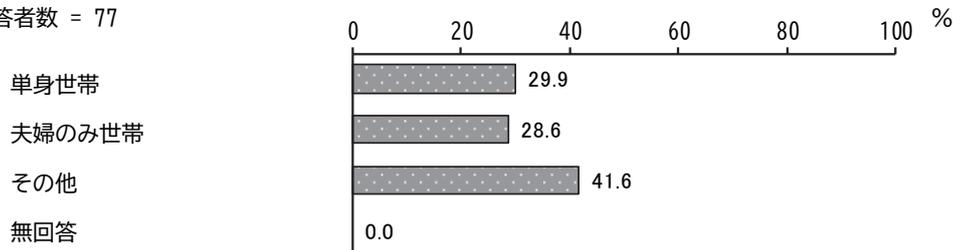
回答者数 = 77



(1) A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

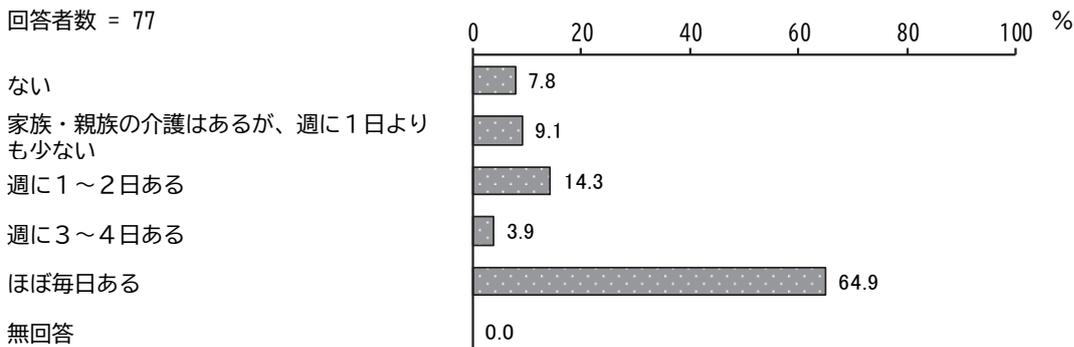
「単身世帯」の割合が29.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」の割合が28.6%となっています。回答者数 = 77



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

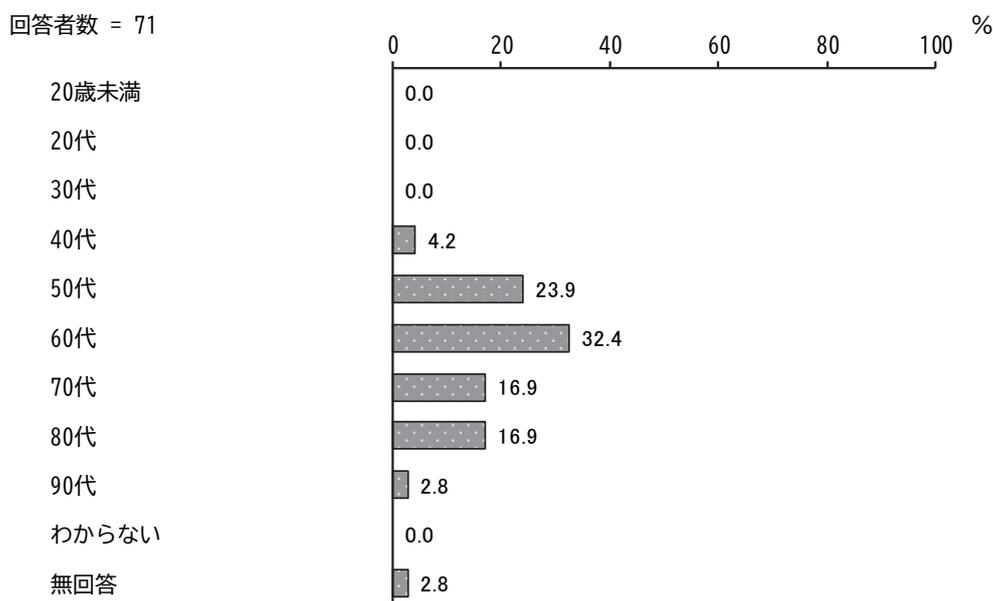
「ほぼ毎日ある」の割合が64.9%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 77



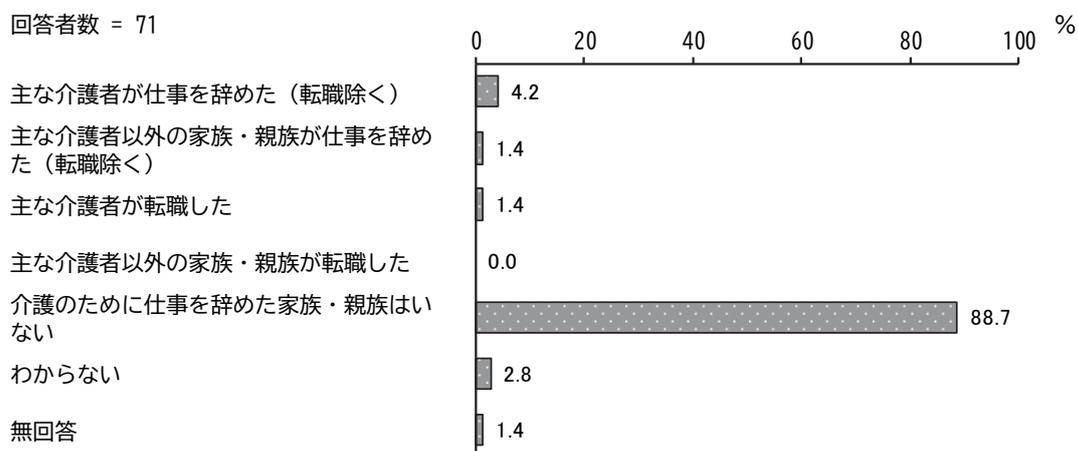
問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

「60代」の割合が32.4%と最も高く、次いで「50代」の割合が23.9%、「70代」、「80代」の割合が16.9%となっています。



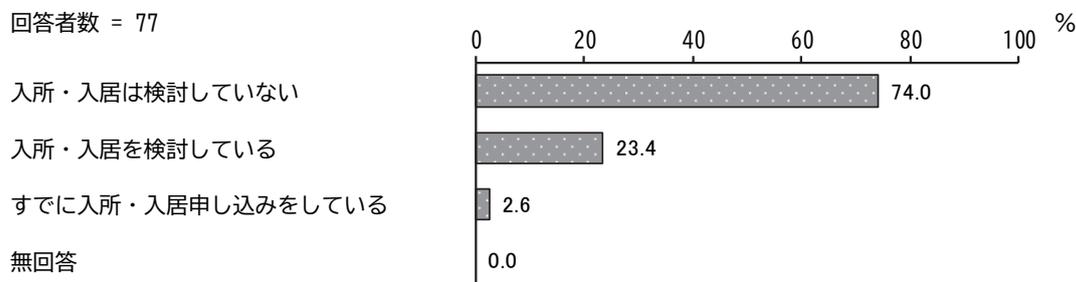
問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が88.7%と最も高くなっています。



問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

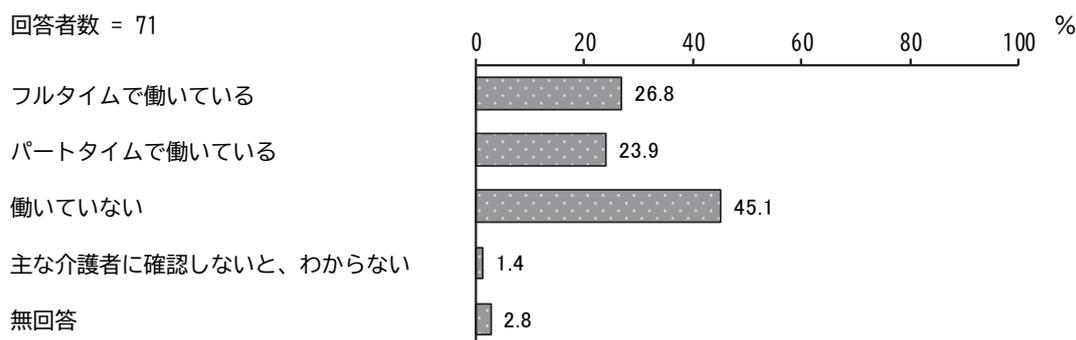
「入所・入居は検討していない」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が 23.4%となっています。



(2) B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

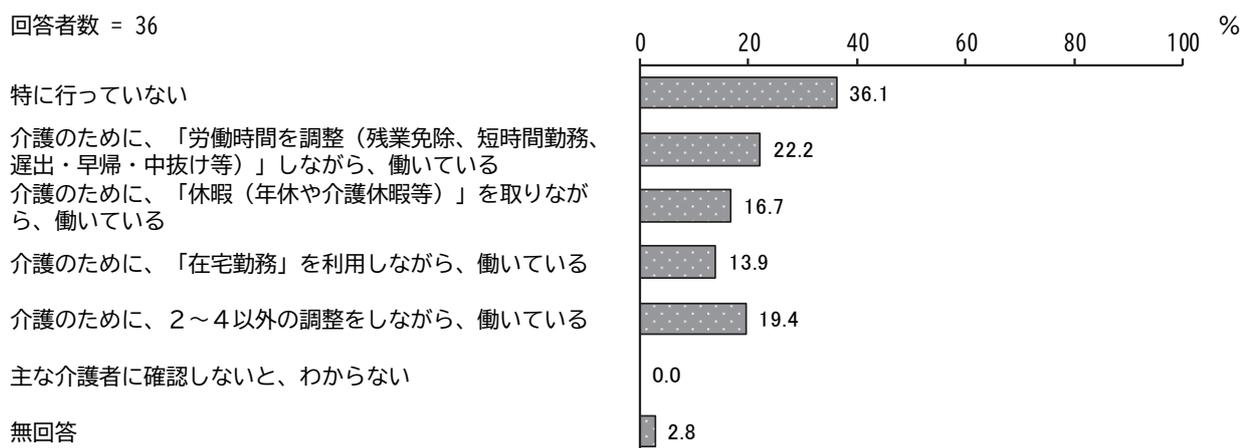
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

「働いていない」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 26.8%、「パートタイムで働いている」の割合が 23.9%となっています。



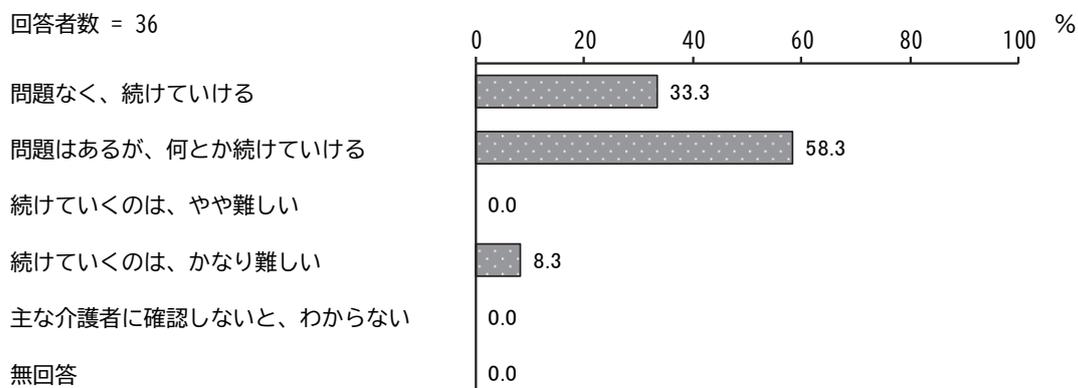
問2 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

「特に行っていない」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 22.2%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」の割合が 19.4%となっています。



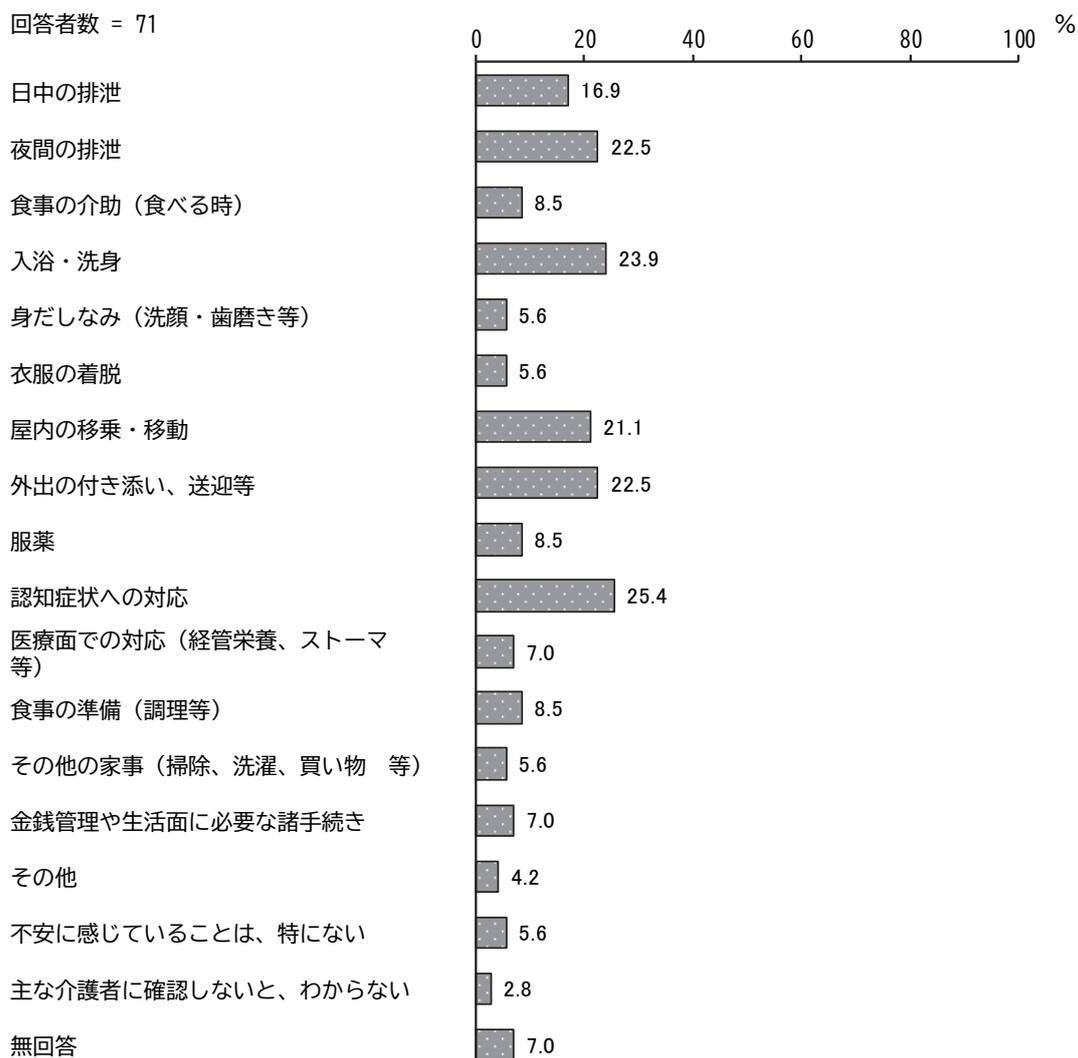
問3 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 33.3%となっています。



問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「認知症状への対応」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「入浴・洗身」の割合が 23.9%、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 22.5%となっています。



IV 自由意見

IV 自由意見

1 要介護認定者（在宅）

問 35 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。（原文のまま掲載しています。）

【サービスについて（5件）】

- ・短期入所（ショートステイ）を利用したことがあるが、周りの方は、認知症の方、寝たきり状態の方ばかりで食事の量も少なかった。全く自由がなくきゅうくつな思いがした。娘に見てもらえない時は、短期入所したいと思っていたが、このような感じでは利用を考えてしまいます。もう少し自由に散歩できたり、入所している方とおしゃべり、イベントなどあるといいと感じた。
- ・本内容とは少し外れるかもしれませんが、介護や障害に対しての認定や内容（サービス）が市区町村などによってマチマチです。どこでも内容に差違が無い様にして頂けると色々な方々と話した時に情報が共有出来て良いと考えます。
- ・利用者サイドの立場になった柔軟な制度、仕組み、運用をおねがいします。
- ・後期高齢者（75才以上）の介護保険や健康保険の負担の割合は1割負担におさえて継続してもらいたいと願っている。
- ・（家族としての意見）このシステムが無いととても家族だけで介護はできません。とてもありがたく思っています。特に少規模多機能居宅介護は、1ヶ所で全て行ってもらえ、大変助かっております。費用面では、今はどうにかなっておりますが、今後、介護度が高くなり、家に居られなくなった時など、負担が増え、まかなえるのか不安になります。負担割合や費用自体が高額にならないよう、お願いしたいです。

【経済的負担（1件）】

- ・介護保険とは“お金持ちが利用するもの”と感じています。

【理解・周知（5件）】

- ・何をしたいかわからない。ケアマネジャーの選び方も。
- ・施設の内容をくわしくしりたい、食事や費用安全清潔度。入っている人の年齢男女比など食事の量が写真等でわかるようにしてほしい。
- ・介護度5になり、今後の事はまだ決まていないのですが受けられる支援情報を詳細に教えていただきたいです。手続きが多くて、ハードルが高く、不安になります。おむつのサービスについて、病院が途中で変わり、それぞれの病院から証明書をいただきに行く必要になってしまった。（近所のかかりつけの医院→緊急入院した病院→転院した病院）
- ・介護のために家の前など路上に車をとめていると通報があったと警察がきた近隣の人も理解を求めたいが目みてわかる介護中ステッカーを市でつくってもらえたらありがたい。
- ・情報をもっと発信してもらいたい。

【ケアマネジャー（5件）】

- ・高齢者がいろいろためになるサービスの全般を知る事は、ケアマネジャー、支援センターの方々

を通し、文書での通達より、言葉での説明がわかりやすく、安心です。ぜひコミュニケーション力をつけて下さり、接して下さることを希望します。ケアマネジャーの能力向上にお力を注いで下さい。

- ・ケアマネさんは、最初は良かったが、デイサービスの時に母親が大モメをしたので、しばらくは会わない方がいいと、息子の私から、言ったが、約半年しても私に電話すら無い。介護者（母）とのスキンシップを取りたいと最初は言っていたのに、まったく、その様な行動はしてもらえない
- ・現在入院中のため、どの程度の、麻痺、認知障害、発達障害が残るのかわからないため退院方向になりしだい、ケアマネに相談を行い必要な援助を検討して行きたい。
- ・本人は、認知症がかなり進んでおり、自分のおかれている状況等、介護サービスについてもよく理解しておらず、介護する側（高令の配偶者、嫁等）のよかれと思うことをケアマネジャーと相談して受けてもらっています。アンケートも、家族が本人のことを考え、記入させていただきました。
- ・ケアマネ訪看等制度としてかなり充実して居ると感じて居ます。現在は病弱の介護者との朗々介護ですが介護者の健康悪化の傾向に悩んで居ます。介護老人福祉施設の充実化を早急に画って頂きたいとお願い致します。

【アンケート（5件）】

- ・このアンケートの質問量が多く、内容もわかりにくく、理解するのに大変苦労しました。もう少し端的にしてほしいです。
- ・アンケートの回答方法で、回答順がわかりにくい。
- ・問題の数が多すぎる。質問が重複している。ややこしい。老人には、理解不能な問が多すぎる別々に送付もつたいない。
- ・このアンケートは、比較的健康的な高齢者の方のアンケートかと思えます無作為に抽出したかと思えますが、我が家には不向きかと…現在、ほとんど寝たきりの状態で経鼻経管栄養での介護をしています。そんな状況をご理解下さい。
- ・調査票を送って下さって嬉しかったです。自分を見つめることが出来ました。

【その他（3件）】

- ・最近「ころんで」足を痛め、現在は「退院」して家庭にありますが、自分事（食事）は出来るのですが、「買物」が品物に依っては出来ませんので、行動が、不自由なのですが！「おいしい食物」が欲しい事がありますとついつい「がまん」しております。年は取っても唯今は「元気」にしております。息子が「休日」の日は色々してくれて、助っております。「お天気が良い」日が、何よりの「元気」になれます。色々お世話になる事が有ると思えますがどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・お世話になります。該当本人母ですが、5月末より11月30日まで、藤沢市の湘南ホスピタルに入院、同日特別養護老人ホーム逗子杜の郷へ入居致しましたが、残念な事に12月9日に死亡致しましたアンケートのご趣旨にそうか不明です
- ・不必要者が利用しているケースを見受ける。

2 要介護認定者（施設入所者）

問 35 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。（原文のまま掲載しています。）

【サービスについて（7件）】

- ・施設のリハビリ等を増やしてほしい。
- ・施設では、親切に良く世話をしてもらっている。
- ・介護保険制度について、今の制度は家族のお手伝いをあてにしているので、家族の負担を軽減する仕組みが必要です。デイサービスは家族が必要な時、例えば休日、祝日、土日もやってもらいたい。ほとんどの施設は休みです。人手不足の問題が一番大きい。何とかもっと人手を集められるような職場にならないと利用者は不便です。ケアマネジャーをもっと質の高いレベルに教育してもらいたい。本人のプランだけを提案するのではなく、家族の気持ちに寄り添える想像力のある人材を希望します。営業目的で必要のないプランを押し付けないでもらいたい。
- ・訪問医師、看護師さん達との密な連絡を取り、スケジュール日程がいい加減なため、利用者が迷惑することがないように注意してもらいたいです。在宅でお世話になる医師、看護師、訪問介護センター等、あまり密なつながりがないようです。もっと連携をしっかりとってもらいたい。
- ・現在入居している施設は、たまたま空きがあったので入れたが、第一希望の施設は空いてなかったのであきらめた。今でも、あちらに入居していればより健康に楽しく暮らせていただろうと残念です。
- ・「せせらぎ」「清寿苑」の他にも老人施設の建設をしてください。
- ・仕方なく有料老人ホーム、グループホームに預けています。税制面でも援助していただけると助かります。

【介護保険料、介護給付について（2件）】

- ・介護保険料の値上げは痛いです。介護施設と地場の食材の提供が円滑にできる方法はないでしょうか。例えば市場に出せない生産物を回すことなど。
- ・介護費用の保険給付をかなりいただいております、助かっています。

【その他（5件）】

- ・コロナウイルスもほぼ弱毒化してきており、インフルエンザ並みになってきているので家族の面会や宿泊は来年からはほぼ自由に3年前までと同じ状態に戻していただくことを希望します。面会制限はそろそろ解除しても良い時期と思います。人間的な暖かさ、ふれ合いが重要である視点で来年からはお考えいただければ幸いです。
- ・高齢になりますと、お買い物の時、ちょっと腰掛けたくくなります。特に膝が痛くなったり腰が痛くなったりします。そういう時、ちょっと腰がおろせたりできたらどんなに楽だろうかと思えます。ぜひベンチを設置してください。
- ・駅前交番が今閉じています。新しいビルになっても交番をおいてください。逗子は外国人も多くトラブルの発生の時、交番がないと困ります。
- ・現在コロナの影響により面会が2年間できない。早く面会ができると良いです。
- ・コロナにより家族の施設内立ち入りが不可になり、内部の様子もわからないまま3年が過ぎまし

た。以前は行われていた高齢福祉課・利用者家族代表・施設責任者とのミーティングも行われていません。コロナを理由に手抜きをしているように思われます。今後もウィズ・コロナ時代が長期に続くと思われるのに、放置されたままなのではないでしょうか。

3 介護者

問 26. 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(原文のまま掲載しています。)

【制度や手続きについて（5件）】

- ・書類が多すぎるペーパーレス（ネット等での併用）希望。
- ・サービス内容の一覧を見ることが出来たら良いと思います。
- ・デイサービスで機能訓練を掲げているならばもっと内容を充実させてほしい。介護をしている人も歯科検診のような医療機関に行きたいが、思うように行けない時もある。その時に介護者の応診のついでにみてもらいたいと思う時があるが現状はムリ。介護保険と社保、国保は違うのは分かるが、そこをうまく利用できないだろうか。
- ・介護保険制度に本人、家族とも助けていただき、有り難いと思っています。
- ・要介護者（要介護5）は全介護の状態で、介護者は今迄健康であったのが、年齢の為か（88才）急激に弱体化して、困って居ます。リーズナブルの費用で利用出来る市営の養老ホームの充実が実現すれば大いに助かります。

【経済的負担・料金について（5件）】

- ・介護離職状態になってから、生涯賃金（収入）が目減りがかなり激しいです。自分が介護を受けるようになった時、入所、入居など介護福祉サービス全般への利用料の金銭的心配があります。介護者への「相続税の軽減」など、残された者への配慮があったら良いと思いますので、地方自治体から国への提言を望むところです。
- ・現在、要介護者は、貯金を取りくずしながら生きている。残金ゼロになったらどうなるのだろう。年金だけで暮らせる施設は無いのか。空きはあるか。
- ・軽費老人ホームの数が少ないので、増やしていただきたい。
- ・介護保険はお金持ちの制度であると感じています。非課税で収入の少ない者に対して、家族の負担が大きすぎる。十分なことがしてあげられない。
- ・支援を受けるにも、自己負担が必要です。老々介護で、年金はカット、負担は倍増、将来どうなるのでしょうか。

【インフラ（施設、道路、公共交通機関など）について（4件）】

- ・要介護者が病院へ行くため菊池タクシー、京急葉山タクシーへ送迎の予約をしようとした所、予約は出来ない、送迎は出来ないと言われ断られた。その様な現状がある事をご存知でしょうか。まずはその様な事が起きない様にタクシー会社へ市から徹底してほしい。
- ・介護施設で働いている免許所有者（経験者）の給料をもっと優遇するような施策に取り組んで欲しい。（もっと有能な人材の確保・増加して欲しい為）
- ・高齢者施設の入所金は高額しすぎの所が多く、また、月々の利用代金も多くの方々が安心して利用できる金額ではないように思われる。見直しを望みます。
- ・移送サービスの充実

【その他（4件）】

- ・母は、3月に父が亡くなってから、特養のショートを継続して利用中ですが、まだ75歳と若い為、リハビリをした方が良いとの事で老健へ移る予定です。特養では人手不足の為か、食後に廊下でしばらく待たされる、ベルで呼んでもなかなか対応してもらえない等の不便さがあるとのこと。クラスター感染が何度か発生して更に手が回らなくなったようですが、各施設の感染症発生時のサポート体制を整えば、入居者が安心して快適に過ごすことができると思います。
- ・本人は有料老人ホームへ入所しています。
- ・母（要介護者）を介護し始めてからまだ1ヶ月しか経っていないので、今後気付いた事が有れば市に要望を伝えようと思います。
- ・特別養護老人ホームへ早く入れて下さい。

4 サービス提供事業所

問 46. 最後に、国・県・市に対する意見など、感じていることを自由に記入してください。(原文のまま掲載しています。)

【職員の処遇改善、職員の不足（7件）】

- ・緊急対応もコロナの影響で増えている。利用者様のための直接対応、連絡調整が多い中で書類作成が多く、仕事量が多く負担が大きく、ケアマネジャーの仕事をしたくないという声を良く聞く。実際の仕事状況を把握して欲しい。
- ・どの事業所も人員不足ときいています。当事業所も、人員的には、ぎりぎりです。体は空いていても仕事は入れないというスタッフ多いです。
- ・自治体によって申請書式がまちまちである。印鑑の必要な所とか不必要な所とか・個人情報保護に固執すると、事務作業ばかり増えて困る。認定更新の新請書もケアマネが代行申請するのに送付したりと、ムダが多い。主治医への資料も必要なのか、気になる。
- ・介護保険そのものは20年と少したち充実してきたように思いますが、事業所も増え人員不足（業界全体）がつづいていきますぜひ人材、人員確保に行政がより積極的に効果のある施策を考えて頂きたいです。又、書類作成が多すぎておりサービスより書類作りにおわれています。
- ・現場の状況に合わないルール等が多いように感じます。
- ・せっかくの良いアンケートなので、事業種別の内容で分けして解答しやすい内容にしてほしい。加算など細くなっていてデイサービスのアクティビティについて評価が低い。業務が煩雑で介護保険改正のたびに介護の本質から遠くなっている。医師や看護師の指示が強すぎ、介護と医療はちがうことを理解してほしい。
- ・作成書類の多い事が、考えられます。相談行務にもう少し、時間を取れたらと考えます。例えば、訪問前に調整の電話をした時に、次日も同じサービスの継続を望まれたら、その日の訪問は見合わせて、相談の有る人に時間を使えたら、いかがでしょうか。

【市への意見・要望（8件）】

- ・まずは1度も行われていないコンプライアンス（集団指導）遵守の為の研修を年1回は行うべき。コロナで休業し金銭的な支援は必要。
- ・コロナ禍に入ってから、サービス担当者会議を行わない、聞きとりアセスメントもしないケアマネジャーがたくさんいます。サービス事業所として、なにをもってアセスメント評価していますか疑問です。臨時的措置の濫用も見受けられます。マニュアルやフローチャートを作成し、逗子市の居宅全体のサービス統一をはかって頂きたいです。
- ・高齢者、事業者の事をもっと考えて欲しい。
- ・わかりやすい情報提供を期待しています。
- ・国に対して、年々物価は上がっているが（国の方針として上げている）介護保険が始まって以来1度も住宅改修費や特定福祉用具販売の限度額が変わらないのは理解に苦しむ、せめて今の限度額を税抜き額とするべきだと思う。物価高+消費税増税では負担は事業者が受けることになってしまう。税負担とサービス内容とのバランスのビジョンをキチンと出してほしい。常に業界の力関係で少ないパイを取りあっている。やった感だけの改正にはうんざりしている。高負担の高サービスなのか中負担の中サービスなのか小負担の小サービスなのか数字がデータを出して説明し

てほしい。何を・どんな書類でも、人員表の提出を求められます。データか何かで、一括できない物でしょうか。

- ・主任ケアマネ管理者の廃止・人員基準や書類の量を国で決めないで現場の状況を見て判断・ケアプラン有料化、介2までの給付をどうするかもなし。
- ・居宅介護支援は加算の新規算定なく法人内で不人気の仕事、ケアマネはやりたくないとの声もききます。今後は、ケアプラン料も利用者一部負担の流れもございます。一層の書類処理に費やす時間も増えると相定されます。皆が使えるICT化、低コストでの供給に少し期待したいと思います。
- ・介護の仕事の素晴らしさをもっと伝えていってほしい。誇りを持って仕事をしているスタッフ、喜んで働いているスタッフがもっと注目され、未来の子供たちが目指したい職業にしないと日本の介護業界の未来は非常に苦しいと感じています。

【その他（3件）】

- ・福祉用具の事業所向けのアンケートではありませんでした。
- ・事務負担を軽くしてほしい。
- ・介護保険制度の具体的な運用の方法で迷った時に相談できる窓口をはっきりしてほしい。

5 介護支援専門員

問 65. 最後に、国・県・市に対する意見など、感じていることを自由に記入してください。(原文のまま掲載しています。)(抜粋)

【国・県・市への要望（5件）】

- ・現場と行政とのずれがある
- ・老健勤務なので在宅復帰は提案するのですが、多床室に入所している利用者は経済的な理由から特養しか行き先がないというのが実情です。以前認定結果が要支援になりそうな利用者の転居先を探そうとしましたが、紹介会社が言うように最低15万円の入居費が捻出できませんでした。(結果的に要介護1になったので入所を継続しています。)そして特養の申し込みですが、逗子市には3つしかない。横浜市には新設もされていて多数存在していますが、逗子市民が横浜の施設に申し込むと順位が下がります。この点を見直して住民票の住所に関係なく特養へ申し込めるようになってほしいです。
- ・認定調査の結果が一定でないように思える。調査する人にもよると思うが、聞きとりや、把握が不十分な様子もあり、適切な介護度ではないと思われるケースが多い。施設では1日中その方を見ているため、普段見ている面と調査の時のみ見るのでは違うと考えますし、適正な方法の確立が必要と思います。
- ・国は緊縮財政をやめてもっと財政出動を。市は全てのケースを自分ごとと促えて積極的、能動的にややこしいケースにも関ってほしい。むしろややこしいケースこそ「自分の出番」と促えて問題解決に前のめりになって関わってほしい。また市は国とのパイプをしっかりと作って現場の声や問題点を伝えて下さい。国の役人が作る案は絵に書いたモチのように見えて現状を理解しているのかと不安になり、ただ予算を削減したいだけの様に思えてしまいます。この国の社会福祉システムは厚労省ではなく財務省が作っているように思われます。
- ・国、県、市が、お金をかける場合に介護保険制度を変えるが、高齢者がしっかりと納得できる方法を考えていただきたい。

【制度全般（4件）】

- ・実情をしっかりと把握した上で改制やシステムの変更を行ってほしい。それには現場の査察やヒアリングが何よりのヒントになると思われる。
- ・制度改正が頻繁にありそのたびに内容に通じるのに時間を多くとせれるため、業務に影響する。ケアマネの業務は年々、多く複雑になっているように思う。求められている仕事量に対し評価は高くないため、まじめに仕事をしている人ほどつかれ退職されるケースも多い。とても残念に思う。
- ・研修が多く、費用が多くかかる。・制度の変更が多い。
- ・業務の忙しさはどこの現場でも変わらないと思います。やりがいがありますが、現状の厳しさもあります。賃金等を含めたケアマネジャーの地位の向上や、人材育成にもっと国・県・市として力を入れていただきたいと思います。

【書類や研修の負担感（3件）】

- ・作成する文書書類が多すぎます。介護度の結果がもう少し早く出してもらえると助かります。一人のCMが担当する人数が多い。この先の(自分が老いた時)介護保険制度に不安があります。CM

より、CWで働いていた期間が長いため、現場で働いていた時に感じた事は…介護度が更新後、軽くなったら、その利用者に関わった全ての事業所にメリエツがあるといいと思いました。本人の努力業務の理解と、CM、CWが、その人の為にいい支援をしようと思うから。

- ・2000年に施行された介護保険制度であるが、これまでに制度改訂報酬改訂が数年毎に行われてきた。財政的には益々厳しく、介護の担い手も不足し、先行き不安しかない。非常に頭のいい厚労省や県・市の方々が考えられることに、現場ではついて行くしかない。目の前の困っている高齢者の手助けをすることを、仲間たちと日々行いながら、自分たちが後期高齢者になった時に果たしてどんなサービスが受けられるのだろうと考えてしまう。
- ・介護保険制度の趣旨は理解した上で、介護保険サービスを運用するにあたっての手続きや文書量があまりにも多すぎ煩雑に過ぎると考えられる。また、事業所や職員に対して、加算を増やすことが給与・収入の増加が行われているが、その加算の要件を満たすためにさらに業務量の増加・内容の複雑化を招いており、介護現場に対する、さらなる負担になっている。

【職員の処遇改善・職員の不足（8件）】

- ・ケアマネジャーに期待されていることが、行政、事業所、家族、本人から大きすぎる、多すぎる。
- ・介護職員不足。介護職員の給与が安すぎる。
- ・ケアマネの給与を見直して欲しい。
- ・施設の職員より低い賃金では、大変な勉強をしてまでやろうと思われたい。ケアマネになっても精神的負担が大きく辞めてしまう。家族の対応も年々大方になっていると感じる。病院では暴言がひどい場合（パワハラなど）退院となる場合はある様にケアマネにも契約解除が出来る様になれば、追い詰められて辞めて行く人が少なくなるのでは。
- ・スッキリと仕事が終れる事はなく、いつでも追われている感じがする・休日でも携帯に頻回に電話が来るので連絡調整をしなければならない・サービス担当者会議が多すぎる・書類整理の時間が全くとれない
- ・若い人の人口減少に加えて介護職離れ。
- ・施設内では、監査に対応できる書類を用意しておく作業がほとんどです。監査対策用書類要員遅よび、配置義務充足要員です。何の意味があるのかわかりません。書類を用意しておけばいいだけの監査に何の意味があるのかもわかりません。
- ・施設ケアマネなので、居宅支援内容の設問には理解難しく回答できてないところがほとんどです。ケアマネの処遇をもっと改善するべきです。

【その他（5件）】

- ・ケアマネとして管理者からの教示指学をいただけることは幸せと思っている。また、ケアマネサロン等で他事業所とのケアマネ、関連事業所職員との交流があり顔の見える関係で仕事させていただけることはありがたい。今後ご利用者様を中心として、そのご家族達も、地域の方々も、その方が存在して、よかったと思える地域づくりが出来ると良いと思います。高齢になっても認知症になってもその人らしい尊厳を保てる地域づくりのため必要な人に必要なサービスが届けられる様に望みます。
- ・もう少し問数を考えてほしい。大事である事はわかるがとても答えるのに時間がかかった。
- ・問題が大きすぎて難しいです。ただ、高齢者が多くなり、絶対に必要な仕事なのに私の働いている

事業所だけではなく、介護の賃金は見合わないと感じて来ました。

- ・月1回の訪問も大事とは思いますが、安定時の訪問期間を3ヶ月と予防対応と同じで良いかと思えます。変化時がある利用者様にこの時間を使う事で、困っている事への解決が早く成るかと思われそうです
- ・特定施設で約40人の介護者のケアマネをしています。自立型なので、新規に申請業務を行う事から始めますが、皆介護支援を受ける事をなかなか承されないのが苦労しています。施設に住んでも介護サービスが併用して使える等融通が効くようになると良いなと感じています。

V 調查票

V 調査票

1 要介護認定者（在宅）

要介護認定者個別調査票 ～ご自宅等でお過ごしの方へ～

介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃より、逗子市の高齢者福祉行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていただける環境づくりを進めるため、逗子市高齢者保健福祉計画を策定しています。

このたび令和6年度から令和8年度までの第9期の策定にあたり、11月1日現在、要介護認定を受けている方へアンケート調査を実施いたします。介護保険サービスの利用状況や今後の意向などをお伺いします。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

逗子市福祉部高齢介護課

ご記入にあたってのお願い

※ 対象者（500名）については、11月1日現在、要介護認定を受けている方で、要介護度別に層化均等無作為に抽出しました。

- この調査票でいう「あなた」とは、宛名の方ご本人です。できるだけご本人が回答してください。ご本人が回答できない場合は、ご家族がご本人に代わってまたは一緒に記入しても構いません。
- 令和4年11月の状況をお答えください。
- 回答のしかたは設問ごとの指定に従ってください。
回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。
- 調査票は、**12月15日（木）**までに同封の返信用封筒にて投函してください。
（切手を貼る必要はありません）

この調査についての問い合わせ先

逗子市福祉部高齢介護課介護保険係
電話 046 (873) 1111 内線 246・247

◎最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。

- ご本人自身が回答
- ご本人の回答を、別の方が代筆
- ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答

「2. ご本人の回答を、別の方が代筆」「3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の方のみ回答されている方は、ご本人からみただけでなすか。

- 配偶者
- 子
- 兄弟姉妹
- 孫
- 親
- その他（ ）

1 あなたとあなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別はどれですか。(ひとつだけに○)

- 男性
- 女性
- その他

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(ひとつだけに○)

- 40～64歳
- 55～69歳
- 70～74歳
- 75～79歳
- 80～84歳
- 85～89歳
- 90歳以上

問3 あなたの家族構成について教えてください。(ひとつだけに○)

- ひとり暮らし
- 配偶者のみ（あなたと二人世帯） ⇒ 問3-3へ
- 配偶者以外の65歳以上の方との世帯 ⇒ 問3-2、3-3へ
- その他の世帯（同居世帯）

問3で「1. ひとり暮らし」と答えた方のみ

問3-1. 親族（子、兄弟姉妹）は、どちらにお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 二世帯住宅にいますが、生活は別
- 同じ敷地内にいるが、生活は別
- 近所（歩ける範囲）にいる
- 近所ではないが、市内にいる
- 県内（市外）にいる
- 県外にいる
- その他（ ）
- 親族（子、兄弟姉妹）はいない

問3で「3. 配偶者以外の65歳以上の方との世帯」及び「4. その他の世帯（同居世帯）」と答えた方のみ

問3-2. ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、それは、あなたからみてどんな方ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 人
1. 父母（配偶者の親も含む）
 2. 配偶者
 3. 息子
 4. 娘
 5. 子の配偶者
 6. 兄弟姉妹
 7. 孫
 8. その他（ ）

問3で「2. 配偶者のみ（あなたと二人世帯）」「3. 配偶者以外の65歳以上の方との世帯」「4. その他の世帯（同居世帯）」と答えた方のみ

問3-3. 普段、誰と一緒に過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 一日中ひとり
2. 昼間（夜間）はひとり、夜間（昼間）のみ家族という
3. 一日中家族といることが多い
4. 一日中家族以外の人といることが多い
5. 近所の親族・親しい知人といることが多い
6. 病院や施設（職員）といることが多い

問4. 要介護度は次のどれに該当しますか。（ひとつだけに○）

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護5
6. わからない

問5. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 高血圧
2. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
3. 心臓病
4. 糖尿病
5. 脂質異常症（高脂血症）
6. 呼吸器の病気（肺炎や慢性閉塞性肺疾患）
7. 骨・関節の病気
8. 外傷（転倒・骨折等）
9. がん
10. 認知症（アルツハイマー病）
11. パーキンソン病
12. 視覚・聴覚障がい
13. 高齢による機能低下
14. 脊椎疾患（脊柱管狭窄症等）
15. 心の病気
16. その他（ ）

問6. あなたを介護している人は誰ですか。（ひとつだけに○）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 兄弟姉妹
6. 孫
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（ ）
9. いない

問6で「1. 配偶者（夫・妻）」～「6. 孫」と答えた方のみ

問6-1. 主な介護者の性別はどれですか。（ひとつだけに○）

1. 男性
2. 女性
3. その他

問6-2. 主な介護者とは、同居していますか。（ひとつだけに○）

1. 同居している
2. 同居していない

問6-3. あなたを主に介護・介助する方の年齢は、次のどれですか。（ひとつだけに○）

1. 20歳未満
2. 20～39歳
3. 40～64歳
4. 65～74歳
5. 75～79歳
6. 30～84歳
7. 85～89歳
8. 90歳以上

問6-4. 主な介護者の実状についてお知らせください。（あてはまるものすべてに○）

1. とくに問題はない
2. 高齢である
3. 病弱である
4. 介護者も要介護・要支援の認定を受けている
5. 仕事のために十分介護ができない
6. 子育てのために十分介護ができない
7. ほかに介護しなければならない人がいる
8. 介護のために離職した（休職中も含む）
9. その他（ ）

問7. 悩みや心配事の相談できる人はいますか。（ひとつだけに○）

1. いる
2. いない

問7で「1. いる」と答えた方のみ

問7-1. 相談できる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 兄弟姉妹
6. 友人・知人
7. 近所の人
8. 自治会・町内会
9. 老人クラブ
10. 民生委員・児童委員
11. 医師・歯科医師・看護師
12. ケアマネジャー
13. その他の介護サービス従事者
14. 社会福祉協議会
15. 地域包括支援センター
16. 市役所
17. その他（ ）

問8. 何かあった時に家事を手伝ってくれる人がいますか。(ひとつだけ○)

1. いる
2. いない

問8で「1. いる」と答えた方のみ

問8-1. 手伝ってくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘
4. 子の配偶者 5. 兄弟姉妹 6. 友人・知人
7. 近所の人 8. 自治会・町内会 9. 老人クラブ
10. 民生委員・児童委員 11. 医師・歯科医師・看護師 12. ケアマネジャー
13. その他の介護サービス従事者 14. 社会福祉協議会 15. 地域包括支援センター
16. 市役所 17. その他()

問9. 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所の窓口 2. ケアマネジャー 3. 地域包括支援センター
4. 民生委員・児童委員 5. かかりつけの医師 6. サービスの直接の担当者
7. 社会福祉協議会 8. その他()
9. とくにない

問10. 現在心配なこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の健康のこと 2. 家族の健康のこと 3. 家計のこと
4. 自分と家族の関係 5. 友だちづきあい 6. 家族同士の人間関係
7. 孤独 8. 自由に外出できない
9. 家族に面倒をみてもらっていること 10. 家族が一緒にいる時間が少ない
11. 居住空間(狭い・段差・ブライバシー等) 12. 居住環境(道が狭く車が通れない・坂があるなど)
13. 子の将来(就職や結婚など) 14. 災害時の対応
15. 楽しく過ごせていない 16. その他()
17. とくにない

問11. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(ひとつだけ○)

1. 苦しい 2. やや苦しい 3. 支障はない
4. ややゆとりがある 5. ゆとりがある

問12. お住まいはどれにあてはまりますか。(ひとつだけ○)

1. 自己所有の特家 2. 家族所有の特家 3. 民間賃貸住宅
4. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等) 5. その他()

問13. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

問13で「1. はい」と答えた方のみ

問13-1. お住まいにエレベーター・昇降機は設置されていますか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

2 健康状態について

問14. あなたは、現在ご自分かどの程度健康であると思えますか。

(「健康でない」を1点、「非常に健康」を5点として、点数を囲んでください)

健康でない ← 1点 2点 3点 4点 5点 → 非常に健康

問15. 健康状態について思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活に張り合いがなくなった
2. これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
3. 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった
4. 自分が役に立つ人間だと思えなくなった
5. わけもなく疲れたような感じがするようになった
6. 睡眠が不規則で充分取れなくなった
7. とくに思いあたることはない

問16. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病
4. 糖尿病 5. 脂質異常症(高脂血症)
6. 呼吸器の病気(肺炎や慢性閉塞性肺疾患) 7. 骨・関節の病気
8. 外傷(転倒・骨折等) 9. がん 10. 認知症(アルツハイマー病)
11. パーキンソン病 12. 視覚・聴覚障がい 13. 高齢による機能低下
14. 脊椎疾患(脊髄管狭窄症等) 15. 心の病気
16. その他() 17. なし

問 17. 入院・通院状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

1. 現在通院中
2. 最近1年間で、2週間以上の入院経験がある
3. 現在入院中
4. 現在往診を受けている
5. とくに医者にはかかっていない

問 17で「1. 現在通院中」と答えた方のみ

問 17-1. どのような方法で通院していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩 (自力歩行・杖歩行など)
2. 車いす
3. 自家用車 (家族が運転を含む)
4. 電車
5. 路線バス
6. タクシー
7. 民間による移送サービス
8. 特殊車両 (ストレッチャや車いすで乗れるもの)
9. その他 ()

問 17-2. 通院しているところはどこですか。(ひとつだけに○)

1. 退き市内
2. 神奈川県内 (市外)
3. 県外

問 17-3. 通院の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. 週2回以上
2. 週1回程度
3. 月に2回程度
4. 月に1回程度
5. その他 ()

問 17-4. 通院に介助が必要ですか。(ひとつだけに○)

1. はい
2. いいえ

問 18. 転倒について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものに○)

1. この1年間に転んだことがある
2. 転倒に対する不安は大きい
3. 転倒の不安はない

問 19. 6か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか。(どちらかに○)

1. はい
2. いいえ

問 20. あなたの身長と体重を教えてください。(整数でお答えください。)

身長 cm 体重 kg

問 21. 口腔機能について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
2. お茶や汁物等でむせることがある
3. 口の渇きが気になる
4. 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日している
5. 定期的に歯科受診 (健診を含む) をしている
6. とくに思いあたることはない

問 22. 1日の食事の回数は何回ですか。(ひとつだけに○)

1. 朝食晩3回
2. 朝晩2回
3. 朝食2回
4. 昼晩2回
5. 1回
6. その他 ()

問 23. どなたかと食事をともにする機会はありますか。(ひとつだけに○)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問 23で「1. 毎日ある」「2. 週に何度かある」「3. 月に何度かある」「4. 年に何度かある」と答えた方のみ

問 23-1. 食事をともにする人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族
2. 近所の人や友人
3. デイサービスの仲間
4. その他 ()

問 24. 物の忘れについて、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことが思い出せない
5. その日の活動 (食事をすると、衣服を選ぶなど) を自分で判断できない
6. 人に自分の考えをうまく伝えることができない
7. とくに思いあたることはない
8. その他 ()

3 外出・社会参加について

問 25. 運動・外出について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 外出を控えている
2. 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしている
3. 椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっている
4. 5m以上歩ける
5. 青信号で横断歩道を渡りきることができる
6. 15分位続けて歩いている
7. 週に1回以上は外出している
8. 昨年と比べて外出の回数が減っている
9. その他 ()

問 25 で「1. 外出を控えている」と答えた方のみ

問 25-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病氣
2. 障がい (脳卒中の後遺症など)
3. 歩行が不自由である
4. 足腰などの痛み
5. トイレの心配 (失禁など)
6. 耳の障がい、(聞こえの問題など)
7. 目の障がい
8. 外での楽しみがない
9. 経済的に出られない
10. 面倒なので
11. 交通手段がない
12. その他 ()

問 26. 外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. ほぼ毎日
2. 週4～5日
3. 週2～3日
4. 週1日
5. ほぼ外出しない

問 27. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩
2. 自転車 (電動・三輪を含む)
3. 歩行器・シルバーカー (手押し車)
4. 車いす
5. 電動車いす (カート)
6. 自動車 (人に乗せてもらう)
7. 電車
8. 路線バス
9. 病院や施設のバス
10. タクシー
11. その他 ()

問 28. 人との交流等について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人の家を訪ねている、または友人が訪ねてくる
2. 家族や友人の相談にのっている、または相談している
3. 趣味や生きがいがある
4. 他の人に自分から話しかけることがある
5. 隣の家 (部屋) の人の名前や顔を知っている
6. その他 ()

4 介護保険について

問 29. 新型コロナウイルス感染症まん延により、利用していた介護サービスの利用にどのような影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスが全く利用できなくなった
2. サービスの利用回数を減らされた
3. サービスの利用を自粛した
4. 影響はなかった
5. もともとサービスは利用していない
6. その他 ()

問 30. あなたは、現在、介護保険のサービスを利用していますか。(ひとつだけに○)

1. 利用していない ⇒ 問 30-1へ
2. 利用している ⇒ 問 30-3へ

問 30 で「1. 利用していない」と答えた方のみ

問 30-1. 介護サービスを利用していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用したい介護サービスがない
2. 家族が介護しているので必要ない
3. 介護サービスが必要な状態ではない
4. どんなサービスを利用したらよいかわからない
5. 利用料を支払うのが困難だから
6. サービスを利用することに抵抗がある
7. 友人、知人、近所の方が手伝ってくれるから必要ない
8. 利用しなかったが、事業者が予約でいっぱいだった (サービス名)
9. その他 ()

問 30-2. 今後、利用を考えている介護保険サービスはありますか。(ひとつだけに○)

1. 在宅で利用できるサービス ⇒ 問 30-2-1へ
2. 施設等への入所・入居 ⇒ 問 30-2-2、30-2-3へ
3. 今はまだわからない

問 30-2 で「1. 在宅で利用できるサービス」と答えた方のみ

問 30-2-1. 在宅で利用できるサービスの中で考えているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護 (ホームヘルプ)
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導^{※1}
6. 通所介護 (地域密着を含む)
7. 認知症対応型通所介護
8. 通所リハビリテーション (デイケア)
9. 短期入所療養介護 (療養型ショートステイ)
10. 短期入所生活介護 (ショートステイ)
11. 福祉用具貸与
12. 特定福祉用具購入費の支給
13. 住宅改修費の支給^{※3}
14. 定期巡回・随時対応型訪問看護^{※2}
15. 小規模多機能型居宅介護^{※4}
16. 移送サービス

※1 居宅療養管理指導とは、医師、歯科医師、薬剤師などが自宅を訪問して、医学的な管理や指導を行う事業のうち、要介護認定者が利用するサービス。
 ※2 定期巡回・随時対応型訪問看護とは、居宅要介護者が定期的な巡回介護、または随時通報により、居宅において、入浴、排せつ、食事等の介護やその他の日常生活上の世話を受けることのできるサービス。
 ※3 小規模多機能型居宅介護とは、要介護認定者の機密や希望に応じて、サービス拠点への「通い」を中心に、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を受けられるサービス。
 ※4 移送サービスとは、ひとりでは外出等が困難な高齢者等の送迎を行う民間サービス。

問 30-2-2 「2. 施設等への入所・入居」 と答えの方のみ

問 30-2-2-2. 入所・入居を考えている施設等はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) ……寝たきりや認知症で日常生活において常時介護が必要で、自宅では介護が困難な方が入所します。食事、入浴、排泄などの介護や療養上の世話が受けられます。(新規入所は原則として要介護3以上の方が対象です。)
2. 介護老人保健施設……病状が安定している方に対し、医学的管理のもとで看護、介護、リハビリテーションを行う施設です。医療上のケアやリハビリテーション、介護を一体的に提供し、家庭への復帰を支援します。
3. 介護療養型医療施設・介護医療院……介護療養型医療施設(療養所等)は、急性期の治療は終わったものの、医学的管理のもとで長期療養が必要な方のための医療機関です。医療、看護、介護、リハビリテーションなどが受けられます。介護医療院は、医学的管理の下で長期療養が必要な方のための医療のほか、生活の場としての機能も兼ね備え、日常生活上の介護などが受けられます。
4. 有料老人ホーム……高齢者が暮らしやすいように配慮された「住まい」で、食事サービス、介護サービス(入浴・排泄・食事など)、洗濯・掃除などの家事援助、健康管理のうち、いずれかのサービスを1つ以上提供しています。
5. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ……認知症のある要介護者が共同生活住居において、家庭的な環境で、介護スタッフによる入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がもっている能力に応じて自立した日常生活を営むことができるようにする目的で提供されるサービスです。
6. サービス付き高齢者住宅……介護不要な高齢者、もしくは要介護度の低い高齢者のための介護施設のことを言います。入居者のほとんどが日常的な介護が必要ないため、介護職員による見守りサービス、生活相談サービスを受けながら、自由度の高い暮らしをすることができま。
7. 軽費老人ホーム(ケア・ハウス) ……60歳以上で、自立して生活することに不安がある身寄りのない人、家族による援助を受けることが困難な人などが入居できる老人福祉法で定められた施設です。
8. 養護老人ホーム……介護の必要性とは関係なく身体的、精神的、環境的、または経済的理由で困難し、在宅で生活ができない高齢者が入所できる施設です。
9. その他()

問 30-2-3. 入所・入居を希望する理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 今の生活を続けたいが先々の心配がある
2. ひとり住まいなので介護をしてくれる人がいない
3. 介護者の負担が大き
4. 現在利用している病院や施設等から退院、退所、退居を迫られている
5. 在宅サービスを希望しているが経済的負担が大き
6. 専門的な介護が受けられる
7. 緊急時の対応で安心
8. その他()

問 30-3 「2. 利用している」と答えた方のみ

問 30-3. あなたは、ご自身の介護サービス計画(以下「ケアプラン」といいます。)の内容をご存じですか。(ひとつだけに○)

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

問 31 へ

問 30-3-3 「1. 知っている」と答えた方のみ

問 30-3-3-1. 現在の自身のケアプランについて、不満な点がありますか。(ひとつだけに○)

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

問 30-3-3-1-1. 不満な点について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. ケアプランの援助目標とその説明
2. ケアプラン作成への本人の参加
3. ケアプラン作成への家族の参加
4. 事業所の選択
5. 利用者負担への配慮
6. ケアプラン見直し・評価の体制
7. 利用するサービスの数
8. サービスの組み合わせ
9. サービスの利用日時の設定
10. 全体的なサービスの量
11. その他()

問 30-4. 現在のケアプランを作成しているケアマネジャーについて、不満な点はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 説明の丁寧さ・適切さ
2. 本人・家族の希望の反映
3. 相談時間や訪問回数
4. 納得できるケアプランの策定や見直し
5. 事業所やサービスの決め方
6. 事業所・医師・市役所との連携
7. 知識や情報量
8. 態度やマナー
9. 緊急時(急変時)やサービス変更等の対応
10. ケアマネジャーや地域包括支援センター職員を知らない
11. その他()
12. とくに不満はない

問 30-5. サービス事業所を選ぶ際に重視したいことはどのようなことですか。

(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

① 家庭を訪問するサービス (訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅

療養管理指導、定期巡回・随時対応型訪問看護)

1. 仕事の正確さ (時間や契約内容の履行)
2. 職員の技術や態度
3. 連絡のとりやすさ (日頃の意思疎通や緊急対応等)
4. 事業所の規模
5. 事業所の知名度や評判
7. その他 ()

② 施設へ通所・短期入所するサービス (通所介護 (地域密着を含む)、認知症対応型通所介護、通所

リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、小規模多機能居宅介護)

1. 施設や設備の使い勝手 (移動しやすさ、安全性)
2. 居心地よさ (清潔さ、明るさ、雰囲気など)
3. 活動内容 (リハビリ、趣味活動、行事等)
4. 食事の質
5. 職員の技術や態度
6. 意思疎通のしやすさ
7. 併設・提携施設や紹介便宜
8. 自宅からの近さ
9. 事業所の知名度や評判
10. その他 ()

③ 福祉用具貸与

1. 用具の種類が多さ
2. 用具の質 (新しさ、清潔さ等)
3. 職員の知識や態度
4. 事業所の知名度や評判
5. その他 ()

問 30-6. 認定され利用限度額 (以下、限度額) について、どの程度までサービスを利用していますか。
(ひとつだけに○)

<参考> 要介護度別の1か月の限度額です。記載の額は令和4年度です。

(ただし、負担金額はこの1割から3割です)

要介護1	167,650円	要介護2	197,050円	要介護3	270,480円
要介護4	309,380円	要介護5	362,170円		

1. 限度額を超えて保険外でも利用している ⇒ 問 30-6-1、30-6-2へ
2. 限度額をほぼ満額利用している (9割以上)
3. 限度額までは利用していない
4. ケアマネジャーから「サービス利用票別表」をもらっていない
5. わからない

問 30-6で「1. 限度額を超えて保険外でも利用している」と答えた方のみ

問 30-6-1. 限度額を超えて利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 限度額の範囲内では在宅生活が続けられない
2. 介護者の介護時間を減らす必要がある
3. もっと多くのサービスを利用したい
4. ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して
5. その他 ()

問 30-6-2. 主に利用しているサービスは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 訪問介護(ホームヘルプ)
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導
6. 通所介護(地域密着を含む)
7. 認知症対応型通所介護
8. 通所リハビリテーション(デイケア)
9. 短期入所生活介護(ショートステイ)
10. 短期入所療養介護(医療型ショートステイ)
11. 福祉用具貸与
12. 定期巡回・随時対応型訪問看護
13. 小規模多機能型居宅介護
14. その他 ()
15. わからない

問 30-7. あなたが介護保険サービスを利用する場合の負担割合は何割ですか。

1. 1割
2. 2割
3. 3割
4. わからない

問 30-8. 介護保険サービスの利用料はどなたが負担していますか。(ひとつだけに○)

1. あなた
2. 家族
3. あなたと家族
4. その他 ()
5. わからない

問 30-9. 介護保険サービス利用料の1か月あたりの支払額がいくら知っていますか。

(ひとつだけに○)

1. 知っている
2. 知らない

問 30-9-1. 介護保険サービス利用料の1か月あたりの概ねの支払額をお知らせください。

(ひとつだけに○)

1. 1,000円未満
2. 1,000円以上5,000円未満
3. 5,000円以上10,000円未満
4. 10,000円以上50,000円未満
5. 50,000円以上100,000円未満
6. 100,000円以上

問 30-9-2. 介護保険サービス利用料の支払額について、どのように感じていますか。

(ひとつだけに○)

1. 負担が大きい
2. 少し負担
3. 妥当な額である
4. 思ったより安い
5. わからない

5 高齢者福祉全般について

問 31 介護等の高齢者福祉に関する情報を、何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報紙
2. 市のパンフレットなど
3. 市社会福祉協議会の広報紙
4. 民生委員・児童委員
5. 地域包括支援センター
6. ケアマネージャー
7. 隣近所の人
8. 回覧板
9. 病院や施設
10. 新聞
11. テレビやラジオ
12. 書籍や雑誌
13. 家族や友人・知人
14. インターネット
15. その他 ()
16. 特に入手していない

問 32 あなたは、介護や保健、医療等に関して、どのような情報がほしいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報
2. 自宅のバリアフリー化（段差解消など）や高齢期に適した住みかえ先の情報
3. 介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）
4. 介護保険施設に関する情報（施設概要・空き状況等）
5. 介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）
6. 認知症の人に対するケアや相談先などの情報
7. 高齢者に対する虐待の相談先などの情報
8. 医療や介護に必要な費用に関する情報
9. その他 ()
10. 特に必要ない

問 33 スマートフォン・携帯電話を持っていますか。(1つに○)

1. スマートフォンを持っている
2. 携帯電話を持っている
3. スマートフォンも携帯電話も持っていない

問 33 で「1. スマートフォンを持っている」と答えた方に、お伺いします。

問 33-1 下記の機能で利用できるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 電話
2. メール
3. LINE
4. 動画視聴 (YouTube など)
5. インターネット
6. フェイスブック
7. インスタグラム
8. ツイッター
9. その他 ()

問 34 新型コロナウイルス感染症まん延によるあなたの生活などの変化についてお答えください。

(○はいくつでも)

1. 外出することが減った
2. 病院への通院回数が減った
3. 運動不足を感じるようになった
4. 物忘れで困ることが増えた
5. ストレスを感じるが増えた
6. 生活時間が乱れた
7. 他人と関わる機会が減った
8. 家族で過ごす時間が増えた
9. 仕事の機会が減った
10. 地域活動やボランティアの機会が減った
11. その他 ()
12. 特に意識や行動に変化はない

問 35 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

* 調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手を貼る必要はありません)

2 要介護認定者（施設入居者）

要介護認定者個別調査票 ～施設等へ入所・入居されている方へ～

介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃より、逗子市の高齢者福祉行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていただける環境づくりを進めるため、逗子市高齢者保健福祉計画を策定しています。

このたび令和6年度から令和8年度までの第9期の策定にあたり、11月1日現在、要介護認定を受けている方へアンケート調査を実施いたします。介護保険サービスの利用状況や今後の意向などをお伺いします。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

逗子市福祉部高齢介護課

ご記入にあたってのお願い

- ※ 対象者（100名）については、11月1日現在、要介護認定を受けている方で、要介護度別に層化均等無作為に抽出しました。
- 1 この調査票でいう「あなた」とは、宛名の方ご本人です。できるだけご本人が回答してください。ご本人が回答できない場合は、ご家族がご本人に代わってまたはご一緒に記入しても構いません。
- 2 令和4年11月の状況でお答えください。
- 3 回答のしかたは設問ごとの指定に従ってください。
回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。
- 4 調査票は、**12月15日（木）**までに同封の返信用封筒にて投函してください。
(切手を貼る必要はありません)

この調査についての問い合わせ先

逗子市福祉部高齢介護課介護保険係
電話 046 (873) 1111 内線 246・247

◎最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。

1. ご本人自らが回答
2. ご本人の回答を、別の方が代筆
3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答

「2. ご本人の回答を、別の方が代筆」・「3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の方のみ回答されている方は、ご本人からみてどなたですか。

1. 配偶者
2. 子
3. 兄弟姉妹
4. 孫
5. 親
6. 施設等の職員
7. その他 ()

1 あなたとあなたのご家族や生活状況について

問1. あなたの性別はどちらですか。(ひとつだけに○)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問2. あなたの年齢はおいくつですか。(ひとつだけに○)

1. 40～64歳
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80～84歳
6. 85～89歳
7. 90歳以上

問3. 親族（子、兄弟姉妹）は、どちらにお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市内
2. 県内
3. 県外
4. その他 ()
5. 親族（子、兄弟姉妹）はいない

問4. あなたの要介護の状態について教えてください。(ひとつだけに○)

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護5
6. わからない

問5. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高血圧
2. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
3. 心臓病
4. 糖尿病
5. 脂質異常症（高脂血症）
6. 呼吸器の病気（肺炎や慢性閉塞性肺疾患）
7. 骨・関節の病気
8. 外傷（転倒・骨折等）
9. がん
10. 認知症（アルツハイマー病）
11. パーキンソン病
12. 視覚・聴覚障がい
13. 高齢による機能低下
14. 脊椎疾患（脊柱管狭窄症等）
15. 心の病気
16. その他（具体的に：)

問 6. 悩みや心配事の相談できる人はいませんか。(ひとつだけに○)

1. いる 2. いない

問 6. で「1. いる」と答えた方のみ

問 6-1. 相談できる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘
4. 子の配偶者 5. 兄弟姉妹 6. 友人・知人
7. 近所の人 8. 自治会・町内会 9. 老人クラブ
10. 民生委員・児童委員 11. 医師・歯科医師・看護師 12. ケアマネジャー
13. その他の介護サービス従事者 14. 社会福祉協議会 15. 地域包括支援センター
16. 市役所 17. 施設等の職員
18. その他 ()

問 7. 現在心配なこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の健康のこと 2. 家族の健康のこと 3. 家計のこと
4. 自分と家族の関係 5. 友だちづきあい 6. 家族同士の人間関係
7. 孤独 8. 自由に外出できない 9. 家族と一緒にいる時間
10. 居住空間(狭い・段差・ブライバジー等) 11. 子の将来(就職や結婚など)
12. 災害時の対応 13. 楽しく過ごせていない 14. その他 ()
15. とくにない

問 8. 現在の施設等には、どれくらい入所・入居されていますか。(ひとつだけに○)

1. 半年未満 2. 半年以上1年未満 3. 1年以上1年半未満
4. 1年半以上2年未満 5. 2年以上3年未満 6. 3年以上4年未満
7. 4年以上5年未満 8. 5年以上

問 9. 施設等の所在地はどこですか。(ひとつだけに○)

1. 市内 2. 県内 3. 県外 4. その他 ()

問 10. どのようなお部屋にお住まいですか。(ひとつだけに○)

1. 個室 2. 二人部屋 3. 三人部屋
4. 四人部屋 5. その他 ()

問 11. 現在、生活されている施設等はどういう施設ですか。(ひとつだけに○)

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 2. 介護老人保健施設
3. 介護療養型医療施設・介護医療院 4. 有料老人ホーム
5. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 6. サービス付き高齢者住宅
7. 軽費老人ホーム(ケア・ハウス) 8. 養護老人ホーム
9. その他 ()

問 12. 入所・入居するまでの待機期間は、どのくらいありましたか(ひとつだけに○)

1. すぐに入れた 2. 3か月未満 3. 3か月~6か月未満
4. 6か月~1年未満 5. 1年~2年未満 6. 2年以上
7. わからない

問 13. 現在の施設等への入所・入居以前は、主にどこで過ごされましたか
(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅 2. 親族の家
3. 医療機関に入院 4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
5. 介護老人保健施設 6. 介護療養型医療施設・介護医療院
7. 有料老人ホーム 8. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
9. サービス付き高齢者住宅 10. 軽費老人ホーム(ケア・ハウス)
11. 養護老人ホーム 12. その他 ()

問 14. 施設等に入所・入居したことで、それまでの生活と比べて、良くなったと感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身の回りのことができるようになった 2. 生活の意欲が出てきた
3. 体調が良くなった 4. 食生活がよくなった
5. 精神的ストレスが減った 6. 家族に対する気兼ねが減った
7. 外出(散歩など)の機会が増えた 8. その他 ()
9. 特に変化はない

問 15. 施設等での生活はどなたが決めましたか。(ひとつだけに○)

1. 本人 2. 家族・親族 3. 本人及び家族
4. その他 ()

問 16. 施設等の生活を選んだ理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 一人暮らし等で介護者がいなくなったから 2. 介護者の身体的負担が大きかったから
3. 介護者の精神的負担が大きかったから 4. それまでの環境では介護を受けるのが困難だから
5. 専門的なケアが必要だったから 6. その他 ()
7. 特になし

問 17. あなたは施設等で主にどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外出(散歩など) 2. リハビリ・体操をしている
3. 趣味の活動をしている 4. 仲間と過ごしている
5. 居室で過ごしている 6. その他 ()
7. 特に何もしていない

問 18. あなたの家族・親族・知人は、どの程度の頻度で訪問されますか。(スマートフォン等によるビデオ通話等も含む) (ひとつだけに○)

1. 毎日 (週5回以上)
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月1～2回
5. 年数回
6. 訪問はない
7. その他 ()

問 19. 現在入所・入居している施設等について、不満な点はありますか。(ひとつだけに○)

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

問 19 で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ

問 19-1. 不満な点はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設・設備
2. 技術や専門性
3. 職員の状態やマナー
4. 食事
5. 入浴
6. 外出・外泊
7. レクリエーション
8. 施設等の職員との対話
9. リハビリテーション
10. その他 ()

問 20. あなたは、今後、どこで暮らしていきたいですか。(あてはまるもの2つまでに○)

1. 自宅
2. 親族 (介護者) の家
3. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
4. 介護老人保健施設
5. 介護療養型医療施設・介護医療院
6. 有料老人ホーム
7. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
8. サービス付き高齢者住宅
9. その他 ()
10. わからない

問 21. あなたは、ご自身のケアプランをご存知ですか。(ひとつだけに○)

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

問 21 で「1. 知っている」と答えた方のみ

問 21-1. 現在のご自身のケアプランについてどう思いますか。(ひとつだけに○)

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

2 健康状態について

問 22. あなたは、現在ご自分がどの程度健康であると思いますか。

(「健康でない」を1点、「非常に健康」を5点として、点数を円んでください)



問 23. 健康状態について思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活に張り合いがなくなかった
2. これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
3. 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった
4. 自分が役に立つ人間だと思えなくなった
5. わけもなく疲れたような感じがするようになった
6. 睡眠が不規則で充分取れなくなった
7. とくに思いあたることはない

問 24. 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高血圧
2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
3. 心臓病
4. 糖尿病
5. 脂質異常症 (高脂血症)
6. 呼吸器の病気 (肺炎や慢性器質性肺疾患)
7. 骨・関節の病気
8. 外傷 (転倒・骨折等)
9. がん
10. 認知症 (アルツハイマー病)
11. パーキンソン病
12. 視覚・聴覚障がい
13. 高齢による機能低下
14. 脊椎疾患 (脊柱管狭窄症等)
15. 心の病気
16. その他 ()
17. なし

問 25. 入院・通院状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

1. 最近1年間で、2週間以上の入院経験がある
2. 現在入院中
3. 現在通院中
4. 現在往診を受けている
5. とくに医者にはかかっていない

問 26. 転倒について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものに○)

1. この1年間に転んだことがある
2. 転倒に対する不安は大きい
3. 転倒に不安はない

問 27. 6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(ひとつだけに○)

1. はい
2. いいえ

問 28. あなたの身長と体重を教えてください。(整数でお答えください。)

身長 cm 体重 kg

問 29. 口腔機能についておたずねします。思いあたるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
2. お茶や汁物等でむせることがある
3. 口の渇きが気になる
4. 歯磨き(人にやってもら場合も含む)を毎日している
5. 定期的に歯科受診(健診を含む)をしている
6. とくに思いあたることはない

問 30. ものを忘れについておたずねします。思いあたるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができな
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことが思い出せない
5. その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できない
6. 人に自分の考えをうまく伝えることができな
7. その他()
8. とくに思いあたることはない

3 外出・社会参加について

問 31. 外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. ほぼ毎日
2. 週4～5日
3. 週2～3日
4. 週1日
5. ほぼ外出しない

問 32. 運動・外出について、思いあたるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 外出を控えている
2. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇り降りしている
3. 椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっている
4. 5m以上歩ける
5. 15分位続けて歩いている
6. 週に1回以上は外出している
7. 昨年と比べて外出の回数が減っている
8. その他()

問 32 で「1. 外出を控えている」と答えた方のみ

問 32-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病気
2. 障がい(脳卒中の後遺症など)
3. 歩行が不自由である
4. 足腰などの痛み
5. トイレの心配(失禁など)
6. 耳の障がい(聞こえの問題など)
7. 目の障がい
8. 外での楽しみがない
9. 経済的に出られない
10. 面倒なので
11. 交通手段がない
12. その他()

問 33. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩
2. 自転車(電動・三輪を含む)
3. 歩行器・シルバーカー(三押し車)
4. 車いす
5. 電動車いす(カート)
6. 自動車(人に乗せてもらう)
7. 電車
8. 路線バス
9. 病院や施設のバス
10. タクシー
11. その他()

問 34. 新型コロナウイルス感染症まん延によるあなたの生活などの変化についてお答えください。
(○はいくつでも)

1. 外出することが減った
2. 病院への通院回数が減った
3. 運動不足を感じるようになった
4. 物忘れで困ることが増えた
5. ストレスを感じるようになった
6. 生活時間が乱れた
7. 他人と関わる機会が減った
8. 家族で過ごす時間が増えた
9. 仕事の機会が減った
10. 地域活動やボランティアの機会が減った
11. その他()
12. 特に意識や行動に変化はない

4 高齢者福祉全般について

問 35. 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございます。

* 調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手を貼る必要はありません)

3 介護者

介護者個別調査票

～高齢者の介護をしておられる方へ～

介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃より、逗子市の高齢者福祉行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていただける環境づくりを進めるため、逗子市高齢者保健福祉計画を策定しています。

このたび令和6年度から令和8年度までの第9期の策定にあたり、11月1日現在、要介護認定を受けている方へアンケート調査を実施いたします。介護保険サービスの利用状況や今後の意向などをお伺いします。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

逗子市福祉部高齢介護課

ご記入にあたってのお願い

※ 対象者（600名）については、11月1日現在、要介護認定を受けている方で、要介護差別に層化均等無作為に抽出しました。

- 1 この調査票でいう「あなた」とは、宛名の方の介護をされているご家族の方です。
- 2 令和4年11月の状況でお答えください。
- 3 回答のしかたは設問ごとの指定に従ってください。
回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。
- 4 調査票は、**12月15日(木)**までに同封の返信用封筒にて投函してください。
(切手を貼る必要はありません)

この調査についての問い合わせ先

逗子市福祉部高齢介護課介護保険係
電話 046 (873) 1111 内線 246・247

1 あなた(介護者)について

問1. 介護者は、あなたを含めて何人いますか。ホームヘルパー等サービス提供事業所は除いた数でお答えください。(ひとつだけに○)

1. 1人 2. 2人 3. 3人以上

問2. そのうち、要介護者と同居している人は何人ですか。要介護者が入所・入院している場合は、その前の状況でお答えください。(ひとつだけに○)

1. 0人 2. 1人 3. 2人 4. 3人以上

問3. 主な介護者は、要介護者から見ても、どなたですか。(ひとつだけに○)

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者
5. 孫 6. 兄弟姉妹 7. その他(具体的に:)

問4. 主な介護者の性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 男 2. 女 3. その他

問5. 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 20歳未満 2. 20～49歳 3. 50～59歳 4. 60～64歳
5. 65～69歳 6. 70～74歳 7. 75～79歳 8. 80～89歳
9. 90歳以上

問6. 主な介護者は要介護者と同居していますか。(ひとつだけに○)

※ 要介護者が施設等に入所・入院している場合は、入所・入院前の状況でお答えください。

1. 別居している 2. 同居している 3. その他()

問6で「1. 別居している」と答えた方のみ

問6-1. 主な介護者が要介護者のどこに着くまでに何分かかりますか。また、主な介護者のお住まいはどちらですか。要介護者が施設等に入所・入院している場合は、入院前の状況でお答えください。(枠内に数字を入れ、ひとつだけに○)

要介護者のどこに着くまでに 時間 分ほどかかる

1. 市内 2. 近隣の他の市町(葉山町・鎌倉市・横浜市・横須賀市・三浦市)
3. 県内 4. 県外

問7. あなたが介護を始めてどのくらいになりましたか。(ひとつだけに○)

1. 半年以内 2. 1年以内 3. 2年以内
4. 3年以内 5. 4年以内 6. 5年以内
7. 10年以内 8. 10年超 9. 覚えていない

問8. あなたが今困っていることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢である
2. 持病がある
3. 体が不自由である
4. ストレスを感じている
5. 自分も要支援・要介護認定を受けている
6. ほかに介護しなくてはならない要介護者等がいる
7. 仕事と介護の両立が難しい
8. 子育てと介護の両立が難しい
9. 自由な時間が持てない
10. 経済的な負担が大きい
11. その他の問題がある (具体的に:)
12. とくに問題はない

問9. あなたは、介護にストレスを感じたことはありませんか。(あてはまるものに○)

1. ストレスを感じたことがある (どんな時ですか:)
2. ストレスを感じたことがない ()
3. わからない

問9で「1. ストレスを感じたことがある」と答えた方のみ

問9-1. あなたは、介護にストレスを感じ、誰か(どこか)に相談したことはありませんか。

1. 相談をしたことがある
2. 相談をしたことがない⇒問9-1-2へ

問9-1-1. 誰(どこ)へ相談したことがあるか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族
2. 友人
3. 市役所の窓口
4. ケアマネジャー
5. 地域包括支援センター
6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師
8. サービスの直接の担当者
9. 社会福祉協議会
10. その他 ()
11. とくにない

問9-1-2. 相談をしたことがない」と答えた方のみ

問9-1-2. 相談したことがない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1. どこに相談してよいかわからない
2. 他の人に言いたくない
3. 相談しても解決しないから
4. その他 ()

2 あなたが介護をしている方(要介護者)について

問10. 現在、要介護者はどこで生活していますか。(ひとつだけに○)

※ 短期入所や短期間の入院をしているときは、入所や入院前の状況でお答えください。

1. 自宅や親族の家
2. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
3. 介護老人保健施設
4. 介護療養型医療施設・介護医療院
5. 有料老人ホーム
6. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
7. サービス付き高齢者住宅
8. 軽費老人ホーム (ケア・ハウス)
9. 養護老人ホーム ()
10. その他 ()

問11. 要介護者の要介護度は現在どれにあてはまりますか。(ひとつだけに○)

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護5
6. わからない

問12. 要介護者の心身の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活はなんとか一人でできる
2. 日常生活の一部に手助けが必要
3. 日常生活のすべてについて手助けが必要
4. 認知症の症状が少しあるが、なんとか一人で生活できる
5. 認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない
6. その他 (具体的に:)

問12で「4. 認知症の症状が少しあるが、なんとか一人で生活できる」「5. 認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない」と答えた方のみ

問12-1. 認知症の対応について、どのようなことでお困りですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会話が成立しない
2. 認知症と思われる行動に対して対処がわからない
3. 日中の見守りが大変である
4. 夜間の見守りが大変である
5. 自分の時間が持てない
6. 要介護者に責められたり暴力をふるわれたりすることがある
7. 要介護認定にうまく反映されていない
8. どこに相談したらいいかわからない
9. どの医療機関を選択したらいいかわからない
10. その他 ()
11. とくに困ることはない

問13. 要介護者は、介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけに○)

1. 利用していない
2. 在宅で受けられるサービスを利用している
(有料老人ホーム、認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)、サービス付き高齢者住宅等)に入居している場合を含む)
3. 施設等に入所・入院している
(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設・介護医療院、軽費老人ホーム・養護老人ホーム)に入所・入院中の場合)

問13で「1. 利用していない」と答えた方のみ

問13-1. 主な理由は何かですか。(ひとつだけに○)

1. 現状では、サービスが必要とするほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ()

3 要介護者が利用している在宅サービスについて

問 14. あなたは、要介護者のケアプランをご存じですか。(ひとつだけに○)

1. 知っている 2. あることは知っているが見たことがない 3. 知らない

問 14 で「1. 知っている」と答えた方のみ

問 14-1 要介護者のケアプランについて、不満な点はありませんか。(ひとつだけに○)

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問 14-1 で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ

問 14-1-1. 不満な内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ケアプランの援助目標とその説明
2. ケアプラン作成への本人の参加
3. ケアプラン作成への家族の参加
4. 事業所の選択
5. 利用者負担への配慮
6. ケアプラン見直し・評価の体制
7. 利用するサービスの数
8. サービスの組み合わせ
9. サービスの利用日時の設定
10. 全体的なサービスの量

問 15. 要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人はごなですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 要介護者本人 2. あなた 3. その他の家族
4. その他 () 5. とくにない

問 16. 担当のケアマネジャーについて不満な点はありませんか。(ひとつだけに○)

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問 16 で「3. やや不満」「4. 不満」と答えた方のみ

問 16-1. 不満な内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 説明の丁寧さ・親切さ
2. 本人・家族の希望の反映
3. 相談時間や訪問回数
4. 納得できるケアプランの策定や見直し
5. 事業所やサービスの決め方
6. 事業所・医師・関係機関との連携
7. 知識や情報量
8. 態度やマナー
9. 緊急時(急変時)やサービス変更等の対応

問 17. 現在、利用しているサービスにはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護 (ホームヘルプ)
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導^{※1}
6. 通所介護 (地域密着を含む)
7. 認知症対応型通所介護
8. 通所リハビリテーション (デイケア)
9. 短期入所療養介護 (療養型ショートステイ)
10. 短期入所生活介護 (ショートステイ)
11. 福祉用具貸与
12. 特定福祉用具購入費の支給
13. 住宅改修費の支給
14. 定期巡回・随時対応型訪問看護^{※2}
15. 小規模多機能型居宅介護^{※3}
16. 移送サービス^{※4}
17. その他 ()
18. わからない

※1 居宅療養管理指導とは、医師、歯科医師、薬剤師などが自宅等を訪問して、医学的な管理や指導を行う事業のうち、要介護認定者が利用するサービス。

※2 定期巡回・随時対応型訪問看護とは、居宅要介護者が定期的な巡回介護、または随時通報により、居宅において、入浴、排せつ、食事等の介護やその他の日常生活上の世話を受けることのできるサービス。

※3 小規模多機能型居宅介護とは、要介護認定者の状態や希望に応じて、サービス拠点への「通い」を中心に、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話を提供するサービス。

※4 移送サービスとは、ひとりでは外出等が困難な高齢者等の送迎を行う民間サービス。

問 17-1. 問 17 のサービスについて、① もっと利用したい、または、② 利用しにくいとお感じのサービスがありましたら、その内容についてご自由にお書きください。

① もっと利用したいと思うサービス

サービス名称	もっと利用したいと思う内容や理由

② 利用しにくいと思うサービス

サービス名称	利用しにくいと思う内容や理由

問 17-2. 問 17 以外で、希望するサービスをお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 付き添い (外出先での活動支援)
2. 生活の見守り (認知症対応)
3. 夜間の介護等
4. 施設入浴 (施設に行つての入浴)
5. リハビリ目的の短時間施設利用
6. 紙おむつの支給
7. 訪問美容サービス
8. 突発的な事由によるショートステイ
9. その他 ()
10. とくにない

問 18. 退子市の独自事業である「移送サービス」についてご存知ですか。(ひとつだけに○)
(医療機関への運搬や買い物等のために、タクシー等で送迎してもらうサービスです。なお、このサービスを利用するには、利用条件に該当する方が事前に利用証の交付を受けて、ケアプランに位置づける必要があります。)

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが、制度内容は知っている
3. 名前を聞いたことがある
4. 知らない

問 19. その他、外出を支援するために市に望むことは何ですか。ご自由にお書きください。

4 要介護者が施設等に入所・入居しているご家族におたずねします

※要介護者が介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設・介護医療院等に入所・入居中の場合にお答えください。

問 20. 要介護者のケアプランをご存じですか。(ひとつだけに○)

1. 知っている
2. あることは知っているが見たことがない
3. 知らない

問 21. 現在、要介護者が入所・入院している施設等について、不満な点はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 施設・設備
2. 技術や専門性
3. 職員の態度やマナー
4. 食事
5. 入浴
6. 外出・外泊
7. レクリエーション
8. 意思疎通(話しにくい)
9. リハビリテーション
10. 本人との連絡手段がない
11. 利用料
12. その他()

問 22. 要介護者はどこで暮らして欲しいですか。(2つまでに○)

1. 自宅
2. 親族(介護者)の家
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
4. 介護老人保健施設
5. 介護療養型医療施設・介護医療院
6. 有料老人ホーム
7. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
8. サービス付き高齢者住宅
9. 軽費老人ホーム(ケア・ハウス)
10. 養護老人ホーム
11. その他()
12. わからない

5 高齢者福祉全般について

※介護者の皆さまにおたずねします。

問 23. 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人、ボランティアの人等
4. 介護が必要な本人
5. ケアマネジャー
6. 地域包括支援センター
7. 市役所
8. 保健福祉事務所
9. 介護サービス事業者
10. 医師
11. 病院の医療ソーシャルワーカー
12. 民生委員
13. その他()
14. 誰にも相談していない
15. わからない

問 24. 成年後見制度についてご存知ですか。(ひとつだけに○)

※成年後見制度とは、認知症等で判断能力が困難になった方に代わり、財産管理や契約行為等を行う後見人を選定し、法的に保護・支援する制度です。裁判所に申立てを行うことで、後見人は、家族や親族のほか弁護士・社会福祉士等が選任されます。

1. 内容まで知っている
2. 名前を聞いたことがある
3. 知らない

問 25. 新型コロナウイルス感染症まん延により、利用していた介護サービスの利用にどのような影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスが全く利用できない期間があった
2. サービスの利用回数を減らされた
3. サービスの利用を自粛した
4. 影響はなかった
5. もともとサービスは利用していない
6. その他()

問 26. 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
*調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手を貼る必要はありません)

4 サービス提供事業所

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

1 貴事業所についておたずねします

問1. 貴事業所の概要について下欄にご記入ください。
【事業種別は巻末の事業コードを参照して、番号でご記入ください】

事業所名	
事業種別	所在地(市町名)
電話	連絡先(担当者)
法人の種類(ひとつだけに○)	
1. 社会福祉法人(社会福祉協議会)	2. 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)
3. 医療法人(社団・財団)	4. 営利法人(有限会社・株式会社)
5. 特定非営利活動法人(NPO法人)	6. 農業協同組合
7. 生活協同組合	8. その他の法人(名称)
9. その他(具体的に:)	

問2. 新型コロナウイルス感染症まん延により、提供するサービスにどのような影響がありましたか。(ひとつだけに○)

1. サービスの提供が全くできない期間があった
2. サービスの提供を制限せざるを得ない期間があった
3. 影響はなかった
4. その他(具体的に:)

問3. 現行サービス以外に、新たに逗子市内で介護保険サービスを提供する予定はありますか。(ひとつだけに○)

1. 実施予定あり
2. 状況を見て実施したい
3. 実施したいができない
4. とくに予定はない } → 問4へ
5. わからない

問3で「1. 実施予定あり」～「3. 実施したいができない」と答えただけの方のみ
問3-1. どのような介護保険サービスをいつ提供する予定ですか。
【事業種別は巻末の事業コードを参照して、番号でご記入ください】

事業種別	開始時期	年	月	頃
事業種別	開始時期	年	月	頃
事業種別	開始時期	年	月	頃

サービス提供事業所個別調査票

介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃より、逗子市の高齢者福祉行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。逗子市高齢者保健福祉計画を策定しています。

このたび令和6年度から令和8年度までの第9期の策定にあたり、11月1日現在、介護サービス提供の現場を担う事業所の皆様へアンケート調査を実施いたします。介護保険サービス提供の現状や意見、今後の意向などをお伺いします。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

逗子市福祉部高齢介護課

ご記入にあたってのお願い

- 1 令和4年11月の状況でお答えください。
- 2 回答のしかたは設問ごとの指定に従ってください。
回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。
- 3 調査票は、**12月15日(木)**までに同封の返信用封筒にて投函してください。
(切手を貼る必要はありません)

この調査についての問い合わせ先

逗子市福祉部高齢介護課介護保険係

電話 046(873)1111 内線246・247

問 4. サービス事業の今後の展開についておたずねします。介護保険サービス事業の廃止又は休止を予定していますか。

1. 予定している

2. 予定していない

問 4 で「1. 予定している」と答えられた方のみ

問 4-1. 廃止又は休止を予定している介護保険サービス事業種別と時期についてお伺いします。
【事業種別は巻末の事業コードを参照して、番号をご記入ください】

事業種別	年	月頃
廃止又は休止の予定時期		

問 4-2 廃止又は休止予定の理由をお聞かせください。
(一番影響が大きい理由ひとつだけに○)

1. 人材の不足
2. 利用者の減
3. 同業他社の増
4. 経営上の理由
5. その他 ()

問 5. 令和 4 年 11 月現在、貴事業所が提供しているサービスについて、現在の人員配置をお答えください。(該当がない場合は 0 人とご記入ください。)

職種	雇用形態内訳 (人数を記入)		年齢内訳 (人数を記入)					
	常勤	非常勤	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
1. 管理者	人	人	人	人	人	人	人	人
2. サービス提供責任者	人	人	人	人	人	人	人	人
3. ケアマネジャー又は計画作成担当者	人	人	人	人	人	人	人	人
4. 訪問介護員 (ホームヘルパー)	人	人	人	人	人	人	人	人
5. 看護職員	人	人	人	人	人	人	人	人
6. 機能訓練指導員	人	人	人	人	人	人	人	人
7. 生活相談員	人	人	人	人	人	人	人	人
8. 調理職員	人	人	人	人	人	人	人	人
9・医師	人	人	人	人	人	人	人	人
10. その他	人	人	人	人	人	人	人	人

問 6. 常勤職員について、令和 4 年 11 月現在、現事業における勤続期間ごとの人数をお答えください。
(該当がない場合は 0 人とご記入ください。)

勤続期間 (人数を記入)	6 ヶ月未満		1 年以上 3 年未満		3 年以上 5 年未満		5 年以上	
	人	人	人	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人	人	人	人

問 7. 貴事業所で 1 年間 (令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日) に採用した人数及び離職した人数をお答えください。(該当がない場合は 0 人とご記入ください。)

	常勤		非常勤	
	男性	女性	男性	女性
① 採用した人数	人	人	人	人
② 離職した人数	人	人	人	人

問 8. 貴事業所では職員の早期離職の防止や定着促進のため事業所としてのどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 賃金・労働条件を改善する
2. 職員に労働時間の希望を聞く
3. 職員に仕事内容の希望を聞く
4. 研修等、人材育成を充実させる
5. その他 ()
6. とくにない

問 9. 貴事業所において、特に確保の困難な職種は何ですか。(ひとつだけに○)

1. ケアマネジャー
2. サービス提供責任者
3. 訪問介護員
4. 看護師
5. 保健師
6. その他 ()

問 10. 全体的にサービスは利用者の希望どおりに提供されていると悪いですか。(ひとつだけに○)

1. 十分提供できている
2. 不十分だが概ね提供できている
3. 一部提供できないものがある (具体的に:)
4. 提供できていない (具体的に:)

問 11. 事業を展開するに当たり、どのようなことに苦慮していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. スタッフの人数不足
2. スタッフの技術不足
3. スタッフの都合によるキャンセルや時間変更
4. 利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更
5. 特定の日時・曜日等にサービスが集中すること
6. 利用者宅までの移動に時間がかかりすぎること
7. 利用者からのサービス内容変更の要望が多いこと
8. 利用者からのスタッフ変更の要望が多いこと
9. ケアプランに利用者の意向が反映されていけないこと
10. ケアマネジャーと連携がうまくとれないこと
11. 地域包括支援センターと連携がうまくとれないこと
12. 主治医と連携がうまくとれないこと
13. その他 (具体的に:)
14. とくにない

問 12. 介護保険制度や業務に必要な情報を得るのに有効と思うものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 国・県・市区町村
2. かながわ福祉情報コミュニティ
3. WAMNET
4. 地域包括支援センター
5. 自社のネットワーク
6. 業界団体
7. 専門職の所属団体
8. 研修会 講習会等
9. 関係誌・新聞等
10. インターネットで検索
11. その他 ()

問 13. サービス提供にあたり、関係者間の連携・連絡はとれていますか。

区分	①連携・連絡の方法 (あてはまるものすべてに○)	②現状の評価 (それぞれひとつずつだけ○)	
内部連携	1 ケアマネジャーと事務職	1. 毎日の朝会 2. 日誌や報告書 3. 事務職が連絡役 4. ケース会議 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	2 ケアマネジャーとサービス従事者	1. 毎日の朝会 2. 日誌や報告書 3. 事務職が連絡役 4. ケース会議 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	3 他事業所のケアマネジャーとの連携	1. サービス担当者会議への参加 2. 利用者名にある連絡帳 3. 担当者(事業者)間で電話により連絡 4. 担当者(事業者)間で文書により連絡 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	4 地域包括支援センターとの連携	1. 地域ケア会議への参加 2. 担当者(事業者)間で電話により連絡 3. 担当者(事業者)間で文書により連絡 4. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
外部連携	5 他事業所のサービス従事者との連携	1. サービス担当者会議への参加 2. 利用者名にある連絡帳 3. 担当者(事業者)間で電話により連絡 4. 担当者(事業者)間で文書により連絡 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	6 利用者の主治医との連携	1. 主治医に連絡するようにしている 2. 主治医の指示を受けようとしている 3. ケアマネジャーに任せている 4. 緊急連絡医師としている 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	7 選手市でのサービス提供における事業所間の連携	1. 市の研修会で交流 2. ケース毎に必ず連絡している 3. ケアマネジャーに任せている 4. Zケアネットでの交流 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	8 利用者や家族との連携	1. 常時連絡を受け付けている 2. 定期的に連絡している 3. ケアマネジャーに任せている 4. 連絡帳を重視している 5. その他 ()	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分

問 14. 要介護者が次のような緊急事態に直面したときのマニュアルを作っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 要介護者の状態の急変
2. 要介護者の感染症罹患
3. 災害時の対応
4. サービス提供中の事故
5. その他の緊急事態 ()
6. マニュアルは作成していない

問 15. 利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談はどのようなものが多いですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. サービス内容に関するもの
2. 利用手続きに関するもの
3. 職員の態度に関するもの
4. 施設、設備に関するもの
5. 保険外負担に関するもの
6. 介護者・家族からの虐待など
7. その他 (具体的に:)

問 16. 苦情や相談の解決のために特別な機関を設置していますか。(ひとつだけに○)
(特別な機関とは、通常、事業所に設置する苦情相談受付窓口ではなく、本社等に設置されている苦情等総合受付窓口や共同で設置した第三者委員会のことを指します)

1. 設置している
2. 設置していない ⇒ 問 16-2へ

問 16で「1. 設置している」と答えた方のみ

問 16-1. どのような機関を設置していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 苦情解決責任者の配置
2. 苦情相談窓口の設置
3. 共同での第三者委員会の設置
4. 単独の第三者委員会の設置
5. その他 (具体的に:)

問 16で「2. 設置していない」と答えた方のみ

問 16-2. 苦情・相談にはどのように対処していますか。ご自由にお書きください。

問17. 教育・研修について、どのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外部の研修会・講習会への派遣
(派遣回数) ア. 年4回未満 イ. 4回以上10回未満 ウ. 10回以上
アを選択した方 ⇒ 問17-2もお答えください
2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催
(開催回数) ア. 年4回未満 イ. 4回以上10回未満 ウ. 10回以上
アを選択した方 ⇒ 問17-2もお答えください
3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催
(開催回数) ア. 年4回未満 イ. 4回以上10回未満 ウ. 10回以上
アを選択した方 ⇒ 問17-2もお答えください
4. スタッフに対する自主研究の奨励
5. 事業所内に参考図書やインターネット検索コーナーを設置
6. 苦情情報や「ヒヤリ・ハット」情報の蓄積と活用
7. e-ラーニングの活用
8. その他(具体的に:)
9. 取り組みではない ⇒ 問17-2へ

問17で「1. 外部の研修会・講習会への派遣」「2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」「3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」と答えた方のみ

問17-1. 研修会・講習会のテーマは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護技術・知識
2. 介護保険制度や関係法令
3. 接遇・マナー
4. 情報共有・記録報告方法
5. コンプライアンス(法令順守)
6. プライバシー保護
7. 感染予防対策
8. 事例検討
9. 問題解決・苦情処理の手順
10. 安全対策
11. 事業所の経営理念・ケア方針
12. 資格取得
13. その他(具体的に:)

問17で「1. 外部の研修会・講習会への派遣」「2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」「3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」で(開催回数等を)「ア. 年4回未満」とお答えの方. または「9. 取り組みではない」とお答えの方のみ

問17-2. 研修会等が頻繁に参加・開催できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 業務多忙・人員不足のため
2. 参加者の賃金・報酬が発生するため
3. 講師謝礼金等、研修経費が発生するため
4. 研修の企画が思いつかないため
5. 研修の必要性がないため
6. 参加者が研修を望んでいないため
7. その他()

問18. 新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を実施する上で、衛生面で苦慮したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者へのマスクの着用の指示・理解
2. 利用者への消毒の徹底
3. 衛生用品の備蓄
4. 衣類やリネン類の洗濯
5. 歯ブラシなどの口腔ケア備品の管理
6. 事業所内のゾーニング
7. 個人防護具の着用
8. その他()
9. 特になし

問19. 新型コロナウイルス感染症まん延による経営への影響への対応として、特に苦慮されたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の受け入れ先の確保
2. 代替サービスの提供
3. 職員のシフト調整
4. 自治体との連絡・連携
5. 周囲の事業者等との連絡・連携
6. 風評被害への対応
7. 再開に向けた準備
8. 情報通信技術(ICT)導入等の手続き
9. 外部業者との連絡・連携
10. 職員の生活保障に関する各種事務手続き
11. その他()
12. 特になし

問20. 令和3年度介護報酬改定により、感染症や災害が発生した場合の業務継続計画(BCP)等の策定、研修、訓練の実施等が義務づけられました(3年間の経過措置あり)。令和4年11月現在の貴事業所の業務継続計画の策定状況についてお答えください。(非常災害対策計画等と一体的に策定している場合も含む)(ひとつだけに○)

1. 感染症、自然災害ともにBCPを策定している
2. 感染症のみBCPを策定している
3. 災害のみBCPを策定している
4. どちらも検討中である

問20で「3. 災害のみBCPを策定している」「4. どちらも検討中である」と答えた方のみ(○は主なものひとつだけに○)

問20-1. BCPを策定する上で、どのような課題がありますか、もしくはありませんか。

1. 知識やノウハウの不足
2. 職員の役割・体制の構築
3. 施設や設備の安全対策
4. 策定を検討する時間の確保
5. その他()
6. 特になし

問 21. 貴事業所における現在の職員の過不足についてお答えください。(ひとつだけに○)

1. 大変不足している
2. 不足している
3. やや不足している
4. 適当である
5. 過剰である

問 22. 貴事業所で職員定着のために取っている取り組みはどのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 資格取得のための金銭的な支援
2. 資格取得のための休暇取得の支援
3. 外部の研修への金銭的な参加支援
4. 外部の研修への休暇取得の支援
5. 業務として研修などに派遣
6. 勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善
7. 給与面での改善
8. キャリアアップのための人事制度（資格取得や自己研鑽等を評価）の導入
9. 福利厚生面（育児、介護休暇など）での改善
10. 事業所内での研修機会の確保
11. その他（)

問 23. 高齢労働者の受け入れについて、貴事業所としてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

1. 受け入れている
2. 積極的に受け入れたい
3. どちらかといえば受け入れたい
4. どちらでもない
5. どちらかといえば受け入れたくない
6. 受け入れたくない

問 24. 外国人労働者の受け入れについて、貴事業所としてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

1. 受け入れている
2. 積極的に受け入れたい
3. どちらかといえば受け入れたい
4. どちらでもない
5. どちらかといえば受け入れたくない
6. 受け入れたくない

2 医療・介護連携についておたずねします

問 25. 退院支援・調整について、どのように感じていますか。(①～⑥の項目ごとにひとつだけに○)

質問項目	回答欄				
	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	非常にそう思う
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。	1	2	3	4	5
②病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。	1	2	3	4	5
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。	1	2	3	4	5
④退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている。	1	2	3	4	5
⑤入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。	1	2	3	4	5
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。	1	2	3	4	5

問 26. 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけ医（診療所）
2. かかりつけ医（病院）
3. 歯科医（病院・診療所）
4. 薬剤師（薬局）
5. 訪問看護ステーション
6. 訪問リハビリテーション事業所
7. その他（)

問 27. 多職種連携について、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとひとつだけに○)

質問項目	回答欄				
	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	非常に思う
①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式(連絡票など)を作成し、運用すべきである。	1	2	3	4	5
②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方がよいと思う。	1	2	3	4	5
③多職種との「顔が見える連携(日常的に気軽に交流できる関係)」ができていない。	1	2	3	4	5

問 28. 問 27の①について、すでにそういったシステムや仕組みを導入していますか。

1. 導入している (具体的に：)
2. 導入していない

問 29. 急変時の対応について、どのように感じていますか。(①～②の項目ごとひとつだけに○)

質問項目	回答欄				
	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	非常に思う
①急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができていない。	1	2	3	4	5
②休日や夜間に対応可能な地域の医療資源(訪問診療、訪問看護など)が不足していると感じることがある。	1	2	3	4	5

問 30. 貴事業所において、利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースは月にどれくらいありますか。(ひとつだけに○)

1. 0件
2. 1件
3. 2件
4. 3件
5. 4件
6. 5件
7. 6件以上

問 31. 日中に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけ医 (診療所)
2. かかりつけ医 (病院)
3. かかりつけ医以外の医療機関
4. 救急車対応
5. その他 ()

問 32. 夜間休日に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけ医 (診療所)
2. かかりつけ医 (病院)
3. かかりつけ医以外の医療機関
4. 休日当番医
5. 夜間救急センター
6. 救急車対応
7. その他 ()

問 33. 容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問 33で「1. はい」と答えた方のみ

問 33-1. 具体的にどのようなことで苦慮されましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判断できなかった
2. 高齢者や認知症を理由に受診を断られた
3. その他 (具体的に：)

問 34. 貴事業所では容態急変時のマニュアルが定められていますか。

1. はい
2. いいえ

問 35. 利用者の容態急変時における課題や要望がありましたらお書きください。

問 36. 在宅での看取りに関わった経験がありますか。

1. はい
2. いいえ

問 37. 在宅での看取りについて、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄			
	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	非常にそう思う
①在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きいです。 ※看取りに関わった経験の有無に拘らずお答えください。	1	2	3	5
②今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている。	1	2	3	5
③在宅で看取りをするために連携できる医師がいる。	1	2	3	5

問 38. 設問 25～37 までに、課題とすること、その具体的な対応策をお書きください。

3 市の介護保険事業との連携についておたずねします

問 39. 延子市で質の良いサービスを提供していくにあたり、市に期待することは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス需要や利用者ニーズ情報などの提供
2. 事業者間の交流機会づくり
3. 利用者・利用者団体との交流機会づくり
4. 事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置
5. 新しい介護保険サービスの創設 (具体的に：)
6. 第三者評価体制など、サービスの適正な評価
7. その他 ()
8. とくに期待することはない

問 40. 地域包括支援センターへの相談等における対応について、満足度をお答えください。(①～④の項目ごとにひとつだけ○)

質問項目	回答欄			
	とても満足	満足	普通	不満 わからない事例なし
①事業所からの相談や問い合わせに対する迅速な対応について	1	2	3	5
②事業所から相談したケースの経過や結果等の状況報告について	1	2	3	5
③事業所からの問い合わせや相談に対する、専門的な見地からの助言・支援について	1	2	3	5
④支援困難ケース(高齢者虐待、権利擁護等)に関する専門的な助言等について	1	2	3	5

問 41. 地域包括支援センターの果たしている役割について、各取り組みの充実の度合いについて、あなたの考えをお答えください。(①～④の項目ごとにひとつだけ○)

質問項目	回答欄			
	充分	まあ充分	どちらともいえない	不十分
①地域の資源、市の制度や施策等に関する情報提供について	1	2	3	5
②地域における会合や行事へ参加し、関係者との連携体制構築の働きかけをしているかについて	1	2	3	5
③講習会やセミナー等、事業所職員に関する資質向上・人材育成への取り組みについて	1	2	3	5
④悩みや相談等がしやすい体制について	1	2	3	5

問 42. その他、地域包括支援センターに対するご意見ご要望等、自由に記入してください。

問 43. 介護保険制度を円滑に運営していくためには、市としてどのような取り組みが必要かと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度のさらなる周知（適正利用に対する認識づくりを含む）
2. 市町村特別給付サービスの拡大（具体的に： ）
3. 高齢者への介護予防関連サービス・施策の充実（具体的に： ）
4. 高齢者一般福祉サービス（生活支援等）の充実と周知（具体的に： ）
5. 生活圏での望ましいケア体制の確立（相談機能や、関係機関間の連携調整機能等）
6. サービス提供事業者情報の利用者・家族への周知
7. サービス提供事業者とケアマネジャーとの連携のための場の設定
8. サービス提供事業者・ケアマネジャーと主治医との連携の促進
9. サービス提供事業者相互の交流の場の設定
10. 市による事業者に対する研修会の開催（研修の内容を具体的に： ）
11. その他（具体的に： ）

問 44. 自然災害（火災対応は除く）に対して、貴事業所ではどのような対策を取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設の場所を、市が発行した津波・土砂崩れ対応マップにて確認している
2. 自然災害を対象とした訓練を、職員のみで行っている
3. 自然災害を対象とした訓練を、利用者ともに行っている
4. 自然災害を対象とした避難計画を策定している
5. 防災用品等を備蓄している
6. その他（ ）
7. 何もおこなっていない

問 45. その他、地域包括支援センターに対してのご意見ご要望等、自由に記入してください。

問 46. 最後に、国・県・市に対する意見など、感じていることを自由に記入してください。

「事業コード」

[介護給付分]	1. 居宅介護支援	2. 訪問看護	3. 訪問入浴介護
	4. 訪問介護	5. 訪問リハビリテーション	6. 居宅療養管理指導
	7. 通所介護	8. 通所リハビリテーション	9. 短期入所生活介護
	10. 短期入所療養介護	11. 特定施設入居者生活介護	12. 福祉用具貸与
	13. 認知症対応型通所介護	14. 小規模多機能型居宅介護	15. 認知症対応型共同生活介護
	16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17. 地域密着型通所介護	18. 地域密着型特定施設入居者生活介護
	19. 特別給付（移送サービス）	20. 看護小規模多機能型居宅介護	21. 夜間対応型訪問介護
	22. 地域密着型介護老人福祉施設（介護老人保健施設）	23. 介護老人福祉施設（介護老人保健施設）	24. 介護老人保健施設
	25. 介護医療院		
[予防給付分]	26. 介護予防支援業務（委託分）	27. 介護予防訪問入浴介護	28. 介護予防訪問看護
	29. 介護予防訪問リハビリテーション	30. 介護予防居宅療養管理指導	31. 介護予防通所リハビリテーション
	32. 介護予防短期入所生活介護	33. 介護予防短期入所療養介護	34. 介護予防小規模多機能型居宅介護
	35. 介護予防認知症対応型通所介護	36. 介護予防認知症対応型共同生活介護	37. 介護予防特定施設入居者生活介護
	38. 介護予防福祉用具貸与		
	(介護予防・日常生活支援総合事業)		
	39. 第1号訪問事業	40. 第1号通所事業	

ご協力ありがとうございました。

*調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手を貼る必要はありません)

5 介護支援専門員

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

1 あなたご自身のことについておたずねします

問1. あなたの所属する事業所の所在地は選子市内、市外のどちらですか。(ひとつだけに○)

- 1. 市内
- 2. 市外

問2. あなたの性別はどちらですか。(ひとつだけに○)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他

問3. あなたの年齢をおたずねします。

() 歳

問4. ケアマネジャーの仕事をはじめ何年(他社含む)になりますか。(ひとつだけに○)

- 1. 6か月未満
- 2. 6か月以上1年未満
- 3. 1年以上2年未満
- 4. 2年以上3年未満
- 5. 3年以上4年未満
- 6. 4年以上5年未満
- 7. 5年以上 (具体的に: 年未満)

問5. ケアマネジャー以外の資格についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 保健師
- 2. 看護師
- 3. 准看護師
- 4. 社会福祉士
- 5. 介護福祉士
- 6. 視能訓練士
- 7. 栄養士 (管理栄養士含む)
- 8. 精神保健福祉士
- 9. ヘルパー
- 10. その他 (具体的に:)

問6. 所属の施設や機関の種別をおたずねします。(最も関わりの深いものひとつだけに○)

1. 居宅介護支援事業所 → 以下の設問すべてにお答えください

- 2. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
- 3. 介護老人保健施設
- 4. 介護療養型医療施設・介護医療院
- 5. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
- 6. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護
- 7. (介護予防) 特定施設入居者生活介護 (地域密着型含む)

以下では「施設」のマークがついている設問のみにお答えください。

問7. 所属の施設・機関の事業形態についておたずねします。(ひとつだけに○) **施設**

- 1. 社会福祉法人 (社会福祉協議会)
- 2. 社会福祉法人 (社会福祉協議会以外)
- 3. 医療法人 (社団・財団)
- 4. 営利法人 (有限会社・株式会社)
- 5. 特定非営利活動法人 (NPO法人)
- 6. 農業協同組合
- 7. 生活協同組合
- 8. その他の法人 (名称)
- 9. その他 (具体的に:)

介護支援専門員 (ケアマネジャー) 個別調査票

介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃より、選子市の高齢者福祉行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、選子市では、高齢者が安心して暮らしていただける環境づくりを進めるため、選子市高齢者保健福祉計画を策定しています。

このたび令和6年度から令和8年度までの第9期の策定にあたり、11月1日現在、選子市の被保険者のケアマネジメントを担う介護専門員 (以下、「ケアマネジャー」といいます。)の皆様へアンケート調査を実施いたします。皆様の現状や意見、今後の意向などをお伺いします。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

選子市福祉部高齢介護課

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査票は、ケアマネジャーご本人がお答えください。
- 2 令和4年11月の状況でお答えください。
- 3 回答のしかたは設問ごとの指定に従ってください。回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。
- 4 調査票は、**12月15日(木)**までに同封の返信用封筒にて投函してください。(切手を貼る必要はありません)

この調査についての問い合わせ先

選子市福祉部高齢介護課介護保険係

電話 046 (873) 1111 内線246・247

2 勤務形態などについておたずねします

問8. あなたの勤務形態についてお答えください。(あてはまるものに○)

1. 居宅介護支援事業所の管理者
2. 常勤のケアマネジャー
3. 非常勤のケアマネジャー

問9. ケアマネジャーの仕事は専任ですか。それとも兼任ですか。(ひとつだけに○)

1. 専任
2. 兼任

問9で「2. 兼任」とお答えの方のみ

問9-1. 勤務時間に占めるケアマネジャー業務の割合をお知らせください。

(約 割)

問9-2. 兼務している業務の種類をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護
2. (介護予防) 訪問入浴介護
3. (介護予防) 訪問看護
4. (介護予防) 訪問リハビリテーション
5. (介護予防) 居宅療養管理指導
6. 通所介護
7. (介護予防) 通所リハビリテーション
8. (介護予防) 短期入所生活介護
9. (介護予防) 短期入所療養介護
10. (介護予防) 特定施設入居者生活介護
11. (介護予防) 福祉用具貸与
12. 特定 (介護予防) 福祉用具販売
13. (介護予防) 住宅改修
14. 定期巡回・随時対応型訪問看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. (介護予防) 認知症対応型通所介護
17. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護
18. (介護予防) 地域密着型通所介護
19. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護
20. 地域密着型特定施設入居者生活介護
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 地域密着型介護老人福祉施設
23. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
24. 介護老人保健施設
25. 介護療養型医療施設・介護医療院
26. 病医院
27. 薬局
28. 鍼灸院
29. 軽費老人ホーム・ケアハウス
30. サービス付き高齢者住宅
31. 地域包括支援センター
32. 管理者
33. その他 (具体的に:)

問10. 令和4年10月の1ヶ月の実労働時間をお教えください。(ひとつだけに○) 施設

1. 160 時間未満
2. 160 時間以上 180 時間未満
3. 180 時間以上 200 時間未満
4. 200 時間以上 220 時間未満
5. 220 時間以上 240 時間未満
6. 240 時間以上

問11. あなたはキャリアアップを考えていますか。(ひとつだけに○) 施設

1. 考えている (具体的に:)
2. 考えていない
3. なんともいえない

3 ケアプラン作成・給付管理業務などについておたずねします

問12. 依頼主の居住地 (市町村名) をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 逗子市
2. 葉山町
3. 鎌倉市
4. 横須賀市
5. 横浜市
6. 三浦市
7. その他 ()

問13. 依頼主の最も多い居住地をお知らせください。(ひとつだけに○)

1. 逗子市
2. 葉山町
3. 鎌倉市
4. 横須賀市
5. 横浜市
6. 三浦市
7. その他 ()

問14. 在宅での利用者の状況を考えてとき、ケアマネジャー(常勤で専任)1人あたり1か月間で何人の利用者を担当するのが適切であると考えますか。(ひとつだけに○)

1. 10 人未満
2. 10~19 人
3. 20~29 人
4. 30~39 人
5. 40~49 人
6. 50~59 人
7. 60 人以上

問15. 給付管理業務は、どのような方法で実施していますか。(ひとつだけに○)

1. すべてケアマネジャーが行っている
2. 事務職員が行っている
3. 事務職員とケアマネジャーの双方で行っている

問16. ケアプラン作成に際し、あなたが重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の自立意欲の喚起
2. 利用者本人の意向の尊重
3. 家族の意向や事情の尊重
4. 利用者本人と家族の意向の調整
5. サービス利用日時の配分
6. サービスの適切な組み合わせ
7. 利用者の経済的負担への配慮
8. 自社の経営方針・サービス提供方針
9. 介護保険サービス以外のサービス利用 (通子市独自サービスの活用)
10. サービス利用だけにこだわらない支援 (本人・家族へのアドバイス等)
11. その他 ()

問 17. 問 16 の中でも、最も重視していることは何ですか。
(番号でひとつだけ回答してください)

「最も重視している
こと」の番号を記入

↑

問 18. あなたは、ケアプランをどのように作成するようにしていますか。
(それぞれについてひとつだけに○)

① ケアプラン作成への 利用者・家族の意向	1. 必ず利用者本人と家族双方の意向を聞くようにしている 2. 利用者本人または家族いずれかの意向を聞くようにしている 3. 家族がいなくても利用者本人の意向だけを聞くようにしている 4. その他 ()
② 主治医との連携	1. 主治医に必ず文書で連絡を取るようになっている 2. 主治医に必ず電話・ファックス等で連絡を取るようになっている 3. 必要に応じて主治医に文書で連絡を取るようになっている 4. 必要に応じて主治医に電話・ファックス等で連絡を取るようになっている 5. 主治医への連絡はとくに取っていない 6. その他 ()

問 19. ケアプラン作成時に、所属事務所による経営的観点からの条件提示や指示が行われていますか。
(ひとつだけに○)

1. ほとんどの場合に行われる 2. 行われる場合もある 3. 行われない

問 20. ケアプラン作成にあたり、困ることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者本人と家族の意向との調整 2. サービス事業者との連絡・調整
3. 主治医との連絡・連携 4. 他の専門職との連絡・連携
5. 家族との連絡 6. サービスや事業者の情報収集
7. 計画検討やケアプラン作成のための時間の確保
8. その他 ()
9. とくに困ることはない

問 21. ケアプラン作成で困ったとき、誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同僚のケアマネジャー 2. 他の事業所のケアマネジャー
3. 地域包括支援センター 4. 遠子市の職員
5. 他市町村の職員 6. かながわ福祉サービス振興会
7. インターネットサイトの活用(かながわ福祉情報コミュニティ等)
8. ケアマネ支援ソフト(CD等)を活用 9. サービス担当者会議での検討
10. 自分で解決する 11. その他 ()

問 22. 利用者が主体的にサービスを選択・利用できるよう、あなたが心がけていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者・家族へ介護保険制度の目的(自立支援)等の説明をしている
2. 利用者の意識づくり(自分がサービス選択の主体であること)に心がけている
3. 地域内の事業所やサービスに関する情報収集と利用者への伝達をしている
4. 利用者・家族へ利用できるサービスの説明をしている
5. ケアプラン作成前に原案を作成し、説明及び同意を得ている
6. 利用者・家族へ作成したケアプランの説明をしている
7. サービス提供者の意識づくり(利用者を主体とするケアチームづくり)に心がけている
8. その他 ()

問 23. サービス担当者会議で利用者の主治医と連携しているケースはどのくらいありますか。
(ひとつだけに○)

1. 全ケース 2. 8割以上10割未満 3. 5割以上8割未満
4. 3割以上5割未満 5. 3割未満
6. 実施していない

問 23 で「6. 実施していない」と答えた方のみ

問 23-1. 実施していない理由は何か。(ひとつだけに○)

1. 主治医と連携する必要がある
2. 主治医と連携したいが、どのようにしたら良いかわからない
3. その他 ()

問 24. サービス担当者会議でとくに問題となる点についておたずねします。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 開催場所の確保 2. 忙しくて時間がとれないこと
3. メンバークの時間調整 4. 会議の必要性を他職種に理解してもらえないこと
5. 職種間の考え方や意見の調整 6. 会議の結果がなかなか現場で生かされないこと
7. その他 () 8. とくにない

問 25. モニタリング(サービスの継続的把握・評価)の実施について、問題となる点についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者・家族となかなか会えない 2. 利用者が訪問を拒む
3. サービス提供者事業者が適切なサービスを行っているか把握しにくい
4. サービス提供者事業者からの利用者に関する情報の入手が難しい
5. 利用者のニーズの充足度がつかみにくい
6. モニタリングの結果を生かすににくい(他の事業者の受け止め方とのずれ)
7. その他 ()
8. とくにない

4 本市の提供サービスについておたずねします

問 31. 逗子市における介護保険サービスの量は、あなたからみて適切ですか。不足していると思われるサービスをお示しく下さい。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護（身体介護・生活援助） | 2. 訪問介護（通院等乗降介助） |
| 3. 訪問入浴介護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 10. 特定施設入居者生活介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具販売 |
| 13. 住宅改修 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護 |
| 15. 夜間対応型訪問介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 17. 小規模多機能型居宅介護 | 18. 地域密着型通所介護 |
| 19. 認知症対応型共同生活介護 | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護 | 22. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 23. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | 24. 介護老人保健施設 |
| 25. 介護療養型医療施設・介護医療院 | 26. 特別給付（移送サービス） |

問 32. 逗子市における介護保険サービスの質は、あなたからみて適切ですか。質の改善が必要であると思われるサービスをお示しく下さい。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護（身体介護・生活援助） | 2. 訪問介護（通院等乗降介助） |
| 3. 訪問入浴介護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 10. 特定施設入居者生活介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具販売 |
| 13. 住宅改修 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護 |
| 15. 夜間対応型訪問介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 17. 小規模多機能型居宅介護 | 18. 地域密着型通所介護 |
| 19. 認知症対応型共同生活介護 | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護 | 22. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 23. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | 24. 介護老人保健施設 |
| 25. 介護療養型医療施設・介護医療院 | 26. 特別給付（移送サービス） |

問 33. 逗子市における介護保険サービスで今後の需要の増加が見込まれるものをお示しく下さい。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護（身体介護・生活援助） | 2. 訪問介護（通院等乗降介助） |
| 3. 訪問入浴介護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 10. 特定施設入居者生活介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具販売 |
| 13. 住宅改修 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護 |
| 15. 夜間対応型訪問介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 17. 小規模多機能型居宅介護 | 18. 地域密着型通所介護 |
| 19. 認知症対応型共同生活介護 | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護 | 22. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 23. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | 24. 介護老人保健施設 |
| 25. 介護療養型医療施設・介護医療院 | 26. 特別給付（移送サービス） |

問 34. 逗子市の福祉サービスで今後必要であるとお考えのサービスをお示しく下さい。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護（身体介護・生活援助） | 2. 訪問介護（通院等乗降介助） |
| 3. 訪問入浴介護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 10. 特定施設入居者生活介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具販売 |
| 13. 住宅改修 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護 |
| 15. 夜間対応型訪問介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 17. 小規模多機能型居宅介護 | 18. 地域密着型通所介護 |
| 19. 認知症対応型共同生活介護 | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護 | 22. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 23. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | 24. 介護老人保健施設 |
| 25. 介護療養型医療施設・介護医療院 | 26. 特別給付（移送サービス） |

問 35. 退院市におけるサービス利用について、お気づきの点・とくに問題と感ずる点などありましたら、ご自由にお書きください。 **施設**

5 医療・介護連携についておたずねします

問 36. 退院支援・調整について、どのように感じていますか。(①～⑥の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	全くそう思わない	そう思わない	そう思わない	回答欄		
				どちらとも 言えない	そう思う	非常にそう 思う
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。	1	2	3	4	5	
②病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。	1	2	3	4	5	
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。	1	2	3	4	5	
④退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている。	1	2	3	4	5	
⑤入院時に、病院に対して在室時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。	1	2	3	4	5	
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。	1	2	3	4	5	

問 37. 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけ医（診療所）
2. かかりつけ医（病院）
3. 歯科医（病院・診療所）
4. 薬剤師（薬局）
5. 訪問看護ステーション
6. 訪問リハビリテーション事業所
7. その他（ ）

問 38. 多職種連携について、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	全くそう思わない	そう思わない	そう思わない	回答欄		
				どちらとも 言えない	そう思う	非常にそう 思う
①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである。	1	2	3	4	5	
②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方がよいと思う。	1	2	3	4	5	
③多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができていない。	1	2	3	4	5	

問 39. 問 38の①について、すでにそういったシステムや仕組みを導入していますか。(どちらかに○)

1. 導入している（具体的に： ）
2. 導入していない

問 40. 急変時の対応について、どのように感じていますか。(①～②の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	全くそう思わない	そう思わない	そう思わない	回答欄		
				どちらとも 言えない	そう思う	非常にそう 思う
①急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができていない。	1	2	3	4	5	
②休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある。	1	2	3	4	5	

問 41. 貴事業所において、利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースは月にどれくらいありますか。(ひとつだけに○)

- 1. 0件
- 2. 1件
- 3. 2件
- 4. 3件
- 5. 4件
- 6. 5件
- 7. 6件以上

問 42. 日中に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. かかりつけ医 (診療所)
- 2. かかりつけ医 (病院)
- 3. かかりつけ医以外の医療機関
- 4. 救急車対応
- 5. その他 ()

問 43. 夜間休日に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. かかりつけ医 (診療所)
- 2. かかりつけ医 (病院)
- 3. かかりつけ医以外の医療機関
- 4. 休日当番医
- 5. 夜間救急センター
- 6. 救急車対応
- 7. その他 ()

問 44. 容態急変時にどこを受診したら良いのが苦慮したことがありますか。(どちらかに○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 44 で「1. はい」と答えただけのみ

問 44-1. 具体的にどのようなことで苦慮されましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかった
- 2. 高齢者や認知症を理由に受診を断られた
- 3. その他 (具体的に：)

問 45. 貴事業所では容態急変時のマニュアルが定められていますか。(どちらかに○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 46. 利用者の容態急変時における課題や要望がありましたらお書きください。

問 47. 在宅での看取りに関わった経験がありますか。(どちらかに○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 48. 在宅での看取りについて、どのように感じていますか。(①～③の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう感 わない	そう感わ ない	どちらとも 言えない	そう感 ある	非常にそ う感 ある
①在宅で看取りをすることは、事業所職員にとっても負担が大きい。 ※看取りに関わった経験の有無に拘らずお答えください。	1	2	3	4	5
②今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている。	1	2	3	4	5
③在宅で看取りをするために連携できる医師がいる。	1	2	3	4	5

問 49. 設問 36～48 までに限り、課題と思うことと、その具体的な対応策をお書きください。

6 次の質問にもお答えください

問 50. 成年後見制度についてお答えください。(それぞれ、ひとつだけに○) 施設

①利用者やその家族から相談はありますか	1. ある	2. ない
②利用をすすめたことがありますか	1. ある	2. ない

問 51. 成年後見制度の利用が進まない理由は何かと考えると考えますか。(あてはまるものすべてに○) 施設

- 1. 本人、家族が同意しない
- 2. 後見人報酬の支払いが困難
- 3. 必要性を感じていない
- 4. 制度手続きに時間を要する
- 5. 制度手続きが複雑である
- 6. その他 ()

問52. 高齢者虐待の情報を把握していますか。(ひとつだけ○) **施設**

- 1. 把握している
- 2. はっきりしない
- 3. 把握していない

問52で「1. 把握している」と答えた方のみ

問52-1. あなたの担当している案件ではどのようなケースが多いですか。 **施設**

- 1. 身体的虐待
- 2. 介護、世話の放棄・放任
- 3. 心理的虐待(脅しや侮辱などの言葉づかいや威圧的態度等)
- 4. 性的虐待
- 5. 経済的虐待
- 6. その他()

問53. 虐待に至る要因は何にあると思いますか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

- 1. 介護者の精神的・肉体的な疲れ
- 2. 会話の不自由さ
- 3. 介護者の介護に対する知識・技術不足
- 4. いたわる気持ちの欠如
- 5. 経済的な困窮
- 6. 加齢に伴う日常生活動作の低下
- 7. 認知症状による言動
- 8. その他(具体的に:)
- 9. わからない

問54. 利用者への望ましいケアマネジメントのために、今必要と感われる事項についてお答えください。 **施設**

- 1. 医師等との連携
- 2. 行政との連携
- 3. 地域包括支援センターとの連携
- 4. 他事業者との連携
- 5. 介護支援専門員の増員
- 6. 事務の合理化
- 7. 会議や研修会参加に対する評価
- 8. 専門職種間の交流
- 9. 介護支援専門員のスキルアップ
- 10. 事業者情報の充実
- 11. 近隣市町との共同体制
- 12. 地域内での緊急対応ネットワーク形成
- 13. 利用者・家族へのサービス利用情報支援
- 14. その他()

問55. 返子市で質の良いサービスを提供していくにあたり、市に期待することは何ですか。 **施設**

- 1. サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供
- 2. 事業者間の交流機会づくり
- 3. 利用者・利用者団体との交流機会づくり
- 4. 事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置
- 5. 新しい介護保険サービスの創設(例えば:)
- 6. 第三者評価体制など、サービスの適正な評価
- 7. 研修や実地指導など
- 8. その他()
- 9. とくに期待することはない

問56. 介護保険制度を円滑に運営していくためには、市としてどのような取り組みが必要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

- 1. 介護保険制度のさらなる周知(適正利用に対する認識づくりを含む)
- 2. 市町村特別給付サービスの拡大(具体的に:)
- 3. 高齢者への介護予防関連サービス・施策の充実(具体的に:)
- 4. 高齢者一般福祉サービス(生活支援等)の充実と周知(具体的に:)
- 5. 生活圏での望ましいケア体制の確立(相談機能や、関係機関間の連携調整機能等)
- 6. サービス提供事業者情報の利用者・家族への周知
- 7. サービス提供事業者とケアマネジャーとの連携のための場の設定
- 8. サービス提供事業者・ケアマネジャーと主治医との連携の促進
- 9. サービス提供事業者相互の交流の場の設定
- 10. 市による事業者に対する研修会の開催(研修の内容を具体的に:)
- 11. その他(具体的に:)
- 12. とくにない

問57. あなたが担当しているケースの中で、下記のような対応が困難なケースはありますか。(あてはまるものすべてに○、わかる場合はケースの件数も記入) **施設**

- 1. ダブルケア(複合的な課題を抱えている)のケース ()件
- 2. 虐待のおそれのあるケース ()件
- 3. 8050問題*(大人の引きこもり)と思われケース ()件
- 4. 認知症等に伴う問題行動のあるケース ()件
- 5. ヤングケアラー ()件
- 6. その他()件
- 7. とくにない ()件

*8050問題は、長期間の引きこもりをしている50代前後の子どもを、80代前後の高齢の親が養い続けているケース。経済難からくる生活の困窮、当事者の社会的孤立、病気や介護による其の親のリスクが懸念される。

問57でいずれかのケースに回答した方のみ

問57-1. 問題の解決に向けた相談先はどこですか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

- 1. 利用者家族・利用者知人等
- 2. 事業所内の同僚等
- 3. 市役所
- 4. 地域包括支援センター
- 5. 民生委員・児童委員
- 6. 警察・消防
- 7. 医療機関
- 8. その他専門機関()
- 9. 相談先はない

問 58. 問題解決のための課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. 金銭的負担
2. 解決策方法が思あたらない
3. 行政の支援不足
4. 家族の理解不足
5. 問題の全容が不明
6. 必要なサービスに繋がっていない
7. 関係者との連携
8. その他 ()

問 59. 担当している利用者のうち、認知症の中で医師から認知症と診断されている方、または、医師から認知症と診断されていないが、認知症の疑いがある方の対応についてお伺いします。認知高齢者への支援が困難である理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. サービス利用などの契約手続きができない
2. サービスの受け入れ先が限られる
3. 本人の介護サービスや医療への拒否
4. 本人の暴言や暴力がある
5. 金銭管理
6. 徘徊や緊急時の対応
7. 家族、本人の認知症に対する理解・認識が低い
8. 地域の理解がない、理解が低い
9. 限度額や要介護度等の制限でサービスが受けられない
10. 服薬管理
11. その他 ()
12. とくに困ったことはない

問 60. 認知症の方への支援で必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. 認知症の家族を介護している人への支援
2. 家族教室などの開催
3. 医療的な支援
4. 認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動
5. 介護保険などの公約サービスの充実
6. 家族・介護者の負担軽減のための支援
7. 公約サービス以外の支援の充実
8. 成年後見制度の利用促進
9. 認知症全般について相談できる専門の窓口
10. 地域住民の理解
11. 徘徊高齢者の早期発見のためのネットワーク
12. 定期的な訪問活動
13. 認知症の人が社会参加できる居場所(認知症カフェ等)
14. 認知症を早期に発見し、早期対応するための取組
15. その他 ()
16. わからない

問 61. 認知症の方を支援するにあたり、かかりつけ医との連携はできていますか。 **施設**
(ひとつだけに○)

1. 充分連携できている
2. ある程度連携できている
3. あまり連携できていない
4. 連携できていない

問 61で「1. 充分連携できている」「2. ある程度連携できている」と答えた方のみ

問 61-1. 医療機関やかかりつけ医との利用者の情報共有をしていますか。(ひとつだけに○) **施設**

1. 紙媒体で行っている
2. インターネット媒体で行っている
3. その他 ()
4. していない

問 62. あなたはケアマネジャーの早期離職の防止や定着促進のために、どのような取り組みが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. 賃金・労働条件を改善する
2. 職員に労働時間の希望を聞く
3. 職員に仕事内容の希望を聞く
4. 研修等、人材育成を充実させる
5. その他 ()
6. 特にない

問 63. あなたはケアマネジャーの業務について、どのようにお考えですか。
(①～③の項目ごとに1つだけに○) **施設**

質問項目	回答欄
①業務量	1. 多い 2. 適切 3. 少ない
②業務内容	1. 難しい 2. 普通 3. 易しい
③業務としてのやりがい	1. ある 2. ない 3. 考えたことがない

③業務としてのやりがいについて「1. ある」とお答えの方のみ

問 63-1. やりがいを感じる時はどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. 利用者及びその家族から、感謝されたとき
2. 利用者の状況(身体・生活等)が良くなったと思われたとき
3. 職場や仕事の関係者から、自分の業務を評価されたとき
4. (困難な)業務をやり遂げたとき
5. 業務の対価として、それ相応な金銭的な評価をされたとき
6. ケアマネジャーの業務(自分の仕事ぶり)が、家族や友人・知人に評価されているとき
7. ケアマネジャーの業務が、社会的に評価されているとき
8. 日々の業務における、ふとした瞬間に幸福感を感じるとき
9. その他 ()
10. とくにない

問 64. あなたはケアマネジャーの業務上、困り事や悩み事はありますか。 **施設**

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者及び利用者家族との人間関係
2. 職場の人間関係
3. 他の事業所、医療機関、行政との人間関係
4. 人手不足
5. 適切なケアプランの作成
6. 給与・労働環境
7. 認定結果
8. 新規利用者の獲得
9. 介護保険制度が難しい
10. 制度改正が頻繁にある
11. 文書の多さ
12. その他 ()
13. とくにない

問 65. 最後に、国・県・市に対する意見など、感じていることを自由に記入してください。 **施設**

ご協力ありがとうございました。

* 調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手を貼る必要はありません)

6 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号〔 〕

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となつてゐる家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

※問2で「2.」「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票への回答・ご記入をお願いしてください。

※「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください。（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です。）

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほほ毎日ある

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代
9. 90代
10. わからない

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいる
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業、フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（生体や介護休暇等）」を取っている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるかどうか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。同意書と合わせてのご提出をお願い致します。

逗子市高齢者保健福祉計画策定に向けた
アンケート調査結果報告書
令和5年3月

発行：逗子市福祉部高齢介護課
神奈川県逗子市逗子 5-2-16
電話：046 (873) 1111 (代表)